資料8-2

国立研究開発法人科学技術振興機構

外国人研究者宿舎生活サポート等業務

民間競争入札実施要項（案）

平成２８年○月

国立研究開発法人科学技術振興機構

目　　次

１．対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項 ・・・

企画書

様式１　：生活サポート等業務企画書 ・・・１６０
様式２　：業務実績 ・・１６１
様式３　：本業務実施に対する認識 ・・・１６３
様式４　：業務の実施体制及び業務全体の管理方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６４
様式５　：質の確保及び業務コスト等削減に関する考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６５
様式６　：改善提案総括表 ・・・１６６
様式７　：各業務の従来の実施方法に対する改善提案 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６９
様式８　：緊急時の体制及び対応方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７０
様式９　：再委託に関する事項 ・・１７１
様式 10 ： 入札参加事業者等確認書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７２

国立研究開発法人科学技術振興機構　外国人研究者宿舎生活サポート等業務
民間競争入札実施要項（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成１８年法律第５１号。以下「法」という。）に基づく競争の導入による公共サービスの改革については、公共サービスによる利益を享受する国民の立場に立って、公共サービスの全般について不断の見直しを行い、その実施について、透明かつ公正な競争の下で民間事業者の創意と工夫を適切に反映させることにより、国民のため、より良質かつ低廉な公共サービスを実現することを目指すものである。

前記を踏まえ、国立研究開発法人科学技術振興機構（以下、「機構」という。）は、公共サービス改革基本方針（平成２８年６月閣議決定）別表において民間競争入札の対象として選定された外国人研究者宿舎生活サポート等業務（以下「本業務」という。）について、公共サービス改革基本方針に従って、本実施要項を定めるものとする。

１．対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項

（１）対象公共サービスの詳細な内容

ア．対象施設の概要

・名称：国立研究開発法人科学技術振興機構　外国人研究者宿舎「二の宮ハウス」「竹園ハウス」

・設置目的：我が国の研究機関等において研究活動を行う外国人研究者及びその家族（以下、「居住者」という。）を対象に、宿舎及び各種支援サービスを提供し、研究者が円滑に生活を開始し、研究活動に専念できる環境を整備することで、我が国の研究環境の国際化に資する。

①「二の宮ハウス」

・所在地：茨城県つくば市二の宮１－６－２

・敷地面積：6,569 ㎡

・延床面積：18,298 ㎡

・主用途：宿泊施設（東棟、西棟、南棟、北棟：1LK 104 室、1LDK 71 室）
附帯施設（管理事務室、中央監視室、応接室、集会室、セミナー室 2 室、打合せ室 2 室、スポーツジム、プレイルーム、交流サロン、和室、駐車場 148 台等）

・規模構造：地下 1 階地上 9 階 SRC 造（一部 RC 造）

・竣工日：平成 13 年 3 月

②「竹園ハウス」

・所在地：茨城県つくば市竹園２－２０－４

・敷地面積：1,500 ㎡
・延床面積：2,599 ㎡
・主用途：宿泊施設（1 人用 1LDK 24 室、2 人用 1LDK 6 室、家族用 2LDK 6 室）
　　附帯施設（管理事務室、管理人室、集会室、駐車場 14 台）
・規模構造：地上 7 階 RC 造
・竣工日：平成 3 年 3 月

イ．業務の対象と業務内容
次の①～⑦の業務を実施する。

① 統括業務
　業務内容は仕様書（別紙３）のとおり。
② 窓口業務
　業務内容は仕様書（別紙３）のとおり。
③ 入居受付業務
　業務内容は仕様書（別紙３）のとおり。
④ 交流促進および生活支援業務
　業務内容は仕様書（別紙３）のとおり。
⑤ 居室設備・備品等の維持管理業務
　業務内容は仕様書（別紙３）のとおり。
⑥ 経理・庶務業務
　業務内容は仕様書（別紙３）のとおり。
⑦ その他の管理業務
　業務内容は仕様書（別紙３）のとおり。

ウ．業務期間開始前及び終了時の引継方法
①本業務の契約期間が開始する前に、本業務を行っている者から、事前に十分な引継ぎを受けること。当該引継ぎに要する費用は引継ぎを受ける事業者の負担とし、業務に必要な知見の移転が終了するまで行うものとする。なお、契約期間開始前に業務を行っていた者が引き続きその業務を行うこととなる場合には、この限りではない。
②本業務の契約期間が終了する際、本業務を引継ぐ者に対し、事前に十分な引継ぎを行うこと。当該引継ぎに要する費用は引継ぎを受ける事業者の負担とし、本業務を引継ぐ者が決定次第速やかに引継ぎを開始して、業務に必要な知見の移転が終了するまで行うものとする。なお、契約期間終了後に引き続きその者が業務を行うこととなる場合には、この限りではない。
③本業務の契約期間が終了する際、本業務の遂行に当たり使用した設備・備品等については、原状回復をした上で機構に引き渡すこと。また、民間事業者が本業務に供するために持ち込んだ設備・備品等については、すべて民間事業者の負担で撤去すること。

④本業務の契約期間が終了する際、機構が提供した情報については、書類や電子データ等の媒体の種類に関わらずすべて機構に返却すること。また、民間事業者が本業務の遂行に当たり収集した情報及び本実施要項において作成が義務づけられている書類又は電子媒体については、すべて機構に無償で引き渡すこと。

（２）サービスの質の設定

本業務の実施に当たり達成すべき質及び確保すべき水準は以下のとおりとする。

ア．本業務の包括的な質

本業務を通じて包括的に達成すべき質は、宿舎利用者が安全で快適な生活を送ることを可能とするとともに、宿舎施設における公共サービスの円滑な実施を可能とすることとし、具体的には以下のとおりとする。

①品質の維持

本業務の不備に起因する窓口業務の停止が発生しないこと。（０回）

本業務の不備に起因する入居受付業務の停止が発生しないこと。（０回）

本業務の不備に起因する生活支援業務の停止が発生しないこと。（０回）

②安全性の確保

本業務の不備に起因した人身事故又は物損事故の発生が無いこと（０回）

③快適性の確保

居住者に対し退去時に実施するアンケート（別紙２）のうち、本業務に関する部分の設問（４ Services）について、８０％以上の回答者から、「Very satisfied（とても満足）」「Satisfied（満足）」の評価を得ること。

イ．各業務において確保すべき水準

各業務において確保すべき水準は、業務の内容として別紙３で開示する情報に定める内容とし、法令に反しない限り、本実施要項４．（２）イ．の企画書において改善提案を行うことができる。

ウ．創意工夫の発揮可能性

本業務を実施するにあたっては、以下の観点から民間事業者の創意工夫を反映し、公共サービスの質の向上（包括的な質の向上、効率性の向上）及び経費の削減等に努めるものとする。

①本業務の実施全般に対する改善提案

民間事業者は、本業務の実施全般に係る質の向上及び経費削減の観点から取組むべき事項等の改善提案を行うことができる。その際、具体的な方法等を示すとともに、現行基準レベルの質が確保できる根拠等を企画書に明示すること。

②各業務に関する改善提案

民間事業者は、本業務における各業務に係る質の向上及び経費削減の観点から取組むべき事項の改善提案を行うことができる。その際、質の向上に向けた具体的な方法等を示すとともに、現行基準レベルの質が確保できる根拠等を企画書に明示すること。

（3）委託費の支払方法

委託費の支払いは、四半期毎の概算払い（前払い）とする。

ア．概算払いの機会は、原則として年４回（４月、７月、１０月、翌年１月）とする。４月、７月及び１０月の支払機会については任意に請求できるが、翌年１月の概算払いについては、当該年度分に係る支払いとして必ず請求すること。

イ．４月、７月及び１０月の支払機会については、原則としてそれぞれ当該年度契約額の２５％、５０％及び７５％を当該年度支払累計額の上限とする。ただし、資金需要に応じて、概算払い申込み時に機構と協議の上で上限値を超過することも可能とする。翌年１月の支払機会については、「１２月末までの発生実績額」と「１月～３月の発生見込額」（当該年度契約額を上限とする）を請求すること。

ウ．各支払い月の中旬までに「支払請求書」を提出すること。

エ．概算払いのスケジュールは以下のとおり。

概算払機会	支払対象（累計額）	支払請求書の提出 （委託先→機構）	概算払時期 （機構→委託先）
第1回（4月）	当該年度契約額の25%が上限	4月中旬まで	4月末頃
第2回（7月）	当該年度契約額の50%が上限	7月中旬まで	7月末頃
第3回（10月）	当該年度契約額の75%が上限	10月中旬まで	10月末頃
第4回（翌年1月） 【必須】	12月末までの実績＋翌年1～3月の見込額 （当該年度契約額の100%が上限）	翌年1月中旬まで	翌年1月末頃

オ．概算払い終了後の年度末の確定検査により、当該年度の支払い額が過大であったことが判明した場合、過大分を機構からの返還請求に基づき、期日までに返還すること。

（4）費用負担等に関する留意事項

ア．　消耗品等

本業務を実施するに当たり、居室設備・備品等にかかる消耗品は必要により機構と協議の上、委託費により購入できるものとする。なお、宿舎における在庫や備蓄等からの払出しを優先すること。（詳細は別紙３を参照のこと。）

イ．光熱水料

光熱水料は機構が負担する。

ウ．施設使用料

機構は民間事業者が本業務を実施するために使用する控室等を無償で提供するものとする。

エ．法令等の変更による増加費用及び損害の負担

法令等の変更により民間事業者に生じた合理的な増加費用又は損失については、以下の①から③のいずれかに該当する場合には機構が負担し、それ以外の変更については民間事業者

が負担するものとする。
①本件事業に類型的又は特別に影響を及ぼす法令、基準等の変更及び税制度の新設
②消費税その他類似の税制度の新設・変更（税率の変更を含む。）
③上記①及び②のほか、法人税その他類似の税制度の新設・変更以外の税制度新設・変更（税率の変更を含む。）

２．実施期間に関する事項

本業務の実施期間は、平成２９年４月１日から平成３２年３月３１日までとする。

３．入札参加資格

（１）平成２８年９月３０日時点で、過去１０年間において集合住宅（マンション、アパート、学生会館、留学生宿舎、社宅・社員寮等）または宿泊施設（旅館、ホテル等）の管理運営実績がある法人等であること。
（２）仕様書（別紙３）のⅤ．２．（４）記載の外国人を対象とした生活支援及び交流促進業務を遂行する体制が構築できる法人等であること。
（３）法第１５条において準用する法第１０条各号（第１１号を除く。）に該当するものでないこと。
（４）予算決算及び会計令第７０条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
（５）予算決算及び会計令第７１条の規定に該当しない者であること。
（６）国立研究開発法人科学技術振興機構又は全省庁統一資格のうち以下の全てを満たす競争参加資格を取得している者。
・資格の種類：役務の提供等
・格付け：Ａ、Ｂ又はＣ等級
・資格の有効年度：平成２８・２９・３０年度
なお、上記の参加資格を取得しているＮＰＯ法人も入札参加が可能である。
（７）会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づき民事再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後に一般競争参加資格の再認定を受けていること。
（８）機構から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
（９）警察当局から暴力団員が実質的に経営を支配している業者又はこれに準ずるものとして、国発注業務等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
(10) 入札参加グループでの入札について
ア．入札参加グループの結成
民間競争入札に参加する者（以下「入札参加者」という。）が本業務のすべてを単独で遂行することができない場合には、入札書類（本実施要項４．（２）イ．で規定する入札書類

をいう。）を提出する時までに、本業務のすべてを共同で遂行することにより入札に参加するグループ（以下「入札参加グループ」という。）を結成し、入札に参加することができる。その際、入札参加グループに参加する者を入札参加グループ員とし、入札参加グループ員のうち１名を代表者とするものとする。

なお、入札参加グループ員は、他の入札参加グループに参加し、又は単独で入札に参加することはできない。（中小企業等協同組合法（昭和２４年法律第１８１号）に基づき設立された事業協同組合又は特別の法律によって設立された組合が入札に参加する場合におけるその組合員も同様とする。）また、入札参加グループを結成した場合には、すべての入札参加グループ員は、入札参加グループ結成に関する協定書（又はこれに類する書類）を作成しなければならない。

イ．入札参加グループの入札参加資格

上記（１）及び（２）の要件については、入札参加グループとして満たしていること。かつ全ての入札参加グループ員は上記（３）から（９）の要件を満たしていること。

４．入札に参加する者の募集に関する事項

（１）入札の実施手続及びスケジュール（予定）

入札公告	平成２８年１１月下旬頃
入札説明会	平成２８年１２月上旬頃
現地見学会	平成２８年１２月中旬頃
入札等に関する質疑応答	平成２９年１月上旬頃
入札書類の提出期限	平成２９年１月下旬頃
入札書類の評価	平成２９年２月上旬頃
入札・開札	平成２９年２月中旬頃
契約締結・事業開始	平成２９年４月１日

（２）入札実施手続

ア．入札説明会後の質問受付

入札公告に際して入札説明書の交付を受けた者は、本実施要項の内容や入札に係る事項について入札説明会後に、機構に対して質問を行うことができる。質問は原則として電子メールにより行い、質疑内容及び機構からの回答は原則として入札説明会に参加したすべての者に公開することとする。

ただし、民間事業者の権利や競争上の地位等を害するおそれがあると判断される場合には、質問者の意向を聴取した上で公開しないよう配慮する。

イ．提出書類

入札参加者は、総合評価のための業務実施の具体的な方法、その質の確保方法等に関する書類（以下「企画書」という。）、その他審査に必要となる書類（以下「入札書類」と

いう。）を入札書類の受付期限までに提出する。また、入札参加者は、入札時に、本業務実施に係る入札金額を記載した書類（以下「入札書」という。）を提出する。入札書に記載する入札金額には、本業務に要する一切の経費の１０８分の１００に相当する金額を記載することとする。

ウ．企画書の内容

入札参加者が提出する企画書には、本実施要項５で示す総合評価を受けるために必要な次の事項を記載する。なお、入札参加者は次の⑤～⑦において、法令に反しない限り、別紙３に示す業務の内容について、改善提案を行うことができる。また入札参加者は必要に応じ企画書提出前に質問を行うことができるものとする。質問を求められた機構は当該入札参加者が企画書を提出期限内に提出できるよう速やかに回答する。

①企業の代表責任者及び本業務担当者【様式１】

入札に参加する事業者の代表責任者及び本業務の担当者を記載する。なお、入札参加グループで参加する場合は、様式１に入札参加グループの一覧、入札参加グループの代表事業者、入札参加グループ員の代表責任者及び各業務の担当者を記載すること。（入札参加グループ結成に関する協定書又はこれに類する書類を添付すること。）

②業務実績【様式２】

本実施要項１（１）イ．で示す業務毎に過去１０年間の主な実績を記載すること。

③本業務に対する認識【様式３】

本業務を実施するにあたっての基本的な方針、業務全般において特に重視するポイント等を記載すること。

④本業務全体及び各業務の実施体制、必要とされる条件を満たす者等の配置【様式４】

本業務全体について及び本実施要項１．（１）イ．で示す業務毎に実施体制及び業務全体の管理方法等を具体的に記載し、必要とされる条件を満たす者の配置を記載する。

⑤質の確保及び業務コスト等削減に対する考え方【様式５】

本業務に関する包括的な質の確保及び各業務の質の確保及び業務コスト等削減に関する考え方を記載する。

⑥改善提案【様式６，７】

改善提案を行う場合、改善提案を行う業務（項目）を明確にし、改善提案を行う理由、改善提案の内容、改善提案による質の向上効果又は経費の削減効果（あるいはその両方）を具体的に示すこと。

⑦緊急時の体制及び対応方法【様式８】

緊急時（本業務の実施に当たり想定していたとおりの業務を実施することが困難になる事故・事象が生じた場合をいう。）のバックアップ体制と対応方法を示す。

エ．その他

上記イの「その他審査に必要となる書類」とは、以下のとおりである。

①入札参加者（入札参加グループの場合はすべての入札参加グループ員）の平成２８・２９・３０年度競争参加資格（国立研究開発法人科学技術振興機構又は全省庁統一資格）の写し
②再委託に関する事項【様式９】
本実施要項８．（７）サ．により本業務の一部についてやむを得ず再委託を行う場合は、再委託する業務の内容、企業名、住所、再委託先の業務履行能力、報告徴収その他の業務管理の方法を具体的に示すこと。
③暴力団排除手続きに関する事項（落札者のみ）
ａ．入札参加事業者等確認書【様式１０】
ｂ．誓約書（暴力団排除条項に該当しないこと及び暴力団又は暴力団関係者を再委託先としないことを誓約する書類。書式自由）

オ．開札にあたっての留意事項
①開札は、入札参加者又はその代理人を立ち会わせて行う。ただし、入札参加者又はその代理人が立ち会わない場合は、入札事務に関係のない職員を立ち会わせて行う。
②入札参加者又はその代理人は、開札時刻後においては、開札場に入場することはできない。
③入札参加者又はその代理人は、開札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ競争参加資格を証明する書類、身分証明書又は入札権限に関する委任状を提示又は提出しなければならない。
④入札参加者又はその代理人は、入札中は、契約担当官等が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、開札場を退場することができない。
⑤開札した場合において、予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、直ちに再度の入札を行う。また再度入札は4回まで とする。

カ．言語及び通貨
入札書、企画書その他の提出書類に使用する言語、通貨、日時及び計量単位は、日本語、日本国通貨、日本の標準時及び計量法（平成４年法律第５１号）に規定する計量単位とする。

５．対象公共サービスを実施する者を決定するための評価の基準その他の対象公共サービスを実施する者の決定に関する事項
民間事業者の決定は、総合評価方式によるものとする。なお、本業務に係る企画書及び業務実施内容の審査・評価に当たり、客観性・公平性を確保するため、本業務に関して利害関係を有しない外部有識者を含む評価委員会を機構に設置して行うものとする。

（１）落札者の決定にあたっての質の評価項目の設定
落札者を決定するための評価は、提出された企画書の内容が本業務の目的・趣旨に沿って実行可能なものであるか（基礎項目評価）、また、提案内容が具体的かつ効果的なものであるか（加点項目評価）について行うものとする。

ア．基礎項目評価(30 点)

仕様書に基づき、入札参加者が提出した提案書の各様式に記載された内容が、基礎項目を満たしているか否かを評価委員会において評価する。具体的な基礎項目は、以下のとおりである。

ａ．機構が要求した提出書類に不足はないか。

ｂ．機構が要求した提案項目についてすべて提案が行われているか。

ｃ．提案内容が、仕様書に示した項目を満たしているか。

ｄ．その他、機構が業務を委託する上で重大な支障や疑義が存在しないか。

当該要件について、全ての基礎項目を充足した提案については、基礎点として 30 点を付与する。また、引き続き、加点項目について評価を行う。なお、基礎項目を満たしていない場合は、その入札参加者は欠格とする。

イ．加点項目評価（70 点）

加点項目評価は、基礎項目評価を充足した者の提案内容について評価委員会において評価する。評価委員会は、各加点項目に対して優れた提案が行われている場合に加点を付与する。加点項目評価の満点は 70 点とし、評価委員会の合議により各提案の加点を付与するものとする。加点項目評価における加点項目及び配点は、下記の表に示すとおりである。

加　点　項　目	評価の基本的視点	配点
統括業務	○業務の実施内容・方法について具体性・適切性に優れているか。 ○業務従事者の能力・適性(同種業務の経験、接客能力等)が優れているか。 ○業務従事者について、外国語能力(対応言語の種類及び各言語の能力の程度)が優れているか。 ○入居率の維持・向上(契約期間終了後を含む)を目的とした広報活動について、体制・方策が具体性・適切性に優れているか。 ○仕様書において機構が要求する水準を上回るようなサービスの質の向上に関する優れた提案がなされているか。	4
窓口業務	○業務の実施内容・方法について具体性・適切性に優れているか。 ○業務従事者の能力・適性(同種業務の経験、接客能力等)が優れているか。 ○業務従事者について、外国語能力(対応言語の種類及び各言語の能力の程度)が優れているか。 ○仕様書において機構が要求する水準を上回るようなサービスの質の向上に関する優れた提案がなされているか。 ○土・日・祝日、夜間における、外国人入居者に必要な生活支援を維持できる体制・方策が具体性・適切性に優れているか。	8
入居受付等業務	○業務の実施内容・方法について具体性・適切性に優れているか。 ○業務従事者の能力・適性(同種業務の経験、接客能力等)が優れているか。 ○業務従事者について、外国語能力(対応言語の種類及び各言語の能力の	4

		程度)が優れているか。 ○仕様書において機構が要求する水準を上回るようなサービスの質の向上に関する優れた提案がなされているか。	
交流促進及び生活支援業務	共通項目	○業務の実施内容・方法について具体性・適切性に優れているか。 ○業務従事者の能力・適性(同種業務の経験、接客能力等)が優れているか。 ○業務従事者について、外国語能力(対応言語の種類及び各言語の能力の程度)が優れているか。 ○仕様書において機構が要求する水準を上回るようなサービスの質の向上に関する優れた提案がなされているか。	4
	交流事業開催	○開催する交流事業について、コストを抑えつつ、サービスの質を向上させる明確かつ適切な方策が示されているか。 ○外国人宿舎の有する設備を効果的に使用した交流事業の提案が具体的になされているか。 ○外国人研究者宿舎の位置づけを損なうことなくつくば地区の国際交流・研究交流を実現する交流事業の提案が具体的になされているか。	4
	生活支援・通知	○外国人入居者の要望や苦情、トラブル、疾病者への迅速、具体的かつ適切な対処方法が示されているか。 ○つくば地区の生活情報について、随時に情報収集する体制・方策が具体性・適切性に優れているか。 ○掲示、チラシ、電子メール以外に、外国人入居者へ効果的に通知を行う具体的・適切な方策が計画されているか。	4
居室設備・備品等の維持管理業務		○業務の実施内容・方法について具体性・適切性に優れているか。 ○業務従事者の能力・適性(同種業務の経験、保有資格等)が優れているか。 ○入居担当以外の業務従事者における外国語への対応能力(英語能力者、その他言語対応者の配置など)が優れているか。 ○仕様書において機構が要求する水準を上回るようなサービスの質の向上に関する優れた提案がなされているか。	4
経理・庶務業務		○業務の実施内容・方法について人員体制を含め具体性・適切性に優れているか。 ○金銭管理者の金銭管理業務に関する適性や事前の教育訓練の方法等が具体性・適切性に優れているか。 ○金銭管理の具体的方法について安全性や適切性に優れているか。 ○仕様書において機構が要求する水準を上回るようなサービスの質の向上に関する優れた提案がなされているか。	4
その他の管理業務		○業務の実施内容・方法について具体性・適切性に優れているか。 ○業務従事者の能力・適性(同種業務実績等)が優れているか。 ○つくば研究学園都市における外国人研究者宿舎の位置づけを踏まえた	4

	運営方針が示されているか。 ○業務実施結果の検証と改善の仕組みが具体的・効果的に示されているか。 ○仕様書において機構が要求する水準を上回るようなサービスの質の向上に関する優れた提案がなされているか。	
研修・教育の方針	○業務従事者の研修・教育方法について具体性・適切性に優れているか。	4
主要リスクへの対応・危機管理方針	○外国人入居者が安全・安心に関する理解に優れ、それを踏まえた安全方策についての考え方が適切か。 ○危機管理(緊急時の連絡体制、有事における対応マニュアルの整備等)の考え方が明確で適切か。 ○各種防災訓練、救命研修等、危機管理にかかる訓練体制が具体的、適切に計画されているか。	4
コスト削減に関する提案	○機構が求める業務の質の水準を確保しつつ、コストの削減につながるような優れた方策の提案があるか。	4
業務実績	○集合住宅（マンション、アパート、学生会館、留学生宿舎、社宅・社員寮等）または宿泊施設（旅館、ホテル等）での実績(業務年数・施設規模等)を踏まえ、「A」8点、「B」4点、「C」2点の3段階で評価する。	8
	○外国人を対象とした交流事業の企画・運営実績(業務年数・業務規模等)を踏まえ、「A」6点、「B」4点、「C」2点の3段階で評価する。	6
入居率向上のための提案	○入居率を向上させるための方策・対策が具体的、適切に提案され、かつ実効性がある内容となっているか。	4
合　　計		70

加点のうち「業務実績」以外の項目は、各項目とも以下の4段階評価に基づき行う。

評価基準		評価係数
A	全体的に優れた提案内容となっている。又は高く評価すべき提案がなされている。	配点×1.00
B	一定の工夫や配慮がなされており評価できるが、優れた提案はなされていない。	配点×0.66
C	一定の工夫や配慮がなされており評価できるが、実現性やコスト等の観点から提案の実現可能性が難しいと判断される。	配点×0.33
D	特に評価すべき工夫や配慮は見られない。	配点×0.00

また、「業務実績」は、平成18年10月1日以降平成28年9月30日迄における宿舎施設(※)の管理運営実績、外国人を対象とした国際交流事業の実績に応じ、以下の方法で加点を行う。

○平成18年10月1日以降平成28年9月30日迄の宿舎施設（※）における管理運営の実績

以下、ⅰ)～ⅲ)の何れにも該当した場合			評価区分及び加点
ⅰ)継続した実績年数	ⅱ)一度に管理した部屋数	ⅲ)一度に管理した外国人入居者の国籍	
4 年以上	100 部屋以上の実績有	4 ヶ国以上	Ａ：8 点
2 年以上	50 部屋以上の実績有	2 ヶ国以上	Ｂ：4 点
1 年以上	30 部屋以上の実績有	2 ヶ国以上	Ｃ：2 点

※宿舎施設とは、集合住宅（マンション、アパート、学生会館等）または宿泊施設（旅館、ホテル等）をいう。

○平成 18 年 10 月 1 日以降平成 28 年 9 月 30 日迄の外国人を対象とした国際交流事業の実績

以下、ⅰ)～ⅲ)の何れにも該当した場合			評価区分及び加点
ⅰ)継続した実績年数	ⅱ)当該イベントに一度に参加した外国人の人数	ⅲ)当該イベントに一度に参加した外国人の国籍(最大)	
2 年以上	20 人以上の実績有	2 ヶ国以上	Ａ：6 点
1 年以上	10 人以上の実績有	2 ヶ国以上	Ｂ：4 点
1 年未満	10 人未満の実績有	2 ヶ国未満	Ｃ：2 点

なお、いずれの場合も、数値については小数点第 4 位を切り捨て、小数点第 3 位までを値として採用する。

（２）落札者決定に当たっての評価方法

ア．落札者の決定方法

落札者の決定方法は総合評価方式（加算方式）で行う。本入札説明書等において明らかにした要求要件のうち必須とされた項目をすべて満たし、当機構が作成した予定価格の制限の範囲内であり、かつ、当該入札者の申し込みに係る入札価格に対する得点（以下「価格点」という。）の配分と、基礎項目評価により得られた基礎点（３０点）と加点項目評価で得られた加算点（最高７０点）を加算した得点（以下「技術点」という。）の合計を合算して得た数値（以下「評価値」という。）の最も高い入札者を落札者とする。

なお、技術点の配分と価格点の配分は１対１とし、入札価格の得点は、入札価格を予定価格で除して得た値を一から減じて得た値に価格点の配分を乗じて得た値とする。

また、当機構では総合評価方式（加算方式）において、総合評価点の内訳は公表していないため予め了承のこと。

総合評価（評価値）に関する事項

①技術点の求め方

技術点＝必須項目評価（基礎点）＋加点項目評価（加算点）

②価格点の求め方

価格点＝価格点の配分×（１－入札価格／予定価格）

③総合評価点の求め方

総合評価点＝技術点＋価格点

（技術点の配分：価格点の配分＝１：１）

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の１００分の８に相当する消費税等の額を加算した金額をもって落札価格とするので、入札者は消費税等にかかわる課税事業者であるか免税業者であるかを問わず見積もった金額の１０８分の１００に相当する金額を入札書に記載すること。入札書に記載された金額の１００分の１０８に相当する金額に１円未満の端数があるときはその端数を切捨てるものとし、当該端数金額を切捨てたあとに得られる金額をもって申し込みがあったものとする。

イ．留意事項

①開札の結果、落札者となるべき者の入札価格が、１０分の６を予定価格に乗じて得た額に満たない場合は、その価格によって契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるか否か、次の事項について改めて調査を実施し、該当するおそれがあると認められた場合、又は契約の相手方となるべき者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すおそれがあって著しく不適当であると認められた場合には、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち、総合評価点が最も高い１者を落札者として決定することがある。

ａ．当該価格で入札した理由及びその積算の妥当性（当該単価で適切な人材が確保されるか否か、就任予定の者に支払われる賃金額が適正か否か、就任予定の者が当該金額で了解しているか否か等）

ｂ．当該契約の履行体制（常駐者の有無、人数、経歴、勤務時間、専任兼任の別、業務分担等が適切か否か等）

ｃ．当該契約期間中における他の契約請負状況

ｄ．手持ち機械その他固定資産の状況

ｅ．国の行政機関等及び地方公共団体等に対する契約の履行状況

ｆ．経営状況

ｇ．信用状況

②開札の結果、落札者となるべき者が二人以上あるときは、直ちに入札参加者又はその代理人にくじを引かせて落札者を決定するものとする。この場合において、入札参加者又はその代理人が直接くじを引くことができないときは、入札執行事務に関係のない職員がこれに代わってくじを引き、落札者を決定するものとする。

③落札者が決定したときは、遅滞なく落札者の氏名若しくは名称、落札価格、落札者決定の理由並びに提案された内容のうち具体的な実施体制及び実施方法の概要について公表するものとする。

（３）初回の入札で落札者が決定しなかった場合の取扱いについて

初回の開札で予定価格の制限の範囲内で入札した者がいないときは、直ちに再度の入札を行うものとする。なお、開札の際に、入札参加者又はその代理人が立ち合わなかった場合には、その再度の入札を辞退したものとみなす。再度の入札によってもなお落札者となるべき者がいない場合には、入札条件を見直し、再度入札公告に付することとする。

再度の入札公告によっても落札者となるべき者が決定しない場合又は再度の入札公告によると本業務の実施の準備に必要な期間を確保することができない等のやむを得ない事情がある場合には、機構が自ら当該業務を実施する等とすることとし、その場合には、理由を公表するとともに、官民競争入札等監理委員会に報告することとする。

６．対象公共サービスに関する従来の実施状況に関する情報の開示に関する事項

従来の実施状況に関する情報は、別紙１のとおり。

７．民間事業者に使用させることができる備品等について

（１）貸与備品

別紙 11 の「主な業務用備品」のとおり

（２）設備・機器等の持ち込み

ア．宿舎の業務に支障を来さない範囲において、民間事業者は宿舎施設内に本業務に必要な機器・設備等を民間事業者の負担において持ち込むことができる。ただし、機器・設備等を持ち込む場合には、事前に機構の了解を得るものとし、本業務を終了した際は、原状回復を行わなければならない。

イ．設備・機器等の持ち込み又は撤去に要する経費及び持ち込んだ設備・機器等から生じる経費については、本実施要項１．（４）イ．で規定する光熱水料を除き民間事業者が負担するものとする。

８．民間事業者が、対象公共サービスを実施するに当たり、国の行政機関等の長等に対して報告すべき事項、秘密を適正に取り扱うために必要な措置その他の対象公共サービスの適正かつ確実な実施の確保のために契約により民間事業者が講ずべき措置に関する事項

（１）報告等について

ア．業務計画書の作成と提出

民間事業者は、本業務を行うに当たり、平成２９年３月２０日までに、管理業務計画書（経費執行計画書を含む。）を機構に提出し、機構と協議しなければならない。管理業務計画書に変更が生じた場合は、当該変更の３日前（但し、日曜日、土曜日、国民の祝日に関する法律で定める国民の祝日、及び年末年始（１２月２９日から翌年１月３日まで）を含まない。）ま

でに、当該変更を機構に届け出て、機構と協議すること。

イ．業務従事者名簿の作成と提出

①民間事業者は、平成２９年３月２０日までに、本業務に従事する者の名簿を作成し、機構に提出すること。また、業務従事者を変更する場合は、当該変更の３日前（但し、日曜日、土曜日、国民の祝日に関する法律で定める国民の祝日、及び年末年始（１２月２９日から翌年１月３日まで）を含まない。）までに、当該変更を機構に届け出ること。

②機構は業務従事者が不適格であると認める場合は、その理由を明らかにし、民間事業者に当該業務従事者への指導を求めることができる。その場合、民間事業者は不適格である理由を確認し、当該業務従事者の改善又は交替を行うものとする。

ウ．業務報告書の作成、提出及び保管

民間事業者は、本業務の履行結果を正確に記載した業務月報及び年間総括報告書を作成し、以下のとおり保管又は提出すること。

①民間事業者は本業務開始前に全ての業務報告書の書式を機構に提出し、承諾を得ること。

②民間事業者は、業務期間中、当月分に係る業務月報を、その月の翌月１０日（当該日が休日の場合には、その直後の平日とする。）までに機構に提出すること。機構の確認を受けた後の業務月報は、業務期間中いつでも閲覧できるように保管すること。

③民間事業者は、毎年４月１０日（当該日が休日の場合には、その直後の平日とする。）までに、本業務に関する年間総括報告書を機構に提出すること。

④民間事業者は、発注業務の履行を通じて、環境対策や防災対策などに関して提案があれば、任意の書式で意見を提出すること。

（２）機構の検査・監督体制

民間事業者からの報告等を受けるに当たり、機構の検査・監督体制は次のとおりとする。

ア．施設管理責任者

国立研究開発法人科学技術振興機構　国際科学技術部長

イ．施設管理担当者及び検査職員

国立研究開発法人科学技術振興機構　国際科学技術部　調査役

ウ．施設管理監督職員

国立研究開発法人科学技術振興機構　国際科学技術部　主査

（３）機構による調査への協力

機構は、民間事業者による業務の適正かつ確実な実施を確保する必要があると認めるときは、民間事業者に対し、本業務の状況に関し必要な報告を求め、又は民間事業者の事務所に立入り、本業務の実施状況若しくは帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。

なお、立入り検査をする者は、検査等を行う際には、当該立入り検査等が法第２６条第１

項に基づくものであることを民間事業者に明示するとともに、その身分を示す証明書を携帯し、関係者に提示するものとする。

（４）指示について

機構は、民間事業者による本業務の適正かつ確実な実施を確保するために必要があると認めるときは、民間事業者に対し、必要な措置を取るべきことを指示することができる。また、機構は、本業務の検査・監督において業務の質の低下につながる問題点を確認した場合は、随時民間事業者に指示を行うことができるものとする。

機構による指示の経路については、以下のとおりとする。

ア．統括業務実施者を通じた報告、指示

民間事業者から機構への業務計画書・作業報告書その他の関係書類（以下「各種書類」という。）の提出及び各種の報告は、下記イの緊急時等を除き原則として統括業務実施者を通して行うものとする。機構は、提出された各種書類及び各種の報告の内容について修正、追加、処置方法等について統括業務実施者に必要な指示を行うものとする。ただし、各種書類の提出及び各種の報告を行う個別業務実施事業者が統括業務実施者を兼任している場合は、統括業務実施者を通して受領・指示を行うものとみなすことができる。

イ．緊急時等における報告、指示

故障・不具合の発生時及び業務の立会時等、早急な判断、対応を必要とする場合（以下「緊急時等」という。）には、個別業務実施事業者は、機構に直接報告を行うことができる。また、緊急時等には、機構は個別業務実施事業者に直接指示を行うものとする。このような場合、個別業務実施事業者は、総括管理業務実施者に対して、必ず事後報告を行うものとする。

（５）秘密の保持

民間事業者は、本業務に関して機構が開示した情報等（公知の事実等を除く。）及び業務遂行過程で作成した提出物等に関する情報を漏洩してはならないものとし、そのために必要な措置を講ずること。民間事業者（その者が法人である場合にあっては、その役員）若しくはその職員その他の本業務に従事している者又は従事していた者は業務上知り得た秘密を漏らし、又は盗用してはならない。これらの者が秘密を漏らし、又は盗用した場合には、法第５４条により罰則の適用がある。

（６）個人情報の保護

ア．基本的な考え方

民間事業者は、個人情報保護の重要性を十分に認識し、本業務を実施するに当たって入手した個人情報の取扱いについては、個人の権利や利益を侵害することがないように独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成１５年法律第５９号）第７条第２項の規定に基づき、個人情報の漏洩、滅失、改ざん又はき損の防止その他個人情報を適切に管理

するために必要な措置を講じなければならない。

イ．保有の制限

民間事業者は、本業務を実施するにあたって個人情報を保有するときは、あらかじめ、本人に対してその利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を入手するものとする。

ウ．利用及び提供の制限

民間事業者は、機構の指示又は承認がある場合を除き、本業務を実施するための利用目的のために個人情報を自ら利用し、又は他者に利用させてはならない。

エ．複写等の禁止

民間事業者は、機構の指示又は承認がある場合を除き、本業務を実施するために機構から提供された個人情報を複写し、又は提供してはならない。

オ．報告

民間事業者は、個人情報の漏洩等が発生し、又は発生の可能性があることを知った場合には、直ちに機構に報告し、その指示に従うものとする。なお、本業務が終了した後においても同様とする。

カ．管理体制の整備

民間事業者は、本業務を実施するに当たり、個人情報の管理に関する責任者を定めるなど管理体制を整備しなければならない。

キ．業務従事者への周知

民間事業者は、本業務に従事する者に対し、在職中及び退職後においても本業務を実施するに当たり知り得た個人情報を漏洩し、又は不当な目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知徹底しなければならない。

（7）契約に基づき民間事業者が講ずべき措置

ア．業務の開始及び中止

①民間事業者は、締結された本契約に定められた業務開始日に、確実に本業務を開始しなければならない。

②民間事業者は、やむを得ない事由により本業務を一時中断しようとするときは、あらかじめ、機構の承認を受けなければならない。

イ．公正な取扱い

①民間事業者は、本業務の実施にあたって、宿舎施設利用者を合理的な理由なく区別しては

ならない。
②民間事業者は、宿舎施設利用者の取扱いについて、自らが行う他の事業における利用の有無等により区別してはならない。

ウ．金品等の授受の禁止
民間事業者は、本業務において、金品等を受け取ること又は与えることをしてはならない。

エ．宣伝行為の禁止
民間事業者及び本業務に従事する者は、本業務の実施にあたって、自らが行う業務の宣伝を行ってはならない。
民間事業者及び本業務を実施する者は、本業務の実施の事実をもって、第三者に対し誤解を与えるような行為をしてはならない。

オ．法令の遵守
民間事業者は、本業務を実施するに当たり適用を受ける関係法令等を遵守しなければならない。

カ．安全衛生
民間事業者は、本業務に従事する者の労働安全衛生に関する労務管理については、責任者を定め、関係法令に従って行わなければならない。

キ．記録・帳簿書類等
民間事業者は、本業務に関して作成した記録や帳簿書類を、本業務を終了し、又は中止した日の属する年度の翌年度から起算して５年間、測定・検査、点検・整備等に関する帳簿書類等は本業務が終了したときから１０年間、一定の場所に保管しなければならない。

ク．権利の譲渡
民間事業者は、原則として、本契約に基づいて生じた権利の全部又は一部を第三者に譲渡してはならない。

ケ．権利義務の帰属等
①本業務の実施が第三者の特許権、著作権その他の権利に抵触するときは、民間事業者は、その責任において、必要な措置を講じなくてはならない。
②民間事業者は、本業務の実施状況を公表しようとするときは、あらかじめ、機構の承認を受けなければならない。

コ．一般的損害
本業務を行う際に生じた損害（本実施要項９に記載した損害を除く）については、民間事

業者がその費用を負担する。但しその損害のうち機構の責めに帰すべき事由により生じたものについては機構が負担する。

サ．再委託の取扱い

①民間事業者（入札参加グループを含む。）は、本業務の実施に当たり、その全部を一括して再委託してはならない。

②民間事業者は、本業務の実施に当たり、その一部について再委託を行う場合は、原則として、あらかじめ企画書（様式９）において再委託に関する事項（再委託先の住所・名称・再委託先に委託する業務の範囲、再委託を行うことの合理性及び必要性、再委託先の業務履行能力並びに報告徴収その他業務管理の方法）について記載しなければならない。また、民間事業者は、企画書の提出前に、再委託先が単独又は入札参加グループで本入札に参加しようとする者でないことを確認するものとする。

③民間事業者は、契約締結後やむを得ない事情により再委託を行う場合には、再委託に関する事項を明らかにした上で機構の承認を受けなければならない。

④民間事業者は、上記②及び③により再委託を行う場合には、民間事業者が機構に対して負う義務を適切に履行するため、再委託先の事業者に対し、前記「（５）秘密の保持」及び「（６）個人情報の保護」並びに「（７）契約に基づき民間事業者が講ずべき措置」に規定する事項について必要な措置を講じさせるとともに、再委託先から必要な報告を徴収することとする。

⑤上記②から④までに基づき、民間事業者が再委託先の事業者に本業務を実施させる場合は、すべて民間事業者の責任において行うものとし、再委託先の事業者の責めに帰すべき事由については、民間事業者の責めに帰すべき事由とみなして、民間事業者が責任を負うものとする。

シ．契約変更

機構及び民間事業者は、実施要項等で機構が提示した条件と異なることとなる場合、その他やむを得ない事由により本契約の内容を変更しようとする場合は、予め変更の理由を書面により相手方へ提出し、相手方の承諾を得た上で本契約の変更を行うものとする。

ス．契約解除

機構は、民間事業者が次のいずれかに該当するときは、本契約を解除することができる。

①偽りその他不正の行為により落札者となったとき

②法第１４条第２項第３号若しくは法第１５条において準用する法第１０条（第１１号を除く。）の規定による民間競争入札に参加する者に必要な資格の要件を満たさなくなったとき

③本契約に従って本業務を実施できなかったとき、又はこれを実施することができないことが明らかになったとき

④上記③に掲げる場合のほか、契約において定められた事項について重大な違反があったとき

⑤法律又は契約に基づく報告をせず、若しくは虚偽の報告をし、又は検査を拒み、妨げ、若

しくは忌避し、若しくは質問に対して答弁せず、若しくは虚偽の答弁をしたとき
⑥法令又は本契約に基づく指示に違反したとき
⑦民間事業者又はその他の本業務に従事する者が、法令又は契約に違反して、本業務の実施に関して知り得た秘密を漏らし、又は盗用したとき
⑧暴力団が業務を統括する者又は従業員としていることが明らかになったとき
⑨暴力団又は暴力団関係者と社会的に非難されるべき関係を有していることが明らかになったとき

セ．契約解除時の取扱い
①上記スに該当し、本契約を解除した場合には、機構は民間事業者に対し，当該解除の日までに当該公共サービスを契約に基づき実施した期間にかかる対価を支給する。
②上記①の場合には、民間事業者は、契約金額の１０８分の１００に相当する金額の１００分の１０に相当する金額を違約金として機構の指定する期間内に納付しなければならない。
③機構は、民間事業者が上記②の規定による金額を機構の指定する期日までに支払わない場合には、その支払期限の翌日から起算して支払のあった日までの日数に応じて、年１００分の２．８の割合で計算した金額を延滞金として納付させることができる。
④機構は、本契約の解除及び違約金の徴収をしてもなお損害賠償の請求をすることができる。

ソ．業務途中における入札参加グループからの脱退
代表企業及びグループ企業は、本業務を完了する日までは入札参加グループから脱退することはできない。

タ．業務途中における参加企業の破産又は解散に対する処置
参加企業のうちいずれかが業務途中において破産又は解散した場合においては、機構の承認を得て、残存参加企業が共同連帯して当該参加企業の分担業務を完了させるものとする。
但し、残存参加企業のみでは適正な履行の確保が困難なときは、残存参加企業全員及び機構の承認を得て、新たな構成員を当該入札参加グループに加入させ、当該参加企業を加えた参加企業が共同連帯して破産又は解散した参加企業の分担業務を完了させるものとする。

チ．談合等不正行為があった場合の違約金等の取扱い
①民間事業者が次に掲げる場合のいずれかに該当したときは、民間事業者は機構の請求に基づき、契約額（この契約締結後、契約額の変更があった場合には、変更後の契約額）の１０８分の１００に相当する金額の１００分の１０に相当する額を違約金として機構の指定する期間内に納付しなければならない。
ａ．この契約に関し、民間事業者が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和２２年法律第５４号。以下「独占禁止法」という。）第３条の規定に違反し、又は契約相手方が構成事業者である事業者団体が同法第８条第１項第１号の規定に違反したことにより、公正取引委員会が民間事業者に対し、同法第７条の２第１項の規定に基づく課

徴金の納付命令を行い、当該納付命令が確定したとき。

ｂ．当該契約に関し、民間事業者（法人にあたっては、その役員又は使用人を含む。）の刑法（明治 40 年法律第 45 号）第 96 条の３又は私的独占の禁止及び独占禁止法第 89 条第１項若しくは第 95 条第１項第１号に規定する刑が確定したとき

②上記①の場合において、民間事業者が入札参加グループであり、既に解散しているときは、機構は、民間事業者の代表者であった者又は構成員であった者に違約金の支払いを請求することができる。この場合においては、落札の代表者であった者及び構成員であった者は、共同連帯して上記①の違約金を機構に支払わなければならない。

③民間事業者が上記①の違約金を機構が指定する期間内に支払わないときは、機構は、当該期間を経過した日から支払いをする日までの日数に応じ、政府契約の支払遅延防止等に関する法律（昭和２４年法律第２５６号）第８条第１項の規定に基づき財務省が告示する政府契約の支払遅延に対する遅延利息を乗じて計算した遅延損害金を民間事業者より徴収することができる。

ツ．設備更新の際における民間事業者への措置

契約期間中に設備が更新される際は、更新機器について民間事業者に通知するとともに、契約変更を行う場合がある。

テ．業務引継ぎの実施

業務期間の初日から確実に業務を遂行するため、本実施要項１（１）ウ．のとおり業務引継を実施すること。

ト．契約の解釈

本契約に関して疑義が生じた事項については、その都度、民間事業者と機構が協議して決定するものとする。

９．民間事業者が対象公共サービスを実施するに当たり第三者に損害を加えた場合において、その損害の賠償に関し契約により当該民間事業者が負うべき責任（国の行政機関等が当該損害の賠償の責めに任ずる場合における求償に応ずる責任を含む。）に関する事項

本契約を履行するに当たり、民間事業者又はその職員その他の本公共サービスに従事する者が、故意又は過失により、当該公共サービスの受益者等の第三者に損害を与えた場合には、次に定めるところによるものとする。

（１）機構が当該第三者に対する賠償を行ったときは、機構は当該民間事業者に対し、当該第三者に支払った損害賠償額（当該損害の発生について機構の責めに帰すべき理由が存する場合は、機構が自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分に限る。）について求償することができる。

（２）当該民間事業者が民法（明治２９年法律第８９号）第７０９条等に基づき、当該第三

者に対する賠償を行った場合であって、当該損害の発生について機構の責めに帰すべき理由が存するときは、当該民間事業者は機構に対し、当該第三者に支払った損害賠償額のうち自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分について求償することができる。

１０．対象公共サービスに係る法第７条第８項に規定する評価に関する事項

（１）実施状況に関する調査の時期

総務大臣が行う評価の時期（平成３１年５月を予定）を踏まえ、本業務の実施状況については、平成３１年３月３１日時点における状況を調査するものとする。

（２）調査の方法

機構は、民間事業者が実施した本業務の内容について、その評価が的確に実施されるように、本要項中に示した報告等を活用するとともに機構による実施状況等の調査を行うものとする。

（３）調査項目

ア．本実施要項１．（２）において本業務の質として設定した項目

イ．別紙３の内容に本実施要項１．（２）ウ．での提案を反映し確定した業務の履行状況（実施回数、実現状況等）

（４）実施状況等の提出時期及び評価委員会の意見聴取

機構は、本業務の実施状況等について平成３１年５月を目途に、総務大臣及び官民競争入札等監理委員会に提出するものとする。また、機構は本業務の実施状況等を提出するに当たり、機構に設置する本業務に関して利害関係を有しない外部有識者を含む評価委員会に報告を行い、意見を聴くものとする。

１１．その他対象公共サービスの実施に関し必要な事項その他

（１）対象公共サービスの監督上の措置等の監理委員会への報告

機構は、法第２６条及び第２７条に基づく報告徴収、立入検査、指示等を行った場合には、その都度、措置の内容及び理由並びに結果の概要を監理委員会へ報告することとする。

（２）機構の監督体制

ア．本業務の契約に係る監督は、施設管理担当者及び検査職員が、自ら又は補助者に命じて、立会い、指示その他の適切な方法によって行うものとする。

イ．本業務の実施状況に係る監督は、上記８．（２）により行うこととする。

（３）民間事業者が負う可能性がある主な責務等

ア．民間事業者の責務等

本業務に従事する者は、刑法（明治４０年法律第４５号）その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなされる。

イ．会計検査について

民間事業者は、本業務の内容が会計検査院法（昭和２２年法律第７３号）第２２条に該当する場合又は同法第２３条第１項第７号に規定する「事務若しくは業務の受託者」に該当し、会計検査院が必要と認める場合には、同法第２５条及び第２６条により、会計検査院の実地の検査を受けたり、同院から直接又は機構を通じて、資料・報告等の提出を求められたり又は質問を受けたりすることがある。

別紙１

従来の実施状況に関する情報の開示

１．従来の実施に要した経費　　（単位：千円）

			平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	人件費	常勤職員			
		非常勤職員			
	物件費				
	委託費等	定額部分	74,068	88,480	88,480
		成果報酬等			
		旅費その他			
計（ａ）			74,068	88,480	88,480
参考値（ｂ）	減価償却費				
	退職給与引当金				
	間接部門費				
（ａ）＋（ｂ）			74,068	88,480	88,480

（注記事項）

契約は総価で、委託費の支払いは四半期ごとの前払い。

１．平成２５年度

複数年度契約（平成２４～２５年度の２年契約）の平成２５年度１年分。

平成２５年度までは、別途業務を委託している「管理運営業務」とあわせた１つの契約であったため、上記の金額は「生活サポート等業務」の対象となる実施経費を抽出したもの。

総合評価方式による一般競争入札により事業者を決定している。

２．平成２６・２７年度

複数年度契約（平成２６～２８年度の３年契約）の平成２６・２７年度１年分。

総合評価方式による一般競争入札により事業者を決定している。

２．従来の実施に要した人員　（単位：人）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
機構職員	0	0	0
受託事業者	15	14	16

（業務従事者に求められる知識・経験等）

入居者が外国人であることに鑑み、外国語を用いた業務の経験が豊富にあること。

（業務の繁閑の状況とその対応）

各月での居室利用状況は以下のとおり。

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
4 月	72.8%	69.9%	64.3%
5 月	80.7%	78.2%	70.3%
6 月	89.0%	84.1%	72.5%
7 月	91.7%	82.9%	81.1%
8 月	83.0%	75.8%	74.6%
9 月	74.4%	70.8%	66.0%
10 月	78.5%	78.8%	70.3%
11 月	77.0%	78.8%	74.8%
12 月	69.8%	75.2%	65.1%
1 月	70.6%	75.1%	71.3%
2 月	81.3%	78.5%	74.0%
3 月	73.0%	69.0%	76.0%

（注記事項）

入札の対象である業務の全てを外部委託により実施。

３．従来の実施に要した施設及び設備

（生活サポート等業務に係る施設及び設備）

施設概要及び設備図面（別紙１３－１、１３－２）を参照

（注記事項）

１．上記の施設及び設備については、 請負業務を行なう範囲において無償貸与。

２．上記以外で請負業務を行なうにあたり、必要なものは請負業者が用意する。

３．上記２．において請負業者が用意する設備は、宿舎施設の他の業務に支障のないものに限る。

４．従来の実施における目的の達成の程度

（生活サポート等業務に係る目的の達成の程度）

１．本業務の不備に起因する窓口業務の停止（平成２５年度～２７年度）

・実績：０回

２．本業務の不備に起因する入居受付業務の停止（平成２５年度～２７年度）

・実績：０回

３．本業務の不備に起因する生活支援業務の停止（平成２５年度～２７年度）

・実績：０回

４．本業務の不備に起因した居室における人身事故又は物損事故（平成２５年度～２７年度）

・実績：０回

５．居住者に対し退去時に実施するアンケートのうち、サービスに関する設問について、「Very satisfied（とても満足）」「Satisfied（満足）」の評価の割合（平成２５年度～２７年度）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
満足度	99.5%	100%	100%
（回収率）	75.0%	68.2%	71.2%

５．従来の実施方法等

従来の「生活サポート等業務」に関する使用状況は次のとおり。

１．年間入居率

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
竹園ハウス	89.7%	87.4%	79.8%
二の宮ハウス	76.3%	74.2%	70.1%
全体	78.5%	76.4%	71.7%

２．国籍別の利用件数

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
中国	139 件	125 件	143 件
日本	40 件	55 件	67 件
インド	57 件	60 件	52 件
韓国	49 件	48 件	52 件
アメリカ	34 件	42 件	52 件
その他	53 ヶ国 370 件	54 ヶ国 354 件	54 ヶ国 390 件
全体	689 件	684 件	756 件

３．機関別の利用件数

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
物質・材料研究機構	450 件	403 件	459 件
筑波大学	38 件	65 件	74 件
産業技術総合研究所	61 件	62 件	58 件
国立環境研究所	47 件	67 件	48 件
その他	21 機関 93 件	18 機関 87 件	18 機関 117 件
全体	689 件	684 件	756 件

４．交流事業の開催件数

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
イブニングフォーラム等	10 回	7 回	7 回
文化教室等	12 回	11 回	10 回
日本語教室	4 期 132 回	4 期 176 回	4 期 176 回

５．共用部施設の利用状況

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
集会室	196 回 （909 時間）	147 回 （653 時間）	104 回 （537 時間）
交流サロン	223 回 （617 時間）	93 回 （380 時間）	96 回 （344 時間）
セミナー室１・２	109 回 （169 時間）	184 回 （288 時間）	179 回 （274 時間）
打合せ室１・２	92 回 （160 時間）	65 回 （131 時間）	23 回 （45 時間）
ゲストルーム	74 回 （262 泊）	87 回 （354 泊）	73 回 （264 泊）
バーベキューコーナー	69 回 （323 時間）	47 回 （210 時間）	49 回 （240 時間）
和室	3 回 （24 時間）	2 回 （16 時間）	3 回 （18 時間）

○実施体制等

平成 26 年度～平成 27 年度の受託事業者の実施体制は以下のとおり。

本部 － つくば事務所 － 外国人宿舎事業部 － 宿舎統括責任者 － 各業務担当者

（※つくば事業所にサポートセンターを併設し、非常時協力依頼）

なお、監督部署である機構国際科学技術部の組織図は次のとおり。

（施設管理責任者）－（施設管理担当者及び検査職員）－（施設管理監督職員）

国際科学技術部/部長　－　国際科学技術部/調査役　－　国際科学技術部/主査

Ninomiya House Resident Satisfaction Questionnaire

Thanks for staying at Ninomiya House. We would greatly appreciate it if you took some time to complete this questionnaire before handing it in to the Administration Office personnel upon room inspection.

1 How long was your stay at Ninomiya House?

☐less than 2 weeks ☐2 weeks to 1 month ☐1 to 3 months

☐3-6 months ☐6 to 12 months ☐over 1 year

2 Accommodations

・Did you enjoy living here？ ☐very much ☐fairly ☐not really

・Electric appliances and electronic equipment selection ☐good ☐fair ☐unsatisfactory

・Kitchen ware & utensils ☐good ☐fair ☐unsatisfactory

・Bedding ☐good ☐fair ☐unsatisfactory

3 Shared Spaces (Entrances, Communal rooms, Corridors, Facilities)

・How satisfied are you with the overall maintenance of the accommodation buildings and facilities ?

☐Very satisfied ☐Satisfied ☐Dissatisfied ☐Very dissatisfied

・How satisfied are you with the frequency and quality of the cleaning for the shared spaces?

☐Very satisfied ☐Satisfied ☐Dissatisfied ☐Very dissatisfied

4 Services

・How satisfied are you with your staff's friendliness, help and adequate support with your questions regarding essential information about everyday living?（i.e. Help re Hospitals, Schools, City Hall, the Police, et al.）

☐Very satisfied ☐Satisfied ☐Dissatisfied ☐Very dissatisfied

・Are you satisfied with our various cultural events, workshops and seminars?

☐Very satisfied ☐Satisfied ☐Dissatisfied ☐Very dissatisfied

・Are you satisfied with our support when there were problems with your apartment, appliances, and/or equipment?

☐Very satisfied ☐Satisfied ☐Dissatisfied ☐Very dissatisfied

5 Would you like to stay at Ninomiya House again?

☐ Yes, of course. ☐Not sure ☐Not anymore

6 Comments:

Thank you for your cooperation!

Room # (optional) Date

Takezono House Resident Satisfaction Questionnaire

Thanks for staying at Takezono House. We would greatly appreciate it if you took some time to complete this questionnaire before handing it in to the Administration Office personnel upon room inspection.

1　How long was your stay at Takezono House?

☐3-6 months　☐6 to 12 months　☐over 1 year

2　Accommodations

・Did you enjoy living here？　☐very much　☐fairly　☐not really

・Electric appliances and electronic equipment selection　☐good　☐fair　☐unsatisfactory

・Kitchen ware & utensils　☐good　☐fair　☐unsatisfactory

・Bedding　☐good　☐fair　☐unsatisfactory

3　Shared Spaces (Entrances, Communal rooms, Corridors, Facilities)

・How satisfied are you with the overall maintenance of the accommodation buildings and facilities ?

☐Very satisfied　☐Satisfied　☐Dissatisfied　☐Very dissatisfied

・How satisfied are you with the frequency and quality of the cleaning for the shared spaces?

☐Very satisfied　☐Satisfied　☐Dissatisfied　☐Very dissatisfied

4　Services

・How satisfied are you with your staff’s friendliness, help and adequate support with your questions regarding essential information about everyday living?（i.e. Help re Hospitals, Schools, City Hall, the Police, et al.）

☐Very satisfied　☐Satisfied　☐Dissatisfied　☐Very dissatisfied

・Are you satisfied with our various cultural events, workshops and seminars?

☐Very satisfied　☐Satisfied　☐Dissatisfied　☐Very dissatisfied

・Are you satisfied with our support when there were problems with your apartment, appliances, and/or equipment?

☐Very satisfied　☐Satisfied　☐Dissatisfied　☐Very dissatisfied

5　Would you like to stay at Takezono House again?

☐ Yes, of course.　☐Not sure　☐Not anymore

6　Comments:

Thank you for your cooperation!

Room #＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿(optional)　Date＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

外国人研究者宿舎生活サポート等業務

仕様書

平成２８年〇月

国立研究開発法人科学技術振興機構

Ⅰ．業務の目的

国立研究開発法人科学技術振興機構（以下、「機構」という。）外国人研究者宿舎「二の宮ハウス」「竹園ハウス」（以下、「宿舎」という。）の良好な管理運営を実施するとともに、主につくば地区の公的研究機関等で研究活動を行う宿舎利用の外国人研究者及びその家族（以下、「居住者」という。）の生活を支援し、併せて宿舎内外の研究者等との国際交流の場を提供することにより、科学技術交流に資することを目的とする。

Ⅱ．業務成果の目標

１．外国人研究者が研究活動に専念できる安全・快適な居住環境の提供
２．低廉かつ良質なサービスの提供
３．居住者への国際交流の場の提供
４．入居者アンケートにおけるサービスに対する満足度８０％以上の達成

Ⅲ．対象施設の概要

１．「二の宮ハウス」
（１）所在地　　：つくば市二の宮１－６－２
（２）敷地面積　：6,569 ㎡
（３）主用途　　：宿泊施設（1LK 104 室、1LDK71 室、駐車場 148 台）
（４）延床面積　：18,298 ㎡
（５）規模構造　：地下 1 階地上 9 階 SRC 造（一部 RC 造）
（６）竣工日　　：平成 13 年 3 月

２．「竹園ハウス」
（１）所在地　　：つくば市竹園２－２０－４
（２）敷地面積　：1,500 ㎡
（３）主用途　　：宿泊施設（1 人用 1LDK 24 室、2 人用 1LDK 6 室、家族用 2LDK 6 室、駐車場 14 台）
（４）延床面積　：2,599 ㎡
（５）規模構造　：地上 7 階 RC 造
（６）竣工日　　：平成 3 年 3 月

Ⅳ．契約期間

契約期間は、平成２９年４月１日～平成３２年３月３１日（３年間）とする。

Ｖ．業務概要

１．　一般事項

（１）業務管理体制

①業務責任者

業務責任者を定め、本仕様書Ｖ．３．（１）に定める期限までに文書にて機構に提出する。

②要員

業務責任者の他、本仕様書に定められた業務を遂行するために、必要な人員を確保して業務を行う。入居者が外国人であることに鑑み、英語（日常英会話程度）を用いて業務を行うことのできる要員を確保すること。平成２５年度・２６年度・２７年度の国・地域別受入実績については、別紙５を参照のこと。

想定する要員は、原則業務責任者１名、窓口業務１名、入居受付等業務２名、交流促進及び生活支援業務２名、居室設備業務１名、竹園ハウスにおける業務１名、経理業務２名とする。なお、窓口業務は他の業務担当者と兼務可能とする。

③勤務時間及び勤務日

・原則として平日（月～金）の８：３０～１７：３０　※窓口業務を除く

・勤務時間外や土・日・祝日であっても交流事業等が予定される場合や緊急事態が発生した場合は、必要に応じて対応するものとする。

窓口業務の勤務日及び勤務時間については以下のとおり。

ア)「二の宮ハウス」管理事務室での窓口業務

・年末年始（１２月２９日～１月３日）を除く毎日８：３０～１７：３０

・交流事業等が予定される場合や緊急事態が発生した場合は必要に応じて対応するものとする。

イ）電話による窓口業務

・ア）を除くすべての時間において、電話による各種受付、生活サポート業務等を実施するものとする。

④入居管理規則

入居管理規則については別紙４「外国人研究者宿舎の運営に関する内規」を参照のこと。

⑤帳簿書類等の保存

受託者は、出納に関する帳簿書類等は受託業務が完了したときから５年間、測定・検査、点検・整備等に関する帳簿書類等は受託業務が完了したときから１０年間、一定の場所に保存すること。

（２）費用分担

①機構が負担する経費

・業務に必要な電気・水道及びガス料金。

・業務で使用する電話料金。

・業務上必要な部屋、事務机等及び内線電話機は無償貸与とする。

②受託者が負担する経費

・事務用消耗品、制服、靴、帽子等。

・点検及び軽微な修繕に必要な工具、部品及び簡単な測定器具。

（３）消耗品・修繕等にかかる経費

①居室設備・備品等にかかる修繕（装置本体・部品交換を含む）については、機構と協議の上、１件２０万円未満（税込）のものを委託費から支出できるものとする。

②居室設備・備品等にかかる消耗品は、原則として宿舎における在庫や備蓄等からの払出しを優先するが、必要により機構と協議の上、委託費から支出できるものとする。

③１件が２０万円以上（税込）の場合であっても、居住者及び来館者の安全・利便確保の観点等から至急の対応が必要と見込まれる場合には、機構の了承を経て、委託費から支出できるものとする。

④各種機器にかかる保守サービスについては委託費から支出することとする。

⑤災害用備蓄食糧品については原則委託費から支出することとする。現時点での備蓄食糧品在庫については別紙 11（主な業務用備品）を参照のこと。

⑥当該経費は実費精算するものとし、入札書の作成においては５００万円（税込）を仮置きし積算に含めることとする。

なお、別紙６のとおり居室・共用室には機構が所有する物品があり、受託者は無償で利用可能。

（４）保険について

火災保険、施設所有賠償責任保険等に関しては、機構が契約、支払いを行う。受託者が保管する現金に対する保険は委託費より支出することとする。

２．業務内容

業務実施場所である宿舎事務所及び各施設内で、以下の業務を実施する。

（１）統括業務

①業務責任者として、委託された全業務を統括し、全従業員の管理及び指導監督を行うと同時に委託された全業務の窓口となり、機構及び管理運営業務担当と密接に連携し、円滑で効果的・効率的な業務運営にあたる。

②各業務担当から提出された管理実施計画等の確認、精査、全体の管理実施計画の立案・作成を行う。

③入居率の向上及び宿舎のイメージアップを目的とした宣伝活動及び情報収集等を行う。

④貸与された施設及び施設に付帯する設備、機器、物品等の統括管理を行う。

⑤すべての業務に対する改善提案を行う。

⑥その他統括業務上必要な事務処理を行う。

（２）窓口業務

①来館者の受付
②利用申込のあった共用室等の解錠及び施錠
③郵便物・新聞・宅配便の受け渡し
④情報ライブラリー新聞ラックへの新聞綴じ込み
⑤電話の応対
※土・日・祝日の昼間に竹園ハウスに着信した電話は二の宮ハウスへ転送することで対応。
⑥急病、災害等緊急事態発生時の初期対応
⑦宿舎設備、備品等の不具合発生時の初期対応
⑧拾得物の管理
⑨その他、業務の実施上必要な業務

（３）入居受付等業務
①宿泊を利用できる資格、条件については、別紙４「外国人研究者宿舎の運営に関する内規」を参照のこと。
②入居希望者或いは希望者の所属する研究機関等より宿舎入居希望を受け付け、機構が所有し本件業務受託者が無償で使用できる「入居管理システム」を利用し、入居の可否確認及び調整を行う。申込みが入居希望者個人からのものであった場合は、所属する研究機関を通じて申請を行うよう促すこと。
③入居可能な場合は、利用申請書一式の提出を依頼し、内容に過不足ないこと、誤りが無いことを確認した上で機構に提出する。機構の承認を得たものについては、入居許可証を発行するので、受託者は発行された許可書を各申込研究機関担当者に郵送する。入居時には受入研究機関等の立ち会いのもとで、手続きおよび居室説明を行う。
④入居期間内に発生す滞在期間の延長、短縮、家族来日に伴う居室移動の希望等を受け付け、必要な調整を行う。
⑤入居期間中の中間時（半年に１回）及び退去時に居室の清掃を行う。各室最適な方法で清掃を実施し、次の入居に備える。詳細については別紙７「居室清掃業務について」を参照のこと。
⑥居室のほかゲストルーム（二の宮ハウス）についても、居住者等からの利用申し込みの受け付けを行うとともに、利用開始および終了時に鍵の受け渡しを行う。また、1 階南側 9 室のゲストルームについても⑤の居室同様、清掃を行う。
⑦団体での二の宮ハウスの宿泊利用を受け入れる場合、既存入居者対応（宿泊室確保のため、必要に応じ居室を移す、予約を調整する等）を含め、宿泊利用対応を行うこと。
近年の団体受け入れ実績は以下のとおり。
・平成 26 年度：国際生物学オリンピック日本委員会「日本生物学オリンピック 2014
86 名（2 人部屋 28 室、ゲストルーム 3 室）

（４）生活支援及び交流促進業務
① 居住者にとって生活上必要な病院・学校・役所等に関する情報を提供し、日本語又は外国語で助言して以下の生活支援を行う。居住者から要請があった場合、必要に応じて公的機関への

同行や各種手続きの代行を行う。詳細は別紙８「生活支援業務について」を参照のこと。

・住民登録、住所変更等在留カードの記載事項変更に係る手続き
・国民健康保険、児童手当、医療福祉費支給制度の加入・解約に係る手続き
・保育園への入退所、幼稚園､小学校、中学校への入学・転入・転出に係る手続き
・保育園、幼稚園、小学校、中学校からの連絡事項伝達
・母子手帳取得にかかる手続き
・警察での手続き
・各種公的証明書取得に係る手続き
・自動車保有に係る公的手続き

② 新規の入居者が日本語で必要最低限のコミュニケーションを図れるよう、入居者本人や受入機関等の要望に応じて日本語習得の機会を設ける。

③居住者が周囲と交流できるイベントを計画し､実施する｡開催頻度は四半期に３回以上とし、参加者が日本や地域の特性､科学技術に関する取り組み等を有意義に学ぶことができる文化行事やセミナー等を取り入れる。本業務の提案内容を実施するにあたり､係る経費は入札価格に含めること。なお、以下の点を仕様条件とする。近年の開催イベントについては別紙９「交流イベントの実績」を参照のこと。

ア）参加者に各種イベントの満足度アンケートを実施し、アンケート結果を分析することで次回以降の交流行事へ役立てる。
イ）居住者から交流イベントの開催に関する相談があった場合には、適切な助言や支援を行い、本人が積極的に企画、運営に参画する流れをつくる。
ウ）居住者のほか、地域住民が参加できる交流事業を実施し、地域交流も図る。
エ）つくば地区の他機関とイベントを共催するなどして協賛金や寄付金等を得ることでコストの削減を図る。
オ）材料費、飲食費等は、受益者負担を取り入れ参加費を徴収し、コスト削減を図る。
カ）年間経費（委託費負担額）は上限を３５０万円（税込）とする。

④居住者に塵芥の扱いを周知し、市又は指定業者にその処理・収集を依頼すること。なお、粗大ゴミの処理費用は粗大ゴミを排出した居住者負担とする。

⑤宿舎周辺の住民との融和を常に心掛け、適宜地元自治会を通してチラシ等で交流イベントの開催について案内する。また、近隣住民とのトラブルが発生した場合、対応を行う。
宿舎周辺に迷惑を及ぼす可能性のある作業、行事を行う場合は、事前に近隣の住民、事業者等へ周知すること。

⑥国・地方自治体、マスコミ等から視察、取材、利用要請等があった場合は、事前に機構に連絡し、その可否を確認するとともに、対応後はその結果を機構に報告すること。

⑦入居見学希望への対応や行事開催の広報活動を必要に応じ行うこと。

⑧居住者に関わる居室及び共用室の定期点検、イベント開催、注意事項等、随時日本語及び外国語にて掲示、メール、書面等を用いて周知する。現在の運用内容ついては、別紙８「生活支援業務について」を参照のこと。

（５）居室設備・備品等の維持管理業務

①居室設備・備品等に対して日常・定期的に外観・機能の点検・検査・確認を行う。異常や故障が生じた場合、簡易な補修（１件２０万円未満（税込））は受託者が実施することとし、自ら行えない場合には迅速に関連業者に連絡して修理を実施する。

②居室内の寝具・食器等の消耗品、駐車場の貸出し用自転車ついても定期的に点検、在庫管理を行う。

③ 利用料金収受に関係する電話交換機、電気・ガス・水道メーター、集中検針装置（二の宮ハウスのみ)、電話料金収集システム（竹園ハウスのみ）については保守点検を行うこと。

④修繕に関する整備報告書､作業完了報告書には具体的な内容を記載し､写真を添付すること。また、使用した部品・部材及び発生した部材・残材の写真もあわせて掲載すること。作業実施中の安全衛生管理には留意し、労働基準法、労働安全衛生法、法令・規則を厳守し業務を実施すること。

⑤居住者が退去する際は、事前に居住者と日程を調整し、居室内の状況を確認する。退去後、次の入居日までに速やかに居室の現状復帰作業を行う。

⑥二の宮ハウス内の共用室（交流サロン、和室、集会室、セミナー室、スポーツジム、キッズルーム室等）を利用する居住者に対し、利用規定を徹底する。

⑦居住者より宿舎共用部に設置された各種設備機器、共用部の清掃、宿舎内外の植栽管理等に対するクレームがあった場合は管理運営事業担当に伝達し、対応を依頼すること。

（６）経理・庶務業務

①機構との契約締結及び委託費の執行を行う。

②「入居管理システム」「検針・請求業務システム」のデータに基づき、月末締めで居住者もしくは居住者の所属先に対して宿舎利用料、駐車場利用料、光熱水使用料、電話使用料等の請求書を発行し、原則翌月１０日までに徴収する。（※「竹園ハウス」の電気、ガス、水道の使用量は目視により検針する。）

③「二の宮ハウス」のゲストルーム、集会室等の利用料も徴収し、②の居住者もしくは居住者所属先からの徴収分と併せて翌月末営業日（金融機関が休業の場合はその直前の営業日）までに機構に送金する。

④共用部の ACCS インターネット接続料は委託費から支出することとし、各居室の個別契約の ACCS ケーブルテレビ利用料、ACCS インターネット接続料については居住者負担とする。

⑤宿舎利用料については、別紙４「外国人研究者宿舎の運営に関する内規」、共用室の料金体系は別紙 10「二の宮ハウス共用室の利用料金」を参照のこと。

（７）その他の管理業務

①施設及び敷地内の秩序及び規則を守り、盗難、破壊等の犯罪及び火災等の災害の発生を警戒・防止する。

②入居時、非常時に関する案内書を手渡し、防災意識の周知徹底を図ること。また、法令に則り防火管理業務の一環として、管理運営業務担当と密接に連携し、年２回宿舎内各所に配置さ

れた防火設備、誘導灯、警報装置の定期保守点検、避難経路の確保点検を実施する他、年１回管轄消防署の協力を得て、居住者を対象に通報・消防・避難訓練を行うこと。

③非常時には「外国人宿舎に係わる非常時連絡網」（Ⅴ．３．（１）参照）に基づいて連絡体制を敷き、居住者及び来館者の安全を最大限に確保すること。また、管理運営事業担当及び警備会社と協力し、密接に連携し対応すること。

④ 施設の共用部のみならず、居住者に対しても協力を求め、宿舎全体での節水・節電・省エネルギーに努めること。また、居住者に対する家庭内で実施可能な省エネ対策についての啓蒙活動も適宜行うこと。

⑤ 機構が居室設備・備品等に対し計画・実施する修繕、機器交換、備品購入等において、（ア）仕様を策定するために必要な現場の状況調査・報告、（イ）周辺事業者からの参考見積書の徴取、（ウ）請負者確定後の実施のための現地調整 を行うこと。

⑥入居促進のため、各研究機関等の担当者・研究者に対して宣伝活動及び情報収集を行うこと。また各研究機関等において受入研究者が居住する宿泊施設提供の調達等が実施される際は、機構に報告の上、積極的に調達に参加すること。

⑦宿舎パンフレットは適宜見直し、更新すること。また、宿舎ホームページに掲載する交流イベント情報を適宜機構に提供すること。

⑧退去者へアンケート（別紙２）を実施し、回収後、機構へ送付すること。

⑨災害時用備蓄機材及び備蓄食料等の在庫・使用期限の管理を行い、更新した際は在庫状況を機構に報告すること。

３．提出書類

（１）提出書類について

①業務計画書（１部、要承認）

受託者は、契約期間中の生活サポート等業務計画（経費計画を含む）を平成２９年３月２０日までに提出し、機構の了承を得ること。

②従事者名簿（１部、要承認）

受託者は、生活サポート等業務に従事する者について名簿を、平成２９年３月２０日までに提出し、機構の了承を得ること。また契約期間中に変更等が発生する場合も機構に提出し、了承を得ること。

③外国人宿舎に係わる非常時連絡網（１部、要承認）

受託者は、外国人宿舎に係わる非常時連絡網を、平成２９年３月２０日までに提出し、機構の了承を得ること。また契約期間中に交替等が発生する場合も同様とする。

④交流事業等計画書

受託者は、文化交流事業やセミナー等の内容、講師、予算等について計画書を作成し、開催（予定）日の概ね２週間前までに提出し、機構の了承を得ること。

⑥ 月初報告書

受託者は、月別の利用状況、過去の当該年月の入居率実績と対比した目標入居率（年間、月間）見込み、目標入居率達成のための計画を毎月１０日までに提出すること。

⑦ 月次報告書

受託者は、当月実施した生活サポート等業務等及び経理業務等を記載した報告書を翌月１０日までに提出すること。

⑦光熱水料等報告書

受託者は、徴収した電気・ガス・水道使用料、電話利用料及びNHK受信料の報告書を毎月１５日までに提出すること。

⑧随時報告書

受託者は、緊急時対応など重要な事項、外部来訪者対応、居住者及び来館者への周知事項等が発生した場合は、速やかに報告書を提出すること。（軽微なものを除く）

⑨業務完了報告書

受託者は、会計年度が終了したとき（毎年３月末）及び受託業務が完了したときは業務完了報告書を作成し、終了及び完了の日から３０日を経過した日又は翌会計年度の４月１０日のいずれか早い日までに機構に提出しなければならない。

⑩その他機構が必要と認めたもの。

（２）（１）の各種計画書、報告書の提出先及び請求書の送付先

〒102-0076 東京都千代田区五番町７番地

国立研究開発法人科学技術振興機構　国際科学技術部

Ⅵ. 特記事項

（１）現地見学会を平成２８年１２月中旬頃（予定）に開催するので、希望者は別途指定する日時までに所定の手続きをとること。

（２） 受託者の留意点

①受託者は、居住者及び来館者に対するサービスを第一とし、機構及び管理運営業務担当と密接に連携し、宿舎における全ての業務が円滑に遂行されるよう、最大限の努力をすること。

②受託者は、定めのない事項であっても本業務の性質上当然行うべき自然付帯的なものについて、契約の範囲内で実施すること。

③受託者は、関係諸法令及び保安関係規則等を遵守すること。

④受託者は、個人情報の適切な管理のために必要な措置を講ずること。

（３）受託者の責任

①受託者は、居住者及び来館者等に被害があった場合には迅速かつ適切な対応を行い、遅滞なく機構に報告を行わなくてはならない。

②受託者は、事業継続が困難になった場合又はその可能性が生じた場合には、速やかに機構に報告を行わなくてはならない。

③受託者は、故意または重大な過失により施設及び備品等に損失を与えた場合は、その損害を賠償しなければならない。

（4）モニタリング

機構は、契約期間中の受託者の業務の実施状況を把握し、必要なサービス水準を確保するためにモニタリングを行うことがある。モニタリングの結果、本仕様書、事業計画書に記載された事項が実施されていない場合には､機構は改善措置を講ずる等の指導を行う｡さらに必要な場合は、委託の中断を行うこともある。

（5）主な業務用備品（別紙 11）は外国人研究者宿舎におけるすべての業務にて共用するものである。経年劣化等により貸与物品の使用が困難な場合は落札事業者が用意すること。

Ⅶ. 添付資料

別紙２：退去時アンケート
別紙４：外国人研究者宿舎の運営に関する内規
別紙５：国・地域別受入実績
別紙６：居室・共用室の家具・家電・備品
別紙７：居室清掃業務について
別紙８：生活支援業務について
別紙９：交流イベントの実績
別紙 10：二の宮ハウス共用室の利用料金
別紙 11：主な業務備品

以上

外国人研究者宿舎の運営に関する内規

国際科学技術部　内規第１号
（平成26年４月１日　H25科振総第358-5号）
（平成27年４月１日　H27国際第1-3号）
（平成28年2月１日　H27国際第287-1号）

（目的）

第１条　この内規は、国立研究開発法人科学技術振興機構が外国の研究者の利用のために設置する宿舎（以下「宿舎」という。）の運営について定めることを目的とする。

（管理者）

第２条　この内規に定める宿舎の運営に係る事務は、国際科学技術部において行い、その責を負う者（以下「管理者」という。）は国際科学技術部長とする。

（利用資格）

第３条　宿舎を利用できる者は、次に掲げる者とする。

（１）　国立試験研究機関、試験研究に関する業務を行う独立行政法人、大学、公共的な試験研究機関等（以下「研究機関等」という。）において研究に従事する外国の研究者

（２）　民間企業の研究グループにおいて研究に従事する外国の研究者

（３）　研究機関等及び民間企業の研究グループにおいて研究に従事する日本の研究者で宿舎を利用する外国の研究者と交流を行う者

（４）　その他必要と認められる者

（利用期間）

第４条　宿舎を利用できる期間は、原則として５年以下とする。ただし、特別の理由があると管理者が認めた場合は、この限りではない。

（利用の許可）

第５条　宿舎の利用を希望する者は、利用申請書及び許可書（様式第１号）を、管理者に提出しなければならない。

２　管理者は、提出された利用申請書及び許可書（様式第１号）に対し、文書により宿舎の利用を許可するものとする。

（同居）

第６条　前条第２項に定める許可を受けた利用者（以下「利用者」という。）は、その許可を受けた同居者以外の者を同居させてはならない。ただし、特別の理由があると管理者が認めた場合は、この限りではない。

（利用の開始）

第７条　利用者は、宿舎の利用を開始したときは、遅滞なく、誓約書及び利用届出書（様式第２号）を管理者に提出しなければならない。

（利用料等）

第８条　利用者は、別表に定める宿舎の利用料を毎月管理者の指示に従い支払わなければならない。ただし、特別の理由があると管理者が認めた場合は、別に定めることができる。

２　利用料は、月額によるものとし、月の途中で宿舎の利用を開始し又はこれを退去した場合

におけるその月分の利用料は日額により計算した額とする。

３　宿舎の利用許可を受けた者は、前２項に定める利用料を指定期日までに納付しなければならない。

４　前各項に定める利用料のほか、光熱水料等の実費は利用者が負担する。

（利用料の返還）

第９条　納付された利用料は、次のいずれかに該当する場合以外は原則として返還しない。

（１）　天災その他やむを得ない事由により宿舎を利用できなくなったとき。

（２）　管理者の都合により宿舎の利用許可を取消し、または利用を中止させるとき。

（禁止事項）

第10条　利用者（同居者を含む。以下同じ。）は、次の行為をしてはならない。

（１）　宿舎の設備及び備品を宿舎の外に持ち出すこと。

（２）　宿舎を本来の利用目的以外の用に供すること。

（３）　宿舎における危険物の使用又は構造物に損害を与える行為をすること。

（４）　宿舎を理由なく長期にわたってあけること。

（５）　その他宿舎内の風紀秩序を乱し、近隣者に迷惑を及ぼす行為をし、又は及ぼすおそれのある行為をしようとすること。

（遵守事項）

第11条　利用者は、宿舎における安全及び衛生の保持のため、次の事項を守らなければならない。

（１）　衛生的な生活環境を維持するための管理を行うこと。

（２）　火気の管理に努め火災の予防のため必要な措置を講ずること。

（３）　火災その他非常の場合の処置についてあらかじめ熟知し、万一事故の発生の場合は、管理人に報告するとともに、速やかに避難等、適切な処置をとること。

（４）　感染症患者又は感染症の疑いのある患者が発生した場合には、遅滞なく、管理人を経由して管理者に届け出てその指示に従うこと。

（許可の取消）

第12条　管理者は、利用者が次の各号の一に該当するときは、第５条第２項に定める利用の許可を取り消すことができる。

（１）　第３条に定める利用資格がなくなったとき。

（２）　第６条から第10条までの規定に違反したとき。

（３）　宿舎の管理及び運営に重大な支障を及ぼす行為をしたとき、又は及ぼすおそれがあるとき。

２　管理者は、前項各号に定めるほか、宿舎の運営上必要と認めたときは、第４条に定める当該利用の宿舎利用期間を変更し、又は第５条第１項に定める利用の許可を取り消すことができる。

３　管理者は前２項の規定により利用期間を変更し、又は利用の許可を取り消したことによって当該利用者が損失を受けても、その責めを負わない。

（立入り）

第13条　管理者は、宿舎の運営上やむをえない必要最小限度において、その職員又は管理人に、利用中の宿舎に立ち入らせることができる。

（退去）

第14条　利用者は、次の各号の一に該当するときは、遅滞なく宿舎を退去しなければならない。

（１）　第12条の規定により利用許可を取り消されたとき。

（２）　利用期間が満了したとき。

２　利用者は、退去する場合は、退去届出書（様式第３号）を管理者に提出しなければならない。

（原状回復の義務）

第15条　利用者は、故意又は過失により宿舎並びにその設備及び備品を滅失又はき損したときは、当該宿舎並びにその設備及び備品を原状に回復し、又は原状に回復しないことによって生ずる損害を賠償しなければならない。

（業務の委任）

第16条　管理者は、宿舎の運営上必要があるときは、第三者に宿舎の運営に係る業務の一部を委任することができる。

２　管理者又は前項に定めるところにより宿舎の運営に係る業務の一部を委任された者は、宿舎の維持管理のため管理人を置くものとする。

（その他）

第17条　この規則に定めるもののほか、宿舎の運営等に関し、必要な事項は管理者が別に定める。

附　則（平成26年４月１日　H25科振総第358-5号）

この内規は、平成26年４月１日から施行する。

附　則（平成27年４月１日　H27国際第1-3号）

この内規は、平成27年４月１日から施行する。

附　則（平成28年２月１日　H27国際第287-1号）

この内規は、平成28年２月１日から施行する。

別表

竹園ハウス

区分		利用料	
		月額	日額
宿舎利用	１人用	63,000円	2,100円
	２人用	86,000円	2,867円
	家族用	106,000円	3,533円
その他	自動車駐車場	3,000円	100円

二の宮ハウス

区分		利用料	
		月額	日額
宿舎利用	１人用	76,000円	2,533円
	２人用	100,000円	3,334円
その他	自動車駐車場	5,000円	167円

別紙４

様式第１号

Form 1

「国立研究開発法人科学技術振興機構外国人研究者宿舎」利用申請書及び許可書

Application and Permission for Use of JST Ninomiya/Takezono House

Date (DD/MM/YY)　/　/

Attention: Director,
Department of International Affairs,
Japan Science and Technology Agency(JST)

Name(print) _____

Nationality _____

I apply for use of JST Ninomiya/Takezono House as detailed hereunder.

１. Requested type of house :　For Ninomiya House/For Takezono House

２. Requested period of use :　Check-in(DD/MM/YY)　Check-out(DD/MM/YY)

３. Requested type of room :　For one person / For two persons / For family(only Takezono House)

４. User(s)

Name		Date of Birth (DD/MM/YY)	Sex	Relation
User				
Family Members Sharing the Room				

上記利用希望者は、次のとおり当所において、研究に従事することを証明します。また、上記の者の宿舎の利用について、外国人研究者宿舎の運営に関する利用規定等を遵守させることを保証し、同人が利用規定等を遵守しない場合は、私の責任において退去させます。

受入研究機関名	
日本滞在期間	年　月　日　～　年　月　日
研究部・課（室）名	
受入研究機関における身分	
招へいまたは派遣制度名	
受入担当責任者名	印
連絡先　TEL:	FAX: E-mail:
管理部門担当者名（部・課（室）　名）:	印

Attention:
International Affairs,

Director, Department of
Japan Science and Technology Agency (JST)

I accept the application for use of JST Ninomiya/Takezono House, as prescribed hereunder.

Room Number Approved for Use	No.	User	
Approved Period of Use(DD/MM/YY)	Check-in　/　/ Check-out　/　/	Family Members Sharing the Room	
Remarks	-The applicant must move into the room by　/　/　(DD/MM/YY) under the presence of host researcher. -The applicant must submit the Report of the Commencement of use within ten days of the beginning of occupancy.		

	-The room may not be used by other than the above-mentioned person(s).

様式第２－１号

Form 2-1

(For Foreign Researchers)

誓約書及び利用届出書

Oath and Report of the Commencement of Use for JST Ninomiya/Takezono House

Date

Attention: Director,
Department of International Affairs,
Japan Science and Technology Agency(JST)

Name(print) _____
Signature _____
Nationality _____

I hereby swear that I shall observe all the rules and regulations concerning the use of JST Ninomiya/Takezono House, upon obtaining residency approval and report the commencement of use for JST Ninomiya/Takezono House, as detailed in the following:

Room Number of Use	No.
Date of Commencement of Use (DD/MM/YY)	
Names of Family Members Sharing the Room	

別紙４

様式第２－２号

Form 2-2

(For Japanese Researchers)

誓約書及び利用届出書

Date

国立研究開発法人科学技術振興機構
国際科学技術部長殿

Name(print) _____

Signature _____

私は、貴機構の外国人研究者宿舎を利用するにあたり、外国人研究者宿舎の運営に関する利用規定等の遵守する事を誓います。
また、次のような事項についての国際交流に、可能な限り協力する事を誓います。

○交流イベントへの参加
○交流イベントの企画・運営補助
○居住者にとっての相談相手
○緊急時及び近隣居室で急病があった時等の対応

また、下記のとおり外国人研究者宿舎の利用を開始したので、届け出ます。

Room Number of Use	No.
Date of Commencement of Use (DD/MM/YY)	
Names of Family Members Sharing the Room	

別紙４

様式第３号

Form 3

「国立研究開発法人科学技術振興機構外国人研究者宿舎」退去届出書

Report of Withdrawal from JST Ninomiya/Takezono House

Date

Attention: Director,
Department of International Affairs,
Japan Science and Technology Agency(JST)

Name(print) _____
Signature _____
Nationality _____

I hereby report a withdrawal from JST Ninomiya/Takezono House, as detailed in the following:

Room Number of Withdrawal	No.
Date of Withdrawal (DD/MM/YY)	
Names of Family Members Sharing the Room	
Reason for Withdrawal	
Contacts after Withdrawal	e-mail: address:

(For House Officers)

Check Items upon Withdrawal	Facilities	
	Equipment	
	Fixtures	
	Checked by:(Title)	印

国・地域別受入実績

二の宮ハウス

国・地域名	H25	H26	H27
	57の国と地域	59の国と地域	59の国と地域
中国	118	114	114
日本	38	53	65
アメリカ	33	40	47
韓国	45	40	45
インド	45	49	42
台湾	20	27	39
フランス	28	30	28
オーストラリア	14	11	22
イギリス	27	21	22
ポーランド	32	34	21
スペイン	6	10	16
カナダ	13	16	16
タイ	5	5	16
インドネシア	11	12	14
ベトナム	16	10	14
カザフスタン	0	0	14
ドイツ	23	15	13
イタリア	16	10	11
チェコ共和国	14	9	9
ロシア連邦	15	10	8
ウクライナ	7	9	8
スイス	7	4	8
ハンガリー	4	3	8
カタール	0	7	7
フィリピン	4	4	5
フィンランド	6	8	5
マレーシア	1	4	5
アルジェリア	2	2	5
イラン	8	1	5
スロヴァキア	2	4	3
オランダ	2	6	3
エジプト	2	3	3
スロヴェニア	1	3	3
アイルランド	1	2	3
アルゼンチン	0	0	3
モロッコ	0	0	3
オーストリア	2	1	2
スウェーデン	3	6	2
ベルギー	6	3	2
ルーマニア	1	4	2
ブラジル	4	2	2
ブルガリア	2	1	2
デンマーク	0	1	2
トルコ	6	2	1
ネパール	5	4	1
パキスタン	1	3	1
ニュージーランド	1	2	1
リトアニア	0	2	1
バングラデシュ	2	1	1
イスラエル	2	1	1
ノルウェー	1	1	1
ミャンマー	1	1	1
カンボジア	0	0	1
アンドラ	0	0	1
ボツワナ	0	0	1
エルサルヴァドル	0	0	1
マリ	0	0	1
南アフリカ	0	0	1
ウズベキスタン	0	0	1
チリ	2	2	0
モンゴル	2	2	0
チュニジア	1	2	0
スリランカ	1	1	0
サウジアラビア	1	1	0
コロンビア	1	1	0
ギリシャ	1	1	0
ベラルーシ	0	1	0
ルワンダ	0	1	0
スーダン	0	1	0
セルビア	2	0	0
メキシコ	1	0	0
シンガポール	1	0	0
ラオス	1	0	0
計	617	624	683

竹園ハウス

国・地域名	H25	H26	H27
	22の国と地域	21の国と地域	17の国と地域
中国	21	11	29
インド	12	11	10
韓国	4	8	7
アメリカ	1	2	5
フランス	5	1	4
台湾	3	3	2
スペイン	3	3	2
オーストラリア	2	3	2
日本	2	2	2
フィリピン	1	1	2
スロヴァキア	1	1	2
ドイツ	2	4	1
オーストリア	2	1	1
トルコ	1	1	1
フィンランド	0	1	1
カナダ	0	0	1
マレーシア	0	0	1
イタリア	3	1	0
タイ	2	1	0
ロシア連邦	2	1	0
ポーランド	1	2	0
エジプト	1	1	0
ベトナム	1	0	0
ハンガリー	1	0	0
タンザニア	1	0	0
ベルギー	0	1	0
計	72	60	73

居室・共用室の家具・家電・備品

１．二の宮ハウス

	JST所有物品	数量
1	センターテーブル（情報ライブラリー）	1
2	丸テーブル（情報ライブラリー）	3
3	ソファー	3
4	ソファー（センター）	10
5	ソファー　1890×　740×　720	2
6	ソファー　2430×　870×　755	1
7	ソファ（ゲストルーム）	6
8	ベッド（ゲストルーム）	6
9	スツール　410×　410×　780	10
10	スツール　410×　460×　920	6
11	アームレスチェアー	2
12	アームチェアー	3
13	アームチェアー　556×　627×　825	8
14	アームチェアー　610×　550×　790	6
15	アームチェアー　610×　580×　830	2
16	アームチェアー　620×　675×1073	2
17	アームチェアー　680×　635×1000	2
18	アームチェアー　750×　640×　740	5
19	会議用テーブル	1
20	会議用チェアー	8
21	ラテラルキャビネット	4
22	TV台	2
23	子供用テーブルデスク	3
24	ゲーム用テーブル	2
25	センターテーブル	2
26	サービステーブル	1
27	ラウンジテーブル	1
28	スタンドテーブル	1
29	テーブル	6
30	コンソール	3
31	執務机	2
32	パーティション	2
33	サイドテーブル	2
34	センターテーブル	2
35	コーナーテーブル	2
36	座卓　1500×　900×　350	4
37	コンソールミラー	1
38	パンフレット架	2
39	マガジンラック	1
40	書架（片面）	2

	JST所有物品	数量
41	書架（両面）	2
42	新聞スタンド	1
43	新聞整理棚	1
44	TV・ビデオ収納キャビネット	1
45	飾り台（照明付き）	2
46	ホワイトボード電子黒板	2
47	ドレッサー	3
48	傘立て（来客用）	1
49	サイドボード	1
50	冷凍冷蔵庫	1
51	冷蔵庫	3
52	エアコン（リネン室）	2
53	折りたたみテーブル	105
54	ビデオ	80
55	冷蔵庫	187
56	洗濯機	190
57	電子レンジ	187
58	電話機	184
59	ラジカセ	189
60	アイロン	199
61	アイロン台	186
62	ダイニングテーブル	80
63	食卓椅子	320
64	センターテーブル	104
65	サイドテーブル	80
66	ソファーベッド	184
67	ベッド	264
68	デスク　2180×1000×　700	104
69	デスク　1800×　700×　700	80
70	テレビキャビネット	80
71	地上デジタル対応液晶テレビ（52v型	1
72	地上デジタル対応液晶テレビ（26v型	87
73	地上デジタル対応液晶テレビ（20v型	105
74	DVDプレーヤー	191
75	ﾌﾞﾙｰﾚｲﾃﾞｨｽｸ対応ﾊｲﾋﾞｼﾞｮﾝﾚｺｰﾀﾞｰ	1
76		
77		
78		
79		
80		

２．竹園ハウス

	JST所有物品	数量
1	シングルベッド ロング	48
2	専用マットレス	6
3	スプリングマットレス	24
4	デスク SC4005JK	36
5	書棚 HC2505NK	36
6	バイオクリエイトベッドパッド ロング	48
7	マルチハードSPマット	24
8	アイロン ISK80	36
9	アイロン台 ID-510	36
10	照明スタンド LS-6234	36
11	ファックス台 AS1071NW	36
12	テレビスタンド 日立TBR25BL30	36
13	デスクチェアー XC0401GK	36
14	電話機	36
15	VHSビデオデッキ	2
16	地上デジタル対応液晶テレビ（26v型	38
17	DVDプレーヤー	38
18	食卓テーブル DLT-クリスタ	24
19	食卓テーブル DL-デリカ	12
20	食卓椅子 DL-アラン	96
21	センターテーブル LT-575	36
22	ソファーベッド（３人掛け） ニーナ	36
23	ソファー（１人掛け） L-オルベア	24
24	冷蔵庫	12
25	冷蔵庫	24
26	全自動洗濯機	36
27	乾燥機	36
28	洗濯機スタンド	36
29	掃除機	36
30	電子レンジ	36
31	レンジ専用台	12
32	VHSビデオデッキ	36
33	木製二段ベッド	6
34	ベッド用マットレス	12
35	集会室机	12
36	集会室椅子	36
37	ガスファンヒーター	12
38		
39		
40		

居室清掃業務について

1. 居室清掃業務

(1) 対象

利用者退去後の居室（退去清掃）及び利用期間６ヶ月毎の居室（中間清掃）

(2) 作業範囲

A. 二の宮ハウス　１８４室（家具・寝具・電化製品・食器付き）

a. １人用　1LK（34 ㎡）　104 室

b. ２人用　1LDK(63 ㎡)　71 室

c. ゲストルーム　1LDK(63 ㎡)　９室

B. 竹園ハウス　３６室（家具・寝具・電化製品・食器付き）

a. １人用　1LDK（36 ㎡）　24 室

b. ２人用　1LDK（63 ㎡）　6 室

c. 家族用　2LDK(93 ㎡)　6 室

(3) 作業内容（現行）

A. 居室内清掃（次の項目の清掃作業）

a. 玄関（下駄箱、ドア拭き上げ、床面たわし洗浄）

b. リビング（机、ソファーベッド床面の掃除機仕上げ）

c. ダイニング（テーブル、椅子等拭き上げ、掃除機仕上げ）

d. 寝室（クローゼット内、ベッド下掃除機仕上げ）

e. 子供部屋（各所拭き上げ、掃除機仕上げ）

f. キッチン（レンジフード、換気扇、ガスレンジ等の拭き上げ）

g. 浴室（浴室内清掃、温水洗浄仕上げ、洗面台、鏡拭き上げ）

h. トイレ（便器、棚、換気扇拭き上げ）

i. バルコニー（床面水洗い、排水口清掃）

j. その他各居室の空間

B. 窓ガラス清掃

a. 各居室部の内側窓ガラス・洗浄剤を使い拭き上げ

b. 各居室部の外側窓ガラス・洗浄剤を使い拭き上げ

C. 備え付け備品類清掃

a. 食器類（皿、スプーン、フォーク等拭き上げ及び整理整頓）

b. ガスレンジ（グリル、換気扇清掃）

c. 洗濯機（排水溝、下部拭き上げ）

d. 家具類（テーブル、ラジカセ、リモコン等拭き上げ）

e. その他居室内備え付け備品

D. リネンの交換補充作業

a. 布団カバー

b. 枕カバー

c. タオル類

d. マット類

e. その他居室備え付け補充備品

E. 作業後清掃完了チェック

a. 清掃後見直し作業

b. 清掃チェック表の作成・記入

(4)居室の維持管理（参考）

・平成 25 年度

二の宮ハウス				竹園ハウス		
退去点検	退去後清掃	中間清掃	簡易清掃	退去時点検	退去後清掃	中間清掃
471 件	489 件	129 件	15 件	33 件	32 件	38 件

＊：清掃後に長期空室だった居室に対して実施。

・平成 26 年度

二の宮ハウス			竹園ハウス		
退去点検	退去後清掃	中間清掃	退去時点検	退去後清掃	中間清掃
466 件	489 件	115 件	31 件	31 件	34 件

・平成 27 年度

二の宮ハウス			竹園ハウス		
退去点検	退去後清掃	中間清掃	退去時点検	退去後清掃	中間清掃
607 件	542 件	110 件	36 件	36 件	24 件

生活支援業務について

１．生活相談　　（単位：件）

内容	詳細	25 年度	26 年度	27 年度
幼稚園･保育園	保育園・幼稚園・託児所の紹介、入園・退園手続き（市役所・保育所同行、面談同席、各種書類記入サポート)、保育所・幼稚園に関する問合せ、幼稚園・保育所からの通知・連絡説明等	14	17	12
学校	学校からの連絡事項説明・取次ぎ、面談同行・同席、家庭訪問同席、転校希望者の見学手配、入学手続き同行、書類記入サポート、入学前健診同行、体調不良の子供の引き取り、学童利用許可申請サポート、指定学校変更申立サポート、登校班・子供会との連絡・取次ぎ 等	16	12	1
警察・役所	市役所同行、転入届、転出届、国民健康保険・年金等の説明、国保減額請求サポート、納税証明書請求サポート、市民税支払方法の説明、乳幼児健診の説明、車庫証明書類記入代行、市役所からの通知説明、児童手当・児童現況届の説明・記入サポート、臨時特例給付金の説明・申請書記入サポート、住民税の説明、再入国許可の説明、確定申告提出書類記入サポート、住民税ゼロ申告サポート、子供の US　ビザ取得について、マイナンバー制度・通知書の説明 等	250	135	206
医療・保健	クリニックの予約代行、予防接種問合せ・予約代行、内科・婦人科・小児科・精神科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻科・歯科の紹介・予約代行、妊婦検診予約代行、臨床心理士面会予約代行、英文健康診断書発行について説明等	43	52	46

観光・交通・買い物	国際・国内郵便物・宅配便の送付手続き・集荷手配・追跡調査、タクシー・高速バスの予約代行、レンタカー予約サポート、交通情報提供、周辺店舗案内、英語対応の旅行会社紹介、バス時刻表問合せ 観光情報提供等	471	479	321
施設	自転車貸与について詳細説明・返却・不具合受付、居室照明交換対応、居室内備品不具合対応、居室インターネット・ワイヤレス LAN 不具合対応、居室電話の設定変更、センサーキー不具合対応、エクストラキー・ベビーベッド・炊飯器・除湿機・荷物用秤貸出、給湯システム不具合対応等	201	295	129
イベント	日本語教室・フォーラムに関する問合せ、夏祭り・夏祭り写真に関する問合せ、料理教室・バスツアー・文化教室についての問合せ、消防訓練についての問合せ対応等	54	14	20
その他	共用室に関する問合せ･予約・キャンセル受付、ACCS 有料サービス（インターネット・ケーブルテレビ）申込み代行、ACCS モデム不具合問合せ、粗大ゴミ受付、コピー・スキャンサービス、居室移動・短縮・支払いについて説明、退去手続きの変更対応、日本語学校の案内、習い事等の案内、落し物受付、騒音苦情対応、中間清掃・光熱水支払いについての問合せ対応、航空会社より代理荷物受取り、紛失物代理問合せ、キャッシュカード・クレジットカードについて問合せ、自家用車の車検・保険・廃車手続きに関する問合せ、海外運転免許証からの切替方法の説明、車のナンバー変更手続きの説明等	415	197	248
計		1,464	1,201	983

２．居住者への注意事項の周知

※（二）:「二の宮ハウス」のみ、（竹）:「竹園ハウス」のみ、指定なし：両宿舎

（1）平成 25 年度

月	通知内容
4 月	日本語教室<入門>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室<初級>Student Analysis Form 提出依頼、落し物（帽子）（二）、日本語教室<入門>支払い詳細通知、日本語教室<入門>領収書、及び詳細通知、日本語教室<初級>支払い詳細通知、日本語教室<初級>領収書、及び詳細通知、第 119 回イヴニングフォーラム日本人居住者案内、落し物（タオルハンカチ）（二）、通り魔事件に関する警告、施設料金今秋値上げ予定通知(竹)、第 119 回イヴニングフォーラム居住者案内、通り魔事件の結果報告、第 120 回イヴニングフォーラムフォーラム案内、5 月カレンダー、GW 期間の案内、落し物（鍵）（二）、落し物（電子辞書）（二）
5 月	文化教室（グリーンカーテン）案内、第 120 回イヴニングフォーラム日本人居住者案内、落し物（USB ケーブル）（二）、樹木への殺虫剤散布通知(竹)、第 120 回イヴニングフォーラム居住者案内、グリーンカーテン設置許可依頼、文化教室（グリーンカーテン）日本人居住者案内、6 月カレンダー、文化教室（グリーンカーテン）写真 Web 公開通知、インターネット一時中断案内(二)
6 月	第 6 回キャンドルライト・ディスカッション案内、第 121 回イヴニングフォーラムフォーラム案内、夏祭りボランティア募集、第 121 回イヴニングフォーラム日本人居住者案内、日本語教室（入門）案内、日本語教室（初級）案内、第 121 回イヴニングフォーラム居住者案内、落し物（時計）（二）、落し物（ピアス）（二）、第 6 回キャンドルライト・ディスカッション居住者案内、日本語教室<入門>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室<初級>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室<入門>支払い詳細通知、日本語教室<入門>領収書、及び詳細通知、日本語教室<初級>支払い詳細通知、日本語教室<初級>領収書、及び詳細通知、7 月カレンダー、第 122 回イヴニングフォーラムフォーラム案内、第 122 回イヴニングフォーラム日本人居住者案内
7 月	浴衣着装教室案内、落し物（時計）（二）、樹木への殺虫剤散布(竹)、騒音注意(二)、落し物（鍵）（二）、落し物（ピアス）（二）、浴衣着装教室案内（再）、夏祭り案内、夏祭り参加・不参加申込書案内、浴衣着装教室案内（再）、8 月カレンダー、浴衣着装教室直前案内、浴衣着装教室開催後アンケート、浴衣着装教室写真ホームページ掲載のお知らせ、夏祭り参加・不参加申込書案内(再)、浴衣着装教室開催後アンケート（再）、在留カード携帯義務喚起
8 月	夏祭り参加・不参加申込書案内(再)、消防設備 6 ヵ月点検と害虫駆除（居室)、9 月カレンダー、救急講習募集案内、樹木の殺虫剤散布(竹)
9 月	樹木の殺虫剤散布(竹)、救急講習直前案内、第 123 回イブニングフォーラム案内、日本語教室（入門）案内、日本語教室（初級）案内、第 123 回イヴニングフォーラム日本人居住者案内、日本語教室<入門>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室<初級>Student Analysis Form 提出依頼、10 月カレンダー、第 123 回イヴニングフォーラム居住者案内、日本語教室<入門>支払い詳細通知、日本語教室<入門>領収書、及び詳細通知、日本語教室<初級>支払い詳細通知、日本語教室<初級>領収書、及び詳細通知
10 月	バスツアー案内、１０月１日から施設費が値上げ(竹)、バスツアー集金のお知らせ、バスツアー領収書＆詳細、第 26 回料理教室案内、バスツアー直前案内、受変電設備定期点検のお知らせ(二)、第 26 回料理教室案内（再)、バスツアー開催後アンケート、自転車運転注意喚起（駐車場ゲートバー下を通行しないで下さい)(二)、バスツアー写真ホームページ掲載のお知らせ、11 月カレンダー、書道教室案内
11 月	防災訓練のお知らせ(二)、防災訓練申込書(二)、第 124 回イブニングフォーラム案内、Tsukuba World Futsal 2013 案内、第 124 回イブニングフォーラム日本人居住者案内、防災訓練出欠確認（再送）（二)、書道教室（1 回目）直前案内、防災訓練スケジュール(二)、防災訓練詳細連絡(二)、第 124 回イブニングフォーラム居住者案内(再)、手作りオーナメントクラス案内、インターネット一時中断案内(二)、12 月カレンダー、書道教室（2 回目）直前案内、書道教室開催後アンケート、書道教室写真ホームページ掲載のお知らせ
12 月	オーナメントクラス直前案内、オーナメントクラス開催後アンケート、日本語教室（入門）案内、日本語教室（初級）案内、日本語教室<初級>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室<初級>Student Analysis Form 提出依頼、第 7 回キャンドルライト・ディスカッション案内、お知らせ（1 月請求書発行日・季節のお知らせ・年末年始スケジュール等)、1 月カレンダー、日本語教室<入門>支払い詳細通知、日本語教室<入門>領収書、及び詳細通知、日本語教室<初級>支払い詳細通知、日本語教室<初級>領収書、及び詳細通知
1 月	落し物（指輪）（二)、第 125 回イヴニングフォーラム案内、第 125 回イブニングフォーラム日本人居住者案内、第 125 回イヴニングフォーラム居住者案内、中庭凍結によるスリップ注意(二)、2 月カレンダー、落し物（ニット帽）（二)、ノロウイルスに関する注意情報、茶道教室案内、落し物（トレーナー）（二）

2 月	請求書発行日変更のお知らせ(二)、料理教室案内、消防設備 6 ヵ月点検実施の案内(竹)、年次電気Ａ点検実施の案内(竹)、茶道教室案内（再)、落し物（ニット帽）(二)、茶道教室開催後アンケート、茶道教室写真 Web 公開通知、落し物（手袋）(二)、第 8 回キャンドルライト・ディスカッション案内、3 月カレンダー、第 8 回キャンドルライト・ディスカッション居住者案内、日本料理教室開催後アンケート、日本料理教室写真 Web 公開通知、3 月 7 日ネット接続 2 時間出来ない（機器取替えのため）(竹)
3 月	落し物（小物入れ）(二)、日本語教室（入門）案内、日本語教室（初級）案内、4 月カレンダー

(2) 平成 26 年度

月	通知内容
4 月	日本語教室第 1 期<入門>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室第 1 期<初級>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室第 1 期<入門>支払い詳細通知、日本語教室第 1 期<入門>領収書及び詳細通知、日本語教室第 1 期<初級>支払い詳細通知、日本語教室第 1 期<初級>領収書及び詳細通知、イヴニングフォーラムスピーカー公募案内、5 月カレンダー
5 月	第 126 回イヴニングフォーラム案内、第 126 回イヴニングフォーラム日本人居住者案内、文化教室（グリーンカーテン）案内、落し物（シャツ）(二)、グリーンカーテンネット設置許可依頼（二)、6 月カレンダー、文化教室（グリーンカーテン）日本人居住者案内
6 月	第 127 回イヴニングフォーラム案内、第 127 回イヴニングフォーラム日本人居住者案内、日本語教室第２期<入門>案内、日本語教室第２期<初級>案内、夏祭りボランティア募集案内、日本語教室第２期<入門>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室第２期<初級>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室第２期<入門>支払い詳細通知、日本語教室第２期<入門>領収書及び詳細通知、日本語教室第２期<初級>支払い詳細通知、日本語教室第２期<初級>領収書及び詳細通知、7 月カレンダー
7 月	タイ料理教室案内、日本語クラス第２期<初級>クラススケジュール変更案内、館内での騒音クレームに関して協力依頼、浴衣着装教室案内、タイ料理教室参加者直前案内、落し物(鍵)(二)、落し物（鍵）(二)、共用室利用時間変更案内（騒音対策)、浴衣着装教室参加者向け案内、８月カレンダー、落とし物（USB）(二)、タイ料理教室開催後アンケート回答依頼、浴衣着装教室開催後アンケート回答依頼、夏祭り案内（参加申込み・浴衣着付け申込み)
8 月	タイ料理教室参加者アンケート依頼（再)、浴衣着装教室参加者アンケート依頼（再)、夏祭り出店・手伝い協力依頼・詳細案内(再)、夏祭り浴衣着装サービス詳細案内、夏祭りボランティア協力者へ御礼挨拶、グリーンカーテン用ネット取外し通知（二)
9 月	第 128 回イブニングフォーラム案内、第 128 回イブニングフォーラム日本人居住者案内、日本語教室第３期<入門>案内、日本語教室第３期<初級>案内、日本語教室第３期<入門>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室第３期<初級>Student Analysis Form 提出依頼、文化教室<茶道>案内、第 9 回キャンドルライト・ディスカッション案内、日本語教室第３期<初級>支払い詳細通知、日本語教室第３期<入門>支払い詳細通知、日本語教室第３期<入門>領収書及び詳細通知、日本語教室第３期<初級>領収書及び詳細通知、10 月カレンダー
10 月	バスツアー案内、バスツアー詳細案内・集金のお知らせ、バスツアー領収書・当日スケジュール案内、茶道教室開催後アンケート回答依頼、自転車安全講習開催案内と参加依頼、日本語クラス第２期開催後アンケート回答依頼、受変電設備定期点検のお知らせ、居住者紛失物についての問合せ通知、バスツアー直前案内、消防訓練開催案内・参加依頼、11 月カレンダー、日本語クラス第２期開催後アンケート回答依頼（再)、書道教室案内、バスツアー開催後アンケート回答依頼、自転車の基本ルールの周知、消防訓練参加未定者へ参加呼びかけ
11 月	防災訓練詳細スケジュール連絡、第 129 回イヴニングフォーラム案内、第 129 回イヴニングフォーラム日本人居住者案内、書道教室（1 回目）直前案内、バス時刻表及びＴＥＸつくば駅発着時刻表、12 月カレンダー、書道教室開催後アンケート回答依頼、日本語教室第４期開催案内、手作りオーナメントクラス案内
12 月	オーナメントクラス直前案内、日本語教室第４期<入門>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室第４期<初級>Student Analysis Form 提出依頼、オーナメントクラス開催後アンケート回答依頼、 書道教室開催後アンケート回答依頼（再)、日本語教室第４期<入門・初級>支払い詳細通知、日本語教室開催後アンケート回答依頼、年末年始スケジュール、1 月カレンダー、第 130 回イヴニングフォーラム開催案内、第 130 回イヴニングフォーラム日本人居住者案内、日本語教室第４期<入門・初級>領収書及び詳細通知
1 月	落し物（イヤースピーカー）(二)、落し物（ネイル用トップコート）(二)、ACCS インターネット導入によるモデム交換の案内、第 130 回イヴニングフォーラム日本人居住者案内（再)、第 29 回料理教室案内、2 月カレンダー、二の宮ハウスにおけるウッドデッキ改修・屋上機械室防水・ガスヒートポンプ交換工事のお知らせ、第 29 回料理教室延期のお知らせ
2 月	落とし物（女性用手袋）(二)、二の宮ハウスにおけるウッドデッキ改修・屋上機械室防水・ガ

	スヒートポンプ交換工事のお知らせ（再・一部日程変更のため)、東側敷地内車道が工事中につき滑り易くなっていることについての注意喚起、たばこのすいがらポイ捨て注意喚起、料理教室案内（再・繰延べ)、落し物（手袋）(二)、リサイクルコーナー利用方法・粗大ごみの支払について、3 月カレンダー、第 131 回イヴニングフォーラム案内、第 131 回イヴニングフォーラム日本人居住者案内
3 月	ウッドデッキ改修期間・曜日変更のお知らせ、日本語教室 H27 年度第１期<入門>案内、日本語教室 H27 年度第１期<初級>案内、4 月カレンダー、日本語教室第１期<入門>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室第１期<入門>支払案内、日本語教室第１期<初級>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室第１期<初級>支払案内、第 132 回イヴニング・フォーラム案内

(3) 平成 27 年度

月	通知内容
4 月	日本語教室第 1 期<入門>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室第 1 期<初級>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室第１期<入門>支払い及び詳細通知、日本語教室第１期<初級>支払い及び詳細通知、座禅クラス案内、落し物（レインコート）(二)、5 月カレンダー
5 月	坐禅教室参加予定者に詳細案内、第 10 回キャンドルライト・ディスカッション案内、坐禅教室参加者に開催後アンケート回答依頼、つくば観光コンベンション協会から依頼で空港高速バス運営に関わるアンケート回答依頼、6 月カレンダー
6 月	第 133 回イブニング・フォーラム案内、日本語教室第２期<入門>案内、日本語教室第２期<初級>案内、日本語教室第２期<入門>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室第２期<初級>Student Analysis Form 提出依頼、7 月カレンダー、七夕飾り教室開催案内、落し物（トレーナー）(二)、落し物（ジャンパー）(二)
7 月	浴衣着装教室案内、日本語クラス第２期<入門>支払及び詳細案内、日本語クラス第２期＜初級＞支払及び詳細案内、七夕飾り教室開催後アンケート回答依頼、8 月カレンダー、浴衣着装教室開催後アンケート回答依頼、夏祭り案内（ボランティア・参加申込み・浴衣着付け申込み）
8 月	落し物（帽子）(二)、浴衣着装教室開催後アンケート回答依頼（再)、夏祭り浴衣着装無料サービスの詳細案内、夏祭りボランティア協力者へ御礼挨拶、落し物（腕時計）(二)、9 月カレンダー
9 月	第 134 回イブニング・フォーラム案内、第 134 回イブニング・フォーラム日本人居住者案内、日本語教室＜初級＞一部日程変更案内、日本語教室第３期<入門>案内、日本語教室第３期<初級>案内、日本語教室第３期<入門>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室第３期<初級>Student Analysis Form 提出依頼、国勢調査（オンライン）の案内、市内タクシー予約状況（常総市水害に伴う）の案内、国際交流協会からの市内イベント案内、第 135 回イブニング・フォーラム案内、日本語教室第３期<初級>支払い及び詳細通知、日本語教室第３期<入門>支払い及び詳細通知、10 月カレンダー
10 月	二の宮ハウス消防訓練の案内、第 135 回イブニング・フォーラムの案内、国勢調査回答シート回収について案内・督促、第 30 回料理教室の案内、防災訓練出欠確認督促、防災訓練詳細スケジュール案内、バスツアー案内、バスツアー詳細案内及び集金のお知らせ、料理教室の詳細案内、バスツアー領収書・当日スケジュール案内、11 月カレンダー
11 月	書道教室の案内、バスツアー開催後アンケート回答依頼、第 15 回手作りオーナメントクラスの案内、12 月カレンダー
12 月	書道教室追加案内、オーナメントクラス直前案内、日本語教室第 4 期案内、日本語教室第 4 期<入門>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室第４期<初級>Student Analysis Form 提出依頼、オーナメントクラス開催後アンケート回答依頼、落し物（自転車の鍵）(二)、第 31 回料理教室の案内、 書道教室開催後アンケート回答依頼、年末年始事務室スケジュール及び緊急時対応についての案内、1 月カレンダー、落し物（携帯枕）(二)
1 月	日本語教室<入門>支払及び詳細案内、日本語クラス<初級>支払及び詳細案内、落し物（手袋）(二)、落し物（自転車の鍵）(二)、料理教室直前案内、2 月カレンダー、料理教室開催後アンケート回答依頼
2 月	第 136 回イブニング・フォーラム案内、3 月カレンダー、落し物（USB）(二)、第 11 回キャンドルライト・ディスカッションの案内
3 月	排水管の高圧洗浄クリーニングのお知らせ、電話交換機交換工事のお知らせ、日本語教室 H28 年度第１期<入門>案内、日本語教室 H28 年度第１期<初級>案内、4 月カレンダー、日本語教室第１期<入門>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室第１期<入門>支払及び詳細案内、日本語教室第１期<初級>Student Analysis Form 提出依頼、日本語教室第１期<初級>支払及び詳細案内

交流イベントの実績

１．平成２５年度

（１）イブニングフォーラム

実施日：計７回　18:30-20:00
4 月 19 日（金）、5 月 17 日（金）、6 月 25 日（火）、7 月 12 日（金）
10 月 4 日（金）、11 月 22 日（金）、1 月 30 日（木）
場　所：「二の宮ハウス」交流サロン・集会室
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者、二の宮１丁目自治会、近隣研究所・大学勤務の研究者、地域住民等
人　数：約 20 名～80 名/回
内　容：日本文化紹介、お国自慢等

（２）キャンドルライト・ディスカッション

実施日：計３回　18:30-20:00
6 月 27 日（木）、1 月 23 日（木）、3 月 7 日（金）
場　所：「二の宮ハウス」交流サロン
参会者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者、二の宮 1 丁目自治会、近隣研究所・大学勤務の研究者等
人　数：約 25 名～35 名/回
内　容：科学技術分野の研究者による研究発表

（３）交流行事

①料理教室

実施日：計２回　18:00-20：00
10 月 29 日（火）、2 月 21 日（金）
場　所：「二の宮ハウス」集会室
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者、二の宮１丁目自治会
人　数：約 15 名/回
内　容：韓国料理、和食（家庭料理）

②文化交流教室

実施日：計５回　18：30-20：00
7 月 25 日（木）：浴衣着装
11 月 14 日（木）、28 日（木）：書　道
2 月 6 日（木）、14 日（金）：茶　道
場　所：「二の宮ハウス」集会室、和室
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：約 20 名/回
内　容：浴衣着装、書道、茶道

③夏祭り

実施日：8 月 9 日（金）
場　所：「二の宮ハウス」集会室、エントランスホール、中庭
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者、二の宮１丁目自治会、近隣研究所勤務の研究者等
人　数：約 750 名
内　容：盆踊り、和太鼓、ライブ演奏、よさこい演舞、各国料理模擬店等

④バスツアー
実施日：10 月 19 日（土）
場　所：居住者間交流の促進を図れる施設及び場所
（栃木県日光市：世界遺産・日光の社寺）
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：36 名

⑤手作りオーナメント教室
実施日：　12 月 5 日（木）18：30-20：00
場　所：「二の宮ハウス」集会室、エントランスホール
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：26 名
内　容：エントランスホールに設置するクリスマスツリー用のオーナメント造り

（４）日本語教室
①入門クラス
実施日：毎週月・水曜日　19：00-20：30
1 期（4月 8 日～6 月 26 日）
2 期（7月 1 日～9 月 30 日）
3 期（10 月 2 日～12 月 18 日）
4 期（1月 8 日～3 月 26 日）
回　数：各ターム 22 回　年 4 ターム
場　所：「二の宮ハウス」セミナー室
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：各クラス約 10～12 名/期

②初級クラス
実施日：火曜日　19：00-20：30
1 期（4月 9 日～6 月 25 日）
2 期（7月 2 日～9 月 24 日）
3 期（10 月 8 日～12 月 17 日）
4 期（1月 7 日～3 月 25 日）
回　数：各ターム 4 回　年 4 ターム
場　所：「二の宮ハウス」セミナー室
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：各クラス約 5～10 名/期

１．平成２６年度

（１）イブニングフォーラム

実施日：計 6 回　18：30-20：00
5 月 22 日（木）、6 月 27 日（金）、9 月 11 日（木）11 月 27 日（木）
1 月 15 日（木）、3 月 20 日（金）
場　所：「二の宮ハウス」交流サロン・集会室
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者、二の宮１丁目自治会、近隣研究所・大学勤務の研究者、地域住民等
人　数：約 30 名～65 名/回
内　容：日本文化紹介、お国自慢等

（２）キャンドルライト・ディスカッション

実施日：計 1 回　18:30-20:00
10 月 2 日（木）
場　所：「二の宮ハウス」交流サロン
参会者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者、二の宮 1 丁目自治会、近隣研究所・大学勤務の研究者等
人　数：22 名
内　容：科学技術分野の研究者による研究発表

（３）交流行事

①グリーンカーテン・プロジェクト

実施日：5 月 29 日　18:00-19:00
場　所：「二の宮ハウス」エントランスホール
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：15 名
内　容：グリーンカーテンの説明、使用する苗説明、苗植え等

②料理教室

実施日：計 2 回　18:15-20:00
7 月 18 日（金）、3 月 5 日（木）
場　所：「二の宮ハウス」集会室
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者、二の宮１丁目自治会
人　数：約 20 名/回
内　容：タイ料理、日本料理(懐石料理)

③文化交流教室

実施日：計 4 回　18:30-20:00
7 月 24 日（木）：浴衣着装
9 月 26 日（金）：茶　道
11 月 13 日（木）、20 日（木）：書　道
場　所：「二の宮ハウス」集会室、和室、エントランスホール
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：約 20 名/回
内　容：浴衣着装、茶道、書道

④夏祭り

実施日：８月８日（金）
場　所：「二の宮ハウス」集会室、エントランスホール、中庭
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者、二の宮１丁目自治会、近隣研究所勤務の研究者等

人　数：約 720 名
内　容：盆踊り、和太鼓、梯子乗り、フォルクローレ演奏、よさこい演舞、
　　各国料理模擬店等

⑤バスツアー
実施日：10 月 25 日（土）
場　所：居住者間交流の促進を図れる施設及び場所
　　（茨城県笠間市：春風萬里荘、笠間芸術の森公園、酒蔵等）
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：35 名

⑥手作りオーナメント教室
実施日：　12 月 11 日（木）18：30-20：00
場　所：「二の宮ハウス」集会室、エントランスホール
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：31 名
内　容：エントランスホールに設置するクリスマスツリー用のオーナメント造り

（４）日本語教室
①入門クラス
実施日：毎週月・水曜日　19：00-20：30
　　1 期（4 月 7 日～6 月 30 日）
　　2 期（7 月 7 日～9 月 24 日）
　　3 期（10 月 6 日～12 月 17 日）
　　4 期（1 月 5 日～3 月 25 日）
回　数：各ターム２２回　年４ターム
場　所：「二の宮ハウス」セミナー室
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：各クラス約 10～15 名/期

②初級クラス
実施日：毎週月・水曜日　１９：００－２０：３０
　　1 期（4 月 7 日～6 月 30 日）
　　2 期（7 月 7 日～9 月 24 日）
　　3 期（10 月 6 日～12 月 17 日）
　　4 期（1 月 5 日～3 月 25 日）
回　数：各ターム 4 回　年 4 ターム
場　所：「二の宮ハウス」セミナー室
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：各クラス約 4～10 名/期

（５）その他
①自転車講習会
実施日：　10 月 17 日（金）18：30-20:00
場　所：「二の宮ハウス」集会室、エントランスホール
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：7 名
内　容：正しい自転車の乗り方、罰則・罰金、注意点の説明

１．平成２７年度

（１）イブニングフォーラム

実施日：計５回　18：30-20：00
4 月 17 日（金）、6 月 26 日（金）、9 月 18 日（金）、10 月 9 日（金）
2 月 9 日（金）
場　所：「二の宮ハウス」交流サロン・集会室
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者、二の宮１丁目自治会、近隣研究所・大学勤務の研究者、地域住民等
人　数：約 40 名～55 名/回
内　容：日本文化紹介、お国自慢、研究発表

（２）キャンドルライト・ディスカッション

実施日：計 2 回　18:30-20:00
5 月 29 日（金）、3 月 17 日（木）
場　所：「二の宮ハウス」交流サロン
参会者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者、二の宮 1 丁目自治会、近隣研究所・大学勤務の研究者等
人　数：約 15～36 名/回
内　容：科学技術分野の研究者による研究発表

（３）交流行事

①文化交流教室

実施日：計５回　18:30-20:00
5 月 15 日（金）：座　禅
7 月　3 日（金）：七夕飾り
7 月 23 日（木）：浴衣着装
11 月 27 日（金）、12 月 4 日（金）：書　道
場　所：「二の宮ハウス」集会室、和室、エントランスホール
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：約 17～24 名/回
内　容：座禅、七夕飾り、浴衣着装、茶道、書道

②料理教室

実施日：計 2 回　18:15-20:00
10 月 29 日（木）、12 日（火）
場　所：「二の宮ハウス」集会室
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者、二の宮１丁目自治会
人　数：約 10～11 名/回
内　容：台湾料理、和食（雑穀と野菜）

③夏祭り

実施日：８月８日（金）
場　所：「二の宮ハウス」集会室、エントランスホール、中庭
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者、二の宮１丁目自治会、近隣研究所勤務の研究者等
人　数：約 760 名
内　容：盆踊り、和太鼓、津軽三味線演奏、よさこい演舞、各国料理模擬店等

④バスツアー

実施日：11 月 7 日（土）

場　所：居住者間交流の促進を図れる施設及び場所
（茨城県北茨城：竜神大吊橋、奥久慈茶の里公園、袋田の滝等）
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：37 名

⑤手作りオーナメント教室
実施日：12 月 8 日（火）18：30-20：00
場　所：「二の宮ハウス」集会室、エントランスホール
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：13 名
内　容：エントランスホールに設置するクリスマスツリー用のオーナメント造り

（４）日本語教室
①入門クラス
実施日：毎週月・水曜日　19：00-20：30
1 期（4月 6 日～6 月 29 日）
2 期（7月 6 日～9 月 30 日）
3 期（10 月 5 日～12 月 16 日）
4 期（1月 13 日～3 月 25 日）
回　数：各ターム 22 回　年 4 ターム
場　所：「二の宮ハウス」セミナー室
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：各クラス約 8～10 名/期

②初級クラス
実施日：毎週月・水曜日　19：00-20:30
1 期（4 月 6 日～6 月 29 日）
2 期（7 月 6 日～9 月 30 日）
3 期（10 月 5 日～12 月 16 日）
4 期（1 月 13 日～3 月 25 日）
回　数：ターム 4 回　年 4 ターム
場　所：「二の宮ハウス」セミナー室
参加者：「二の宮ハウス」「竹園ハウス」居住者
人　数：各クラス約 5～8 名/期

以上

二の宮ハウス共用室の利用料金

	集会室	交流サロン	セミナー室１・２	打合せ室１・２
利用料 （消費税込み）	1,483 円／時間	2,376 円／時間	533 円／時間	533 円／時間
光熱費 （消費税込み）	158 円／時間	196 円／時間	46 円／時間	46 円／時間

	ゲストルーム	バーベキュー	和室
利用料 （消費税込み）	3,623 円／日	無料	現状は特別なイベントのみに使用
光熱費 （消費税込み）	411 円／日	－	
その他	1,111 円／セット（リネン代） 245 円／セット（グッズ代）	－	

当該料金は受託者の裁量で変更できず、機構が必要に応じて改める。
なお、居室利用料、駐車場利用料、共用室等利用料及び光熱水費は機構の収入とし、
その収納業務を受託者に委託する。受託者は収納した利用料を月単位で機構に払い込むものとする。

主な業務用備品

外国人研究者宿舎におけるすべての業務にて共用するものである。経年劣化等により貸与物品の使用が困難な場合は落札事業者が用意すること。

品名・仕様	摘要	備品番号	数量	単位	所有
両袖机	内田　378-2014	91T-001	1	台	JST
片袖机	内田　378-2012	91T-002:003	2	台	JST
回転椅子	内田　303-419	91T-007	1	台	JST
衝立	内田　335-3210	91T-010	1	枚	JST
ホワイトボード	内田　266-0056	91T-011	1	枚	JST
ボード用脚	内田　266-9423	91T-012	1	脚	JST
書棚	ウチダ　下段ｽｷｰｸﾄﾚｰ3段	91T-014	1	台	JST
書棚	ウチダ　下段ﾗﾃﾗﾙ3段	91T-015	1	台	JST
書棚	ウチダ　中段両開き戸	91T-016	1	台	JST
書棚	ウチダ　ﾌﾘｰｽﾀｰﾄ部	91T-017	1	枚	JST
書棚	ウチダ　ﾌﾘｰｴﾝﾄﾞ部	91T-018	1	枚	JST
書棚	ウチダ　ﾌﾟﾗﾝﾄﾎﾞｯｸｽ	91T-019	1	台	JST
ホワイトボード	ウチダ　265-0066	91T-020	1	台	JST
コートハンガー	内田　357-2110	91T-021	1	台	JST
ホワイトボード	内田　265-0020	91T-022	1	台	JST
来客用机	ウチダ　382-5710	91T-023	1	台	JST
壁面ポスト		91T-025	1	台	JST
冷蔵庫	キンセ GR-041 WH	92T-001	1	台	JST
新聞ラック	ウチダ 453-4430	92T-002	1	台	JST
台車	ウチダ 356-3201	92T-003	1	台	JST
パンフレットラック	ウチダ 357-8031	93T-002	1	台	JST
ファイルマスター	ウチダ 307-6812	93T-003	1	台	JST
プリンター用デスク	PLUS LO-067H	95T-001	1	台	JST
机	ウチダ 385-2902	95T-019	1	台	JST
ステンレスポスト	ハッピー　270380	96T-001	1	台	JST
ローパーティーション	BP-1012　他	96T-002	1	式	JST
パーティーション	BP-1812　他	96T-003	1	式	JST
集会室用テレビ台		備品番号なし	1	台	JST
作業用机	ITO YC-D1890	98T-001	1	台	JST
作業用椅子	ITO FP-55	98T-002:005	4	脚	JST
事務室用冷蔵庫	National NRB13T2S	98T-007	1	台	JST
ファイリングキャビネット	ITO 16347-0 A4-3段	98T-008	1	台	JST
外灯(防雨型照明器具)	LW86330BT	備品番号なし	1	式	JST
レジスター	ｶｼｵ CE-2600-10S	98T-010	1	台	JST
パウチラミネーター	GBC MIDI-LAMI3	98T-011	1	台	JST
駐車場カードホルダー		備品番号なし	14	式	JST
駐車場サイン		備品番号なし	1	式	JST
駐車場注意書		備品番号なし	1	式	JST
作業用机	プラス　622-005	99T-001	1	台	JST
作業用椅子	内田　1-215-2201	99T-003	1	台	JST
OHP用テーブル	内田　7-160-0002	00T-001	1	台	JST
回転椅子	内田　1-215-2201	00T-002	1	台	JST
ﾎﾟｰﾀﾌﾞﾙﾜｲﾔﾚｽｱﾝﾌﾟ	800MHz WX-281C	00T-003	1	台	JST
ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ	800MHz帯PLL　WX-4100A	00T-004	1	台	JST
AED・自立型収納ボックス		JST国際035	1	台	JST
レジスター	カシオCE-2600-5-V	01N-001,002	2	台	JST
プロジェクター	ｷｬﾉﾝ　LV-S1	01N-003	1	台	JST
プロジェクター用ｱﾀｯｼｭｹｰｽ	ｷｬﾉﾝ　LV-S1　用	01N-004	1	個	JST
テレビ台置	テレビ台置	01N-005	1	台	JST
EV誘導案内板	EV誘導案内板	01N-012	1	台	JST
事務所用案内スタンド	事務所用案内スタンド	01N-013	1	台	JST
薬品保管庫	カシオCE-2600-5-V	02N-001	1	台	JST
メイルボックス	244-331　MX101FW　ｽﾃﾝ	02N-002	1	台	JST
ﾘﾈﾝ室1ｴｱｺﾝ	東芝PAC5011SJ	03N-001	1	台	JST
ﾘﾈﾝ室2ｴｱｺﾝ	東芝PAC5011SJ	03N-002	1	台	JST
シュレッダー	明光　V231	05N-001	1	台	JST
AED・自立型収納ボックス		JST国際034	1	台	JST
パーソナルコンピュータ	EPSON AY301	JST国際037:038	2	台	JST
災害多人数用救急箱(50人用)	災害時用　DR-MB50		2	セット	JST
アルミロールマット	災害時用　DR-ALM1		50	個	JST
エマージェンシーブランケット	災害時用		200	個	JST
非常用トイレセット	災害時用　DRK-NT2		10	セット	JST
非常用トイレダスト回収バッグ	災害時用　DRK-NTB1		10	セット	JST
非常用トイレダストキャリー	災害時用　DRK-NTS1		3	台	JST
キャスター式工具セット	災害時用　DR-TS2		2	台	JST
テコバール	災害時用		2	台	JST
平バール	災害時用		2	台	JST
両口ハンマー	災害時用		2	台	JST
両つるはし	災害時用		2	台	JST
角型スコップ	災害時用		2	台	JST
ボルトクリッパー	災害時用		2	台	JST
手斧	災害時用		2	台	JST
ゴーグル	災害時用		2	個	JST
標識ロープ(トラロープ)	災害時用　DR-HR30		4	巻	JST
トランジスタメガホン	災害時用　DR-TR315S		3	台	JST
メタルハライドライト・ハイパースタンド	災害時用　DR-MLB150KH, DR-CHX2		1	台	JST
4サイクルエンジンオイル	災害時用　DR-E04		2	本	JST
コードリール屋外仕様	災害時用　DR-NWE33		4	台	JST
リヤカー(キャンパー)	災害時用　DR-NS8A2		2	台	JST
ガソリン式インバーター発電機	災害時用　EU28is		2	台	JST
カセットボンベ式インバーター発電機	災害時用　EU9iGB		4	台	JST
災害備蓄用パン	災害時用(竹園ハウス)	賞味期限: 2017/02	48	缶	JST
110g備食カンパン	災害時用(竹園ハウス)	賞味期限: 2017/03	29	缶	JST
保存水(500ml)	災害時用(竹園ハウス)	賞味期限: 2017/04	862	本	JST
白米	災害時用(竹園ハウス)	賞味期限: 2017/05	50	食	JST
五目御飯	災害時用(竹園ハウス)	賞味期限: 2017/05	45	食	JST
カルボナーラ	災害時用(竹園ハウス)	賞味期限: 2017/09	5	食	JST
エビピラフ	災害時用(竹園ハウス)	賞味期限: 2017/10	45	食	JST
ドライカレー	災害時用(竹園ハウス)	賞味期限: 2017/10	45	食	JST
ペペロンチーノ	災害時用(竹園ハウス)	賞味期限: 2017/10	12	食	JST
100g備食カンパン	災害時用(竹園ハウス)	賞味期限: 2019/10	24	缶	JST
保存水(500ml)	災害時用(竹園ハウス)	賞味期限: 2019/12	24	本	JST
ようかん(5本入り)	災害時用(竹園ハウス)	賞味期限: 2020/02	5	セット	JST
災害備蓄用パン	災害時用(二の宮ハウス)	賞味期限: 2017/02	150	缶	JST
110g備食カンパン	災害時用(二の宮ハウス)	賞味期限: 2017/03	105	缶	JST
保存水(500ml×18)	災害時用(二の宮ハウス)	賞味期限: 2017/04	3264	本	JST
白米	災害時用(二の宮ハウス)	賞味期限: 2017/05	199	食	JST
五目御飯	災害時用(二の宮ハウス)	賞味期限: 2017/05	186	食	JST
カルボナーラ	災害時用(二の宮ハウス)	賞味期限: 2017/09	45	食	JST
ペペロンチーノ	災害時用(二の宮ハウス)	賞味期限: 2017/10	40	食	JST
エビピラフ	災害時用(二の宮ハウス)	賞味期限: 2017/10	170	食	JST
ドライカレー	災害時用(二の宮ハウス)	賞味期限: 2017/10	155	食	JST
缶入ミニクラッカー	災害時用(二の宮ハウス)	賞味期限: 2019/09	24	缶	JST
缶入ミルクビスケット	災害時用(二の宮ハウス)	賞味期限: 2019/09	24	缶	JST
非常食安心セット	災害時用(二の宮ハウス)	賞味期限: 2019/10	32	食	JST
保存水(500ml×24)	災害時用(二の宮ハウス)	賞味期限: 2019/12	72	本	JST
ようかん	災害時用(二の宮ハウス)	賞味期限: 2020/02	25	個	JST

利用条件

①公的な試験研究機関、大学及び民間企業において研究に従事する外国人研究者

②公的な試験研究機関、大学及び民間企業において研究に従事し、宿舎の外国人研究者と交流を行う日本人研究者

③利用期間は、二の宮ハウス：1週間以上5年以内、竹園ハウス：3ヶ月以上5年以内

利用料金

二の宮ハウス	
1人用	76,000円／月
2人用	100,000円／月

竹園ハウス	
1人用	63,000円／月
2人用	86,000円／月
家族用	106,000円／月

①敷金・礼金は不要です。
②30日未満の利用は消費税が別途必要です。
③月の途中の入退居については日額料金を適用します。
④光熱費、施設等利用料等が別途必要です。

申込方法

受入研究機関の担当者が電話またはe-mailにより空室状況の確認、仮予約後、所定の申請書により、両ハウス入居の1ヶ月前までにお申込みください。

イベント・生活支援・日本語クラス

来日した居住者の生活に必要な情報の提供や、イベントの開催、生活サポートも提供しています。



二の宮ハウス 中庭





交通のご案内

●**つくばエクスプレス：**つくば駅下車
二の宮ハウス／つくばセンターよりバス乗車
行先：No.30・No.31 ひたち野うしく駅　下車：二の宮3丁目（徒歩約5分）
竹園ハウス／つくば駅より徒歩約15分

●**高速バス：**東京駅八重洲南口より
行先：つくばセンター
下車：つくばセンター（二の宮ハウスへはタクシーまたは路線バス）
成田空港
行先：つくばセンター／土浦駅
下車：つくばセンター（二の宮ハウスへはタクシーまたは路線バス）

●**お車**
圏央道つくば牛久I.C.よりつくば学園都市方面へ→学園西大通り→南大通り

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
二の宮ハウス
〒305-0051　茨城県つくば市二の宮1-6-2
TEL：029-858-7000　FAX：029-858-7011

竹園ハウス
〒305-0032　茨城県つくば市竹園2-20-4
TEL：029-858-8000　FAX：029-858-8037

申込先
(公社)科学技術国際交流センター(JISTEC)外国人宿舎事業部
二の宮ハウス内　TEL：029-858-7001　FAX：029-858-7011
URL:http://www.jst.go.jp/inter/jsthouse/
E-mail:nino_take@jistec.or.jp

別紙12

二の宮ハウス



竹園ハウス



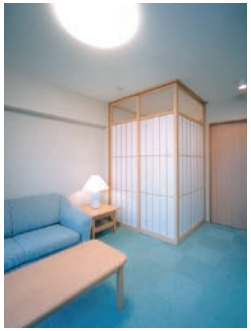
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

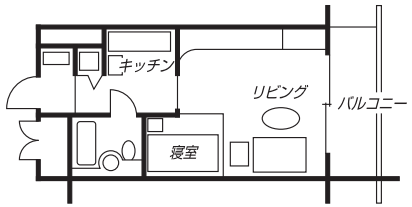
外国人研究者宿舎

二の宮ハウス（家具・寝具・電化製品・調理器具・食器付）

1人用（約34m²）





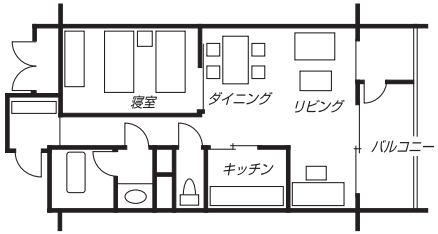


2人用（約63m²）



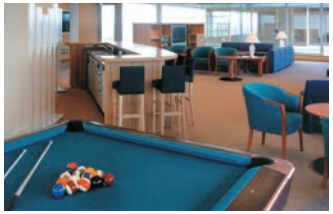






共用室

交流サロン



情報ライブラリー



スポーツジム



主な仕様

●居室数　175室／1～8F
　1人用　1LK　104室
　2人用　1LDK　71室

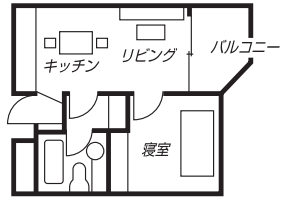
●交流サロン／9F
●和室・茶室／9F
●ラウンジ／3～8F
●情報ライブラリー／2F
●集会室（キッチン設備）／1F
●セミナールーム／1F
●ゲストルーム／1F
●スポーツジム／1F
●キッズルーム／1F
●駐車場（148台）
●駐輪場

竹園ハウス（家具・寝具・電化製品・調理器具・食器付）

1人用（約36m²）



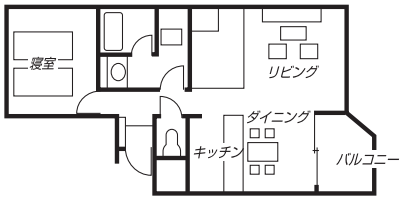




2人用（約63m²）



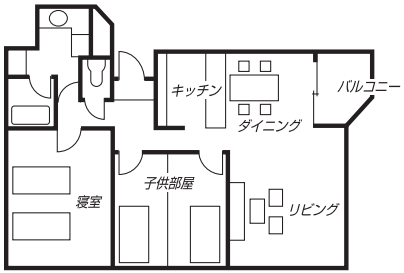




家族用（約93m²）







主な仕様

●居室数　36室／2～7F
　1人用　1LDK　24室
　2人用　1LDK　6室
　家族用　2LDK　6室

●打ち合わせ室
●駐車場（14台）
●駐輪場

施設概要（二の宮ハウス）

※図面は竣工当時のものであり、現況と異なる場合は現況を優先いたします。

建築設計概要書

□工事名称・その他

工事名称	つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建築工事　Ⅰ工区及びⅡ工区
建築主	科学技術振興事業団
（住所・氏名・電話）	〒332-0012
	埼玉県川口市本町4－1－8　川口センタービル
	理事長　中村　守孝
	048-226-5601
建物用途	共同住宅
工事種別	⊙新築　・増改築　・乙・丙工事　・別棟増築　・その他（　　）

□敷　地

敷地所在地	茨城県つくば市二の宮一丁目六番2，13，14
（地名地番・住居表示）	
用途地域の指定	・第1種低層住居専用　・第2種低層住居専用　・第1種中高層住居専用　⊙第2種中高層住居専用
	・第1種住居　・第2種住居　・準住居　・近隣商業
	・商業　・準工業　・工業　・工業専用　・指定なし
防火地域の指定	・防火　・準防火　・法第22条の区域　⊙指定なし
日影規制	・無　・3h－2h（2h－1.5h）　⊙4h－2.5h（3h－2h）
	・5h－3h（4h－2.5h）　測定高さ　・1.5m　⊙4.0m
法定建蔽率	第　70%（60%角地緩和10%）　第　%（　㎡）　第　%（　㎡）
	第加重平均（計算根拠）　%
法定容積率	第　200%（　㎡）　第　%（　㎡）　第　%（　㎡）
	第加重平均（計算根拠）　%
高度地区	⊙指定なし　・指定有り　・東京都　・横浜市　・大阪府　・その他（　）第　種
前面道路	第北・6.00m　第西・6.00m　第南・6.00m　第　m　⊙都市計画道路　・無　・有
その他の地区	・特別用途地区（　）・美観地区　⊙文教地区　2種　・臨海地区
	・駐車場整備地区　・国立公園　・国定公園　・その他（　）

□適用法制度・その他

適用法	・総合設計　・市街地住宅総合設計　・一団地認定による総合的設計
	・高度利用地区　・特定街区　・再開発地区計画
	・市街地再開発事業　・開発申請　・その他（　）

□規　模

階数	第地下　1　階　第地上　9　階
各部の高さ	第軒高　29.662 m　第最高高さ　30.629 m　第基礎下端　BFL-4,600㎜
駐車台数	第自走式屋内　91 台　第自走式屋外　57台　第合計　148 台
増築予定	⊙無　・有

□面　積

A）敷地面積	6,569.32 ㎡
	第　㎡　第　地域　．　㎡　第　地域　．　㎡
B）建築面積	第　4,167.73㎡　第　．　㎡　第　．　㎡
C）延床面積	第　12,988.97㎡　第　．　㎡　第　．　㎡
D）駐車場面積	3,514.23㎡
E）住宅用地下室	149.91㎡
F）住宅共用廊下・階段	1,647.18㎡
G）緒述床面積	（C+D+E+F）　18,298.36
H）建蔽率	B/A　4,167.73 / 6,569.32 = 63.44 % ≦ 第許容　70 %
I）容積率	C/A　12,989.58 / 6,569.32 = 197.73 % ≦ 第許容　200 %

□寸　法

主な寸法	第基準階高　2,900m　第基準階天井高　2,550m
	第主なスパン　8,000m×8,000m，5,800m×10,500m　第モデュール寸法　．　m×　．　m

□外壁の工法

主な工法	⊙ソリッド工法（RC現場）　・PCカーテンウォール　⊙金属又はガラスカーテンウォール
	・乾式パネル工法（ALC等）　・その他（　）

□構　造

構造形式	⊙ラーメン　・壁式　・立体トラス　⊙無梁版　・その他（　）
構造種別	第地下部分　⊙SRC造　・RC造　・その他（　）
	第地上部分　⊙鉄　⊙SRC造　⊙RC造　・W造　・その他（　）
基礎種別	・直接基礎　・現場造成杭（　m～　m）　・鋼管杭（　m～　m）
	⊙PHC杭（17.0m～19.0m）【既成杭先端拡大根固め工法】　・その他（　）

□内部の主要な仕上材（住戸部分）

床	・花崗岩　・大理石　⊙タイルカーペット　・OAフロアー　・その他（　）
壁	・花崗岩　・大理石　・スチールパネル　⊙その他（PBD下地＋装飾壁紙）
天井	・金属パネル　・金属成型板　・システム天井　⊙その他（壁紙貼C）

□外部仕上

屋根	特殊複合式平葺き（フッ素鋼板　t－0.45）－高強9階屋根；北棟4階
（防水・仕上・断熱・防湿）	アスファルト防水＋砂利敷（アクリルエマルジョン硬化材製）（外断熱工法）－各階屋根
	アスファルト防水置上塗化防水工法－高架、西棟9階屋上庇面、1階庇
	アスファルト防水＋SUS　＋放出平板、木製デッキ（外断熱工法）－同上
	改質アスファルト防水トーチ工法＋モルタル＋長尺塩ビシート：一各階開放廊下（下階屋内化部分）
	ウレタン塗膜防水－バルコニー等、アスファルト防水＋軽量コンクリート押え（外断熱工法）
	（ワイヤーメッシュ　6φ－100×100）－屋外階段
笠木	アルミセ－2．5電解2次着色
	アルミセ－2．5アクリル樹脂塗装
庇・軒裏	アクリル樹脂プラスター骨材入りコテ塗材アクリルシリコンクリヤー
外壁	外装用柱藻土仕上塗材
	外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材仕上
	化粧コンクリート打放し仕上げ撥水塗装
開口部	アルミサッシュ、カーテンウォール：電解2次着色（ステンカラー），フッ素樹脂焼付塗装
（カーテンウォール、サッシュ、ガラス等）	ガラス：透明フロートガラス、透明熱線反射ガラス、網入ガラス、強化ガラス、ガラスブロック
外部階段	スチール　亜鉛溶融メッキの上フッ素樹脂塗装、鉄骨下地木ルーバー
外構	舗装：花崗岩 w258×t40　J&P
犬走り、雨樋、門扉、擁壁、フェンス、塀、駐輪、等	：乾式石　割肌黒　w100，200，300×張尺（500～700）
	：インターロッキングブロック　＋　グラススペーサー
	植栽：自然土壌面積あり（南側、西側）
	：RCの上外装用柱藻土仕上塗材
外部金物	第手摺　鉄骨下地木手すり（集成材ﾌｨﾆｯｼｭ）SUS，ST亜鉛溶融メッキの上フッ素樹脂塗装
	第タラップ　SUS
	第丸環　SUS
	第ルーフドレン　鋳鉄製
	第樋　SGPカラーVP及びVPファインウレタン塗装
	第ガラリ　アルミ電第2次着色
	第面格子等子　鉄骨下地木ルーバー（クリアー艶消し）

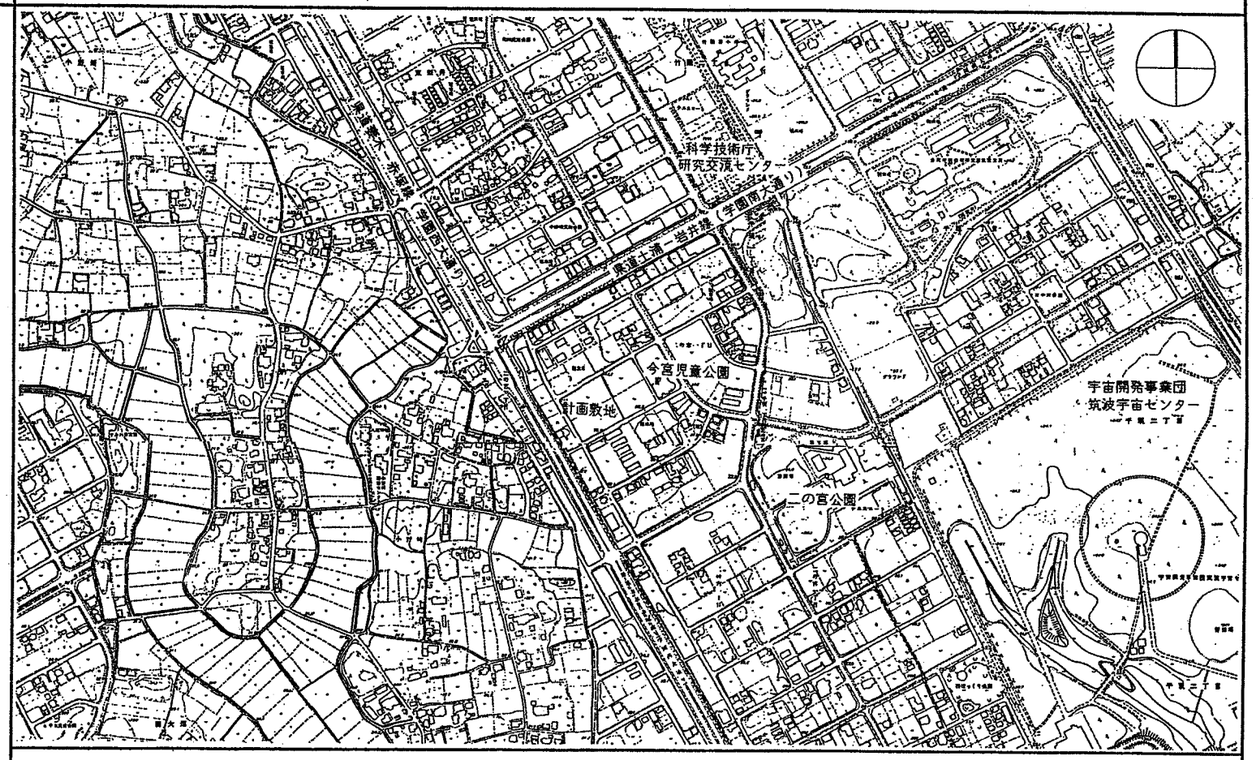
□その他の工事範囲

（工事区分は工事区分表に従る）

種別	含む	含まず	備考	種別	含む	含まず	備考
付属備品	可動家具	○			特殊施設	金庫部		
	固定家具	○				書庫部		
	什器	○				金庫書庫等の間		
	カーテン	○	暗幕含む			映写施設	○	
	ブラインド	○				舞台装置		
	敷物	○				ダストシュート		
	郵便受	○				エレベーター	○	
	表札	○				エスカレーター		
	花名板・表札	○				ダムウェーター		
	案内板・サイン等	○				特殊昇降装置		
	黒板・掲示板	○				気送管		
	映写スクリーン	○				機械駐車装置		
	定礎板	○				ゴンドラ		
	厨房器具	○						
	清浄装置具	○						
	建築照明	○		工事その他		看板・広告板	○	
	カガミ	○				広告塔・鉄塔	○	
	消火器BOX	○				物干	○	
						産業廃棄物焼却炉		
						産業廃棄物置場		
						避難器具	○	8ヶ所
						解体工事		
						既存建物移設		
						工作物移設		
						樹木移設		
						電柱移設		○
						側溝改修工事	○	
						防火水槽	○	60m³コンクリート二次製品

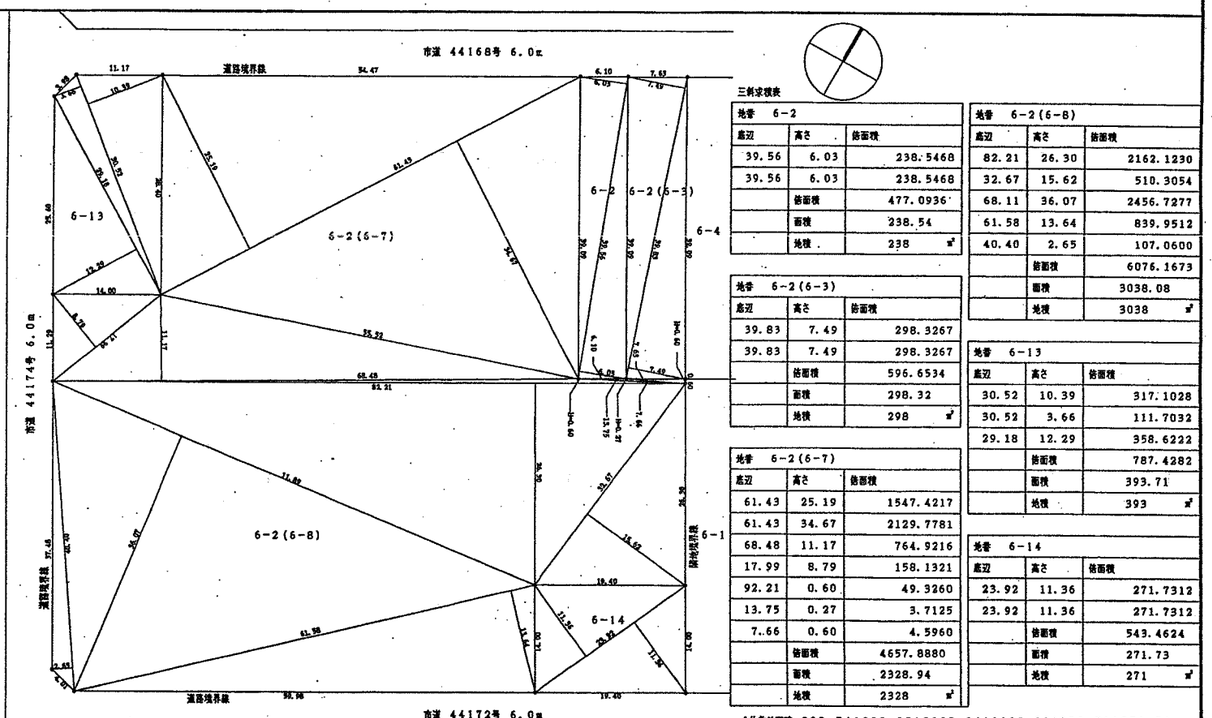
案内図

1：5000



地積図

1：400



三斜求積表

地番 6-2		
底辺	高さ	倍面積
39.56	6.03	238.5468
39.56	6.03	238.5468
	倍面積	477.0936
	面積	238.54
	地積	238 ㎡

地番 6-2(6-3)		
底辺	高さ	倍面積
39.83	7.49	298.3267
39.83	7.49	298.3267
	倍面積	596.6534
	面積	298.32
	地積	298 ㎡

地番 6-2(6-7)		
底辺	高さ	倍面積
61.43	25.19	1547.4217
61.43	34.67	2129.7781
68.48	11.17	764.9216
17.99	8.79	158.1321
92.21	0.60	49.3260
13.75	0.27	3.7125
7.66	0.60	4.5960
	倍面積	4657.8880
	面積	2328.94
	地積	2328 ㎡

地番 6-2(6-8)		
底辺	高さ	倍面積
82.21	26.30	2162.1230
32.67	15.62	510.3054
68.11	36.07	2456.7277
61.58	13.64	839.9512
40.40	2.65	107.0600
	倍面積	6076.1673
	面積	3038.08
	地積	3038 ㎡

地番 6-13		
底辺	高さ	倍面積
30.52	10.39	317.1028
30.52	3.66	111.7032
29.18	12.29	358.6222
	倍面積	787.4282
	面積	393.71
	地積	393 ㎡

地番 6-14		
底辺	高さ	倍面積
23.92	11.36	271.7312
23.92	11.36	271.7312
	倍面積	543.4624
	面積	271.73
	地積	271 ㎡

かっこ内数字は全体図の地番を示す。

全体敷地面積　238.54+298.32+2328.94+3038.08+393.71+271.73 = 6569.32㎡

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

MHS 松田平田　丸川設計

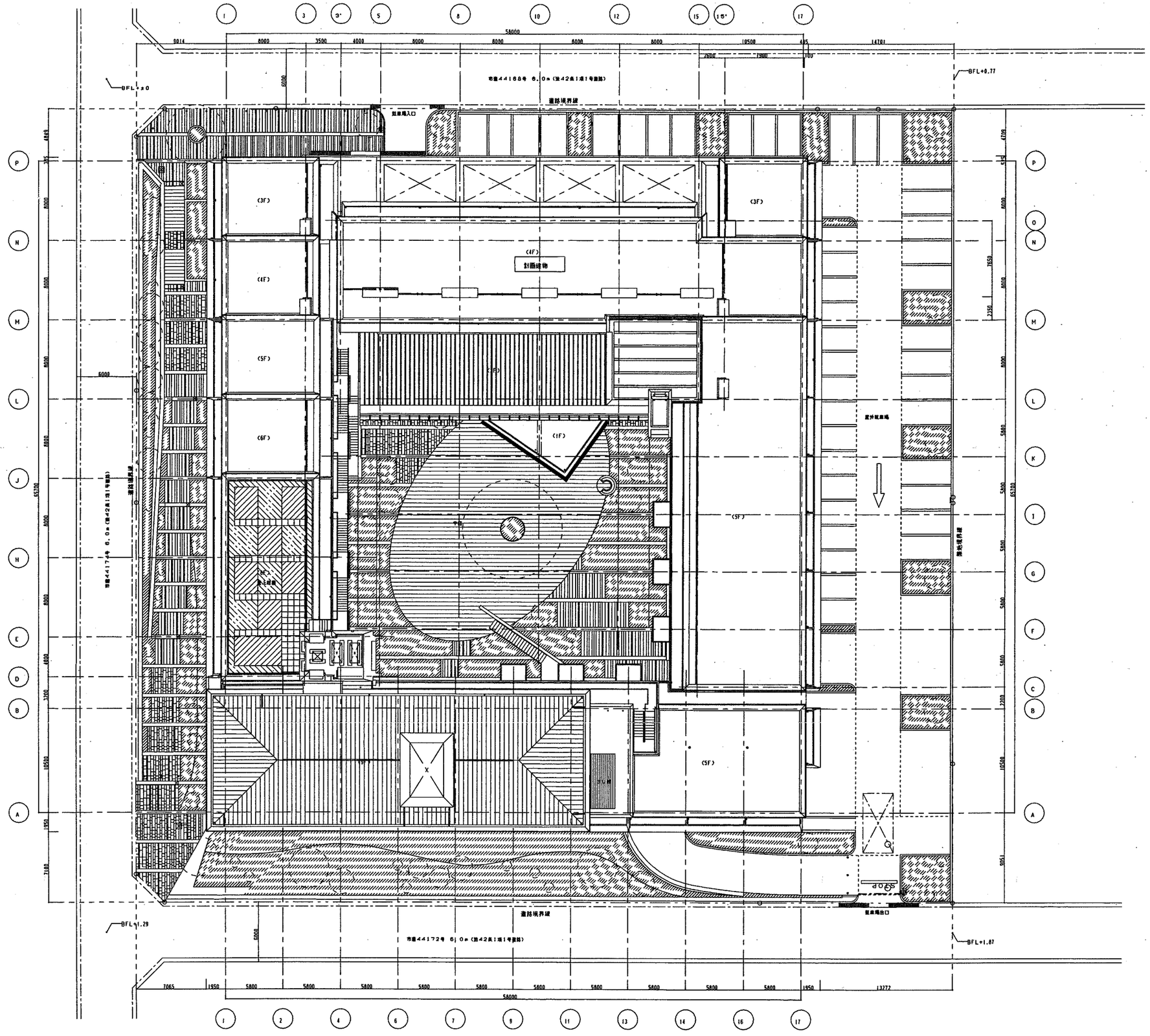
project no. A3693 * つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建築工事

date 99.09.30　drawn by　checked by

建築設計概要書 / 案内図 / 敷地求積図

scale 1:400　1:5000

建築 002



revisions	松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建築工事	配置図	建築
	69 HHS 松田平田 ◯1◯ 丸川設計	date 99.09.30 / drawn by / checked by	scale 1/200	101

凡例

±0	床仕上レベルを示す
	RC壁（壁厚は施工者及び申請時期による）
	耐火被覆界壁（LGS下地　遮音性能：TDL-52以上　耐火2時間認定品）
	一般間仕切壁（LGS下地　界側としてPBD9.5+12.5両面貼）
	住戸内間仕切壁（木軸下地　界側としてPBD9.5+12.5両面貼）
▼	消火栓ボックス（露出埋込型　SUS製既製品）
	屋内消火栓（1号消火栓）
RL	屋根：ガラVP及びVP2層ウレタン塗装
RD	ルーフドレイン：鋳鉄製φ80（水はね防止中埋型　屋上階部分は並引型）
	雨水集水桝（設備工事）及び桝までの雨水配管（建築工事）が良いものを示す
	マンホール：SUS製（汚水・防臭・ロック式）600角
	マンホール：鋳鉄製（雨水汚水型）φ600　T-8
	マンホール：鋳鉄製（雨水汚水型）φ600　T-8
	※外部マンホールは外周図参照
	コーナーガード：ゴム製既製品　発泡60×60　H=1000

設備基礎リスト

設置室名	対象機器	L × W × H	数量
ファンルーム1	排気ファン	3000 × 1470 × 200	1
ファンルーム2	排気ファン	3000 × 1470 × 200	1
受水槽室	受水槽	7390 × 350 × 500	3
	揚水ポンプ	1000 × 800 × 200	1
処理槽機械室	処理槽ブロア	2300 × 700 × 200	1
	制御盤	1200 × 500 × 200	1
	脱臭装置	900 × 900 × 200	1
消火ポンプ室	消火ポンプ	1680 × 1000 × 300	1
	始消火ポンプ	2680 × 1300 × 300	1
	圧力ポンプ	1100 × 1100 × 200	1

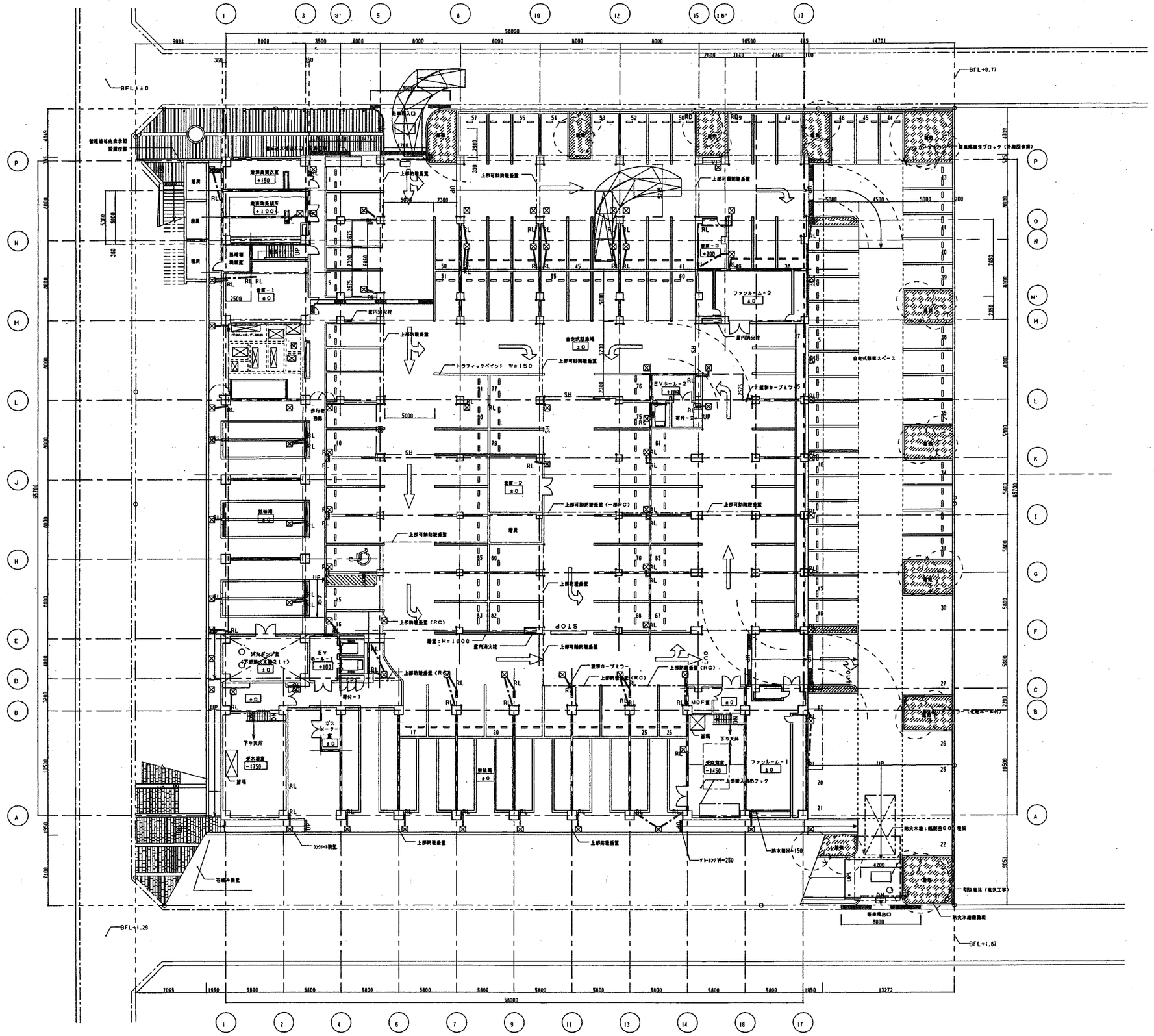
廃棄物集積所　求積

8.72 × 5.36 = 46.739

46.73㎡

駐車場　基盤リスト

基盤番号	W × L	基盤面積（㎡）
内部		
1 及び 2	2500 × 5760	14.40
3 及び 5	2675 × 5760	15.40
4	2300 × 5760	13.24
6 ～ 8	2420 × 5760	13.93
9 及び 10	2500 × 5000	12.50
11 ～ 14	2590 × 5860	15.11
15	2310 × 5860	13.53
16	3500 × 5860	20.51
17 ～ 26	2430 × 5170	12.56
27 ～ 34	2530 × 5300	13.40
36 及び 37	2420 × 5300	12.82
38 ～ 40	2420 × 5178	12.51
41 ～ 60	2420 × 5270	12.75
50 及び 51	2300 × 5270	12.12
52 ～ 60	2420 × 5000	12.10
61	2520 × 5250	13.23
62 ～ 67	2530 × 5250	13.28
68 ～ 74	2580 × 5660	14.60
75	2530 × 5560	14.06
76	2300 × 5560	12.78
77	2300 × 5540	12.74
78 及び 79	2580 × 5440	13.60
80 ～ 82	2580 × 5540	14.29
83 ～ 85	2580 × 5440	14.03
86 ～ 88	2580 × 5340	13.77
89 及び 90	2500 × 5440	13.60
91	2380 × 5540	12.74
外部		
1 ～ 16	2500 × 5000	12.50
17 ～ 21	2500 × 5000	12.50
22 ～ 43	2500 × 5000	12.50
44 ～ 57	2410 × 5190	12.50



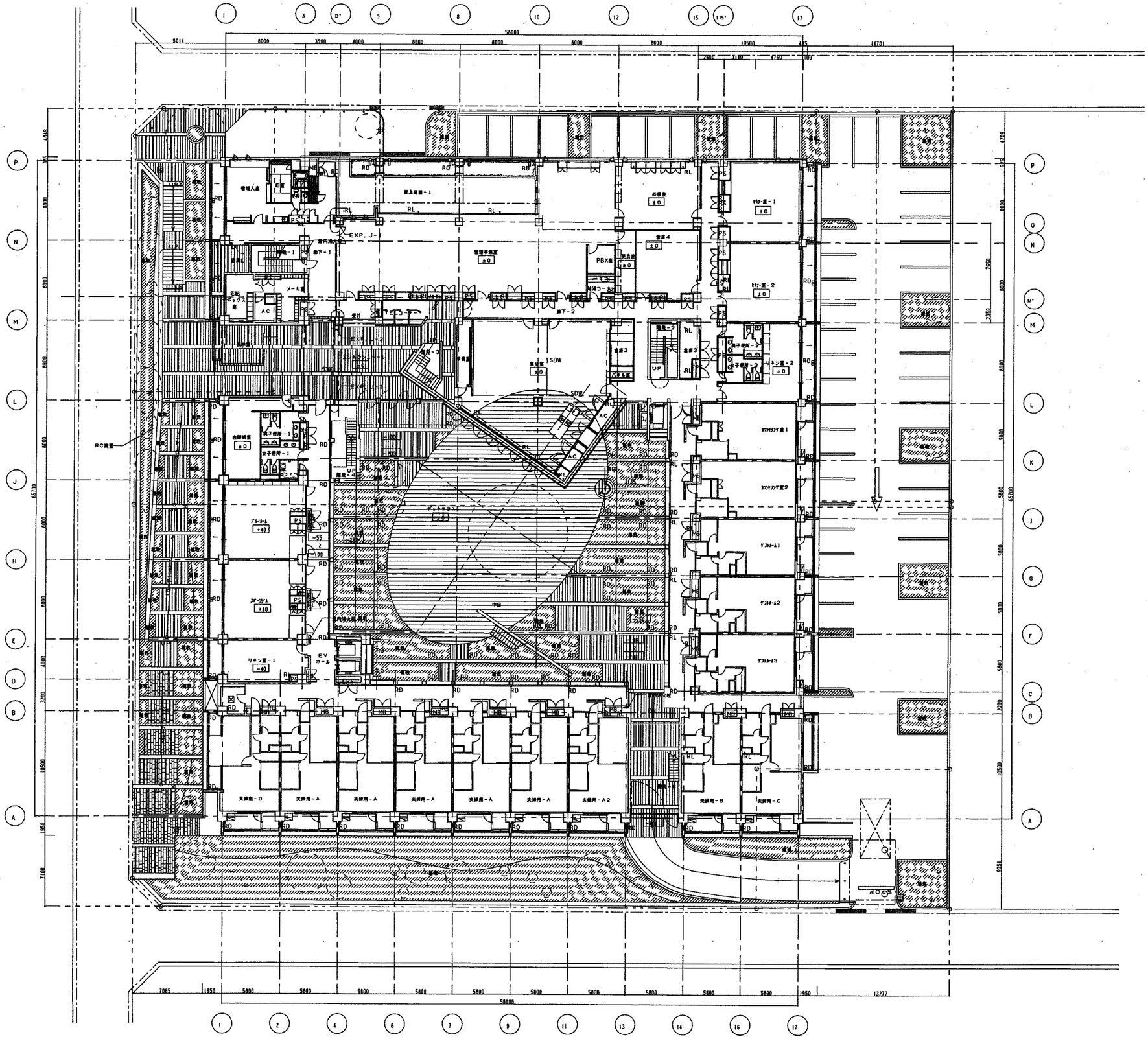
申し送り事項

外構図にあわせ、敷地境界線北側の門扉を追加、防火水槽位置変更（9／06）	有限自走スペース駐材を外周図スケッチに合致させる旨変更（9／06）
1.7階5N-0間に階段を追加（9／06）	カーブミラー（屋内3カ所　屋外1カ所）追加（9／06）
F-K通り1.5階5共幹材を変更（9／06）	建築基準法の変更を建築基準次第に変更（9／07）
L通り12-15階5間を屋根裏とする（9／06）	北西側外装取り合いを調整（9／07）
1通り12-15階5間は階段中心、壁通しを解除（9／06）	各階段幅員止寸を追記（9／07）

松田平田・丸川設計共同企業体		project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建築工事		地下1階平面図	建築
70 MHS 松田平田	D 1 D 丸川設計	date 99.09.30	drawn by	checked by	scale 1/200	102

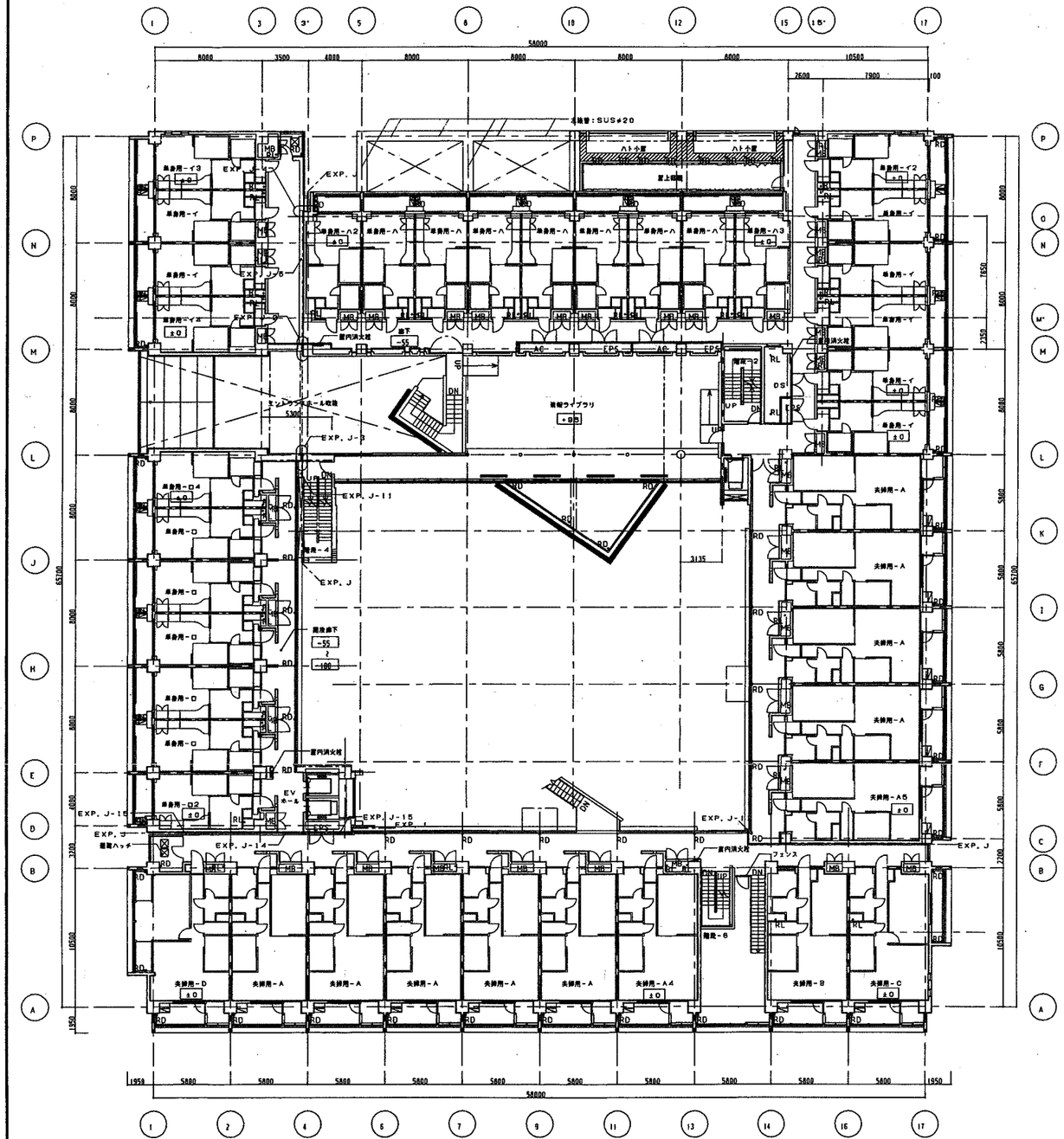
凡　例

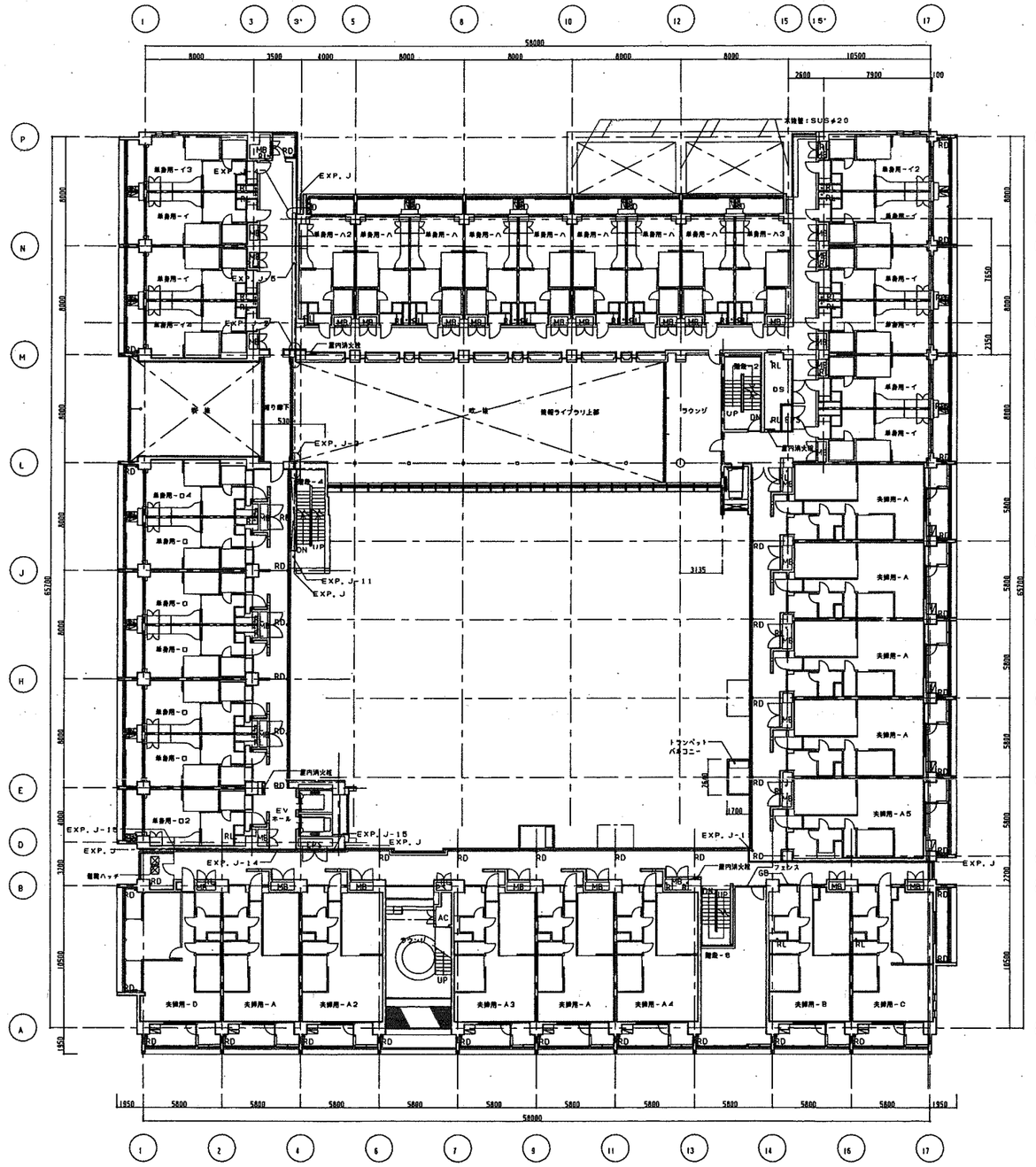
±0	床仕上レベルを示す
	RC壁（躯体は鉄筋及び手摺詳細による）
	耐火被覆界壁（LGS下地　被覆性能：TDL-52J以上　耐火2時間認定品）
	一般間仕切壁（LGS下地　厚剤としてPB09.5+12.5両面張）
	住戸内間仕切壁（木軸下地　厚剤としてPB09.5+12.5両面張）
▼	消火管ボックス（監視窓型　SUS製既製品）
	屋内消火栓（1号消火栓）
RL	屋根：ガラVP及びVPファイブルの露出
RD	ルーフドレイン：鋳鉄製φ80（水はね防止中電型　床上勾配分は控引型）
	雨水竪樋：（現場工事）及び前までの雨水配管（建築工事）が異いものを示す
	マンホール：SUS製（防水・防臭・ロック式）600角
	マンホール：鋳鉄製（防水・防臭・ロック式）φ600　T-8
	マンホール：鋳鉄製（雨基前水型）φ600　T-8
	※外部マンホールは外構図参照
	コーナーガード：ゴム製既製品　見付60×60　H=1000



凡　例

±0	床仕上レベルを示す	RD	ルーフドレイン：鋳鉄製φ80（水は切防止中間型　専上階部分は横引型）
	RC壁（壁厚は構造強度及び平面計画図による）		排水集水桝（設備工事）及び桝までの雨水配管（建築工事）が長いものを示す
	耐火被覆界壁（LGS下地　遮音性能：TDL－52以上　耐火2時間認定品）		マンホール：SUS製（防水・防臭・ロック式）600角
	一般間仕切壁（LGS下地　原則としてPBD9．5＋12．5両面貼）		マンホール：鋳鉄製（防水・防臭・ロック式）φ600　T－8
	住戸内間仕切壁（木軸下地　原則としてPBD9．5＋12．5両面貼）		マンホール：鋳鉄製（最高防水型）φ600　T－8
▼	消火器ボックス（屋内埋込型　SUS製既製品）		※外部マンホールは外構部参照
	屋内消火栓（1号消火栓）		コーナーガード：ゴム製既製品　見付60×60　H＝1000
RL	記号：RD-VP及びVPファイルの接続		



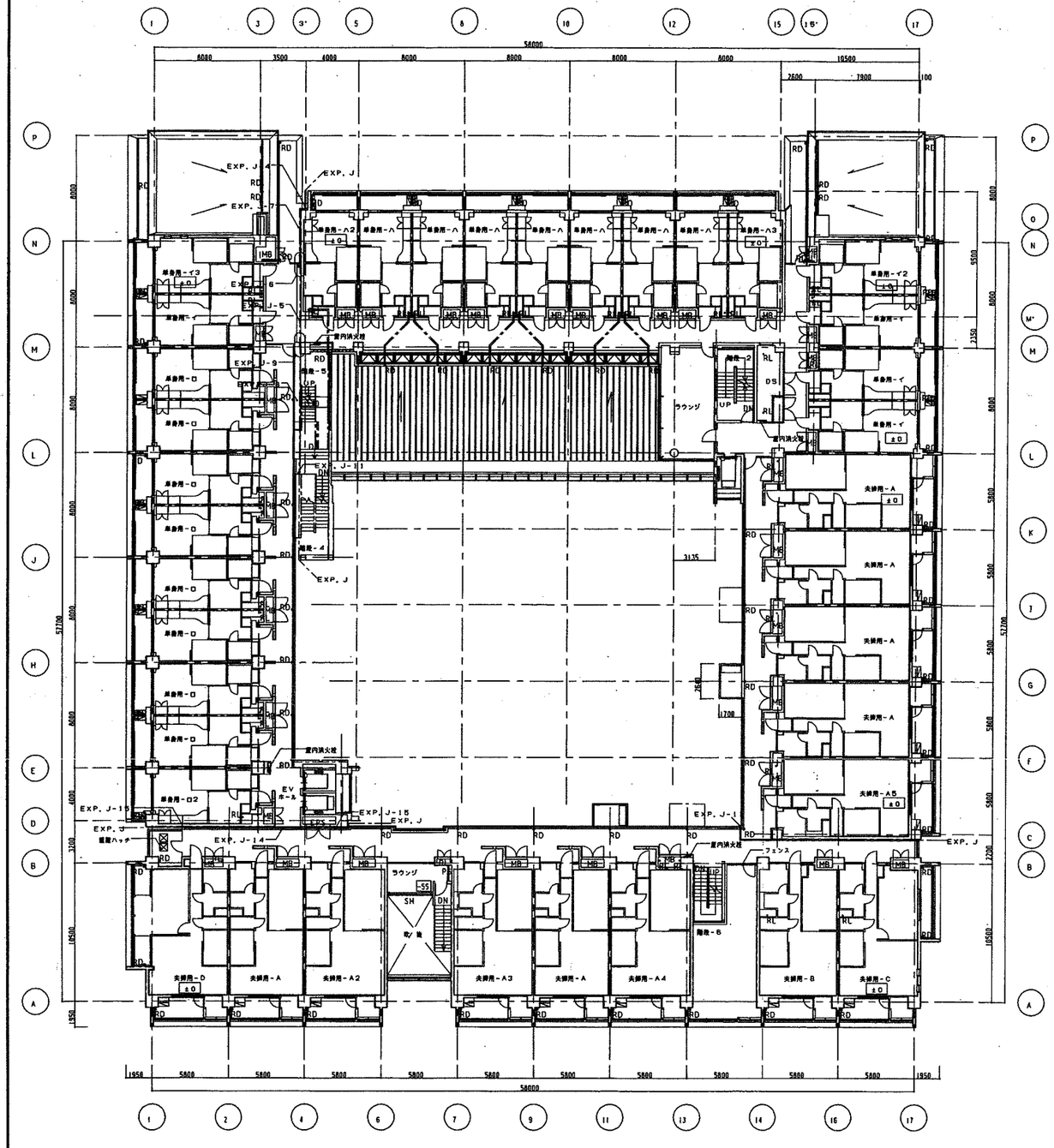


revisions

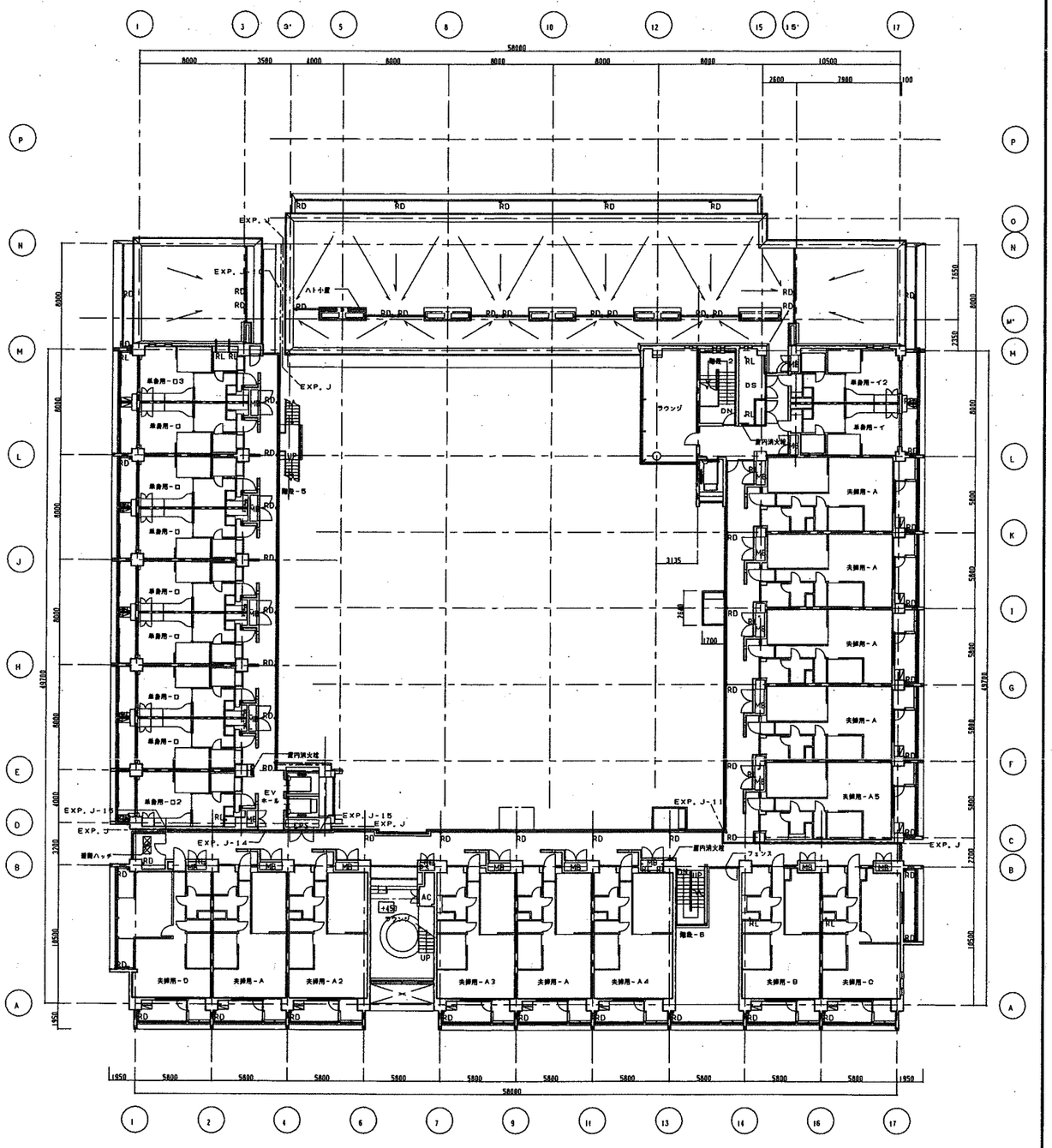
松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建築工事	2・3階平面図	建築
松田平田 ◯I◯ 丸川設計	date 99.09.30 / drawn by / checked by	scale 1/200	104

凡　例

±0	床仕上レベルを示す	RD	ルーフドレイン：鋳鉄製φ80（水はね防止中高型　竪上端部分は留引型）
	RC壁（壁厚は開口部及び平面詳細図による）		雨水集水器（設備工事）及び桝までの雨水配管（給排工事）が表いものを示す
	耐火被覆界壁（LGS下地　遮音性能：TDL-52以上　耐火2時間認定品）		マンホール：SUS製（防水・防臭・ロック式）600角
	一般間仕切壁（LGS下地　厚例としてPBD9．5＋12．5両面貼）		マンホール：鋳鉄製（防水・防臭・ロック式）φ600　T-8
	住戸内間仕切壁（木軸下地　厚例としてPBD9．5＋12．5両面貼）		マンホール：鋳鉄製（簡易防水型）φ600　T-8
▼	消火器ボックス（盤埋込型　SUS鋳鉄製品）		※外部マンホールは外構図参照
	屋内消火栓（1号消火栓）		コーナーガード：ゴム鋳鉄製品　見付60×60　H＝1000
RL	屋根：ポリVP及びVPフィブルウラ塗装		



4階平面図



5階平面図

revisions

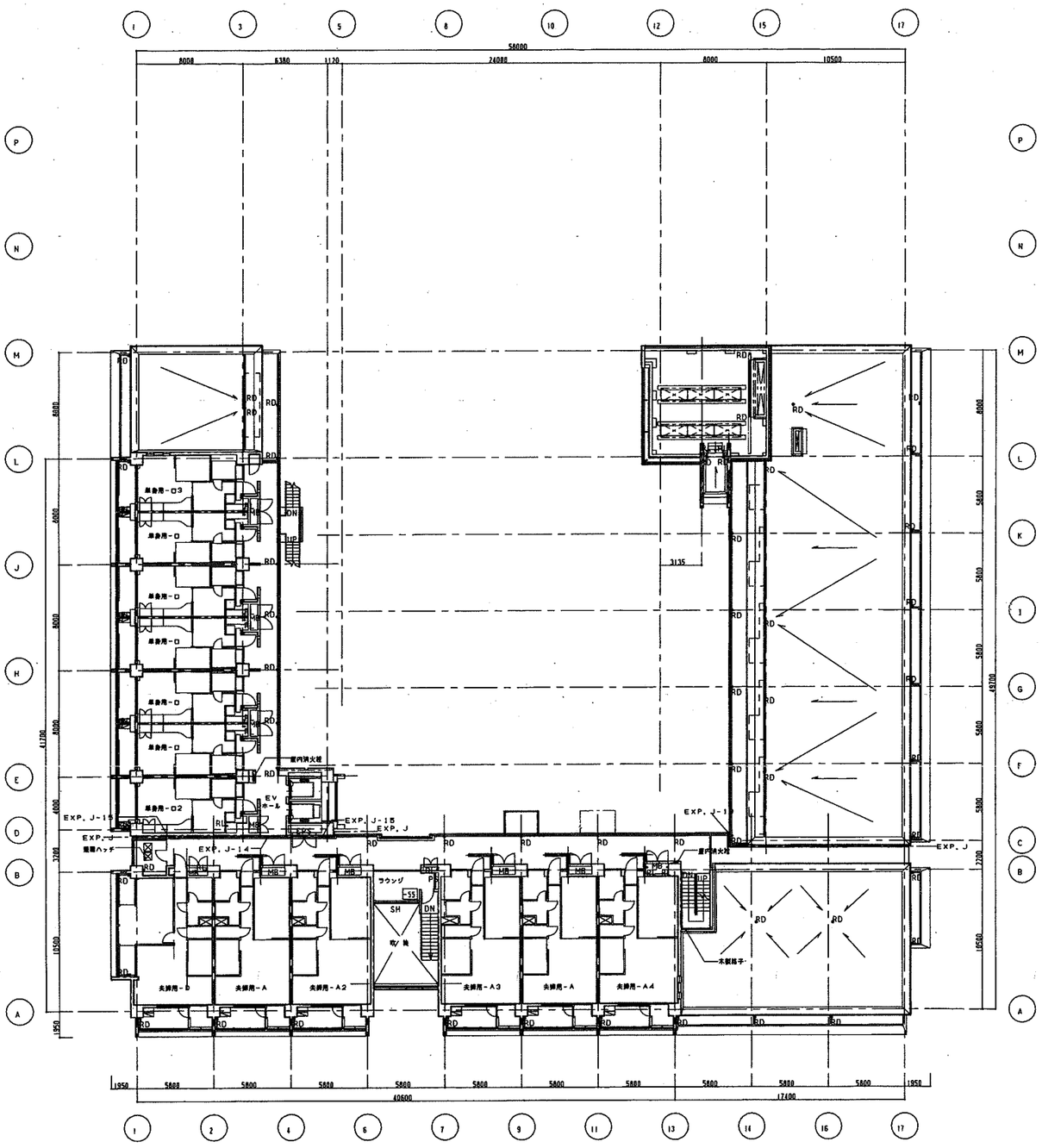
松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建築工事	4・5階平面図	建築
松田平田 ◯I◯ 丸川設計	date 99.09.30 / drawn by / checked by	scale 1/200	105

凡　例

±0	床仕上レベルを示す	RD	ルーフドレイン：排水側φ80（水はね防止中埋型　屋上階部分は竪引型）
	RC壁（壁厚は隣接図及び平面詳細図による）		雨水集水桝（設備工事）及び桝までの雨水配管（建築工事）が長いものを示す
	耐火遮音界壁（LGS下地　遮音性能：TDL-52以上　耐火2時間認定品）		マンホール：SUS製（防水・防臭・ロック式）600角
	一般間仕切壁（LGS下地　厚訓としてPBD9.5+12.5両面貼）		マンホール：鋳鉄製（防水・防臭・ロック式）φ600　T-8
	住戸内間仕切壁（木軸下地　厚訓としてPBD9.5+12.5両面貼）		マンホール：鋳鉄製（簡易防水型）φ600　T-8
▼	消火管ボックス（壁埋込型　SUS製既製品）		※外部マンホールは外周部参照
	屋内消火栓（1号消火栓）		コーナーガード：ゴム製既製品　先付60×60　H=1000
RL	屋根：カラーVP及びVPファンクション建築		

設備基礎リスト

設置箇所	対象機器	L × W × H	数量
PH階	室外機	7600 × 300 × 450	4



松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田　丸川設計

project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建築工事

date 99.09.30　drawn by　checked by

6・7階平面図

scale 1/200

建築 106

revisions

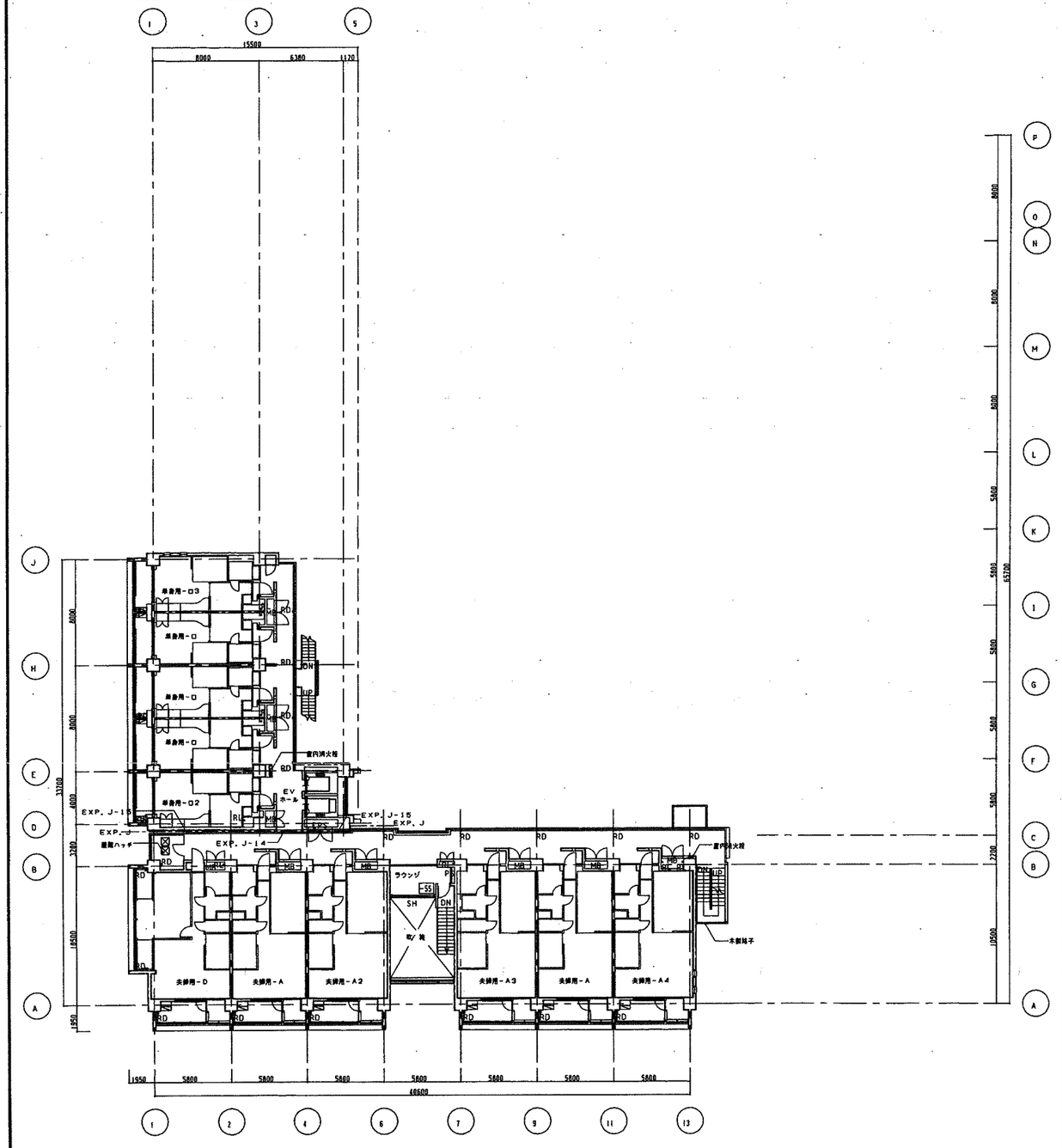
凡　例

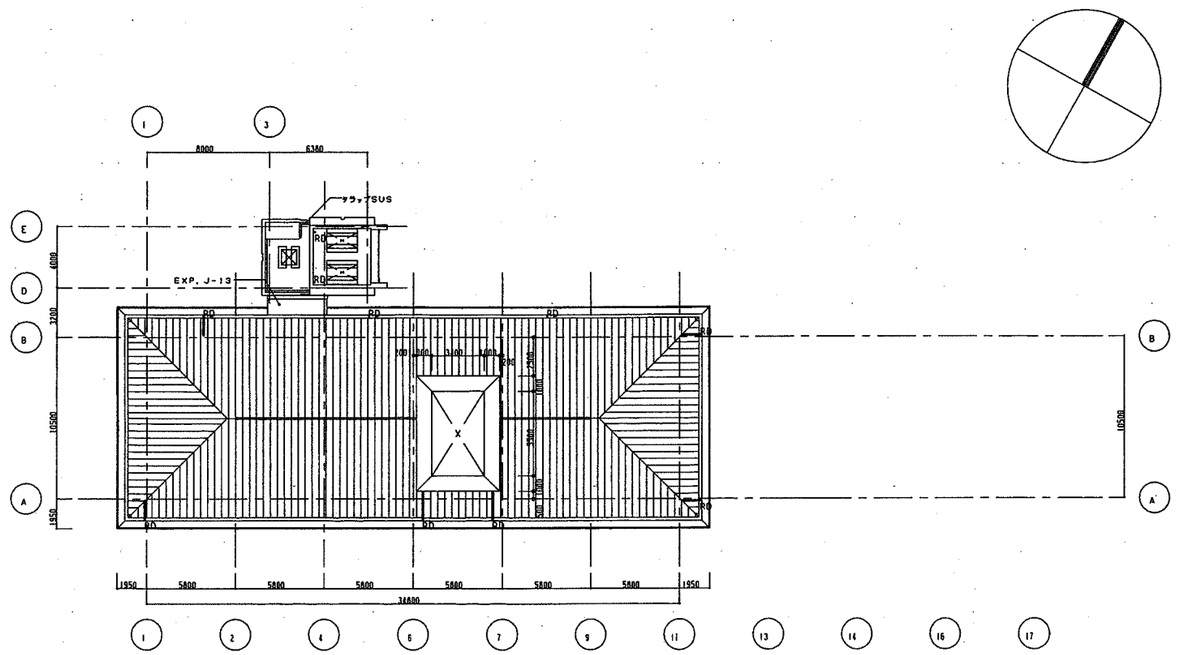
±0	床仕上レベルを示す	RD	ルーフドレイン：鋳鉄製φ80（水はね防止中間型　地上階部分は笠引型）
	RC壁（壁厚は図面及び平面詳細図による）		雨水集水桝（設備工事）及び桝までの雨水配管（建築工事）が異いものを示す
	耐火被覆界壁（LGS下地　遮音性能：TDL-52以上　耐火2時間認定品）		マンホール：SUS製（防水・防臭・ロック式）600角
	一般居住区画壁（LGS下地　厚訓としてPBD9．5＋12．5両張貼）		マンホール：鋳鉄製（防水・防臭・ロック式）φ600　T-6
	住戸内間仕切壁（木造下地　厚訓としてPBD9．5＋12．5両張貼）		マンホール：鋳鉄製（掃高防水型）φ600　T-6
▼	消火器ボックス（壁埋込型　SUS製既製品）		※外部マンホールは併用器※筒
	屋内消火栓（1号消火栓）		コーナーガード：ゴム製既製品　見付60×60　H＝1000
RL	屋根：ガ-VP及びVPカラフルグラ塗装		

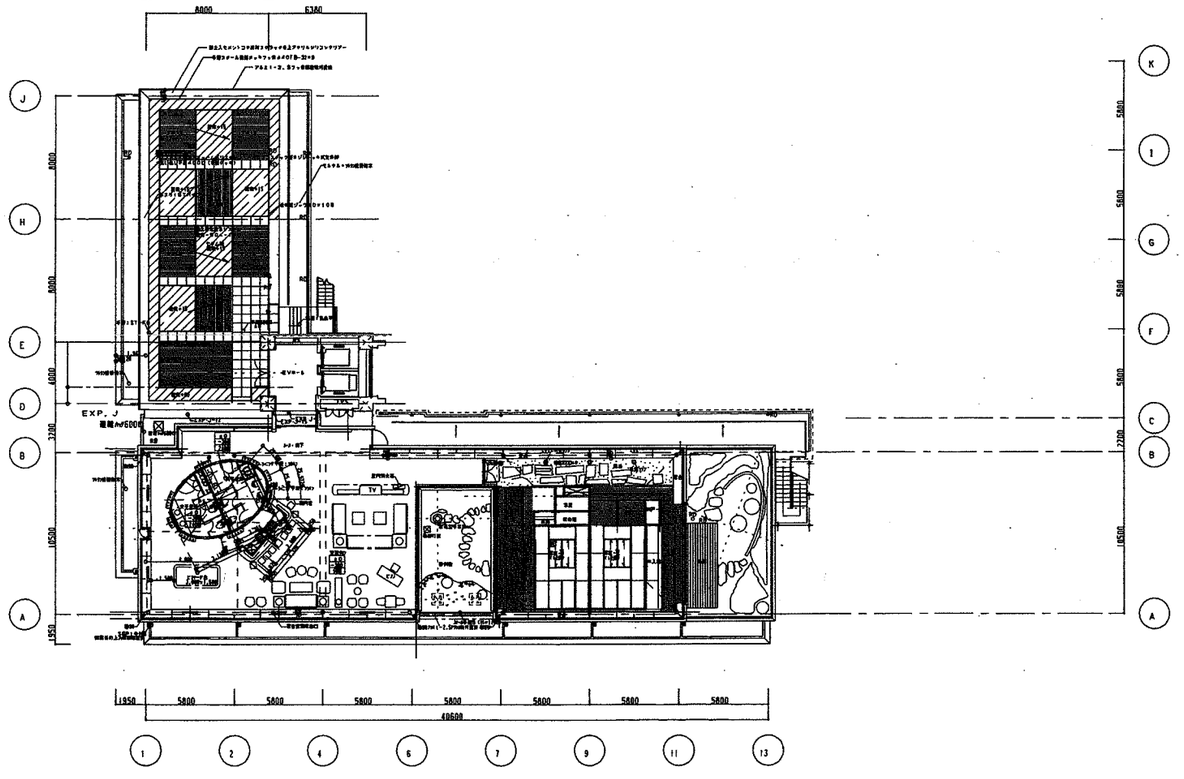
設備基礎リスト

設置区名	対象機器	L × W × H	数量
PH階	補助水槽	1200 × 300 × 600	2
	室外機	1810 × 300 × 650	4

※丸環　II工区：67ヶ所　III工区：55ヶ所







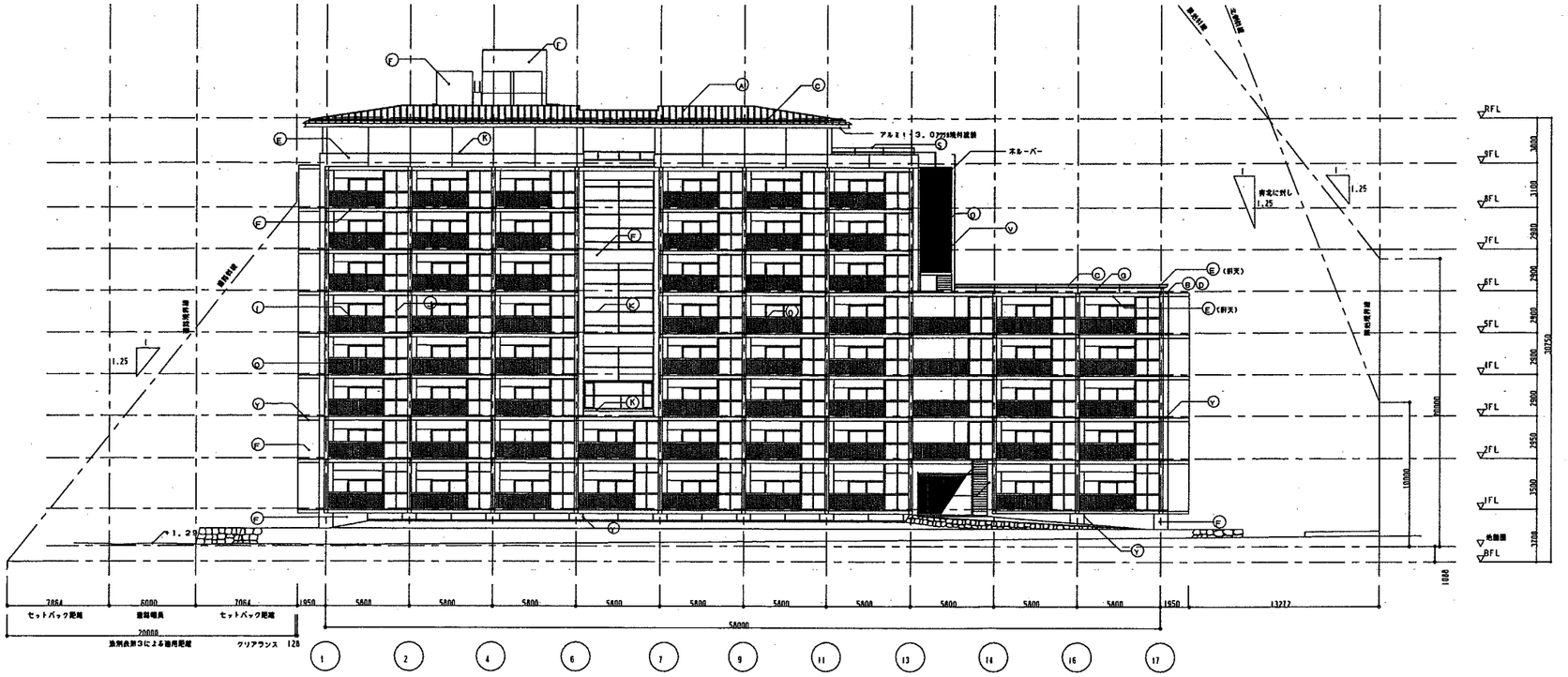
revisions

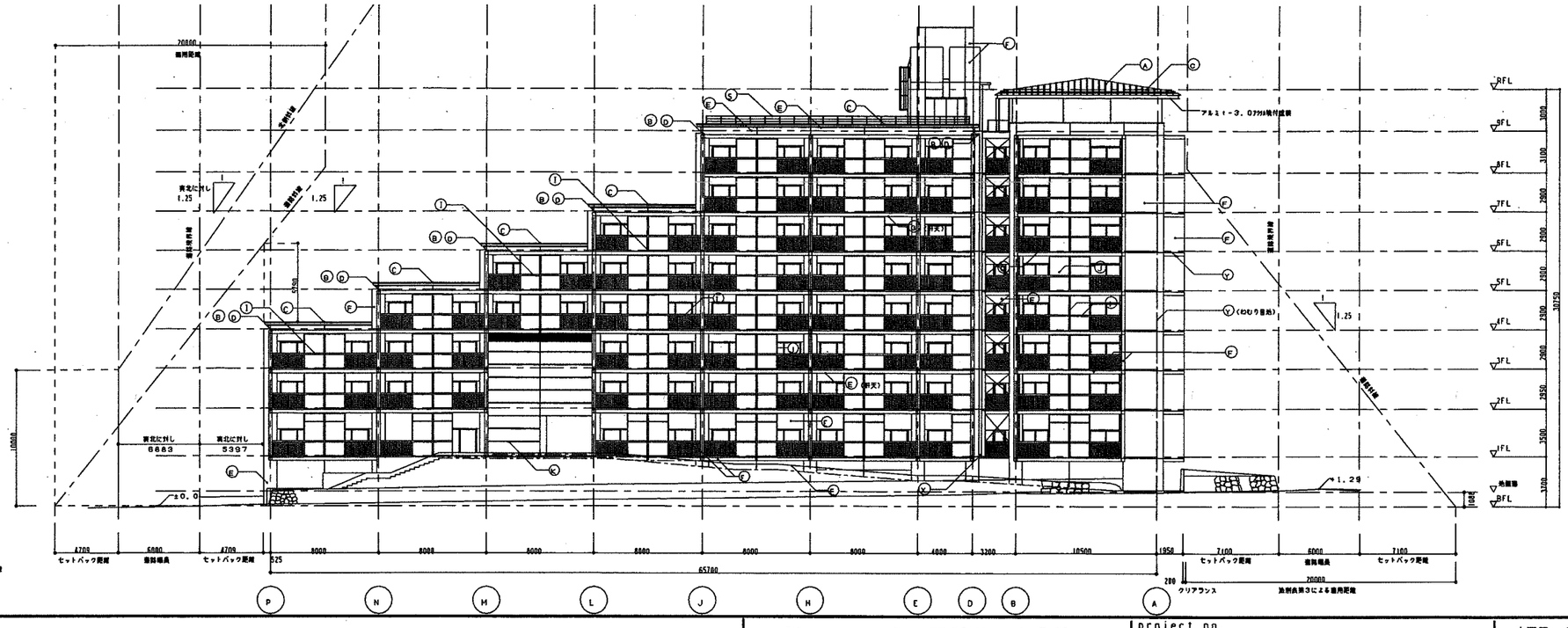
松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 ▪ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建築工事	8・9・PH階平面図	建築
松田平田 (I) 丸川設計	date 99.09.30 / drawn by / checked by	scale 1/200	107

外部仕上凡例

A	特許室合式平滑面モ（フッソ調荒 t－0．45）
B	アルミt－2．5 アクリル焼付塗装
C	アルミt－2．5 アクリル焼付塗装
D	折先金物 アルミF B t－6 フッソ焼付塗装
E	合成樹脂エマルション系艶付仕上塗り材
F	外装用補修土仕上塗り材
G	外装用合成樹脂エマルション系艶付仕上塗り材
H	化粧コンクリート打放仕上げ撥水塗装
I	アルミ]－100×80 アルマイトマット仕上
J	アルミサッシュ 電解2次着色
K	アルミサッシュ アルマイトマット処理
L	ガラスブロック
M	調型ガラス
N	外部階段 スチール t－18 溶融亜鉛メッキフッソ樹脂塗装
O	本手摺A
P	本手摺B
Q	アルミT－50×75 アルミ電解2次着色（アルマイトマット処理）
R	スチール手摺A 手摺：ST角パイプ32×14 手摺子：ST丸鋼12.7Φ 支柱：ST角パイプ32×14 【溶融亜鉛メッキの上フッソ樹脂塗装】
S	スチール手摺B 手摺 ：ST F B 32×9溶融亜鉛メッキフッソ樹脂塗装 手摺子：ST F B 32×9溶融亜鉛メッキ フッソ樹脂塗装）
T	SUS F B 50×12HL＋ポリカーボネート透明庇
U	ホルーバーA
V	ホルーバーB
W	タワースクリーン フッ素焼付塗装
X	ORゴム （EXP．J）
Y	変成シリコーンシーリング

道路斜線の基準点は、所図面後の路面の中心の最低点：B1FL±0．0mとする





道路境界線
建築境界線上斜面線

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田 丸川設計

project no. A3693 • つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建築工事

date 99.09.30 | drawn by | checked by

立面図－（南・西）

scale 1/200

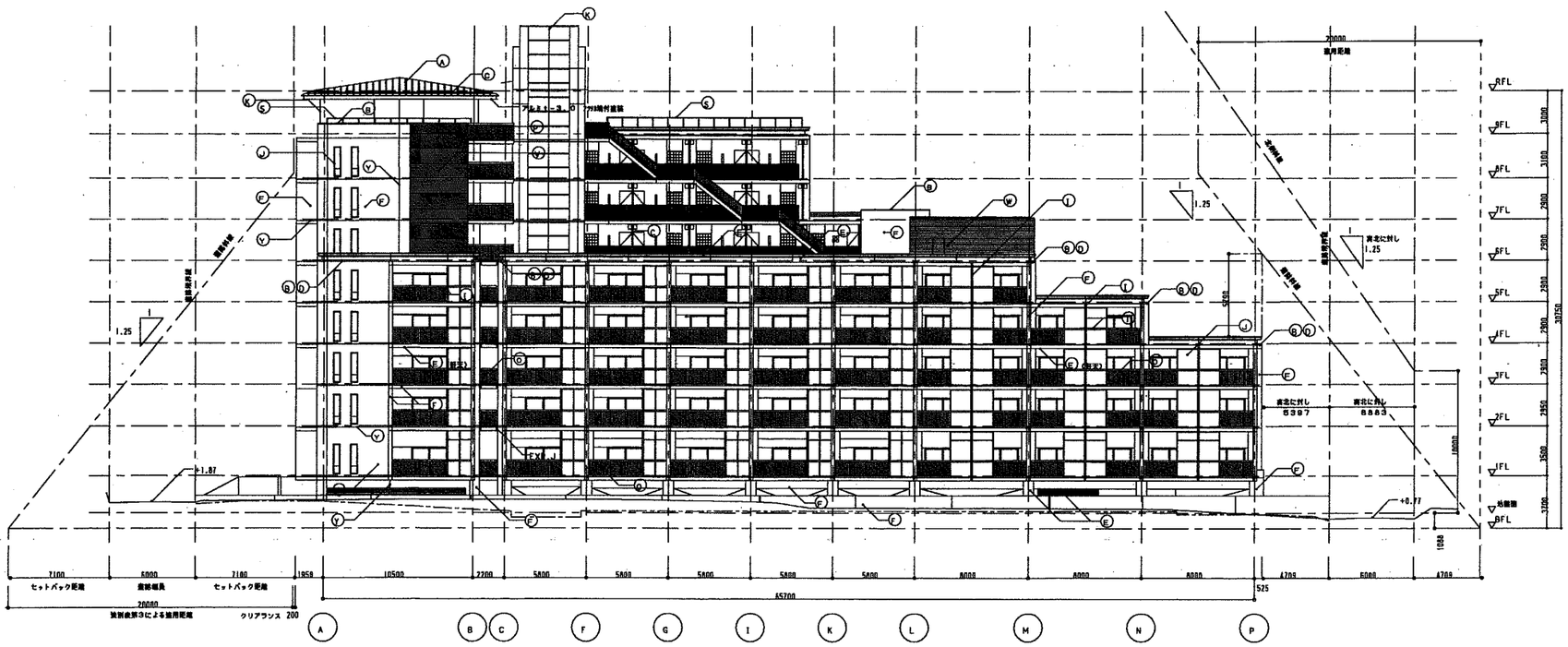
建築

108

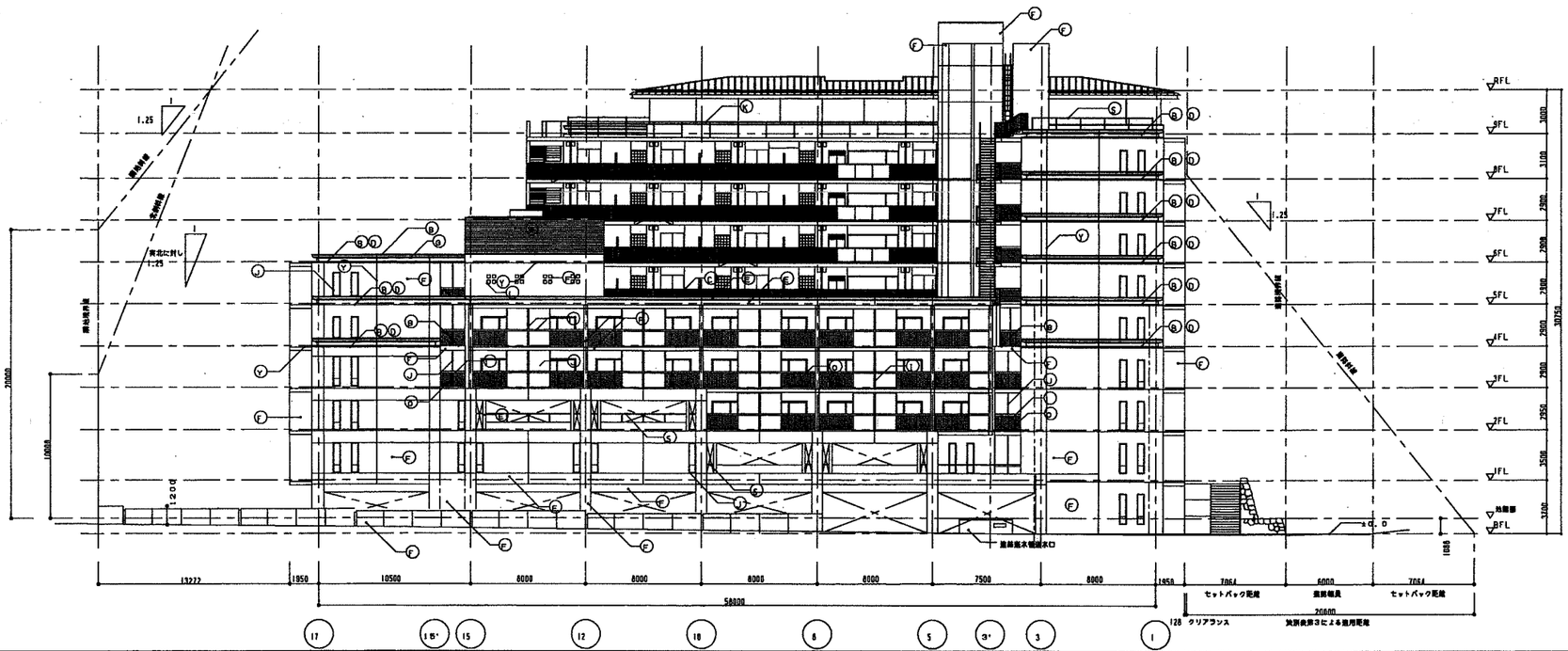
外部仕上凡例

A	特殊鋳合式平屋葺き（フッ素鋼板　t－0．45）
B	アルミt－2．5　アクリル焼付塗装
C	アルミt－2．5　アクリル焼付塗装
D	新発金物　アルミFB　t－6　フッ素焼付塗装
E	合成樹脂エマルション系薄付仕上塗り材
F	外装用弾性仕上塗り材
G	外装用合成樹脂エマルション系薄付仕上塗り材
H	化粧コンクリート打放仕上げ撥水塗装
I	アルミ　J－100×80　アルマイトマット仕上
J	アルミサッシュ　電解2次着色
K	アルミサッシュ　アルマイトマット処理
L	ガラスブロック
M	網入ガラス
N	外部階段　スチール　t－16　直結溶融メッキフッ素樹脂塗装
O	木手摺A
P	木手摺B
Q	アルミT－50×75　アルミ電解2次着色（アルマイトマット処理）
R	スチール手摺A 手摺：ST角パイプ32×14　手摺子：ST角鋼12.70 笠木：ST角パイプ32×14　（直結溶融メッキ中の上フッ素樹脂塗装）
S	スチール手摺B 手摺　：ST　FB　32×9直結溶融メッキフッ素樹脂塗装 手摺子：ST　FB　32×9直結溶融メッキ　フッ素樹脂塗装）
T	SUS　FB　50×12HL＋ポリカーボネート透明板
U	木ルーバーA
V	木ルーバーB
W	タワースクリーン　フッ素焼付塗装
X	CRゴム　（EXP．J）
Y	変成シリコーンシーリング

建築外部の基準点は、病棟建物の基面の中心の地盤点：B1FL±0．0mとする



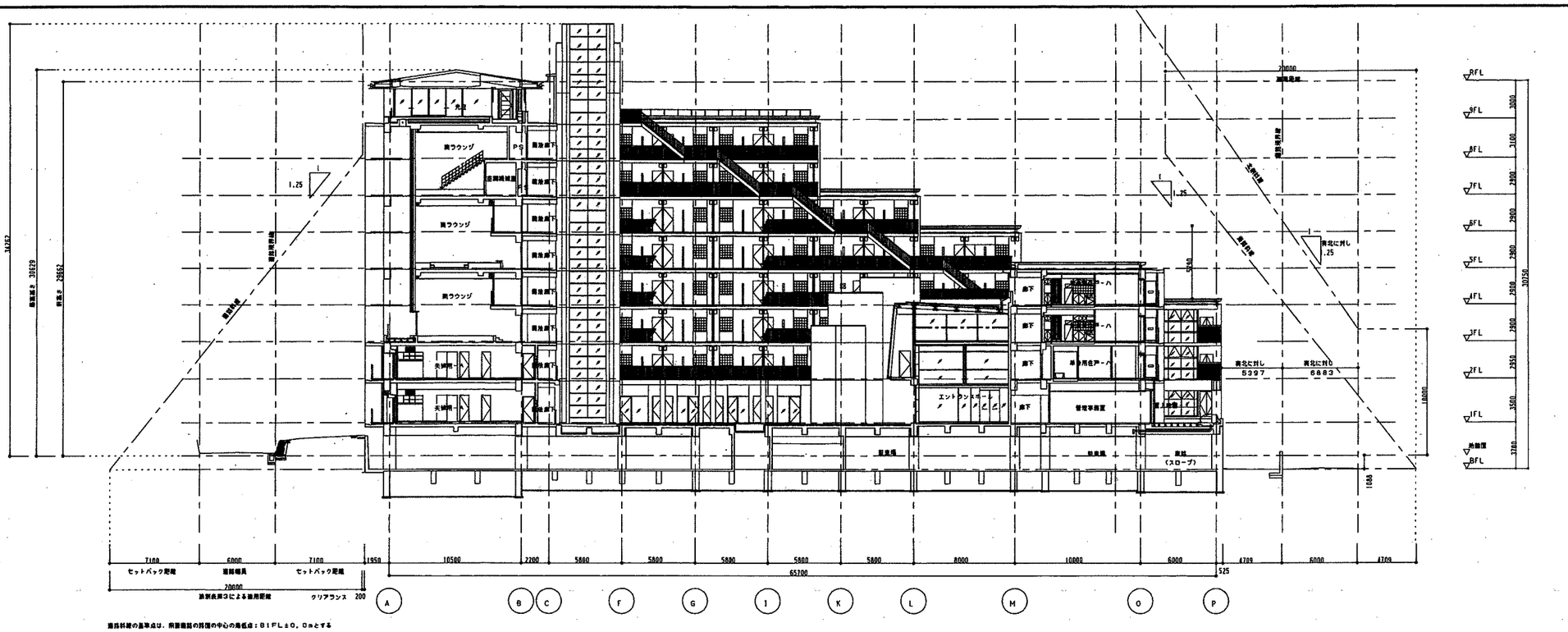
敷地境界線上断面線

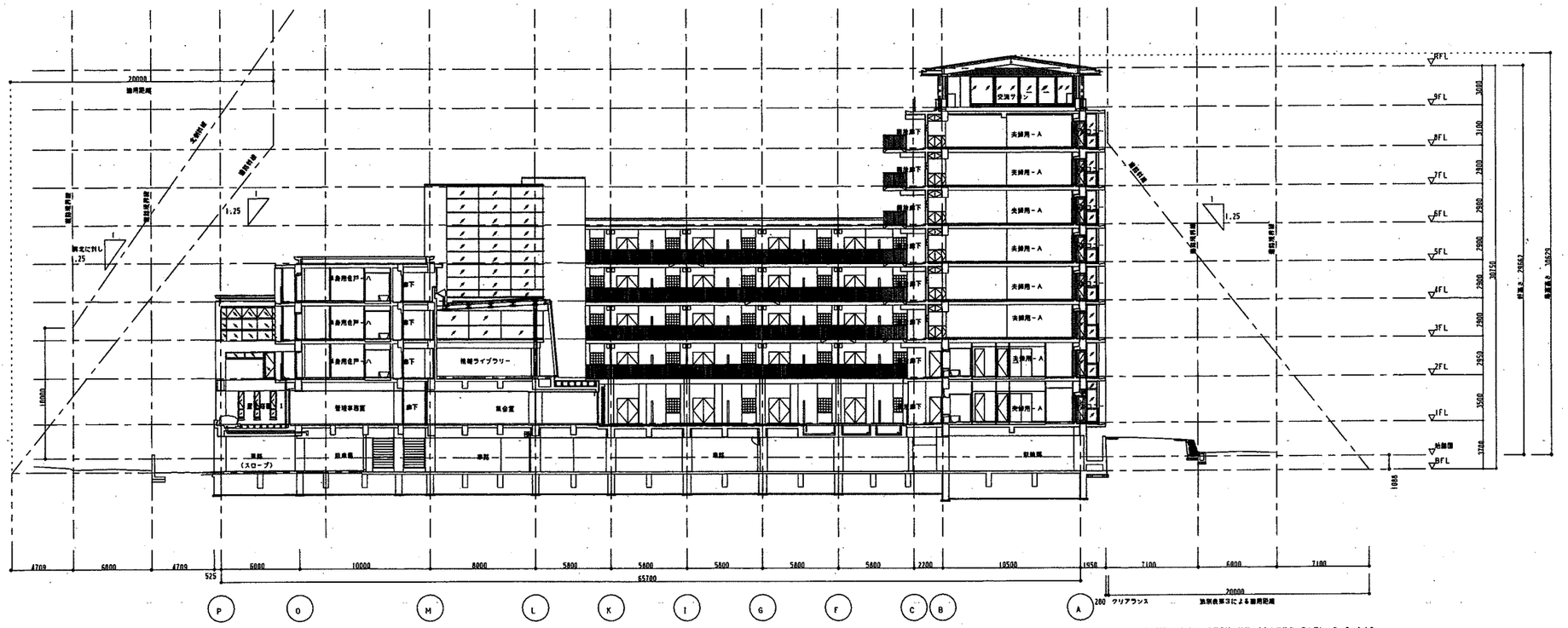


敷地境界線上断面線

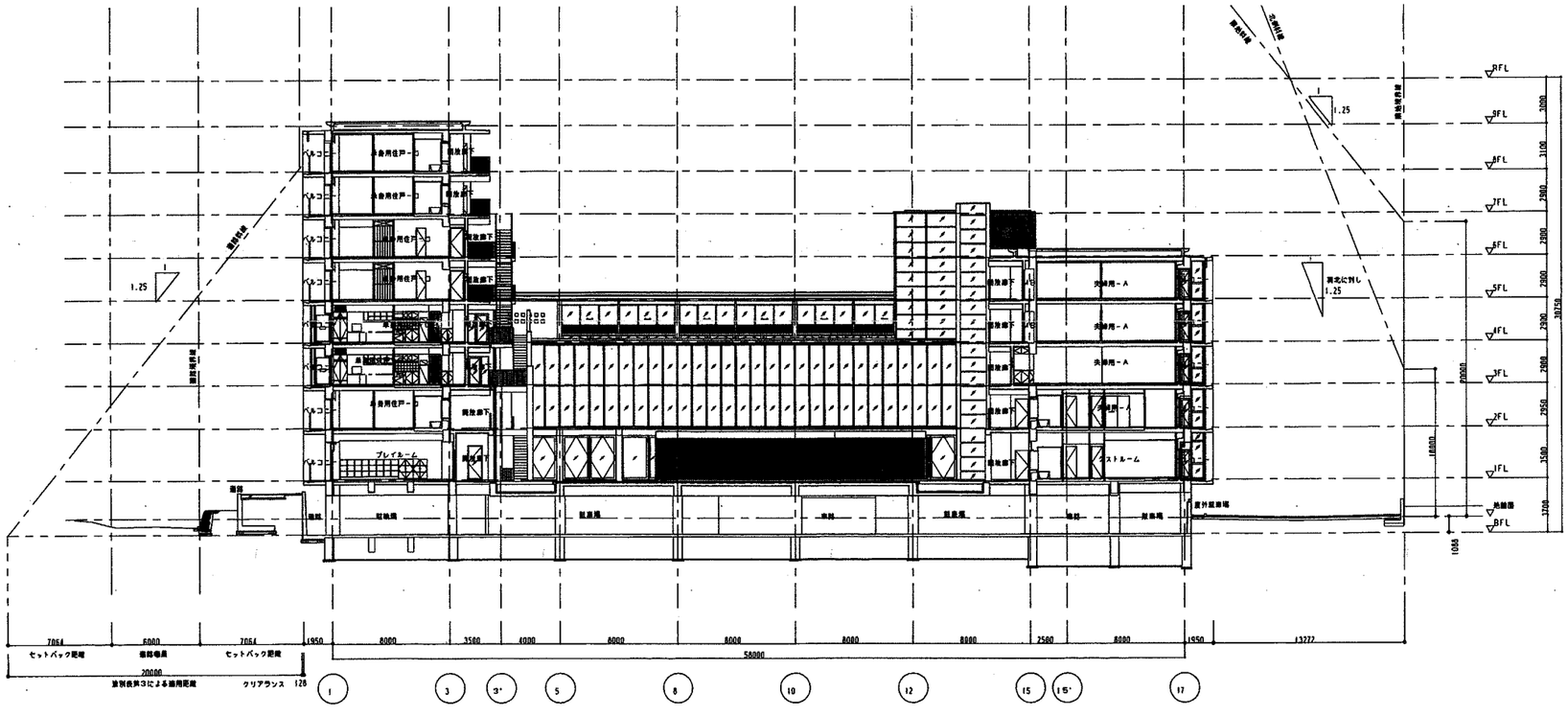
revisions	松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 ＝ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建築工事	立面図－（東・北）
	77 MHS 松田平田 ◻ ◻ 丸川設計	date 99.09.30 / drawn by / checked by	scale 1/200
			建築 109

07A3693-EM01のプロぱブMH¥MP¥PLAN¥MHFP001A


RFL
9FL
8FL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
地盤面
BFL
3000
3100
2800
2900
2800
2900
2800
2850
2350
3500
1700
30750
1.25
1.25
1.25
高さ制限線
道路斜線
隣地斜線
真北に対し
1.25
真北に対し
5397
真北に対し
6883
5700
18000
1088
共用ラウンジ
共用ラウンジ
共用ラウンジ
共用ラウンジ
共用ラウンジ
共用ラウンジ
共用ラウンジ
共用ラウンジ
共用ラウンジ
共用ラウンジ
PS
PS
PS
PS
PS
PS
PS
PS
PS
PS
共用ホール
共用ホール
エントランスホール
管理事務室
単身用住戸-ハ
単身用住戸-ハ
単身用住戸-ハ
倉庫
倉庫
倉庫



建設前地盤の基準点は、明図書類の設置の中心の高低点：B1FL±0．0mとする



revisions

松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 * つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建築工事	断面図－2
79 MHS 松田平田 ◻1◻ 丸川設計	date 99.09.30 / drawn by / checked by	scale 1/200
		建築 111

階	室名	床高（スラブ高）	床 下地	厚	床 仕上	厚	巾木	壁 下地	壁 仕上	見切縁	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考 [カーテンボックス、防守、設備開口、非表示家具、収納造作、その他]
地下1階	EVホール-1	±0 (-10)		0	ビニル床シートA	10	ビニル巾木 H100	コンクリート打放し	合成樹脂EMPの系溶付け仕上塗材(厚塗材E)	塩ビ	LGS + PBD9.5	AWB-9	2500	
	EVホール-2	±0 (-10)		0	ビニル床シートA	10	ビニル巾木 H100	コンクリート打放し	合成樹脂EMPの系溶付け仕上塗材(厚塗材E)	塩ビ	LGS + PBD9.5	AWB-9	2500	
	EVホール前ー1，2 歩行者通路	±0 (-10)	コンクリート直押え	10	防塵塗装		防塵塗装 H=100	コンクリート打放し	合成樹脂EMPの系溶付け仕上塗材(厚塗材E)	塩ビ	LGS + ACSB-6	エポキシエマルジョン系複層仕上塗材	2600	
	清掃員更衣室	+235 (-10)	軽量コンクリート	57	ビニル床シートC	3	ビニル巾木 H80	コンクリート打放しPBD-12.5(GL工法)	珪酸土塗装	塩ビ	LGS	化粧PBD9.5	2400	折し台・吊戸棚 L=1500(木目調) ラインニング W=180 SUS304HL ブラインドボックス：St-1.6BAP
	廃棄物集積所	+235 (-10)	軽量コンクリート	110	表面強化材	0	防塵塗装 H=100	コンクリート打放し	エポキシエマルジョン系複層仕上塗材	ー		コンクリート打放しのまま	2450	池置し ゴミ容器棚
	駐車場 駐輪場	±470 (-10)	コンクリート直押え	10	防塵塗装	0	防塵塗装 H=100	コンクリート打放し	合成樹脂EMPの系溶付け仕上塗材(厚塗材E)	塩ビ	LGS + ACSB-6	エポキシエマルジョン系複層仕上塗材	2660 一部2600 一部2790	車止め：コンクリートブロック トラフィックペイント、カーブミラー、コーナーガード：ゴム製H1000 排水溝：一部SUSグレーチング(T-2)
	受水槽室	-1750 (-1760) 一部 ±0	コンクリート直押え	10	防塵塗装	0	防塵塗装 H=100	コンクリート打放し	無機質窯業系防水	ー		コンクリート打放しのまま	スラブ下	開放基礎 基礎 ：1000x2250xH1000 防水モルタルt=30
	消火ポンプ室	±0 (-10)	コンクリート直押え	10	防塵塗装	0	防塵塗装 H=100		コンクリート打放しのまま	ー 塩ビ		コンクリート打放しのまま	2050	開放基礎 マンホール、打込みチラップ
	発電機器械室 ガスメーター室	±0 (-10)	コンクリート直押え	10	防塵塗装	0	防塵塗装 H=100		コンクリート打放しのまま	ー		コンクリート打放しのまま	スラブ下 2050 (ガスメーター置)	開放基礎
	ファンルーム -1 ファンルーム -2 消雪チャンバー	-10 (-10)		0	防塵塗装	0	防塵塗装 H=100	コンクリート打放し	グラスウール成形板 t-25 ガラスクロス押え	ー	コンクリート打放し	グラスウール成形板t25 ガラスクロス押え	スラブ下	開放基礎
		-10 (-10)		0	防塵塗装	0	防塵塗装 H=100	コンクリート打放し	コンクリート打放しのまま	ー	コンクリート打放し	コンクリート打放しのまま	スラブ下	排水目皿φ100x2(受変工事)
	受変電室	-1450 (-1460) 一部 ±0	コンクリート直押え	10	防塵塗装	0	防塵塗装 H=100	コンクリート打放しの上 無機質窯業系防水	グラスウール成形板 t-25 ガラスクロス押え	ー	コンクリート打放し	グラスウール成形板t25 ガラスクロス押え 一部築留コンクリート打放しのまま	スラブ下	基礎 ：1500x1500xH720 防水モルタル t=30
	MDF置	+50 (-10)	軽量コンクリート	60	防塵塗装	0	防塵塗装 H60		コンクリート打放しのまま	ー		コンクリート打放しのまま	スラブ下	
	倉庫-1，2	±0 (-10)	モルタル	7	防塵塗装	3	防塵塗装 H60		コンクリート打放しのまま		コンクリート打放し	コンクリート打放しのまま	2050	
	倉庫-3	+200 (+180)	コンクリート直押え	10	防塵塗装		防塵塗装 H=100		コンクリート打放しのまま	ー		コンクリート打放しのまま	1850	
1階	風除室	±0 (-100)	モルタル	80	粘着張乱尺貼	20	大理石	コンクリート打放し	大理石	ー	LGS	スチールパネル地付塗装 (オープンジョイント)	2540	
				70	一部花崗石A J&P	30	H30		一部強化ガラス					
	エントランスホール	±0 (-100)	モルタル	80	粘着張乱尺貼	20	大理石	コンクリート打放し	大理石	目違し	LGS + PBD12.5+12.5	金属カンレイシャ貼の上 EP-2	8400	受付カウンター：花崗石C本磨き
				70	一部花崗石A J&P	30	H30			塩ビ	LGS + PBD12.5	AWBt12.5	一部8820	電動ロールスクリーン 装置ルーバー：ST FB-9×25 BAP@300 W500
	集会室	±0 (-100)	LC押え	92	タイルカーペットA	8	木巾木 (ﾎﾜｲﾄｵｰｸｽﾃｲﾝ)	コンクリート打放し PBD-12.5	接付パネル(基材)ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙﾌｪﾙﾄ(仕上)ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙｸﾛｽ	塩ビ	LGS + PBD12.5+9.5	ガラスクロス EP-2(南ゾーン)	2450	システムキッチン、SUSフード付、暗架化粧明
			一部LC押え+地張合板t-12.0	81	一部フローリングA	19	H60	一部 LGS+PBD-12.5+9.5	無機質窯業		LGS + PBD12.5	AWBt9 (北ゾーン)	一部2400	ブラインドボックス：接付B染色CL（電導ロールスクリーン）
								一部LGS+PBD-12.5+12.5(遮音置)	一部強化珪酸土仕上材塗					可動間仕切（前記記号）
	宅配BOX置	±0 (-100)	モルタル	80	タイルカーペットB		ビニール巾木	コンクリート打放しPBD-12.5(GL工法)	珪酸土塗装	塩ビ	LGS + PBD9.5	AWB-9	2400	宅配ロッカー、ブラインドボックス：St-1.6 BAP
							H60	一部 LGS + PBD-12.5+9.5		ー				屋根遮期前置基置 H=500
														掃示板
	倉庫置	±0 (-100)	LC押え	80	タイルカーペット	20	ビニール巾木	コンクリート打放しPBD-12.5(GL工法)	珪酸土塗装	ー	LGS + PBD9.5	AWB-9	2540	ブラインドボックス：St-1.6BAP
							H60	LGS+PBD-12.5+12.5（遮音置）						
	管理事務室 受付	±0 (-100)		0	OAフロア・タイルカーペット	100	ビニル巾木	コンクリート打放し	珪酸土塗装	塩ビ	LGS + PBD9.5	AWB-9	2500	ブラインドボックス：St-1.6 BAP
							H60	一部LGS+PBD-12.5+12.5(遮音置)					一部2300	頂し台：人造大理石
							合成樹脂EMPの系溶付け仕上げ塗材	LGS+PBD-21+21(2時間耐火)	合成樹脂EMPの系溶付け仕上塗材(厚塗材E)				2200	頂し台脚・間戸脚：メラミン化粧板・ポリエステル化粧合板、化粧集ピケット貼
							(間仕切ｽﾀｯﾄﾞ内ﾛｯｸｳｰﾙ充填)	LGS+PBD-12.5+9.5						ラインニング：人造大理石、受付カウンター：花崗石C本磨き・コーナーR=φ
	TELコーナー	±0 (-100)		0	OAフロア・タイルカーペット	100	ビニル巾木	コンクリート打放し	珪酸土塗装	塩ビ	LGS + PBD9.5	AWB-9	2200	収納キャビネット：接付A 染色CL
							H60	一部 LGS + PBD-12.5+9.5						TELカウンター：接付Bウレタン塗装、タペストリーガラス
	応接室	±0 (-100)		0	OAフロア・タイルカーペット	100	木巾木 (ウォルナット)	コンクリート打放し PBD-12.5	壁紙貼D (サシメダ)	塩ビ	LGS + PBD12.5+9.5	ガラスクロス EP-2	2250	ブラインドボックス：接付B染色CL仕上
							H60	一部 LGS + PBD-12.5+12.5（遮音置）						ピクチャーレール L=5000x2
														サイドボード、 暗架化粧明
	倉庫-4	±0 (-100)	LC押え	0	ビニル床シート	100	ビニル巾木	一部 LGS + PBD-12.5+12.5（遮音置）	無機質窯業	塩ビ	LGS + PBD9.5	AMB-9	2400	パーテーション
							H60	LGS + PBD-21+21(2時間以上耐火)						
								LGS + PBD-12.5+9.5						
	セミナー室-1	±0 (-100)		0	OAフロア・タイルカーペット	100	ビニル巾木		無機質窯業		LGS + PBD9.5	AWB-9	2540	ブラインドボックス：St-1.6 BAP
							H60	LGS + PBD-12.5+9.5						暗茶台
	セミナー室-2	±0 (-100)		0	OAフロア・タイルカーペット	100	ビニル巾木		無機質窯業		LGS + PBD9.5	AWB-9	2540	ブラインドボックス：St-1.6 BAP
							H60	LGS + PBD-12.5+9.5						暗茶台
														スクリーンボックス
	カウンセリングルーム1・2	±0 (-100)	遮音置床Bの上地張合板t12.0		タイルカーペット		木巾木（ナラ無垢）		クロス			クロス	2540	
					ビニル床シート		木巾木（ナラ無垢）		クロス			クロス		

建材略号

W -木造
LGS-軽鉄間仕
LC -軽量コンクリート
ALC-軽量発泡コンクリート
PC -プレキャストコンクリート
CB -コンクリートブロック
TB -テラゾーブロック
B -煉
SUS-ステンレス
AL -アルミ
FB -フラットバー
AMB-窯業系サイディング
PBD-プラスターボード
PBB-ボラス張り入りプラスターボード
ACSB-高発泡入軽量セラミック板（ALC板）
化粧ACSB-軽量セラミック板 アクリルウレタン塗装品

塗装略号

OP -合成樹脂調合ペイント
FP -フタル酸樹脂エナメル
EP1-アクリルポリエマルジョンペイント
EP2-弱溶ビニールエマルジョンペイント
VP -塩化ビニール樹脂エナメル
UE -ポリウレタン樹脂エナメル
OE -油性ゴム系樹脂エナメル
AP -アクリル樹脂エナメル
LE -ラッカーエナメル
CL -クリアラッカー
UC -二液型ウレタンクリアー
OSW-オイルステインワックス

材料認定番号

※内装認定の代わりに下記認定品を用いるものとする。

PBD-9.5 (不燃認QB048)
PBD-12.5 (不燃認QB026)
化粧PBD-9.5 (不燃認QB048)
AWB (不燃認QB018)
ACB板 (不燃認QB018)
断熱認定品 (認定仕様書QQQ06)

特記事項

1. 外部に面する天井裏・壁部・開口・床の、断熱補強ウレタン（現地発泡 t=50又は吹付ロックウール50以上）とする。
2. コンクリート化粧マスボード貼の箇所は、工事とする。
3. 床：長尺塩化ビニールは、溶着工事とする。
4. 現地作業前の型枠等の墨出しを行うこと。
5. スチールブラインドボックスはt=1.6 BAPとする。
6. 壁等の開口補強は、内装PP、外装ラッチ状開口とする。
7. 壁面コンクリート、壁面コンクリート打コテイー・メッシュ入りとする
8. 造作材及び設計、施工は、0.9mとする。
9. 天井に吸音下地材施工は24-8ミ両面品とする。
10. 床下点検口、吸音材の取りコンクリート現内とする。
11. グラスター系壁面仕上げは（平面）とする。
12. コーナービード材質等記号 タイガーコーナーテープ(H=2,400) 同等品とする。
13. 機械室壁（H=100）の施工は、0-1283000グラコ入れとする。
14. 乳戸等各金スパン法上同寸、天井L=8下地+PBD-9.5+遮音材 Cとする。
15. 仕上材のグレード記号（ビニル床シートA，B，C等）は、管理会議 による。

| revisions | | | | | | | | | | | | | |

階	室名	床高（スラブ面）	床 下地	厚	床 仕上	厚	巾木	壁 下地	壁 仕上	見切縁	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考［カーテンボックス、造作、造作見明、付属器具、断熱仕様、その他］
1階	プレイルーム	+40 (-100)	遮音置床Cの上捨張合板t12.0	167	タイルカーペットD	8	木巾木（ナラ無垢）	コンクリート打放し　PBD-12.5	無機質壁紙	塩ビ	LGS + PBD9.5	AMB-12	2500	ブラインドボックス：St-1.6BAP
							H100	一部 LGS+PBD-12.5+12.5（遮音）			LGS + PBD12.5	壁紙貼りC		下足入、物入、本棚
									ホワイトボードシート					
	スポーツジム	+40 (-100)	遮音置床Cの上捨張合板t12.0	163	フローリングB	12	木巾木（ナラ無垢）	コンクリート打放し　PBD-12.5	無機質壁紙	塩ビ	LGS + PBD9.5	AMB-12	2500	ブラインドボックス：St-1.6BAP
					（大型積層フロア）		H100	一部 LGS+PBD-12.5+12.5（遮音）	一部ミラー貼		LGS + PBD12.5	壁紙貼りC		下足入、物入、クロゼット
	管理人室 事務室、廊下	±0 (-100)	遮音床Bの上捨張り合板t=12.0	92	OAフロア・タイルカーペットB	8	ビニル巾木	コンクリート打放し　PBD-12.5	無機質壁紙	塩ビ	LGS + PBD9.5	AMB-9	2400	物入・点検扉：スチール焼付塗装
							H60	一部 LGS+PBD-12.5+12.5（遮音）						受付カウンター：SUS P -1.6 HL
			遮音床Bの上捨張り合板t=12.0		タイルカーペットB			一部 LGS+PBD-12.5+12.5						
	和室	+150 (-100)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	95	畳敷（2級品）	55	畳寄せ（米松）	コンクリート打放し　PBD-12.5	壁紙貼B	塩ビ	LGS + PBD9.5	壁紙貼C	2250	襖入合：人造大理石、流し台扉・吊戸扉：メラミン化粧合板
								一部 LGS+PBD-12.5+12.5（遮音）						ライニング：人造大理石、シンク：SUSブラインドボックス：St-1.6BAP
								一部 LGS+PBD-12.5+12.5						
	浴室	(-100)			UB1616				UB1616			UB1616		浴室乾燥機（設備工事）
	便所	±0 (-100)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	147	ビニール床シートA	3	ビニル巾木	LGS+PBD-12.5+12.5+ACSB-6	壁紙貼B	錆付B 染色CL	LGS + PBD9.5	壁紙貼C	2400	吊戸棚
							H60							タオルリング、ペーパーホルダー（設備工事）
	洗面室	±0 (-100)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	138	フローリングC	12	ビニル巾木	LGS+PBD-12.5+12.5+ACSB-6	壁紙貼B	錆付B 染色CL	LGS + PBD9.5	壁紙貼C	2400	鏡、防湿ブラケット（電気工事）
							H100	一部 LGS + PBD-12.5+9.5						化粧洗面カウンター W=1000（設備工事）
														タオル掛SUS製 L=450
	ゲストルーム 玄関	-40 (-100)	モルタル塗	47	150角磁器質タイル貼	13	木製塩ビ巾木	コンクリート打放し+発泡ウレタンt25	壁紙貼B		コンクリート打放	壁紙貼C	2600	下足入、物入、上框：ナラ染色CL、吊り戸棚
			一部改質アスファルト防水				H90	PBD12.5			（1階はLGS下地PBD9.5）		2580（吾上階）	
			トーチ工法+モルタル塗											
	居間・寝室・廊下	+40 (-100)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	88	タイルカーペットD	12	木製塩ビ巾木	コンクリート打放+発泡ウレタン(25（外壁側）PBD12.5	壁紙貼B		コンクリート打放	壁紙貼C	2520	本棚、物入、クローゼット、押子
							H50	コンクリート打放し（内壁面） PBD12.5	壁紙貼（一部幅調：上記と同様）		一部LGS + PBD9.5	一部2045	ブラインドボックス：錆付A染色CL、床暖房（設備工事）	
								木軸 PBD12.5 PBD12.5				2570（1,2F）		
								コンクリート打放し（内壁面）PBD12.5				2480（最上階）		
	台所	+40 (-170)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	178	ビニル床シート	3	木製塩ビ巾木	コンクリート打放し（内壁面）	壁紙貼B		LGS + PBD9.5	壁紙貼C	2400	システムキッチン L=1950
							H50	木軸 PBD12.5	コンロ廻：150角陶器質タイル貼					床下点検口：450角 アルミ枠化粧フタ
								木軸+フレキt6.0 耐水PBD12.5						
	洗面室	+40 (-190)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	187	ビニル床シートA	3	木製塩ビ巾木	コンクリート打放し（内壁面） PBD12.5	壁紙貼B		LGS + PBD9.5	壁紙貼C	2300	洗濯機防水パン（設備工事）
							H50	木軸 耐水PBD12.5						化粧洗面カウンターW=1000
														タオル掛：SUS製 L=450
														吊り戸棚、タオルリング（樹脂製）・フック（設備工事）
	便所	+40 (-170)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	187	ビニル床シートA	3	木製塩ビ巾木	コンクリート打放し（内壁面） PBD12	壁紙貼B		LGS + PBD9.5	壁紙貼C	2300	壁面点検口：250×450 アルミ枠化粧蓋
							H50	木軸 耐水PBD12.5						ペーパーホルダー（設備工事）
	浴室	(-170)			UB1616				UB1616					浴室乾燥機（設備工事） リング（アルミ製）
									採光窓造作					
	サンルーム	+90 (-100)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	156	フローリングA	19	合成樹脂ﾏﾊｷﾞﾝ系薄付け	コンクリート打放し	合成樹脂系薄付け仕上塗材（厚塗材E）		コンクリート打放	合成樹脂系薄付け仕上塗材（厚塗材E）	3060	物干し、SUS30φ L=1200（天井付）
							仕上塗材（厚塗材E）							
							（トップはけ塗り）							
	メール室	±0 (-100)	LC押え	92	タイルカーペットB	8	ビニル巾木	コンクリート打放し　PBD-12.5	珪藻土壁紙	塩ビ	LGS + PBD9.5	AMB-9	2425-2125	メールボックス
							H60	LGS下地 + PBD-12.5+9.5						避難誘動防煙垂壁 H=500
							合成樹脂ﾏﾊｷﾞﾝ系薄付け仕上塗材（厚塗材E）							
	廊下-1,2	±0 (-100)	同上		同上 タイルカーペット		ビニル巾木	コンクリート打放し PBD-12.5(+3.5)（GL工法）	珪藻土壁紙	塩ビ	LGS + PBD9.5	AMB-9	2500（廊下-2）	避難誘動防煙垂壁 H=500 （廊下1）
							H60	一部 LGS+PBD-21+21耐火2時間					2400（廊下-1）	
								一部 LGS+PBD-12.5+9.5						
								一部 LGS+PBD-12.5+12.5（遮音）						
	倉庫-1、2、3、準備室（集会室） リネン室-1,2	±0 (-100)	LC押え	97	ビニール床シートC	3	ビニル巾木	コンクリート打放し　PBD-12.5	珪藻土壁紙	塩ビ	LGS	AMB-9（リネン室1,2・倉庫2）	2500	ブラインドボックス：St-1.6 BAP（リネン室1,2）
							H60	一部 LGS+PBD-12.5+9.5				ロックウール化粧吸音板	2580-2540	扉、棚枠：ポリエステル合板、小口化粧塩ビシート A貼り（リネン室1,2）
								一部 LGS+PBD-12.5+12.5（遮音壁）	ビニールクロス（リネン室1,2）				（倉庫-1,リネン室-1）	
	男子便所-1 女子便所-1	±0 (-100)	均しモルタル+塗膜防水+モルタル	91	ビニル床シートB	9		コンクリート打放し	磁器質タイル 100x200	塩ビ	LGS + PBD9.5	AMB-9 ロックウール化粧吸音板	2380	洗面カウンター：大理石本磨き、カウンター脚・吊戸脚：化粧塩ビシート貼
								一部 LGS+PBD-12.5+12.5+ACSB-6						トイレブース：化粧塩ビシート、ライニング：大理石本磨き
								一部 LGS+PBD-12.5+ACSB-6						建築化照明：St-1、6BAP、汚垂石：花崗石B 本ミガキ
	男子便所-2 女子便所-2	±0 (-100)	LC押え	97	ビニル床シートB	3	ビニル巾木	コンクリート打放し	無機質壁紙	塩ビ	LGS + PBD9.5	AMB-9 ロックウール化粧吸音板	2380	洗面カウンター：人造大理石、カウンター脚・吊戸脚：化粧塩ビシート貼
							H60	一部 LGS+PBD-12.5+12.5						トイレブース：化粧塩ビシート、ライニング：人造大理石
								一部 LGS+PBD-12.5+12.5+12.5						建築化照明：St-1、6BAP、汚垂石：花崗石B 本ミガキ
	身障者便所	±0 (-100)	均しモルタル+塗膜防水+モルタル	97	ビニル床シートB	3		コンクリート打放し+ACSB-6	磁器質タイル 100x100	塩ビ	LGS + PBD9.5	AMB-9 ロックウール化粧吸音板	2380	身障者（車イス）対応設備一式（設備工事）
								一部 LGS+PBD-12.5+12.5+ACSB-6						
								一部 LGS+PBD-12.5+ACSB-6						
2階	情報ライブラリー	+95 (-100.105)			タイルカーペット	235	珪藻土壁紙（トップはけ塗り）	コンクリート打放し	外装用珪藻土仕上塗材	塩ビ	LGS + PBD12.5+9.5	AMB-12	5025	電動ロールスクリーン
			捨張合板t12.0	12		19	H30				一部鉄骨			
2～5階	廊下・巡り廊下（屋内）	-55 (-100)	モルタル	37	タイルカーペットB	8	ビニル巾木	コンクリート打放し	珪藻土壁紙	塩ビ	LGS + PBD9.5	AMB-9	2F 2350	窓台：St-1、6BAP
							H60				一部コンクリート打放し（躯型）		3～5階 2325	
												無機質壁紙		
9階	交流サロン	±0 (-300)	遮音置床Aの上捨張合板t12.0	291	タイルカーペットC	9	秋田白杉	LGS + PBD9.5+12.5	外装合成樹脂ﾏﾊｷﾞﾝ系薄付け仕上塗材（厚塗材E）		LGS + PBD9.5	AMB-15（リブ付）	2550	ドリンクカウンター、TV収納家具、カーテンボックス、
			カウンター内遮音置床Aの上捨張合板t=12.0	97		3	H60				LGS + PBD12.5	ガラスクロス（EP-2）	2400	窓台：錆付C染色CL
	和室 和室-1・-2	+230 (-300)	木軸組捨張合板t15.0	445	畳敷（特級品）	55	畳寄せ（米松）	木軸 + PBD9.5+12.5	合成樹脂ﾏﾊｷﾞﾝ系薄付け仕上塗材（厚塗材E）		木下地	化粧PBD9.5（杉経）	2400	床設置型建築照明
									和紙貼り			竿縁：杉	一部勾配付	押：電気炉、床：ウスベリリュウビンオモテ、床框：赤松、ムソウ釘、釉かけ
														地袋：甲板カシュウ塗、
														襖：唐紙貼、雪見障子（杉）、付柱・鴨居：杉、敷居：米松、建築化照明
	取次、水屋	+230 (-300)	木軸組捨張合板t15.0	445	ウスベリリュウビンオモテ	55	畳寄せ（米松）	木軸 + PBD9.5+12.5	ジュラク	杉	LGS + PBD9.5	壁紙（京唐紙）貼	2100	上り框：米松、処板：赤松中杢
									（水屋部分）杉縁板（荻目縁付合板貼）	27x30	木下地	化粧PBD9.5（杉経） 女竹入		道具戸棚：タイコ襖、杉網代板戸、茶碗棚：杉 女竹入
												竿縁：杉小丸太36φ（水屋）		通し棚：杉、炭入、栖竹すのこ水受鋼板貼、竹釘取付
	広縁	+230 (-300)	木軸組捨張合板t15.0	445	畳敷（特級品）	55	畳寄せ（米松）	木軸 + PBD9.5+12.5	ジュラク	杉	木下地	化粧PBD9.5（杉経） 女竹入	2170~2486	カーテンボックス、木製ブラインド取付
				482	緋甲板貼（赤松）	18			杉たて格子組	27x30		竿縁：杉小丸太36φ		空調吹出口：杉（建築工事）
	踏込	±0 (-300)	遮音置床Aの上捨張合板t12.0	291	雑石（サビ入御影中目石）本ミガキ	9	錆付C 染色CL	木軸 + PBD9.5+12.5	ジュラク	杉	木下地	化粧PBD9.5（杉経） 女竹入	2400~2716	下足廻：カシュウ塗、横格子付襖：唐紙貼 カシュウ塗
							H60			27x30		竿縁：杉小丸太36φ		
	ホール・廊下	±0 (-300)	遮音置床Aの上捨張合板t12.0	291	タイルカーペットC	9	錆付C 染色CL	LGS + PBD9.5+12.5	外装合成樹脂ﾏﾊｷﾞﾝ系薄付け仕上塗材（厚塗材E）	塩ビ（目透し）	LGS + PBD9.5	壁紙貼A EP-2	2400	カーテンボックス、木製ブラインド取付
							H60							

建材略号

W -木造
LGS-軽量鉄骨
LC -軽量コンクリート
ALC-独立軽量コンクリート
PC -プレキャストコンクリート
CB -コンクリートブロック
TB -テラゾーブロック
S -鋼
SUS-ステンレス
AL -アルミ
FB -フラットバー
AMB-化粧吸音板
PBD-プラスターボード
FGB-ガラス繊維入プラスターボード
ACSB-高硫酸入硅酸カルシウム板（無石綿）
化粧ACSB-硅酸カルシウム板 アクリルウレタン塗装品

塗装略号

OP -合成樹脂調合ペイント
FP -フタル酸樹脂エナメル
EP1-アクリル系エマルジョンペイント
EP2-塩化ビニール系エマルジョンペイント
VP -塩化ビニール樹脂エナメル
UE -ポリウレタン樹脂エナメル
OE -塩化ゴム系樹脂エナメル
AP -アクリル樹脂エナメル
LE -ラッカーエナメル
CL -クリアラッカー
UC -二液型ウレタンクリアー
OSW-オイルステインワックス

材料認定番号

※内装置表の天井下地は全て不燃認定品を用いるものとする。
PBD-8.5 （不燃第1004号）
PBD-12.5 （不燃第1003号）
化粧PBD-8.5 （不燃第1004号）
AMB （不燃第1021号）
ACSB （不燃第1061号）
無機質壁紙 （建築材料第0005号）

特記事項

1. 外部に面するRO型・柱型・梁型・床は、現場発泡ウレタン（最低3層）t=25吹付（切り込み30cm以上）とする。
2. コンクリートに面するボード面の裏はGL工法とする。
3. 床：長尺塩ビシートは、溶着工法とする。
4. 階段の手摺の接続部分はリザとすること。
5. スチールブラインドボックスはt=1.6 BAPとする。
6. 集会は特記のある時、内部FP、外部フッ素塗装とする。
7. 最上コンクリート、側面コンクリートはワイヤーメッシュ入りとする
8. 見切縁塩ビ製は、厚付2.5mmとする。
9. 天井LGS下地は部屋34-5（同等品とする。
10. 床下地は、特記なき限りコンクリート直均しとする。
11. グラスウール成形板は32K（不燃）とする。
12. コーナービードは志野石灰 タイガーコーナーテープ（H=2同等品とする。
13. 階組基準（H=150）の記載は、D-13@200ヤテコネとする。
14. 金戸部分各スパン最上階は、天井LGS下地+PBD-9.5+製紙貼Cとする。

階	室名	床高（スラブ高）	床 下地	厚	床 仕上	厚	巾木	壁 下地	壁 仕上	見切縁	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考［カーテンボックス、造作、建築設備］
9階	便所	±0 (-300)	均しモルタルの上	260	塩ビシート	40	ビニール巾木	LGS+PBD9.5+耐水PBD12.5		塩ビ（目透し）	LGS + PBD9.5	AMB-9	2400	手洗いカウンター：大理石本ミガキUV塗装
			塗膜防水 + ソンダーコンクリート		男子便所汚垂れ石：御影石本磨き		H60		（外装面） 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系複層仕上塗材					トイレブース：鏡付合板フラッシュパネルt-40 染色CL
									（内装面）内装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系複層仕上塗材					身障者（座イス）対応設備一式（設備工事）
	EVホール	±0 (-300)	遮音置床Aの上捨張合板t12.0	291	タイルカーペットC	9		コンクリート打放し PBD-12.5	外装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け仕上塗材（厚塗材E）	塩ビ（目透し）	LGS + PBD9.5	壁紙貼り	2400	
								一部LGS + PBD9.5+12.5				EP-Z		
共通	単身用住戸 玄関	-40～-55 (-100)	モルタル塗	47	150角磁器質タイル貼	13	木製塩ビシート貼	コンクリート打放し+発泡ウレタンt25	PBD壁紙貼12.5		コンクリート打放	壁紙貼C	2055･2480	下足入、物入、上框：ナラ染色CL、吊り戸棚
			一部改質アスファルト防水				H90							
			トーチ工法+モルタル塗											
	居間・寝室	+40(1F) (-170)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	88	タイルカーペットD	12	木製塩ビシート貼	コンクリート打放し+発泡ウレタンt25（外壁面）PBD12.5	壁紙貼PBD12.5		コンクリート打放	壁紙貼C	2520	物入、クローゼット、カーテンボックス、
							H50	コンクリート打放し（内壁面）	壁紙貼（一部調湿：耐審業性・断熱透明中空ｼｰﾄ）8		一部LGS + PBD9.5		一部2045	吊り戸レール+化粧カバー付き（鏡付B染色CL）、本棚
								木軸 PBD12.5 PBD12.5					2570(1,2F)	ブラインドボックス：鏡付A染色CL、床暖房（設備工事）
	台所	+40(1F) (-170)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	178	ビニル床シート	3	木製巾ぎｮｰﾄ貼	コンクリート打放し（内壁面）PBD12.5	壁紙貼B		LGS + PBD9.5	壁紙貼C	2480（最上階）	システムキッチン L=1650
								コンクリート打放し（内壁面）	コンロ廻：150角陶器質タイル貼				2400	壁面点検口：450角アルミ枠化粧フタ、床下点検口：450角アルミ枠化粧ﾌﾀ+PB-張納成巾貼
								木軸 PBD12.5						洗濯機防水パン（設備工事）
	浴室	くぃF) (-170)			UB1418（洋風ユニット）			木軸+フレキt6.0 耐水PBD12.5	UB1418					浴室乾燥機（設備工事）
									採光窓造作					
	夫婦用住戸 ゲストルーム 玄関	-40 (-100)	モルタル塗	47	150角磁器質タイル貼	13	木製塩ビシート貼	コンクリート打放し+発泡ウレタンt25	PBD壁紙貼12.5		コンクリート打放	壁紙貼C	2600	下足入、物入、上框：ナラ染色CL、吊り戸棚
			一部改質アスファルト防水				H90				（1階はLGS下地PBD9.5）		2580（最上階）	
			トーチ工法+モルタル塗											
	居間・寝室・廊下	+40 (-100)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	88	タイルカーペットD	12	木製塩ビシート貼	コンクリート打放+発泡ウレタンt25（外壁面）壁紙貼PBD12.5			コンクリート打放	壁紙貼C	2520	本棚、物入、クローゼット、押子
							H50	コンクリート打放し（内壁面） PBD12	壁紙貼（一部調湿：上記と同様）		一部LGS + PBD9.5		一部2045	ブラインドボックス：鏡付A染色CL、床暖房（設備工事）
								木軸 PBD12.5 PBD12.5					2570(1,2F)	
													2480（最上階）	
	台所	+40 (-170)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	178	ビニル床シート	3	木製塩ビシート貼	コンクリート打放し（内壁面）PBD12.5	壁紙貼B		LGS + PBD9.5	壁紙貼C	2400	システムキッチン L=1950
							H50	コンクリート打放し（内壁面）	コンロ廻：150角陶器質タイル貼					床下点検口：450角 アルミ枠化粧フタ
								木軸 PBD12.5						
								木軸+フレキt6.0 耐水PBD12.5						
	洗面室	+40 (-190)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	187	ビニル床シートA	3	木製塩ビシート貼	コンクリート打放し（内壁面） PBD12	壁紙貼B		LGS + PBD9.5	壁紙貼C	2300	洗濯機防水パン（設備工事）
							H50	木軸 耐水PBD12.5						化粧洗面カウンターW=1000
														タオル掛：SUS製 L=450
	便所	+40 (-170)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	187	ビニル床シートA	3	木製塩ビシート貼	コンクリート打放し（内壁面） PBD12	壁紙貼B		LGS + PBD9.5	壁紙貼C	2300	吊り戸棚、タオルリング（樹脂製）・ブラケット（設備工事）・リング（アルミ製）-クリアラッカー
							H50	木軸 耐水PBD12.5						壁面点検口：250×450 アルミ枠化粧蓋
														ペーパーホルダー（設備工事）
	浴室	(-170)			UB1616				UB1616					浴室乾燥機（設備工事）
									採光窓造作					
	サンルーム	+90 (-100)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	156	フローリングA	19	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け	コンクリート打放し	合成樹脂系薄付け仕上塗材（厚塗材E）		コンクリート打放	合成樹脂系薄付け仕上塗材（厚塗材E）	3060	物干し、SUS30φ L=1200（天井付）
							仕上塗材（厚塗材E）							
							（トップはけ塗り）							
	南線ラウンジ（3、5、7階）	450 (-100)	木軸捨張合板t15.0	542	タイルカーペットA	8	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け	コンクリート打放し	外装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け仕上塗材	塩ビ	LGS + PBD9.5	AMB9	4500	
			一部改質アスファルト防水		（入口階込）長尺シート		仕上塗材（厚塗材E）							手摺：ST FB16x65焼付塗装・上り框：鏡付Aノンスリップ
			トーチ工法+モルタル塗				H=30							
	南線ラウンジ（4、6、8階）	±0 (-100)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0	92	タイルカーペットA	8	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け	コンクリート打放し	外装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け仕上塗材	塩ビ	LGS + PBD9.5+12.5	AMB9	2000	誘導照明・ブラインドボックス：ST FB1.6BAP
			一部改質アスファルト防水		（入口階込）長尺シート		仕上塗材（厚塗材E）							下足入・上り框・手摺ST
			トーチ工法+モルタル塗				H=30							
	北線ラウンジ（3、4、5階）	-55 (-65)			タイルカーペットA	8	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け	コンクリート打放し	外装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け仕上塗材	塩ビ	LGS + PBD9.5	AMB9	3F :2130	ブラインドBOX：St-1.6BAP
							仕上塗材（厚塗材E）						4.5F:2100	
							H=50							
	階段室-1		モルタル	22	ビニル床シート	8	ビニル巾木	コンクリート打放し	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け仕上塗材（厚塗材E）	塩ビ	LGS + PBD9.5	AMB9	2500	手スリ：ST FB16x40 FP、ST丸パイプ12φFP
							H=60							手スリ子：ST 2FB 9x32 FP
														桟木：ST角パイプ10x22FP、ノンスリップ
	階段室-2		モルタル	22	タイルカーペットB	8	ビニル巾木	コンクリート打放し	内装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け仕上塗材（厚塗材E）	塩ビ	LGS + PBD9.5	合成樹脂系薄付け仕上塗材（厚塗材E）	2225	手スリ：ST FB16x40 FP、ST丸パイプ12φFP
							H=60	一部LGS + PBD-12.5+9.5						手スリ子：ST 2FB 9x32 FP
														桟木：ST角パイプ10x22FP、ノンスリップ
	AC、リターンチャンバー	-100 (-100)			防塵塗装	0	防塵塗装	コンクリート打放し	グラスウール成形板t-25 ガラスクロス押え	-	コンクリート打放し	グラスウール成形板t-25 ガラスクロス押え	直天	躯体基礎
							H=100	LGS + PBD-12.5+12.5（遮音壁）						
								LGS + PBD-12.5+9.5						
	PS・EPS・DS	-100 (-100)			防塵塗装	0	防塵塗装		コンクリート打放しのまま	-		コンクリート打放しのまま	直天	
							H100		一部プラスターボードのまま					
	MB	-100 (-100)			モルタル補修	0			コンクリート打放しのまま	-		コンクリート打放しのまま	直天	
	消火水槽		コンクリート打放し		耐食性塗体防水剤		-	コンクリート打放し	耐食性塗体防水剤	-	コンクリート打放し	耐食性塗体防水剤	直天	打込みタラップ
														サクションピット：w1000x1000xh500
	ディスポーザー処理槽		コンクリート打放し		耐食性塗体防水剤（エポキシ系）		-	コンクリート打放し	耐食性塗体防水剤（エポキシ系）	-	コンクリート打放し	耐食性塗体防水剤（エポキシ系）	直天	タラップD（好気可溶着、接触分解槽、調整槽それぞれに1）
	パントリー、便所	±0 (-100)	遮音置床Bの上捨張合板t12.0		タイルカーペット		木巾木（ナラ無垢）		クロス			クロス	2540	
					ビニル床シート		木巾木（ナラ無垢）		クロス			クロス		
			遮音置床Bの上捨張合板t12.0		タイルカーペット		木巾木（ナラ無垢）		クロス	塩ビ		クロス		
					ビニル床シート		木巾木（ナラ無垢）		クロス			クロス		
	ELVホール（1～8階）				長尺シート		ウレタン塗膜防水		合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け仕上塗材（厚塗材E）	塩ビ		AMB9		

建材略号

W －木造
LGS－軽量鉄骨
LC －軽量コンクリート
ALC－発泡軽量コンクリート
PC －プレキャストコンクリート
CB －コンクリートブロック
TB －テラゾーブロック
S －鋼
SUS－ステンレス
AL －アルミ
FB －フラットバー
PBD－プラスターボード
FGB－ガラス繊維入プラスターボード
ACSB－繊維強入軽量ｹｲｶﾙｼｳﾑ板（福石綿）
化粧ACSB－軽量ｹｲｶﾙｼｳﾑ板 アクリルウレタン塗装品

塗装略号

OP －合成樹脂調合ペイント
FP －フタル酸樹脂エナメル
EP1－アクリル系エマルジョンペイント
EP2－塩酢ビニール系エマルジョンペイント
VP －塩化ビニール樹脂エナメル
UE －ポリウレタン樹脂エナメル
OE －塩化ゴム系樹脂エナメル
AP －アクリル樹脂エナメル
LE －ラッカーエナメル
UC －二液型ウレタンクリアー
OSW－オイルステインワックス

材料指定番号

※内装製品及び天井下地は全て不燃認定品を用いるものとする。
PBD-9.5 （不燃第1004号）
PBD-12.5 （不燃第1003号）
化粧PBD-9.5 （不燃第1004号）
AMB （不燃第1021号）
AOSB （不燃第1081号）
無機質繊維 （建築材料第0005号）

特記事項

1．外部に面するRC壁・鉄骨・鉄筋・床は、現場発泡ウレタン（最低3層）t=25吹付（梁引込み30c㎜以上）とする。
2．コンクリートに面するボード類の裏はGL工法とする。
3．床：長尺塩ビシートは、溶着工法とする。
4．階段の手摺の取合部分はせずりとること。
5．スチールブラインドボックスはt=1.6 BAPとする。
6．扉部は特記なき限り、内部FP、外部フッ素塗装とする。
7．耐震コンクリート、個間コンクリートはワイヤーメッシュ入りとする
8．見切縁ビ製は、見付2.5㎜とする。
9．天井LGS下地は創建34-51同等品とする。
10．床下地は、特記なき限りコンクリート直均しとする。
11．グラスウール成形板は32K（不燃）とする。
12．コーナービードは吉野石膏イゲーコーナーテープ（H=2同等品）とする。
13．躯体基礎（H=150）の配筋は、D-13@200ﾀﾃｺﾛ共とする。
14．住戸部分各スパン最上階は、天井LGS下地+PBD-9.5+壁紙貼Cとする。

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

82 MHS 松田平田 丸川設計

project no. A3693 つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建築工事

date 99.09.30 | drawn by | checked by

仕上表-3

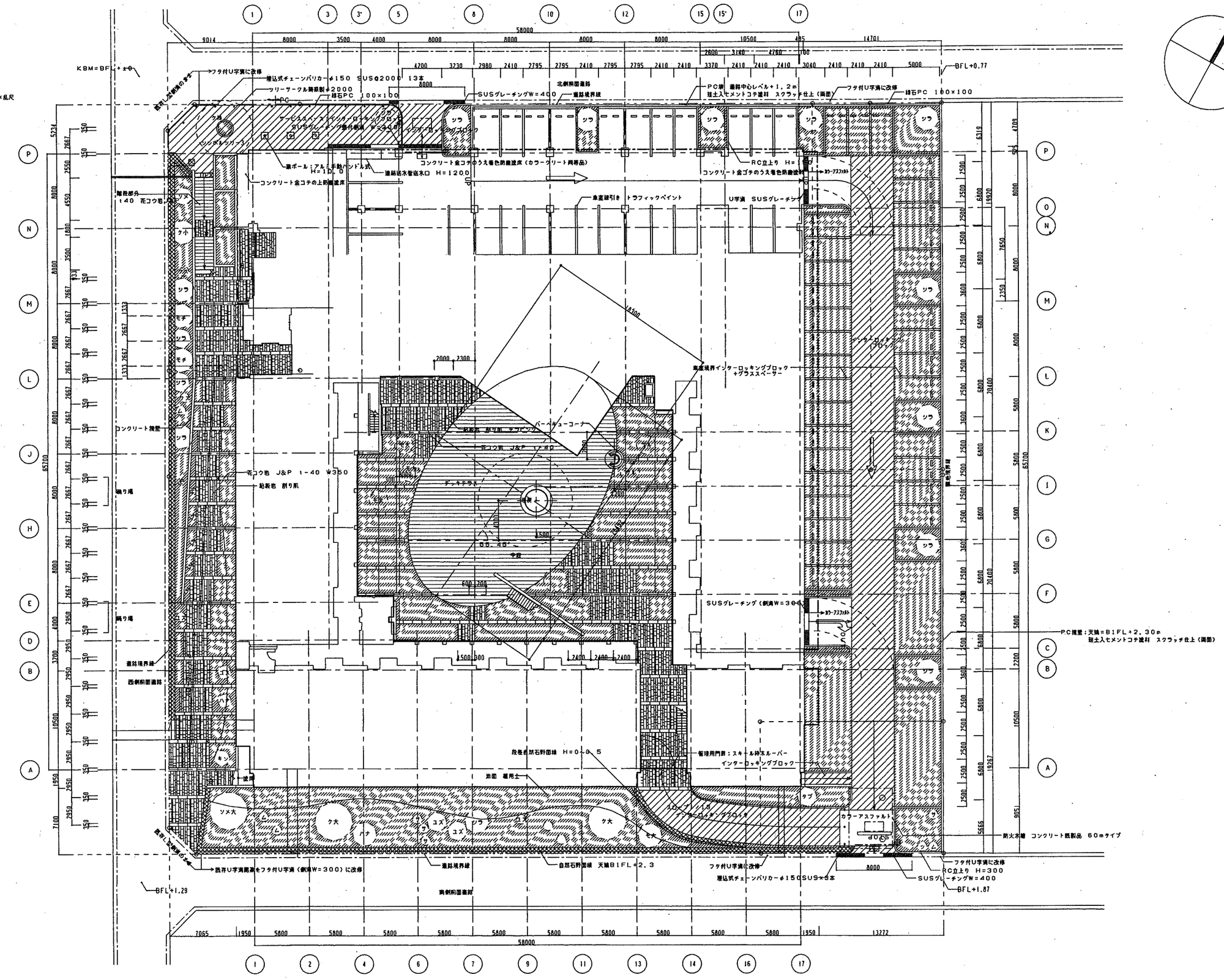
scale 1/200

建築 203

A1
07A3693-EM07プラばつMH/MP/PLAN/MHFP001A

凡　例

±0	計画レベル（B1FL＝±0）を示す
○	マンホール：鋳鉄製（簡易防水型）600φ　T-20
	※防火水槽マンホールはつくば市指定のものとする。
	花コウ石 t－40 J&P　350×700～100
	鉄筋コンクリート造　t－12～20、幅300、200、100×乱尺
	透水性インターロッキングブロック
	植栽部分（詳細は植栽図参照）
	天然石野面積み


KBM=BFL+±0
フタ付U字溝に改修
埋込式チェーンバリカーφ150 SUS@2000 13本
リサーサークル鋳鉄製φ2000
移石PC 100×100
SUSグレーチングW=400
道路境界線
北側前面道路
PC擁壁 道路中心レベル＋1.2m 雑土入セメントコテ塗材 スクラッチ仕上（両面）
フタ付U字溝に改修
移石PC 100×100
BFL+0.77
サービスヘアーインターロッキングブロック
SUSグレーチング製作桝蓋 W=340
コンクリート金コテのうえ着色防塵塗床（カラーグリート同等品）
RC立上り H=
コンクリート金コテのうえ着色防塵塗床
照明ポール：アルミ手動ハンドル式 H=10.0
道路埋水管埋水口 H=1200
階段部分 t40 花コウ岩
車道線引き トラフィックペイント
U字溝 SUSグレーチング
東面境界インターロッキングブロック＋グラススペーサー
バーベキューコーナー
花コウ岩 J&P t－40 W350
鉄筋コンクリート造
鉄筋コンクリート造
鉄筋コンクリート造

凡　例

さつき類（サツキ、アセビ、ツバキ）H=0．5、8株／㎡	
ヒラドツツジ	50P／㎡
芝貼り	コウライ芝目地貼
透水性インターロッキングブロック	

植栽リスト

建物外周部分

	樹種		H × W	株張り	本数	支柱方法
高木	シンボルツリー 2	ソメイヨシノ	8.0 × 5.0	0.6	1	
	シンボルツリー 3	ケヤキ	8.0 × 独立	1.0	1	
	ケ大	ケヤキ	6.0 × 3.5	0.5	2	
	タブ	タブノキ	7.0 × 2.0	0.55	1	
	シラ	シラカシ	6.0 × 2.0	0.5	13	
	クス	クス	4.0 × 1.2	0.4	2	
	ケ小	ケヤキ	4.0 × 2.5	0.3	2	
	モチ	モチノキ	6.0 × 2.0	0.5	2	
	ユズ	ユスリハ	4.0 × 1.2	0.2	6	
	ソメ	ソメイヨシノ	4.0 × 2.0	0.25	1	
	ハナ	ハナミズキ	4.0 × 1.5	0.2	2	
	キン	キンモクセイ	4.0 × 1.8	-	2	
	モ大	モミジ	3.5 × 1.8	0.21	1	
	高木合計本数				35	
小高木	ム	ムクゲ	2.0 × 0.6		7	
	ツ	ツバキ	2.0 × 0.6		1	
	モ	モミジ	2.0 × 0.6		2	
	サ	ゲッケイジュ	2.0 × 0.7		6	
	小高木合計本数				18	
低木	さつき類		8株／㎡		477	
地被類						
	芝（インターロッキングブロック部分除く 約200㎡）				200	

緑地面積

別 紙 参 照

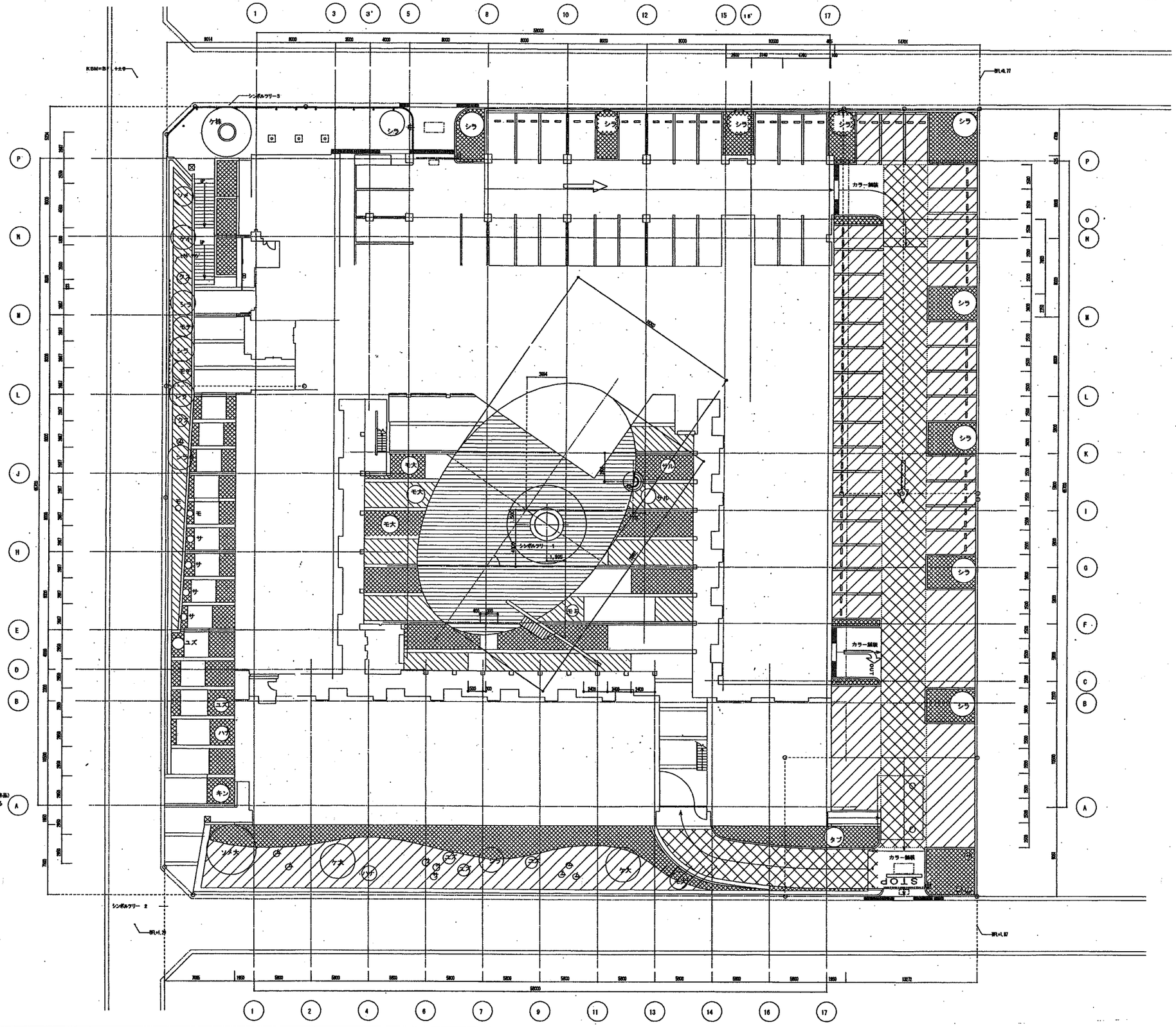
中庭部分

高木	シンボルツリー 1	モミジ	5.5 × 8.0	0.77	1	
	モ大	モミジ	3.5 × 1.8	0.21	3	
	サル	サルスベリ	3.5 × 1.5	0.21	2	
	モミ	モミノキ	4.0 × 1.2		1	
小高木	ム	ムクゲ	2.0 × 0.6	0.6	2	
	ツ	ツバキ	2.0 × 0.6	0.6	1	
	モ	モミジ	2.0 × 0.6	0.6	1	
低木	さつき類		8株／㎡		270	
	シバザクラ		50P／㎡		13．8	

※GS —— 都市緑化用アンカー式地下支柱　（東邦レオグランドサポートGS－10特岡等品）

※SGS—— 都市緑化用横打式地下支柱　（東邦レオスーパーグランドサポートSGSシリーズ同等品）とし、それぞれ樹高・樹冠径に応じたサイズの支柱を用いるもの（上記表参照）とする

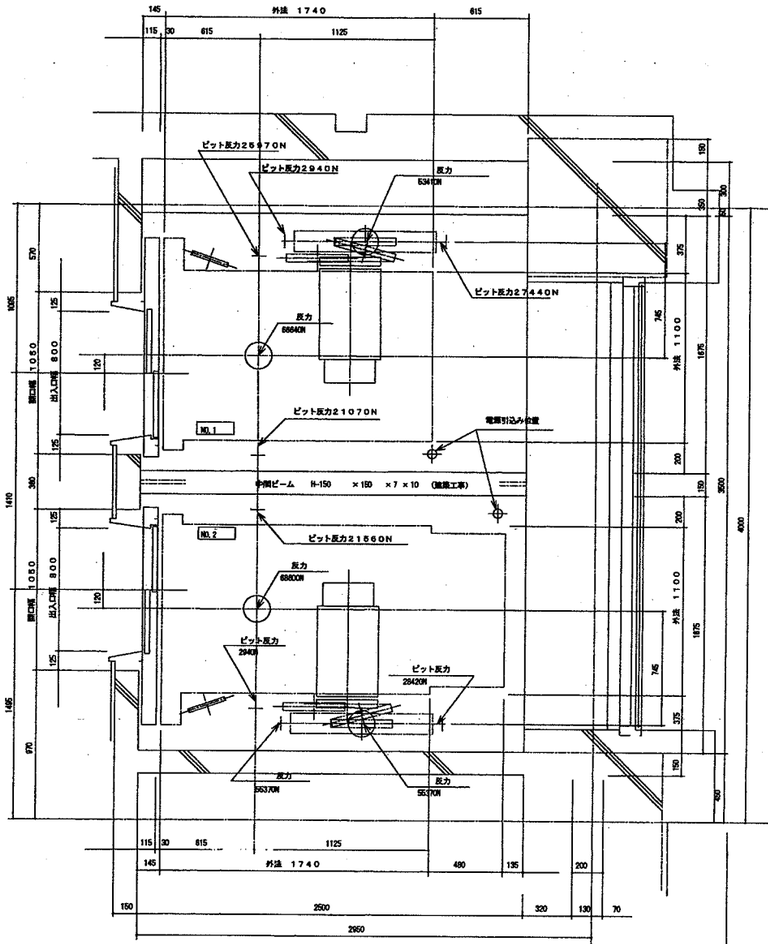
※　客土は地穴客土とする



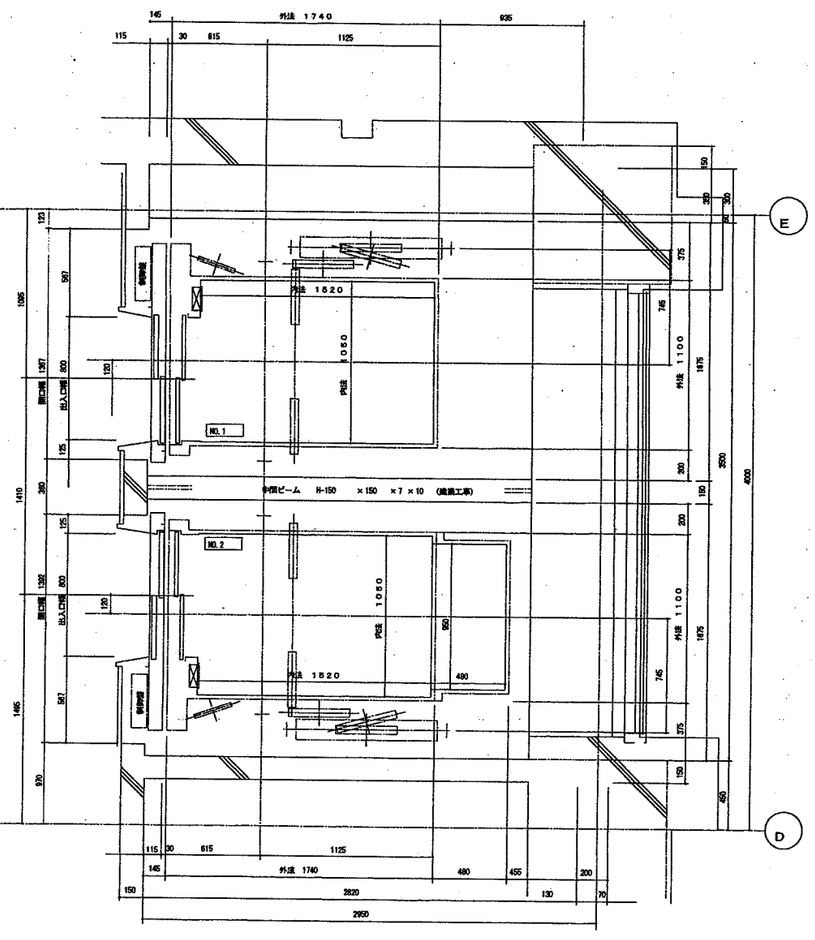
revisions

松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 ▪ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建築工事	外構図－2　植栽計画図
8 松田平田 ◯ 丸川設計	date 99.09.30 / drawn by / checked by	scale 1:200
		建築 602

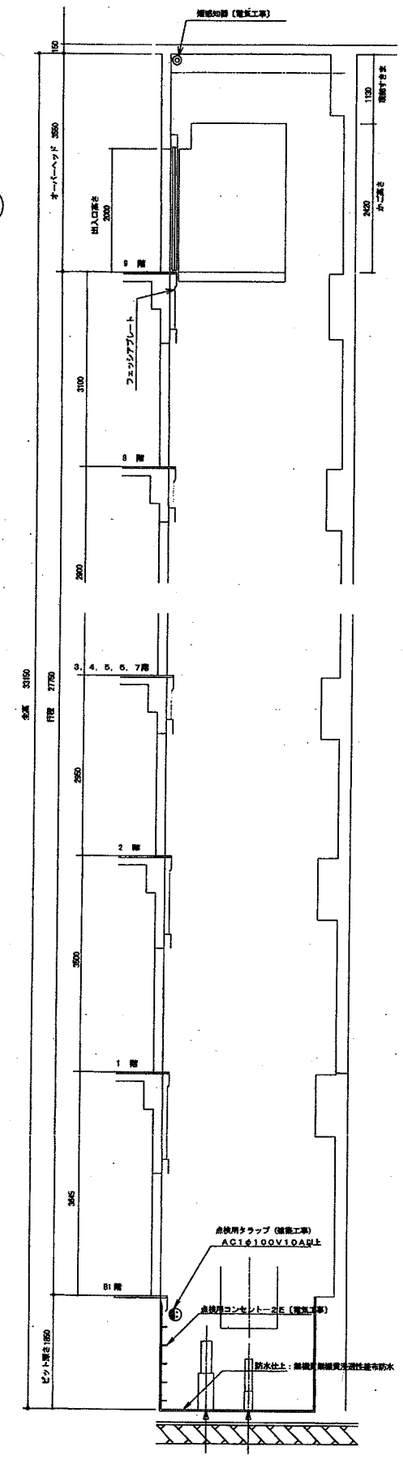
G:¥A3693-EMOTO¥つくば¥MN¥MP¥PLAN¥MNPP001A



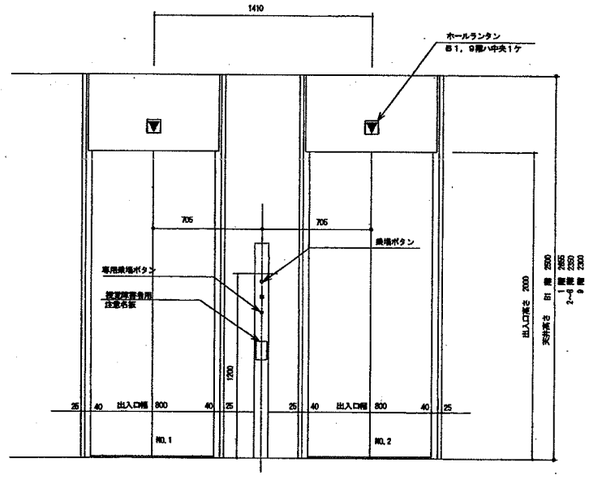
B1階昇降路平面図 (1：20)



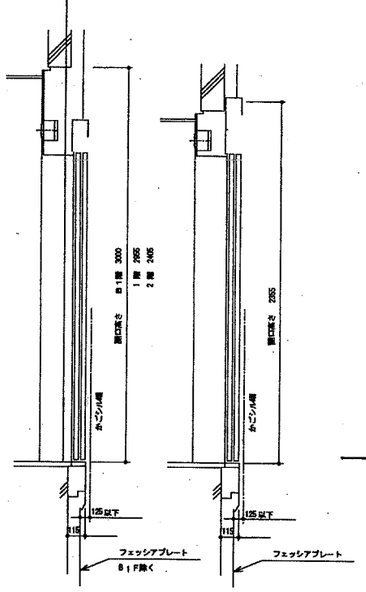
1～9階昇降路平面図 (1：20)

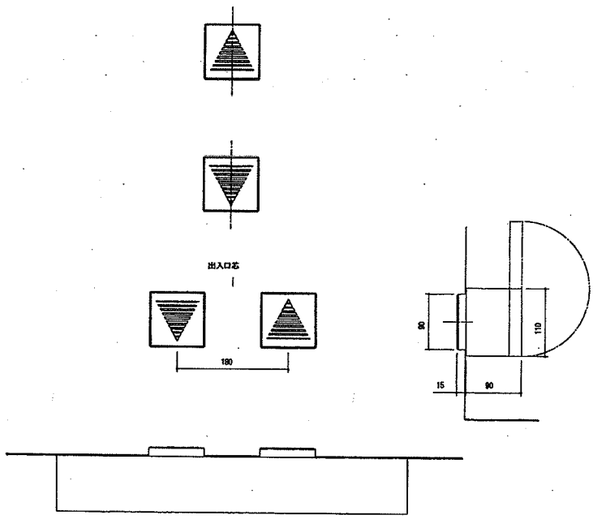


昇降路断面図 (1：50)



出入口正面図及断面図 (1：20)





幕板高さ	ホールランタン 中心高さ
321～1250	160
200～320	100

ランタン (1～3号機共通) 詳細

エレベーター仕様

号機名	NO.1	NO.2
形式用途	共同住宅用 EV (機械室レスタイプ)	
定格積載質量	600kg 9 人乗	600kg (トランク付) 9 人乗
定格速度	90m/min	90m/min
運転方式	VF ジュプレックスコレクテブコントロール (マイコン制御、気配りアナウンス付)	
停止階	10箇所 (B1, 1～9階)	
かご内法	間口 1050 mm 奥行 1520 mm 出入口幅 800 mm 出入口高さ 2000 mm	1050 mm 1520 mm 800 mm 2000 mm
電動機	AC 5.6 kW	AC 5.6 kW
電源	AC3φ 200 V 50 Hz	
	AC1φ 100 V 50 Hz	
通話装置	押釦通話式インターホン かご一管理人置	遠隔監視診断装置用 インタフェース付
特記仕様	制御機能地震時管制運転付、火災時管制運転付 停電時自動着床装置付 車いす仕様付 (2号機のみ、背面鏡はフレンネルレンズ仕様) 視覚障害者仕様付 (1, 2号機) 点字 音声合成アナウンス付 ~~中間停止スイッチ付 (1, 2号機)~~ 警報盤付 (合立型、LED) 愛媛県福祉のまちづくり条例適用	

SI 単位

かご仕様

側板、戸	ダイノックシート貼り、一部強化ガラス
前柱、天井、幅木	ステンレスヘアライン
天井	デラックスタイプ
床	ビニールシート A
敷居	硬質アルミ
操作盤	ステンレスヘアライン

出入口乗場仕様

立枠	鋼板 塗装仕上 (メタリック塗装2色)
幕板	鋼板 塗装仕上 (メタリック塗装2色)
戸	鋼板 塗装仕上 (メタリック塗装2色)
敷居	硬質アルミ
ホールボタン	ステンレスヘアライン
ホールランタン	幕板埋込み

エレベーター除外工事

[1] 建築工事関係
[1] 昇降路出入口周りの穴明け工事。
[2] 三方枠取付後の壁及び床の仕上工事。
[3] ピット防水仕上工事。
[4] 昇降路レール、出入口ドアハンガ固定用ファスナ設置及び錆止塗装。
[5] 出入口三方枠、敷居、乗場ボタン表示灯固定用鋼材の設置工事。

[2] 電気工事関係
[1] 引込電源 (動力用線は制御盤までの引込距離により下記とする)
1) 動力用電源 AC3φ 200V 50Hz XY 回路 / 台

MCB 容量	60A	最大引込距離 (m)	43	81	104
トランス 容量	10kVA	線サイズ (mm²)	5.5	8.0	14.0

2) 照明用電源 AC1φ 100V 50Hz 2mmφX2 回路
3) インターホン 用配管配線 0.9mm² X 8 本
4) アース 線 (D種) 2.6mm²
5) 停電時自動着床装置用電源 AC1φ100V5A 2mm² X2 本 / 台
電源引込位置は基下階レベル+500～1000とし
配管引出し50mm配線引出し4000mm
基下階床レベルに引き込み出来ない場合は基下階天井裏から引込みとし
配線引出し長さは3500mm+階高とする。
[2] 点検用 コンセント-2E (2 個穴 アース 付) AC100V10A 以上。
1) 基下昇止階から手の届くピット内 (1 箇所 / 台)。
[3] 増感知器。(昇降路外部から保守点検可能な構造)

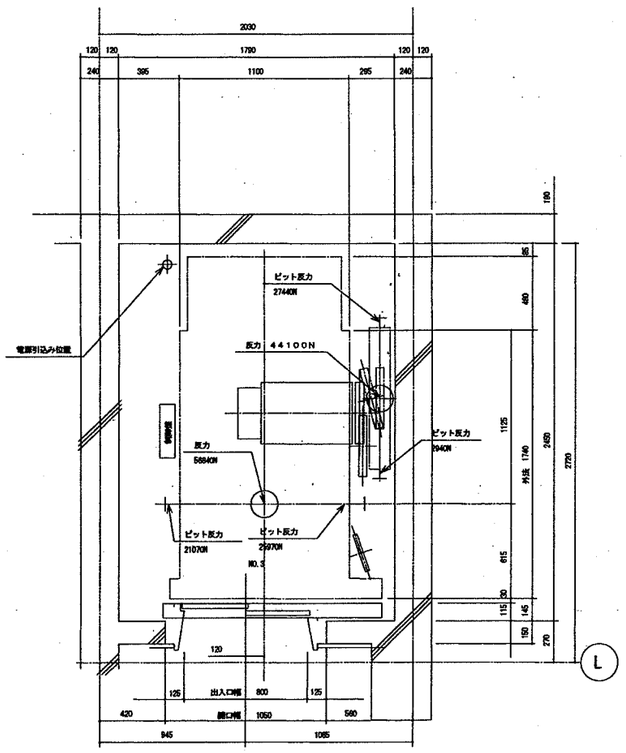
エレベーター遠隔監視用として電話中継盤からエレベーター制御盤までの電気配管工事を施工のこと。(最小直径 25mm)

製作図による

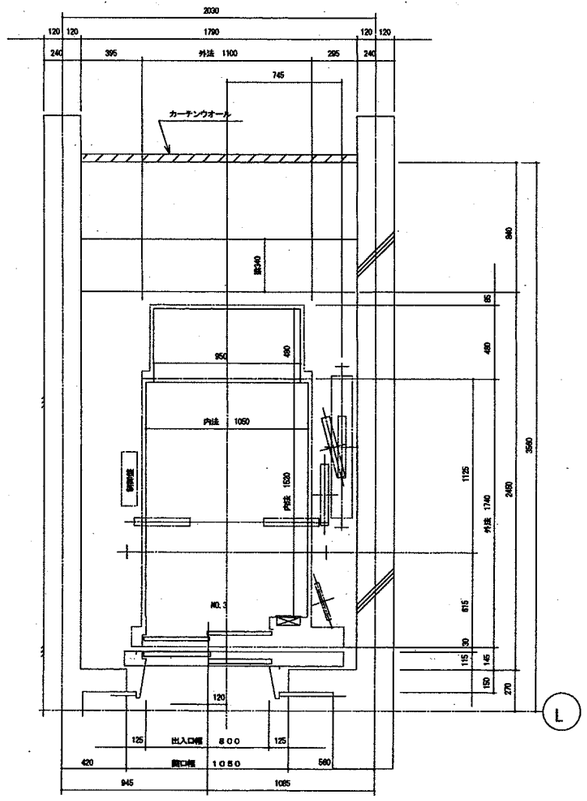
revisions

松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 * つくば外国人研究者用宿舎 (仮称) 建築工事	エレベーター詳細図－1 (NO.1,NO.2)	建築
85 HHS 松田平田 丸川設計	date 99.09.30 / drawn by / checked by	scale 1:20 1:50	701

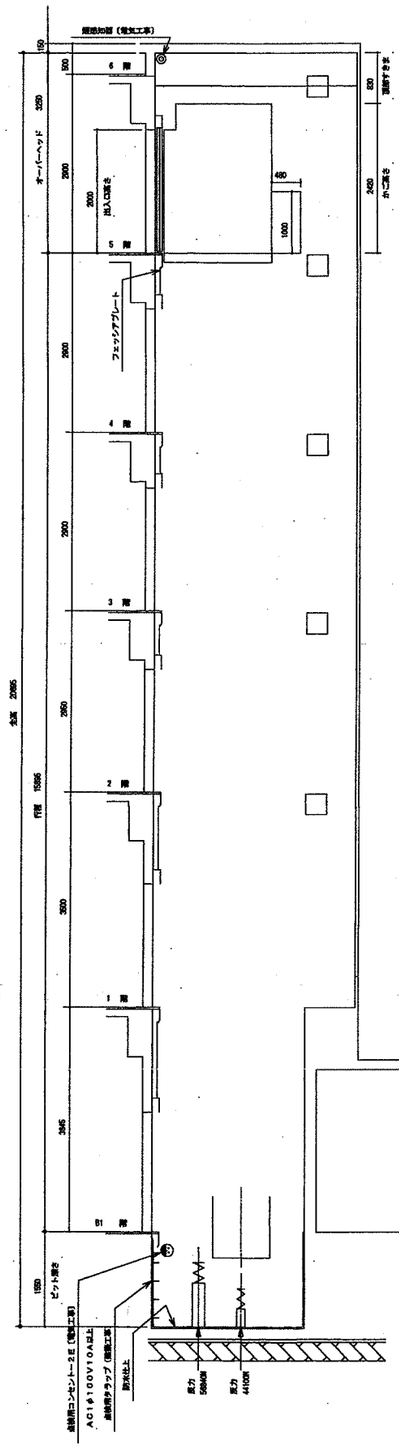
G:¥1234-EMOTO¥つくば¥MH¥MP¥PLAN¥MHFP001A



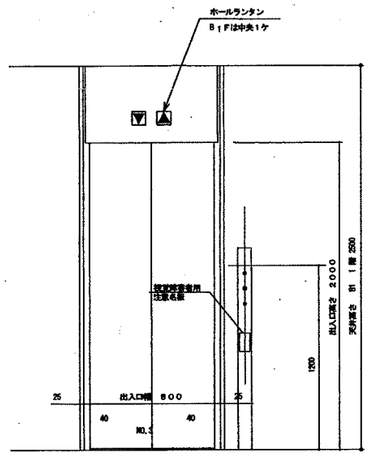
B1階昇降路平面図（1：20）



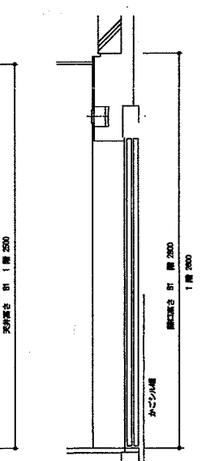
1－5階昇降路平面図（1：20）



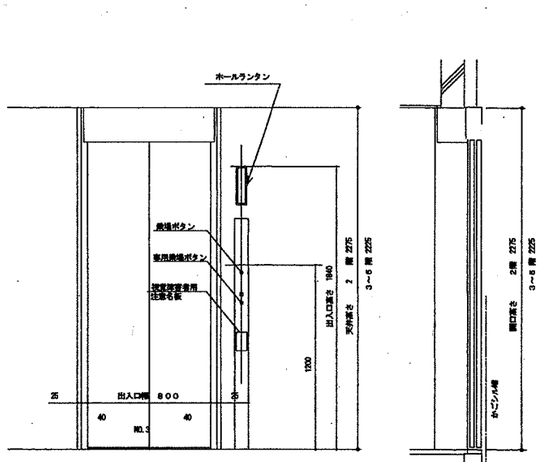
昇降路断面図（1：50）



B1、1階

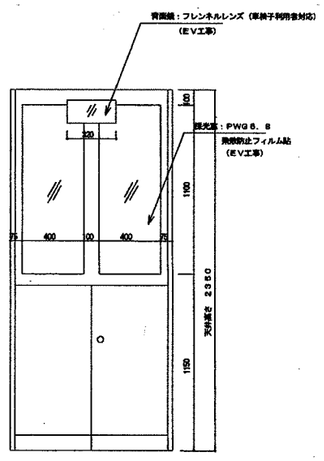


出入口正面図及断面図（1：20）



2～5階

出入口正面図及断面図（1：20）



かご内室面（1～3号機共通）展開図（1：20）

エレベーター仕様

号機名	NO.3
形式用途	共同住宅用　EV（機械室レスタイプ）
定格積載質量	600kg　8 人乗
定格速度	60m/min
運転方式	VF コレクティブコントロール （マイコン制御、気配リアナウンス付）
停止階	8 箇所　（B1，1～5 階）
かご内法	間口　1050 mm 奥行　1520 mm 出入口幅　800 mm 出入口高さ　2000 mm
電動機	AC　3.7 kW
電源	AC3φ　200 V　50 Hz
	AC1φ　100 V　50 Hz
連絡装置	同時通話式インターホン　遠隔監視診断装置用 かご一管理人室　インタフェース付
特記仕様	初期微動始動時省制御転付，火災時管制運転付 停電時自動着床装置付 車いす仕様付（背面鏡はフレンネルレンズ仕様） 視覚障害者仕様付　点字　音声合成アナウンス付 筑城県様式のまちづくり条例適用

SI 単位

かご仕様

側板	ダイノックシート貼り，一部硬光窓
前柱、天井、幅木	ステンレスヘアライン
天井	デラックスタイプ
床	ビニールシート A
敷居	硬質アルミ
操作盤	ステンレスヘアライン

出入口乗場仕様

立枠	鋼板　塗装仕上（メタリック塗装２色）
幕板	鋼板　塗装仕上（メタリック塗装２色）
戸	鋼板　塗装仕上（メタリック塗装２色）
敷居	硬質アルミ
ホールボタン	ステンレスヘアライン
ホールランタン	５１，１階埋込型　２～５階別置き（アクリル内照式）

エレベーター設外工事

〔1〕　建築工事関係

〔１〕昇降路出入口廻りの穴明け工事。
〔２〕三方枠取付後の壁及び床の仕上工事。
〔３〕ピット防水仕上工事。
〔４〕昇降路レール、出入口ドアハンガ固定用ファスナ設置及び錆止塗装。
〔５〕出入口三方枠、敷居、乗場ボタン表示灯固定用鋼材の設置工事。

〔2〕　電気工事関係

〔１〕引込電源（動力用線は制御盤までの引込距離により下記とする）

1）動力用電源	AC3φ	200V	50Hz	X1	回路 / 台
MCB 容量	40A	最大引込距離	(m)	37	58	83
トランス 容量	4kVA	線サイズ	(mm²)	3.5	5.5	8.0

2）照明用電源　AC1φ　100V　50Hz　2mmφX1 回路
3）インターホン 用配管配線　0.9mm² X 7 本
4）アース 線（D種）　3.5mm²
5）停電時自動着床装置用電源　AC1φ100V5A．2mm² 2芯 本 / 台

電源引込位置は最下階レベル＋500～1000とし
配管引出しは80mm配線引出し400mm
最下階以レベルに引き込み出来ない場合は最下階天井裏から引込みとし
配線引出し長さは3500mm＋階高とする。

〔２〕点検用　コンセント－２E〔２　極穴 アース 付〕　AC100V10A　以上。
　１）最下停止階から手の届くピット内（　　１箇所 / 台）。
〔３〕開閉知器。（昇降路外部から保守点検可能な箇所）

エレベーター遠隔監視装置として電話中継盤からエレベーター制御盤までの電気配管工事を施工のこと。（径小径庇　25mm　）

製作図による

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

86 MHS 松田平田　丸川設計

project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建築工事

date 99.09.30 | drawn by | checked by

エレベーター詳細図－2 (NO.3)

scale 1:20 1:50

建築 702

G:¥e1234－EMOTO¥つくば¥MR¥MP¥PLAN¥MRFP001A

E121225　MDL-H1　R-F0807　BILCAD

電気設備工事　図面リスト

通番	図番	図面名称	縮尺
1	000	表紙	－
2	001	図面リスト	－
3	002	電気設備工事特記仕様書	－
4	003	工事区分表	－
5	004	案内図	－
6	005	凡例	－
7	006	外構図	1/200
8	101	受変電設備　単線結線図	－
9	102	受変電設備　ブロック図	－
10	103	受変電設備　配置図	－
			－
11	201	住戸幹線系統図（1）	－
12	202	住戸幹線系統図（2）	－
13	203	動力制御盤（1）	－
14	204	動力制御盤（2）	－
15	205	幹線・動力・コンセント設備　地階平面図	1/200
16	206	幹線・動力・コンセント設備　1階平面図	1/200
17	207	幹線・動力・コンセント設備　2，3階平面図	1/200
18	208	幹線・動力・コンセント設備　4，5階平面図	1/200
19	209	幹線・動力・コンセント設備　6，7階平面図	1/200
20	210	幹線・動力・コンセント設備　8，9階平面図	1/200
21	301	分電盤結線図（1）	－
22	302	分電盤結線図（2）	－
23	303	分電盤結線図（3）	－
24	304	照明器具姿図（1）	－
25	305	照明器具姿図（2）	－
26	306	電灯設備　地階平面図	1/200
27	307	電灯設備　1階平面図	1/200
28	308	電灯設備　2，3階平面図	1/200
29	309	電灯設備　4，5階平面図	1/200
30	310	電灯設備　6，7階平面図	1/200
31	311	電灯設備　8，9階平面図	1/200
32	312	電灯設備　1階詳細図	1/100
33	313	動力・コンセント設備　1階詳細図	1/100
34	314	2階情報ライブラリ　動力設備、南棟ラウンジ　電灯コンセント設備	1/100
35	315	電灯・コンセント設備　9階詳細図	1/100
36	401	電話設備　系統図	－
37	402	テレビ共聴設備　系統図	－
38	403	インターホン設備　系統図	－
39	404	インターホン設備　機器姿図	－
40	405	ＩＴＶ設備　系統図・機器姿図・ヘッドエンド姿図	－
41	406	電話交換機設備　仕様書・系統図・機器姿図	－
42	407	弱電設備　地階平面図	1/200
43	408	弱電設備　1階平面図	1/200
44	409	弱電設備　2，3階平面図	1/200
45	410	弱電設備　4，5階平面図	1/200
46	411	弱電設備　6，7階平面図	1/200
47	412	弱電設備　8，9階平面図	1/200
48	413	弱電設備　1階詳細図	1/100
49	414	弱電設備　2階情報ライブラリ詳細図、9階詳細図	1/100

通番	図番	図面名称	縮尺
50	501	放送設備　系統図	－
51	502	放送設備　機器姿図	－
52	503	放送設備　地階平面図	1/200
53	504	放送設備　1階平面図	1/200
54	505	放送設備　2，3階平面図	1/200
55	506	放送設備　4，5階平面図	1/200
56	507	放送設備　6，7階平面図	1/200
57	508	放送設備　8，9階平面図	1/200
58	509	視聴覚設備　1階集会室・9階交流サロン　機器構成図	－
59	510	視聴覚設備　1階集会室・9階交流サロン　システム系統図	1/50
60	511	視聴覚設備　1階集会室・9階交流サロン　機器姿図（1）	－
61	512	視聴覚設備　1階集会室・9階交流サロン　機器姿図（2）	－
62	513	視聴覚設備　1階集会室・9階交流サロン　平面図	1/100
63	601	駐車場管制・入退室管理設備　仕様書	－
64	602	駐車場管制・入退室管理設備　機器配置図・系統図	－
65	603	駐車場管制・入退室管理設備　地階平面図	1/200
66	604	駐車場管制・入退室管理設備　1階平面図	1/200
67	605	駐車場管制・入退室管理設備　機器姿図	－
68	606	機械警備配管設備　1階平面詳細図	1/100
69	607	機械警備配管設備　9階平面詳細図	1/100
70	701	防災設備　凡例・注記・点数表	－
71	702	防災設備　系統図	－
72	703	防災設備　地階平面図	1/200
73	704	防災設備　1階平面図	1/200
74	705	防災設備　2，3階平面図	1/200
75	706	防災設備　4，5階平面図	1/200
76	707	防災設備　6，7階平面図	1/200
77	708	防災設備　8，9階平面図	1/200
78	801	避雷設備　地階地階平面図	1/200
79	802	避雷設備　6階平面図	1/200
80	803	避雷設備　7階・9階・PH階平面図	1/200
81	804	避雷設備　立面図　南棟・西棟	1/200
82	805	避雷設備　立面図　東棟・機器姿図	1/200
83	901	住戸詳細図　夫婦用　A	1/30
84	902	住戸詳細図　夫婦用　A3	1/30
85	903	住戸詳細図　夫婦用　B	1/30
86	904	住戸詳細図　夫婦用　C	1/30
87	905	住戸詳細図　夫婦用　D	1/30
88	906	住戸詳細図　単身用　イ	1/30
89	907	住戸詳細図　単身用　ロ	1/30
90	908	住戸詳細図　単身用　ハ	1/30
91	909	住戸内照明器具姿図・分電盤結線図	－
92	910	住戸内配線器具姿図	－
93	911	ゲストルーム詳細図	1/30
94	912	カウンセリング詳細図	1/30
95	913	エントランスホール，情報ライブラリー、北・南ラウンジ廻り詳細図	1/50
96	914	一階北東側電気シャフト詳細図	1/20
97	915	一階南西側電気シャフト詳細図	1/20
98	916	夫婦用電気シャフト詳細図	1/30
99	917	2階単身者用電気シャフト詳細図	1/20
100	918	MDF室・電気室詳細図	1/30
101	919	電気室詳細図	1/30

通番	図番	図面名称	縮尺

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田　丸川設計

project no. A3693　■　つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事

date 99.09.30　drawn by　checked by

図面リスト

scale no scale/A1

電気

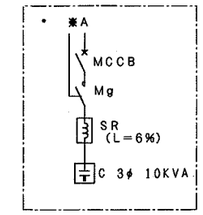
001

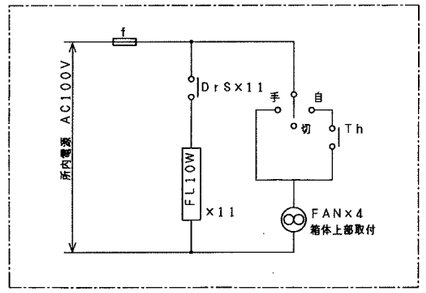
A1

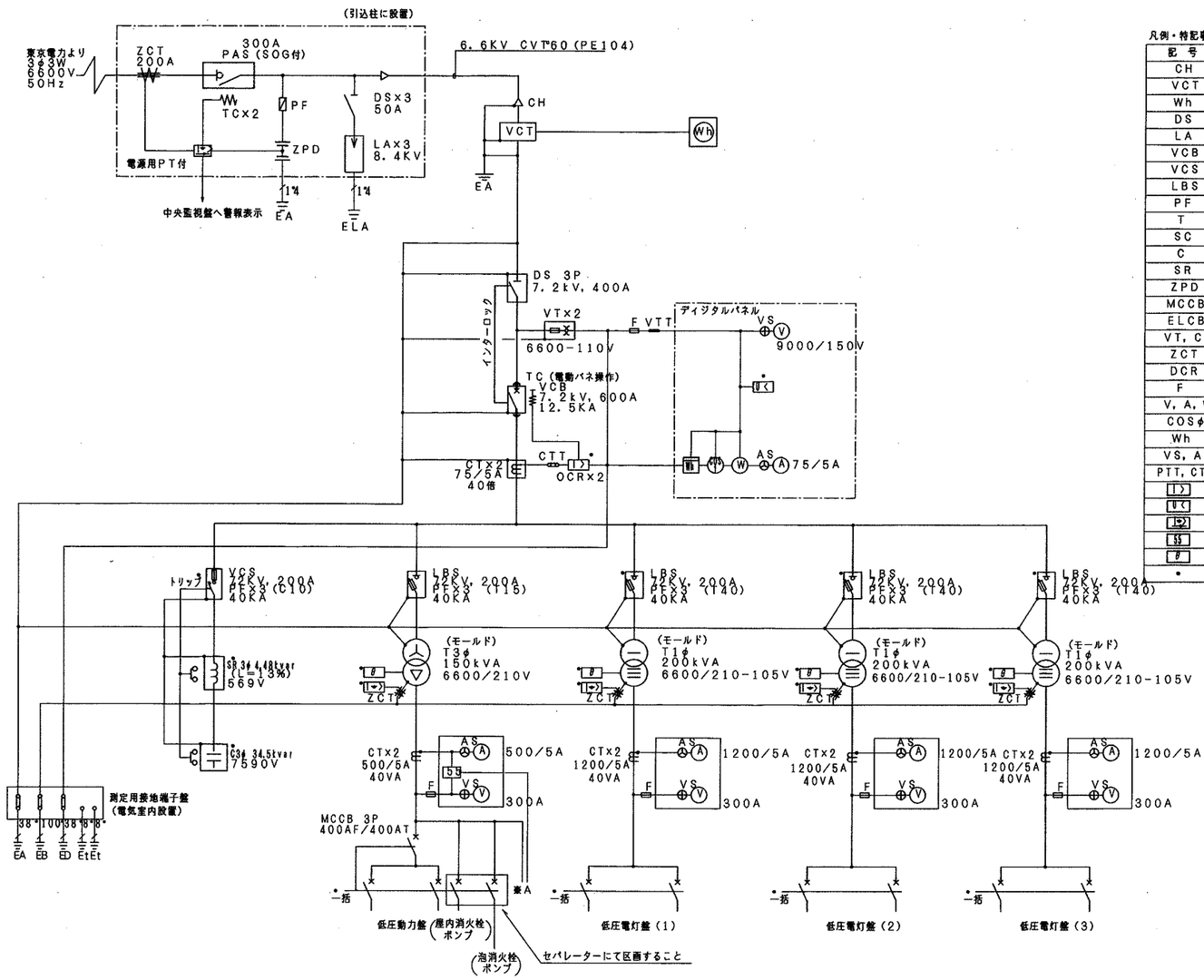
注記

特記なき各種機器の操作，表示は下記注記事項による。

1．すべての操作表示用電源はＤＣ２４Ｖとする。
2．ＶＣＢ及びＶＳは電磁操作式とする。
3．幹線地絡警報は変圧器盤に於て変圧器毎に警報表示し，且つ受変電一括警報として中央監視盤に表示する。（ＳＯＧトリップ、受変電高圧部、低圧部）
4．変圧器は全てモールド型とし，防振仕様とする。
5．コンデサーは全て圧力警報接点付とする。
6．配線用遮断器の遮断容量は短絡電流に充分耐え得る容量を有するものを使用する。
7．製作図には，耐振計算書，盤内温度上昇計算書，遮断協調曲線；換気計算書を添付する。
8．指定色塗装とする。
9．付属品、予備品として下記のものを納入すること。
　作業棒　　：２本
　電力ヒューズ　：定格毎に３本
　回路用ヒューズ　：実装数
10．各故障警報表示は、一括して中央監視盤へ移報すること。
11．低圧動力盤、低圧電灯盤には、保護用としてアクリルパネル盤を取り付けること。
12．防火電源回路の電流計算式（低圧動力盤）
1）① 変圧器１５０ＫＶＡ定格二次電流×２．１４＝８８２Ａ
② 主幹を除いた遮断器の定格電流の合計＝９２５Ａ
故に ①＜②より一般負荷の主幹は省略不可
2）③ 変圧器１５０ＫＶＡ定格二次電流×１．５＝６１８Ａ
④ 一般負荷の主幹ＭＣＢ＝４００Ａ
④＜③







凡例・特記事項

記号	名称	特記事項
CH	ケーブルヘッド	
VCT	取引用変成器函	電力会社取付
Wh	取引用電力量計	電力会社取付
DS	断路器	エポキシ
LA	避雷器	ギャップ付，酸化亜鉛形
VCB	真空遮断器	
VCS	真空接触器	
LBS	高圧負荷開閉器	限流ヒューズ付，ストライカー装置付，保護アクリル板付
PF	電力ヒューズ	限流形
T	変圧器	モールド式，省エネ型
SC	高圧進相コンデンサー	乾式、放電抵抗内蔵
C	低圧コンデンサー	乾式
SR	直列リアクトル	乾式（L＝13%）
ZPD	接地用コンデンサー	
MCCB	配線用遮断器	フラッシュプレート付（防災負荷用は耐火ブレーカーとし赤色とする。）
ELCB	漏電遮断器	フラッシュプレート付
VT，CT	計器用変圧（交流）器	高圧（エポキシレジンモールド），低圧（樹脂モールド），１．０級
ZCT	零相変流器	モールド形
DCR	放電抵抗	
F	ヒューズ	
V，A，W	電圧計，電流計，電力計	ディジタル型，１１０角，１．５級
COSφ	力率計	ディジタル型，１１０角，１．５級
Wh	電力量計	普通級，検定付
VS，AS	電圧（電流）計切換スイッチ	
PTT，CTT	試験用電圧（電流）端子	
51	過電流継電器	埋込形
27	不足電圧継電器	埋込形
67	地絡方向継電器	埋込形
55	自動力率調整器	埋込形
θ	温度継電器	埋込形
•	故障表示	一括して中央監視へ移報

配電盤名称	幹線番号	幹線サイズ	幹線容量（KW）	MCCB容量（AF/AT）	負荷名称
低圧動力盤	p1	CVT38*E8*	18.00	3P225/125	B1P-1
	p2-1	CVT14*E5.5*	11.00	3P100/75	B1P-2
	p2-2	CVT14*E5.5*	7.90	3P100/75	B1P-3
	p3	CVT22*E5.5*	13.50	3P100/100	B1P-4
	p4	CVT14*E5.5*	4.03	3P 50/50	1P-1
	p5	CVT22*E5.5*	6.50	3P 50/50	排水処理制御盤，1P-2
	p6	CVT14*E5.5*	3.90	3P 50/50	3P-1
	p7	CVT22*E5.5*	12.20	3P100/100	5P-1
	p8	CVT14*E5.5*	6.40	3P100/75	9P-1
	p9-1	CVT14*E5.5*	5.50	3P 50/50	ELV制御盤（1-1）
	p9-2	CVT14*E5.5*	5.50	3P 50/50	ELV制御盤（1-2）
	p10	CVT14*E5.5*	3.70	3P 50/50	ELV制御盤（2）
	p11	FPT14*E5.5*	7.50	3P50/50（耐火）	屋内消火栓ポンプユニット
	p12	FPT100*E14*	37.00	3P225/125（耐火）	泡消火栓ポンプユニット
				3P225/225	予備
				3P100/100	予備
			（計135.63）		

配電盤名称	幹線番号	幹線サイズ	幹線容量（KVA）	MCCB容量（AF/AT）	負荷名称
低圧電灯盤（1）	g1	CVT22*E5.5*	14.83	3P100/100	B1L-1
	g2	CVT150*E22*	49.82	3P400/300	1L-3，B1L-2
	g3	CVT100*E14*	36.53	3P225/200	1L-1，1L-2
	g4	CVT22*E5.5*	10.23	3P100/ 75	1L-4，2L-1
	g5	CVT60*E8*	25.04	3P225/150	1L-NE，3L-NE
	g6	CVT22*E5.5*	17.17	3P100/ 75	1L-SW
	g7	CVT60*E8*	20.69	3P225/125	4L-1，3L-NE
	g8	CVT60*E14*	35.81	3P225/200	9L-1
	g10		1.00	3P 50/ 20	所内電源
	gj1・2	CVT100*E8*	48.00	3P225/225	住戸分電盤
	gj3・4	CVT100*E8*	48.00	3P225/225	住戸分電盤
	gj5・6	CVT100*E8*	48.00	3P225/225	住戸分電盤
	gj7	CVT22*E5.5*	12.00	3P100/ 75	住戸分電盤
	gj8・9	CVT100*E8*	48.00	3P225/225	住戸分電盤
	gj10・11	CVT100*E8*	48.00	3P225/225	住戸分電盤
	gj12・13	CVT100*E8*	48.00	3P225/225	住戸分電盤
				3P225/125	予備
				3P100/100	予備
			（計534.12）		

配電盤名称	幹線番号	幹線サイズ	幹線容量（KVA）	MCCB容量（AF/AT）	負荷名称
低圧電灯盤（2）	gj14	CVT100*E8*	28.00	3P225/150	住戸分電盤
	gj15・16	CVT100*E8*	56.00	3P225/225	住戸分電盤
	gj17・18	CVT100*E8*	56.00	3P225/150	住戸分電盤
	gj19	CVT100*E8*	40.00	3P225/150	住戸分電盤
	gj20	CVT38*E5.5*	16.00	3P225/150	住戸分電盤
	gj21	CVT38*E5.5*	12.00	3P100/ 75	住戸分電盤
	gj22	CVT38*E5.5*	12.00	3P100/ 75	住戸分電盤
	gj23	CVT22*E5.5*	8.00	3P 50/ 50	住戸分電盤
	gj24	CVT38*E5.5*	8.00	3P 50/ 50	住戸分電盤
	gj25	CVT38*E5.5*	12.00	3P100/ 75	住戸分電盤
	gj26	CVT38*E5.5*	12.00	3P100/ 75	住戸分電盤
	gj27	CVT38*E5.5*	12.00	3P100/ 75	住戸分電盤
	gj28	CVT38*E5.5*	12.00	3P100/ 75	住戸分電盤
	gj29	CVT38*E5.5*	12.00	3P100/ 75	住戸分電盤
	gj30	CVT38*E5.5*	12.00	3P100/ 75	住戸分電盤
				3P225/225	予備
				3P100/100	予備
			（計264.00）		

配電盤名称	幹線番号	幹線サイズ	幹線容量（KVA）	MCCB容量（AF/AT）	負荷名称
低圧電灯盤（3）	gj31	CVT60*E5.5*	12.00	3P100/ 75	住戸分電盤
	gj32	CVT60*E5.5*	12.00	3P100/ 75	住戸分電盤
	gj33	CVT60*E5.5*	12.00	3P100/ 75	住戸分電盤
	gj34	CVT38*E5.5*	8.00	3P 50/ 50	住戸分電盤
	gj35	CVT38*E5.5*	8.00	3P 50/ 50	住戸分電盤
	gj36	CVT60*E5.5*	12.00	3P100/ 75	住戸分電盤
	gj37	CVT60*E5.5*	12.00	3P100/ 75	住戸分電盤
	gj38	CVT60*E5.5*	16.00	3P100/100	住戸分電盤
	gj39	CVT60*E5.5*	16.00	3P100/100	住戸分電盤
	gj40	CVT100*E14*	30.00	3P225/175	住戸分電盤
	gj41	CVT100*E14*	30.00	3P225/175	住戸分電盤
	gj42	CVT100*E14*	30.00	3P225/175	住戸分電盤
	gj43	CVT100*E14*	30.00	3P225/175	住戸分電盤
	gj44	CVT100*E14*	30.00	3P225/175	住戸分電盤
	gj45	CVT60*E5.5*	30.00	3P225/175	住戸分電盤
	gj46	CVT60*E5.5*	30.00	3P225/175	住戸分電盤
				3P225/225	予備
				3P100/100	予備
		（計318.00）			

revisions

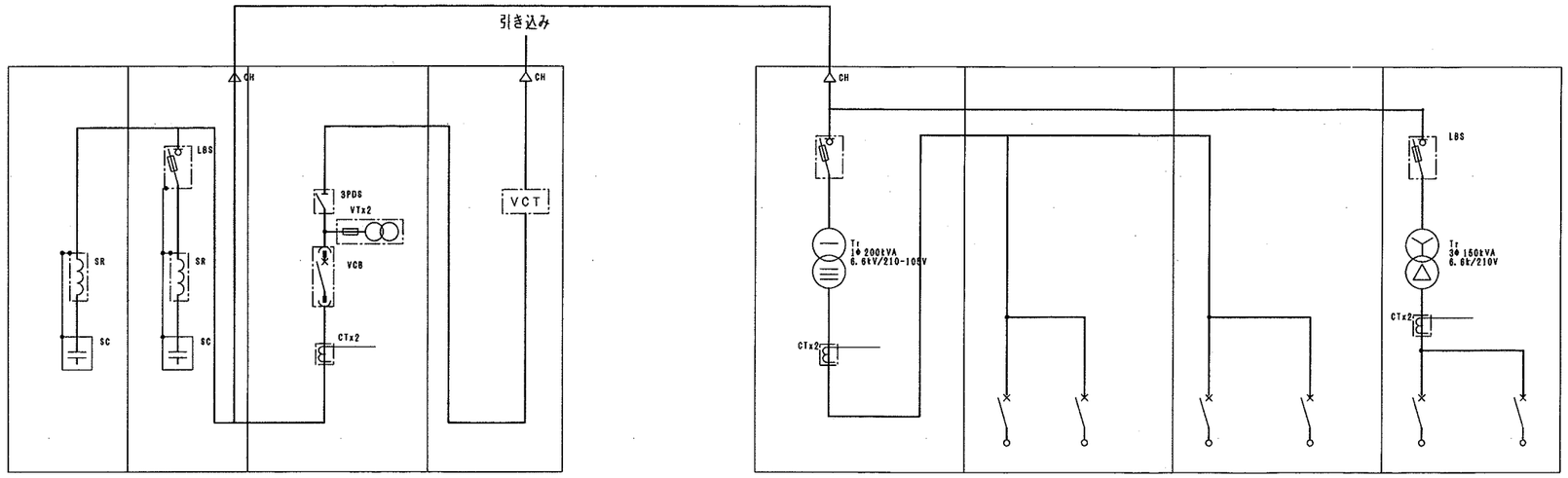
松田平田・丸川設計共同企業体
MHS 松田平田 ＋ 丸川設計

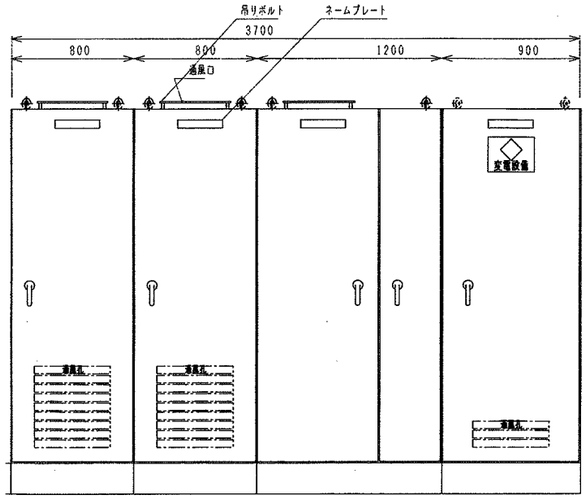
project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事
date 99.09.30 drawn by checked by

受変電設備 単線結線図

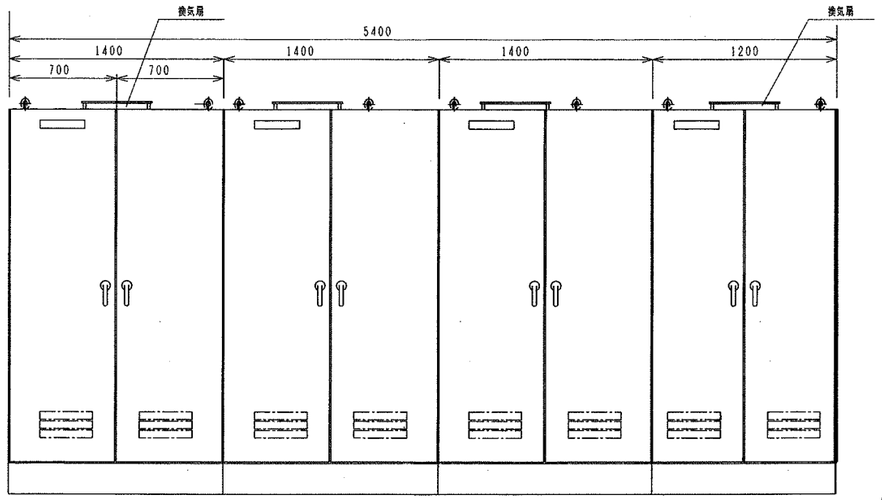
scale no scale / A1

電気 101

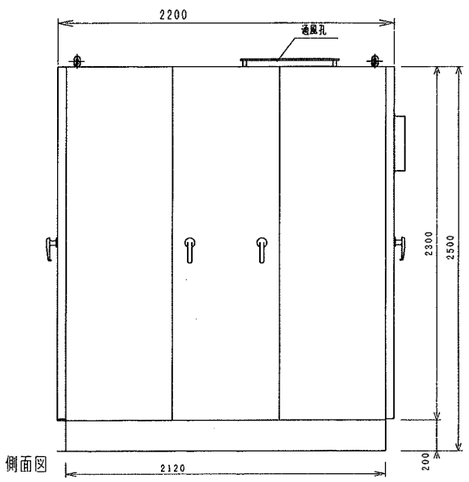




名　称	低圧コンデンサ盤	高圧コンデンサ盤	高圧受電盤	高圧引込盤
記　号	④	③	②	①



低圧電灯盤	低圧電灯盤	低圧電灯盤	低圧動力盤
⑥	⑦	⑧	⑤



側面図

注記）形状及び寸法は参考とする。

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田 (I) 丸川設計

project no. A3693 ▪ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事

date 99.09.30　drawn by　checked by

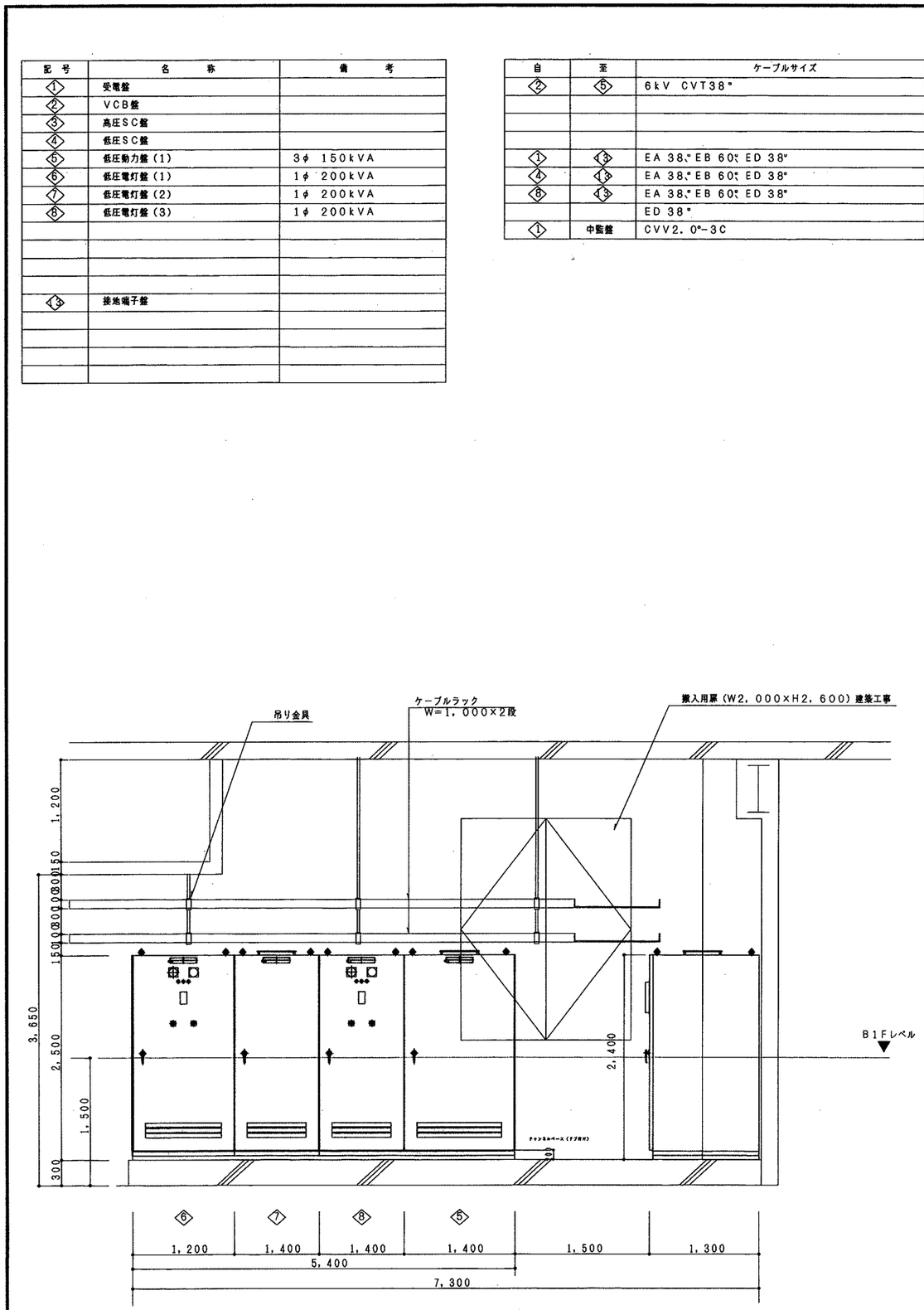
scale no scale/A1

受変電設備　ブロック単線図

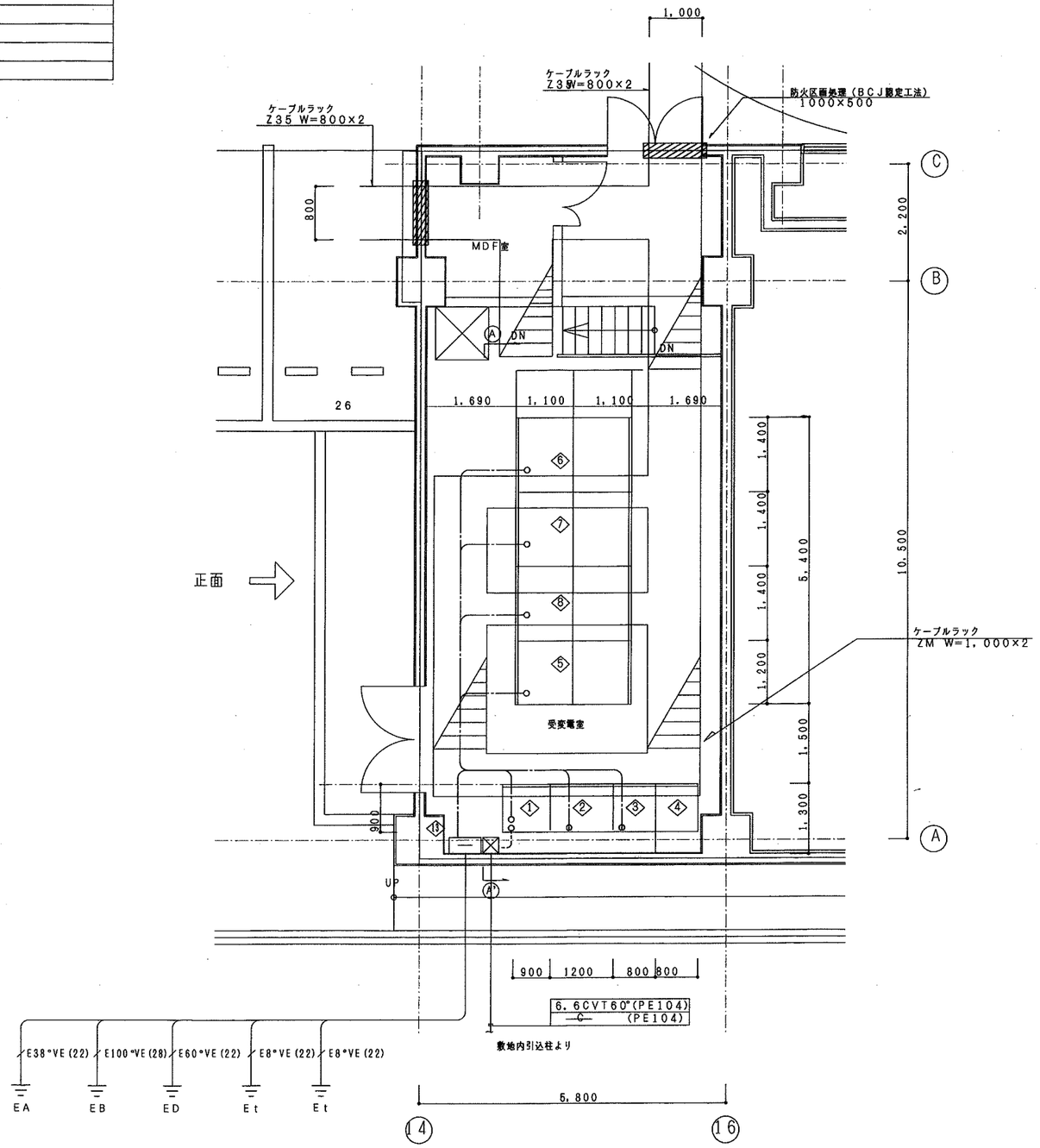
電気 102

記号	名称	備考
①	受電盤	
②	VCB盤	
③	高圧SC盤	
④	低圧SC盤	
⑤	低圧動力盤（1）	3φ 150kVA
⑥	低圧電灯盤（1）	1φ 200kVA
⑦	低圧電灯盤（2）	1φ 200kVA
⑧	低圧電灯盤（3）	1φ 200kVA
⑬	接地端子盤	

自	至	ケーブルサイズ	備考
②	⑤	6kV CVT38㎟	
①	⑬	EA 38㎟ EB 60㎟ ED 38㎟	
④	⑬	EA 38㎟ EB 60㎟ ED 38㎟	
⑧	⑬	EA 38㎟ EB 60㎟ ED 38㎟	
		ED 38㎟	
①	中監盤	CVV2.0㎟-3C	



電気室 Ⓐ-Ⓐ' 断面詳細図 S=1/30



電気室 平面詳細図 S=1/50

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田 丸川設計

project no. A3693 ■つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事

date 99.09.30 | drawn by | checked by

受変電設備 配置図

scale no scale / A1

電気 103

共用幹線サイズ表

電気方式	幹線番号	系統	行先	幹線サイズ	接地線	配管	備考
AC3φ3W 200V	p1		B1P-1	CVT38*	8*		
	p2-1			CVT38*			
	p2-2		B1P-2	CVT14*	5.5*		
			B1P-3	CVT14*	5.5*		
	p3		B1P-4	CVT22*	5.5*		
	p4		1P-1	CVT14*	5.5*		
	p5			CVT22*			
			排水処理制御盤	CVT14*	5.5*		
			1P-2	CVT14*	5.5*		
	p6		3P-2	CVT14*	5.5*		
	p7		5P-1	CVT22*	5.5*		
	p8		9P-1	CVT14*	5.5*		
	p9-1		ELV制御盤(1)-1	CVT14*	5.5*		
	p9-2		ELV制御盤(1)-2	CVT14*	5.5*		
	p10		ELV制御盤(2)	CVT14*	5.5*		
	p11		屋内消火栓ポンプユニット	FPT14*	5.5*		
	p12		消火栓ポンプユニット	FPT60*	14*		
AC1φ3W 200/100V	q1		B1L-1	CVT22*	5.5*		
	q2			CVT150*			
			1L-3	CVT150*	22*		
			B1L-2	CVT60*	5.5*		
	q3			CVT100*			
			1L-1	CVT60*	8*		
			1L-2	CVT38*	5.5*		
	q4			CVT22*			
			2L-1	CVT14*	5.5*		
			1L-4	CVT14*	5.5*		
	q5			CVT60*			
			1L-NE	CVT60*	8*		
			3L-NE	CVT60*	5.5*		
	q6		1L-SW	CVT22*	5.5*		
	q7			CVT60*			
			4L-1	CVT22*	5.5*		
			3L-SW	CVT22*	5.5*		
	q8		9L-1	CVT60*	8*		

住戸幹線サイズ表　（東分岐幹線サイズは注記参照）

電気方式	幹線番号	幹線サイズ	備考
AC1φ3W 200/100V	qj1・2～qj5・6	CVT100*	
	qj7	CVT22*	
	qj8・9～qj12・13	CVT100*	
	qj14～qj19	CVT100*	
	qj21,qj22	CVT38*	
	qj23～qj30	CVT38*	
	qj31～qj33	CVT60*	
	qj20,qj34,qj35	CVT38*	
	qj36～qj39	CVT60*	
	qj40～qj44	CVT100*	
	qj45,qj46	CVT60*	

注記

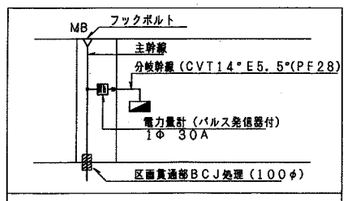
1.特記なき幹線サイズ・幹線番号は幹線サイズ表を参照とする。
　幹線サイズ表の配管は、幹線保護管とする。

2.特記なきケーブルラック上の接地線（ED）サイズは
　IV60 ×1とする。

3.ラックより盤までの接地線サイズは幹線サイズ表参照とする。

4. ▨ は防火区画貫通部ＢＣＪ処理を示す。

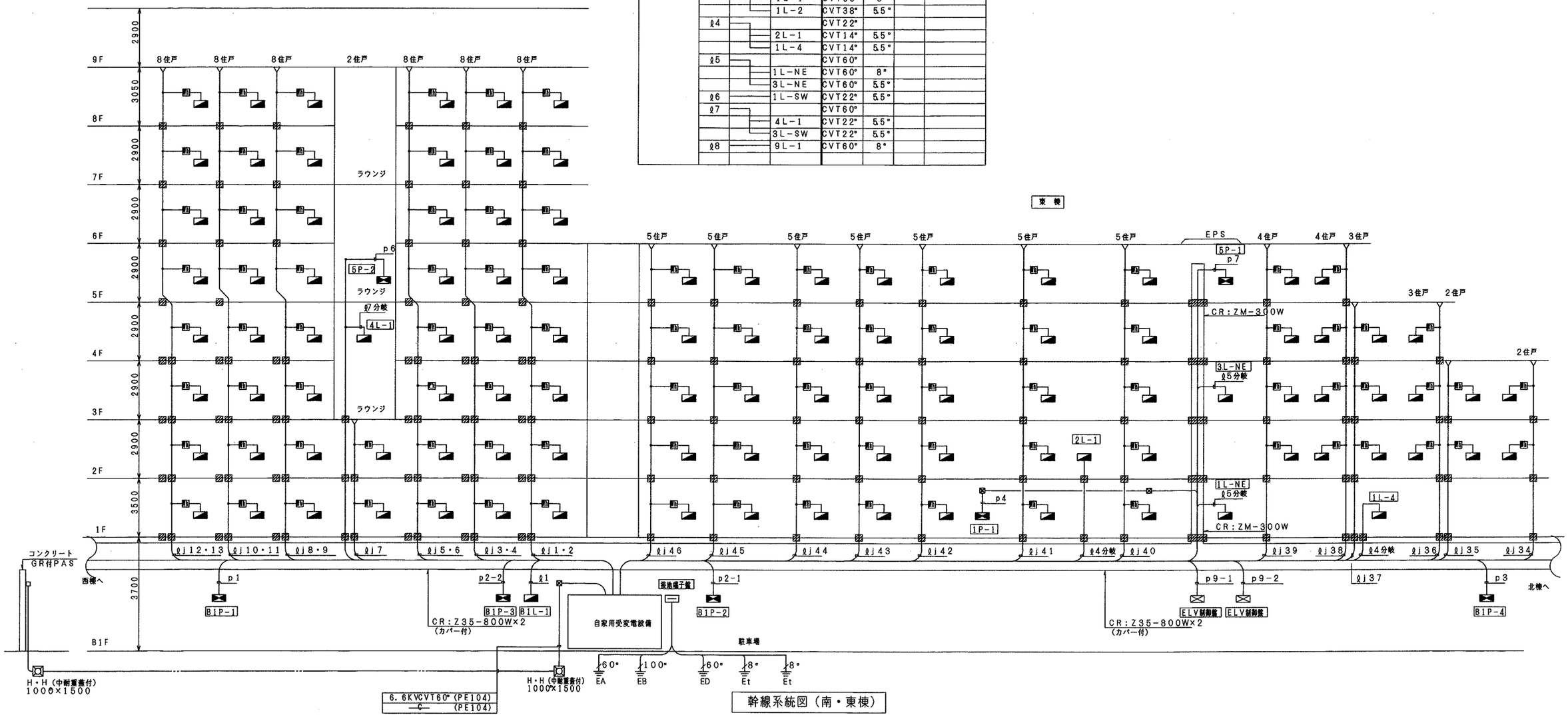
5.特記なき分電盤（盤名称のないもの）は、住戸分電盤とし、住戸分岐は下記とする。



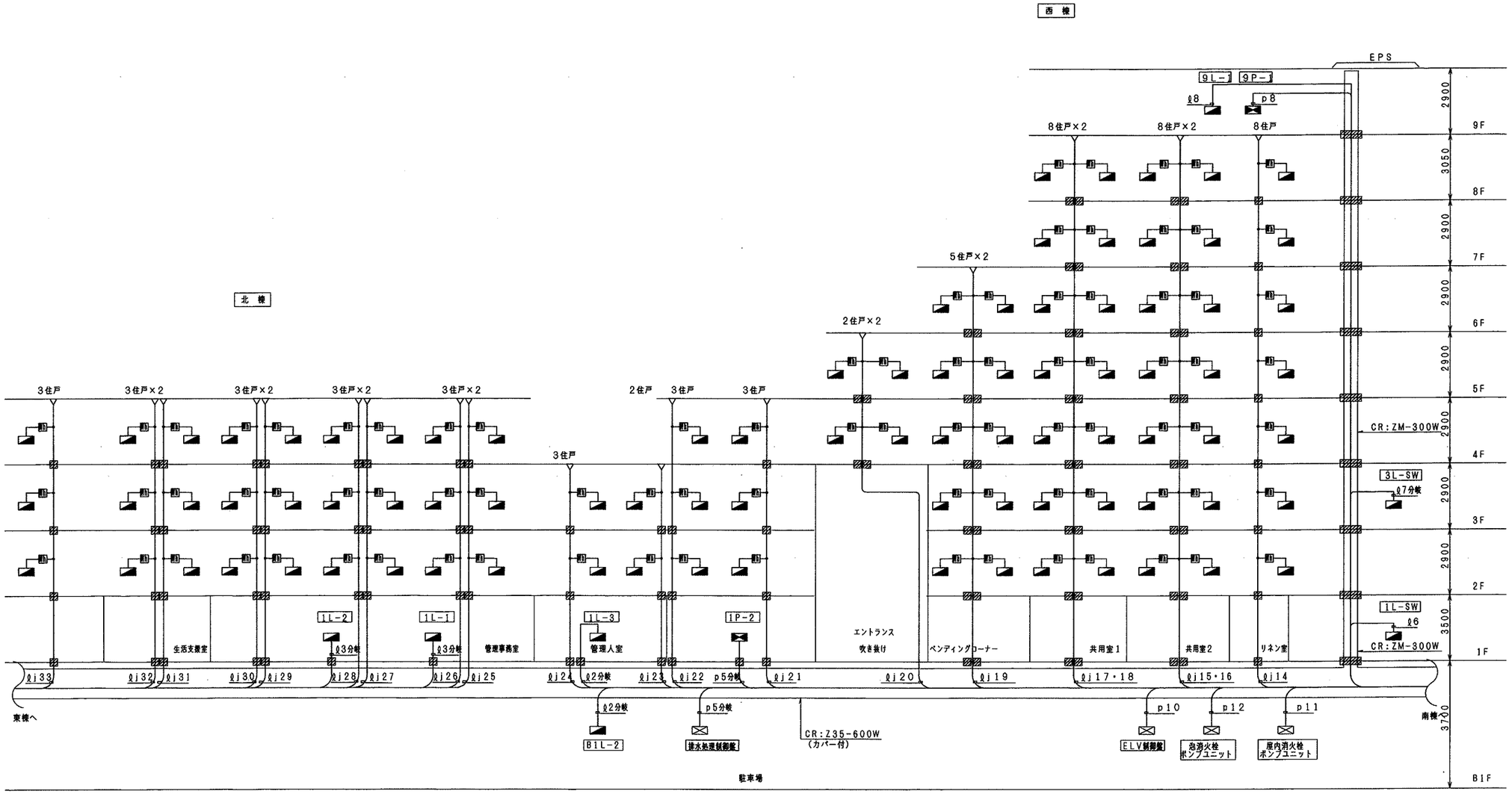
1)幹線分岐の長さは8m以内とする。
2)住戸幹線ケーブルはプレハブ分岐ケーブルを使用する。
3)M.B内の接地線（ED）IV14*×1を布設する。

南棟

東棟



幹線系統図（南・東棟）



住戸部幹線系統図（北・西棟）

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田 丸川設計

project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事

date 99.09.30 | drawn by | checked by

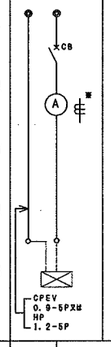
幹線設備 系統図(2)

scale no scale / A1

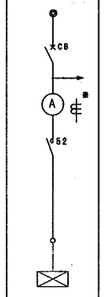
電気 202

単線結線図

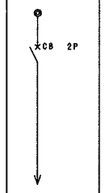
A1 電源供給



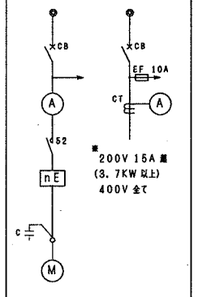
A2 電源供給



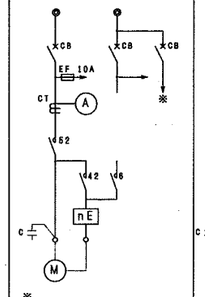
A3 電源供給



L 1 単独運転（直入始動）

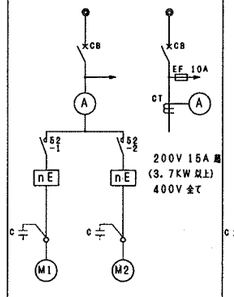


Y 1 単独運転（人−△ 始動）

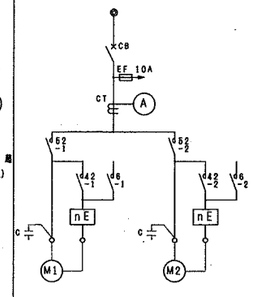


※液面制御装置の警報回路及び制御操作スイッチの記号に「G」が記録されたもの。

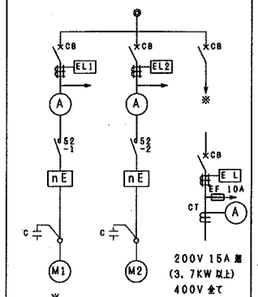
L 2 交互運転（直入始動）



Y 2 交互運転（人−△ 始動）

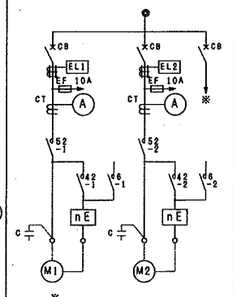


L 3 交互同時運転（直入始動）



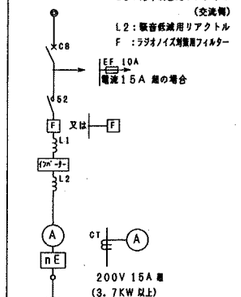
※液面制御装置の警報回路及び制御操作スイッチの記号に「G」が記録されたもの。

Y 3 交互同時運転（人−△ 始動）

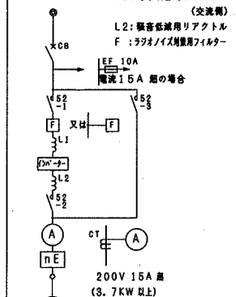


※液面制御装置の警報回路及び制御操作スイッチの記号に「G」が記録されたもの。

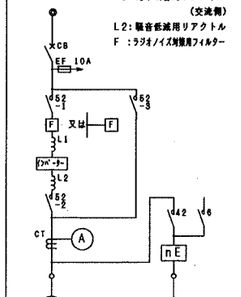
L1-K 可変運転（単独・直入始動）



L1-KK 可変運転（切替・直入始動）

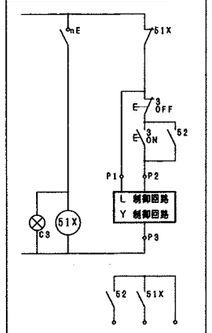


Y1-KK 可変運転（切替・人−△ 始動）

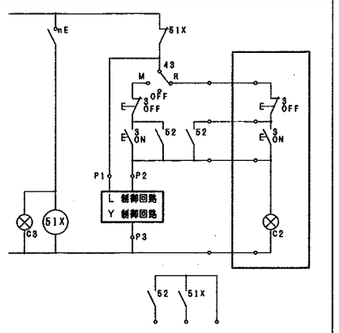


単線結線図

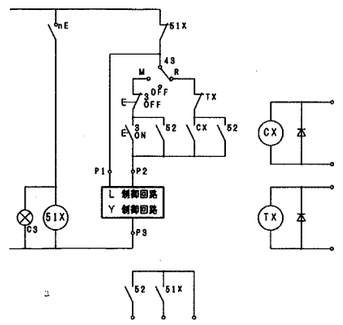
1 手動



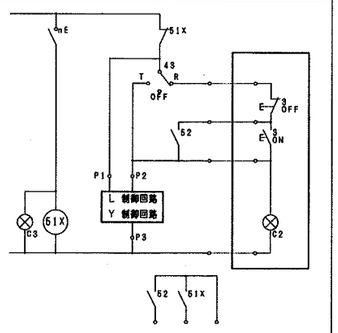
2 手動 − 遠方



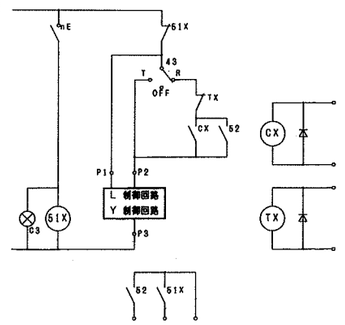
2-1a 手動 − 遠方



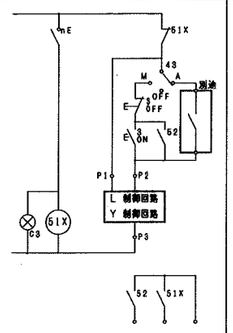
2-2 試験 − 遠方



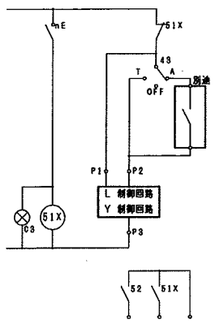
2-2a 試験 − 遠方



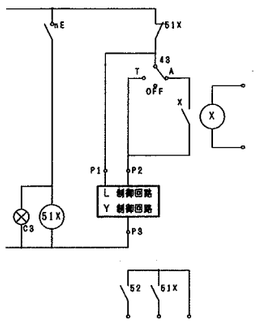
3 手動 − 自動



4-1 試験 − 自動

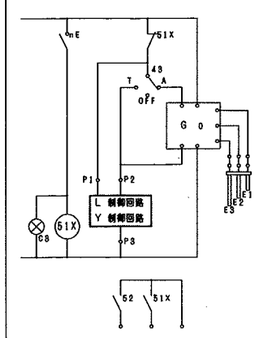


4-2 試験 − 自動



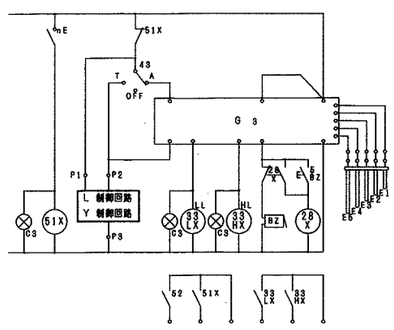
5 給水又は排水

（液面制御器Ｇ０の場合を示す）

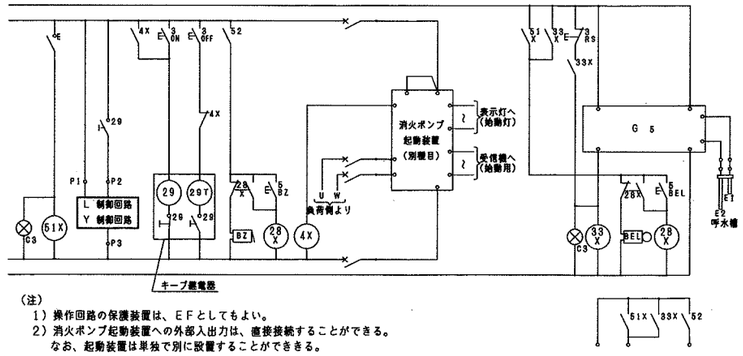


6 警報付給水又は排水

（液面制御器Ｇ３の場合を示す）

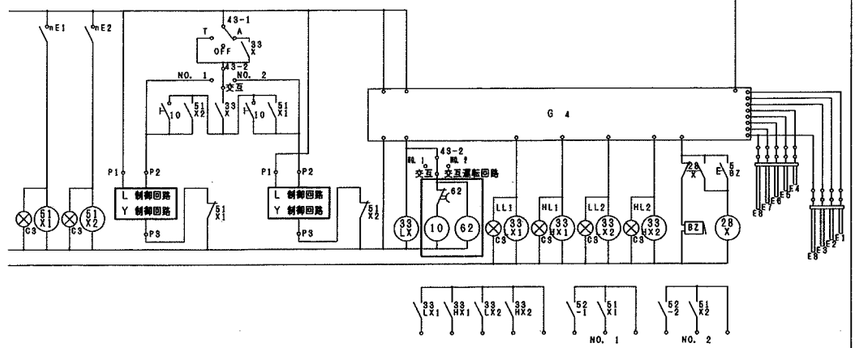


7 消火ポンプ（連動始動）

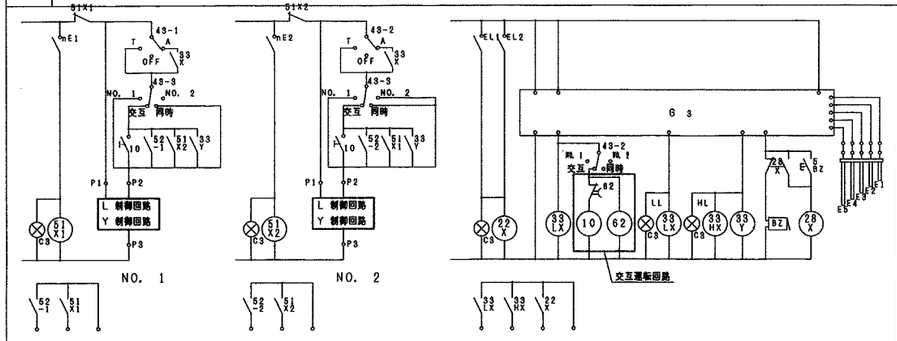


（注）
1）操作回路の保護装置は、ＥＦとしてもよい。
2）消火ポンプ起動装置への外部入出力は、直接接続することができる。
なお、起動装置は単独で別に設置することができる。

8 漏減水警報及び空転防止付復式自動交互運転



9 警報付復式交互運転



特記事項

1. 動力制御回路の主ＭＣＣＢの定格遮断電流は、５０ｋＡ以上とし、主ＭＣＣＢと分岐ＭＣＣＢはカスケード遮断を原則とする。
又、主ＭＣＣＢ二次側に漏電リレーを設け現地盤に警報表示する。監視盤へは漏電リレー及び主、分岐ＭＣＣＢ一括警報を送出する。
2. 動力制御盤内の主要機器には、アクリル名称板を設ける。
3. インバーター信号用、監視盤信号用の励磁コイルには、並列にノイズキラーを設ける事。
4. インバーター及び同収容盤は別途工事とするが、動力制御盤との関連配線工事は本工事で行う。
又、液面制御回路のある盤とそれに該当するポンプ等の盤が異なる場合の渡り配線・冷凍機器類のインターロック配線も本工事とする。
5. インバーターの特性に応じたＭＣＣＢ・ＭＣ等の選定を行うこと。
原則として、熱動電磁型とする。
6. 各動力制御盤に予備ＭＣＣＢ５０ＡＦ×２個ずつを、各一次側電源端子台収納回路毎に設ける。
但し、排煙ファン用の回路は除く。
7. 各盤に制御線送り端子５０Ｐを設ける。但し、対数は現場調整を行うこと。
8. 各水槽の電極は、電極棒とする。
9. パッケージ型空調機用分岐ＭＣＣＢは、機器の特性に応じて選定すること。
10. インバーターを内蔵する制御盤には原則として、冷却ファンを設け湿度調節器による自動運転を行うこと。
11. インバーターの直流回路には、ＤＣリアクトルを設置すること。
12. 屋上露出の配管は、内外部溶融亜鉛メッキ鋼管とする。
12. ＭＣＣＢ及びＥＬＣＢは３Ｐを原則とする。

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田 ◯ 丸川設計

project no. A3693 ・つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事

date 99.09.30 | drawn by | checked by

動力制御盤結線図（1）

scale no scale/A1

電気 203

93

動力制御盤リスト

盤名称 盤形式	電圧(V)	容量(KW)	幹線記号	盤内結線 主開閉器	機器名称	容量(KW)	分岐開閉器 M…MCB E…ELB	台数	結線記号 主回路	結線記号 制御回路	現場盤 操作	現場盤 表示	現場盤 警報	中央監視盤 操作	中央監視盤 表示	中央監視盤 警報	発電レベル	インターロック	配管配線サイズ	備考
BIP-1 (壁掛型)	AC 3φ3W 200V	18.0	p1 CVT38*	MCCB3P 225AF 125AT	受水槽室送風機	0.27	M-3P50/20	1	L1	2-1a	○	○	○	○	○	○			CV3.5*-3C E2.0 E(31)	
					受水槽室排風機	0.15	M-3P50/20	1	L1	2-1a	○	○	○	○	○	○			CV3.5*-3C E2.0 E(31)	
					湧水排水ポンプ	0.25×2	E-3P50/20	2	L2	9	○	○	○		○	○			CV3.5*-3C E2.0 E(31) x2	CVV2*-5C E(25)
					加圧給水ポンプユニット	11.0	M-3P 225/125	1	A2										CVT22*E8*E(51)	
					操作電源		M-2P50/20	1	A3											
					自動制御電源		M-2P50/20	1	A3											
BIP-2 (壁掛型)	AC 3φ3W 200V	11.0	p2 (分岐) CVT14*	MCCB3P 100AF 75AT	駐車場系統排風機	11.0	M-3P100/75	1	Y1	2-1a	○	○	○	○	○	○			CVT14* E8 E(39) CVT14 E(39)	
					操作電源		M-2P50/20	1	A3											
					自動制御電源		M-2P50/20	1	A3											
	AC 3φ3W 200V	0.24		MCCB3P 50AF 30AT	デリベントファン	0.12×4	M-2P50/20	4			○	○	○		○	○			IV2.0x2 E(19)	
					デリベントファン	0.12×4	M-2P50/20	4			○	○	○		○	○			IV2.0x2 E(19)	
BIP-3 (壁掛型)	AC 3φ3W 200V	5.9	p2 (分岐) CVT14*	MCCB3P 50AF 50AT	電気室送風機	3.7	E-3P50/30	1	L1	2-1a	○	○	○		○	○			CV3.5*-3C E2.0 E(31)	(サーモ発停)
					電気室排風機	3.7	E-3P50/30	1	L1	2-1a	○	○	○		○	○			CV3.5*-3C E2.0 E(31)	(サーモ発停)
					湧水排水ポンプ	0.25×2	E-3P50/20	2	L2	9	○	○	○		○	○			CV3.5*-3C E2.0 E(31) x2	CVV2*-5C E(25)
					操作電源		M-2P50/20	1	A3											
					自動制御電源		M-2P50/20	1	A3											
BIP-4 (自立型)	AC 3φ3W 200V	15.4	p3 CVT22*	MCCB3P 100AF 100AT	駐車場系統排風機	11.0	M-3P100/75	1	Y1	2-1a	○	○	○	○	○	○			CVT14*E8*E(39) CVT14* E(39)	
					操作電源			1	A3											
					自動制御電源			1	A3											
	AC 3φ3W 200V	0.24		MCCB3P 50AF 30AT	デリベントファン	0.12×4	M-2P50/20	4			○	○	○		○	○			IV2.0x2 E(19)	
					デリベントファン	0.12×3	M-2P50/20	3			○	○	○		○	○			IV2.0x2 E(19)	
IP-1 (自立型)	AC 3φ3W 200V	4.03	p4 CVT14*	MCCB3P 50AF 50AT	GHP屋内機	0.7	M-3P50/20	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 E(31)	
					フード用排風機	0.15	M-3P50/15	1	L1	2-1a	○	○	○	○	○	○			CV3.5*-3C E2.0 E(31)	
					フード用給気	0.15	M-3P50/15	1	L1	2-1a	○	○	○	○	○	○			CV3.5*-3C E2.0 E(31)	
					2F展保ライブラリ排気ファン	0.15	M-3P50/15	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 E(31)	
					操作電源		M-2P50/20		A3											
					自動制御電源		M-2P50/20		A3											
IP-2 (壁掛型)	AC 3φ3W 200V	1.5	p5 (分岐) CVT14*	MCCB3P 50AF 30AT	GHP屋内機	0.7	M-3P50/15	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 E(31)	
					操作電源		M-2P50/20	1	A3											
					自動制御電源		M-2P50/20	1	A3											

盤名称 盤形式	電圧(V)	容量(KW)	幹線記号	盤内結線 主開閉器	機器名称	容量(KW)	分岐開閉器 M…MCB E…ELB	台数	結線記号 主回路	結線記号 制御回路	現場盤 操作	現場盤 表示	現場盤 警報	中央監視盤 操作	中央監視盤 表示	中央監視盤 警報	発電レベル	インターロック	配管配線サイズ	備考
5P-2 (自立型)	AC 3φ3W 200V	3.9	p6 CVT14*	MCCB3P 50AF 30AT	GHP屋内機(3F南ラウンジ)	0.7	M-3P50/20	1	A2											
					GHP屋内機(5F南ラウンジ)	0.7	M-3P50/20	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 E(31)	
					GHP屋内機(7F南ラウンジ)	0.7	M-3P50/20	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 E(31)	
					4F南ラウンジ排風機	0.15	M-3P50/15	1	L-1	2-1a	○	○	○	○	○	○			CV3.5*-3C E2.0 E(31)	
					6F南ラウンジ排風機	0.15	M-3P50/15	1	L-1	2-1a	○	○	○	○	○	○			CV3.5*-3C E2.0 E(31)	
					8F南ラウンジ排風機	0.15	M-3P50/15	1	L-1	2-1a	○	○	○	○	○	○			CV3.5*-3C E2.0 E(31)	
					シャッター	0.5	M-3P50/20	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 E(31)	
					シャッター	0.5	M-3P50/20	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 E(31)	
					シャッター	0.5	M-3P50/20	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 E(31)	
					操作電源		M-2P50/20	1	A3											
					自動制御電源		M-2P50/20	1	A3											
5P-1 (自立型)	AC 3φ3W 200V	12.2	p7 CVT14*	MCCB3P 100AF 100AT	1Fエントランス系統GHP屋外機	1.58	E-3P50/30	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 (28)	
					1F集会室系統GHP屋外機	1.58	E-3P50/30	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 (28)	
					1F管理事務室系統GHP屋外機	1.58	E-3P50/30	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 (28)	
					1Fセミナ・応接室系統GHP屋外機	1.04	E-3P50/30	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 (28)	
					1F共用室系統GHP屋外機	0.95	E-3P50/30	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 (28)	
					2F情報ライブラリ系統GHP屋外機	0.95	E-3P50/30	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 (28)	
					3・5Fラウンジ系統GHP屋外機	1.58	E-3P50/30	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 (28)	
					2F情報ライブラリ系統GHP屋外機	1.58	E-3P50/30	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 (28)	
					2,3,4F廊下排風機	0.45	M-3P50/15	1	L-1	2-1a	○	○	○	○	○	○			CV3.5*-3C E2.0 (28)	
					操作電源		M-2P50/20	1	A3											
					自動制御電源		M-2P50/20	1	A3											
9P-1 (壁掛型)	AC 3φ3W 200V	6.4	p8 CVT14*	MCCB3P 100AF 75AT	3~8Fラウンジ(南)系統GHP屋外機	1.63	E-3P50/30	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 (28)	
					9F交流サロン室系統GHP屋外機	1.63	E-3P50/30	1	A2										CV3.5*-3C E2.0 (28)	
					操作電源		M-2P50/20	1	A3											
					自動制御電源		M-2P50/20	1	A3											

特記事項

盤形式

記号	内容・仕様
G	一般埋込型
T	一般露出型（外箱付）
D	一般露出型（外箱なし）
1G	一種耐熱埋込型（コンクリート等耐熱処理を施した壁への埋込）
1H	一種耐熱埋込型（耐熱、処理が施されていない壁への埋込）
1T	一種耐熱露出形
2G	二種耐熱埋込形
2T	二種耐熱露出形

回路記号

⑪	一般照明回路 AC200V
①	一般照明回路 AC100V
㉛	一般コンセント回路 AC200V
㉛	一般コンセント回路 AC100V
⑩	一般単相動力回路 AC200V
⑩	一般単相動力回路 AC100V

配線用遮断器記号

1	MCCB 1P 50AF 20AT
2	MCCB 1P 50AF 30AT
3	MCCB 1P 50AF 50AT
4	MCCB 2P 50AF 20AT
5	MCCB 2P 50AF 30AT
6	MCCB 2P 50AF 50AT
7	ELCB 2P 50AF 20AT

附属機器記号

R	リモコンリレー 1P20A
MT	電磁接触器＋24Hタイマー＋光電SW
WH	電力量計（パルス発信器付）
MS	電磁接触器＋（人感センサー）
調光TU	調光用T／Uユニット（白熱灯1，500W用）
接点入力TU	接点入力T／Uユニット（4入力用）

注記

1. 自動火災報知設備回路及び非常放送設備用回路等の電源としての配線用遮断器にはその旨を赤字で明記し、開放防止装置を設ける。
2. 各盤に2P50／20×4のスペースを見込むこと。

B1L-1 (T)

AC1φ3W 200／100V

MCCB3P 100／100 MT

計14，829VA

幹線NO.㉑ CVT38*

回路記号	遮断器記号	付属回路記号	負荷容量 照明	負荷容量 コンセント	備考
	5			1，920	B1P-2へ
	5			1，680	B1P-4へ
Ⓐ	7		70		誘導灯
Ⓑ	7		50		誘導灯
①	7	RX6 MT	1，520		電灯R29～R36
②	7	RX4 MT	606		電灯R37～R40
③	4		672		電灯
④	4		660		電灯
⑤	4		1，504		電灯
⑥	4				予備
⑦	4				予備
⑧	4				予備
①	7	RX2	360		電灯R41，R42
②	1	RX4	488		電灯R45～R48
③	7		330		非常照明
④	1	RX2	305		非常照明
⑤	7		300		予備
⑥	1		400		MDF室電灯
⑦	1				予備
⑧	1				伝送ユニット
⑨	1				予備
⑩	1				予備
㉛	7			300	コンセント
㉜	7			600	コンセント
㉝	7			400	コンセント
㉞	7			600	コンセント
㉟	7			700	コンセント
㊱	1			200	コンセント
㊲	1			500	自動ドア
㊳	1			300	車路管制
㊴	1				TVブースター
㊵	1				予備
⑪	1			60	空調機
⑫	1				予備

1PリモコンリレーX24
リモコンT／U ×6
リモコンTr ×1
伝送ユニット ×1
MT ×2
接点入力TU ×2
※上記を盤内に組込

N1

B1L-2 (T)

AC1φ3W 200／100V

MCCB3P 50／50 WH

計 8，021VA

幹線NO.㉒ CVT60*

回路記号	遮断器記号	付属回路記号	負荷容量 照明	負荷容量 コンセント	備考
Ⓐ	7		60		誘導灯
Ⓑ	7		55		誘導灯
Ⓒ	4		280		誘導灯
①	4	RX4	1，069		電灯R1～R4
②	7	RX4 MT	1，862		電灯R5～R8
③	7	RX2 MT	608		電灯
④	4				予備
①	7	RX2	240		電灯R17，R18
②	7	RX2	1，200		電灯R21，R22
③	7		304		非常照明
④	1				非常照明
⑤	1				予備
⑥	1				リモコントランス
⑪	7			243	空調機
⑫	4				予備
㉛	1			800	コンセント
㉜	7			500	コンセント
㉝	7			500	コンセント
㉞	1			100	車路管制
㉟	1				予備
㊱	1				予備
⑪	1			200	空調機
⑫	1				予備

1PリモコンリレーX28
リモコンT／U ×7
リモコンTr ×1
MT ×2
接点入力TU ×2
※上記を盤内に組込

N1

1L-1 (T)

AC1φ3W 200／100V

MCCB3P 225／125 MT

計21，617VA

幹線NO.㉓ CVT60*

回路記号	遮断器記号	付属回路記号	負荷容量 照明	負荷容量 コンセント	備考
Ⓐ	4		20		誘導灯
Ⓑ	4		20		誘導灯
Ⓒ	4			1，000	中央監視盤
①	4	RX4	1，168		電灯R49～R52
②	4	RX8	1，675		電灯R53～R60
③	4	RX2	1，533		電灯R61
④	4	RX4	380		電灯R63
⑤	4				予備
⑥	4				予備
①	1	RX4	304		電灯R67～R69
②	1		200		電灯
③	1		732		電灯
④	1		210		非常照明
⑤	1				リモコントランス
⑥	1				予備
㉚	4			1，000	温水器
㉚	4				予備
⑪	4			1，080	空調機
⑫	4				予備
㉛	1			600	コンセント
㉜	1			300	コンセント
㉝	1			600	コンセント
㉞	1			600	コンセント
㉟	1			600	コンセント
㊱	1			600	コンセント
㊲	1			600	コンセント
㊳	1			400	コンセント
㊴	1			300	コンセント
㊵	1			400	コンセント
㊶	1			500	コンセント
㊷	1			600	コンセント
㊸	1			400	コンセント
㊹	1			400	コンセント
㊺	1			500	コンセント
㊻	1			500	給茶器
㊼	1			500	給茶器
㊽	1			300	公衆電話用
㊾	1				PBXコンセント
㊿	1				コンセント
⑪	1			900	空調機
⑫	1			900	空調機
⑬	1			900	空調機
⑭	1				予備

1PリモコンリレーX16
リモコンT／U ×4
リモコンTr ×1
※上記を盤内に組込

N1

1L-2 (T)

AC1φ3W 200／100V

MCCB3P 100／100 MT

計14，607VA

幹線NO.㉔ 3分岐 CVT38*

回路記号	遮断器記号	付属回路記号	負荷容量 照明	負荷容量 コンセント	備考
Ⓐ	4		30		誘導灯
①	4	RX2	1，944		電灯R71，R72
②	4		1，944		電灯
③	4		368		電灯
④	4				予備
①	1	RX4	360		電灯R73，R74
②	1	RX4	450		電灯R77，R78
③	1	RX1	304		電灯R3
④	1	RX1	456		電灯R4
⑤	1	RX2	151		電灯R11，R12
⑥	1		100		天井扇
⑦	1				予備
⑧	1				予備
⑪	4			200	空調機
⑫	4				予備
㉛	1			400	コンセント
㉜	1			300	コンセント
㉝	1				予備
㉞	1			600	コンセント
㉟	1			600	コンセント
㊱	7			100	ACコンセント
㊲	1			1，500	AV機器用
㊳	1			1，500	AV機器用
㊴	1			1，500	プロジェクタ用
㊵	1				予備
㊶	1				予備
⑪	1	RX1			予備
⑫	1				予備

1PリモコンリレーX8
リモコンT／U ×2
リモコンTr ×1
※上記を盤内に組込

N1

特記事項

盤形式

記号	内容・仕様
G	一般埋込型
T	一般露出型 （外扉付）
D	一般露出型 （外扉なし）
1G	一種耐熱埋込型 （コンクリート等耐熱処理を施した壁への埋込）
1H	一種耐熱埋込型 （耐熱、処理が施されていない壁への埋込）
1T	一種耐熱露出形
2G	二種耐熱埋込形
2T	二種耐熱露出形

回路記号

記号	内容・仕様
㉑	一般照明回路 AC200V
①	一般照明回路 AC100V
㉛	一般コンセント回路 AC200V
㉛	一般コンセント回路 AC100V
⑩	一般単相動力回路 AC200V
⑩	一般単相動力回路 AC100V

配線用遮断器記号

記号	内容・仕様
1	MCCB 1P 50AF 20AT
2	MCCB 1P 50AF 30AT
3	MCCB 1P 50AF 50AT
4	MCCB 2P 50AF 20AT
5	MCCB 2P 50AF 30AT
6	MCCB 2P 50AF 50AT
7	ELCB 2P 50AF 20AT

附属機器記号

記号	内容・仕様
R	リモコンリレー 1P20A
MT	電磁接触器＋24Hタイマー＋光電SW
MS	電力量計（パルス発信器付）
調光TU	電磁接触器＋（人感センサー）
接点入力TU	調光用T／Uユニット（白熱灯1，500W用）
	接点入力T／Uユニット（4入力用）

注記

1. 自動火災報知設備回路及び非常放送設備用回路等の電源としての配線用遮断器にはその旨を赤字で明記し、開放防止装置を設ける。
2. 各盤に2P50／20×4のスペースを見込むこと。

IL-3 (T)

AC1φ3W 200／100V

MCCB3P 225／225

計41，788VA

幹線NO.& 2分岐 CVT150*

回路記号	遮断器記号	付属回路記号	負荷容量 照明	負荷容量 コンセント	備考
Ⓐ	4		500		ITV制御盤用
Ⓑ	4		500		AMP用
Ⓒ	4		500		自火報盤用
Ⓓ	4		30		誘導灯
Ⓔ	4		80		誘導灯
①	4		934		電灯
②	4		292		電灯
③	4		2，052		電灯
④	4		2，052		電灯
⑤	4	R×4	1，360		予備
⑥	4		114		電灯
⑦	4	R×2	1，500		電灯R88，R89
⑧	4	R×1	2，250		電灯R90
⑨	4	R×1	2，250		電灯R91
⑩	7	R×1	200		電灯R92
⑪	7	R×1	304		電灯R93
⑫	4	R×1	800		電灯R94
⑬	4	R×1	1，600		電灯R95
⑭	4	R×1	1，400		電灯R96
⑮	4	R×1	210		予備
⑮		R×2			予備
⑰		R×4			予備
⑱		R×4			予備
①	1		665		電灯、非常照明
②	7		513		電灯
③	1		100		換気扇
④	1		304		天井扇
⑤	1	R×4	120		天井扇，R108~R111
⑥	1	R×4	548		電灯R112・R113
⑦	1	R×4	365		電灯R116，R117
⑧	7	R×2	640		電灯 R114
⑨	7	R×5	681		電灯 R142
⑩	1	R×4	244		電灯R120~R122
⑪	1	R×4	120		2階廊下灯，R124，R125
⑫	7				予備
⑬	1				予備
⑭	1				予備
⑮	1	R×1	350		予備
⑯	7	R×1	200		予備
⑰	1				リモコントランス
⑱	1				予備
⑲	1				予備
⑳	1				予備
㉑	4			1，000	温水器
㉒	4				予備
㉑	4			100	空調機用
㉒	4			200	空調機用
㉓	4				予備
㉔	4				予備
㉛	1			400	コンセント
㉜	1			500	コンセント
㉝	1			500	コンセント
㉞	1			500	給茶器
㉟	7			1，000	便座用
㊱	1			200	コンセント
㊲	1			300	コンセント
㊳	1			300	コンセント
㊴	1			200	コンセント
㊵	1			300	コンセント
㊶	7			1，000	自販機用
㊷	7			1，000	オートドア
㊸	7			1，000	自販機用
㊹	7			1，000	予備
㊺	7			1，000	予備
㊻	1			1，000	自販機用コンセント
㊼	1			1，000	自販機用コンセント
㊽	7			1，000	自販機用コンセント
㊾	1			1，000	自販機用コンセント
㊿	1			1，000	自販機用コンセント

1Pリモコンリレー×44
リモコンT／U ×11
リモコンTr ×1
※上記を盤内に組込

※1

IL-4 (D)

AC1φ3W 200／100V

MCCB3P 50／50

計 6，992VA

幹線NO.& 4分岐 CVT14*

回路記号	遮断器記号	付属回路記号	負荷容量 照明	負荷容量 コンセント	備考
⑪	1				予備
⑫	1			500	ELV制御盤
⑬	1			500	機器収容盤
⑭	1			1，000	湯沸器
⑮	1			300	廊下照明
⑯	1			300	TVブースター
⑰	1				予備
⑱	1				予備
⑪	1			720	空調機用
⑫	1			800	空調機用
⑬					予備
⑭					電動ロールスクリーン
⑪	4		1，752		電灯
⑫	4				予備
①	1		60		電灯
②	1		60		非常照明
③	1				予備
④	1				予備
㉑	4			200	空調機
㉒	4				予備
	1			400	コンセント
㉛	1			600	コンセント
㉜	1			600	コンセント
㉝	1			400	コンセント
㉞	1			600	コンセント
㉟	1			600	コンセント
㊱	1			500	コンセント
㊲	1			500	コンセント
㊳	1				AV電源
㊴	1				ロスナイ
㊵					
㉑	1			720	空調機
㉒	1				予備

※1

IL-NE (D)

AC1φ3W 200／100V

MCCB3P 100／75

計10，780VA

幹線NO.& 5分岐 CVT60*

回路記号	遮断器記号	付属回路記号	負荷容量 照明	負荷容量 コンセント	備考
Ⓐ	4		700		誘導灯
①	4		475		電灯
②	4	MS×2	190		電灯
③	7	MT×2	216		電灯
④	4				予備
①	1	MS×2	366		電灯
②	1		140		天井扇
③	7	R×1	244		外灯R62
④	7	R×1	244		外灯R63
⑤	7	R×2	280		外灯R60，R61
⑥	7	R×3	738		外灯R57，R58，R59
⑦	7	R×3	360		外灯R52~R54
⑧	7	R×2	427		外灯R51，R56
⑨	7		300		駐車場出口表示電源
⑩	1				リモコントランス
⑪	1				予備
⑫	1				予備
㉛	1			500	コンセント
㉜	7			200	コンセント
㉝	1			200	フラッシュバルブ用
㉞	7			1，000	便座用
㉟	7			1，000	便座用
㊱	7			1，000	便座用
㊲	7			1，000	便座用
㊳	7			200	コンセント
㊴	1			500	温水器用
㊵	1			500	温水器用
㊶	1				予備
㊷	1				予備

1Pリモコンリレー×12
リモコンT／U ×3
リモコンTr ×1
MT ×2
MS ×4
接点入力TU ×3
※上記を盤内に組込

IL-SW (D)

AC1φ3W 200／100V

MCCB3P 100／100

計17，047VA

幹線NO.& 6 CVT38*

回路記号	遮断器記号	付属回路記号	負荷容量 照明	負荷容量 コンセント	備考
㉑	4	MS×2	380		電灯
㉒	7	MT×2	540		電灯
㉓	4				予備
㉔	4				予備
①	1	MS×2	1，056		電灯、排風機
②	1	R×5	589		電灯R15~R19
③	1		244		電灯
④	1		420		電灯
⑤	1		1，120		電灯
⑥	1	MT×1	640		電灯
⑦	7	R×2	270		外灯R51，R53
⑧	7	R×3	484		外灯R52，R54，R55
⑨	7	R×1	244		外灯R63
⑩	7	R×2	400		外灯R64，R65
⑪	7	R×3	688		外灯R66，R69，R74
⑫	7	R×2	400		外灯R67，R68
⑬	7	R×2	240		外灯R72，R73
⑭	7	R×2	526		外灯R70，R71
⑮	7	R×5	566		外灯R56~R60
⑯	7	R×3	715		外灯R61，R62，R75
⑰	7	R×1	315		外灯R76
⑱	7	R×2	210		外灯R77，R78
⑲	1				リモコントランス
⑳	1				予備
㉑	1				予備
㉒	1				予備
㉛	7			300	コンセント
㉜	7			200	コンセント
㉝	7			300	コンセント
㉞	7			1，000	便座用
㉟	7			1，000	便座用
㊱	7			1，000	便座用
㊲	1			200	フラッシュバルブ用
㊳	7			1，000	便座用
㊴	7			1，000	便座用
㊵	1			500	温水器用
㊶	1			500	温水器用
㊷	1				予備
㊸	1				予備
㊹	1				予備

1Pリモコンリレー ×28
リモコンT／U ×7
リモコンTr ×1
MT ×3
MS ×4
接点入力TU ×4
※上記を盤内に組込

---

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田 丸川設計

project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事

date 99.09.30 drawn by checked by

分電盤結線図（2）

scale no scale / A1

電気 302

特記事項

盤形式

記号	内容・仕様
G	一般埋込型
T	一般露出型 （外扉付）
D	一般露出型 （外扉なし）
1G	一種耐熱埋込型 （コンクリート等耐熱処理を施した壁への埋込）
1H	一種耐熱埋込型 （耐熱、処理が施されていない壁への埋込）
1T	一種耐熱露出形
2G	二種耐熱埋込形
2T	二種耐熱露出形

回路記号

記号	内容・仕様
①	一般照明回路 AC200V
①	一般照明回路 AC100V
㊿	一般コンセント回路 AC200V
㊿①	一般コンセント回路 AC100V
⑩	一般単相動力回路 AC200V
⑩①	一般単相動力回路 AC100V

配線用遮断器記号

1	MCCB	1P	50AF	20AT
2	MCCB	1P	50AF	30AT
3	MCCB	1P	50AF	50AT
4	MCCB	2P	50AF	20AT
5	MCCB	2P	50AF	30AT
6	MCCB	2P	50AF	50AT
7	ELCB	2P	50AF	20AT

附属機器記号

R	リモコンリレー 1P20A
MT	電磁接触器＋24Hタイマー＋光電SW
MT	電力量計（パルス発信器付）
MS	電磁接触器＋（人感センサー）
調光T/U	調光用T／Uユニット（白熱灯1，500W用）
接点入力T/U	接点入力T／Uユニット（4入力用）

注記

1. 自動火災報知設備回路及び非常放送設備用回路等の電源としての配線用遮断器にはその旨を赤字で明記し、開放防止装置を設ける。
2. 各盤に2P50／20×4のスペースを見込むこと。

2L-1 (D)

AC 1φ3W 200/100V　MCCB3P M1 50/30
計 3，220VA
幹線NO. 44分岐 CVT14 *

回路記号	遮断器記号	付属回路記号	照明	コンセント	備考
㊿①	4				予備
㊿②	4				予備
㊿①	1			400	コンセント
㊿②	1			300	コンセント
㊿③	1			600	コンセント
㊿④	1			600	コンセント
㊿⑤	1			600	コンセント
㊿⑥	1			600	コンセント
㊿⑦	1				予備
㊿⑧	1				予備

NT

4L-1 (D)

AC1φ3W 200/100V　MCCB3P M1 100/75
計11，150VA
幹線NO. 47分岐 CVT22 *

回路記号	遮断器記号	付属回路記号	照明	コンセント	備考
Ⓐ	4		40		誘導灯
①	1	R×1	2，592		電灯
②	1	R×1	114		電灯
③	1	R×1			電灯
④	1				予備
①	1	R×4	720		電灯R227~R230
②	1	R×1	304		電灯R231
③	1	R×1	360		電灯R232
④	1	R×1	1，440		電灯R233
⑤	1	R×1			電灯R234
⑥	1				電灯R235
㊿①	4				予備
㊿②	4				予備
㊿③	4				予備
㊿④	4				予備
㊿①	1			600	コンセント
㊿②	1			600	コンセント
㊿③	1			1，500	電動ブラインド(4F)
㊿④	1				電動ブラインド(6F)
⑩①	1			480	空調機
⑩②	1				予備
⑦		R×1			8Fラウンジ電灯
⑧					非常照明
⑨					リモコン電源
⑩					機械室電灯
㊿⑤				1，500	電動ブラインド(8F)
㊿⑥					予備
㊿⑦				600	フロアーコンセント(3F)
㊿⑧				600	フロアーコンセント(5F)
㊿⑨				600	フロアーコンセント(7F)
㊿⑩					予備

2Pリモコンリレー×9
1Pリモコンリレー×4
リモコンT／U ×1
リモコンTr ×1
※上記を盤内に組込
NT

3L-NE (D)

AC1φ3W 200/100V　MCCB3P M1 100/100
計14，259VA
幹線NO.ℓ 5分岐 CVT60*

回路記号	遮断器記号	付属回路記号	照明	コンセント	備考
Ⓐ	4		420		誘導灯
①	4	MT×2	864		電灯R237，R238
②	4		456		電灯
③	4		304		予備R239，R240
④	4		800		予備R241，R242
⑤	4		800		予備R243，R244
⑥	4				予備
①	1	MT×2，Rx2	1，155		電灯，非常照明，R241，R248 プラケット，R245，R246
②	1	MT×2，Rx2	1，245		電灯，非常照明，R241，R248
③	1	MT×2	1，375		電灯、非常照明
④	1				リモコン電源
㊿①	4			540	空調機
㊿②	4				予備
㊿①	1			600	コンセント
㊿②	1			300	コンセント
㊿③	1			1，000	コンセント
㊿④	1			600	コンセント
㊿⑤	7			800	コンセント
㊿⑥	1				北ラウンジ電灯(5F)
㊿⑦	1				北ラウンジ電灯(3F)
㊿⑧	1				ELV電源
㊿⑨					北ラウンジ電灯(4F)
㊿⑩					2F情報ライブラリー

MT ×8
接点入力TU ×4
※上記を盤内に組込
NT

3L-SW (D)

AC1φ3W 200/100V　MCCB3P M1 100/75
計 9，538VA
幹線NO.ℓ 7分岐 CVT22*

回路記号	遮断器記号	付属回路記号	照明	コンセント	備考
Ⓐ	4		10		誘導灯
①	4	Rx2	2，160		電灯R251，R252
②	4	Rx2	1，134		電灯R253，R254
③	4	Rx2	1，566		電灯R255，R256
④	4				予備
①	1	Rx2	304		電灯R257，R258
②	1	Rx4	732		電灯R259~R262
③	1	Rx4	732		電灯R263~R266
④	1				予備
㊿①	7			700	コンセント
㊿②	7			500	コンセント
㊿③	1			300	コンセント
㊿④	7			700	コンセント
㊿⑤	7				予備
㊿⑥	1				予備

MT ×10
接点入力TU ×6
※上記を盤内に組込
NT

9L-1 (T)

AC 1φ3W 200/100V　MCCB3P M1 225/200
計35，810VA
幹線NO.ℓ 8 CVT60 *

回路記号	遮断器記号	付属回路記号	照明	コンセント	備考
①	4	Rx1	3，180		電灯R267
②	4	Rx1	972		電灯R268
③	4		184		予備
④	4	MS×2	266		和室PAC
⑤	4	Rx1	530		電灯R269，ELV廊下照明
⑥	4	Rx2	304		予備R270
⑦	4	Rx2	160		予備
⑧	4	Rx2	350		エアコン室内機
⑪	4	Rx2	120		電灯R281，西棟外灯
⑫	4	Rx2	150		和室間接照明
⑬	4	MT×2	216		電灯R282，西棟外灯
⑭	4				予備
⑮	4				非常灯
⑯	4				電灯，換気扇，（男女wc）
⑰	4				予備
⑱					
①	1		272		電灯R13
②	1		488		電灯
③	1		792		非常照明
④	1		280		電灯R274
⑤	1	Rx4	280		電灯R276~R279
⑥	1	Rx1	840		電灯R275
⑦	1	Rx1	240		電灯R278
⑧	1		160		電灯
⑨	1				リモコントランス
⑩	1				予備
㊿①	4			100	電灯R281，中央監視
㊿②	4			420	キッチンコンセント
㊿③	4			600	予備
㊿④	4				キッチンコンセント
㊿①	1			300	コンセント（キッチン）
㊿②	1			200	コンセント（フロアー）
㊿③	1			300	コンセント（キッチン）
㊿④	1				予備
㊿⑤	1			300	コンセント（水屋）
㊿⑥	7			1，000	コンセント（水屋）
㊿⑦	7			1，000	コンセント（電気炉）
㊿⑧	7			1，000	コンセント（電気炉）
㊿⑨	7			1，000	コンセント（キッチン）
㊿⑩	1			200	コンセント（和室）
㊿⑪	7			200	予備
㊿⑫	1			400	コンセント（男女wc）
㊿⑬	1			300	コンセントロスナイ
㊿⑭	1			500	ロスナイ
㊿⑮	7			100	コンセント（フロアー）
㊿⑯	1			300	コンセント（電子ピアノ）
㊿⑰	1			300	予備
㊿⑱	1			400	予備
㊿⑲	1			409	オートドア
㊿⑳	1			325	女子wcウォシュレット
㊿㉑	1			1，500	男子wcウォシュレット
㊿㉒	1			1，000	温水器
㊿㉓	1			1，000	男子wcウォシュレット
㊿㉔	1			1，000	女子wcウォシュレット
㊿①	1			1，500	女子wc（湯沸器）
㊿②	1			1，500	男子wc（湯沸器）
㊿③	1			325	コンセント（ELVホール）
㊿④	11				コンセント（キッチン脇天井）
㊿⑤	1			1，000	予備
㊿⑥	1			1，500	コンセント（キッチン）
㊿⑦	1			1，000	AVアンプ
㊿⑧	1				予備

1Pリモコンリレー×31
リモコンT／U ×8
リモコンTr ×1
MT ×2
MS ×3
※上記を盤内に組込
NT

---

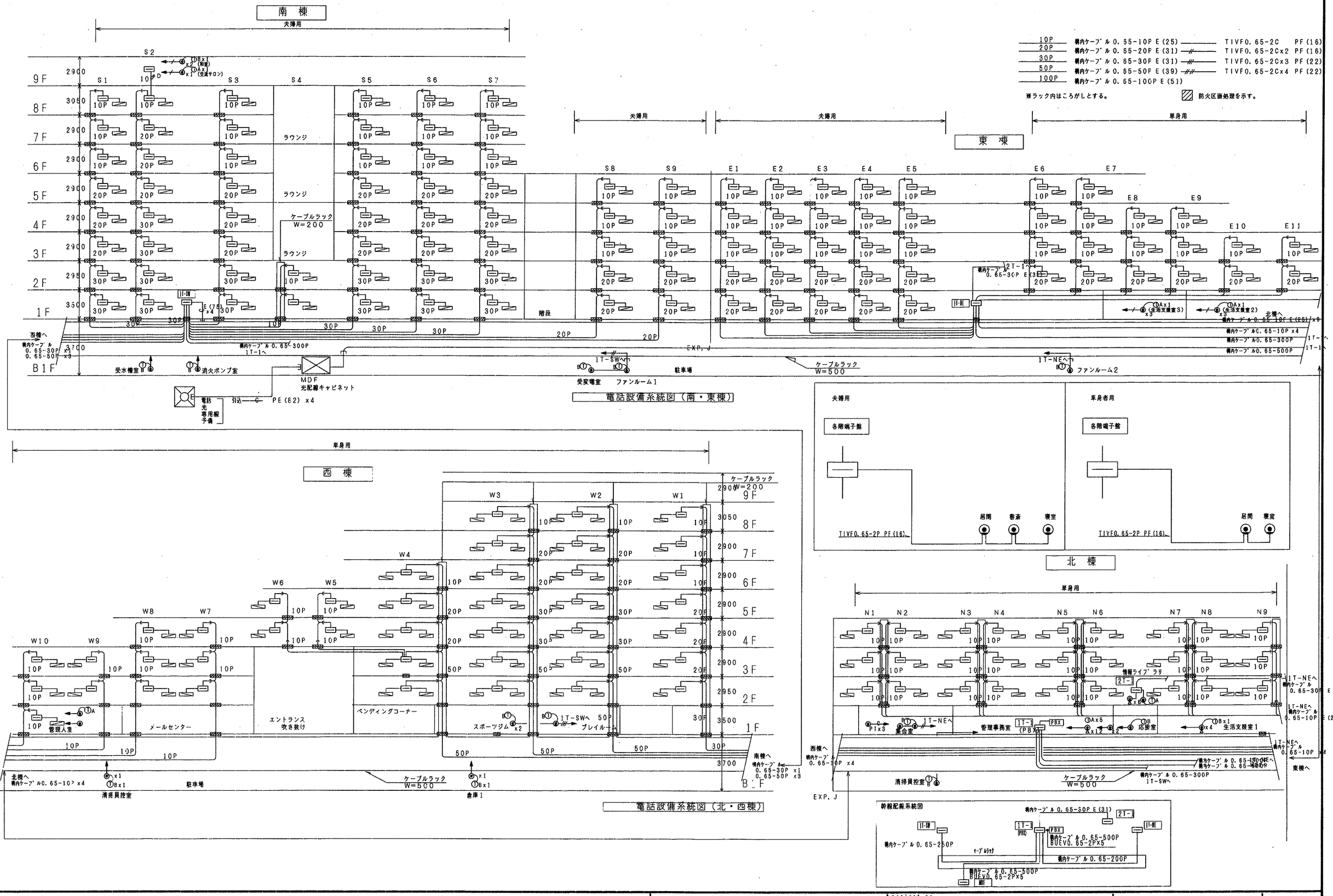
revisions

松田平田・丸川設計共同企業体
松田平田 丸川設計

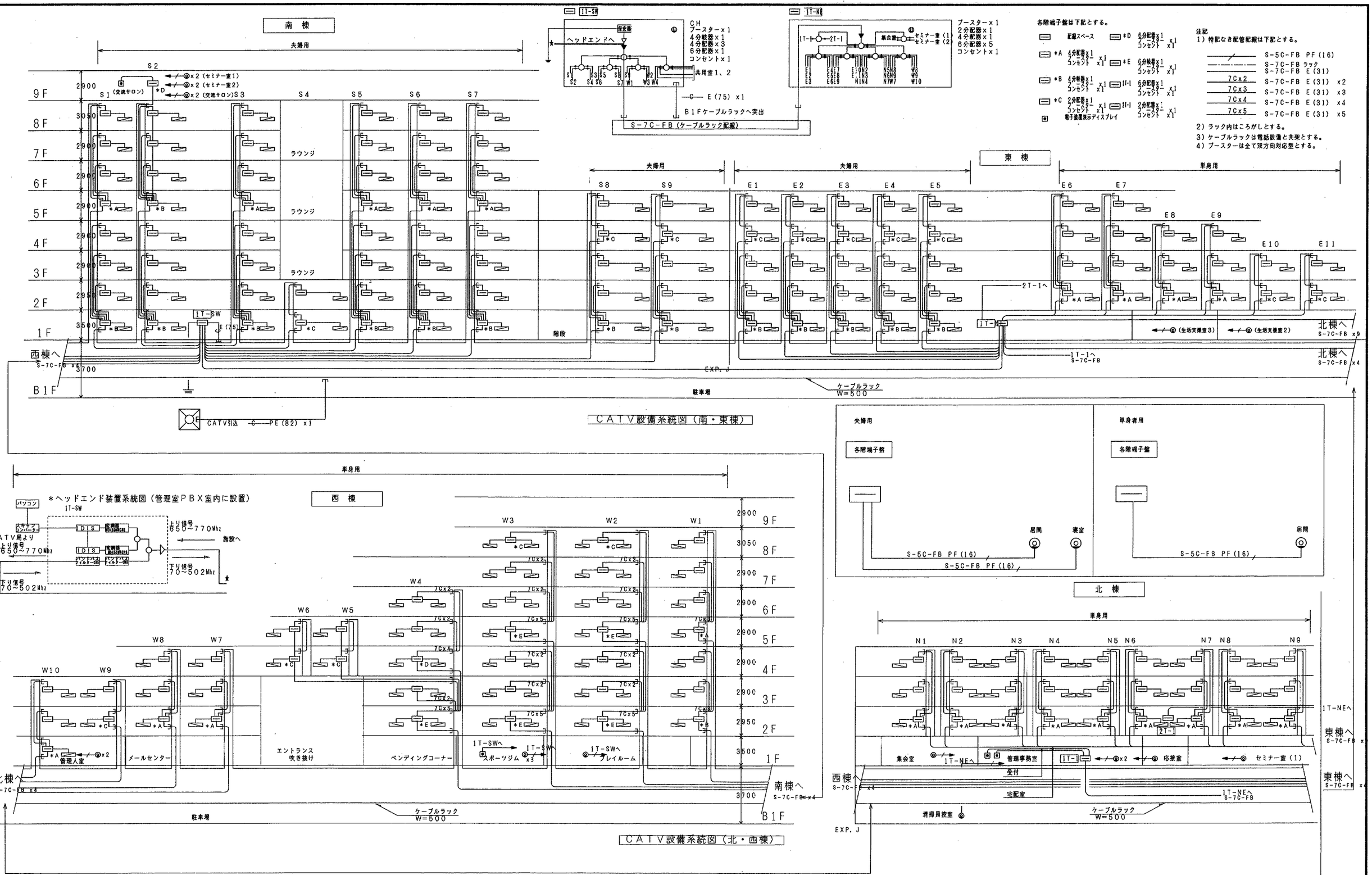
project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事
date 99.09.30　drawn by　checked by

分電盤結線図（3）
scale no scale / A1

電気
303



revisions		松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事	電話設備 系統図	電気
		松田平田 丸川設計	date 99.09.30 / drawn by / checked by	scale no scale / A1	401



revisions

99

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田 丸川設計

project no. A3693 ・つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事

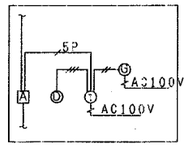
date 99.09.30 | drawn by | checked by

テレビ共聴設備 系統図

scale no scale / A1

電気 402

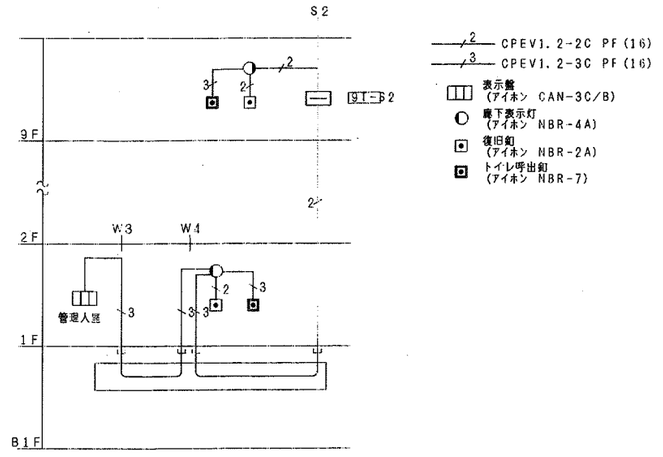
（注記１）住戸内詳細図



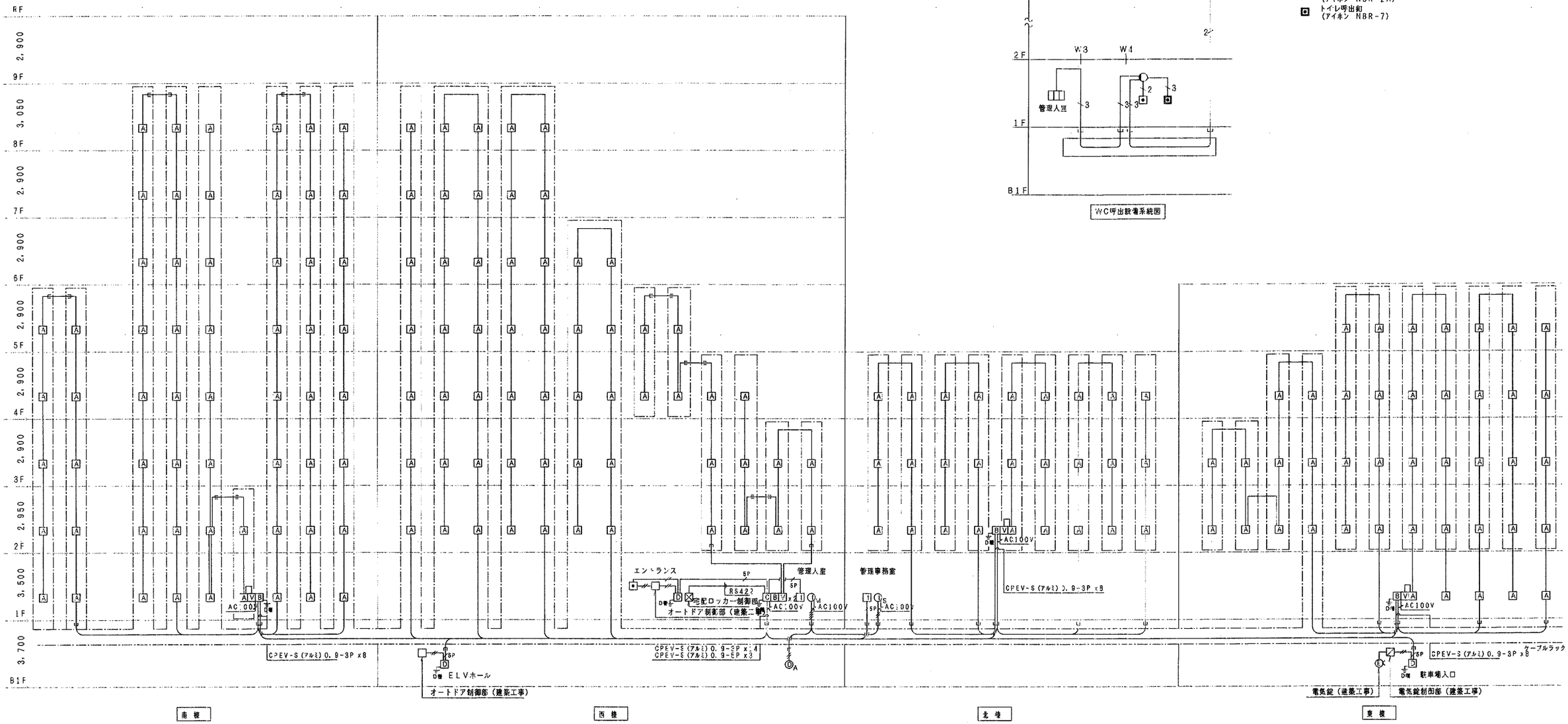
（注記２）特記なき配管配線は下記とする。

——//——	AE0.9-2C	PF(16)
——///——	AE0.9-3C	PF(16)
——///——	AE0.9-2C x2	FF(16)
———	CPEV-S(アルミ)0.9-3P x2 E(31)	
——5P——	CPEV-S(アルミ)0.9-5P PF(22)	

（注記３）ケーブルラック内は、ころがし配線とする。
（注記４）シャフト内立上はケーブルラック（電話設備と共架）ころがしとする。



WC呼出設備系統図



revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

100 松田平田 丸川設計

project no. 43693 " つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事

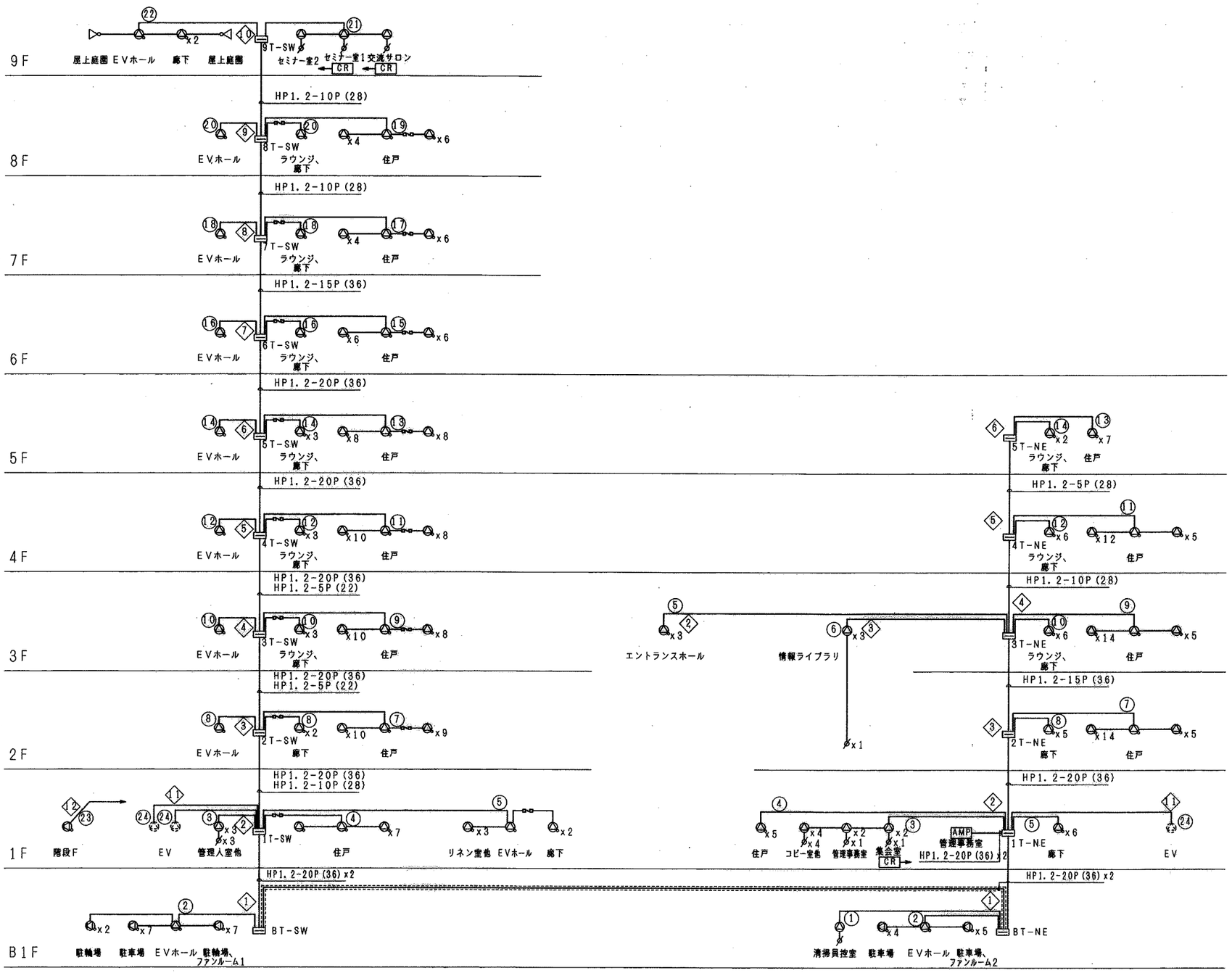
date 99.09.30 drawn by checked by

インターホン設備 系統図

scale no scale / A1

電気 403

縦系統図



凡例

AMP	非常通常放送機器収納架
	天井埋込型スピーカー (ATT付)
	天井埋込型スピーカー (ATT無)
	壁掛型スピーカー (ATT付)
	住宅用コーナー取付スピーカー
	ソフトホーンスピーカー
	アッテネータ
CR	電源遮断ユニット

注) 指示なき配線はHP1.2-3C PF(16)とする。

非	非常系統No
通	通常系統No

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田 丸川設計

project no. A3693 つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事

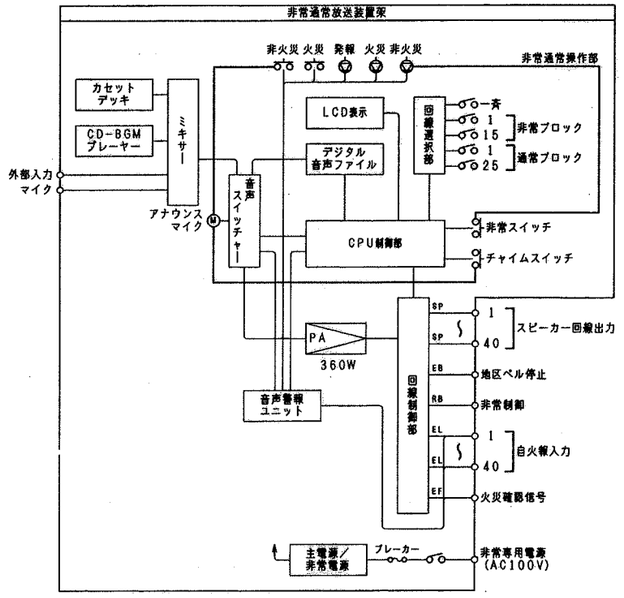
date 99.09.30 drawn by checked by

放送設備
系統図

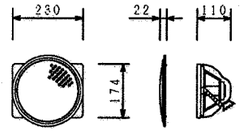
scale no scale/A1

電気
501

非常通常放送設備ブロック図



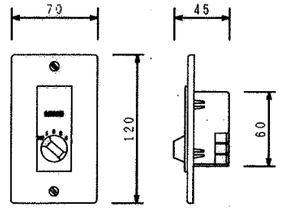
天井埋込型スピーカー（ＡＴＴなし）
天井埋込型スピーカー（ＡＴＴ付）



L級

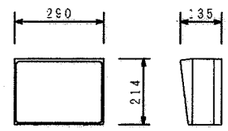
スピーカーユニット	16cmダイナミック型
定格入力	1W/3W/6W
出力音圧レベル	93dB/W(1m)
周波数特性	50~14,000Hz
入力インピーダンス	1.6KΩ(6W)、3.3KΩ(3W)、10KΩ(1W)
スピーカーパネル	ピュアホワイトアルミパンチング
アッテネーター	OFFおよび0、-6、-12dB

アッテネータユニット



入力容量	6W
入力インピーダンス	20~1.7KΩ
音量調節	5段階(OFF、0、-6、-12、-18dB)
プレート	フルカラープレート

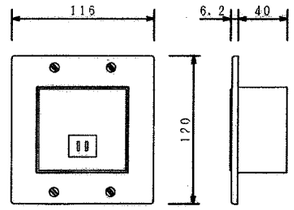
壁掛型スピーカー（ＡＴＴ付）



L級

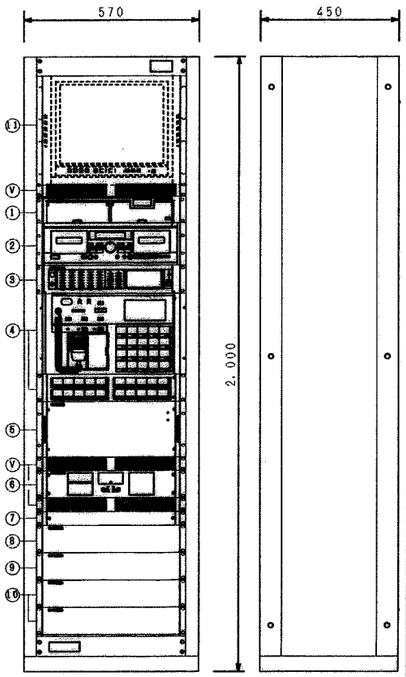
スピーカーユニット	16cmコーン型
定格入力	1W(10KΩ)、3W(3.3KΩ)、6W(1.7KΩ)
出力音圧レベル	92dB/W(1m)
周波数特性	120~13,000Hz
入力インピーダンス	10K/3.3K/1.7KΩ(ハインピーダンスライン)
アッテネーター	4段階(大/中/小/切)

電源遮断ユニット



電力容量	最大800W
電流容量	最大10A(ACアウトレット1個)
制御方式	DC24V「断」信号によりAC100Vを「断」
	制御(両切り)
制御電波	DC24V、約2mA
電　源	AC100V、50/60Hz

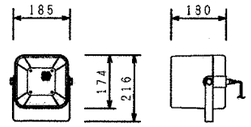
非常通常放送装置架



1	CD-BGMﾌﾟﾚｰﾔ
2	カセットデッキ
3	ミキサーユニット
4	非常通常操作器
5	360Wパワーアンプ
6	非常電源ユニット
7	主電源ユニット
8	音声警報ユニット
9	主入力制御ユニット
10	回線制御ユニット
11	17型ビデオモニター収納部
B	ブランクパネル
V	ベンチレートパネル

電源電圧	AC100V、50/60Hz
定格出力	360W
出力制御部	スピーカー出力回線数：40回線
	回線選択スイッチ（非常ブロック）：×15
	（個別選択）：×25
入力回路部	非常/通常リモコン、アナウンスマイク、ミキサー、
	W・チャイム、ボイスファイル、ページング、BGM
非常放送操作部	音声警報：発報放送、火災放送、非火災放送
	（シグナル＋音声メッセージ）
	ハンドマイク（ダイナミック型）付
	火災灯、階別作動表示灯、出火階表示灯付
	起動表示（本体、リモコン、ページング、タイマー）
	各種警報表示（回線短絡、断放、異常、他）
モニタースピーカー	0.45W ＡＴＴ付、ハウリング防止回路付
非常電源部	ニッケルカドミウム蓄電池、ＤＣ２４Ｖ
	自動充電回路、電源電圧監視計内蔵
自火報連動	連動／連動一斉
音声警報ユニット	外部音声警報ソフト付
	階別地区信号入力数：59
	火災確認信号入力数：1、ＥＢ信号出力数：1
通信回線制御	RS-485による制御
カセットデッキ	ダブルデッキ方式、ピッチコントロール付
CD-BGMプレーヤー	マガジン方式、5枚連続演奏可能

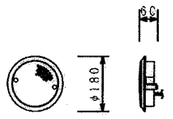
ソフトホーンスピーカー



L級

スピーカーユニット	12 cm防滴型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	96 dB/W(1 m)
周波数特性	150 Hz~15 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
質　量	1.7 kg

防滴型天井スピーカー



L級

スピーカーユニット	9 cm防滴型
定格入力	3 W/1 W
出力音圧レベル	90 dB/W(1 m)
周波数特性	150 Hz~18 kHz
入力インピーダンス	3.3 kΩ/10 kΩ
質　量	700 g

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田　丸川設計

project no. A3693　■つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事

date 99.09.30　drawn by　checked by

放送設備
機器姿図

scale no scale/A1

電気
502

1階集会室ＡＶ設備 機器構成表

番号	機　器　名　称	数　量	本工事	別途工事	備　考
A1	AV操作ワゴン	1式	O		
A2	AV機器架（A）	1式	O		
A3	デジタル書画カメラ卓	1式	O		
A4	メインスピーカ（取付金具共）	2式	O		
A5	リアスピーカ（取付金具付）	2台	O		
A6	天井埋込スピーカ	4台	O		
A7	D－ILAマルチメディアプロジェクター	1式	O		
A8	接続盤	1面	O		
A9	レクチャー卓	1台	O		
A10	ワイヤレスアンテナ（天井埋込型）	2台	O		
A11	壁付マイクコンセントプレート（1ヶ用）	2面	O		
A12	フロアマイクコンセント（1ヶ用）	1台	O		
A13	ワイヤレスマイク（ハンド型）	2本	O		
A14	ワイヤレスマイク（タイピン型）	2本	O		
A15	ダイナミックマイクロホン	2本	O		
A16	延長用マイクコード（10m）	2本	O		
A17	卓上型マイクスタンド	1本	O		
A18	床上型マイクスタンド	1本	O		
A19	100型電動巻上スクリーン	1式	O		
A20	スクリーンリモートパネル	1面	O		

1階セミナー室－1ＡＶ設備 機器構成表

番号	機　器　名　称	数　量	本工事	別途工事	備　考
B1	AV機器架（B）	1式	O		
B2	デジタル書画カメラ卓	1式	O		
B3	メインスピーカ（取付金具共）	2式	O		
B4	リアスピーカ（取付金具付）	2台	O		
B5	D－ILAマルチメディアプロジェクター	1式	O		
B6	レクチャー卓	1台	O		
B7	ワイヤレスアンテナ（天井埋込型）	2台	O		
B8	壁付マイクコンセントプレート（1ヶ用）	2面	O		
B9	フロアマイクコンセント（1ヶ用）	1台	O		
B10	ワイヤレスマイク（ハンド型）	2本	OO		
B11	ワイヤレスマイク（タイピン型）	2本	O		
B12	ダイナミックマイクロホン	2本	O		
B13	延長用マイクコード（10m）	2本	O		
B14	卓上型マイクスタンド	1本	O		
B15	床上型マイクスタンド	1本	O		
B16	80型電動巻上スクリーン	1式	O		
B17	スクリーンリモートパネル	1面	O		

9階交流サロンＡＶ設備 機器構成表

番号	機　器　名　称	数　量	本工事	別途工事	備　考
C1	50型ILAテレビ	1式	O		
C2	AVコントロールアンプ	1台	O		
C3	全世界対応VTR	1台	O		
C4	DVD/LDプレーヤ	1台	O		
C5	主電源ユニット	1台	O		
C6	フロントスピーカ（棚置）	2式	O		
C7	センタースピーカ（棚置）	1式	O		
C8	リアスピーカ（スタンド付）	2式	O		

9階交流サロン音響設備 機器構成表

番号	機　器　名　称	数　量	本工事	別途工事	備　考
D1	システムアンプ	1台	O		
D2	MD／CDコンビネーションデッキ	1台	O		
D3	ダブルカセットデッキ	1台	O		
D4	天井埋込スピーカ	4台	O		
D5	ワイヤレスアンテナ（天井埋込型）	2台	O		
D6	ワイヤレスマイク（ハンド型）	2本	OO		
D7	ワイヤレスマイク（タイピン型）	2本	O		

BB77603E

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

03 松田平田 丸川設計

project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事

date 99.09.30 | drawn by | checked by

視聴覚設備 1階集会室 9階交流サロン

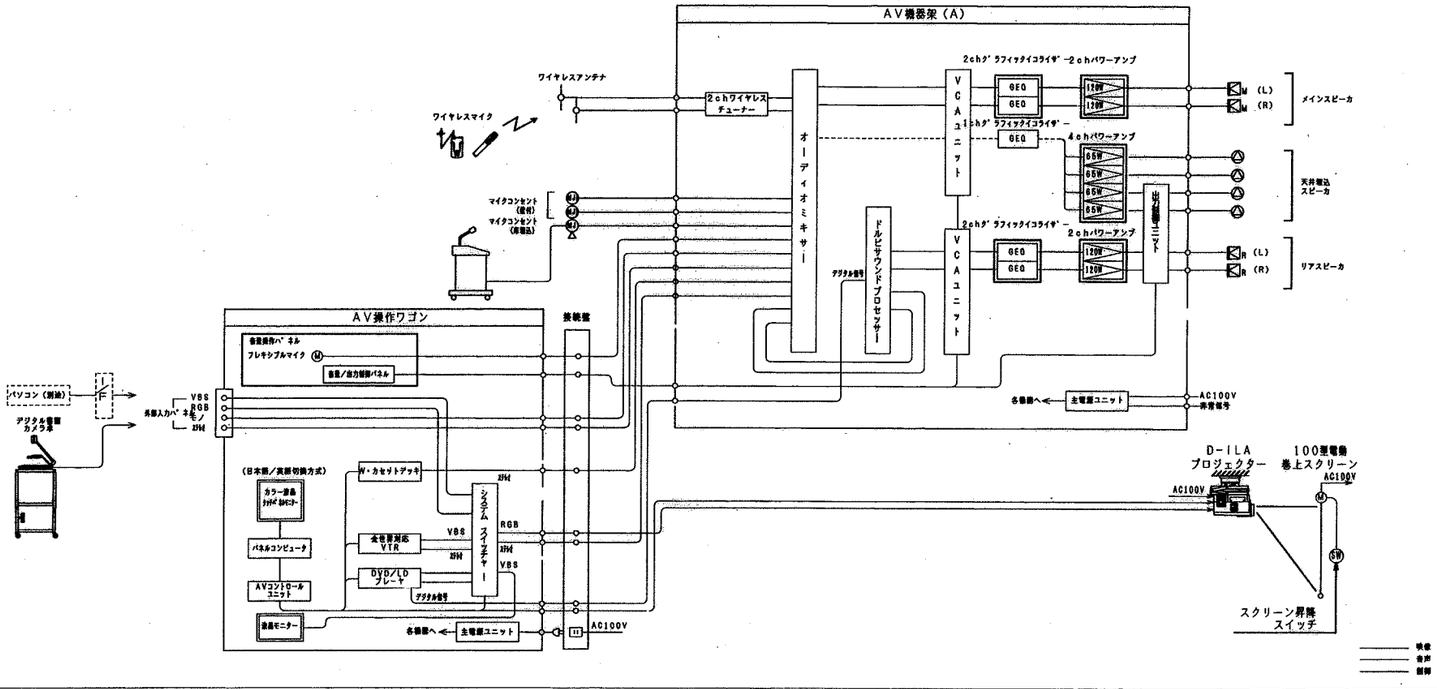
機器構成表

scale no scale/A1

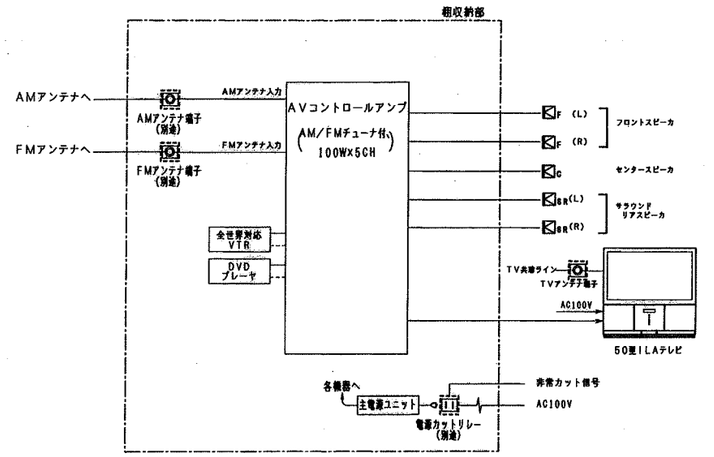
電気

509

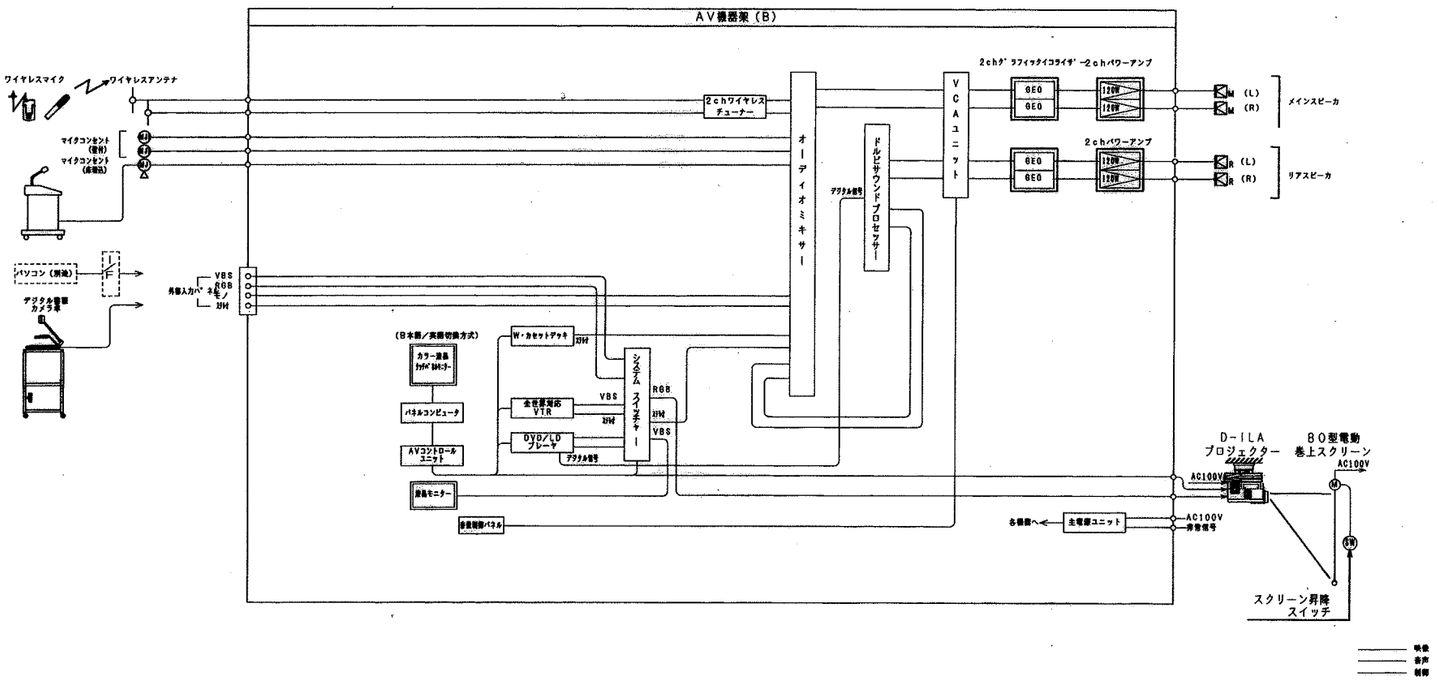
1階集会室　AV設備システム系統図



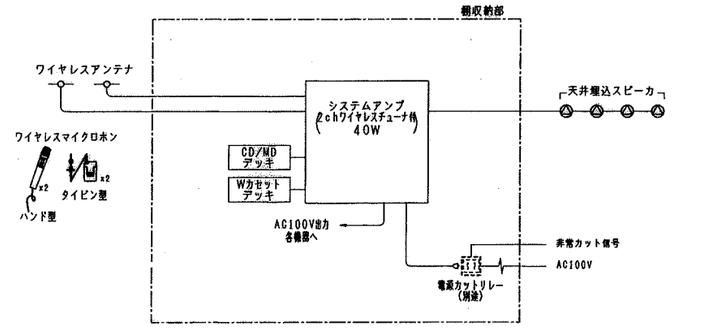
9階交流サロンAV設備　システム系統図



1階セミナー室－1　AV設備システム系統図



9階交流サロン音響設備　システム系統図



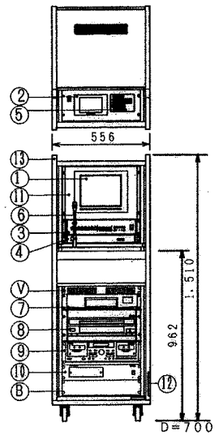
WB77605C

revisions			

松田平田・丸川設計共同企業体		project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事		視聴覚設備　1階集会室 9階交流サロン
04 MHS 松田平田	丸川設計	date 99.09.30	drawn by	システム系統図
			checked by	scale no scale/A1

電気 510

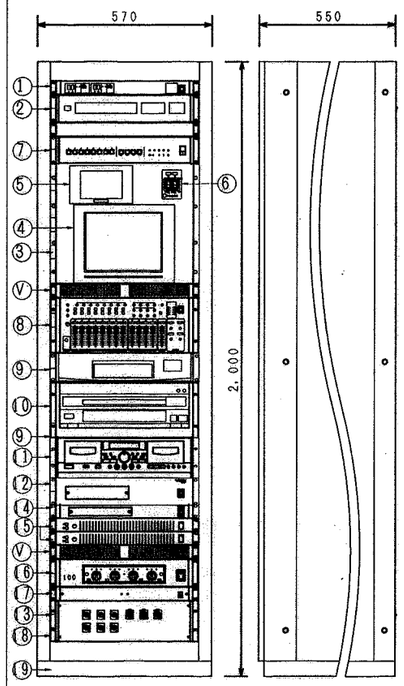
AV　AV操作ワゴン



No	名　称	仕　様
4	主電源ユニット	
	AC100V入力	20Aサーキットブレーカー×1
	AC100V出力	スイッチ連動：9（合計最大10A×3）
		スイッチ非連動：3（合計最大15A）
5	音量／出力制御パネル	
	音量コントロール	メインスピーカ、天井埋込スピーカ、リアスピーカの音量制御
	出力制御	後室スピーカー　ON／OFF
6	フレキシブルマイクロホン	
	形　式	単一指向性ダイナミック型
	周波数特性	70 Hz～16 kHz
7	全世界対応VTR	
	テレビジョン方式	NTSC/PAL-M、PAL/PAL-N、SECAM/MESECAM
	録画方式	VHS方式
	水平解像度	220本以上(NTSC/SP時)、240本(PAL/SP時)
	映像 S/N	43dB 以上(SP時)
8	DVD/LDプレーヤ	
	再生可能メディア	DVDビデオ、LD、LD-G、ビデオCD
	音楽	CD、CD-G、CDV
	周波数特性	48KHz:4Hz 22KHz/96KHz:4Hz 44KHz
9	ダブルカセットデッキ	
	トラック方式	コンパクトカセット・ステレオ
	ヘッド	デッキA：再生、デッキB：消去、録音、再生
	周波数特性	30 Hz～16 kHz（メタルテープ）
	S/N	54 dB（メタルテープ）
	ワウ・フラッター	0.08%WRMS
10	AVコントロールユニット	
	入力端子	PS-VR40R接続用×2（D-SUB15P）
		外部制御装置用×1（D-SUB9P）
		VCA電圧制御ユニット用×1（D-SUB9P）
		リモコン受信用（赤外線受光部）
11	ボックスコンピューター	
	形式	IPC-BX/M560(PCW) C Windows95 プライスシトール
	CPU	MMX Pentium 266MHz (Intel)
	メインメモリ	64MB
	ハードディスク	2.5インチハードディスク1.3GB
	その他	ビデオキャプチャーボード付
12	外部入力パネル	
	コネクター	BNCx6、XLR-3-31x3
13	収納ワゴン	
	仕　上	木製（EIAマウントタイプ）
	その他	キャスター付
V	ベンチレートパネル	
B	ブランクパネル	

No	名　称	仕　様
1	タッチパネル12インチLCD	
	表示機サイズ	12.1インチ
	ドット構成	SVGA(800x600)
	表示機	TFTカラー液晶
2	液晶モニター	
	表示機サイズ	5.6インチ
	ドット構成	960(H)x234(V)
	表示機	TFTカラー液晶
3	システムスイッチャー	
	種　別	ILA/D-ILAプロジェクター連動スイッチャー
	入　力	RGBHVx3、音声2chx8
	出　力	RGBHVx2、音声2chx1
	制御端子	プロジェクター制御×1、RS-232Cx1

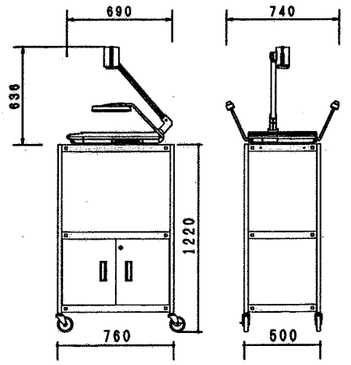
AV　AV機器架（B）



No	名　称	仕　様
1	2chワイヤレスチューナー	
	受信周波数	800MHz帯の30波より2波選択受信
	アンテナ入力	α・β各2、75Ω不平衡、F型コネクター
2	ドルビサウンドプロセッサー	
	周波数特性	20Hz 20kHz、0±1dB
	音場	3音場（デジタルビームシアター、ドルビー・デジタルエンハンスト、ドルビー・デジタル）
3	ボックスコンピューター	
	形式	IPC-BX/M560(PCW) C Windows95 プライスシトール
	CPU	MMX Pentium 266MHz (Intel)
	メインメモリ	64MB
	ハードディスク	2.5インチハードディスク1.3GB
	その他	ビデオキャプチャーボード付
4	タッチパネル12インチLCD	
	表示機サイズ	12.1インチ
	ドット構成	SVGA(800x600)
	表示機	TFTカラー液晶
5	液晶モニター	
	表示機サイズ	5.6インチ
	ドット構成	960(H)x234(V)
	表示機	TFTカラー液晶
6	音量コントロールパネル	
	音量コントロール	メインスピーカ、リアスピーカの音量制御
7	システムスイッチャー	
	種　別	ILA/D-ILAプロジェクター連動スイッチャー
	入　力	RGBHVx3、音声2chx8 ﾓﾆﾀｰRGB x1、ｽﾋﾟｰｶｰ(L/R) x1、ｻﾌﾞ(L/R) x1、
	出　力	RGBHVx2、音声2chx1
	制御端子	プロジェクター制御×1、RS-232Cx1
8	オーディオミキサー	
	入力回路	エコーリターンx1、モノインサーションx1
	出力回路	メイン(L/R) x1、モノラル(L+R) x2、サブ(L/R) x2
		モニター(L/R) x1、録音(L/R) x1、エコーセンドx1
		モノインサーションx1
	周波数特性	20Hz 20KHz
9	全世界対応VTR	
	テレビジョン方式	NTSC/PAL-M、PAL/PAL-N、SECAM/MESECAM
	録画方式	VHS方式
	水平解像度	220本以上(NTSC/SP時)、240本(PAL/SP時)
	映像 S/N	43dB 以上(SP時)
10	DVD/LDプレーヤ	
	再生可能メディア	DVDビデオ、LD、LD-G、ビデオCD
	音楽	CD、CD-G、CDV
	周波数特性	48KHz:4Hz 22KHz/96KHz:4Hz 44KHz

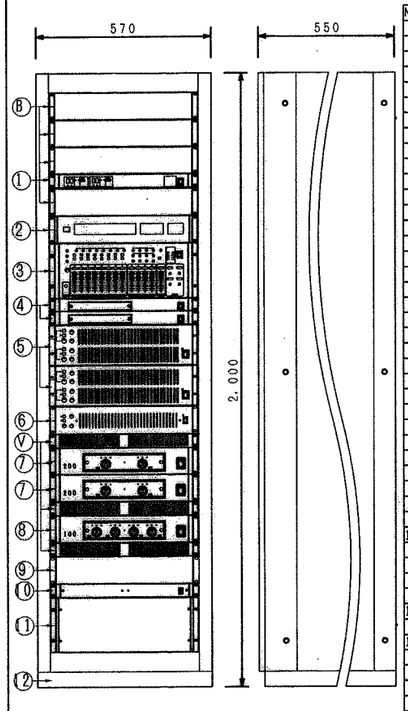
No	名　称	仕　様
11	ダブルカセットデッキ	
	トラック方式	コンパクトカセット・ステレオ
	ヘッド	デッキA：再生、デッキB：消去、録音、再生
	周波数特性	30 Hz～16 kHz（メタルテープ）
	S/N	54 dB（メタルテープ）
	ワウ・フラッター	0.08%WRMS
12	AVコントロールユニット	
	入力端子	PS-VR40R接続用×2（D-SUB15P）
		外部制御装置用×1（D-SUB9P）
		VCA電圧制御ユニット用×1（D-SUB9P）
		リモコン受信用（赤外線受光部）
13	外部入力パネル	
	コネクター	BNCx6、XLR-3-31x3
14	VCAユニット	
	チャンネル	4ch
15	2CHグラフィックイコライザー	
	素子数	15素子x2ch
	可変範囲	±12 dB
	最大入出力レベル	20 dB/24 dB
16	4chパワーアンプ(65Wx4)	
	定格出力	65Wx4(8Ω)、100Wx4(4Ω)
	周波数特性	20Hz～20KHz±0.5dB
17	主電源ユニット	
	AC100V入力	20Aサーキットブレーカー×1
	AC100V出力	スイッチ連動：9（合計最大8A×3）
		スイッチ非連動：3（合計最大15A）
	その他	外部起動スイッチ用端子付、複数台連結接続可
18	端子盤ユニット	
	端子	10P3A、10P2A
	コネクター	BNCx6、XLR-3-31x3
19	収納架	
	マウント	EIA(41u)、側開式、ファンユニットx2
V	ベンチレートパネル	
B	ブランクパネル	

VT　デジタル書画カメラ



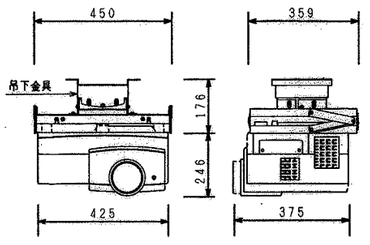
撮影レンズ	F2.9 F3.1 f=6.4mm 32mm
撮影領域	最大350mmx260mm、最小75mmx56mm
ズーム	電動x5倍（光学）、x2倍、x3倍、x4倍（デジタル）
フォーカス	電動
アイリス	オート（微調付）／マニュアル
照明装置	サイド照明：6Wx2
CCD撮影素子	サイズ：1／2.7型、画素数：130万画素
同期信号周波数	SXGA 1208x960モード、H:64.0kHz、V:60.0Hz
	XGA 1024x768モード、H:48.4kHz、V:60.0Hz
	SVGA 800x600モード、H:37.9kHz、V:60.3Hz
	VGA 640x480モード、H:31.5kHz、V:59.9Hz
	NTSC H:15.734kHz、V:59.95Hz
筐　体	
材　料	本体：SPCC t1.0 t1.2mm
	脚部：25角パイプ t1.2mm

AV　AV機器架（A）



No	名　称	仕　様
1	2chワイヤレスチューナー	
	受信周波数	800MHz帯の30波より2波選択受信
	アンテナ入力	α・β各2、75Ω不平衡、F型コネクター
2	ドルビサウンドプロセッサー	
	周波数特性	20Hz 20kHz、0±1dB
	音場	3音場（デジタルビームシアター、ドルビー・デジタルエンハンスト、ドルビー・デジタル）
3	オーディオミキサー	
	入力回路	モノラルx8、ステレオ(L/R) x4、サブ(L/R) x1、
		エコーリターンx1、モノインサーションx1
	出力回路	メイン(L/R) x1、モノラル(L+R) x2、サブ(L/R) x2
		モニター(L/R) x1、録音(L/R) x1、エコーセンドx1
		モノインサーションx1
	周波数特性	20Hz 20KHz
4	VCAユニット	
	チャンネル	4ch
5	2CHグラフィックイコライザー	
	素子数	32素子×2ch（固定×31、可変×1）
	可変範囲	±12 dB
	最大入出力レベル	20 dB/24 dB
6	1CHグラフィックイコライザー	
	素子数	32素子×1ch（固定×31、可変×1）
	可変範囲	±12 dB
	最大入出力レベル	20 dB/24 dB
7	2chパワーアンプ(120Wx2)	
	定格出力	120Wx2(8Ω)、200Wx2(4Ω)
	周波数特性	20Hz～20KHz±0.5dB
8	4chパワーアンプ(65Wx4)	
	定格出力	65Wx4(8Ω)、100Wx4(4Ω)
	周波数特性	20Hz～20KHz±0.5dB
9	出力制御ユニット	
	回路数	4回路
	制　御	ON／OFF制御
10	主電源ユニット	
	AC100V入力	20Aサーキットブレーカー×1
	AC100V出力	スイッチ連動：9（合計最大8A×3）
		スイッチ非連動：3（合計最大15A）
	その他	外部起動スイッチ用端子付、複数台連結接続可
11	端子盤ユニット	
	端子	10P3A、10P2A
12	収納架	
	マウント	EIA(41u)、側開式、ファンユニットx2
V	ベンチレートパネル	
B	ブランクパネル	

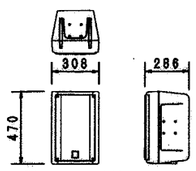
VP　D-ILAプロジェクター（取付金具付）



方　式	D-ILA方式
画面サイズ	4：3画面で42～300型（最大521型）
投写レンズ	1.5倍電動ズーム
投写距離	250～2,000cm
光出力	1,500ルーメン
水平解像度	1,000TV本以上(4:3)
	(1,365x1,024ドット)
同期周波数	水平：15～82kHz、垂直：50～78Hz
コントラスト比	350:1
入　力	パソコン：アナログRGBx1、R.G.B.H.Vx1、
	ステレオx2
	ビデオ：Sビデオx1、コンポジットx1、
	Y/Pb/Prx1、ステレオx1
出　力	パソコン：アナログRGBx1、ステレオx1
	ビデオ：ステレオx1
光　源	420Wキセノンランプ
電　源	AC100V、50/60Hz、660W
質　量	14.8kg
その他	取付金具付

Sc　メインスピーカ（取付金具付）
Sr　リアスピーカ（取付金具付）
Sc　センタースピーカ（取付金具付）

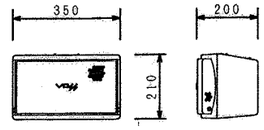
（集会室用）



スピーカユニット	高音用：定指向性ホーン型、低音用：25cmコーン型
定格入力	130W(RMS)
最大入力	260W(連続プログラム)
出力音圧レベル	94dB/W(1m)
入力インピーダンス	8Ω(ハイインピーダンススピーカライン対応可)
外形寸法	幅306x高さ470x奥行286mm
質　量	約10kg

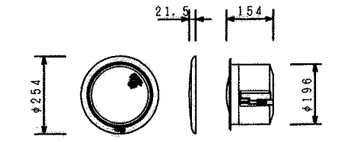
Sm　メインスピーカ（取付金具付）
Sr　リアスピーカ（取付金具付）

（セミナー室用）



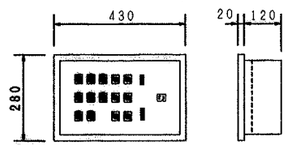
スピーカユニット	高音用：6cmコーン型×2
	低音用：16cmコーン型
定格入力	70W(RMS)
出力音圧レベル	91dB/W(1m)
周波数特性	65Hz～20kHz
入力インピーダンス	8Ω
質　量	5kg

◎　天井埋込スピーカ



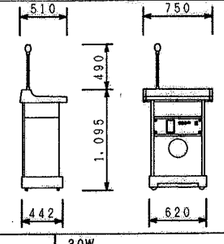
スピーカユニット	高音用：25mmドーム型
	低音用：13.5cmコーン型
定格入力	5W/10W/30W
出力音圧レベル	92dB/W(1m)
周波数特性	80～20,000Hz
入力インピーダンス	2K/1K/330Ω

⊟　接続盤



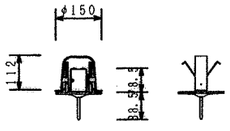
コネクター	XLR3-31x8
	BNCx6
	D-SUB9Px1、D-SUB15Px1
	ACコンセントx1
材質	鋼板製
仕上	指定色焼付塗装

LT　レクチャー卓



定格出力	30W
スピーカー	20cmメカニカル2ウェイ
入力回路	テーブルマイクx1、外部マイクx1、テープ再生x1、ワイヤレスチューナーx1、ラジカセx1
出力回路	スピーカーx1、録音x1
ワイヤレスチューナー	2chまで内蔵可能

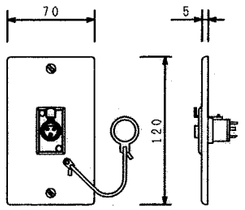
ワイヤレスアンテナ（天井埋込型）



受信周波数範囲	806 MHz～810 MHz
ダイポール相対利得	10 dB（ブースターアンプ含む）
接続同軸ケーブル	5C-FB（BS用）
アッテネーター	3段階切換（広、中、狭）
電　源	DC8 V～15 V（同軸ケーブルに重畳）、10 mA
質　量	145 g

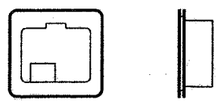
BB77604D

❶ 壁付マイクコンセントプレート（1ヶ用）



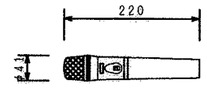
コネクター	XLR-3-31タイプ
適合ボックス	JIS1個用スイッチボックス
プレート	新金属

❷ フロアマイクコンセント（1ヶ用）



コネクター	マイク：XLR-3-31×1
材　質	アルミダイカスト

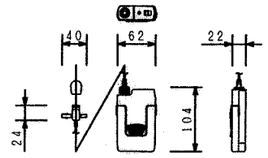
ワイヤレスマイク（ハンド型）



暫定仕様

電波型式	F3E
送信周波数	800MHz帯の30波から1波選択
発振方式	水晶制御ＰＬＬシンセサイザ方式
空中線電力	5mW
マイクユニット	単一指向性エレクトレットコンデンサ型
アンテナ	内蔵式
電　源	DC1.5V（単三乾電池1本）又は専用ニッカド電池

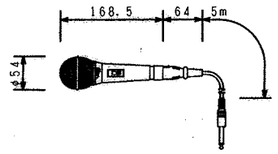
ワイヤレスマイク（タイピン型）



暫定仕様

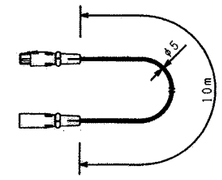
電波形式	F3E
送信周波数	800MHz帯の30波から1波選択
発振方式	水晶制御ＰＬＬシンセサイザー方式
空中線電力	5mW
マイクユニット	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
アンテナ	内蔵式
電　源	DC1.5V（単三乾電池1本）又は専用ニッカド電池

ダイナミックマイクロホン



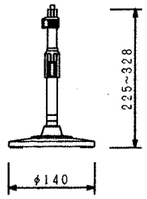
形　式	単一指向性ダイナミック型
周波数特性	50 Hz~17 kHz
出力インピーダンス	600 Ω平衡（フォノプラグ内で不平衡）
感　度	-55.5 dB（0 dB=1 V/Pa、1 kHz）
質　量	280 g

延長用マイクコード（10m）



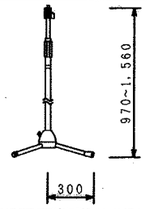
コード	ビニール被覆2芯シールド線
コネクター	XLR-3-11Cタイプ
	XLR-3-12Cタイプ

卓上型マイクスタンド



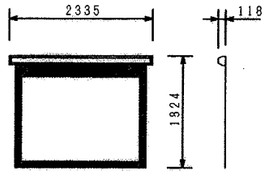
マイク取付高さ	最高328mm~最低225mm
マイク取付ネジ	3/8インチ（16UNS）
付属変換ネジ	5/16インチ（18UNC）（本体にセット）、
	5/8インチ（27UNS）
ロック方式	スリーブロック方式
仕　上	ポール：クロームメッキ
	ベース：鋳鉄ライトグレー焼付塗装

床上型マイクスタンド



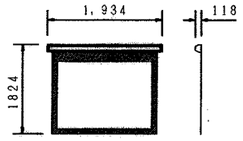
マイク取付高さ	最高1，560mm~最低970mm
マイク取付ネジ	3/8インチ（16UNS）
付属変換ネジ	5/16インチ（18UNC）（本体にセット）、
	5/8インチ（27UNS）
ロック方式	スリーブロック方式
仕　上	ポール：黒色焼付塗装
	脚　部：黒色塗装（折りたたみ式）

100型電動巻上スクリーン



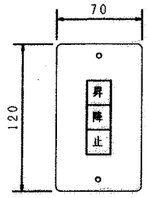
仕様	AC100V、50/60Hz、100W、
	ブレーキ機構、サーマル内蔵
生地	ビーズ
ケースカラー	ブラック
サイズ	100インチ

80型電動巻上スクリーン



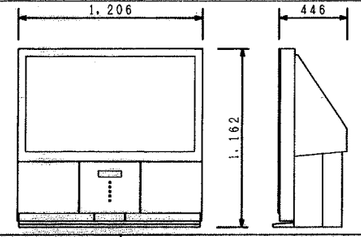
仕様	AC100V、50/60Hz、100W、
	ブレーキ機構、サーマル内蔵
生地	ビーズ
ケースカラー	ブラック
サイズ	1,626×1,219

スクリーンリモートプレート



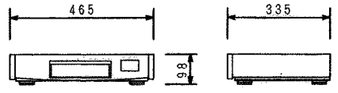
プレート	新金属 1ヶ用
スイッチ	操作ボタン×3

50型ＩＬＡプロジェクションテレビ



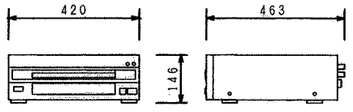
ブラウン管	50型フラットワイド、ＩＬＡプロジェクション
チューナー	BS、VHF、UHF、CATV（C13~38）
音声出力	5 W+5 W+20 W（φ10 cm×2/φ16 cm）
入　力	ビデオ×5、S映像×4、D4×3、コンポーネント
電　源	AC100 V、317 W
質　量	54 kg

全世界対応ＶＴＲ



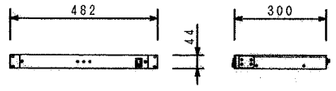
録画方式	VHS方式
使用テープ	VHS（S-VHSビデオカセットによる簡易
	再生機能性つき）
テレビジョン方式	NTSC/PAL-M、PAL/PAL-N、
	SECAM/MESECAM
映像 S/N	43dB 以上（SP時）
水平解像度	220本以上（NTSC/SP時）、240本（PAL/SP時）
電　源	AC100 V、20 W
質　量	5.7 kg

DVD/LDプレーヤ



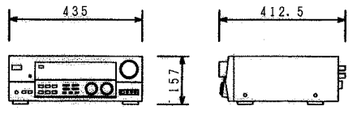
再生可能メディア	DVDビデオ、LD、LD-G、ビデオCD
音楽	CD、CD-G、CDV
出力	コンポネント映像出力X1、S2映像X2、ビデオ出力X2
	オーディオ出力（アナログ）2系統
音声特性	S/N：115dB、ダイナミックレンジ：103dB
	全高調歪率：0，002%
周波数特性	48KHz：4Hz~22KHz/96KHz：4Hz~44KHz
電　源	AC100 V、43 W
質　量	8.5 kg

主電源ユニット



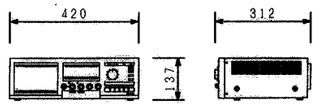
AC100V入力	20Aサーキットブレーカー×1
AC100V出力	スイッチ連動：9（合計最大10A×3）
	スイッチ非連動：3（合計最大15A）
その他	外部起動スイッチ用端子付
電　源	AC100V、50/60Hz

ＡＶコントロールアンプ



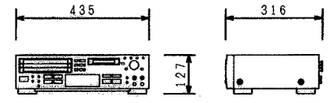
定格出力	100W×5CH（20 Hz~20 kHz）
入　力	映像×5、S映像×4、デジタル音声×3、アナ
	ログ音声×8
出　力	映像×3、S映像×2、音声×3
その他	PEM・DDコンバーター、K2インターフェー
	ス、AM/FMチューナー
電　源	AC100 V　230W
質　量	11.7kg

システムアンプ（2chワイヤレスチューナ付）



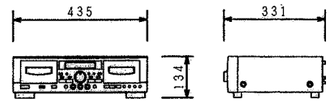
定格出力	40W
スピーカー制御出力	5回線（ハイインピーダンススピーカー出力）
入力回路	マイクX2、マイク/外部、外部、リモコンマ
	イク、パワーアンプ入力
出力回路	録音、ライン
その他	4音ディイム、非常時音声遮断、ワイヤレスア
	ンテナ2分配、3種ユニット組込可
	2chワイヤレスチューナ

ＣＤ/ＭＤコンビネーションデッキ



CDプレーヤー部	CD-TEXT対応3CDチェンジャー方式
	周波数特性：8Hz~20KHz
	S/N：94dB
	スピード調節：±12%
MDレコーダー部	周波数特性：8Hz~20KHz
	S/N：88dB
電　源	AC100V、50/60Hz、15W
質　量	約5Kg

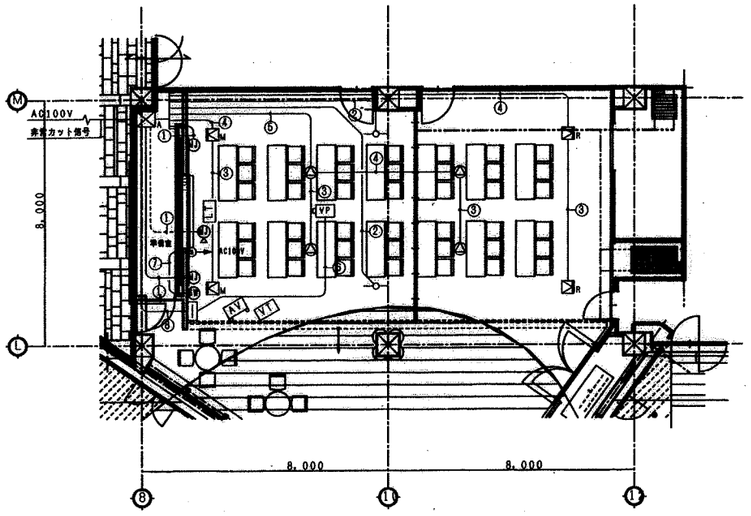
ダブルカセットデッキ



トラック方式	コンパクトカセット・ステレオ
ヘッド	デッキA：再生、デッキB：消去、録音、再生
周波数特性	30 Hz~16 kHz（メタルテープ）
S/N	54 dB（メタルテープ）
ワウ・フラッター	0，08%WRMS
その他	ピッチコントロール（デッキA）、マイクミキシング
電　源	AC100 V、17 W
質　量	4.9 kg

BB77605E

1階集会室　配管配線図(S＝1／100)



凡　例

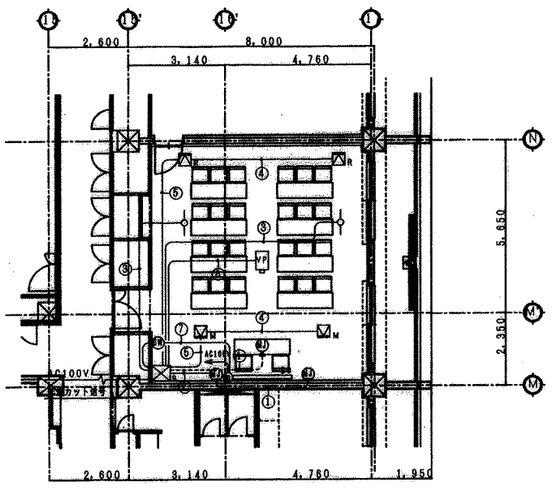
記号	機器名称
$\boxtimes_A$	ＡＶ機器架（Ａ）
AV	ＡＶ操作ワゴン
VP	Ｄ－ＩＬＡマルチメディアプロジェクター
$\boxtimes_M$	メインスピーカ
$\boxtimes_R$	リアスピーカ
◬	天井埋込スピーカ
⊸	ワイヤレスアンテナ
❷	マイクコンセント（１ヶ用）
❷ $_{FL}$	フロアマイクコンセント（１ヶ用）
100	１００型電動巻上スクリーン
ⓡ	スクリーンリモートパネル
LT	レクチャー卓
VT	デジタル書画カメラ卓

特記事項

指定なき配管・配線を下記に示す。

① 4E5AT(E19)
② 5C-FB(PF16)
③ 4S8(PF16)
④ 4S8x2(PF22)
⑤ 4S8x4(PF36)
⑥ V5-5C(PF36)
　VC2.0-2C(PF36)
　CPEV0.65-10P(PF22)
⑦ IV1.6x8(PF22)
⑧ 4E5ATx8(31)
　5C-FBx1(PF22)
　V5-5C(PF36)
　D202-7P(PF22)x2
　IV2.0-3C(PF16)

1階セミナー室－1　配管配線図(S＝1／100)



凡　例

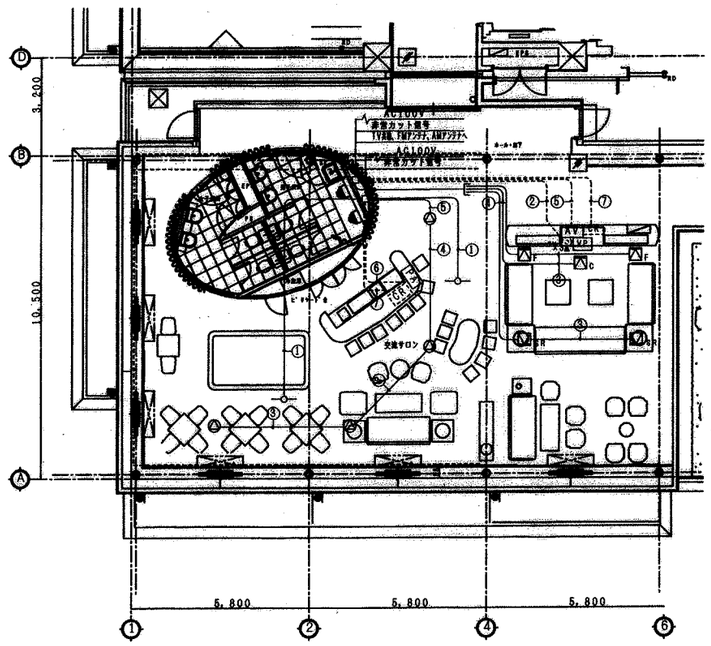
記号	機器名称
$\boxtimes_B$	ＡＶ機器架（Ｂ）
VP	Ｄ－ＩＬＡマルチメディアプロジェクター
$\boxtimes_M$	メインスピーカ
$\boxtimes_R$	リアスピーカ
⊸	ワイヤレスアンテナ
❷	マイクコンセント（１ヶ用）
❷ $_{FL}$	フロアマイクコンセント（１ヶ用）
80	８０型電動巻上スクリーン
ⓡ	スクリーンリモートパネル
LT	レクチャー卓
VT	デジタル書画カメラ卓

特記事項

指定なき配管・配線を下記に示す。

① 4E5AT(E19)
② 4E5ATx2(E19)
③ 5C-FB(PF16)
④ 4S8(PF16)
⑤ 4S8x2(PF22)
⑥ V5-5C(PF36)
　VC2.0-2C(PF36)
　CPEV0.65-10P(PF22)
⑦ IV1.6x6(PF22)

9階交流サロン　配管配線図　　(S＝1／100)



凡　例

記号	機器名称
AV	ＡＶ機器（AVアンプ、VTR、DVDプレーヤ）
VP	５０型ＩＬＡプロジェクションテレビ
$\boxtimes_M$	メインスピーカ
$\boxtimes_C$	センタースピーカ
$\boxtimes_{SR}$	サラウンドスピーカ
PA	音響機器（システムアンプ、MD/CDデッキ、Wカセットデッキ）
◬	天井埋込スピーカ
⊸	ワイヤレスアンテナ
CR	電源遮断ユニット（全館放送工事）
⑤	直列ユニット（ＴＶ共聴工事）

特記事項

指定なき配管・配線を下記に示す。

① 5C-FB(PF16)
② 5C-FBx3(PF28)
③ 4S8(PF16)
④ 4S8x2(PF22)
⑤ 4S8x5(PF36)
　5C-FBx3(PF28)
⑥ 4S8x2(PF22)
　5C-FBx2(PF22)
⑦ IV1.6x3(PF16)
　HP1.2-2C(PF16)

HB77611C

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

107 HIRATA 松田平田　丸川設計

project no. A3693　• つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事

date 99.09.30　drawn by　checked by

視聴覚設備　1階集会室
9階交流サロン
平面図

scale 1:100/A1

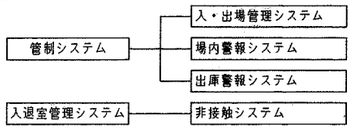
電気
513

駐車場管制・入退室管理設備仕様書

1．概要

本システムは入口にリモコンキー用受信器を内蔵したカーゲートを設置し、出口には逆送を防止する為のコントローラを内蔵したカーゲートを設置することによって無人にて入出庫管理を行う。

2．システム構成



3．システム概要

（1）入・出場管理システム

・入場時、入庫車がカーゲート前にてリモコンキーにより信号を送信すると、ゲートバーが自動的に開き入場可能となる。車両がゲートバーを完全に通過すると車路に埋設されたループコイルが車両を検知し、ゲートバーは自動的に閉まる。
送信された信号が無効の場合、インターホンにて係員と連絡を取り、係員が遠隔操作卓よりゲートバーを開くことができる。
リモコンキーを所持しない外来者は、のインターホンにて係員と連絡を取り、係員が遠隔操作卓よりゲーバーを開け入場させる。

・出場時、出庫車がカーゲート前に近づくと、車路に埋設されたループコイルが車両を検知し、ゲートバーが自動的に開き出場可能となる。車両がゲートバーを完全に通過すると車路に埋設されたループコイルが車両を検知し、ゲートバーは自動的に閉まる。
遠隔操作卓は管理事務室・管理人室に各１台設置し、どちらからも操作可能とする。

（2）場内管警報システム

入口合流箇所には常時点滅の信号灯（入庫車優先）を、又、屋内から屋外への出口には黄色回転灯を設置し、場内の通行の安全を図る。

（3）出庫警報システム

出庫時、出口のゲートバー閉信号により出庫注意灯を作動（「出庫注意」点滅、回転灯点灯等）させ付近の歩行者や車両に注意を喚起し、通行の安全を図る。

（4）入退室管理システム

宿舎に入退室する場合は、リモコンキーを使用する。

4．機器構成

図記号	機　器　構　成	記　号	数　量	備　　考
CG	カーゲート	CG1，2	2台	バー：中折式 CG1：受信器内蔵
LD	車両検知器	LD	1台	壁付型
	ループ感知器		3台	
LC	ループコイル	LC1～6	6本	
MC	遠隔操作卓	MC1，2	2台	卓上型 インターホン親機付
SG	2面1位信号灯	SG	1灯	天井吊下型
RL	黄色回転灯	RL	1灯	自立ポール型
RSG	出庫注意灯	RSG	1灯	自立ポール型 別途建築工事
PS	制御器	PS	1台	壁付型
	受信器	A1～4	5台	天井埋込型 1台はCG1に組込み
B	電気錠制御盤	B1，2	2台	壁付型
C	電気錠	C1，2	2台	扉取付型

5．機器動作

（1）動作表

記　号	通　過　順	機　器　動　作
CG1 （入口）	LC1→	受付準備
	リモコンキーにて信号を送信	CG1，ゲートバー自動開
	LC2→	CG1，ゲートバー自動閉
CG2 （出口）	LC3→	CG2，ゲートバー自動開 RSG，「出庫注意」点滅、回転灯点灯及びブザー鳴動
	LC4→	CG2，ゲートバー自動閉
LD	LC5→LC6	RL、回転灯点灯
A1～4	リモコンキーにて信号を送信	扉ロック解除又は自動扉開

（2）信号灯点灯時間

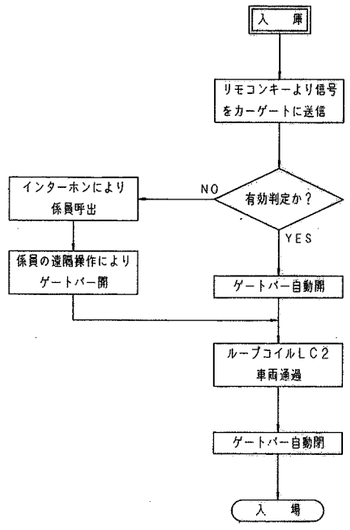
信号灯の点灯時間は、タイマーにより各々１秒から６０秒の任意の時間に設定可能とする。

6．その他

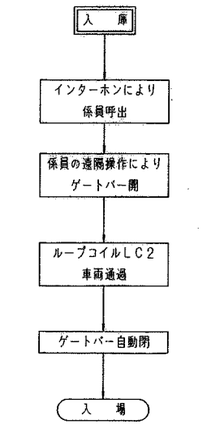
（1）機器はすべて指定色塗装とする。
（2）リモコンキー３５０個を用意する。

7．フローチャート

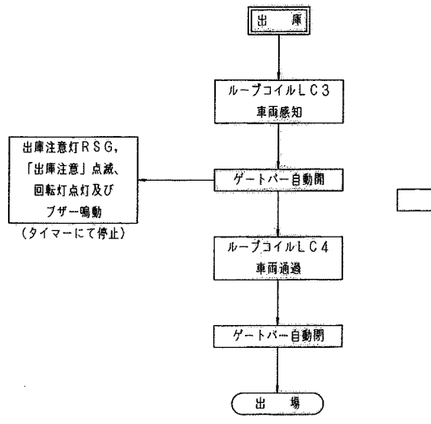
入庫動作（契約車）



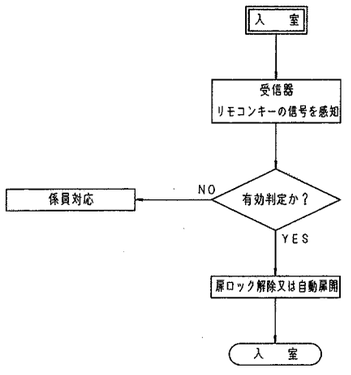
入庫動作（外来車）



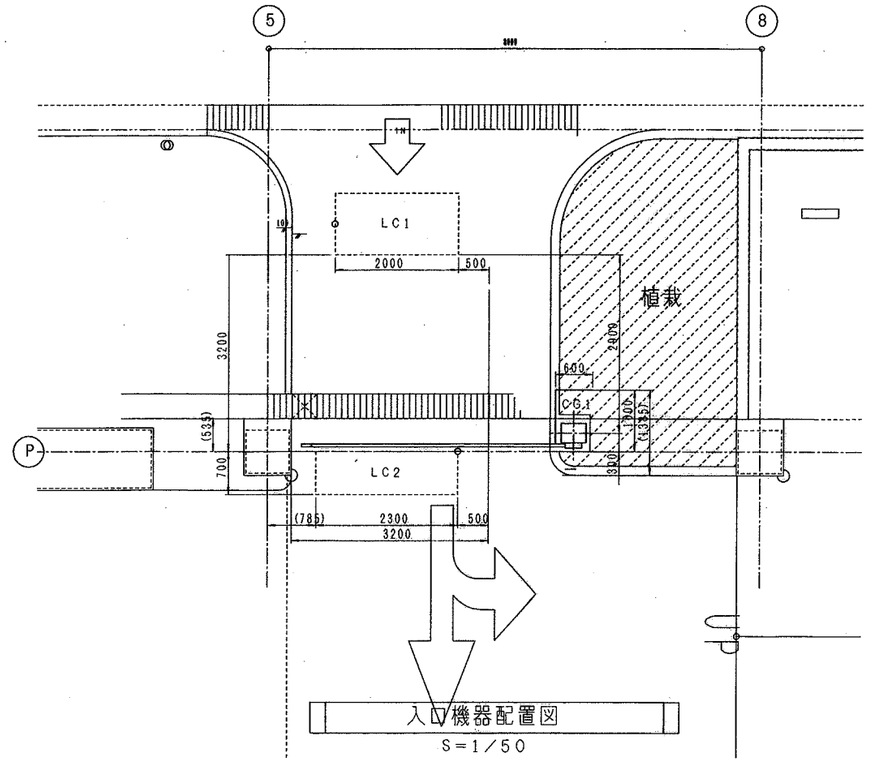
出庫動作（契約車／外来車）

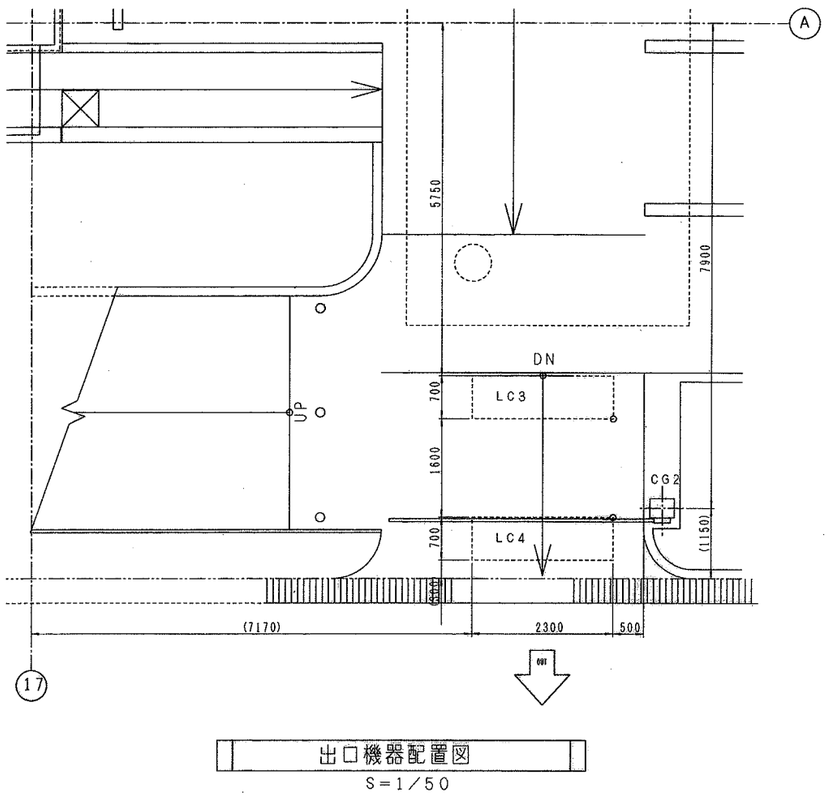


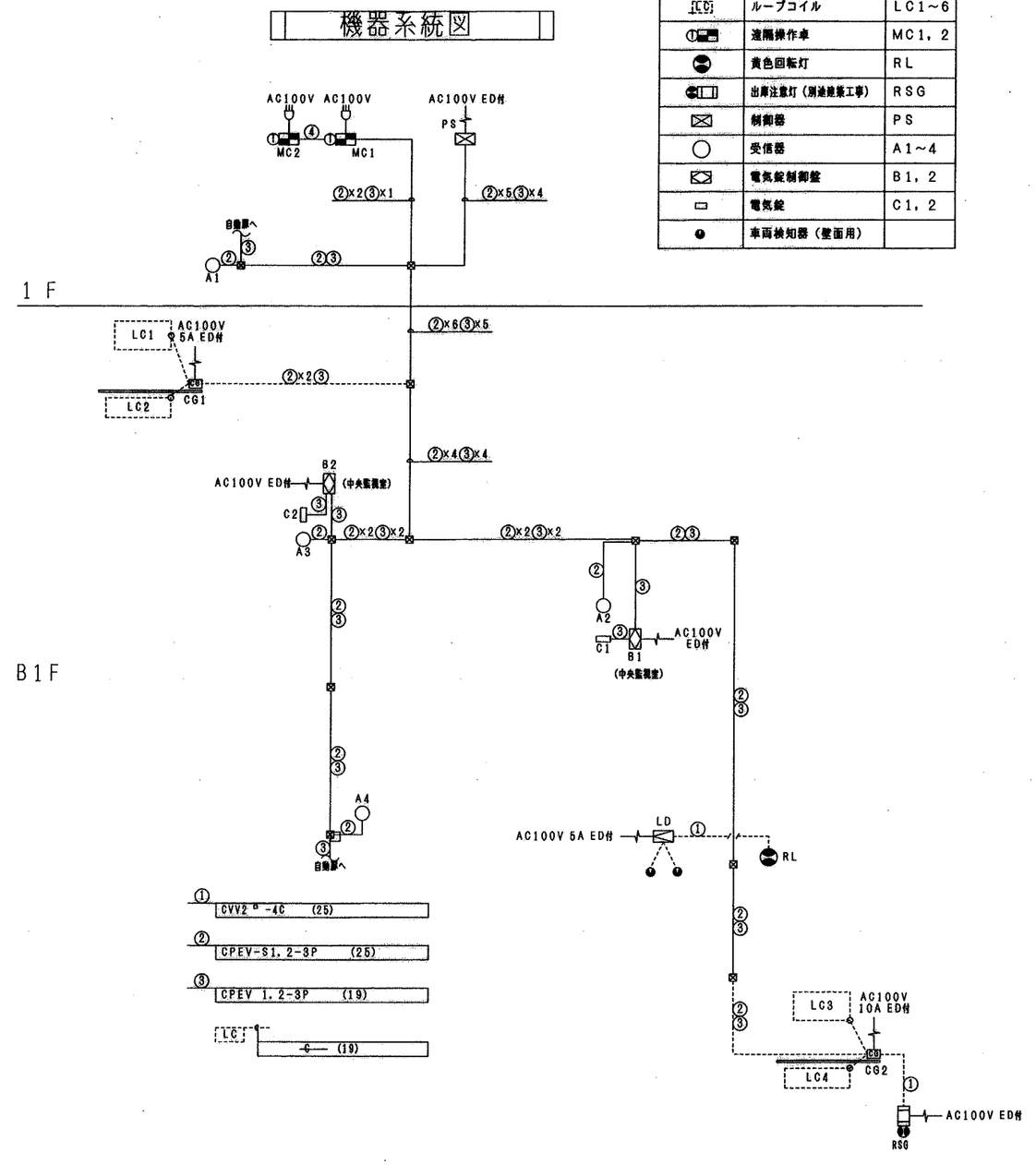
入室動作（対人）



revisions	松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 ・つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事	車路管制・入退室管理設備仕様書
	松田平田 ＋ 丸川設計	date 99.09.30 / drawn by / checked by	scale no scale/A1
			電気 601







図記号	機器構成	記号
CG	カーゲート	CG1, 2
LD	車両検知器	LD
	ループ感知器	
LC	ループコイル	LC1～6
MC	遠隔操作卓	MC1, 2
RL	黄色回転灯	RL
RSG	出庫注意灯（別途建築工事）	RSG
PS	制御器	PS
A	受信器	A1～4
B	電気錠制御盤	B1, 2
C	電気錠	C1, 2
LD	車両検知器（壁面用）	

revisions	松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 ・つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事	駐車場管制・入退室管理設備 機器配置図・系統図
	10 MHS 松田平田 丸川設計	date 99.09.30 drawn by checked by	scale no scale/A1

電気 602

凡例

記号	名称	備考
	受信機	仕様注記参照
	表示機	仕様注記参照
▼	中継器	感知器ベースに取付
	中継器盤	仕様注記参照
AMP	放送アンプ	(別途工事)
中央	中央監視盤	(別途工事)
	機器収容箱	消火栓内蔵 Ⓟ○ 収容
	機器収容箱	消火栓内蔵，防滴型 Ⓟ△ 収容
	機器収容箱	消火栓・連送併設型 Ⓟ○ 収容
	機器収容箱	消火栓・連送併設型，防滴型 Ⓟ△ 収容
Sc	光電式煙感知器	2種，アナログ式，自動試験機能付
Sc	光電式煙感知器	2種，埋込型，アナログ式，自動試験機能付
Sc	光電式煙感知器	2種・3種，埋込型，アナログ式，自動試験機能付
Sc	光電式煙感知器	2種，点検BOX付，自動試験機能付
Dc	差動式スポット型感知器	2種，自動試験機能付
Dc	差動式スポット型感知器	2種，埋込型，自動試験機能付
Cc	定温式スポット型感知器	特種，アナログ式，自動試験機能付
Cc	定温式スポット型感知器	特種，防水型，アナログ式，自動試験機能付
Cc	定温式スポット型感知器	特種，防水型，アナログ式，埋込型，自動試験機能付
P	P型発信機	1級，アドレッサブル型
○	表示灯	AC24V，LED，点滅式
○	表示灯	AC24V，LED，防滴型
F	アラームバルブ	泡用 (衛生工事)
消	移報器	消火栓ポンプ始動用 (制御盤組込)
Ω	終端器	感知器用
消HD	消火栓ポンプ制御盤	消組込 (衛生工事)
F	泡消火ポンプ制御盤	(衛生工事)
AD	パニックオープン制御装置	(別途工事)
No F	放出表示番号	泡消火用
警区	警戒区域番号	アドレッサブル発信機用
	警戒区域線	
S	光電式煙感知器	3種，非蓄積型
BD	自動閉鎖装置	DC24V，0.5A，防火戸用 (電気工事)
BS	自動閉鎖装置	DC24V，0.5A以下 防火シャッタ用 (建築工事)
BW	自動降下装置	DC24V，0.5A以下 垂れ壁用 (建築工事)
Ø	自動閉鎖装置	仕様注記参照，防火ダンパ用 (空調工事)
Ø(遅)	自動閉鎖装置	仕様注記参照，防火ダンパ用 (空調工事)
Z	電子ブザー	防火シャッタ降下警報用
K	連動中継器	タイマーリレー内蔵
HDc	動作区域番号	自動試験感知器連動用
HD	動作区域番号	専用感知器連動用
FD	動作区域番号	防火戸，防火シャッタ用
AD	動作区域番号	防火ダンパ用
WD	動作区域番号	垂れ壁用
ガ	検知器	都市ガス用，DC24V，天井付
警区	警戒区域番号	ガス漏れ表示用
	配管配線	いんぺい
	配管配線立上げ引下げ	
□ ⊠	ジャンクション，プルボックス	
	エキスパンションジョイント	プリカチューブ使用

[注 記]

1．受信機仕様
- 1）複合GR型、自立型、蓄積式、予備電源内蔵
- 2）電源：AC100V、50／60Hz
- 3）アドレス数：2040アドレス、伝送系統数：8系統
- 4）自動試験機能付
- 5）主音量　：音声警報及びブザー
- 6）表示方式　：デジタル表示（火災、ガス漏れ　各2報）
  - 10．4インチカラーLCD表示（タッチパネル付）
  - ・火災、端末機器、ガス漏れ警報表示　各2報
  - ・文字種　：漢字／英／数／カナ
  - ・ガイダンス表示
  - ・故障メッセージ表示
- 7）操作方式　：タッチパネル方式
- 8）漢字プリンタ内蔵
- 9）アナログ感知器モニタ機能付～3分モニタ、週間モニタ
- 10）火災判定機能付
- 11）その他機能：
  - ・AI機能
  - ・時刻補正信号受信機能付
  - ・シミュレーション機能（火災、端末、ガス漏れ）
  - ・一括／種別連動遮断（最大20種）
- 12）移報信号　：シリアルコード
  - ・状態情報全点移報　RS422A又はRS232C×2系統
  - ・表示機用移報　RS485×1系統
  - （メッセージ表示機　最大31台接続可能）
  - 接点移報～各種代表
- 13）その他内蔵機器
  - ・防火防排煙機器用電源（DC24V、出力4A）
  - ・ガス漏れ検知器用電源（DC24V、出力1A）
- 14）回線内訳

・自動試験機能付感知器表示	1221L
・火災表示（アドレッサブル発信機）	28L
・専用感知器表示	12L
・泡消火放出表示	2L
・消火ポンプ始動表示　(HD，F)	2L
・消火ポンプ故障表示　(HD，F)	2L
・消火ポンプ呼水槽減水表示（HD，F）	2L
・防火戸、シャッタ閉鎖表示	12L
・垂れ壁降下表示	8L
・防火ダンパ閉鎖表示	5L
・ガス漏れ警報表示（トラブル表示含む）	4L
計	1298L

- 15）屋表示部（10L標準装備）
- 16）警報信号内訳：
  - ・非常放送アンプへ（無電圧，a接点）
  - 階別火災表示（10L）
  - 火災確認表示（1L）
- 17）　HD：屋内消火栓ポンプ　　F：泡消火ポンプ

2．表示機仕様
- 1）壁掛型　主音響・予備電源内蔵
- 2）表示方式
  - 液晶表示～表示内訳は受信機の警報メッセージ表示と同一

3．中継器盤仕様
- 1）複合GR型，壁掛型または自立型
- 2）処理点数：中継器盤点数表参照

4．感知器はすべて確認灯付とする。

5．火災時の地区警報は、非常放送設備と連動しスピーカからの音声警報にて行う。
- 感知器発報放送……感知器作動時
- 火災放送　……発信機作動時
- 泡放出時

6．警戒区域番号等は各階毎に示す。

7．シャッタ用電子ブザーはシャッタ降下時に鳴動し、降下後停止する。
- ［シャッタ内にブザー鳴動停止用のリミットスイッチ（b接点）を設ける。
- ……建築（シャッタ）工事］

8．防火防排煙制御方式

種別＼制御	アナログ式感知器連動（遅動レベル）	専用感知器連動	自火報連動	現場手動	遠隔 始動	遠隔 復帰
防火戸 防火シャッタ	○	○（駐車場エリア）			○	
垂れ壁	○	○（駐車場エリア）			○	
防火ダンパ	○	○（駐車場エリア）	○		○	○

・空調機は、火災信号により連動停止、制御監視は中央監視盤にて行う

9．防火ダンパ仕様（空調工事）
- ・始動……ソレノイド式、DC24V、0．5A以下
- ・復帰……モーター式、　DC24V、0．5A以下

10．系統図中の自動試験機能付感知器の表現は下記とする。

自動試験 n ——— 自動試験機能付感知器の個数を示す。

11．特記なき配管配線は下記に示す。

- AE0．9-2C　　AE0．9-2C(PF16)
- AE0．9-4C　　AE0．9-4C(PF16)
- HP1．2-2C　　HP1．2-2C(PF16)
- HP1．2-3C　　HP1．2-3C(PF16)
- HP1．2-4C　　HP1．2-4C(PF16)
- HP1．2-3P　　HP1．2-3P(PF16)
- HP1．2-5P　　HP1．2-5P(PF16)

Sc（アナログ感知器等），▼，F，AD ——— HP1．2-2C

BD，BS，BM ——— HP1．2-3C

Ø，Ø，F ——— HP1．2-3P

□，◪，⌂，◪，HD ——— HP1．2-5P

⊞ ——— AE1．2-4C

⊞ ——— AE0．9-5P

BS，BS，BS，BD ——— HP1．2-3C / HP1．2-4C

Ø，F，Ø ——— HP1．2-3P / HP1．2-5P

AE；警報用ケーブル
HP；耐熱ケーブル

防火防排煙連動表

階＼項目	専用感知器 No	アナログ感知器（3種レベル） No C	防火戸 防火シャッタ No	垂れ壁 No	防火ダンパ AD
B1F	1		1		
	2		2		
	3		3		
	4			1	
	5			2	
	6			33	
	7			4	
	8			5	
	9			6	
	10			7	
	11				1
1F		1	1		
	1	2	2		
				1	
2F		1	1		
3F		1	1		
4F		1	1		
		2	2		
5F		1	1		
6F		11	11		
8F		11	11		

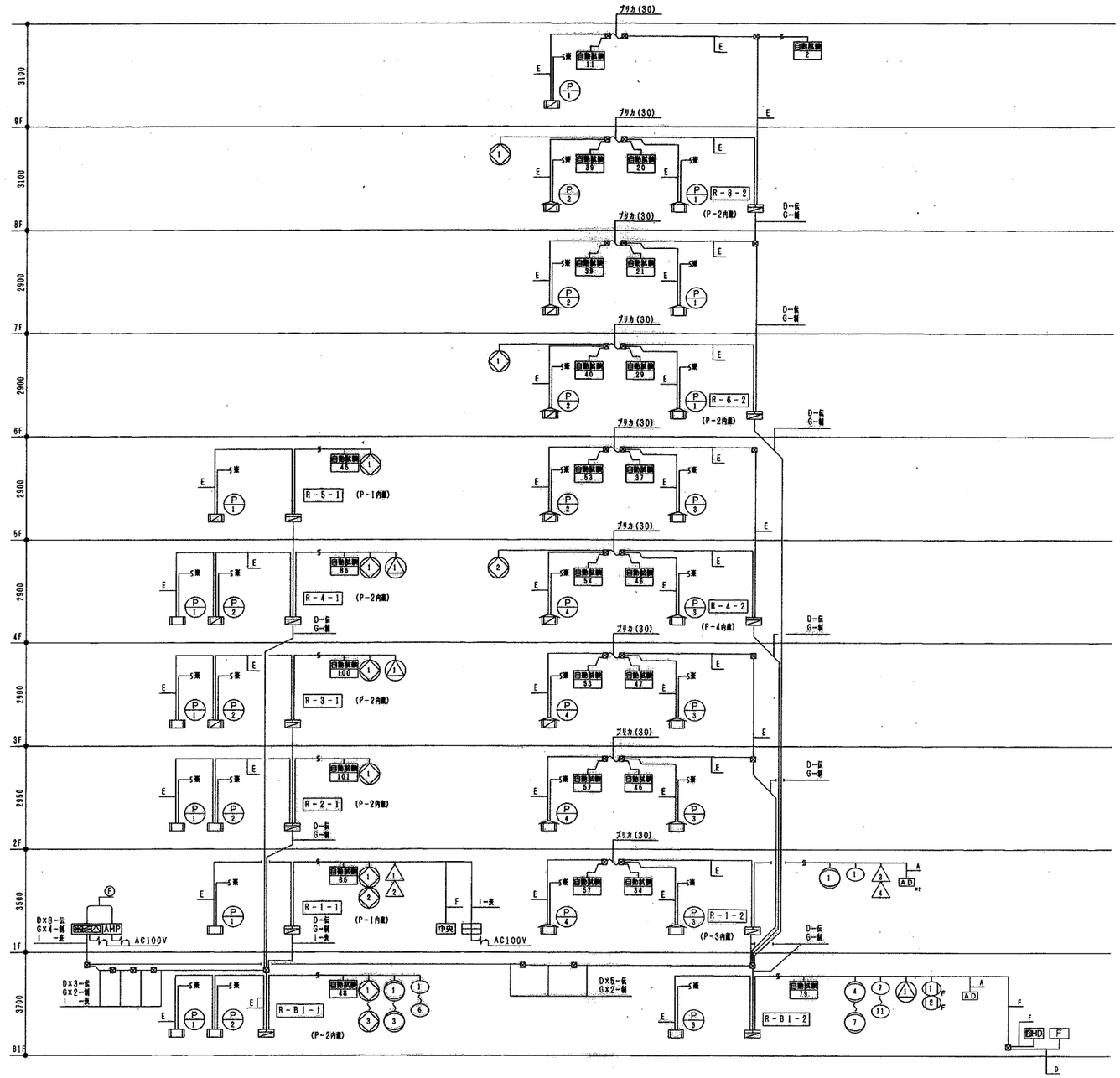
revisions

松田平田・丸川設計共同企業体
10 松田平田 丸川設計

project no. A3693 ・つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事
date 99.09.30　drawn by　checked by

防災設備
凡例・注記
scale no scale/A1

電気
701



設　備　系　統　図

中継器盤点数表

中継器盤名称	階（監視・制御エリア）	入出力信号内訳	自火報設備			消火設備			防火・防排煙設備				ガス漏れ設備			その他			伝送系統	階（監視・制御エリア）	自火報設備			自動試験機能付感知器			伝送系統
						泡消火	消火ポンプ		防火戸・シャッタ	垂れ壁	防火ダンパ		ガス漏れ検知器			中央監視室へ	パッケージ盤(盤間)へ				火災(一般感知器)※1	火災(アドレッサブル発信機)※	専用感知器 ※1	スポット型感知器 ※			
		監視				○	○		○	○	○		○								○	○	○	○			
		制御					○		○	○	○															
		復帰									○															
R-8-2	9F																		⑧	9F		1		13			⑧
	8F								1											8F		2		59			
R-6-2	7F																			7F		2		60			
	6F								1											6F		2		69			
R-4-2	5F																		⑦	5F		2		90			⑦
	4F								1											4F		2		100			
—	3F																		⑥	3F		2		100			⑥
	2F																			2F		2		103			
R-1-2	1F								1				2			2			⑤	1F		2	1	91			⑤
R-B1-2	B1F					2	6			4	1					1			④	B1F		1	5	79			④
R-5-1	5F								1											5F		1		45			
R-4-1	4F								1		1								③	4F		2		86			③
R-3-1	3F								1		1									3F		2		100			
R-2-1	2F								1										②	2F		2		101			②
R-1-1	1F								2		2		2			10				1F		1		85			
R-B1-1	B1F								3	3									①	B1F		2	6	48			①
合　計						2	6		12	8	5		4			10	3				28	12		1229			

※　：中継器盤内ユニットに含まず

※1：中継器盤内ユニットに含まず、感知器ベース取付用中継器を使用する

配管配線表

記号	ケーブル配線	配　管
A	HP1.2-2C	(PF16)
B	HP1.2-3C	(PF16)
C	HP1.2-4C	(PF16)
D	HP1.2-3P	(PF22)
E	HP1.2-5P	(PF22)
F	HP1.2-10P	(PF28)
G	HP2.0^{D}-10P	(PF36)
H	AE0.9-3P	(PF16)
I	AE0.9-5P	(PF22)

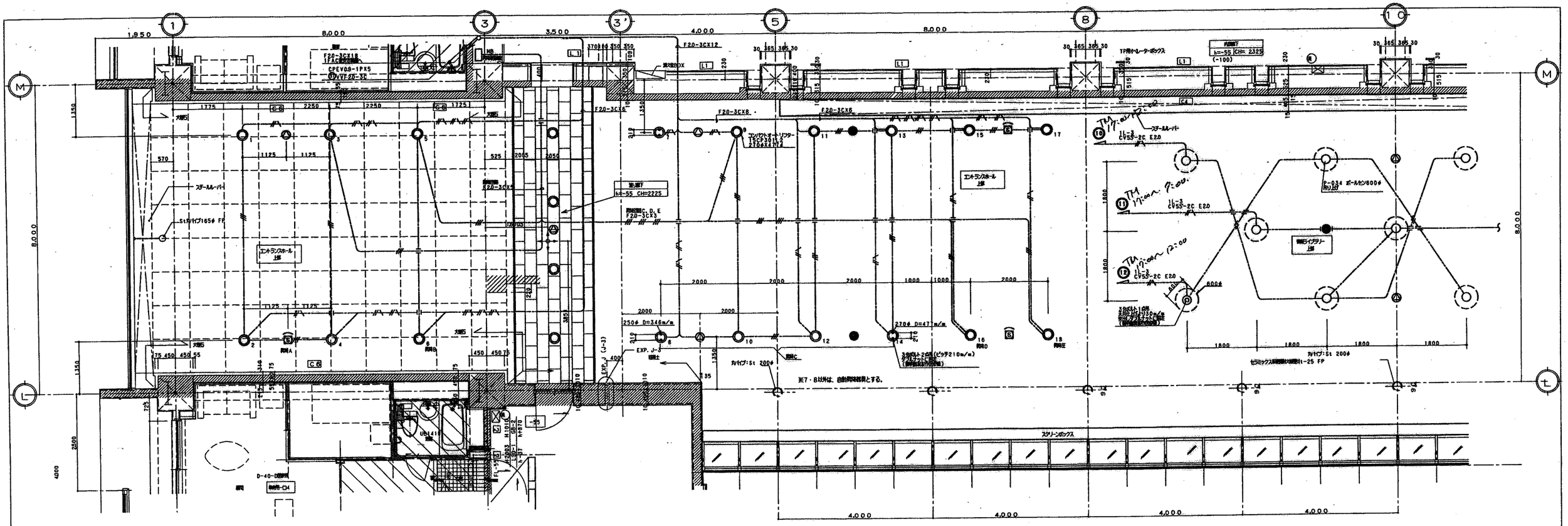
幹線ケーブル内訳

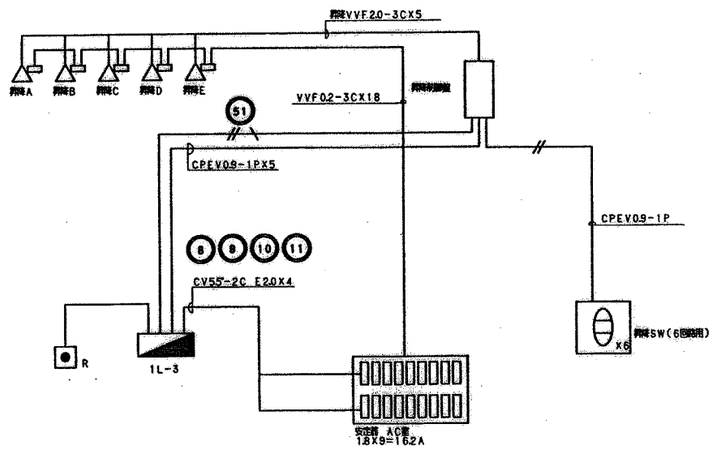
伝・・・伝送線

制・・・制御線

表・・・表示機用線

※ ⑪ はケーブル配線とする。





室名	エントランスホール
材料	下地:LGS+PB Ⓣ12.5+8.5 全面カンレイシャ貼りの上EP-2 一部アルミパネル PL-3(オープンジョイント)BAF
寸法	
天井高	1FL+8,400 一部1FL+8,620
廻り縁	役じ(目透し)
備考	床仕上1FL±0

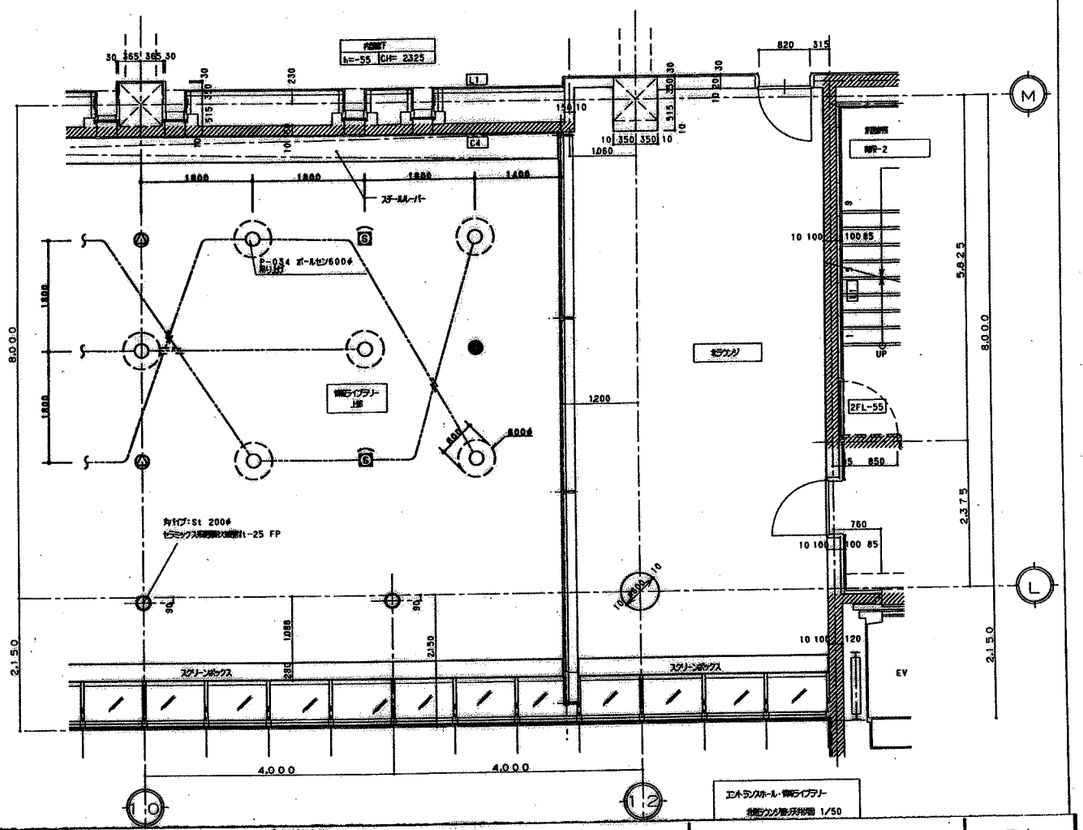
室名	塗り壁下
材料	下地:LGS+PB Ⓣ9.5 AMB Ⓣ8.0
寸法	600X300
天井高	3FL+2,170
廻り縁	
備考	床仕上3FL-55

室名	情報ライブラリー
材料	下地:LGS+PB Ⓣ12.5+8.5 一部床張 全面カンレイシャ貼りの上EP-2 一部アクリル(有孔プラスター有付入り) アクリルシリコンクリヤー(床張)
寸法	
天井高	2FL+5,120
廻り縁	役じ(目透し)
備考	床仕上2FL+95

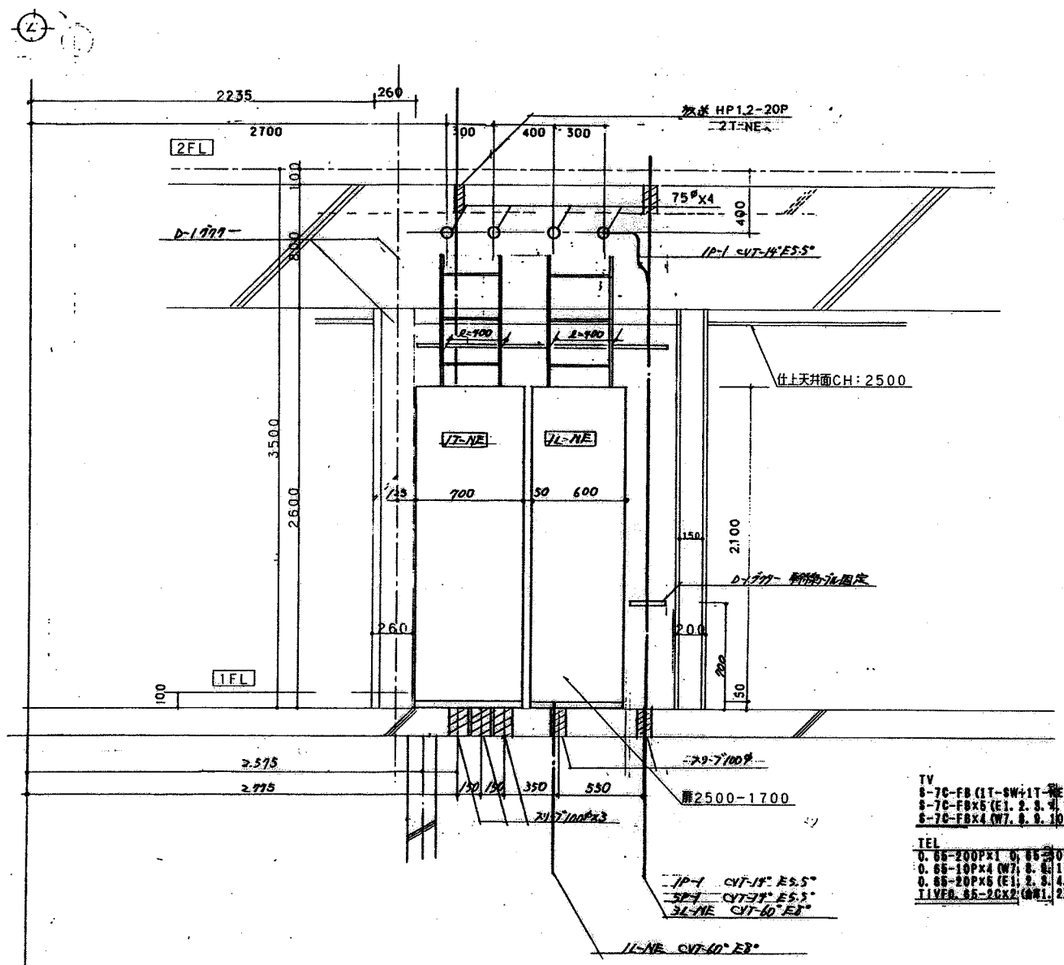
室名	北ラウンジ
材料	下地:LGS+PB Ⓣ9.5 全面カンレイシャ貼りの上EP-2
寸法	
天井高	3,45FL+2,170
廻り縁	役じ(目透し)
備考	床仕上3,45FL-55

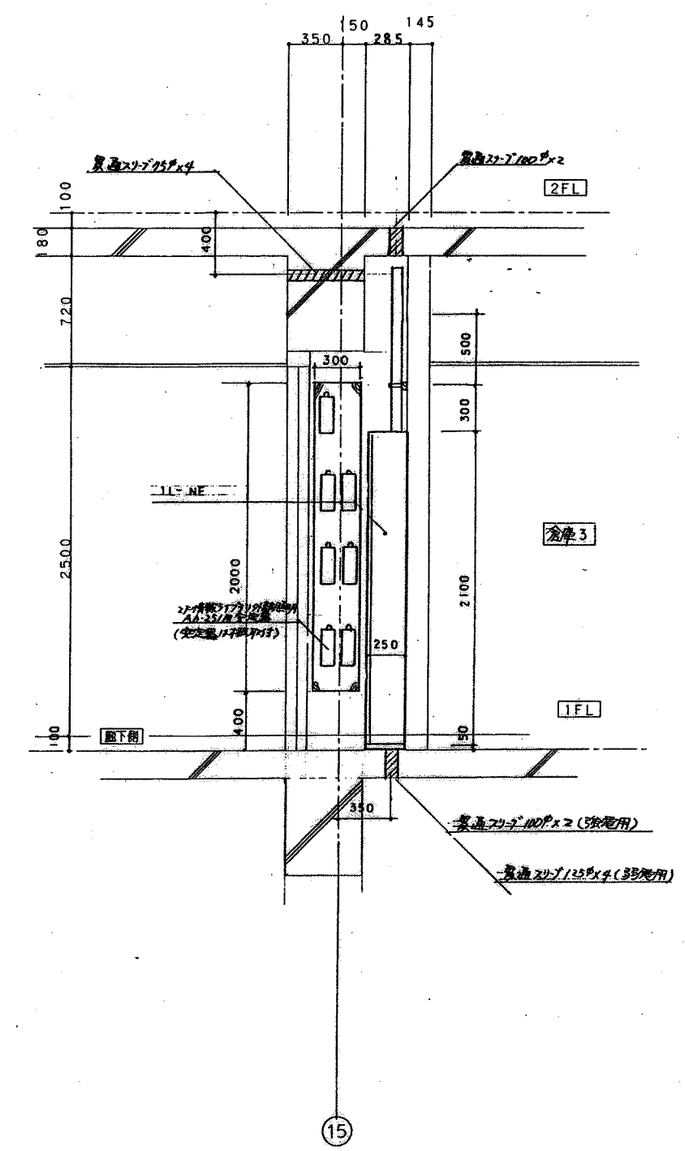
室名	南(吹抜)ラウンジ
材料	下地:LGS+PB Ⓣ9.5 全面カンレイシャ貼りの上EP-2
寸法	
天井高	35,7FL+4,850・5,250
廻り縁	役じ(目透し)
備考	床仕上3,5、7FL+450・

室名	南(上階)ラウンジ
材料	下地:LGS+PB Ⓣ9.5 全面カンレイシャ貼りの上EP-2
寸法	
天井高	4,88FL+2,050
廻り縁	役じ(目透し)
備考	床仕上4,88FL-55・±0

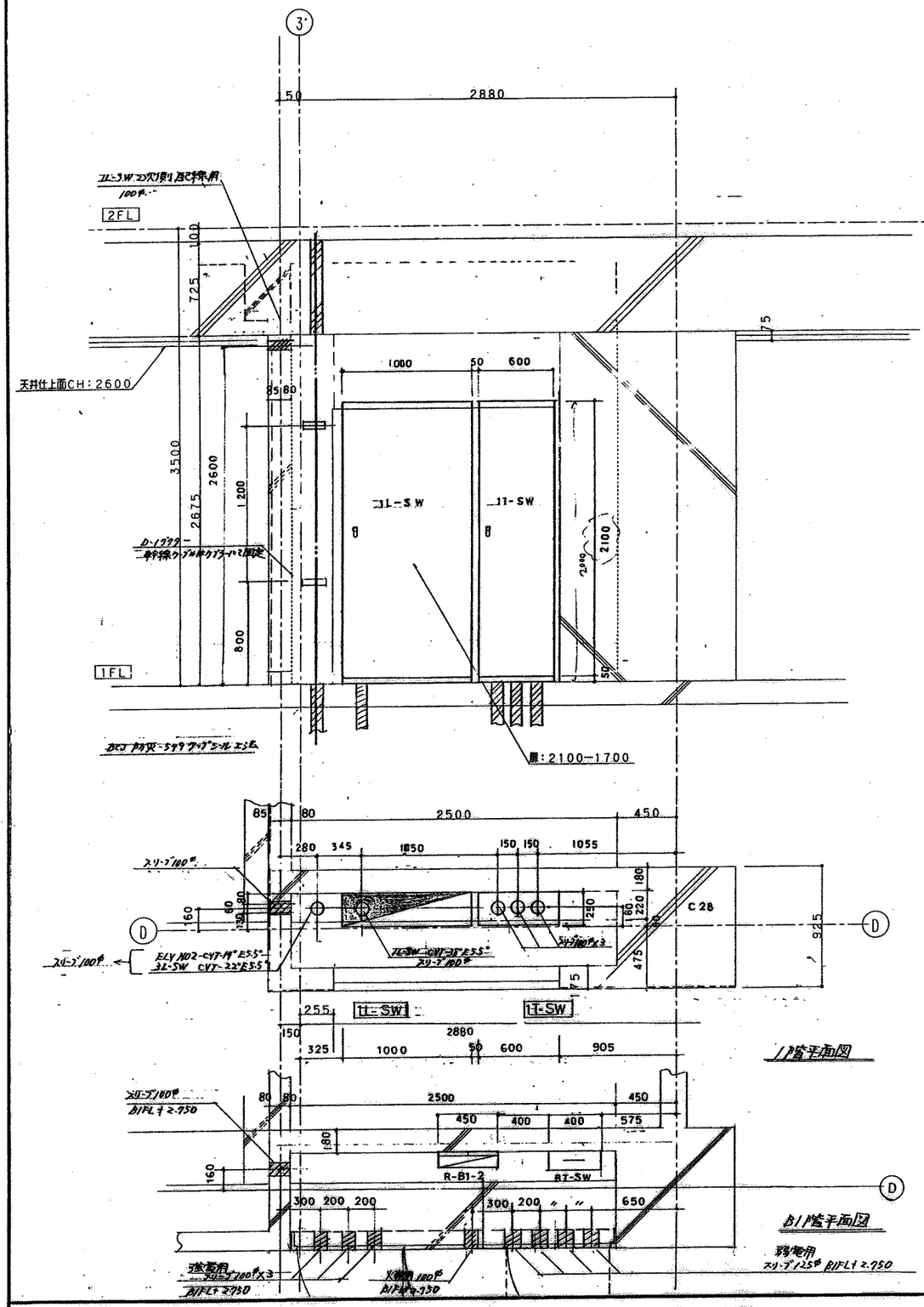


revisions		松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 ・つくば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事	エントランスホール、情報ライブラリー、北・南ラウンジ廻り詳細図	電気 913
		松田平田 丸川設計	date 99.09.30 drawn by checked by	scale 30/A1	

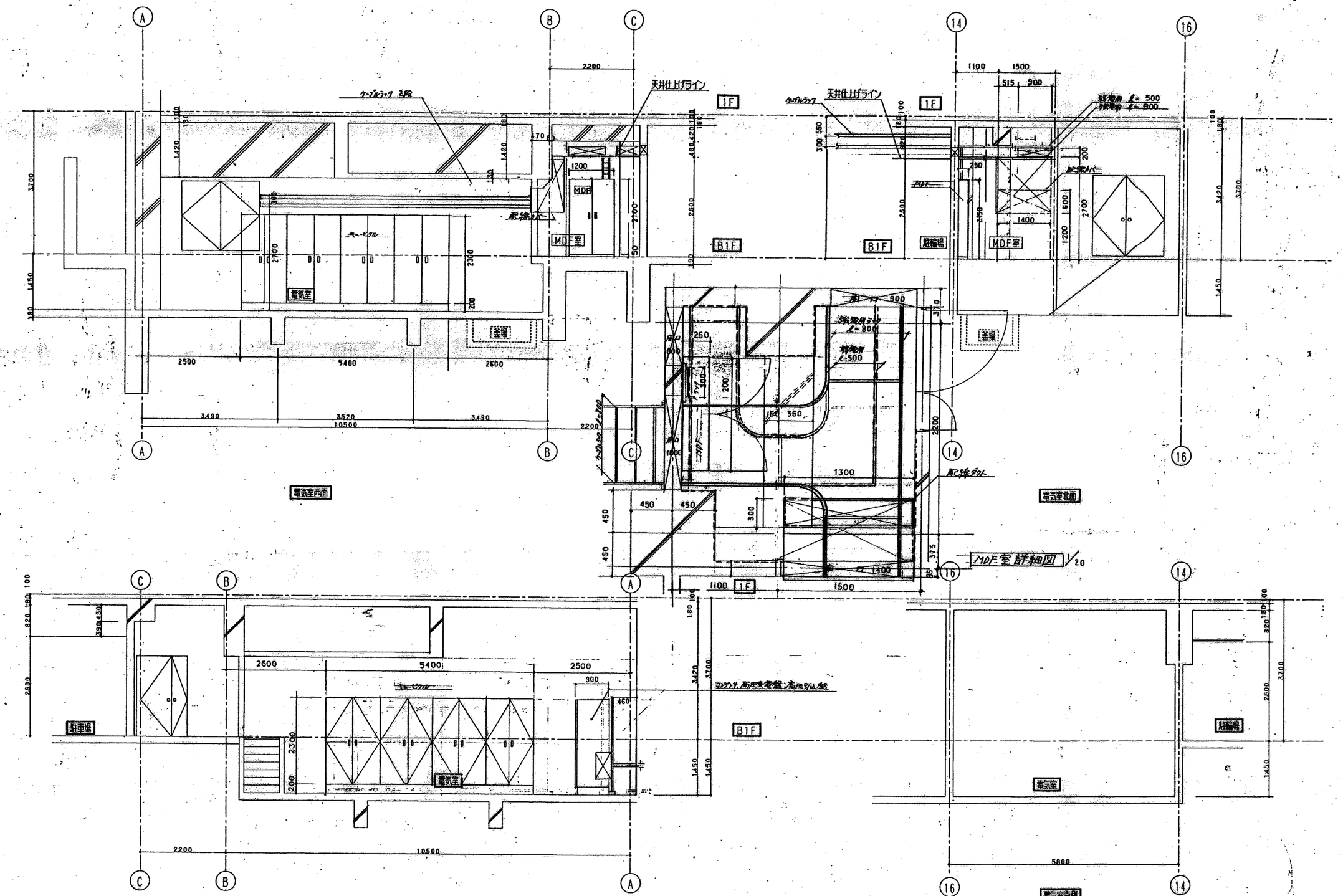




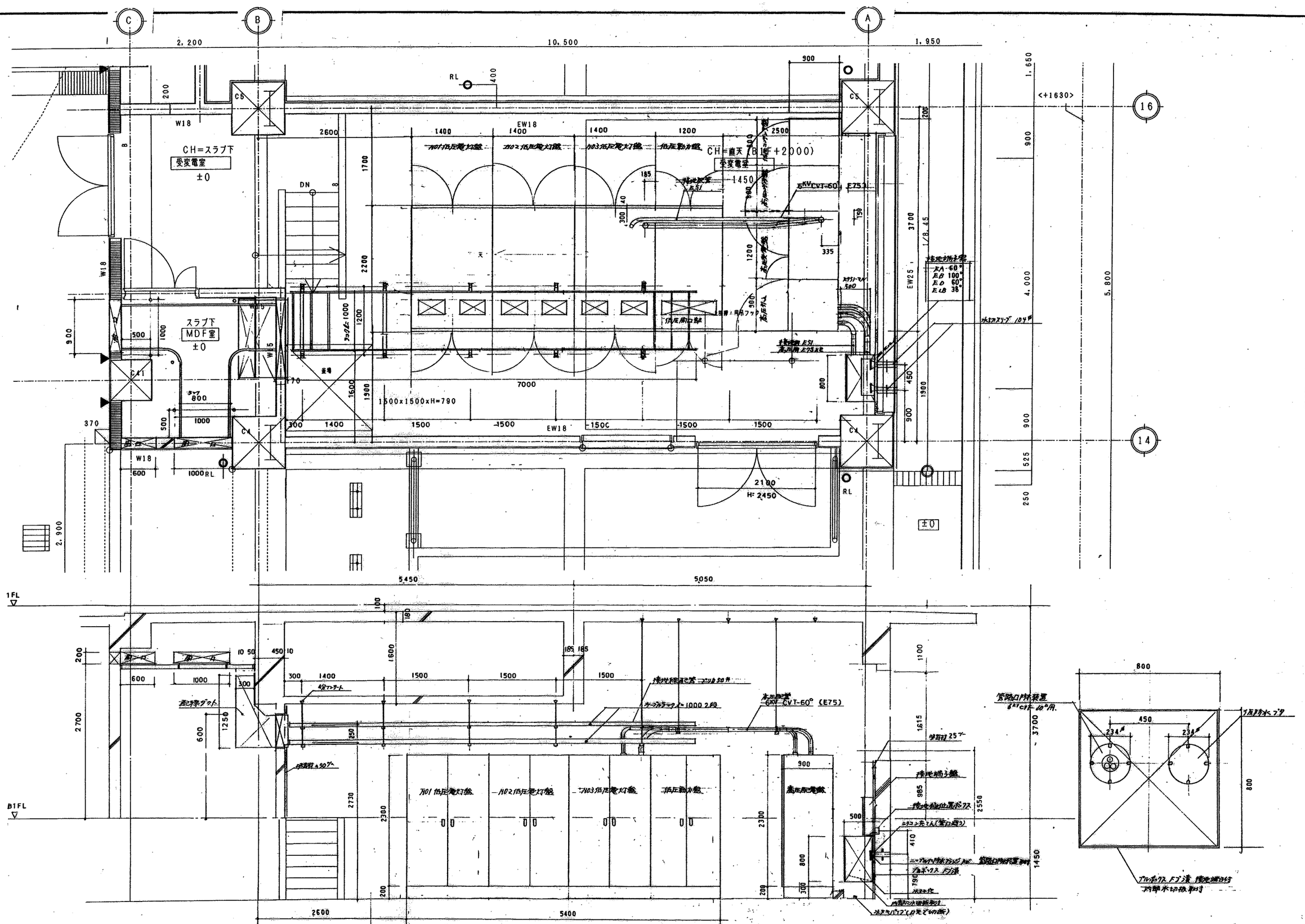
revisions	松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 ・つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事	1階北東側電気シャフト詳細図	電気
	1 松田平田 丸川設計	date 99. 09. 30 / drawn by / checked by	scale 20/A1	914



revisions	松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 ・つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事	1階南西側電気シャフト詳細図	電気
	1 HIRATA 松田平田 ◐ 丸川設計	date 99.09.30 drawn by checked by	scale 20/A1	915



revisions	松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 ・つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事	MDF室・電気室詳細図	電気
	松田平田 ◐ 丸川設計	date 99.09.30 drawn by checked by	scale 30/A1	918



revisions	松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 ・つくば外国人研究者用宿舎（仮称）電気設備工事	電気室 詳細図
	松田平田 丸川設計	date 99.09.30 drawn by checked by	scale 30/A1

電気
919

機械設備

空調・衛生	000	図面リスト	No Scale	衛生	101	衛生機器・器具一覧表	No Scale	空調	101	機器一覧表（1）	No Scale
空調・衛生	001	特記仕様書	No Scale	衛生	102	給水・ガス系統図	No Scale	空調	102	機器一覧表（2）	No Scale
空調・衛生	002	工事区分表	No Scale	衛生	103	排水系統図	No Scale	空調	103	機器一覧表（3）	No Scale
空調・衛生	003	TES工事区分表	No Scale	衛生	104	地階衛生平面図	1:200	空調	104	機器一覧表（4）	No Scale
空調・衛生	004	建築概要・敷地案内図	1:5000、1:500	衛生	105	地階衛生平面図（雨水）	1:200	空調	105	空調配管・ダクト系統図	No Scale
				衛生	106	1階衛生平面図	1:200	空調	106	地階空調平面図	1:200
				衛生	107	2階・3階衛生平面図	1:200	空調	107	1階空調平面図	1:200
				衛生	108	4階・5階衛生平面図	1:200	空調	108	2階・3階空調平面図	1:200
				衛生	109	6階・7階衛生平面図	1:200	空調	109	4階・5階空調平面図	1:200
				衛生	110	8階・9階・PH階衛生平面図	1:200	空調	110	6階・7階空調平面図	1:200
				衛生	111	夫婦用住戸平面詳細図（A・Bタイプ）	1:50	空調	111	8階・9階・PH階空調平面図	1:200
				衛生	112	夫婦用住戸平面詳細図（C・Dタイプ）	1:50	空調	112	1階ダクト・配管平面詳細図	1:100
				衛生	113－1	単身者用住戸平面詳細図（イ・ロ・ハタイプ）	1:50	空調	113	9階ダクト・配管平面詳細図	1:100
				衛生	113-2	カウンセリング、ゲストルーム詳細図	1:50	空調	114	地階ファンルーム詳細図	1:50
				衛生	114	便所及び管理人室詳細図	1:50	空調	115	南棟ラウンジ詳細図	1:50
				衛生	115	地階受水槽室平面詳細図	1:30	空調	116	夫婦用住戸詳細図（A・Bタイプ）	1:50
				衛生	116	MB廻り詳細図	1:30	空調	117	夫婦用住戸詳細図（C・Dタイプ）	1:50
				衛生	117	熱源機器廻り詳細図	1:50	空調	118	単身者用住戸詳細図（イ・ロ・ハタイプ）	1:50
				衛生	118	集会室・管理事務室詳細図	No Scale	空調	119	ゲスト、カウンセリングルーム詳細図	No Scale
				衛生	119	系統図（消火）	1:200	空調	200	制気口リスト	No Scale
				衛生	120	地階平面図（消火）	1:200	空調	201	中央監視機能概要・回路図	No Scale
				衛生	121	1階平面図（消火）	1:200	空調	202	中央監視設備仕様書	No Scale
				衛生	122	2階・3階平面図（消火）	1:200	空調	203	自動制御フロー図	No Scale
				衛生	123	4階・5階平面図（消火）	1:200	空調	204	中央監視点一覧表	1:200
				衛生	124	6階・7階平面図（消火）	1:200	空調	205	地階自動制御平面図	1:200
				衛生	125	8階・9階・PH階平面図（消火）	No Scale	空調	206	1階自動制御平面図	1:200
				衛生	201	ディスポーザ排水処理設備（1）	1:50	空調	207	2階・3階自動制御平面図	1:200
				衛生	202	ディスポーザ排水処理設備（2）	1:60	空調	208	4階・5階自動制御平面図	1:200
				衛生	203	ディスポーザ排水処理設備（3）	1:50	空調	209	6階・7階自動制御平面図	1:200
				衛生	204	ディスポーザ排水処理設備（4）	1:10, 1:3	空調	210	8階・9階・PH階自動制御平面図	
				衛生	205	ディスポーザ排水処理設備　点検蓋詳細図	1:10	空調	211	散水設備自動制御平面図	
				衛生	206	ディスポーザ排水処理設備　制御盤図	1:50				
				衛生	207	ディスポーザ装置単身夫婦者住戸左納まり	1:15				
				衛生	208	ディスポーザ装置単身夫婦者住戸右納まり	1:15				
				衛生	209	ディスポーザ装置（集会場）	1:20				
				衛生	210	ディスポーザ装置（交流サロン）	1:30				

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

11 MHS Planners, Architects & Engineers 松田平田　丸川設計

project no. A3693　name つくば外国人研究者用宿舎（仮称）機械設備工事

date 01. 05.　drawn by　checked by

図面リスト

scale No Scale

空調・衛生

000

G:\A3693-KENCHIKU\ZEN\MP\PLAN\MPPST1A

空調・衛生設備工事特記仕様書

□ 工事名称・その他

工事名称	つくば外国人研究者用宿舎（仮称）機械設備工事
建築主	科学技術振興事業団
建築主住所	埼玉県川口市本町4－1－8　川口センタービル
敷地所在地	茨城県つくば市二の宮一丁目六番他
建物用途	共同住宅

□ 建築概要

階数	地下　1階，地上　9階，塔屋　1階
延床面積	㎡
最高高さ	整準地盤面より　　m
構造	○SRC　○RC　・S　（北棟・東棟：RC、　南棟・西棟・地階：SRC）

□ 工事項目

空気調和，換気設備工事	給排水衛生設備工事
・熱源機器設備工事	○給水設備工事
○空気調和機器設備工事	○給湯設備工事
○空調ダクト設備工事	○排水設備工事
○配管設備工事	○衛生器具設備工事
○換気設備工事	○消火設備工事
・排煙設備工事	○ガス設備工事（ＴＥＳ工事含む）
・自動制御設備工事	○生ごみ処理設備工事

□ 総則

適用	○印を適用する。
標準仕様書	本特記仕様書以外の事項は全て下記共通仕様書による。 ○株式会社松田平田「空調・衛生設備工事標準仕様書」　（最新版） ・建設大臣官房官庁営繕部監修「機械設備工事共通仕様書」及び「標準図」最新版 ○建設省住宅局住宅建設課監修「公共住宅建設工事共通仕様書」　（最新版）住戸部分
設計図書優先順位	1．現場説明及び質疑応答 2．特記仕様書 3．設計図書 4．標準仕様書
工場検査	下記項目に関して工場において所定の試験を行い、その試験成績表を提出する。 ・　　・　　・
支給品	下記項目に関しては支給品とし、現場搬入方法ならびに据付等は協議による。
竣工図書	○建築工事に準ずる。 ・竣工引渡し図書は、下記による。

	建築主用	設計者用	請負者用	備考
竣工届	1	1		
引渡書	1			
受領書			1	
竣工図原図	1			
〃　金文字製本	1			
〃　紺小原図　(A3)		1		
〃　紺小製本　(A3)	2	1		
〃　マイクロフィルム		1		MHS書式　0020
施工図　製本	2			
機器完成図	2			
保証書	1＋写			
取扱説明書	2			
官公庁届書	1＋写			
設備データシート	1			空・衛学会参照

竣工写真	○建築工事竣工写真に含む。 ・撮影箇所　　箇所以上　　提出部数　　部 ・提出書式（MHS書式0020）
その他	・

□ 設計条件

	外気		室名			
			共用系統			
	温度（D B）	湿度（R H）	温度（D B）	湿度（R H）	温度（D B）	湿度（R H）
夏季	33 ℃	63 %	26 ±2℃	成行	± ℃	± %
冬季	-1.8 ℃	46 %	22 ±2℃	成行	± ℃	± %

□ 工事内容

○空気調和設備
- 熱源設備：・温水ボイラ（・鋼製　・鋳鉄製　・減圧形　・開放形）
  ・蒸気ボイラ（・鋳鉄製　・炉筒煙管式　・貫流式）
  ・冷凍機　（・往復動式　・吸収式　・スクリュー式　・遠心式　・冷温水機）
  ・ヒートポンプ　（・往復動　・スクリュー）
- 空気調和設備：○空気調和方式　・全ダクト　・ファンコイルユニット　○パッケージ（○空冷　・水冷）　○ガスヒートポンプパッケージエアコン
- 換気設備：○第1種（　管理事務室、共用室、生活支援室、交流サロン、セミナー室等　・第2種（　）　○第3種（　住戸内（台所・便所・洗面所・風呂）、駐車場、倉庫等　）
- 排煙設備：・機械排煙（　系統）。特選（・あり　・なし）　・排煙口　（・手動復帰　・連隔復帰）
- 自動制御設備：○電気式　・電子式　・空気式
- 中央監視設備：○中央監視盤（○あり　・なし）

・衛生設備
- 給水設備：○飲料水（○市水　・井水）　・雑用水（・市水　・井水　・雨水　・　）　・水道直結方式　・高置タンク方式　・圧力タンク方式　○ポンプ直送方式
- 給湯設備：○個別給湯　（○電気　○ガス）　・中央式給湯（・電気　・ガス　・油）
- 排水設備：建物内の汚水と雑排水　○分流式　・合流式　汚　水　○公共下水道　・浄化槽　雑排水　○公共下水道　・浄化槽　・側溝　雨　水　○公共下水道　・都市下水路　・側溝
- 衛生器具設備：大便器　○節水形洗浄弁（共用部）　○ロータンク（住戸）　小便器　○光電式洗浄弁（○個別　・グループ）　・洗浄弁　・ハイタンク（・電磁弁）
- 消火設備：○屋内消火栓（○1号　・2号）　・屋外消火栓　○連結送水管　・スプリンクラ（補助散水栓　・あり　・なし）　・連結散水　・水噴霧消火　○泡消火　・二酸化炭素消火　・ハロゲン化物消火　・粉末消火　・フード用簡易自動消火　※屋内消火栓ボックスの文字は、日本語表示と英語表示とし、字体ともは指定する。
- ガス設備：○都市ガス（　46．0465　MJ／m³　13A　）　供給業者（　筑波学園ガス株式会社　）　・油化石油ガス
- 生ゴミ処理設備：排水処理装置：○現場施工形（RC）　処理方法：○好気式　・嫌気式　放流水質（mg／l）：BOD：300、SS：300、n－Hex：30以下

□ 使用材料

管材	給水 屋内	給水 埋設	給湯	排水 雑排水	排水 汚水	排水 埋設	通気	消火	冷温水	冷却水	冷媒	油	蒸気	空調ドレン	備考
水道用硬質塩化ビニル	○									・					ガス供給管は事業所の指定材料
ライニング鋼管		○								・					屋内ＶＢ　直結管は局指定材
水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管										・					埋設ＶＤ 屋内ＰＢ　器具取付部に給管使用可
										・					埋設ＰＤ
硬質塩化ビニル管				・		○	・		・					○	VP
配管用炭素鋼鋼管　白				・		・	○	○		・	・				直結送水管は圧力管
黒												・	・		（スケジュール40）
架橋ポリエチレン管	・		○	・											住戸内ＴＥＳ工事部分
水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	・														ＨＩＶＰ
配管用ステンレス鋼鋼管	・	・	・												SUS304
りん脱酸銅継目無管			○												M型
耐熱性硬質塩化ビニル管			・												ＨＴＶＰ
耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管			・							・					ＨＴＬＰ
排水用硬質塩化ビニルライニング管				○	○	・									ＤＶＬＰ　立管は、排水用特殊継手
排水用タールエポキシ塗装鋼管				・	・	・									
耐火二層塩化ビニル管				・	・	・									
ラバージョイント形排水鋳鉄管					・										
メカニカル形排水鋳鉄管					・										
遠心力鉄筋コンクリート管						・									ヒューム管
鋼及び鋼合金継目無管												○			

□ 特記事項

○屋外露出保温外装（・亜鉛鉄板　・着色亜鉛鉄板　・アルミニウム板　○ステンレス鋼板）
○外気取入れダクトは保温を施すこと。（全熱交換器のダクトは、給排気共、機器より屋外側は保温する）
○屋外のアンカーボルトは全てSUS製とすること。
○梁上等でメンテナンスに必要な通路は充分に確保すること。（必要に応じてチェッカープレート等を設ける）
○パイプフード・ベンドキャップはSUS製、指定色焼付塗装とする。　○火気使用ダクトは、ロックウール50mm巻とする。

□ 工事区分表（別紙工事区分表参照）

	工事項目	建築	電気	空調	衛生	昇降	別途	備考
建築関連	躯体貫通スリーブ及び埋入穴埋補修	○	○	○	○			補強工事は建築
	鉄骨梁スリーブ工事	○						
	コンクリート槽築造工事（仕上共）	○						蓄熱槽は断熱及び防水工事共
	屋上通過管・排水管・通気管工事・ピット	○						補強工事は建築
	屋上マンホール蓋及びグラップ工事	○						排水槽マンホールは防臭型
	ルーフドレン及び竪樋配管工事	○						第1例接続まで
	設備機器基礎及び仕上げ工事	○	○	○	○			設備図参照
	設備機器設置に伴うアンカー取付及び穴埋補修		○	○	○			補強工事は建築
	屋内外の排水溝，トレンチ及び蓋	○						
	外壁取付ガラリ（防虫網，相フランジ）	○						
	既製流し台・吊り戸棚・水切り棚	○						
	化粧箱	○						既製品は衛生
	身障者用手すり	○						
	自然排煙用窓及び開閉装置配管配線工事	○						
	自動ドア・シャッター類の操作装置・配管配線工事	○						電源供給は電気
	防火戸・防火シャッター類の煙感連動配線工事		○					
	躯体図紙の遮音・防音・断熱工事	○						
	設備機器の遮音・防音・断熱工事	○	○	○	○			
	化粧壁の仕上工事	○						
	消火器						○	
	埋込型消火器ＢＯＸ	○						消火栓組込は衛生
	外壁貫通部の雨仕舞い工事	○	○	○	○			
	ＡＬＣ板・大理石等の穴開け及び補強	○						
	コンクリート製排水トラップ	○						
	保守用点検口・グラップ・キャットウォーク	○						
	煙突	○						
	ユニットバス	○						
	屋上配管・配線・ダクト接続工事		○	○	○			
電気関連	天井埋込照明器具・スピーカーの穴開け及び補強	○						
	自家発用減圧水槽への給水配管工事				○			
	自家発用オイル冷却水配管工事		○					
	自家発用横引き埋設工事		○					
	電力・電話ケーブル引込用マンホール・蓋工事		○					
	機械駐車・二段駐車・ゴンドラ用電源供給		○					
	外灯支柱の基礎		○					
	電話設備						○	
空調関連	天井吹出・吸込口の芯出し穴開け及び補強	○						
	ファンコイル用電源工事			○				アース付
	ファンコイル用手元スイッチ				○			配管配線共
	隠蔽型床置ファンコイルユニットカバー	○						吹出口，点検口共
	厨房内フード工事				○			フード廻り仕上は建築
	ボイラー・冷凍機への電源工事		○					
	自動制御関係現場盤への電源工事		○					
	空冷パッケージ室外機ー室内機間の渡り配線			○				電源供給は電気
	図上用手元スイッチ			○				配管配線共
	空調換気扇手元スイッチ			○				配管配線共
	地下式貯油槽本体及び付属部品			○				
	図上躯体及び防水工事	○						
	排煙口及び手動開放装置，防煙ダンパー等			○				
	図上用配管，配線工事			○				中央監視制御配線は電気
衛生関連	建物屋外の排水桝及び配管工事				○			
	フロートスイッチ・電極捲取付工事			○				
	小便器自動洗浄ユニット用配管配線取付工事				○			電源供給は電気
	敷地外接続工事				○			
	浄化槽，排水処理装置本体				○			
	図上躯体及び防水工事	○						
	図上電源供給及び電気工事		○					
	自動消火装置に屋はる一次側電源供給及び移報		○					
昇降機	出入口のインジケーター押ボタンの穴開け，補強					○		補強工事は建築
	3方枠の取付					○		
機械室	機械室換気設備			○				サーモ，金網共
立駐関連	動力・照明・非常灯の電源引込み		○					アース共
	非常放送の配線引込み		○					アース共
	監視盤の取付及び配線工事					○		シャフト外配管は電気
	機械室，ピット内コンセント工事		○					
	平常・非常電源開閉リレーの接点供給		○					中央監視盤まで
	インターホン及び配線工事					○		シャフト外配管は電気
	地震計より昇降路内へ配管配線工事					○		
	立体駐車場内の照明防災消火設備					○		電源供給は電気
	立体駐車場内の換気設備					○		電源供給は電気
	立体駐車場内の消火設備					○		
	立体駐車場から監視盤の取付及び配線工事					○		配管は電気
共通	各種引込負担金						○	
	電気・ガス・水道等の引込しまでの料金	○	○	○	○	○		基本料金含む
	電波障害の対策工費						○	

□ メーカーリスト　（順不同）

ポンプ	（株）荏原製作所、（株）川本製作所、（株）日立製作所、（株）テラルキョクトウ
パッケージ型調和機（GHP含む）	三洋電機（株）、ダイキン工業（株）、東芝キャリア空調システム（株）、三菱電機（株） 日本ビーマック（株）、（株）日立空調システム、松下電器産業（株）、三菱重工業（株） ヤンマーディーゼル（株）
送風機	forward（株）、（株）荏原製作所、（株）荻野鉄工所、（株）日立製作所、松下電器産業（株）、 （株）ミツヤ送風機製作所、（株）テラルキョクトウ、三菱電機（株）
換気扇	（株）東芝、（株）日立製作所、松下電器産業（株）、三菱電機（株）
制気口	暮久知工業（株）、空研工業（株）、相模工業（株）、断熱工業（株）、椿工業（株）、 （株）協立エアテック、丸光産業（株）
ダンパー類	暮久知工業（株）、（株）協立エアテック、空研工業（株）、クリフ（株）、相模工業（株）、 東プレ（株）、日東精材（株）、椿工業（株）
全熱交換器	松下電器産業（株）、三菱電機株、日鉄鉱業（株） 三菱電機（株）、（株）テラルキョクトウ、ダイキン工業（株）
中央監視装置 自動制御装置	（株）トキメックランディスギア、山武ビルシステム（株）、沖電気工業（株） 横河ジョンソンコントロールズ（株）、ダイダン（株）
亜鉛鍍鉄板	川崎製鉄（株）、新日本製鉄（株）、日新製鋼（株）、日本鋼管（株）
鋼管	川崎製鉄（株）、新日本製鉄（株）、住友金属工業（株）、日本鋼管（株）
鋼管継手類	住友軽金属工業（株）、日立金属（株）、（株）リケン、日本鋼管（株）
特殊管及び継手類	（株）小島製作所、クボタ（株）、住友軽金属工業（株）、積水化学工業（株）、 （株）多久製作所、東洋フィッティング（株）、日新製鋼（株）、日本リックウィル（株）、 日本冶金工業（株）、（株）ベンカン、日立金属（株）、古河電気工業（株）、 三井金属パイプ工業（株）、三菱金属（株）、シンワ工業（株）
鋳鉄製品	伊藤鉄工（株）、（株）オオタケファンドリー、（株）クボタ、（株）栗本鉄工所、 第一機材（株）、（株）長谷川鋳工所
弁類	（株）キッツ、巴バルブ（株）、東洋バルブ（株）、（株）新鴻鉄工所、 三吉バルブ（株）、大和バルブ（株）、（株）オーケーエム
衛生陶器	（株）ＩＮＡＸ、東陶機器（株）
水槽	（株）ＩＮＡＸ、東陶機器（株）、積水工業（株）、日本水槽水管（株）、日立化成工業（株）、 （株）ブリヂストン、三菱樹脂（株）、日本容器工業（株）、（株）亀山鉄工所
消火栓	帝国繊維（株）、第一城南産業（株）、消火栓興工（株）、（株）村上製作所
消火装置	川重防災（株）、日本ドライケミカル（株）、ニッタン（株）、能美防災（株）、 ホーチキ（株）、富田工業（株）、ヤマトプロテック（株）
給湯ボイラー・ガス湯沸器	（株）ガスター、（株）松島製作所、東陶機器（株） （株）巴商会、（株）ノーリツ、（株）パロマ、給山熱器（株）、（株）リンナイ、松下電器産業（株）
電気湯沸器	東京電機工業（株）、（株）日本イトミック、給山熱器（株）
ヒューム管	帝国ヒューム管（株）、日本ヒューム管（株）、羽田ヒューム管（株）
保温材（硝子）	旭ファイバグラス（株）、日本硝子繊維（株）、日本無機繊維工業（株）
保温材（岩綿）	内外アスベスト（株）、ニチアス（株）、日東紡績（株）
生ゴミ処理装置	東陶機器（株）、積水化学工業（株）、（株）テラルテクノサービス、九州松下電器（株） クリーンテック（株）
厨房器具	秋元調理機器（株）、クリナップ（株）、三晃工業（株）、東洋設備工業（株）、日本調理機（株） フジマック（株）、村上ステンレス工業（株）
計量器	愛知時計電機（株）、（株）金門製作所、大成機工（株）、リコーエレメック（株）

revisions
・設計条件は機器選定のための条件とする。
・図面に記載される型番は、参考型番とする。

松田平田・丸川設計共同企業体
MHS 松田平田　丸川設計

project no. A3693　つくば外国人研究者用宿舎（仮称）機械設備工事
date 01.05.　drawn by　checked by
特記仕様書
scale No Scale
空調・衛生 001

A1
G/A3693-ENGTO/ｳｴﾀﾞ/KR/KP/PLAN/KRFP001A

番号	工事項目		建築	電気	空調	衛生	別途	備考
1	共通	・仮設電力・電話・上水道の使用料金、プロパン・ガスの基本料金・使用料金	○	○	○	○		
		・本設電力・電話・上下水道・ガスの引渡しまでの基本料金					○	
		・本設電力・電話・上下水道・ガスの引渡しまでの使用料金	○	○	○	○		
		・四上引込み工事費	○	○	○	○		
		・工事上の各種申請・届出費用	○	○	○	○		
		・テレビ電波障害対策工事					○	
2	基礎・床	・各種補用・コンクリート製床上基礎及び仕上	○					
		・四上　鉄骨製床上基礎・アンカーボルト取付		○	○	○		
		・四上　床補強及び床下基礎	○					
		・四上　搬入用九場・フック	○					
3	貫通孔	・補強を要しない床及壁コンクリート貫通，埋入	○	○	○	○		
		・補強を要する床及壁コンクリート貫通，埋入	○					
		・鉄骨梁貫通スリーブ及び補強	○					
		・補強を要しない鉄筋コンクリート造貫通スリーブ	○	○	○	○		
		・補強を要する鉄筋コンクリート造貫通スリーブ鉄筋補強	○					
		・貫通部スリーブ孔埋め	○	○	○	○		
		・ダクト・パイプの防水貫通部の補修	○					
		・LGS下地壁貫通スリーブの切込・補強	○					
		・ボード張及ALC壁貫通スリーブの切込・補強	○					
		・補強を要さないボード張切込		○	○	○		
		・調板パネルの切込・補強	○					
		・特殊仕上（大理石・金属板等）の壁・床等の穴明・補修	○					
4	天井開口	・墨出し	○	○	○	○		
		・穴明け、開口増強	○					
5	点検口及タラップ	・壁、天井、床、点検口	○					
		・マンホール蓋	○			○		
		・床下点検用タラップ	○					
6	給排気	・コンクリートダクト、給排気等	○					
		・壁付ガラリ、ドアガラリ、給排気ガラリ（防虫ネット共）	○					
		・吹出口、吸込口	○		○			
		・排気スリット	○					
		・住戸内吹出口グリル			○			
7	給排水	・給水引込管等				○		
		・雨水配水管、竪樋	○					
		・雨水側で躯体利用以外のもの				○		
		・ディスポーザー処理槽の排水設備				○		
		・ガソリントラップ				○		
		・ガソリントラップ以後の配管				○		
		・排水溝・側及び蓋・グレーチング	○					
		・排水溝・側以後の配管				○		
		・空調機器ドレン管			○			
		・フロアードレイン				○		
		・ルーフドレイン	○					
		・機器より排水溝への配管接続			○	○		
		・流し台等の排水接続				○		
		・外部設備引込側・マンホール				○		
		・受水槽				○		
		・四上　基礎	○					
8	動力関係	・各種器への電源供給		○				
		・動力制御盤		○				
		・四上　二次側配管配線		○	○	○		
		・電気マンホール・ハンドホール		○				
9	空調機械室ファンルーム	・遮音工事	○					
		・シンダーコンクリート	○					
		・防振装置			○			

番号	工事項目		建築	電気	空調	衛生	別途	備考
10	消火設備	・消火栓本体（防災機器取付スペースを含む）及び取付				○		
		・防災機器の箱体組込		○		○		
		・消火ポンプ起動盤				○		
		・消火設備の制御、監視用配管配線				○		
		・地消化設備、既制御盤・操作盤・二次側配線配管				○		
		・埋込型消火器ボックス	○					
		・消火器	○					
11	防排煙設備	・煙感知器連動シャッター用レリーズ取付	○					
		・煙感知器連動防煙垂壁用レリーズ取付	○					
		・煙感知器連動扉用レリーズ取付		○				
		・四上用開口切込補強	○					
		・煙感知器連動制御・煙感知器及配管配線		○				
		・自然排煙口	○					
		・排煙口の地廻室匠仕上げ	○					
		・排煙口手動開放装置及びワイヤー配線	○					
		・防災監視盤		○				
		・防災盤よりる監視盤、制御盤への配管配線		○				
		・空調機器停止インターロック		○	○			
12	自動扉	・駆動装置、検出装置または操作面	○					
		・四上壁の配管配線	○					
		・電源用一次側配管配線		○				
13	電動シャッター	・電動装置、制御盤	○					
		・四上壁の配管配線	○					
		・電動装置までの一次側電源用配管配線		○				
14	防犯監視	・非接触式センサー取付		○				
		・テンキー電込インターホンシステム		○				
		・電気錠	○					
15	誘導灯	・誘導灯、配管配線		○				
		・壁面穴明け、器具取付用下地	○					
16	各種設備	・清水ポンプ及び据付け				○		
		・四上　接地工事		○				
		・動力制御盤		○				
		・四上　用二次側配管配線				○		
		・空調自動制御盤			○			
		・四上　用二次側配管配線			○			
		・フロートスイッチ用配管配線				○		
		・運管計器上器体への接続及び接地工事	○					
		・電極棒及び取付け				○		
17	電話設備	・電話交換機設置		○				
		・四上用配管		○				
		・四上用配線		○				
		・電話機（住戸用）	○					
		・電話機（共用室）		○				
		・公衆電話					○	

番号	工事項目		建築	電気	空調	衛生	別途	備考
18	昇降機	・昇降路の施造	○					
		・各階出入口三方伴、位置表示器取付用開口部の仮伴穴明け	○					
		・各階機器取付後の壁、床、天井の仕上げ	○					
		・ピットの防水仕上	○					
		・動力用及び照明用電源の引込		○				
		・接地線の引込		○				
		・ピット内点検用コンセント設置		○				
		・煙感知器設置		○				
		・停電時火災時の開閉リレー接点の引込	○					
		・放送用線の引込		○				
		・エレベーター監視盤供給取付	○					
		・エレベーターインターホン供給取付	○					
		・監視盤及びインターホン用昇降路外配管		○				
		・四上　配線		○				
		・出入口待取付	○					
		・出入口待周囲のモルタル詰	○					
		・ドアー敷居受台床持出	○					
		・ピット内点検タラップ	○					
		・レール取付用中間ビーム	○					
		・ＥＶ昇降路吊りフック取付	○					
		・昇降路内仮設	○					
19	便所	・衛生器具取付、配管接続				○		
		・洗浄便器取付				○		
		・ダクト及び配管配線			○			
		・換気ファン			○			
		・自動節水センサー取付け				○		
		・四上電源		○				
		・ペーパーホルダー、タオル掛け				○		
		・身障者用便所の衛生器具				○		
		・身障者用便所手すり				○		
		・車椅子用鏡及び既製鏡				○		
		・洗面カウンター	○					
		・洗面カウンター縁	○					
		・湯沸器（電気温水器）				○		
		・四上　電源配管配線		○				
		・洗面器、陶器流し				○		
		・水セッケン入れ				○		
20	湯沸室	・既製流し台、吊戸棚（蛍明BOX付）	○					
		・吊戸棚上部排気グリル			○			
		・湯沸器（電気温水器）				○		
		・四上　電源配管配線		○				
		・排水金物への配管接続				○		
21	厨房・台所	・集会室・交流サロン内厨房器具及び据付工事	○					
		・四上　配管接続				○		
		・排気フード	○					
		・排気フードファン・ダクト接続			○			
		・住戸台所システムキッチン	○					
		・住戸レンジフード・フードファン	○					
		・住戸レンジダクト取付			○			
22	内装工事	・ＯＡフロアパネル切込	○					
		・四上コンセント		○				
		・床根巾・パネル廻込				○		
		・四上　捨貼合板及び床仕上	○					
23	浴室ユニットバス	・浴槽（フタ付）	○					
		・四上　水栓・シャワー器具及接続	○					
		・ユニット本体及び据付	○					
		・ユニット内の配管配線	○					
		・ユニット外の配管配線		○	○	○		
		・洗濯機パン				○		
24	ブラインド カーテン スライディングウォール	・手動ブラインド及び取付	○					
		・電動ブラインド及び取付	○					
		・四上の一次側配管配線		○				
		・二次側配管配線	○					
		・ブラインド・カーテンボックス	○					
		・カーテンレール	○					
		・カーテン	○					
		・スライディングウォール	○					

番号	工事項目		建築	電気	空調	衛生	別途	備考
25	耐震補強その他	・耐震補強用鋼つなぎ、ブラケット等			○	○		
26	消火水槽 処理槽	・水槽躯体（雰囲気も）・仕上・防水	○					
		・点検用マンホール・タラップ	○					
		・処理層点検用マンホール・タラップ				○		
		・槽内の通気立上げとベントキャップ				○		
		・初期水張り				○		
		・水中ポンプ				○		
		・水中ポンプ防水ケーブル				○		
		・四上　制御盤への接続			○			
27	サイン関係	・サイン本体	○					
		・サイン基礎、表示のベースパネル	○					
		・各種表示（室名、案内板含む）	○					
		・設備の表示版（危険物等）			○	○		
		・サイン本体への電源供給工事			○			
		・出庫表示及び基礎	○					
		・四上への電源供給工事			○			
28	外構	・建屋廻り犬走り及縁石	○					
		・構内道路及び駐車場舗装	○					
		・駐車場白線、車止め	○					
		・フェンス	○					
		・屋外排水溝及びグレーチング	○					
		・集水桝及び蓋				○		
		・Ｌ型溝溝及び改修	○					
		・化粧マンホール				○		
		・四上仕上	○					
		・掲示ボール	○					
		・公道Ｕ字溝改修	○					
		・駐車場ゲート及び非接触式センサー		○				
		・四上用基礎	○					
		・ループコイル敷設		○				
29	植栽	・植栽及び客土	○					
		・四上用水栓				○		
30	家具、備品	・避難器具	○					
		・集所作業車	○					
		・造付カウンター、収納棚、整理棚	○					
		・各種自動販売機					○	
		・四上　電源供給			○			
		・四上　ドレイン及給水				○		
		・住戸内家電（テレビ、ビデオ、洗濯機、冷蔵庫、電子レンジ）	○					
		・天井、壁照明器具			○			
		・テーブルランプ、フロアーランプ	○					
		・宅配ボックス	○					
		・四上用電源			○			
		・セミナー室ー１　電気炉	○					
		・四上用電源配管配線			○			
31	視聴覚設備	・視聴覚設備機器（ビデオプロジェクター、制御架、操作卓等）			○			
		・スクリーン			○			
		・四上ボックス	○					
		・ビデオプロジェクター・天井開口及び補強	○					
		・交流サロン、テレビ・ビデオ・音響装置			○			
		・四上収納棚	○					
		・ホワイトボード	○					
		・１Ｆ集会室「音楽装置」			○			

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

19 松田平田 丸川設計

project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）機械設備工事

date 01.05. drawn by checked by

scale No Scale

工事区分表

空調・衛生

002

C:¥A3693-EMOTO¥つくば¥KIKAI¥MP¥PLAN¥KIFP001.A

TES工事区分表

	工　事　項　目	TES工事	TES工事以外		
			建築工事	衛生工事	電気工事
	＜熱源機関連＞				
1	熱源機の搬入据付工事	○			
2	熱源機下部までの一次側給水工事（バルブ含）			○	
3	バルブより熱源機接続までの給水配管工事（保温工事含）			○	
4	熱源機下部までの給湯配管工事			○	
5	熱源機下部より熱源機接続までの給湯配管工事（保温工事含）			○	
6	熱源機接続までのガス工事			○	
7	熱源機接続までの電源・アース工事				○
8	熱源機～コントロールボックス間の電線管工事	○			
9	熱源機～コントロールボックス間の通線・結線工事	○			
10	配線用ボックス取付工事（電源用）				○
11	配線用ボックス取付工事（操作線用）	○			
12	コントロールボックスの取付工事	○			
13	コントロールボックス取付用の裏ボックス工事	○			
14	ヘッダーユニット取付工事（保温材含）	○			
15	オーバーフロー管工事（ベランダ放流）	○			
16	オーバーフロー管用排水管・ホッパー工事			○	
17	熱源機用壁掛金具	○			
18	熱源機用配管カバー（H＝450）の取付工事	○			
19	アルコーブアダプター取付工事	○			
20	排気変更アダプター取付工事	○			
	＜暖冷房放熱機関連＞				
1	室内放熱器用電気コンセント及び一次側電源供給工事				○
2	壁掛型放熱器用壁補強工事（コンパネ補強）		○		
3	天井カセット型放熱器用天井枠補強工事		○		
4	隠蔽型放熱器用吸込・吹出グリル	○			
5	隠蔽型放熱器用吸込・吹出グリル取付工事及び補強工事	○			
6	室外機用一次側電源供給工事及びアース工事（接続含む）				○
7	室外機ベース工事	○			
8	室外機用架台及び取付工事（2段積架台・天井吊架台）	○			
9	冷媒配管工事	○			
10	室外機～室内機間の渡り線工事	○			
11	冷媒ガス充填工事	○			
12	スリムダクト工事	○			
13	ラッキング工事	○			
14	ドレン配管工事（ベランダ放流・専用管へ接続）			○	
15	専用ドレン管工事			○	

TES工事区分表

	工　事　項　目	TES工事	TES工事以外		
			建築工事	衛生工事	電気工事
	＜床暖房関連＞				
1	下地合板敷設工事		○		
2	温水マットの敷設工事	○			
3	温水マットの養生工事	○			
4	温水マット用連絡管工事	○			
5	ダミー合板敷設工事		○		
6	床仕上げ（フローリング及び、カーペット）工事		○		
7	床暖房コントローラ～熱源機間の電線管工事	○			
8	床暖房コントローラ～熱源機間の通線、結線工事	○			
9	床暖房コントローラー取付工事	○			
10	床暖房コントローラ取付用裏ボックス工事	○			
	＜浴室暖房乾燥機関連＞				
1	浴室暖房乾燥機の搬入据付工事	○			
2	浴室暖房乾燥機取付用アンカー工事	○			
3	浴室暖房乾燥機取付用吊りボルト工事	○			
4	浴室暖房乾燥機取付用ユニットバス開口・取付枠工事		○		
5	浴室暖房乾燥機用換気ダクト工事（接続まで）			○	
6	浴室暖房乾燥機用一時側電源・アース工事				○
7	浴室暖房乾燥機用コントロールボックス取付工事	○			
8	浴室暖房乾燥機用コントロールボックスの裏ボックス工事	○			
9	浴室暖房乾燥機～コントロールボックス間の電線管工事	○			
10	浴室暖房乾燥機～コントロールボックス間の信号線通線・結線工事	○			
11	ユニットバス天井点検口工事		○		
12	ユニットバス内物干棒取付工事		○		
	＜暖房、追焚配管工事関連＞				
1	ペアチューブ配管工事	○			
2	ペアチューブ用スリーブ工事	○			
3	ペアチューブ用スリーブ仮補修工事	○			
4	ペアチューブ用スリーブ防水工事	○			
5	ペアチューブ用防火区画貫通処理工事	○			
6	配管用ふかし工事		○		
7	他配管交差部養生工事	○			

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

120 MHS 松田平田 丸川設計

project no. A3693 ■つくば外国人研究者用宿舎（仮称）機械設備工事

date 01.05. drawn by checked by

TES工事区分表

scale No Scale

空調・衛生

003

©A3693-ENOTO/つくば/00/00/PLAN/MHFP001A

建築設計概要書

□工事名称・その他

工事名称	つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建設工事
建築主	科学技術振興事業団
（住所・氏名・電話）	〒332－0012
	埼玉県川口市本町４－１－８　川口センタービル
	理事長　中村　守孝
	048－226－5601
建物用途	共同住宅
工事種別	⊙新築　・増改築　・乙・丙工事　・別棟増築　・その他（　　）

□敷　地

敷地所在地	茨城県つくば市二の宮一丁目六番2，13，14
（地名地番・住居表示）	
用途地域の指定	・第１種低層住居専用　・第２種低層住居専用　・第１種中高層住居専用　⊙第２種中高層住居専用
	・第１種住居　・第２種住居　・準住居　・近隣商業
	・商業　・準工業　・工業　・工業専用　・指定なし
防火地域の指定	・防火　・準防火　・法第２２条の区域　⊙指定なし
日影規制	・無　・3h－2h（2h－1．5h）　⊙4h－2．5h（3h－2h）
	・5h－3h（4h－2．5h）　適用距離高さ　・1．5m ⊙4．0m
法定建蔽率	■　70％（60％角地緩和10％）　■　％（　　m^2）　■　％（　　m^2）
	■加重平均（計算根拠）　％
法定容積率	■　200％（　　m^2）　■　％（　　m^2）　■　％（　　m^2）
	■加重平均（計算根拠）　％
高度地区	⊙指定なし　・指定有り　・東京都　・横浜市　・大阪府　・その他（　　）■　種
前面道路	■北・6．00m　■西・6．00m　■南・6．00m　■　　m　■都市計画道路　・無　・有
その他の地区	・特別用途地区（　　）・美観地区　・文化地区　2種　・臨海地区
	・駐車場整備地区　・国立公園　・国定公園　・その他（　　）

□適用法制度・その他

適用法	・総合設計　・市街地住宅総合設計　・一団地認定による総合的設計
	・高度利用地区　・特定街区　・再開発地区計画
	・市街地再開発事業　・開発申請　・その他（　　）

□規　模

階　数	■地下　1　階　■地上　9　階
各部の高さ	■軒高　29．75　m　■最高高さ　30．73　m　■基礎下端　．　m
駐車台数	■自走式屋内　91　台　■自動式屋外　59台　■合　計　150 台
増築予定	⊙無　・有

□面　積

A）敷地面積	6，569．32 m^2
	■　m^2　■　地域　．　m^2　■　地域　．　m^2
B）建築面積	■　m^2　■　．　m^2　■　．　m^2
C）延床面積	■　m^2　■　．　m^2　■　．　m^2
D）駐車場面積	m^2
E）住宅用地下室	m^2
F）住宅用車庫・備庫	m^2
G）総延床面積	（C+D+E+F）　m^2
H）建 蔽 率	B/A　／　＝　％ ≦ ■許容　70 ％
I）容 積 率	C/A　／　＝　％ ≦ ■許容　200 ％

□寸　法

主な寸法	■基準階高　2，900m　■基準階天井高　2，550m
	■主なスパン　8，000m×8，000m　5，800m×10，500m　■モデュール寸法　．　mX　．　m

□外壁の工法

主な工法	⊙ソリッド工法（RC現場）　・PCカーテンウォール　⊙金属又はガラスカーテンウォール
	・規格パネル工法（ALC等）　・その他（　　）

□構　造

構造形式	⊙ラーメン　・壁式　・立体トラス　⊙無梁版　・その他（　　）
構造種別	■地下部分　⊙SRC造　⊙RC造　・その他（　　）
	■地上部分　⊙S造　⊙SRC造　⊙RC造　・W造　・その他（　　）
基礎種別	・直接基礎　・現場造成杭（　　m～　　m）　・調管杭（　　m～　　m）
	⊙PC杭（16．0m～17．0m）　・その他（　　）

□内部の主要な仕上材（住戸部分）

床	・石?石　・大理石　⊙タイルカーペット　・OAフロアー　・その他（　　）
壁	・石?石　・大理石　・スチールパネル　⊙その他（PBD下地＋難燃壁紙　）
天　井	・金属パネル　・金属成型板　・システム天井　⊙その他（壁紙貼C　）

□外部仕上

屋　根	鉄筋?合式平滑工（フッ素調板　t－0，45）－屋根9階屋根：北棟4階
（防水・仕上・断熱・防湿）	アスファルト防水　＋　防水層化粧保護板（粘着層付）【外断熱工法】　－各階階屋根
	アスファルト防水屋上緑化防水工法　－南棟、西棟9階屋上庭園、1階中庭
	アスファルト防水　＋　プラスチック製ネジジャッキ式支持脚　＋　PC平板【外断熱工法】－　－南上
	改質アスファルト防水トーチ工法　＋　モルタル＋エポキシ樹脂系白粒石舗装　－各階階段廊下（下階屋内化部分）
	ウレタン塗膜防水　－バルコニー等
笠　木	アルミ－2，5電解2次着色
	アルミ－2，5フッ素焼付塗装
庇・軒裏	アクリル樹脂プラスター骨材入りコテ塗材アクリルシリコンクリヤー
外　壁	珪土入りセメントコテ塗材（スクラッチ仕上げ及びコテタキ仕上げ）アクリルシリコンクリヤー
	アクリル樹脂プラスター骨材入りコテ塗材アクリルシリコンクリヤー
	化粧コンクリート打放し仕上げ?水塗装
開口部	アルミサッシュ，カーテンウォール：　電解2次着色（ステンカラー），フッ素樹脂焼付塗装
＜カーテンウォール サッシュ・ガラス等＞	ガラス：透明フロートガラス、透明熱線反射ガラス、型入ガラス、強化ガラス、異型ガラス、ガラスブロック
外部階段	スチール　亜鉛溶融メッキの上フッ素樹脂塗装、鉄骨下地木ルーバー
外　構	舗装：石?石　w350×t40　J&P
＜支持、基礎、内装、設備、ガラス、舗装、植栽、等＞	：乾板石　割れ風　w100，200，300×長尺（300～700）
	：インターロッキングブロック　＋　グラススペーサー
	植栽：自然石野面積み（南棟、西棟）
	：RC6t土地土入りセメントコテ塗材、シリコンクリヤー
外部金物	■手摺　鉄骨下地木手すり（集成材防火処理），SUS，ST亜鉛溶融メッキの上フッ素樹脂塗装
	■タラップ　SUS
	■丸環　SUS
	■ルーフドレン　鋳鉄製
	■樋　SGP　フッ素樹脂塗装　SUS
	■ガラリ　アルミ電解2次着色
	■面格子格子　鉄骨下地木ルーバー（集成材防火処理）

□その他の工事範囲

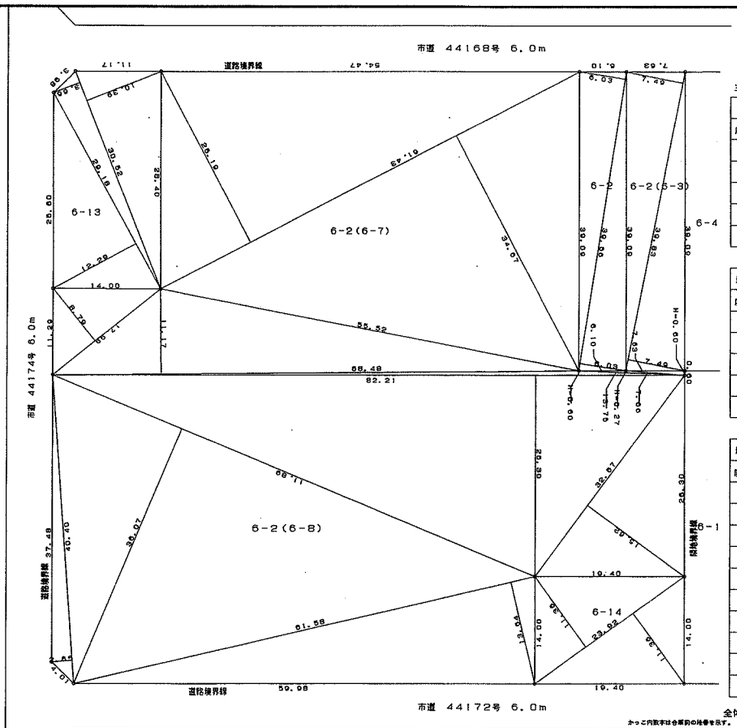
（工事区分は工事区分表に依る）

種別		本	別	備考	種別		本	別	備考
付属備品	可動家具	○			特殊施設	金庫部			
	固定家具	○				書庫部			
	什器	○				金庫室扉等の錠			
	カーテン	○		暗幕含む		映写施設	○		
	ブラインド	○				舞台装置			
	敷物	○				ダストシュート			
	郵便受	○				エレベーター	○		
	旗竿	○				エスカレーター			
	社名板・表札	○				ダムウェーター			
	表示板・サイン等	○				特殊昇降装置			
	黒板・掲示板	○				気送管			
	映写スクリーン	○				機械駐車装置			
	定盤板	○				ゴンドラ			
	厨房器具	○							
	湯沸室器具	○							
	建築照明	○			工作物その他	看板・広告板	○		
	カガミ	○				広告塔・鉄塔	○		
	消火器BOX	○				煙干	○		
						屋外焼却炉			
						屋外電場			
						遊具器具	○		8ヶ所
						解体工事			
						既存建物移設			
						工作物移設			
						樹木移設			
						電柱移設		○	
						能消改修工事	○		
						防火水槽	○		60m³コンクリート二次製品

案内図　1：5000



地積図　1：400





三斜求積表

地番　6－2		
底辺	高さ	倍面積
39．56	6．03	238．5468
39．56	6．03	238．5468
	倍面積	477．0936
	面積	238．54
	地積	238　m^2

地番　6－2（6－3）		
底辺	高さ	倍面積
39．83	7．49	298．3267
39．83	7．49	298．3267
	倍面積	596．6534
	面積	298．32
	地積	298　m^2

地番　6－2（6－7）		
底辺	高さ	倍面積
61．43	25．19	1547．4217
61．43	34．67	2129．7781
68．48	11．17	764．9216
17．99	8．79	158．1321
92．21	0．60	49．3260
13．75	0．27	3．7125
7．66	0．60	4．5960
	倍面積	4657．8880
	面積	2328．94
	地積	2328　m^2

地番　6－2（6－8）		
底辺	高さ	倍面積
82．21	26．30	2162．1230
32．67	15．62	510．3054
68．11	36．07	2456．7277
61．58	13．64	839．9512
40．40	2．65	107．0600
	倍面積	6076．1673
	面積	3038．08
	地積	3038　m^2

地番　6－13		
底辺	高さ	倍面積
30．52	10．39	317．1028
30．52	3．66	111．7032
29．18	12．29	358．6222
	倍面積	787．4282
	面積	393．71
	地積	393　m^2

地番　6－14		
底辺	高さ	倍面積
23．92	11．36	271．7312
23．92	11．36	271．7312
	倍面積	543．4624
	面積	271．73
	地積	271　m^2

全体敷地面積　238．54＋298．32＋2328．94＋3038．08＋393．71＋271．73
＝ 6569．32 m^2

かっこ内数字は合筆前の地番を表す。

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田　丸川設計

project no.	A3693　■つくば外国人研究者用宿舎（仮称）機械設備工事
date	01．05．
drawn by	
checked by	
建築概要・敷地案内図	
scale	1/5000、1/500
空調・衛生	004

A1

C:/A3693-ENOTO/ラクエ/MH/NP/PLAN/AKNFP001A

機 器 一 覧 表 （衛生）

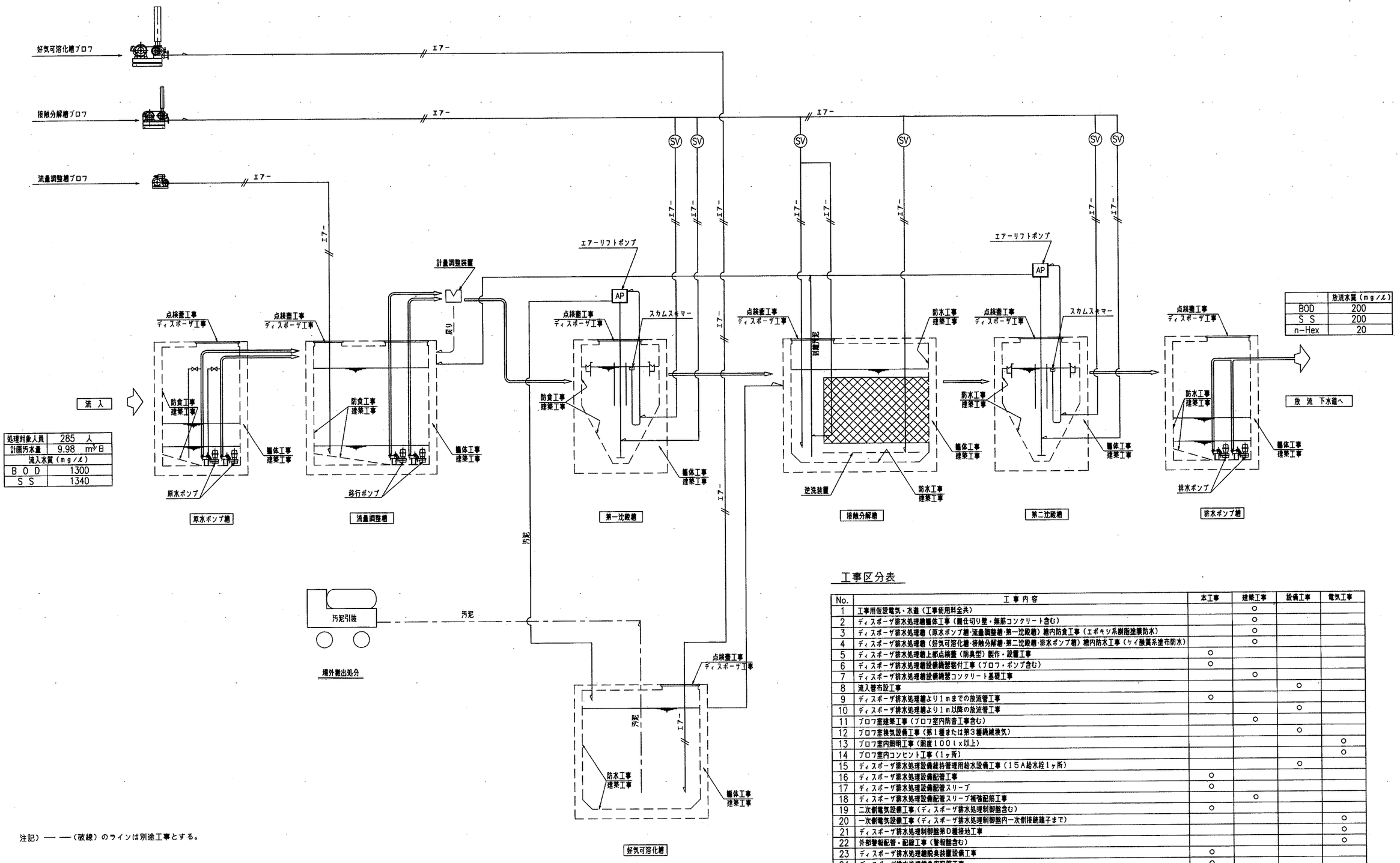
記号	機器名称	台数	仕様	電源 相	電圧	KW	起動	設置場所 階	室名	備考
WT－1	受 水 槽	1	型 式： 鋼板製中仕切付（給水車対応型）					B1F	受水槽室	
			呼称水量： ４８ ｍ^ｕ３							
			有効水量： ３１ ｍ^ｕ３							
			外形寸法： ４０００ × ６０００ × ２０００Ｈ							
			耐 震： １．０Ｇ							
			付 属 品： タラップ×２組、通気管、架台（内部組込）、							
			マンホール６００ ×３組（鍵付）							
			防 食： 内外面エポキシ樹脂焼付ライニング							
			（内面０．４ｔ以上、外面０．２ｔ以上）							
P－1	加圧給水ポンプユニット	1	型 式： インバーター制御方式（２台並列３台ローテーション）	3	200	3.7×2	直入	B1F	受水槽室	
			容 量： ４０φ × ８０φ × ５４０ ｌ／ｍｉｎ × ４８ｍ							
			電動機４極式、内面ナイロンコーティング							
			付 属 品 ： 制御盤（電極切替機能、電磁弁水位制御、警報用外部接点付）							
			圧力タンク、圧力スイッチ、							
			フローリレー、逆流防止機能、標準付属品							
P－2	排水ポンプ	4	型 式： 水中ポンプ	3	200	0．4	直入	B1F	受水槽室下排水槽	
			容 量： ５０φ × １００ ｌ／ｍｉｎ × ５ｍ						受変電室下排水槽	
			付 属 品： 水中ケーブル、相フランジ							
GW－1	ガス式瞬間湯沸器	1	型 式： ＰＳ設置型（FF型）					1F	管理人室	
			給湯能力： ２４号							
			用 途： 給湯・風呂追いだき・自動湯張							
			付 属 品： リモコン							
GW－2	ガス式瞬間湯沸器	1	型 式： 屋内壁掛型（ＦＦ型）					1F	集会室	
			給湯能力： １６号							
			用 途： 給湯							
			付 属 品： リモコン							

記号	機器名称	台数	仕様	電源 相	電圧	KW	起動	設置場所 階	室名	備考
EW－1	電気貯湯式湯沸器	4	型 式： 台下設置型	1	200	2．1	直入	B1F	清掃員更衣室	参考型番
			貯 湯 量： ２０ リットル					1F	管理事務室	EW－２０N３
			付 属 品： ウィークリータイマー、減圧弁					1F	カウンセリング室	
EW－2	電気貯湯式湯沸器	6	型 式： 床置型	1	100	1．5	直入	1F	便所１	
			貯 湯 量： ２０ リットル					1F	便所２	
			付 属 品： ウィークリータイマー、減圧弁					9F	便所	
EW－3	電気貯湯式湯沸器	1	型 式： 床置型	1	200	2．０	直入	9F	交流サロン	参考型番
			貯 湯 量： ２０ リットル							REK22C2
			付 属 品： ウィークリータイマー、減圧弁							
DS－1	ディスポーザ	184	型 式： 屋内設置型（自動運転・自動給水方式）	1	100	０．７		1F	集会場	参考型番
			処理能力： ６００ ｇ／ｍｉｎ					9F	交流サロン	NJ6200A
			備 考： 排水処理設備と一体で認定					各階	住戸	

衛 生 器 具 表

器具名	品名（参考型番）	主附属品 ＼ 階・室名	B1F 清掃員更衣室	駐車場地流し	駐車場	受水槽室	1F 便所（1）男子	女子	身障者	便所（2）男子	女子	管理人室便所	管理人室洗面所	管理人室キッチン	管理事務室ミニキッチン	カウンセリングルーム	ダストルーム	中庭 地流し	屋上庭園	2F 屋上庭園	6F 屋上	9F 便所 男子	女子	身障者	交流サロン	水屋	屋上庭園	塔屋 屋上	住戸 共有住戸Ａ Ｄタイプ	単身者住戸イ ハタイプ	合計
腰掛式大便器	C480	TV750SR ． TCF561MS3 ． YH120M									2									2	2										6
腰掛式大便器	C780B 5791B	TS791SA, TCF561R, T53S75, エロンゲート、セフィロンテクト加工															3											80			83
腰掛式大便器	C780BP	TCF776 ． TS116MK										1																			1
身障者用大便器	C48AS	TU141Q, TS116MDAY, T110BML1, T110BC1, T110BM8							1													1									2
		T110BM1 ． T110BM3 ． TCF561M ． TV740BR																													
小 便 器	UFS620CE						2			2										2											6
洗 面 器	L548	TLP31UIX ． TS127					2	2		2	2									2	2										12
洗 面 器	L548	TLF30UDX																													
洗 面 器	L525	TLP31UX											1																		1
身障者洗面器	L103CF	TE84Q ， LM531							1													1									2
腰掛式大便器	C454PV						1	2																							3
ペーパータオルホルダー	YKL110						1	1		1	1									1	1										6
掃 除 流 し	SK22A	T23AE20					1			1											1										3
洗濯機パン	PWP800S	TW245X																											80		80
洗濯機パン	PWP640S	TW245X																												104	104
水 栓																															
混合栓	TKG31UPX													1																	1
単水栓	T200S13	ホーム水栓 回転型		1		1										3			1						3		1				10
電源用混合水栓	T230UDX		1												1																2
横水栓	T37S13																1	1						1							3
散水栓	T28AH13	床埋込型散水栓ＢＯＸ（植栽対応）			6																										6
散水栓	T28AH13	床埋込型散水栓ＢＯＸ（防火水槽補給水対応）			1																										1
散水栓	T28AH13	壁埋込型散水栓ＢＯＸ（洗車対応）			1																										1
熱湯用単水栓	T36FDU13H																					1									1

※ 大便器はセフィロンテクト加工（相当）とする。



注記）── ──（破線）のラインは別途工事とする。

工事区分表

No.	工事内容	本工事	建築工事	設備工事	電気工事
1	工事用仮設電気・水道（工事使用料金共）		○		
2	ディスポーザ排水処理槽躯体工事（面仕切り壁・無筋コンクリート含む）		○		
3	ディスポーザ排水処理槽（原水ポンプ槽・流量調整槽・第一沈殿槽）槽内防食工事（エポキシ系樹脂塗膜防水）		○		
4	ディスポーザ排水処理槽（好気可溶化槽・接触分解槽・第二沈殿槽・排水ポンプ槽）槽内防水工事（ケイ酸質系塗布防水）		○		
5	ディスポーザ排水処理槽上部点検蓋（防臭型）製作・設置工事	○			
6	ディスポーザ排水処理槽設備機器据付工事（ブロワ・ポンプ含む）	○			
7	ディスポーザ排水処理槽設備機器コンクリート基礎工事		○		
8	流入管布設工事			○	
9	ディスポーザ排水処理槽より１ｍまでの放流管工事	○			
10	ディスポーザ排水処理槽より１ｍ以降の放流管工事			○	
11	ブロワ室建築工事（ブロワ室内防音工事含む）		○		
12	ブロワ室換気設備工事（第１種または第３種機械換気）			○	
13	ブロワ室内照明工事（照度１００ｌｘ以上）				○
14	ブロワ室内コンセント工事（1ヶ所）				○
15	ディスポーザ排水処理設備維持管理用給水設備工事（１５Ａ給水栓1ヶ所）			○	
16	ディスポーザ排水処理設備配管工事	○			
17	ディスポーザ排水処理設備配管スリーブ	○			
18	ディスポーザ排水処理設備配管スリーブ補強配筋工事		○		
19	二次側電気設備工事（ディスポーザ排水処理制御盤含む）	○			
20	一次側電気設備工事（ディスポーザ排水処理制御盤内一次側接続端子まで）				○
21	ディスポーザ排水処理制御盤第Ｄ種接地工事				○
22	外部警報配管・配線工事（警報盤含む）				○
23	ディスポーザ排水処理槽脱臭装置設備工事	○			
24	ディスポーザ排水処理槽臭突配管工事	○			
25	水張り試験		○		
26	試運転	○			
27	水張り及び試運転用水		○		

revisions
・
・

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田 丸川設計

project no. ■ つくば労働人研究管理組合（仮称）現場技術工事

date / drawn by / checked by

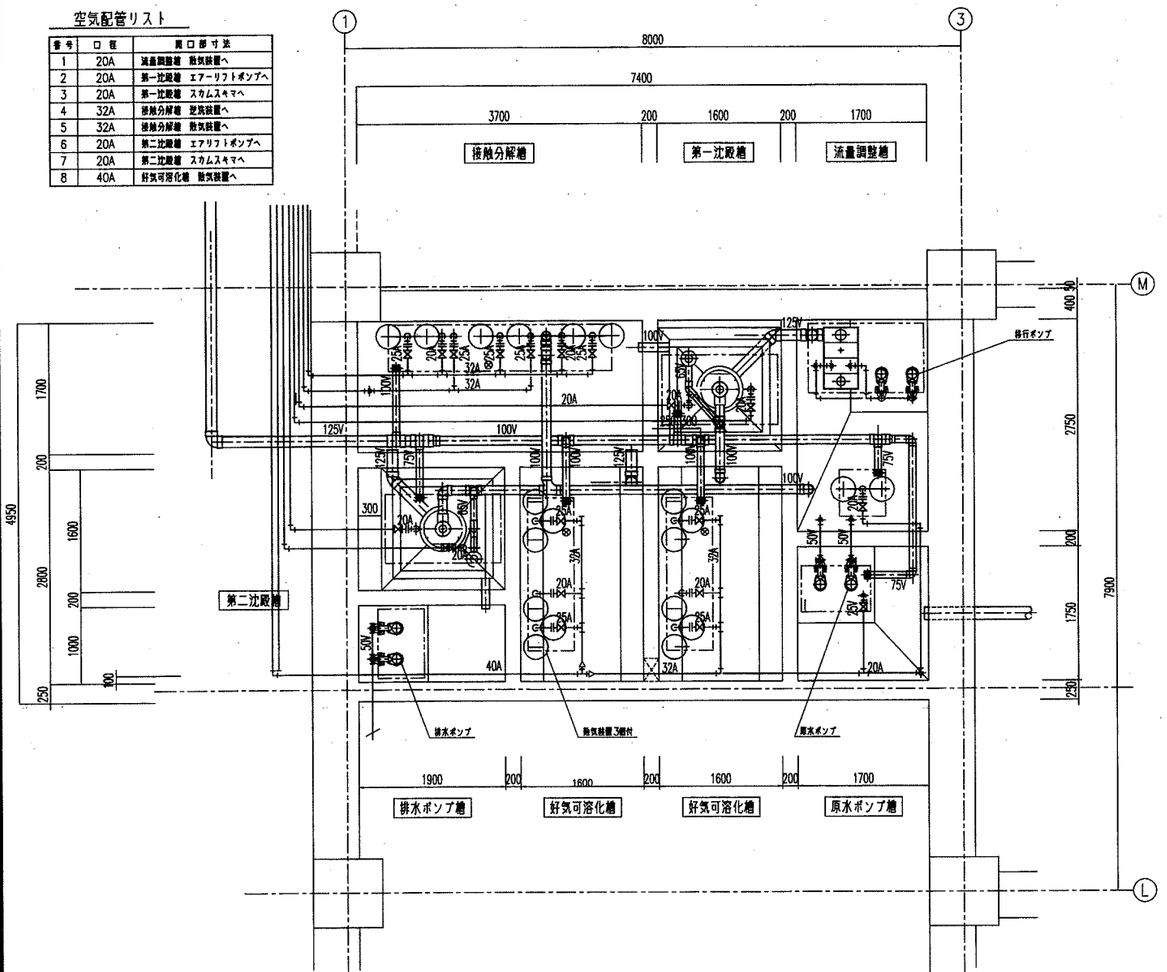
ディスポーザ排水処理設備

scale 1:40

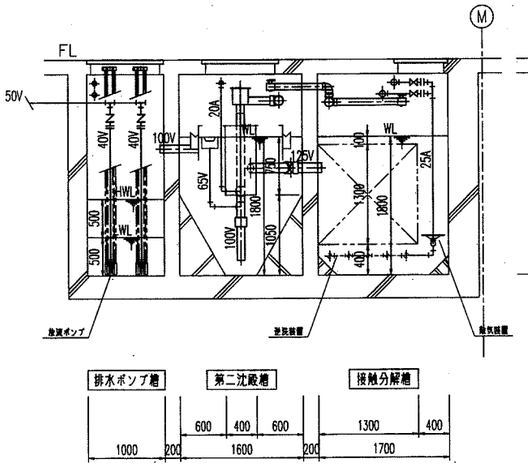
新生 201

空気配管リスト

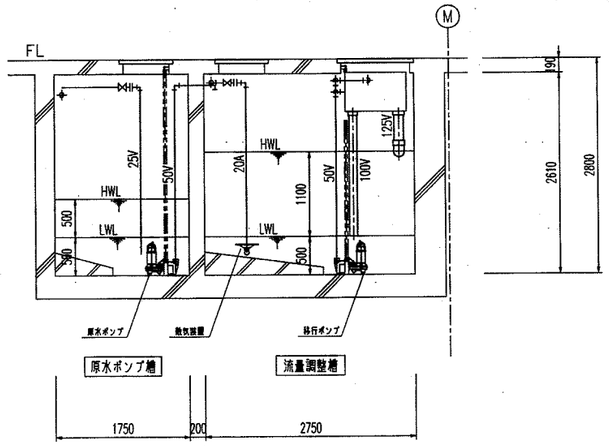
番号	口径	開口部寸法
1	20A	流量調整槽 散気装置へ
2	20A	第一沈殿槽 エアーリフトポンプへ
3	20A	第一沈殿槽 スカムスキマへ
4	32A	接触分解槽 逆洗装置へ
5	32A	接触分解槽 散気装置へ
6	20A	第二沈殿槽 エアリフトポンプへ
7	20A	第二沈殿槽 スカムスキマへ
8	40A	好気可溶化槽 散気装置へ



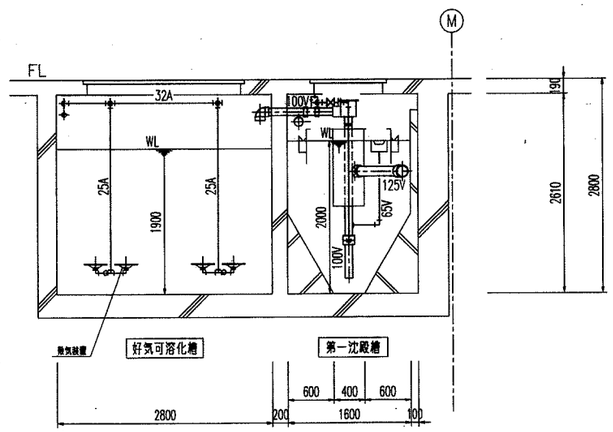
槽内平面図 S=1/40



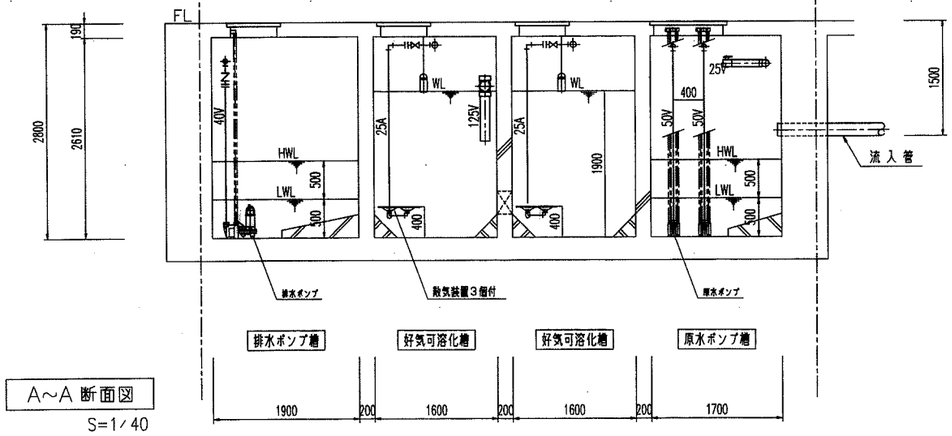
C～C 断面図 S=1/40



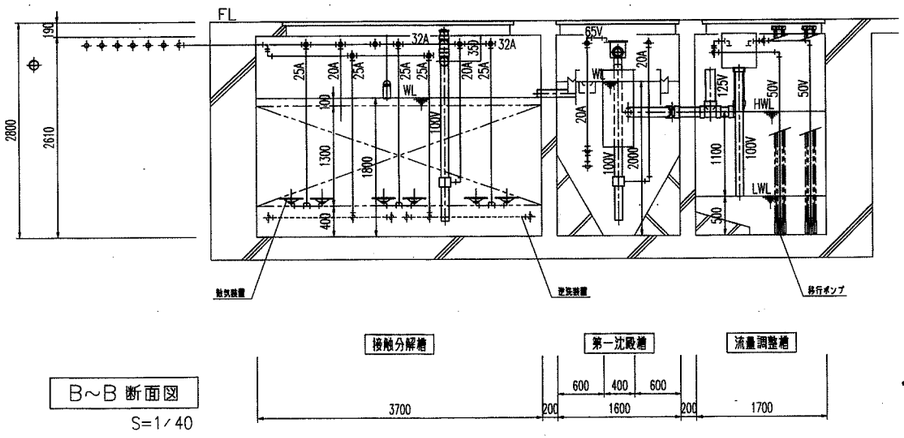
E～E 断面図 S=1/40



D～D 断面図 S=1/40

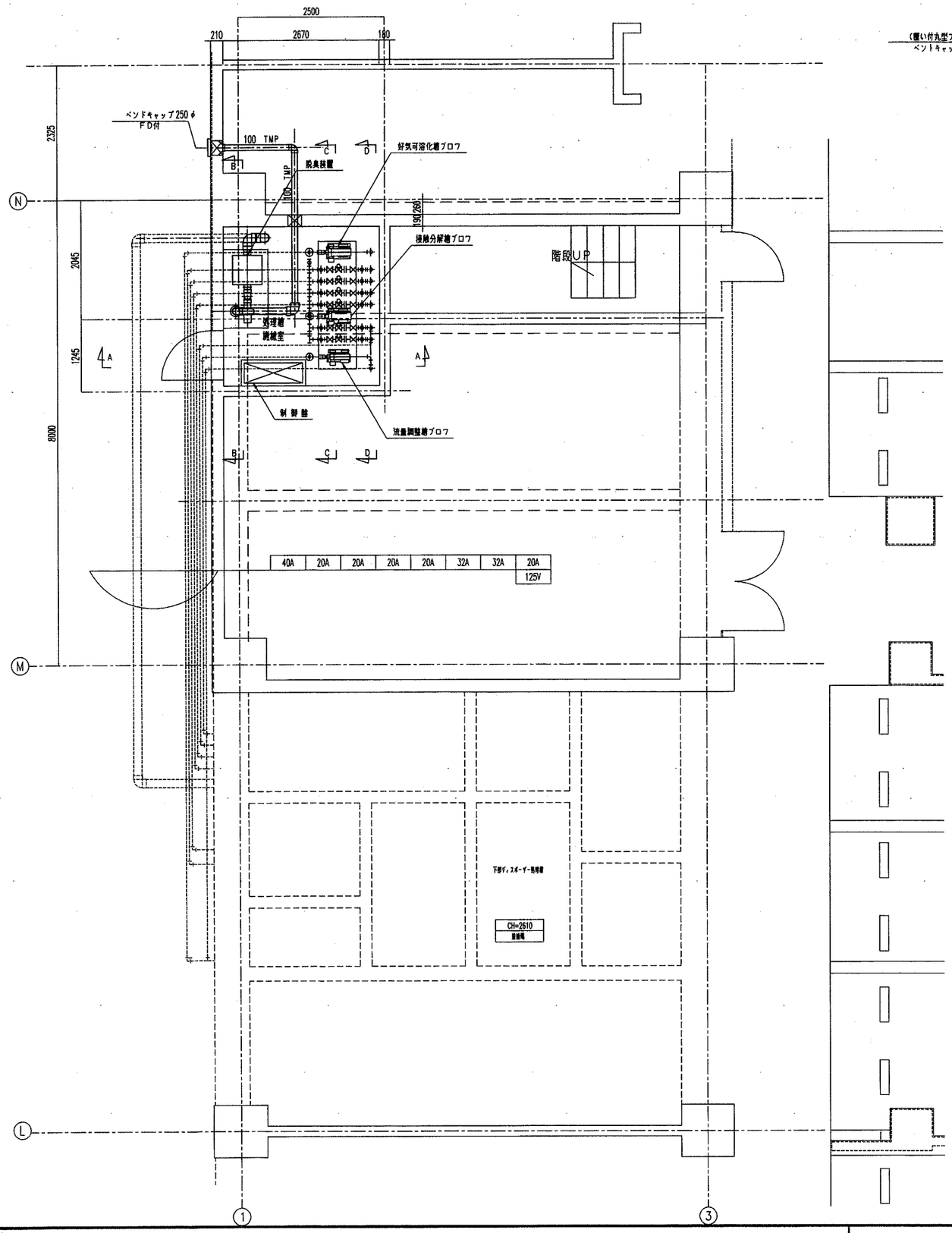


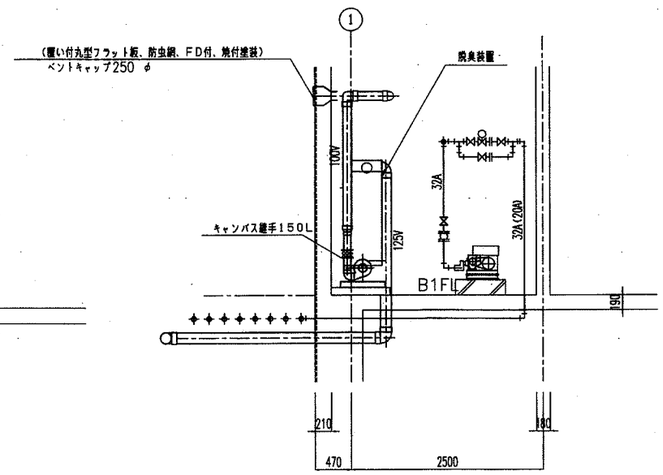
A～A 断面図 S=1/40



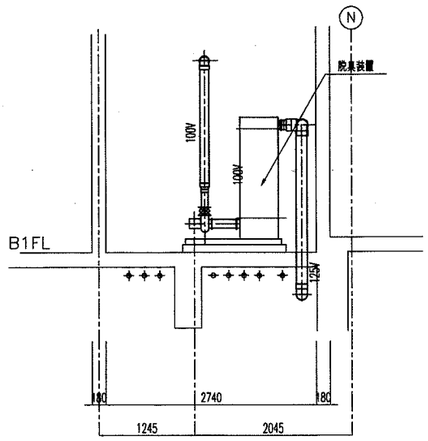
B～B 断面図 S=1/40

松田平田・丸川設計共同企業体		project no.	■ つくば外国人研究者用宿舎（管内）増築電気工事	ディスポーザ排水処理設備	衛生
124 MHS 松田平田	丸川設計	date	drawn by / checked by	scale 1:40	202

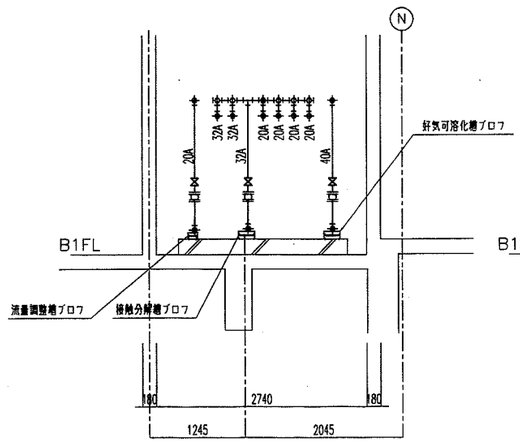




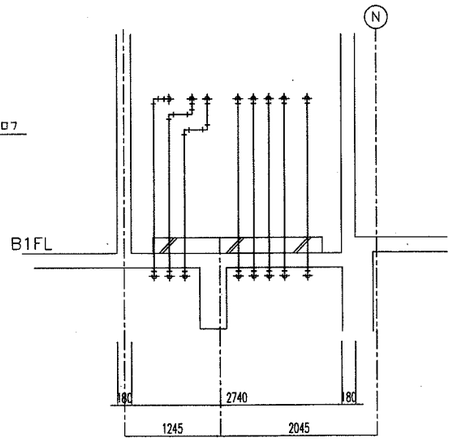
A~A 断面図 S=1/40



B~B 断面図 S=1/40



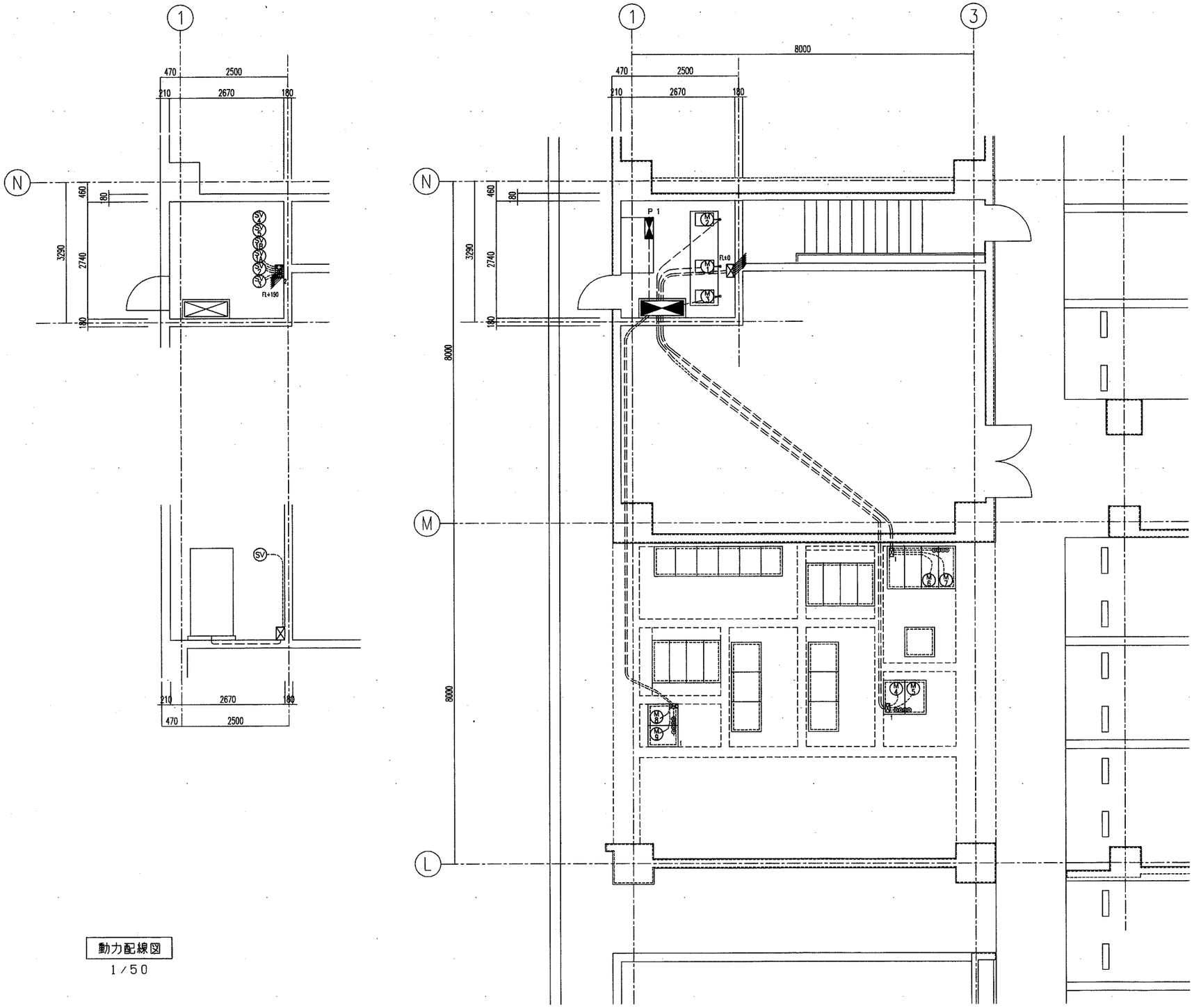
C~C 断面図 S=1/40



D~D 断面図 S=1/40

revisions		松田平田・丸川設計共同企業体	project no.	■ つくば外国人研究者宿舎（仮称）機械設備工事	ディスポーザ排水処理設備 3
		松田平田 丸川設計	date	drawn by / checked by	scale 1:40

新生 203



動力配線図

1/50

	機器名称	容量	電線・ケーブル	電線管
M 1	接触分解槽ブロワ	1.5 kW	EM-CE 2^{P}- 4^{C}	(22)
M 2	好気可溶化槽ブロワ	1.5 kW	EM-CE 2^{P}- 4^{C}	(22)
M 3	調整調整槽ブロワ	0.3 kW	EM-CE 2^{P}- 4^{C}	(22)
M 4	No.1 原水ポンプ	0.25 kW	EM-CE 2^{P}- 4^{C}	(28)
M 5	No.2 原水ポンプ	0.25 kW	EM-CE 2^{P}- 4^{C}	
FS	原水ポンプ槽フロートスイッチ	x 4	EM-CEE 2^{P}- 5^{C}	(22)
M 6	No.1 移行ポンプ	0.25 kW	EM-CE 2^{P}- 4^{C}	(28)
M 7	No.2 移行ポンプ	0.25 kW	EM-CE 2^{P}- 4^{C}	
FS	流量調整槽フロートスイッチ	x 4	EM-CEE 2^{P}- 5^{C}	(22)
M 8	No.1 排水ポンプ	0.25 kW	EM-CE 2^{P}- 4^{C}	(22)
M 9	No.2 排水ポンプ	0.25 kW	EM-CE 2^{P}- 4^{C}	(22)
FS	排水ポンプ槽フロートスイッチ	x 4	EM-CEE 2^{P}- 5^{C}	(22)
SV 1A	散気電磁弁		EM-CEE 2^{P}- 3^{C}	
SV 1B	逆洗電磁弁		EM-CEE 2^{P}- 3^{C}	(28)
SV 2	第一沈殿槽スカムスキマ電磁弁		EM-CEE 2^{P}- 3^{C}	
SV 3	第一沈殿槽エアリフト電磁弁		EM-CEE 2^{P}- 3^{C}	
SV 4	第二沈殿槽スカムスキマ電磁弁		EM-CEE 2^{P}- 3^{C}	(28)
SV 5	第二沈殿槽エアリフト電磁弁		EM-CEE 2^{P}- 3^{C}	
P 1	脱臭装置	0.5 kW	EM-CE 2^{P}- 4^{C}	(28)
	脱臭装置警報		EM-CEE 2^{P}- 2^{C}	

注 記

明記なき電線管はPF管とする。

⊠ 1 PB 200 x 200 x 100 VE

⊠ 2 PB 300 x 300 x 200 VE

remarks

・設計条件は別図表示ある場合を除く。

・図面に記載なき事項は、各々管理とする。

松田平田・丸川設計共同企業体

126 [redacted] 松田平田 丸川設計

project no. ・つくば竹園人研究者用宿舎（宿舎）機械設備工事

date | drawn by | checked by

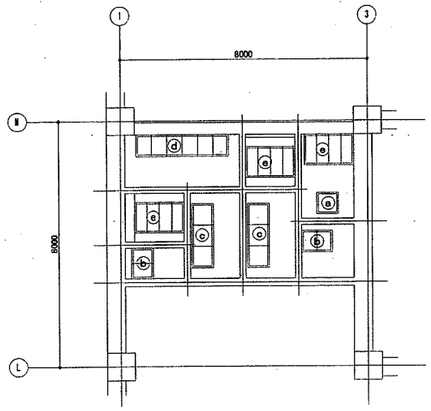
ディスポーザ排水処理設備

scale 1:50

衛生

204

KEYPLAN



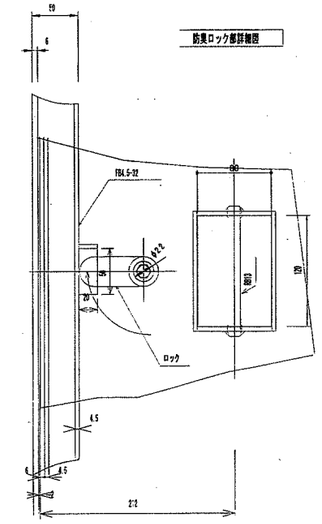
点検蓋リスト

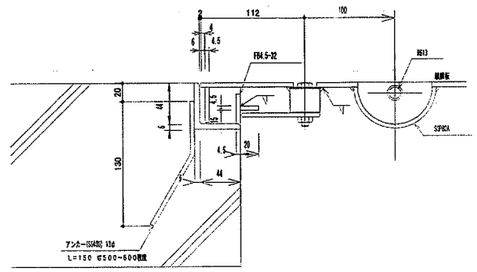
番号	開口 L	開口 W	数量	受枠寸法 (L)	受枠寸法 (W)	受枠寸法 P	点検蓋 (L2)	点検蓋 (W2)	数量	単重量 kg/枚	枠重量 kg/箇所	備考
ⓐ	600	600	1	700	700	——	684	684	1	25	16	歩行用 500kgf/m 以下
ⓑ	600	900	2	700	1000	500	685	492	4	19	24	〃
ⓒ	600	2000	2	700	2100	700	684	692	4	25	41	
								703	2	25		〃
ⓓ	600	2900	1	700	3000	500	685	492	2	19	63	
								500	4	19		〃
ⓔ	900	1500	3	1000	1600	400	984	392	6	22	49	〃
								400	6	22		〃

材質

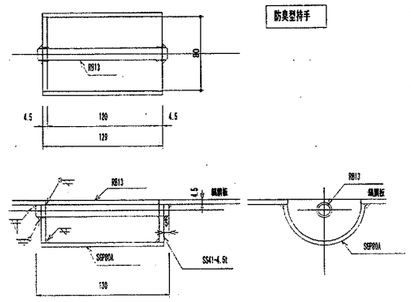
受枠・点検蓋共（SS400）タールエポキシ樹脂塗装とする。

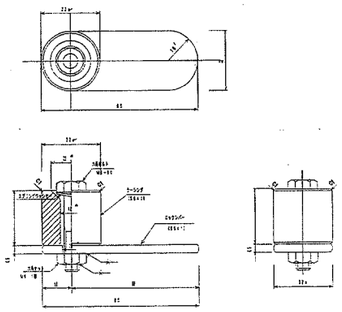
防臭ロック部詳細図





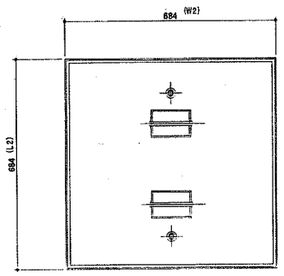
防臭型持手



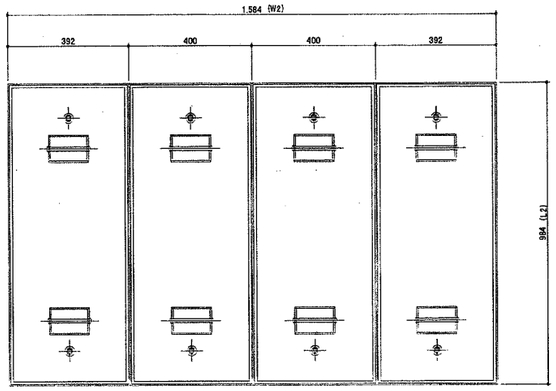


防臭型 チェッカープレート

参考例 (a)



参考例 (e)

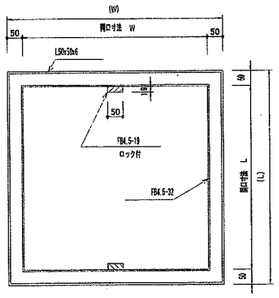




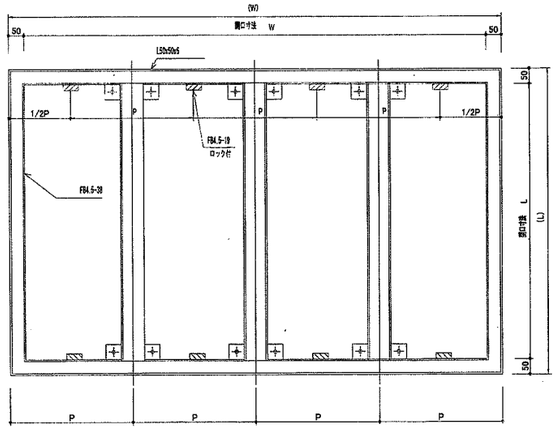


AWSロック

防臭型 チェッカープレート受枠

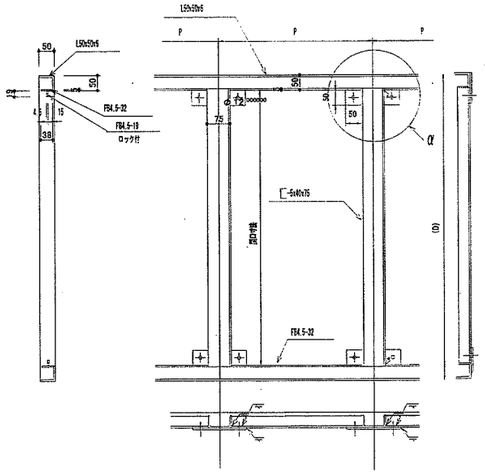


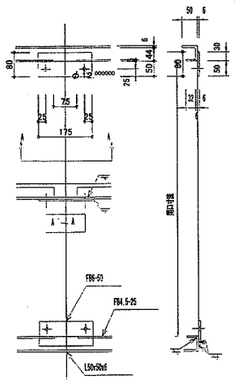
防臭型 格数重用枠



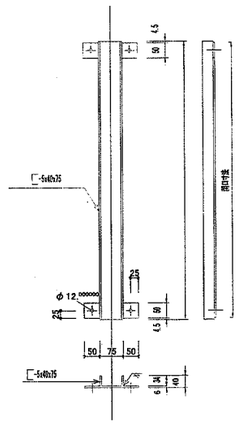
防臭型 格数重用枠

防臭型 チェッカープレート受枠





外受枠の部詳細



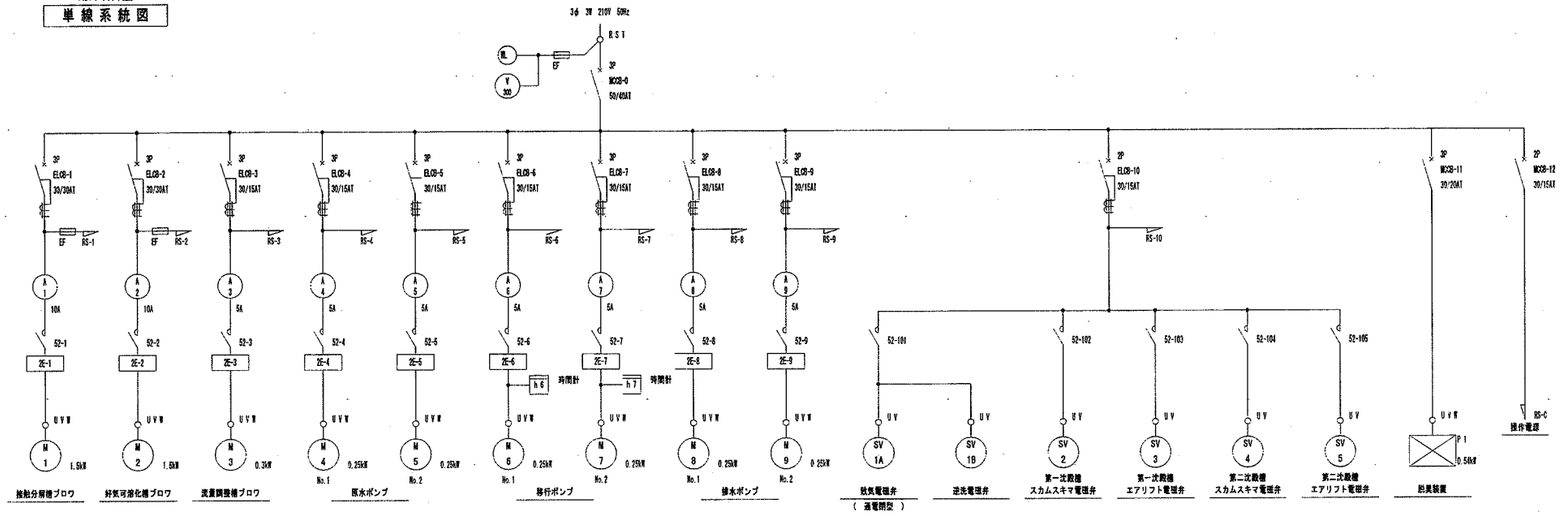
中間受枠の部詳細

revisions		松田平田・丸川設計共同企業体	project no. A3693 ： つくば外国人研究者用宿舎（仮称）機械設備工事	ディスポーザ排水処理設備 点検蓋詳細図
		12 MHS Planners, Architects & Engineers 松田平田 Ⅱ 丸川設計	date 01. 05. / drawn by / checked by	scale 1：10, 1：3
				衛生 205

D:¥A3693-EMOTO¥つくば¥ARI¥ADプLAN¥ZKHFP001A

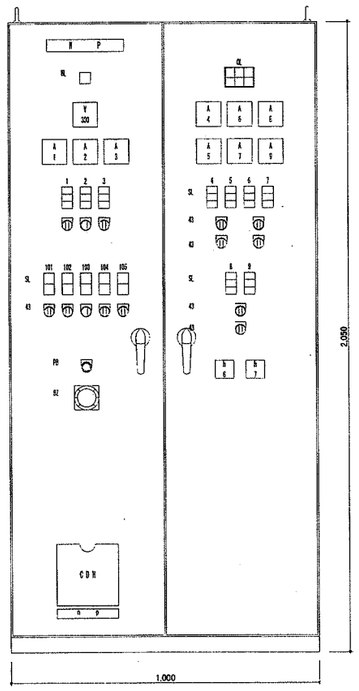
動力制御盤

単線系統図

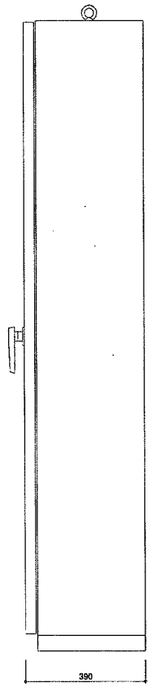


函体寸法図

1／10



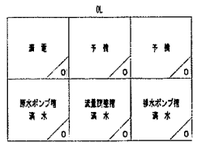
正面図

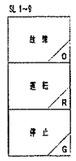


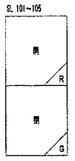
側面図

用途名板一覧

No.	主電源
EL 1	抽気分解槽ブロワ
EL 2	好気可溶化槽ブロワ
EL 3	流量調整槽ブロワ
EL 4	No.1 原水ポンプ
EL 5	No.2 原水ポンプ
EL 6	No.1 移行ポンプ
EL 7	No.2 移行ポンプ
EL 8	No.1 排水ポンプ
EL 9	No.2 排水ポンプ
EL 101	散気／逆洗切換電磁弁
EL 102	第一次散気スカムスキマ電磁弁
EL 103	第一次散気エアリフト電磁弁
EL 104	第二次散気スカムスキマ電磁弁
EL 105	第二次散気エアリフト電磁弁







機器名称		運転方法	
1	抽気分解槽ブロワ	手動－切－自動	自動＝タイムスイッチ及び電磁弁運転信号による自動運転。
2	好気可溶化槽ブロワ	手動－切－自動	自動＝タイムスイッチによる自動運転。
3	流量調整槽ブロワ	手動－切－自動	自動＝調整槽フロートスイッチ及びツインタイマーによる自動運転。
4	No.1 原水ポンプ	手動－切－自動	自動＝原水槽フロートスイッチによる自動運転。
5	No.2 原水ポンプ	No.1－交互－No.2	故障時自動無線付
6	No.1 移行ポンプ	手動－切－自動	自動＝流量調整槽フロートスイッチによる自動運転。
7	No.2 移行ポンプ	No.1－交互－No.2	故障時自動無線付
8	No.1 排水ポンプ	手動－切－自動	自動＝排水槽フロートスイッチによる自動運転。
9	No.2 排水ポンプ	No.1－交互－No.2	故障時自動無線付
101	散気／逆洗切換電磁弁	手動－切－自動	自動＝親子タイマーによる自動運転。
102	第一次散気スカムスキマ電磁弁	手動－切－自動	自動＝親子タイマーによる自動運転。
103	第一次散気エアリフト電磁弁	手動－切－自動	スカムスキマ運転 → エアリフト運転 → 休止 の繰り返し
104	第二次散気スカムスキマ電磁弁	手動－切－自動	自動＝親子タイマーによる自動運転。
105	第二次散気エアリフト電磁弁	手動－切－自動	スカムスキマ運転 → エアリフト運転 → 休止 の繰り返し

注記：処理槽外部警報は、処理施設故障一括警（1a）とし無電圧端子出しとする。

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

MHS Planners, Architects & Engineers 松田平田 丸川設計

product no. A3693 " つくば外国人研究者用宿舎（仮称）機械設備工事

date 01. 05. drawn by checked by

scale 1：10

デイスポーザー排水処理設備制御盤図

衛生

206

C:\A3693-ENGTD\DWG\MK\MKPLAN\MKPP206

機器一覧表（1）

記号	機器名称	台数	仕様	電源 相	電圧	KW	起動	設置場所 階	室名	備考
PAC−1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式					6F	屋上	
	室外機		冷房能力 45.0 kw							
	（1階ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ系統）		暖房能力 53.0 kw							
			燃料消費量 4.0 Nm3/h （13A）							
			消費電力	3	200	1.59	直入			
			付属品 スプリング防振							
PAC-1-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 天井カセット型（4方向吹出型）					1F	管理人室	
	室内機		冷房能力 9.0 kw							
			暖房能力 10.6 kw							
			送風機	1	200	0.05	直入			
			付属品 気化式加湿器（0.8kg/h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板、ドレンアップメカ							
PAC-1-2	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 床置ダクト接続型					1F	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ	
	室内機		冷房能力 22.4 kw							
			暖房能力 26.0 kw							
			送風機 4080 m3/h × 110 Pa	3	200	1.5	直入			
			付属品 気化式加湿器（4.5kg/h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							
PAC-1-3	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 天井カセット型					B1F	清掃員更衣室	
	室内機		冷房能力 4.5 kw							
			暖房能力 5.3 kw							
			送風機	1	200	0.25	直入			
			付属品 遠方監視用基板							
PAC-1-4	空冷ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 壁掛型					B1F	廃棄物集積所	
	室内機		冷房能力 7.1 kw							
			送風機	1	200	0.25	直入			
			付属品 遠方監視用基板							
PAC−2	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式					6F	屋上	
	室外機		冷房能力 56.0 kw							
	（1階集会室系統）		暖房能力 67.0 kw							
			燃料消費量 4.95 Nm3/h （13A）							
			消費電力	3	200	1.59	直入			
			付属品 スプリング防振							
PAC-2-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 床置ダクト接続型					1F	集会室	
	室内機		冷房能力 22.4 kw							
			暖房能力 26.5 kw							
			送風機 4080 m3/h × 40 Pa	3	200	0.75	直入			
			付属品 気化式加湿器（4.5kg/h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							
PAC-2-2	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	4	型式 天吊ダクト型					1F	集会室	
	室内機		冷房能力 9.0 kw							
			暖房能力 10.6 kw							
			送風機 1200 m3/h × 110 Pa	1	200	0.13	直入			
			付属品 気化式加湿器（2.0kg/h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							
PAC−3	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式					6F	屋上	
	室外機		冷房能力 56.0 kw							
	（1階管理事務室系統）		暖房能力 63.0 kw							
			燃料消費量 4.95 Nm3/h （13A）							
			消費電力	3	200	1.58	直入			
			付属品 スプリング防振							
PAC-3-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	8	型式 天井カセット型（4方向吹出型）					1F	管理事務室	
	室内機		冷房能力 4.5 kw							
			暖房能力 5.3 kw							
			送風機	1	200	0.845	直入			
			付属品 気化式加湿器（0.8kg/h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板、ドレンアップメカ							

記号	機器名称	台数	仕様	電源 相	電圧	KW	起動	設置場所 階	室名	備考
PAC-3-2	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 天井カセット型（4方向吹出型）					1F	倉庫（4）	
	室内機		冷房能力 7.1 kw							
			暖房能力 8.5 kw							
			送風機	1	200	0.845	直入			
			付属品 気化式加湿器（0.8kg/h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							
PAC-3-3	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 天井ダクト型					1F	応接室	
	室内機		冷房能力 7.1 kw							
			暖房能力 8.5 kw							
			送風機	1	200	0.845	直入			
			付属品 気化式加湿器（2.0kg/h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板、ドレンアップメカ							
PAC−4	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式					6F	屋上	
	室外機		冷房能力 22.4 kw							
	（1階セミナー室系統）		暖房能力 26.5 kw							
			燃料消費量 3.23 Nm3/h （13A）							
			消費電力	1	200	0.95	直入			
			付属品 スプリング防振、排気フード							
PAC-4-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 天井ダクト型					1F	セミナー室（1）	
	室内機		冷房能力 9.0 kw							
			暖房能力 10.6 kw							
			送風機	1	200	0.4	直入			
			付属品 気化式加湿器（2.0kg/h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板、ドレンアップメカ							
PAC-4-2	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 天井ダクト型					1F	セミナー室（2）	
	室内機		冷房能力 9.0 kw							
			暖房能力 10.6 kw							
			送風機	1	200	0.05	直入			
			付属品 気化式加湿器（2.0kg/h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板、ドレンアップメカ							
PAC−5	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式					6F	屋上	
	室外機		冷房能力 28.0 kw							
	（1階共用室系統）		暖房能力 33.5 kw							
			燃料消費量 2.55 Nm3/h （13A）							
			消費電力	1	200	0.95	直入			
			付属品 スプリング防振、排気フード							
PAC-5-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 天吊ダクト型					1F	共用室（1）	
	室内機		冷房能力 11.2 kw							
			暖房能力 13.2 kw							
			送風機 1620 m3/h × 60 Pa	1	200	0.5	直入			
			付属品 気化式加湿器（2.7kg/h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							
PAC-5-2	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 天吊ダクト型					1F	共用室（2）	
	室内機		冷房能力 11.2 kw							
			暖房能力 13.2 kw							
			送風機 1620 m3/h × 60 Pa	1	200	0.5	直入			
			付属品 気化式加湿器（2.7kg/h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							
PAC−6	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式					6F	屋上	
	室外機		冷房能力 22.4 kw							
	（2階情報ライブラリー		暖房能力 26.5 kw							
	ﾍﾘﾒｰﾀｰ系統）		燃料消費量 2.04 Nm3/h （13A）							
			消費電力	1	200	0.95	直入			
			付属品 スプリング防振、排気フード							
PAC-6-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 床置ダクト接続型					1F	集会室	
	室内機		冷房能力 22.4 kw							
			暖房能力 26.5 kw							
			送風機 4080 m3/h × 90 Pa	3	200	0.7	直入			
			付属品 気化式加湿器（4.5kg/h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							

注1．機器表に示す電気容量は参考とする。
注2．機器表に示すパッケージ能力はＪＩＳ基準とする。
注3．室外機は指定色塗装とする。

機器一覧表（2）

記号	機器名称	台数	仕様	電源 相	電圧	KW	起動	設置場所 階	室名	備考
PAC−7	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式					6F	屋上	
	室外機		冷房能力 45．0 kw							
	（2階情報ライブラリー		暖房能力 53．0 kw							
	ｲﾝﾃﾘｱ系統）		燃料消費量 4．0 Nm3／h （13A）							
			消費電力	3	200	1.59	直入			
			付属品 スプリング防振							
PAC-7-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	2	型式 床置ダクト接続型					2F	情報ライブラリー	
	室内機		冷房能力 22．4 kw							
			暖房能力 26．5 kw							
			送風機 4080 m3／h × 90 Pa	1	200	1.4	直入			
			付属品 気化式加湿器（4．5kg／h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							
PAC−8	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式					6F	屋上	
	室外機		冷房能力 45．0 kw							
	（3～5階北ﾗｳﾝｼﾞ系統）		暖房能力 53．0 kw							
			燃料消費量 4．0 Nm3／h （13A）							
			消費電力	3	200	1.58	直入			
			付属品 スプリング防振							
PAC-8-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 天吊ダクト型					3F	北ラウンジ	
	室内機		冷房能力 7．1 kw							
			暖房能力 8．5 kw							
			送風機 1200 m3／h × 100 Pa	1	200	0.8	直入			
			付属品 気化式加湿器（2．0kg／h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							
PAC-8-2	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 天吊ダクト型					4F	北ラウンジ	
	室内機		冷房能力 14．0 kw							
			暖房能力 17．0 kw							
			送風機 2040 m3／h × 100 Pa	1	200	0.8	直入			
			付属品 気化式加湿器（3．8kg／h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							
PAC-8-3	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 天吊ダクト型					5F	北ラウンジ	
	室内機		冷房能力 14．0 kw							
			暖房能力 17．0 kw							
			送風機 2040 m3／h × 100 Pa	1	200	0.8	直入			
			付属品 気化式加湿器（3．8kg／h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							
PAC−9	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式					PHF	屋上	
	室外機		冷房能力 45．0 kw							
	（3～8階南ﾗｳﾝｼﾞ系統）		暖房能力 53．0 kw							
			燃料消費量 4．95 Nm3／h （13A）							
			消費電力	3	200	1.59	直入			
			付属品 スプリング防振							
PAC-9-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 床置ダクト接続型					3F	南ラウンジ	
	室内機		冷房能力 14．0 kw							
			暖房能力 16．0 kw							
			送風機 4080 m3／h × 180 Pa	3	200	2.19	直入			
			付属品 気化式加湿器（3．4kg／h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							
PAC-9-2	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 床置ダクト接続型					5F	南ラウンジ	
	室内機		冷房能力 14．0 kw							
			暖房能力 16．0 kw							
			送風機 4080 m3／h × 180 Pa	3	200	2.19	直入			
			付属品 気化式加湿器（3．4kg／h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							
PAC-9-3	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 床置ダクト接続型					7F	南ラウンジ	
	室内機		冷房能力 14．0 kw							
			暖房能力 16．0 kw							
			送風機 4080 m3／h × 180 Pa	3	200	2.19	直入			
			付属品 気化式加湿器（4．5kg／h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							

記号	機器名称	台数	仕様	電源 相	電圧	KW	起動	設置場所 階	室名	備考
PAC−10	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式					PHF	屋上	
	室外機		冷房能力 56．0 kw							
	（9階セミナー室系統）		暖房能力 67．0 kw							
			燃料消費量 4．95 Nm3／h （13A）							
			消費電力	3	200	0.59	直入			
			付属品 スプリング防振、排気フード							
PAC-10-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	1	型式 天井ビルトイン型					9F	和室	
	室内機		冷房能力 14．0 kw							
			暖房能力 17．0 kw							
			送風機 1200 m3/h × 40 Pa	1	200	0.1	直入			
			付属品 気化式加湿器（1．1kg／h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							
PAC-10-2	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（ﾏﾙﾁ）	6	型式 床置ローボーイ隠蔽型					9F	交流サロン	
	室内機		冷房能力 4．5 kw							
			暖房能力 5．3 kw							
			送風機	1	200	0.04	直入			
			付属品 気化式加湿器（0．4kg／h）、ﾌｨﾙﾀｰ（ﾒｰｶｰ標準品）							
			リモコン、遠方発停監視用制御基板							
AC-2	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ	5	型式 天吊ダクト型	1	200	1.6	直入	1F	ゲスト、カウンセリング室	
			冷房能力 3．6 kw							
	（1階ゲスト、カウンセリング室系統）		暖房能力 4．5 kw							
			送風機 690 m3／h × 78 Pa							
			付属品 リモコン							

注1．機器表に示す電気容量は参考とする。
注2．機器表に示すパッケージ能力はＪＩＳ基準とする。
注3．室外機は指定色塗料とする。

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

130 MHS 松田平田 丸川設計

project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）機械設備工事
date 01. 05. drawn by checked by
機器一覧表（2）
scale No Scale
空調 102

A1
G:¥A3693-EM0TO¥つくば¥MAP¥PLAN¥MAPP001A

機器一覧表（3）

記号	機器名称	台数	仕様	電源 相	電圧	KW	起動	設置場所 階	室名	備考
HEX−1	空調換気扇	1	型式 静止型全熱交換器（カセット型）	1	100	0.1	直入	BIF	清掃員更衣室	
			150 m3/h × 50 Pa							
			交換効率 60%以上							
			付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板							
HEX−2	空調換気扇	4	型式 静止型全熱交換器（カセット型）	1	100	0.2	直入	1F	管理事務室	
			320 m3/h × 100 Pa							
			交換効率 60%以上							
			付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板							
HEX−3	空調換気扇	1	型式 静止型全熱交換器（天吊埋込型）	1	100	0.17	直入	1F	応接室	
			350 m3/h × 100 Pa							
			交換効率 60%以上							
			付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板							
HEX−5	空調換気扇	2	型式 静止型全熱交換器（カセット型）	1	100	0.2	直入	1F	倉庫(4)	
			350 m3/h × 100 Pa							
			交換効率 60%以上							
			付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板							
HEX−6	空調換気扇	2	型式 静止型全熱交換器（カセット型）	1	100	0.2	直入	1F	セミナー室(1)(2)	
			350 m3/h × 100 Pa							
			交換効率 60%以上							
			付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板							
HEX−7	空調換気扇	4	型式 静止型全熱交換器（天吊埋込型）	1	100	0.35	直入	1F	廊下	
	（1F集会室系統）		800 m3/h × 100 Pa							
			交換効率 60%以上							
			付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板							
HEX−8	空調換気扇	2	型式 静止型全熱交換器（カセット型）	1	100	0.2	直入	1F	共用室(1)(2)	
			350 m3/h × 100 Pa							
			交換効率 60%以上							
			付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板							
HEX−10	空調換気扇	2	型式 静止型全熱交換器（天吊埋込型）	1	100	0.2	直入	9F	交流サロン	
			500 m3/h × 100 Pa							
			交換効率 60%以上							
			付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板							
HEX−11	空調換気扇	2	型式 静止型全熱交換器（天吊埋込型）	1	100	0.2	直入	9F	和室	
			500 m3/h × 100 Pa							
			交換効率 60%以上							
			付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板							
HEX−A	空調換気扇	2	型式 静止型全熱交換器（天吊埋込型）	1	100	0.12	直入	1F	カウンセリング室	
			250 m3/h × 64 Pa							
			交換効率 60%以上							
			付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板							
SF−1	送風機	1	型式 ラインファン	3	200	0.27	直入	BIF	受水槽室	EF−5と連動
			送風機 No.3 × 1500 m3/h × 110 Pa							
			付属品 防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
SF−2	送風機	1	型式 片吸込シロッコファン	3	200	2.2	直入	BIF	受変電室	EF−6と連動
			送風機 No.3 1/1 ※10000 m3/h ×150 Pa							
			付属品 防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
SF−3	送風機	1	型式 ラインファン	3	200	0.15	直入	1F	集会室(PAC置場)	EF−21と連動
			送風機 No.3 × 1500 m3/h × 100 Pa							
			付属品 防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
EF−1	排風機	1	型式 ラインファン	1	100	0.15	直入	BIF	廃棄物集積所	
			送風機 NO.3 × 1340 m3/h × 50 Pa							
			付属品 防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
EF−2	排風機	1	型式 天井扇	1	100	0.1	直入	BIF	倉庫1	
			送風機 580 m3/h × 60 Pa							
EF−3	排風機	1	型式 天井扇	1	100	0.1	直入	BIF	倉庫2	
			送風機 480 m3/h × 60 Pa							
EF−5	排風機	1	型式 ラインファン	3	200	0.15	直入	BIF	受水槽室	SF−1と連動
			送風機 No.3 × 1500 m3/h × 100 Pa							
			付属品 防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
EF−6	排風機	1	型式 片吸込シロッコファン（天吊り）	3	200	2.2	直入	BIF	受変電室	SF−2と連動
			送風機 No.3 1/1 ※10000 m3/h ×130 Pa							
			付属品 防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
EF−7	排風機	2	型式 片吸込シロッコファン	3	200	11.0	人−△	BIF	駐車場	
			送風機 No.6 1/1 ※40000 m3/h ×220 Pa						ファンルーム1・2	
			送風機 防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
EF−8	排風機	1	型式 ラインファン	1	100	0.04	直入	BIF	消火ポンプ室	
			送風機 NO.2 × 730 m3/h × 50 Pa							
			付属品 防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
EF−9	排風機	1	型式 天井扇	1	100	0.1	直入	BIF	浄化槽機械室	
			送風機 120 m3/h × 60 Pa							
EF−10	排風機	1	型式 天井扇	1	100	0.034	直入	1F	倉庫1	
			送風機 180 m3/h × 70 Pa							
EF−11	排風機	1	型式 天井扇	1	100	0.02	直入	1F	宅配ボックス室	
			送風機 110 m3/h × 60 Pa							
EF−12	排風機	2	型式 ラインファン	1	100	0.04	直入	1F	自販機室	
	（1F便所1系統）		送風機 No.3 × 425 m3/h × 60 Pa							
			付属品 防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
EF−13	排風機	1	型式 ラインファン	1	100	0.025	直入	1F	リネン庫(2)	
	（1F便所2系統）		送風機 No.3 × 425 m3/h × 40 Pa							
			付属品 防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
EF−14	排風機	1	型式 天井扇	1	100	0.06	直入	1F	自販機室	
			送風機 400 m3/h × 60 Pa							
EF−15	排風機	1	型式 天井扇	1	100	0.061	直入	1F	リネン庫1	
			送風機 360 m3/h × 100 Pa							
EF−16	排風機	1	型式 天井扇	1	100	0.122	直入	1F	リネン庫2	
			送風機 530 m3/h × 100 Pa							
EF−18	排風機	1	型式 天井扇（オール金属タイプ）	1	100	0.056	直入	1F	管理人室	
			送風機 200 m3/h × 70 Pa						ミニキッチン	
EF−19	排風機	1	型式 天井扇（二部屋用）	1	100	0.03	直入	1F	管理人室	
			送風機 80 m3/h × 90 Pa						便所	
EF−20	排風機	1	型式 天井扇（浴室用）	1	100	0.016	直入	1F	管理人室	
			送風機 60 m3/h × 70 Pa						UB	
EF−21	排風機	1	型式 ラインファン	3	200	0.15	直入	1F	集会室フード	SF−3と連動
			送風機 No.3 × 1500 m3/h × 100 Pa							
			付属品 防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
EF−22	排風機	1	型式 天井扇	1	100	0.037	直入	1F	倉庫2	
			送風機 110 m3/h × 120 Pa							
EF−23	排風機	1	型式 天井扇	1	100	0.034	直入	1F	倉庫3	
			送風機 130 m3/h × 90 Pa							

注1. 機器表に示す電気容量は参考とする。
注2. 機器表に示すパッケージ型力はJIS基準とする。
注3. 室外機は指定台数計とする。

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田 ◯ 丸川設計

project no. A3693 * つくば外国人研究者用宿舎（仮称）機械設備工事

date 01.05. drawn by checked by

機器一覧表（3）

scale No Scale

空調 103

A3693-ENGTO/1CE/MH/MP/PLAN/MHFP001A

機器一覧表（4）

記号	機器名称	台数	仕様		電源 相	電圧	KW	起動	設置場所 階	室名	備考
EF−24	排風機	1	型式	ラインファン	3	200	0.15	直入	1F	集会室(PAC置場)	PAC-6-1と連動
	（2F情報ﾗｲﾌﾞﾗﾘ系統）		送風機	No.3 × 870 m3/h × 100 Pa							
			付属品	防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
EF−25	排風機	3	型式	天井扇	1	100	0.15	直入	5F	D$IS	
	（3〜5F北ﾗｳﾝｼﾞ系統）		送風機	630 m3/h × 130 Pa							
EF−26	排風機	1	型式	ラインファン	3	200	0.15	直入	5F	D$IS	
	（2・3F廊下系統）		送風機	No.3 × 1500 m3/h × 80 Pa							
			付属品	防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
EF−27	排風機	1	型式	ストレートシロッコファン	3	200	0.25	直入	4F	南ラウンジ	PAC-9-1と連動
			送風機	No.3 × 360 m3/h × 100 Pa							
			付属品	防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
EF−28	排風機	1	型式	ストレートシロッコファン	3	200	0.25	直入	6F	南ラウンジ	PAC-9-2と連動
			送風機	No.3 × 360 m3/h × 100 Pa							
			付属品	防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
EF−29	排風機	1	型式	ストレートシロッコファン	3	200	0.25	直入	8F	南ラウンジ	PAC-9-3と連動
			送風機	No.3 × 360 m3/h × 100 Pa							
			付属品	防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
EF−30	排風機	2	型式	ラインファン	1	100	0.04	直入	9F	女子便所	
	（9F便所系統）		送風機	No.3 × 445 m3/h × 80 Pa							
			付属品	防振装置（ハンガタイプ防振吊金具）							
DF−1	排風機	16	型式	誘引型（天吊露出形ノズル 100φ×3）	1	100	0.12	直入	B1F	駐車場	参考型番
			送風機	630 m3/h							ﾄｯﾌﾟﾍﾞﾝﾄｼｽﾃﾑATYPE Ⅱ
F−1	排風機	83	型式	三室用中間ダクトファン	1	100	0.029	直入		夫婦用住戸	
			送風機	190 m3/h × 80 Pa						A-B-C-Dタイプ	
										UB	
F−2	排風機	48	型式	中間ダクトファン	1	100	0.025	直入		単身者用住戸	
			送風機	70 m3/h × 70 Pa						イ・ハタイプ	
										UB	
F−3	レンジフード	189	型式	給排気型	1	100	0.101	直入		夫婦・単身者用	参考型番
	※別途建築工事		送風機	500 m3/h × 70 Pa						住戸 台所	LCR-3A-601V
F−5	排風機	2	型式	天井扇	1	100	0.02	直入	1F	カウンセリング室	
			送風機	100 m3/h × 70 Pa							
FA−1	光脱臭装置	8	型式	光触媒ユニット チャンバー内設置タイプ	1	100	0.5	直入	1F	集会室	参考型番
			処理風量	720 m3／h							TYSP200
											ﾁｬﾝﾊﾞｰ
											1000×500×300H

記号	機器名称	台数	仕様		電源 相	電圧	KW	起動	設置場所 階	室名	備考
TES関連機器＜単身者用＞											
	空冷ﾋｰﾎﾟﾝﾊﾟｯｹｰｼﾞ		型式	1室用TESエアコン						単身者用住戸	参考型番
AC−2	室外ユニット	104	冷房能力	2.5 kw						イ・ロ・ハタイプ	CCS-22SF-1
			送風機		1	100	0.02	直入		ベランダ	
			圧縮機		1	100	0.7	直入			
			付属品	スライドブロック基礎							
AC-2-1	室内ユニット	104	型式	壁埋込型						居間	CC-22BSC-AT
			暖房能力	3.9 kw							
			送風機		1	100	0.02	直入			
			付属品	フィルター（メーカー標準品）							
				化粧カバー（木目・縦格子）、リモコン							
KF−1	浴室暖房乾燥機	48	型式	天井埋込型 （FAN無）	1	100	0.058	直入		単身者用	参考型番
			加熱能力	3.25 kw						住戸 UB	ABD-28KSF
			風量	70 m3/h							
KF−2	浴室暖房乾燥機	56	型式	天井埋込型 （FAN付）	1	100	0.080	直入		単身者用	参考型番
			加熱能力	3.25 kw						住戸 UB	ABD-28KTSF
			風量	70 m3/h							
FD−1	床暖房	104	型式	TESカーペット仕上げ						単身者用	
										住戸 台所	
TES−1	TES熱源機	104	型式	屋外壁掛型						住戸	AT-366RSA-A0
			給湯能力	24号							
			用途	冷暖房・床暖房・給湯・浴室暖房乾燥機・風呂追いだき							
			付属品	リモコン、配管化粧カバー600H、指定焼付塗装							
TES関連機器＜夫婦用＞											
	空冷ﾋｰﾎﾟﾝﾊﾟｯｹｰｼﾞ		型式	2室用マルチTESエアコン						夫婦用住戸	参考型番
AC−1	室外ユニット	80	冷房能力	4.5 kw						A・B・C・Dタイプ	CCS-502E-21K
			送風機		1	200	0.02	直入		ベランダ	
			圧縮機		1	200	1.6	直入			
			付属品	スライドブロック基礎							
AC-1-1	室内ユニット	160	型式	壁埋込型						居間・寝室	CC-22BSC-AT
			暖房能力	3.9 kw							
			送風機		1	100	0.02	直入			
			付属品	フィルター（メーカー標準品）							
				化粧カバー（木目・縦格子）、リモコン							
KF−1	浴室暖房乾燥機	83	型式	天井埋込型	1	100	0.058	直入		夫婦用住戸 UB	参考型番
			加熱能力	3.25 kw							ABD-28KSF
			風量	70 m3/h							
FD−1	床暖房	170	型式	TESカーペット仕上げ						夫婦用住戸 台所	
TES−1	TES熱源機	83	型式	屋外壁掛型						住戸	AT-366RSA-A0
			給湯能力	24号							
			用途	冷暖房・床暖房・給湯・浴室暖房乾燥機・風呂追いだき							
			付属品	リモコン、配管化粧カバー600H、指定焼付塗装							

注1．機器表に示す電気容量は参考とする。
注2．機器表に示すパッケージ能力はJIS基準とする。
注3．室外機は指定色塗料とする。

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

13 松田平田 丸川設計

project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）機械設備工事

date 01.05. drawn by checked by

機器一覧表（4）

scale No Scale

空調

104

S/A3693-EN0T0/ST/00/MP/PLAN/MP001A

制気口リスト

階	室名	吹出口 型式	流体	サイズ	風量(cmh)	ボックス	内貼り あり	なし	個数	全風量	吸込口 型式	流体	サイズ	風量(cmh)	ボックス	内貼り あり	なし	個数	全風量
B1F	受水槽室	HS	OA	300×300	735	———	—	—	2	1470	HS	EA	1000×200	1470	———	—	—	1	1470
	MDF	HS	OA	350×350	1000	550×550×400	—	—	1	1000									
	受変電室	HS	OA	1500×900	9550	———	—	—	2	19100	HS	EA	1500×900	10050	———	—	—	2	20100
1F	リネン庫－1	VHS	OA	250×250	360	450×450×400	—	○	1	360	HS	EA	250×250	360	450×450×400	—	○	1	360
	リネン庫－2	VHS	OA	300×300	530	500×500×400	—	○	1	530	HS	EA	300×300	530	500×500×400	—	○	1	530
	管理人洗面所										HS	EA	150×150	50	300×300×300	—	○	1	50
	共用室－1	BL-D	SA	6000L	1680	6200×300×400	○	—	1	1680	CL-S	RA	6000L	840	6200×300×400	○		2	1680
	共用室－2	BL-D	SA	6000L	1680	6200×300×400	○	—	1	1680	CL-S	RA	6000L	840	6200×300×400	○		2	1680
	エントランス	ノズル	SA	300φ	582	500×500×500	○	—	7	4080									
	集会室	—	SA	照明吹出し	400	差込ディフューザー1200L			12	4800	—	RA	照明吸込み	400	差込ディフューザー1200L	—	—	12	4800
				(建築工事)									(建築工事)						
	集会室	—	SA	建築工事	4080	2500×800×1800	○	—	1	9080	—	EA	建築工事	4080	———	—	—	1	4080
	応接室	BL-D	SA	4000L	960	4200×300×400	○	—	1	960	CL-D	RA	4000L	960	4200×300×400	○	—	1	960
	身障者便所－1	VHS	OA	150×150	150	300×300×300	—	○	1	150	HS	EA	150×150	150	300×300×300	—	○	1	150
	男子便所－1	—	OA	建築工事	510	2000×200×300	—	○	1	510	—	EA	建築工事	510	2000×200×300	—	○	1	510
	女子便所－1	—	OA	建築工事	330	2200×200×300	—	○	1	330	—	EA	建築工事	330	2000×200×300	—	○	1	330
	男子便所－2	—	OA	建築工事	460	1800×200×300	—	○	1	460	—	EA	建築工事	460	2000×200×300	—	○	1	460
	女子便所－2	—	OA	建築工事	390	1800×200×300	—	○	1	390	—	EA	建築工事	390	2000×200×300	—	○	1	390
2F	廊下										HS	EA	350×200	500	500×400×400	—	—	1	500
	情報ライブラリー	—	SA	建築工事	4080	500×600×2500	—	○	2	8160	—	RA	建築工事	4080	———	—	○	2	8160
3F	廊下										HS	EA	350×200	500	550×400×400	—	—	1	500
	ラウンジ(南)	—	SA	建築工事	3170	4750×300×300	○		1	3170	スリット	RA	建築工事	3410	———	—	—	1	3410
		スリット	SA	建築工事	910	1000×400×400	○		1	910	HS	EA	250×250	240	———	—	—	1	240
	ラウンジ(北)	BL-D	SA	7000L	2080	7200×300×400	○		1	2080	CL-D	RA	3500L	1040	3700×300×400	○	—	2	2080
		VHS	OA	200×200	210	400×400×400	○		1	210									

階	室名	吹出口 型式	流体	サイズ	風量	ボックス	内貼り あり	なし	個数	全風量	吸込口 型式	流体	サイズ	風量	ボックス	内貼り あり	なし	個数	全風量
4F	ラウンジ(南)										HS	EA	150×150	120	———	—	—	1	120
	ラウンジ(北)	BL-D	SA	7000L	2080	7200×300×400	○		1	2080	CL-D	RA	3500L	1040	3700×300×400	○	—	2	2080
		VHS	OA	200×200	210	400×400×400	○		1	210									
5F	ラウンジ(南)	—	SA	建築工事	3170	4750×300×300	○		1	3170	スリット	RA	建築工事	3410	———	—	—	1	3410
		スリット	SA	建築工事	910	1000×400×400	○		1	910	HS	EA	250×250	240	———	—	—	1	240
	ラウンジ(北)	BL-D	SA	7000L	2080	7200×300×400	○		1	2080	CL-D	RA	3500L	1040	3700×300×400	○	—	2	2080
		VHS	OA	200×200	210	400×400×400	○		1	210									
6F	ラウンジ(南)										HS	EA	150×150	120	———	—	—	1	120
7F	ラウンジ(南)	—	SA	建築工事	3170	4750×300×300	○		1	3170	スリット	RA	建築工事	3410	———	—	—	1	3410
		スリット	SA	建築工事	910	1000×400×400	○		1	910	HS	EA	250×250	240	———	—	—	1	240
8F	ラウンジ(南)										HS	EA	150×150	120	———	—	—	1	120
9F	和室(1)	KLS1	SA	2000L	920	4200×200×300	○		2	1840									
	和室(2)	KLS1	SA	2000L	1020	4200×200×300	○		2	2040									
	水屋	KLS1	SA	1000L	200	1200×200×250		○	1	200	KLS1	RA	1000L	200	1200×200×250	○		1	200
	交流サロン	KLS1	SA	2000L	167	2200×200×250	○		6	1000	KLS1	RA	2000L	167	2200×200×250	○		5	835
											KLS1	RA	1000L	83	1200×200×250	○		2	165
	女子便所	—	OA	建築工事	445	———			1	445	—	EA	建築工事	445	———			1	445
	男子便所	—	OA	建築工事	445	———			1	445	—	EA	建築工事	200	———			2	400
											HS	EA	150×150	45	250×250×200		○	1	45

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

133 松田平田 丸川設計

project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎(仮称)機械設備工事

date 01.05. drawn by checked by

制気口リスト

scale No Scale

空調 120

A1

G:/A3693-SHOTO/つくば/MH/MP/PLAN/MHPP001A

中央監視システムの機能

1．表示機能
（1）画面展開方式
管理ポイントを階層的に分類し階層毎の目次表示を行い、容易にリスト画面・系統別グラフィック画面の展開が可能とする。
また、リスト画面／グラフィック画面の切換が容易に行える。
（2）システムリストおよびシステムグラフィック画面の表示
a．CRT画面の表示
各種システムリストおよびグラフィック画面等は、データ表示エリアに表示する。（画面操作コマンドを含む）
また、各種操作（オン／オフ・設定等）コマンドは、データ表示エリア内にウィンドウ表示する。
b．リストおよびグラフィック画面の表示
管理ポイントの状態・制御設定値等は、リストあるいはグラフィック画面にシステム単位で一括表示する。グラフィック画面には、システム系統図とともに、管理ポイントデータが表示される。
c．画面分割（マルチウインドウ）表示
選択された複数の画面（リストおよびグラフィック）を、ウインドウ表示することができる。（均等分割表示・多重画面表示等）
d．画面アイコン表示
重要画面や使用頻度の高い画面をアイコン（画面最小化絵文字）化して常時表示させ、マウスの選択操作により画面のワンタッチ表示ができる。
e．画面拡大および縮小表示
グラフィック画面の拡大および縮小表示ができ、拡大時にはスクロール（縦／横）表示操作ができる。
（3）未確認警報および警報点一覧表示
警報発生時の未確認警報一覧や過去から現在までに発生した警報点一覧の表示ができる。
（4）管理点情報表示
全管理ポイントの種々の管理ポイント情報を表示する。
（5）トレンドデータおよびグラフ表示
計測ポイント・状態ポイントのトレンドデータを、リストまたはグラフ表示する。
（6）棒グラフ表示
動力機器等の運転時間・動作回数・警報回数の積算値を、棒グラフにて表示する。
（7）各種一覧表示
運転機器・停止機器・発停点・計測点の一覧表示をする。
（8）カレンダ表示
CRT画面に年／月／日・曜日・時刻の表示をする。
また、表示消去および再表示ができる。
（9）警報メッセージ表示
スケジュール制御・アナログ上下限監視等の機能のパラメータの設予め設定された警報メッセージを、表示することができる。
（10）警報発生時自動該当画面表示
警報発生したポイントのリストまたはグラフィック画面を、自動的に表示させることができる。

4．制御機能
（1）スケジュール発停／設定制御
オン／オフポイントおよび設定ポイントに対して、ポイント毎にスケジュール時刻を設定し、それに従い自動的にオン／オフまたは設定をする。スケジュールは週間スケジュールを基本に、他に臨時日／休日／特定日があり1分単位で設定できる。また、1日のオン／オフ回数は、5回までできる。
（2）ソフトインターロック制御
1ポイントまたは複数ポイントの状態変化により、予め指定した他のポイントに対して、オン／オフ等の命令を自動的に送出する。
（3）火災時空調動力停止制御
火災発生警報信号（防災盤から）入力により、予め設定した区画の空調機や給／排気ファンを、自動および手動操作にて一斉停止する。
（4）復電処理制御
商用電源復帰後、ポイント毎のスケジュール発停制御の状態に、復帰する。

3．操作機能
（1）個別オン／オフ操作
リスト画面またはグラフィック画面からポイント単位で、オン／オフ操作ができる。
（2）設定操作
リスト画面またはグラフィック画面から、温度・湿度・ダンパ開度等の設定ポイントに対し、設定操作ができる。
（3）ポイントロックおよびアンロック操作
管理ポイントに対して、操作禁止や監視中止等の指定操作および解除操作ができる。
（4）パラメータ設定変更操作
スケジュール制御・アナログ上下限監視等の機能のパラメータの設定および変更操作ができる。
（5）各種一覧表示操作
未確認警報一覧・運転機器一覧等の各種一覧表示操作ができる。
（6）カレンダー変更操作
年／月／日／曜日／時刻の変更操作ができる。

5．記録およびデータ保存機能
（1）警報発生記録
警報発生時に、メッセージプリンタに印字することができる。
（警報印字：赤色）
（2）状態変化記録
ポイントの状態変化通知を、メッセージプリンタに印字することができる。（状態変化：黒色）
（3）操作記録
発停あるいは設定操作を行った場合に、メッセージプリンタに印字することができる。（操作印字：青色）
（4）各種一覧記録
各種一覧画面から一覧データの印字ができる。
（5）自己診断記録
中央監視装置・ローカル機器等の異常発生時に、メッセージプリンタに印字できる。（異常発生印字：赤色）
（6）トレンドデータ／グラフ記録
トレンド収集指定されたポイントのデータ（リスト）またはグラフを記録することができる。
（7）ポイントヒストリ
管理ポイント毎に、アナログ点の場合は30分周期で48データ、デジタル点の場合はイベント毎に10データを、保存することができる。
（8）ヒストリカルレコード
ポイントの警報発生および正常復帰・状態変化・各種操作等のデータを、保存することができる。

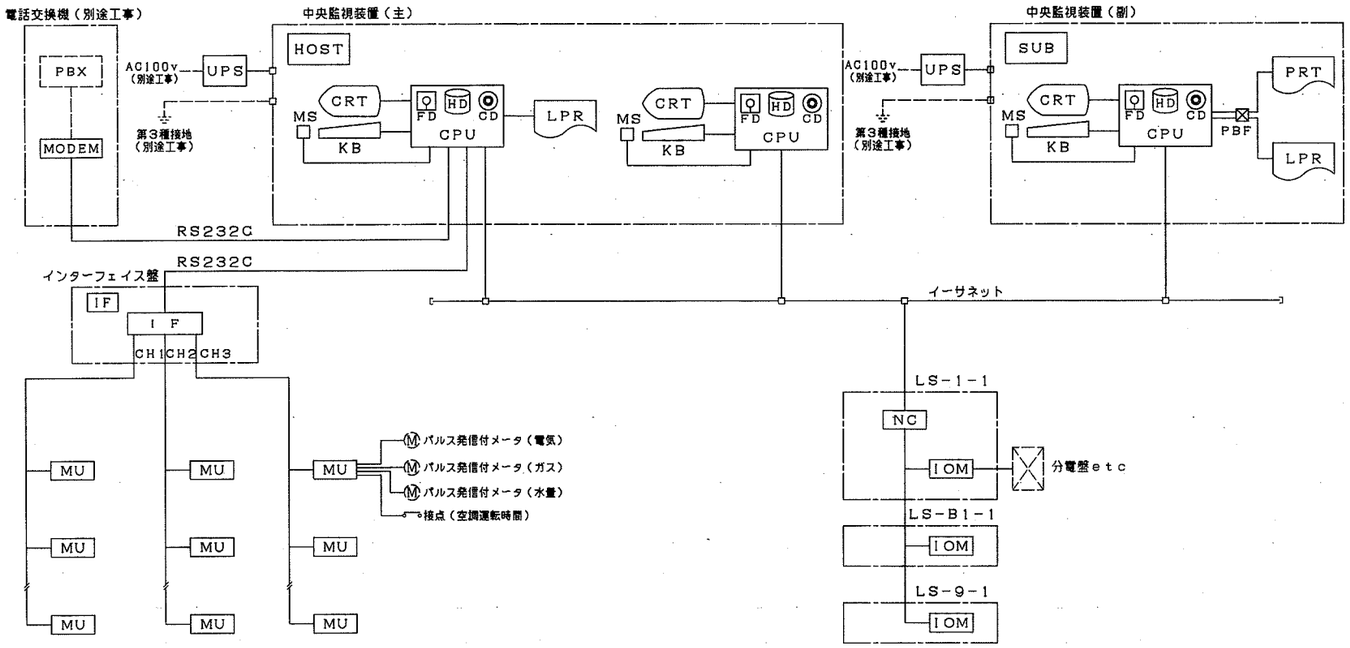
6．料金計算機能
（1） 電力・ガス・水道等のパルス信号を入力し、インターフェイス装置（検針盤）に各種メータのデータを蓄え、中央監視装置によりそのデータを処理し、請求書発行を行う。
（2） 電話交換機（PBX）とモデムを接続し、個別電話を使用量のデータを中央監視にて、料金計算処理し、請求書発行を行う。
（管理事務室内モデム～PBX間は別途工事）

2．監視機能（CRT）
（1）警報監視
警報発生時、管理ポイント名称・日付・時刻・警報メッセージ等を表示し、警報音とともに通知する。
（2）アナログ上下限／偏差警報監視
計測ポイント毎に設定された上下限値／偏差値を越えた場合に、警報として通知する。
（3）積算値上限警報監視
積算ポイント毎に、設定された上限値を越えた場合に警報として通知する。
（4）発停エラー／反指令監視
オン／オフ操作出力後、一定時間後に対象ポイントの状態が命令と一致しない場合に、警報として通知する。また、手動によるオン／オフ操作を行い、その状態が反指令の場合も、警報として通知する。
（5）稼働時間／動作回数／警報回数積算監視
動力機器等の稼働時間・オン／オフ動作回数・警報発生回数を、積算し、設定した値を越えた場合に、警報として通知する。
（6）自己診断監視
システムの通信状態を常時監視し、異常発生時に警報として通知する。

中央監視点入出力インターフェイス

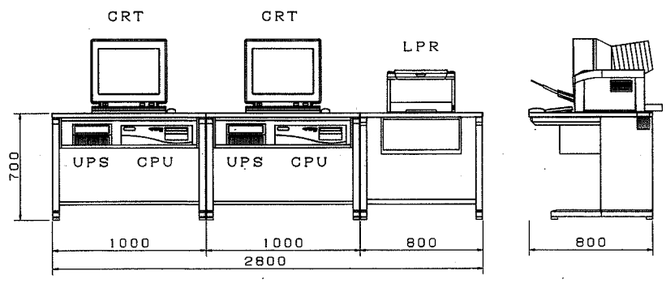
内　容	リモート盤	配　線	監視対象制御盤等	備　考
オン／オフ操作 状態・故障監視	オン オフ DC24V または AC24V		CX TX 52X　運転信号 51X　故障信号 51　51 遠方　手元 TX　停止 52 CX 52E　運転 52　52X　51X 動力制御盤　制御回路例	CX、TXは、DC24V 起動、停止は、瞬時有電圧出力（0．5秒） 51X、52Xは、無電圧接点
オン／オフまたは切換操作 状態監視	オン／オフ DC24VまたはAC24V		TX 52X　状態信号	TXは、DC24V 52Xは、無電圧接点ラッチ出力
状態・故障監視	DC24VまたはAC24V		52X　状態信号 51X　故障信号	51X、52Xは、無電圧接点
上下限警報監視	DC24VまたはAC24V		上限　上限警報 下限　下限警報	上限、下限は、無電圧接点
状態または故障・警報監視	DC24VまたはAC24V		状態／故障／警報	無電圧接点
計測			変換器　0～10V 4～20mA	
積算			単位パルス	電力・水道・ガス等 ［パルス幅 1sec以上］

中央監視システム構成図



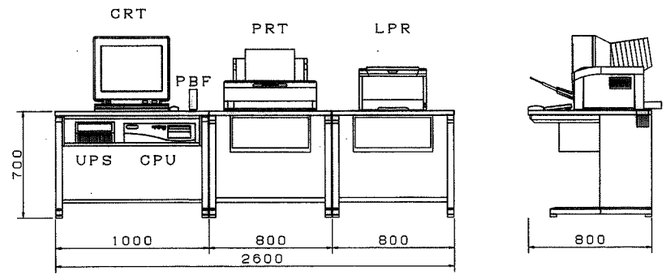
中央監視装置（主）参考姿図

HOST



中央監視装置（副）参考姿図

SUB



中央監視装置ハード仕様概要

記号		名称	機能概要	ハード仕様概要		備考
中央監視装置	CPU	中央処理装置	システム全体の管理、処理を行う。	主処理装置 主記憶容量 補助記憶装置 OS	マイクロプロセッサ 96MB以上 固定ディスク　（HD）3．2GB以上 フロッピーディスク（FD）3．5インチ CD−ROM（CD）16倍速以上 MS−WINDOWS 95	
	CRT	カラーディスプレー	システムのオペレーションガイドとして、各種一覧、システムグラフィックの表示を行う。 また、マルチウィンドウ表示による複数のグラフ、データの同時表示機能により、監視、操作が容易に行える。	CRT 表示色 文字種類 表示文字数 表示ドット数	21インチ高解像度型 256色以上 ひらがな、カタカナ、漢字、英字、数字 12000字（キャラクター） 1024×768ドット	
	KB /MS	キーボード マウス	各種操作、パラメータの設定を行う。	キー形式 マウス	フルキーボード 機械式	
	LPR	レーザープリンタ	印字操作により、状態変化履歴、警報履歴、操作履歴のメッセージ印字を行う。 又、手動にて請求書発行を行う。	印字方式 印字速度 印字用紙	半導体レーザービーム走査方式 自動給紙　A4：8枚／分、B4：5枚／分、 A3：4枚／分 B5／A4／B4／A3版カット紙	
	PRT	メッセージプリンタ	警報時、状態変化時、操作時、その他の各種印字要求時にメッセージ形式で印字する。	印字方式 印字速度 印紙用紙 印字色	ノンインパクトシリアルカラーバブルジェット方式 最大694CPS A4／A3／15インチ 3色（赤、青、黒）、画面印字時256色以上	
	PBF	プリンターバッファ	プリンター出力の一時記憶や、出力先の切換を行う。	ポート 記憶容量 転送速度 転送方法	3ポート 4MB 280K　CPS DMA（ダイレクトアクセス）方式	
	NC	ネットワーク コントローラ	中央監視装置とIOM間のコミュニケーションを行う。	主処理装置 記憶容量	マイクロプロセッサ 10MB	
	IOM	入出力モジュール	管理ポイントの入力又は出力を行う。	入出力仕様	中央監視点入出力インターフェイス参照	
	LS	ローカル盤	NC・IOMを収納し、中央監視（管理ポイント）の入出力を行う。	管理ポイント	中央監視点一覧表参照	
	UPS	無停電電源装置 （簡易型）	停電時にもシステムの必要部分が機能するように、電源供給を行う。	入力電源 出力電源 出力容量 停電補償時間	1φ　100V 1φ　100V 600VA 10分間	
	IF	インターフェイス装置	検針端末ユニット（MU）の管理・処理を行い、中央監視装置（主）との通信を行う。	接続チャンネル数 接続端末ユニット数 表示部 操作部 プリンタ	最大3チャンネル 最大100ユニット／1チャンネル 5桁液晶表示 専用操作キー・テンキー 28文字／行	
	MU	検針端末ユニット	パルス・接点の入力を行う。	入力仕様 入力数	中央監視装置入出力インターフェイス参照 パルス入力×3、接点入力×1	

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

135 MHS 松田平田 ｜ 丸川設計

project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）機械設備工事

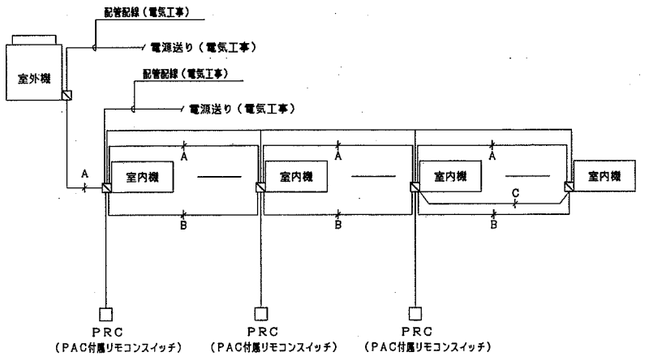
date 99.09.30 ｜ drawn by ｜ checked by

中央監視設備　仕様書

scale No Scale

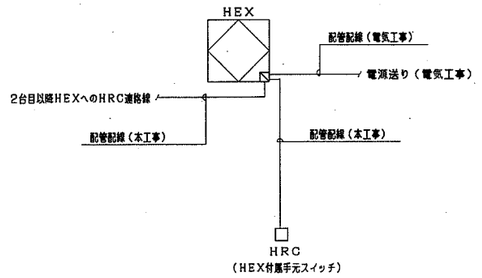
空調 202

G/A9999-ZENOTO/ﾂｸﾊﾞ/KIK/KP/PLAN/KKFP001A

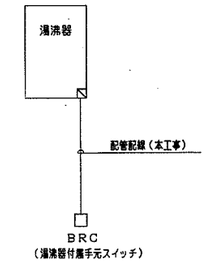


注）A．室内外連絡線、配管配線は本工事とする。
　　B．室内機間連絡線、配管配線は本工事とする。
　　C．リモコン連絡線、配管配線は本工事とする。

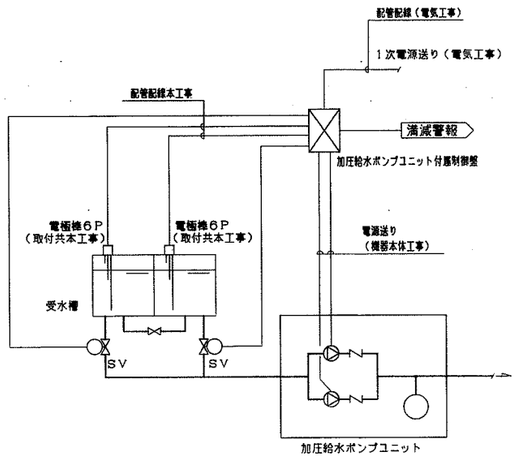
・室内機－ＰＲＣ間渡り線、配管配線は本工事とする。
・ＰＲＣ取付は本工事とする。

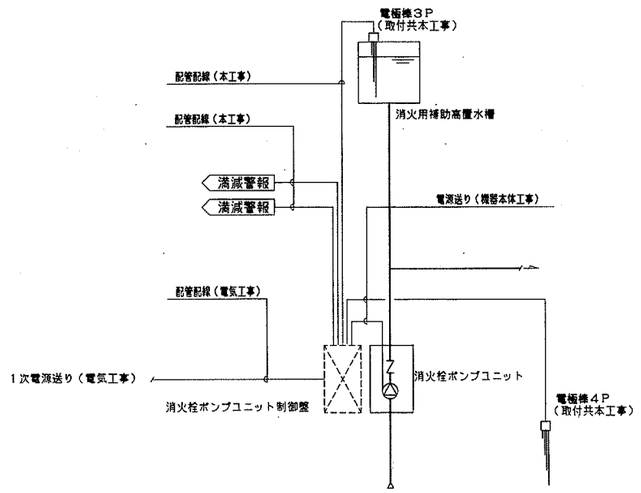


注）．ＨＲＣの本体取付は本工事とする。



注）．ＢＲＣの本体取付は本工事とする。





revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

130 松田平田 丸川設計

project no. A3693 ＊つくば外国人研究者用宿舎（仮称）機械設備工事

date 99.09.30 | drawn by | checked by

自動制御フロー図

scale No Scale

空調

203

G:/A9998-SHOTO/つくば/MEP/PLAN/MEPP501A

中央監視点一覧表

記号	名称	監視対象盤	リモートステーション	操作・監視			監視			計測			計量	ロギング			備考
				オンオフ状態	オンオフ状態	設定	状態警報	状態	警報	温度	湿度	その他	積算	日報	月報		
	B1F清掃員控室PAC			○	○		○										
	B1F廃棄集積場PAC			○	○		○										
	B1F清掃員控室全熱交			○	○		○										
	B1F駐車場外周1照明				○												
	B1F駐車場外周2照明				○												
	B1F駐車スペース・通路照明				○												
	B1F駐車通路照明				○												
	B1F駐車場EVホール照明				○												
	B1Fディスポーザー			○	○		○										
	B1F駐車場南送排風機1、2			○	○		○										
	B1F駐車場北送排風機1、2			○	○		○										
	駐車場系統排風機（南）			○	○		○										
	駐車場系統排風機（北）			○													
	受水槽室送風機			○													
	受水槽室排風機			○													
	受変電室送風機			○													サーモ発停共
	受変電室排風機						○										
	受変電設備重故障								○								
	受変電設備軽故障								○								
	B1L-1 一括警報								○								
	B1L-2 一括警報								○								
	1F管理事務室PAC1			○													
	1F管理事務室PAC2			○													
	1F管理事務室PAC3			○													
	1F管理人室PAC			○													
	1F集会場PAC1			○													
	1F集会場PAC2			○													
	1F集会場PAC3			○													
	1Fエントランスホール PAC			○													
	1Fプレイルーム PAC			○													
	1Fスポーツジム PAC			○													
	1Fセミナー室1 PAC			○													
	1Fセミナー室2 PAC			○													
	1F応接室 PAC			○													
	1F倉庫 PAC			○													
	1F管理事務室全熱交1			○													
	1F管理事務室全熱交2			○													
	1F管理事務室全熱交3																
	1F管理人室全熱交			○													
	1F集会場全熱交1			○													
	1F集会場全熱交2			○													
	1Fプレイルーム全熱交			○													
	1Fスポーツジム全熱交			○													
	1Fセミナー室1全熱交			○													
	1Fセミナー室2全熱交			○													
	1F応接室全熱交			○													
	1F倉庫全熱交			○													
	1Fエントランスホール24h照明							○									
	1Fエントランスホール照明							○									
	1F内部廊下24h照明							○									
	1F内部廊下照明							○									
	1F開放廊下1照明							○									
	1F開放廊下2照明							○									
	集会室送風機						○										
	集会室排風機						○										
	1F散水用電磁弁1			○									○				
	1F散水用電磁弁2			○									○				
	1F散水用電磁弁3			○									○				
	1L-1 一括警報								○								
	1L-2 一括警報								○								
	1L-3 一括警報								○								
	1L-4 一括警報								○								
	1L-NE 一括警報								○								
	1L-SW 一括警報								○								
	2F情報ライブラリーPAC1			○													
	2F情報ライブラリーPAC2			○													
	2F情報ライブラリーPAC3			○													
	2F情報ライブラリー照明							○									
	2F情報ライブラリー用排風機			○													
	2F散水用電磁弁			○									○				
	2L-1 一括警報								○								
	3L-1 一括警報								○								
	ラウンジ3F北PAC			○													
	ラウンジ3F北照明						○										
	3L-NE 一括警報								○								

記号	名称	監視対象盤	リモートステーション	操作・監視			監視			計測			計量	ロギング			備考
				オンオフ状態	オンオフ状態	設定	状態警報	状態	警報	温度	湿度	その他	積算	日報	月報		
	3L-SW 一括警報								○								
	ラウンジ3・4F南PAC			○													
	ラウンジ4F北PAC			○													
	ラウンジ3・4F南照明								○								
	ラウンジ4F北照明								○								
	2、3、4F廊下排風機			○													
	4F（南）ラウンジ排風機			○													
	ラウンジ5F北PAC			○													
	ラウンジ5F北照明								○								
	2-5F内部廊下1照明								○								
	2-5F内部廊下2照明								○								
	2-5F開放廊下1照明								○								
	2-5F開放廊下2照明								○								
	3、5F北ラウンジ共用排風機			○													
	ラウンジ5・6F南PAC			○													
	ラウンジ5・6F南照明								○								
	6F（南）ラウンジ排風機			○													
	ラウンジ7・8F南PAC			○													
	ラウンジ7・8F南照明								○								
	8F（南）ラウンジ排風機			○													
	9F交流サロンPAC			○													
	9F和室1PAC			○													
	9F和室2PAC			○													
	9F和室1全熱交			○													
	9F和室2全熱交			○													
	9F交流サロン全熱交 発			○													
	9F庭園灯1照明								○								
	9F庭園灯2照明								○								
	9F庭園灯3照明								○								
	9F散水用電磁弁1 発			○											○		
	9F散水用電磁弁2 発			○											○		
	湧水ポンプ西						○										
	湧水ポンプ東						○										
	湧水槽満水東								○								
	受水槽満減水								○								
	湧水槽満水西								○								
	加圧給水ポンプ						○										
	雨水センサー								○								
	屋内消火栓ポンプ						○										
	泡消火栓ポンプ						○										
	消火水槽満減水 警								○								
	消火補助水槽満減水 警								○								

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田 ｜ 丸川設計

project no. A3693 ■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）機械設備工事

date 99.09.30 drawn by checked by

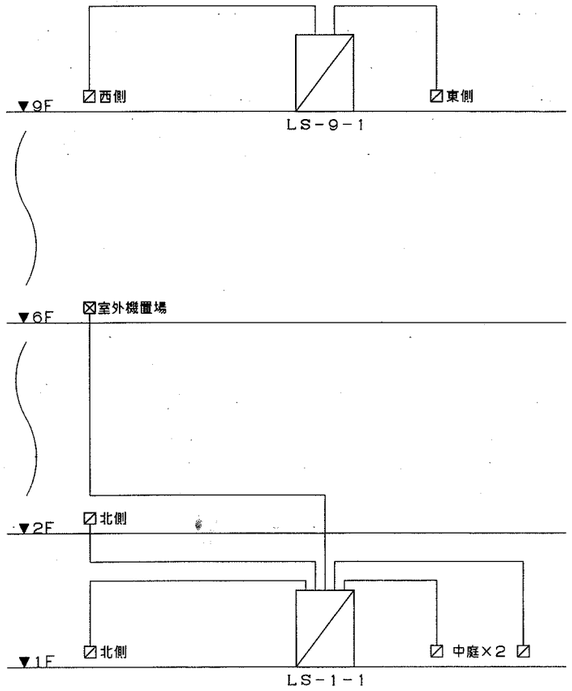
中央監視点一覧表

scale No Scale

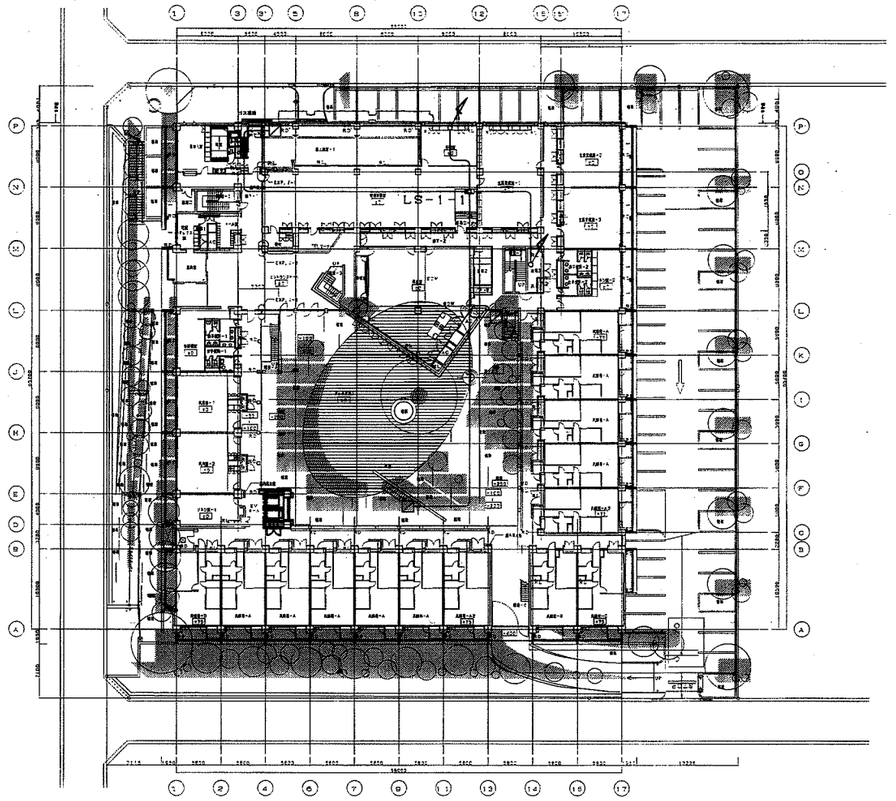
空調 204

A1 G:¥A3693-EMOTO¥つくば¥MH¥MP¥PLAN¥MHPP01A

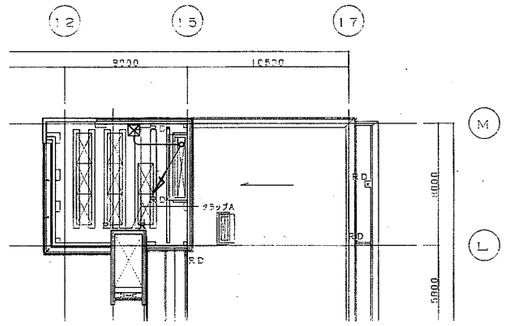
散水設備系統図



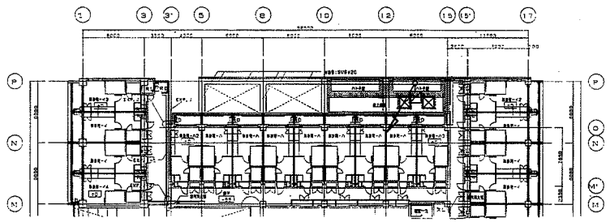
▽：量水メータ，電磁弁
⊠：雨水センサ



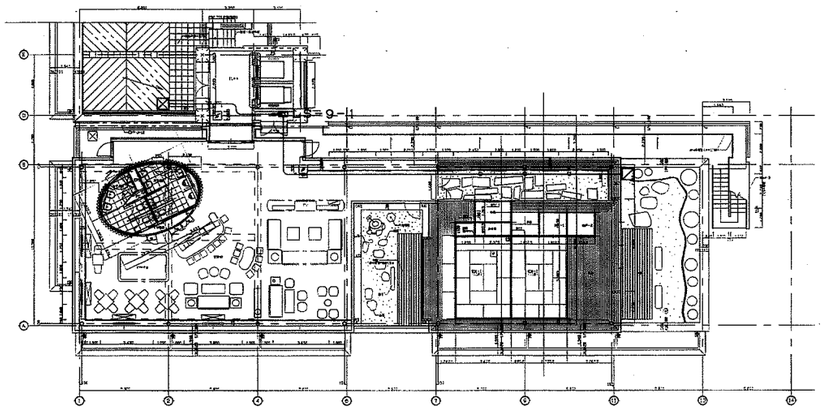
1階平面図　1／400



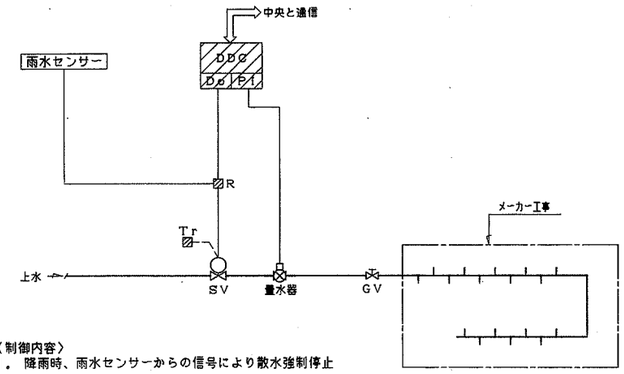
6階平面図　1／200



2階平面図　1／400



9階平面図　1／200



〈制御内容〉
1．降雨時、雨水センサーからの信号により散水強制停止

〈中央と通信〉
1．量水器による流量計測
2．スケジュール機能による電磁弁ON／OFF
3．過大流量時警報

散水設備フロー（6sets）

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体
松田平田　丸川設計

project no. A3693　■ つくば外国人研究者用宿舎（仮称）機械設備工事
date 01.03.11　drawn by　checked by

散水設備自動制御平面図
scale No Scale

空調
211

O/A3693-ENOTO/つくば/MH/MP/PLAN/MHFP001A

施設概要（竹園ハウス）

※図面は竣工当時のものであり、現況と異なる場合は現況を優先いたします。

I. 設計概要

建物名称	新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設	用途	共同住宅
所在地	北海道つくば市松代 2丁目20	建築主	新技術事業団
用途地域	商業地域	防火地域	準防火地域	その他	駐車場整備地区
建ぺい率	80 %	容積率	400 %

一般事項

敷地面積	1,500 M²		
建築面積		建ぺい率	31.13 %
延べ床面積	2,598.78 M²	容積率	173.25 %

建築概要

棟別	1棟
階数	地上7階
軒高	21.4 M
最高の高さ	29.7 M
基礎下端	
主体構造	鉄筋コンクリート造
地業	
建築面積	467.6 M²

各階床面積

階	
階	
階	
階	
階	
階	
PH階	53.55
7階	351.79
6階	〃
5階	〃
4階	〃
3階	〃
2階	〃
1階	434.49
合計	2598.78 M²

外部仕上げ

屋根	・アスファルト防水(引張耐候仕様) + 押えコンクリート
	・折板(ガルバリウム鋼板) + 石綿スレート張り(高断熱ウレタン吹付け厚25mm)
外壁	・窯業系サイディング(t=14mm)(ベルバーン) 吹付タイル
	・ALCパネル
開口部	・アルミサッシュ + 透明フロートガラス

内部仕上げ

設備概要

電気設備

受電方式	3φ 3W 6.6KV 50HZ 設備容量 KVA
自家発電	φ W V HZ 発電容量 KVA
受変電設備形式	・屋内形 ⊙屋外形 ・
監視方式	・警報盤 ・表示操作盤 ・監視制御装置
通信・情報設備	⊙電話 ・電気時計 ・拡声 ・表示
	⊙インターホン ⊙テレビ共同受信 ⊙火災報知 ・防犯
	・ ・ ・

給排水衛生設備

給水方式	供給方式 ・水道直結式 ⊙高置水槽式 ・加圧ポンプ式 ・
	・受水槽 15,000 ℓ ・高置水槽 4,000 ℓ
給湯方式	・中央式 ⊙個別式 ・
排水方式	⊙直接放流 ・浄化槽 ・ ・ ・
消火設備	・屋内消火栓 ・屋外消火栓 ・スプリンクラー ・ハロン消火 ・泡消火 ⊙連結送水管
ガス設備	⊙都市ガス ・液化石油ガス ・

空気調和設備

エネルギー	⊙電気 ・ガス ・油
冷温熱源	・冷凍機 ・ボイラー ・ヒートポンプ冷凍機 ・冷温水発生機
	・蓄熱槽 ・コ・ジェネレーション
空調方式	・単一ダクト ・パッケージ形空調機 ・ユニット形空調機 ・ファンコイルユニット
	⊙ルームエアコン(マルチタイプ ・セパレートタイプ ・ウォールスルータイプ)
	・小型水熱源ヒートポンプユニット ・
換気方式	・中央 ⊙個別
	⊙第1種 ・第2種 ⊙第3種
排煙方式	⊙自然 ・機械

昇降機設備

エレベーター	⊙乗用 ・車椅子兼用 ・荷物用 ・ 9人乗 ・ 60m/分 ・ 1台
エスカレーター	・昇降兼用 ・昇降専用 ・
立体駐車場	・

設計気象条件

外気温湿度	夏DB ℃ RH % 冬DB ℃ RH % (24時間)
積雪量	m
凍結深度	cm
最多降水量	mm/10min

II. 工事区分

注: 印のない場合は※印のついたものを適用する。

項目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構	
(1) 設備機器・配管配線用の床、壁及び天井の改め口の製作・設置	※	・	・	・	・		
(2) 建物内電気引込用マンホール並びにクラップの設置	※	・					
(3) ダクト付属の換気ファン類の設置	・	・		※			
(4) 一般換気扇の設置	・	・		※			
(5) 照明器具及びスピーカーなどの取付けのための天井ボード類下地切込み及び枠組補強	※	・					
(6) 鉄筋コンクリート造などの躯体貫通又は半貫通部分(設置機器・配管配線用)の補強	※						
(7) 同上貫通又は半貫通部分のスリーブ、箱などの製作・設置	※	※	※	※	※	・	
8. 鉄骨部分の貫通スリーブの製作・設置及び補強	※						
(9) 大規模な機器類(キュービクルなど)の基礎の製作・設置	※	・	・	・			
(10) 小規模な機器類の基礎・架台の製作・設置	・	※	※	※			
(11) 防火(煙)シャッターの製作・設置及び自動閉鎖装置の製作取付け	※						
(12) 同上連動制御器、感知器の製作・設置及び配管配線工事		※					
(13) 防火戸の扉、枠製作・設置(自動閉鎖装置用切込み補強共)	※						
(14) 同上自動閉鎖装置、連動制御器、感知器の製作・設置及び配管配線工事		※					
15. 可動式防煙壁の製作設置及び自動降下装置緩衝装置の製作取付	※						
16. 同上連動制御器、感知器の製作設置及び配管配線工事		※					
17. ダクト内の防火ダンパー、排煙ダンパーの製作設置及び自動閉鎖装置の製作取付け	・			※			
18. 同上連動制御器、感知器の製作設置及び配管配線工事		※					
(19) 機器類付属制御盤とその二次側配管配線工事			※	※	※		
(20) 自動制御などの現場盤への電源接続		※					
(21) ガス漏れ火災警報設備		※					
22. クレーン、ホイスト本体及びクレーンレール と電源盤以降の配管配線工事	※						
23. 電動ブラインド、電動カーテン、電動シャッター、自動ドアなどの制御盤及び二次側配管配線工事	※						
(24) 機械設備用機器、付属制御盤への電源接続及び接地工事		※					
25. 生産設備用機器、付属制御盤などの取付及び二次側配管配線工事		・					別途
26. 光天井などの照明器具用補体及び下面仕上材料(ルーバー等)	※						
27. 屋外キュービクルなどのネットフェンス	※						
(28) 電気設備用ハンドホール、マンホール、外灯基礎		※					
29. 自家発電設備用オイルタンク及びサービスタンク迄の油配管工事			・	※			
30. 自家発電設備用給排水配管工事			※				
(31) エレベーター、エスカレーターの一次側電源供給工事		※					
(32) エレベーター昇降路内の点検用コンセント		※					
(33) エレベーターシャフト外の遠方操作及び警報監視、インターホン用配管配線工事		※					
(34) エレベーター遠方操作盤、警報監視盤及びインターホンの取付け及び調整(監視盤DC電源共)					※		
(35) エレベーター機械室内非常電源と商用電源切替開閉装置					※		
36. エスカレーター底部取付のスピーカー、感知器取付		※			・		
37. 立体駐車場の非常用電源							※立駐
(38) 湧水槽、雨热槽などの躯体断熱層内外防水(仕上げ)マンホール並びにクラップの設置	※						
39. 排水槽などの躯体内外防水(仕上げ)マンホール並びにクラップの設置	※						
40. し尿浄化槽設備の躯体及び内外防水(仕上げ)マンホール並びにクラップの設置	※						
41. 排水槽、し尿浄化槽などの内外装置の設置			※				
(42) 建物内の排水溝、配管ピット(内外防水並びに仕上げ共)及び付属書類の設置	※						
43. 煙突工事(内部ライニング、クラップ、掃除口扉並びに水抜管の設置)	※						
44. 同上煙導の製作・設置				※			
(45) 建物外壁に取付く給排気用ガラリの製作・設置	※			・			
(46) 同上外壁ガラリのウェザーカバーの製作・設置	※			・			
(47) 建物内壁などに取付く吹出口、吸込口のガラリなどの製作・設置				※			
(48) 同上化粧用特殊ガラリの製作・設置	※						
(49) 各室建具ガラリの製作・設置	※						
50. 吹出口、吸込口などの取付のための孔あけ及び枠組補強(インサート共)	※						
51. 二重スラブ内の連通管、通気管及びマンホールの設置	※						
52. 地下室などの二重壁内の水抜管の設置	※						
53. ルーフドレイン類及びたてどいの設置	※						
54. 同上たてどいのGL以下部分の配管(曲り管共)第一桝まで	※		・				
55. 造り付け流し台ガス台及び戸棚の設置	※		・				
56. 別途流し類の配管接続及び排水金物			※				
57. 造り付け浴槽の設置	※						
58. 既製浴槽の設置(バランス釜使用の場合はそれを含む)	・		※				
59. ユニットバス類の設置	※		・				
(60) ユニットバス類の配管接続	・		※				
(61) 浴室、脱衣室、洗面所、便所などに取付けの防湿換	・		※				
62. 機械排煙口の製作設置	・			※			
(63) 真空集塵装置・貯塵ピット	※						
64. 〃 〃 電源供給		※					

III 建築工事特記仕様書

① 共通仕様書
a. 建設大臣官房官庁営繕部監修建築工事共通仕様書平成元年版(以下「共仕」という)を使用する。
設計図及び本特記仕様書に記載のない事項は全て共通仕様書による。
b. 共通仕様書において「監督員」とあるは全て係員と読み替える。
c. 本特記仕様書で「図示」とあるは、設計図面記載事項を意味する。

標準詳細図
建設大臣官房官庁営繕部監修 建築工事標準詳細図 平成元年版を使用する。

② 項目・特記事項の適用
a. 特記事項は⊙印のついたものを適用する。
⊙印のない場合は※印のついたものを適用する。
⊙印と※印のある場合は、共に適用する。
b. 特記事項に記載の( )内表示番号は、「共仕」の当該項目、当該表及び当該図を示す。

③ 設計図書の優先順位
設計図書に関する優先順位は次による。
1) 工事見積要項書
2) 質疑応答書及び補足訂正追加事項
3) 図示及び特記仕様書
4) 「共仕」

章		項目	特記事項
1 一般共通事項	①	建築材料	建築材料の製造所、製造及び施工業者などは別記の建築工事指定業者リスト記載のもの或は同等品以上の物とする。
	②	特別な材料の工法	「共仕」は平成元年版に記載のない特別な工法は係員の承諾を受けて、当該製品の指定工法によることができる。
	③	発生材の処理	引渡しを要するもの ⊙ 係員の指示による (1.1.9) 引渡し方法 ※自由処分 ⊙ 係員の指示による
	④	着工時中間時及び竣工時の提出書類	※提出書類は特記仕様書監理要項(届出提出書類事務処理平成元年版)による。 ・着工時に設計図をA3版に縮小を行い、白焼き製本を提出のこと。 ※3部 ・3部
	⑤	工事写真	下記のものを係員の指示する規定の台紙に添付し撮影箇所を明記し係員に提出する。 着工前写真 カラー ※キャビネ版・手札版・サービス版 枚 1部 工事中写真 カラー ※キャビネ版・手札版・サービス版 枚 2部 ※工事報告書に添付 ⊙ 工事現場のみにて撮影 竣工写真 分類 / 規格 / 撮影枚数 / 部数 ・モノクローム / ・キャビネ版 / ・ 枚以上 / ・ 部 ※カラー / ※キャビネ版 / ※30枚以上 / ※3部 ・カラースライド / ・ / ・ 枚以上 / ・ ・ / ・ / ・ 枚以上 / ・ 竣工写真の撮影者は下記による。(又は、同等の技量を有する者とする) ・㈱ 川澄建築写真事務所 TEL 03-(341)-7886 ・㈱ 三輪晃久写真事務所 TEL 044-(911)-4354 ※㈱ SS TEL 03-(719)-1141
	⑥	工事完成図	※原図作製(又は設計原図訂正)の上竣工後1ヶ月以内に原図共提出する。 ※製本 3部(金文字入り)、のり貼り 部。 ※マイクロフィルム(マスターフィルム及び5こまフィルム)を提出・A3版への縮小を行い、その原紙と白焼製本 3部(2つ折製本)
	⑦	工事区分など	図示によるほか、工事区分による(○印により適用する)但し、疑義を生じた場合は工事着工前に質疑応答書をもって確かめなければならない。 設備工事など他の工事との取合せ部分は、補強納り仕上げなどを検討できる施工図を提出して係員の承諾を受ける。
	8	、起工式上棟式に要する費用	※工事請負金額に含む。(起工式, 式, 式)・含まない。
	⑨	契約	※本工事の契約は四会連合協定工事請負契約約款(昭和56年9月改正)による。 ※四会連合協定工事請負契約約款に規定する工事かしが発生した場合はすみやかに修補すること。 ⊙ 事業団ヘ準ずる
	⑩	建設工事保険	請負者は本工事の全ての物件に対して、自己の負担にて、係員の承認する妥当な金額の損害保険を付し、その写しを提出する。 建設工事保険会社は工事費見積要項書による。
	⑪	設計GL	※図示 ・現状GL
	⑫	電気担当技術者	※置く ⊙置かない (1. 5. 3)
	⑬	技能士	適用工種別 ⊙鉄筋工事 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ工事 ・鉄骨工事 ・ブロック及びALC工事 ・防水工事 ・石工事 ⊙タイル工事 ・屋根及び樋工事 ⊙左官工事 ・塗装工事 ・建具工事 ・内装工事 ・植栽工事 ・硝子工事
	14.	立会い検査及び試験	※係員の指示による
	⑮	品質管理	請負者は自主施工監理者を選任し品質管理を徹底すること。
	⑯	作品の対外発表	本工事に関し施工業者または関係者が新聞雑誌等に発表する際には、事前に発表の企画内容を建築主及び枠設計に通知して、その了承を得た後、仕上り原稿について建築主及び枠設計の最終承諾を得るものとする。

2 仮設工事

①	仮囲い	危険防止及び保安上支障のないものとし、工事現場周囲に仕統よく設ける。 ⊙鉄板塀(※ペイント仕上・塗装なし 高さ※3m ・ m程度)→所定位置に移動 ⊙有刺鉄線塀(高さ15 m程度)
②	係員事務所	規模 ・10㎡ ・20㎡ ⊙35㎡ ・65㎡ ・100 ㎡ ・ ㎡ ・設けない (2.3.3) (2.3.1表) 備品など(2.3.4)のほか、ファクシミリを含む通信費。複写費。工事用連絡便。
③	工事用水	構内既存の施設 ・利用できる(※有償 ・無償) ⊙利用できない
④	工事用電力	構内既存の施設 ・利用できる(※有償 ・無償) ⊙利用できない
⑤	引込負担金	電気 ⊙本工事に含む ・含まない 水道 ⊙本工事に含む ・含まない ガス ⊙本工事に含む ・含まない 下水 ⊙本工事に含む ・含まない
⑥	竣工引渡し迄の基本料金と使用料金	本設受電後 基本料金 ・本工事に含む ⊙含まない 使用料金 ⊙本工事に含む ・含まない 量水器取付後 基本料金 ・本工事に含む ⊙含まない 使用料金 ⊙本工事に含む ・含まない ガス 基本料金 ・本工事に含む ⊙含まない 使用料金 ⊙本工事に含む ・含まない 下水 使用料金 ⊙本工事に含む ・含まない
⑦	障害物の処理	※現場説明事項によるほか、工事上撤去移設を要する経強なものは本工事の範囲とする。
⑧	工事看板	※枠設計工事看板は係員の指示による。 ・
⑨	仮設計画書	建物位置と敷地との相対関係、搬出入方法と敷地内外の条件、足場の危険防止、衛生、安全計画書等を作成し係員の承諾を受ける。(建設省計画局建設業課指導要領「市街地土木工事公衆災害防止対策」を遵守すること。)

3 土工事

①	埋め戻し及び盛土の種別	種別 ・A種(山砂) ※B種(根切り土の良質土) ・造成残土 (3.2.3)
②	残土処分	※ 構外に搬出し適切に処理する(残土捨場の許可書を提出すること)(3.2.5)
③	整地	⊙構内指示の場所に整ならす ・構内指示の場所に堆積 ・

4 地業工事
建築工事特記仕様書(5)参照

5 鉄筋工事
同上

7 鉄骨工事
同上 (耐火被覆を含む)

6 コンクリート工事

① 床コンクリートこて仕上げ

種別	施工箇所
※ A種	B種以外の部分
※ B種	一般屋根防水層の下地 ・

(6.12.2) (6.12.1表)

② 型枠 (6.13.1)

せき板の種別		材種・適用箇所		
⊙木製	⊙合板	一般用	ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠用合板のJAS規格	厚さ
		せき板	・JAS規格品	※12㎜
			※JAS規格による合板	・15㎜
		ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し用せき板	・A種 ※B種 ・C種 (6.13.2表)	
	・合板以外	材種・適用箇所		
・金属製		材種・適用箇所		
・		材種・適用箇所		

型枠締付材 ※ボルト式 ・
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げの程度 (6.13.3) (6.13.2表)
・A種 ※B種 ・C種

ここに記載以外は特記仕様書(5)による。

8 ブロック・ALCパネル・PCカーテンウォール工事

① コンクリートブロック (8.1.1) (8.2.1)

	●補強コンクリートブロック造	●コンクリートブロック帳壁及び塀
種類	※C種普通ブロック ・	※(8.2.1表) ・
厚さ	※150㎜ ・	・150㎜ ・120㎜ ・100㎜ 塀の厚さ 塀の高さ2m以下 ※120 ・ 塀の高さ2m以上 ※150 ・
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度	充てん用及びまぐさ用 ※180kg/cm² ・ 上記以外 ※210kg/cm² ・	※180kg/cm² ・
鉄筋	(5.1.1表) ※B類SD30A	
配筋	壁 ・ 他(a ※8.2.2図, 8.2.3図 ・	壁 ※(8.2.2表) ・

(1989.07.07.作製)

株式会社 梓設計 一級建築士事務所 東京都知事登録第3869号 一級建築士 中野裕之設計	2988	新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建築工事			
		建築工事 特記仕様書 (1)			
検図	審査	報告	製図	A-002	縮尺 /
				No. / 枚の内	年 月 日

8 ブロック・ALCパネル・PCカーテンウォール工事

2. レ ン ガ
- ・普通レンガ　※2種　(8.3.2)
- ・耐火レンガ　※8種又は9種　(8.3.2)
- ・モルタルレンガ　※市販品

3. プレキャストコンクリート（小規模）
- コンクリート　設計基準強度　※ 210kg/cm²　・　(8.4.3)
- 強度上の水セメント比　※65以下
- 補強鉄線
  - ・JIS G 3532（鉄線）　・JIS G 3551（溶接金網）　(8.4.2)
  - ※径3.2㎜以上
  - ※鉄筋の組立て配置を定め計算書を提出する。　(8.4.3)
- 型枠　※鋼製　・木製　(8.4.2)
- 取付け金物　※ＳＳ41（防せい処理(14.2.3表)※B種　・　）　(8.4.2)
  - ・SUS 304　・
- 原寸試作品　・作製する　・作製しない

4. ALCパネル
- 種類　・屋根用（非歩行用）　・間仕切壁用　・外壁用　・床用　(8.5.2)
- 目地用鉄筋　丸鋼　・A類　※B類（径9㎜）　(8.5.3)
- パネル接合部シーリング材　※E種　(9.4.1表)
- 外壁パネル工法　・A種　※B種　・C種　・D種　(8.5.2表)
- 間仕切壁パネル工法　※A種　・B種　・C種　・D種　(8.5.3表)
- 開口の補強　※図示　・メーカー仕様による　(8.5.10)

5. GRCパネル　・

6. PCカーテンウォール
- 取付け金物　※ＳＳ41（防せい処理(14.2.4表)　※（8.6.4(a)）・　）　(8.6.4)
  - ・SUS 304　・
- コンクリートの調合・配筋　(8.6.6)

設計基準強度	スランプ	脱型強度	配筋
※300kg/cm²	※8㎝以下	※120kg/cm²以上	※計算書の提出
・	・	・	・
・	・	・	・

性能

耐火	・	耐風圧	・
水密	・	断熱	・
層間変位	・	遮音	・
気密	・	仕上	・

製作取付け等については建設省住宅局建築指導課監修「張壁耐震工法マニュアル1979年版」に準ずる。

9 防水工事

① アスファルト防水　防水層の種別　(9.1.2)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
A-2	・屋根		・
C-2	・笠木屋根		・

(9.1.1表 ～ 9.1.8表)

- E種の保護層　・設ける　・設けない
- アスファルト　・2種　※3種　※4種（寒冷地）　(9.1.3)
- アスファルトルーフィング　※35kg品　・　(9.1.3)
- 露出防水の端部押え金物　(9.1.3)
  - 材種　※アルミニウム製　・
  - 形状寸法　※L-30×15×2.0　・
- 断熱材　※JIS A 9511B類　3種　・　(9.1.3)
  - ※日本アスファルト防水工業協同組合　ＢＫボード　及び
  - 東西アスファルト事業協同組合　ＲＢボード或は同等品以上
- 押えコンクリート　※（B種）　・行わない (6.9.1表)　(9.1.3)
- 立上りコンクリート　※打放しB種 (6.13.2表)　(9.1.4)
- 伸縮目地　幅　※25㎜　(9.1.5)
  - 材料　・合成樹脂発ぽう材　・既製目地　(9.1.5)

2. 合成高分子ルーフィング防水　(9.2.2)

種類	厚さ	施工箇所	種類	厚さ	施工箇所
		・			・
		・			・

③ 塗膜防水　(9.3.1表)(9.3.2表)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
ウレタン系		ゴムアスファルト系	
・X-1	・	・Y-1	・
・X-2	・	・Y-2	・
・X-3	・	・Y-3	・
⊙アクリル複層塗装・ハト小屋、笠	・		・

（ARメトロン・SD工法　同等品）

4. モルタル防水
- 施工箇所　・
- 伸縮目地　※設ける　・設けない

⑤ 防水施工の漏水試験　※防水層などの防水施工完了後、早急に漏水試験を行う。

⑥ 責任施工の保証　工事請負業者、施工業者及び材料製造者は保証期間中に施工上の過失又は使用材料の不良などにより事故を生じた場合、無償にて補償復旧をなすものとする。

防水の種別	保証期間（竣工期日以降）
⊙アスファルト防水	※10年間　・
・合成高分子ルーフィング防水	※5年間　・
・塗膜防水	※5年間　・
・モルタル防水	※5年間　・
・	・

⑦ シーリング施工箇所　(9.4.2)(9.4.1表)

種別	材種	施工箇所
A種	シリコーンシーリング材（1成分形）高モジュラス形	・ガラス～ガラス、ガラス～石合
B種	シリコーンシーリング材（1成分形）低モジュラス形	
	シリコーンシーリング材（2成分形）	
C種	ポリサルファイドシーリング材（2成分形）	・コンクリート～ALC、タイル目地 ・ガラスの額付け、サッシ廻り他
	変成シリコーンシーリング材（2成分形）	
	変成シリコーンシーリング材（1成分形）	
D種	ポリウレタンシーリング材	
E種	エマルション系アクリルシーリング材	
F種	油性コーキング材	

（注）1．高モジュラス形とは、50%モジュラスが2.5kg/cm²を超えるもの。
2．低モジュラス形とは、50%モジュラスが2.5kg/cm²以下のもの。

10 石工事

1. 花こう岩類の石張り　石材の品質　※1等品　・　等品　(10.2.2)

種類、産地、名称	仕上の種類	適用箇所
・	・	・
・	・	・
・	・	・

(10.2.1表)(10.2.2表)

石材の落下防止の工法　・　(10.2.3)

2. 大理石張り　石材の品質　※1等品　・　等品　(10.3.2)
- 石厚　※一般部分の内壁厚さ18㎜以上
- 大きさ　※1㎡以内

種類、産地、名称	仕上の種類	適用箇所
・	※本磨き	・
・	・	・
・	・	・

(10.3.1表)

※便所等の水かかりの部分に使用する大理石は透明プラスチックにて穴埋めをする。
石材の落下防止の工法　・

3. テラゾーブロック張り　種石の種類　※大理石　・花こう岩　寸法・　(10.4.2)

④ 敷石及び階段石（伊部幹 他）　(10.5.2)
- 石材の品質　※2等品　・
- 石の種類　⊙大理石　・花こう岩
- 目地幅　・大理石 ㎜　・花こう岩 ㎜
- 仕上の種類　※粗磨き　⊙ 手斧ﾅｼ
- ホゾ　⊙ 図示

5. テラゾータイル張り　種類　・大理石　・花こう岩　(10.6.1)
- 形状、寸法　・

6. 取付け工法　※壁・軒ウラに石材を使用する場合はSUS 304 にて躯体に支持させる。

11 タイル工事

① 陶磁器質タイル張り　(11.1.1)

形状・寸法	きじの質	色調	うわぐすり	役物	適用箇所
・92×197	⊙磁器・せっ器・陶器	・標準色⊙指定色	⊙有・無	⊙有・無	⊙外壁、玄関
・	・	・	・	・	・
・100°, 200°, ・100°	⊙せっ器	⊙標準色	・	⊙他	⊙有 ⊙無
	⊙陶器	⊙褐色	⊙有	⊙無	⊙台所 他

工法　伸縮目地のシーリング用材料　※C種（9.4.1表）・　(11.1.1)

伸縮目地の位置　※(11.1.3.a.2)　⊙図示　(11.1.3)

伸縮目地寸法　※幅10㎜以上　深さ7㎜以上　⊙ 図示　(9.4.4)

壁タイル張り工法　(11.1.3)(11.1.4表)

タイルの種類	タイル寸法	工法	施工箇所
陶器質タイル		※積上げ張り　⊙ 湿式工法	⊙台所 他
陶器質タイル以外のタイル	小口タイル以上	※密着張り　・ ・改良積上げ張り・	⊙外壁 玄関
ユニットタイル	25㎜を超え小口タイル未満	※ユニットタイル改良積上げ張り・	
	25㎜以下	※ユニットタイル圧着張り・	

2. 陶磁器質タイル型枠先付け　種別　・タイルシート法　・目地ます法　・桟木法　(11.2.2)　(11.2.3)

形状・寸法	きじの質	色調	うわぐすり	役物	適用箇所
・	・磁器　・せっ器	・標準色・指定色	・有・無	・有・無	・
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・

せき板　※B種（6.13.1.b.2）　・金属製タイル先付け用パネル　(11.2.3)
工法　伸縮目地のシーリング用材料　※C種（9.4.1表）・
伸縮目地の位置　※(11.2.2表)　・図示　(11.2.5)
伸縮目地寸法　※幅20㎜以上　深さ10㎜以上　・　(9.4.4)

3. 特殊タイル　・

4. 検査
- たたきに依る検査　※全面にわたり行う　・行わない　(11.1.4)
- 接着力試験　※行う　・行わない　(11.1.4)(11.2.7)
- 引張強度　屋外　※6kg/cm²以上（先付ヶ）、4kg/cm²以上（後張り）
- 屋内　※4kg/cm²以上　(11.1.4)

12 木工事

① 木材
- 含水率　※A種　・B種　(12.1.2)(12.1.1表)
- 造作材の等級　※A種　・B種　(12.1.2表)

樹種　(12.1.3表)

区分		樹種	代用樹種を適用しない場所
小屋組	はり	※松　・	・
(12.2.1)	その他	※杉　・松　・	
屋根野地、軒回り	鼻隠し、破風板	※杉　・　・	
(12.3.1)	その他	※杉　・松　・	
⊙R.C.造内部 (12.4.1)	間仕切	※杉　・	
	床組	※杉　・松　・	
	（根太）	※松　・	
	土間の場合、土台、大引、根太	※檜　・防腐処理材	
窓、出入口、その他 (12.5.1)	つり元枠、水揚かり下枠、水揚かり敷居	※檜　・	
	くつずり	※たも　・しおじ	
	敷居	※松　・	
	その他	※杉　・	
床板張り		※(12.6.1表)	
壁及び天井下地(12.7.1)		※杉　・松	

② 表面仕上げ　・A種　※B種　・C種　・手加工かんな削り　(12.1.4)(12.1.4表)

3. 化粧助造作用集成材
- 等級　※1等　・　(12.1.6)
- 化粧単板　樹種・　厚さ・
- 仕上　※A種　・　(12.1.4表)

4. 造作用集成材
- 等級　※1等　・　(12.1.7)
- 集成材を構成する単材　樹種・　厚さ・

5. 防ぎ処理　・行う　※行わない　(12.1.13)

⑥ 防虫処理　ラワン材の防虫処理　※防虫1種処理材の規格品とする　(12.1.14)

⑦ 床板張り　合板　接着性の種類　※1類　・　(12.6.1)
- 表面の品質　※2等　・

13 屋根及びとい工事

1. 長尺亜鉛めっき鋼板葺
- 屋根ふき形式　・長尺瓦棒ぶき　・平ぶき　・横ぶき　(13.1.1)
- 材料　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板　・着色ステンレス　・軟塩化ビニール金属積層板　(13.1.2)
- 鋼板の厚さ　・0.4㎜　※0.6㎜　・0.8㎜　・　㎜
- 断熱材　材種・　厚さ・
- 下ぶき材料　※アスファルトルーフィング　22kg/21m²　・

② 折板葺（外壁を含む）
- 材料　・塗装溶融亜鉛めっき鋼板　・軟塩化ビニール樹脂金属積層板　(13.2.2)
- 型による区分　※重ね型又ははぜ締め型　⊙ すレ番七型
- 鋼板の厚さ　・0.6㎜　⊙0.8㎜　⊙1.0㎜
- 断熱材　材種・　厚さ・
- 高さ（㎜）　⊙150程度　・170程度　・85程度　・
- 単位荷重（kg/m²）・　以上（たわみは1/300 以下）
- ボルト工法　・キャップ型　・ボルトレス型　・一般型　・　(13.2.3)
- 一般型のボルト材料　※ステンレスボルト　・
- 二重面戸の使用箇所　※図示　・

③ とい　材種　樋　※JIS G 3452（配管用炭素鋼鋼管白管）⊙硬質塩化ビニール管(13.4.1表)　・
- 軒樋　・図示
- 軒どいの伸縮継手　※設ける　・設けない
- 伸縮継手の間隔　※10m以内
- オーバーフローの水抜き　材種　※SUS 304　・　形状⊙ φ25（ゴム座）
- ドレイン部ゴミ除去金網　※設ける・設けない　材料　※ステンレスメッシュ　・
- 防露　※行う　・行わない　(13.4.3)(13.4.4表)

ルーフドレーンなど　(13.4.6)
- 排水方法　⊙竪引　⊙横引
- 寸法　・80　⊙100　・125　・150　・
- 掃除口　※設ける　・設けない　(13.4.7)

14 金属工事

① 表面処理

表面処理、仕上	種別		施工箇所	備考
⊙ステンレス表面仕上	・バフ仕上 ・鏡面仕上 ⊙HL仕上	・エッチング仕上 ・カラーステンレス		(14.2.1)
アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	・A－2種 ※B－2種 ・C－2種 ・D種	・A－1種 ・B－1種 ・C－1種		(14.2.2) (14.2.1表)
鉄の亜鉛めっき	・A類（溶融亜鉛めっき）	※B種 ・A種		亜鉛めっき面の試験 ※行わない 但し表面処理施工会社の証明書付 (14.2.2表)～(14.2.4表)
	・B類（電気亜鉛めっき）	・A種 ・B種 ・C種		
特殊表面被覆	下地	被覆の種別		
	・鉄面	・塩ビ被覆 ・焼付塗装 ・ ・ ・		

ステンレスの表面仕上仕様

仕上名称		仕上方法
・バフ	No.7	順次に細かい研磨羽で研磨を施ねた後、最後に酸化クロムあるいは、アルミナ等のルージュで仕上げ、バフを行う。高度の光沢をもった準鏡面で多少砥粒線が残る。
・鏡面	No.8	No.7仕上げ品をさらに細かい粒度の研磨剤を用いて仕上げる。いわゆる鏡面板で、砥粒線の残らない最高の研磨仕上げ。
⊙HL（ヘアライン）		一旦#400 程度まで研磨した表面に、#150～180程度のエメリー粉で直線的筋目を平行に入れて仕上げる

注：No.7　No.8はアメリカ鉄鋼協会標準鋼（AISI）の分類による。

② 軽量鉄骨天井下地　材料　野縁の種類　屋内　※19形　・25形　屋外　・19形　※25形　(14.4.1)(14.4.1表)
- 屋外の特殊ふれ止補強　・行う（　）

③ 軽量鉄骨壁下地　材料　ｽﾀｯﾄﾞ及びﾗﾝﾅｰの種類　⊙65形　・90形　・100 形　(14.5.2)(14.5.1表)

④ 手摺り　材料の種別　・鋼　・SUS 304　・アルミ　⊙ 図示　(14.6.1)

⑤ タラップ　材料の種別　※SUS 304　・鋼　⊙ 図示　(14.6.2)

6. 金属成形板張り　種別　・　(14.7.1)
- 表面処理　・
- 取付用下地　天井　・
- 壁　・
- 伸縮継手　・設ける（図示）　・設けない

⑦ アルミニウム製笠木　材料　※アルミニウム押出し形　・SUS 304　(14.8.2)
- 部材の種類　⊙250形　・350形　・
- 伸縮継手　※設ける（ 3 m以内）程度・設けない
- 役物の種類、工法　※主材製造所の仕様　・　(14.8.1)
- 表面処理　・B－1種　⊙A－1種　・　(14.2.1表)
- 多雪地域の笠木固定間隔　・　(14.8.3)

15 左官工事

① モルタル塗り　セメント　※普通ポルトランドセメント　・混合セメントA種　・混合セメントB種　(15.3.1)
- コンクリートブロックに塗る場合はラス下地とする。

2. ALCパネル用特殊プラスター塗り
- 材料の種別　・A種　※B種　(15.5.1)(15.5.1表)
- 塗り厚さ　・　㎜

③ 仕上塗材仕上げ　仕上塗材の種類　仕上げ及び工法　(15.6.1)(15.6.1表)(15.6.4)

規格名称及び規格番号	種類（呼び名）	仕上げ	工法	施工箇所
薄付け仕上塗材 JIS A 6909の規格品	・外装薄塗材C ・内装薄塗材C	——	・吹付け	
	・外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け	
			・ローラー	
		・着色骨材砂壁状	・吹付け	
	・内装薄塗材E	・砂壁状ジュラク	・吹付け	
			・ローラー	
	・内装薄塗Si	——	・吹付け	
		——	・ローラー	
厚付け仕上塗材 JIS A 6915の規格品	・外装厚塗材C	・模様吹き	・吹付け	
		・凸部処理	・吹付け	
			・こて	
	・外装厚塗材E	・模様吹き	・吹付け	
		・凸部処理	・吹付け	
複層仕上塗材 JIS A 6910の規格品	・複層塗材CE	・ゆず肌	・吹付け	
		・凸部処理	・吹付け	
		・凹凸模様	・ローラー	
	・複層塗材E ・複層塗材RS ⊙複層塗材RE ・複層塗材Si	⊙ゆず肌	・吹付け	外壁
		・凸部処理	・吹付け	
		・凹凸模様	・ローラー	

(1989.07.07.作製)

一級建築士事務所　東京都知事登録第3109号
株式会社 梓設計
一級建築士登録第14029号　中野裕之設計
2988
新技術事業団（仮称）外国人研究者宿泊施設建設工事
建築工事　特記仕様書　（2）
校閲　審　作　印　製図
A－007　縮尺 /
No. /　枚の内　年　月　日

15 左官工事

		板層仕上げ塗材の表面仕上 ・メタリック ⊙ウレタン ・光沢仕上げ (15.6.1)
		防火材料 ※屋内の壁及び天井の仕上塗材仕上は基材同等の認定表示のあるものとする。
		ALCパネルの内壁目地の形状 ※V形 ・ (15.6.2)
	4. 吹付け材吹付け	軽量骨材吹付け材吹付け (15.7.1) 種類 ※JIS A 6917（軽量骨材仕上塗材）の規格品 ・パーライト ・バーミックスライト ・ 仕上げ厚さ ※5㎜ ・ ロックウール吹付け 吹付け厚さ ㎜ (15.7.2)
	⑤ 特殊仕上げ	耐磨耗床 材料 ・ 工法・ 厚さ・ ㎜ 耐薬品床 材料 ・ 工法・ 厚さ・ ㎜ 壁面塗り工法 材料 ※モルタル系 ・ 厚さ・5 ㎜

16 建具工事

	① アルミニウム製建具	外部に面する建具の性能 (16.2.1) (16.2.2)

	耐風圧性 kg/㎡	気密性 ㎥/h・㎡	水秘性 kg/㎡	枠見込	適用箇所
A類	・	※2 ・	※50 ・	・	
B類	※290 ・	※8 ・	※35 ・	※70.80・ ・	

		表面処理 ・A－1 ・A－2 ・B－1 ※B－2 (16.2.3) (14.2.1表)
		網戸 ⊙設ける(6号) ・設けない (16.2.5) 使用方法による区分 ※外面納まりの可動式 網の材質 ・ステンレス・※合成樹脂 ・ガラス繊維入合成樹脂
	② 鋼製建具	鉄板の厚さ ※(16.3.1表) ・ (16.3.2) 表面処理亜鉛めっき鋼板の亜鉛の最小付着量 ※両面で 120g/㎡以上 ・
	③ 鋼製軽量建具	召合わせ，縦小口包板 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミ合金 (16.4.2) 焼付塗装 ・行う ⊙行わない (16.4.3)
	④ ステンレス製建具	曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (16.5.2) ステンレス表面仕上仕様 ※特記仕様書 14. 金属工事 1.表面処理による。
	5. 自動扉	開閉機構 駆動力 ・電気式 ・油圧式 (16.6.2) 検出装置の種別 ・マットスイッチ ※光電管スイッチ併用
	6. 強化ガラスドア	指つめ防止スリット ・設ける ・設けない
	⑦ 重量シャッター	防火，防煙以外のシャッターケース ・設ける 設けない (16.7.1) 開閉機能 ※上部電動式（手動併用） (16.7.1表)
	8. 軽量シャッター	開閉機能 ※手動式 ・上部電動式 (16.8.1)
	9. その他のシャッター	種類，材料，開閉機能 ※図示 ・
	⑩ 木製建具	建具材の種別 A種 ※B種 ・C種 (16.9.1表) 代用樹種を適用しない箇所 ・ 普通合板の接着剤の種類 水掛り箇所 ※1類 ・ (16.9.1) その他の箇所 ※2類 ・ フラッシュ戸の表面板の厚さ ・A種 ※B種 (16.9.3表) フラッシュ戸以外の建具の引き戸の召合わせかまち (16.9.4表) ※いんろう付 ・
	⑪ 建具用金物	マスターキー ※製作する 組（3個）・製作しない (16.10.2) グランドマスターキー ・製作する 組（ 個）・製作しない
	⑫ ガラス	フロート板ガラス ・A級品 ※B級品 ・すりガラス (16.11.1) 複層ガラスの断熱性の区分 ・

ガラス留め材		適用箇所
⊙パテ	※(16.11.1表) ・	
⊙シーリング材	ガラスとガラスの留め材 ※A種 ・	
	その他 ※C種 ・	
・ガスケット	・	

板ガラスをはめ込む溝の幅 ※(16.11.2表) ・ (16.11.2)

	13. オーバーヘッドドア	セクション材料 ・スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ (16.12.1表) 開閉機能 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 (16.12.2表) ガイドレール用鋼板の亜鉛付着量試験 ・行う ・行わない (16.12.3)
	14. 特殊建具	排煙窓の開閉方式 ・手動オペレーター方式 ・煙感知器連動自動開閉方式 ・手動，自動併用方式
	15. 金属製カーテンウォール	層体の層間変位 ㎜に対応し，性能は外部アルミニウム製建具に準ずる。 取付け工法は，帳壁耐震工法マニュアル（日本建築センター編1979年版）による。
	⑯ 錠前	※鋼製 ・木製 ※錠のセット数に見合った大きさとする。

17 塗装工事

	① 防火材料	屋内の壁及び天井の塗装仕上げは，基材同等の認定表示のあるのとする。(17.1.1)
	② 素地ごしらえ	木部 ・A種 ⊙B種 (17.2.1表) 鉄面 ・A種 ・B種 ※C種 (17.2.2表) モルタル及びプラスタ面 ・A種 ※B種 (17.2.4表) コンクリート，ALCパネル面 ・A種 ※B種 (17.2.5表) 石こうボード及びその他ボード面 ・A種 ※B種 (17.2.6表)
	③ さび止め塗料塗り	鉄面さび止め塗料の種別 (17.3.1) (17.3.1表)

種別	規格番号	適用箇所
⊙A種	・JIS K 5622 ・JIS K 5623 ⊙JIS K 5624 ・JIS K 5625	※屋外 ・
⊙B種	・JIS K 5621	※屋内 ・

亜鉛めっき面さび止め塗料の種別 (17.3.1) (17.3.2表)

規格番号	適用箇所
JIS K 5627	※屋内 ・
JIS K 5629	※屋外 ・

鉄面さび止め塗料塗り 見え掛かり部分 ※A種 ・B種 (17.3.3表)
見え隠れ部分 ・A種 ※B種
亜鉛めっき面さび止め塗料塗り 鋼製建具 ※A種 ・B種 (17.3.4表)
その他 ・A種 ※B種

	④ 合成樹脂調合ペイント（SOP）	塗料種別 屋外 ※2種 ・ 屋内 ※1種 ・ (17.4.1) 鉄面合成樹脂調合ペイント塗り ・A種 ※B種 (17.4.2表)
	⑤ 合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）	工法 ・A種 ※B種 (17.5.1表)
	⑥ 合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EPT）	工法 コンクリート、モルタル、プラスター、石膏ボードなど (17.6.1表) ・A種 ※B種 鉄面及び亜鉛メッキ面 ・A種 ※B種 (17.6.2表)
	⑦ 塩化ビニール樹脂エナメル塗り（VE）	工法 ・A種 ※B種 (17.8.1表)
	8. アクリル樹脂エナメル塗り（AE）	工法 ・A種 ※B種 (17.9.1表)
	⑨ フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）	工法 木部 ・A種 ※B種 (17.10.1表) 鉄面又は亜鉛メッキ面 ・A種 ※B種 (17.10.2表)
	⑩ クリヤラッカー塗り（LC）	工法 ・A種 ※B種 (17.12.1表)
	11. ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）	工法 ・A種 ※B種 (17.13.1表)
	12. マスチック塗材塗り（MR）	(17.16.1表)

種別	凸面処理仕上げ	仕上材塗り種類	施工箇所
・A種	・行う ・行わない	―	
・B種	―	―	
・C種	・行う ・行わない	・アクリル樹脂エナメル ・有光沢合成樹脂エマルションペイント	

18 内装工事

	① 防火材料	※壁及び天井の仕上材は防火性能について認定表示のあるものとする。 ※避難階段、避難通路及び防煙たれ壁に接する部分は全て不燃認定表示のあるものとする。
	② ビニル床シート張り	材料 ・メカニカルエンボス材 ・ケミカルエンボス材 ⊙プレーン材 (18.1.1) 色柄 ⊗無地 ⊙模様入り 厚さ（㎜） ⊙2.0 ※2.5 ・3.0 ・ 熱溶接工法 ・行う ⊙行わない（イモ防） (18.1.2)
	③ ビニル床タイル及びゴム床タイル張り	ビニル床タイル種類 ※半硬質（※ビニルノンスペースタイル ・) (18.2.1) ・硬質（※ホモジニアスタイル ・ピュアビニルタイル ・) 厚さ（㎜） ※2.0 ・2.4 ・3.0 ゴム床タイル種別 ・天然ゴム ・合成ゴム 色柄 ・ 厚さ（㎜） ・3 ・6 ⊙ビニル幅木 厚さ（㎜） ※2.0 高さ（㎜） ⊙60 ※75 ・100 ・
	④ 合成樹脂塗り床	(18.3.3表) (18.3.7表)

種別	仕上げの種類	施工箇所
弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上げ	・
	・防滑仕上げ	・
	・つや消し仕上げ	・
エポキシ樹脂塗り床材	・薄膜流し展べ仕上げ	・
	・厚膜流し展べ仕上げ	・
	・樹脂モルタル仕上げ	・
	・防滑仕上げ	⊙ 床仕上げ，パレフィニー

（ABC 商会 ケミクリート E ランスリップ・アガセ 同等品）

	⑤ 石こうボード，その他ボード及び合板張り	(18.4.1)

材料名	規格・樹種	適用箇所
石こうボード	・	⊙ 床仕上げ
	・	・
難燃合板	・	・
特殊合板	・	・

		合板類の張付け工法 ・A種 ※B種 (18.4.2表)
	6. フローリング張り	単層フローリング (18.5.1) 種別 ・フローリングボード ・フローリングブロック ・モザイクパーケット 複合フローリング 種別 ・天然木化粧複合フローリング 工法 湿式工法 ・モルタル埋込み工法 ・ 乾式工法 ・くぎ留工法 ・接着工法 ・

モルタル埋込工法材料 (18.5.2)

・フローリングブロック	樹種	※ぶな ・	(18.5.1表)
	板厚	※15㎜ ・	
	大きさ	※303×303 ・	

くぎ留工法材料 (18.5.3)

・フローリングボード	樹種	※ぶな ・	(18.5.2表)
	板厚	※15㎜ ・	
	板幅	※75㎜以上 ・	
	板長さ	※500㎜以上 ・	
・複合フローリング	樹種	※ぶな ・	(18.5.3表)
	種別	・A種 ・B種 ※C種	

接着工法材料 (18.5.4)

・単層フローリング			
・フローリングブロック	樹種	※ぶな ・	(18.5.1表)
	板厚	※15㎜ ・	
	大きさ	※303×303 ・	
・フローリングボード	樹種	※ぶな ・	(18.5.2表)
	板厚	※15㎜ ・	
	板幅	※75㎜以上 ・	
	板長さ	※500㎜以上 ・	
・モザイクパーケット	樹種	・	
	板厚	・	
	大きさ	・	
・複合フローリング	樹種	※ぶな ・	(18.5.4表)
	板厚	※8㎜以上 ・	
	板幅	※75㎜以上 ・	
	板長さ	※900㎜以上 ・	

フローリングの裏面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート裏打 ・

		塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗り (17.13.1表) ・A種 ※B種 ・ (18.5.5) ・オイルステイン着色、ワックス塗り ・ワックス塗り
	⑦ 壁紙張り	⊙塩化ビニル樹脂発泡シート 防火材料の品質 ・ガラス繊維 ・化繊 ⊙塩化ビニール ・紙 (18.6.1) 防火性能種別 ※図示 工法 素地ごしらえ モルタル・プラスター面 ・A種 ※B種 (17.2.4表) 石こうボード・その他ボード面 ・A種 ※B種 (17.2.6表)
	⑧ 畳敷き	種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・ (18.7.1表)
	⑨ じゅうたん敷き	じゅうたんの品質検査 ・行う ⊙行わない (18.8.2)

種別	敷込み	帯電防止	下敷き材
・ウィルトンカーペット ・A種(18.8.2表) ・B種 ※C種	※グリッパー工法	※行う ・行わない	※黄麻フェルト厚8㎜ 2回刺し
⊙タフテッドカーペット ・A種(18.8.3表) ・B種 （ブラシエ「フロアビュー」同等品）	⊙グリッパー工法 ※全面接着 ・部分接着 ・	※行う ・行わない	
・ニードルパンチカーペット ⊙タイルカーペット		※全面接着 ※全面接着	

（ヤマシタ「DJ－100」同等品）

	10. フリーアクセスフロアー	パネル材料 ・アルミダイカスト ・スチール ・ハニカムコアー ・セメント系 ・ 仕上材料 ・静電気帯電防止タイル(厚さ㎜) ※2 ・ ・じゅうたん(パイル長さ㎜) ・ 支持脚 材料 ・ 高さ（㎜） ・ ・免震工法
	⑪ 断熱・防露材料及びその他の材料張り	種類 (18.9.2)

材	種	密度	厚さ(㎜)	適用箇所
ロックウール	・繊維			
※ JIS A 9504（保温）	・ボード			
・ JIS A 6303（吸音）	・ベント号			
クラスウール	・繊維	※16K・		
※ JIS A 9504（保温）	・ボード	※32K・		
・ JIS A 6303（吸音）	・			
・ポリスチレンフォーム（押出し発泡成型）JIS A 9511		※ 0.035g/cal		
・硬質ウレタンフォーム（押出し発泡成型）JIS A 9514				
⊙硬質発泡ポリウレタン（現場吹）			15	図示
・				
・				

19 舗装工事

	① 路床	しゃ断層 ※良質な山砂 ・海砂 ・川砂 (19.2.1) 凍土抑制層 ・砂 ・火山灰 盛り土材料 ・ (19.2.2) 路床土の支持力比（CBR）試験 ・行う（ ・ 箇所）⊙行わない (19.2.3) 路床締固め度の試験 ・行う ⊙行わない
	② 路盤	材料 ※クラッシャーランC-40 (19.3.1) (19.3.1表) ・クラッシャーランスラグCS-40
	③ アスファルト舗装	加熱アスファルト混合物の種類 (19.4.2) (19.4.2表)

区分	地域別	種類
表層	一般地域	・密粒度アスファルトコンクリート（13） ・細粒度アスファルトコンクリート（13）
	寒冷地域	・細粒度アスファルトコンクリート（13F） ・細粒度ギャップアスファルトコンクリート（13F）
基層	一般及び寒冷地域	※粗粒度アスファルトコンクリート（20）

シールコート ・行う ⊙行わない (19.4.3)
アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ⊙行わない (19.4.4)
舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・

	4. コンクリート舗装	冬期施工での早強セメントの使用 ・使用する ・使用しない (19.5.1) 注入目地材料 (19.5.1表) ※加熱施工式低弾性タイプ ・加熱施工式高弾性タイプ コンクリート版の厚さの検査（コア－採取） ・行う ・行わない (19.5.4) 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・
	⑤ 特殊舗装	材料 (19.6.2) ・カラー舗装 種類 ※顔料を使用した加熱アスファルト混合物 ・ ・透水性舗装 種類 ・ ・コンクリート平板 寸法 ※N300 ・ クッション材 ※砂 ・空練りモルタル (19.6.4) ⊙インターロッキングブロック 種類 ⊙ 図示、 クッション材 ※砂 ・空練りモルタル (16.6.4) ・縁石 石材種類 ・ 基層 ・ (19.6.4)
	⑥ 街きょ，縁石及び側溝	縁石の形状 寸法 ⊙ 図示、 (19.7.1) 側溝の形状 寸法 ⊙ 図示、 コンクリートの設計基準強度 ※A種(180kg/cm²) ・ (19.9.1表) 地業の材料 ※切込み砂利又は切込み砕石（最大粒径45㎜） (4.7.1)
	⑦ マーキング	材料 ・路面表示用塗料（トラフィックペイント，JIS K 5665) (19.6.2) ・溶融式3種1号 ・加熱ペイント式2種 ・常温ペイント式1種 色彩 ※白色 ・黄色
	⑧ 普通コンクリート	・図示の寸法 5.4M×0.86M（つくば市の仕様による）

20 排水工事

	① 排水工事	材料 鉄筋 ※異形鉄筋 B種 ・ (20.1.1) (5.1.1表) 排水管 材種 ⊙遠心力鉄筋コンクリート管（※1種B形・ ） (20.1.1表) ・鋳管 ⊙硬質塩化ビニール管 ・ 側溝 形状寸法 ・ 排水ます 材種及び形式 ⊙プレキャスト製 （※建設省型 ・ ） ・場所打ちコンクリート製 （※FC=180kg/cm², スランプ15㎝以下 ・ ） ・ 形状及び規格 ・ 蓋 材種及び形式 ⊙プレキャスト製（厚さ・ ㎜） ・鋳鉄製格子蓋 （・ 荷重用） ・鋳鉄製防臭蓋 （・ 荷重用） ⊙グレーチング （・ ） ・ 地業 ※切込み砂利又は切込み砕石（最大粒径45㎜） (4.7.1)

21 植栽工事

	① 植樹	植込み用土 ※樹木掘り客土、他は現場発生土の良質土・全面客土 (21.1.1) 支柱の施工範囲 ※図示 ・ (21.1.2) 支柱丸太及び添木丸太 ※防腐剤塗 ・焼丸太 ・ 植替え補償規定 ※引渡しの日から1年間 ・ (21.1.4)
	② 芝張りの吹付けは種・その他	芝 ※こうらい芝 ・姫こうらい芝 ・野芝 (21.2.1) 土壌改良剤 ・土壌改良用泥炭（ピート） ・バーク系堆肥 (21.2.1) 芝張り 平地 ※目地張り ・ (21.2.2) 切り土のり面 ※ベタ張り ・ 盛り土のり面 ※筋芝張り ・ 客土 ・行う（全面客土厚さ ・100㎜ ・ ） ・行わない 吹付けは種 土質の酸性及び硬度の測定 ※行わない ・行う 種子の量 ※25g/㎡ ・ 被膜養生 ・行う ・行わない 植替え補償規定 ※引渡しの日から1年間 ・ (21.2.4)

(1989.07.07.作製)

一級建築士事務所 東京都知事登録第3888号
株式会社 梓設計
一級建築士登録第6004号 中野裕之設計
2988
新技術事業団（仮称）外国人研究者宿泊施設建築工事
建築工事 特記仕様書 (3)
縮尺 1－304
No. 枚の内 年 月 日

① コーナービード溝り止めその他
・コーナービード　材種　※SUS 304　・ビニール　(22.1.1)
高さ　※天井まで　・床から　mmまで　・
⊙階段滑り止め　材種　※SUS 304　・硬質アルミニューム　・磁器製　(22.1.1)
形状　⊙ビニールタイヤ入り　⊙ フラットエンドビクタイプ
幅　※35mm　・　mm
工法　※埋込み工法　・接着工法　・
⊙幅　形状寸法　厚さmm　※5　・　(22.1.3)
・黒板　材種　・研ぎ出し　・焼き付け　(22.1.4)
形状　・平面　・曲面　・上げ下げ　・内部映写スクリーン内装型　・
枠　※アルミニウム押出し形材　・
色彩　※緑色　・黒色　・白色　・
⊙掲示板　材種・　形状⊙ 図示、枠⊙ 図示、色彩⊙ ハイライト・

② 貫通孔、その他
スリーブの材種　・鋼管　・硬質塩化ビニール管　・溶融亜鉛めっき鋼板
⊙つば付鋼管　⊙紙チューブ　・
(22.2.3)(22.2.1表)

③ カーテン
(22.3.1)～(22.3.3)(22.3.1表)

きれ地の品質、柄、色合、組織	ひだの種類	割付及び引分け装置	設置箇所
⊙レース	・A種⊙B種・C種	⊙片引き・引分け・	病院大窓、角公衆 トランク
⊙ドレープ	・A種・B種⊙C種	・片引き⊙引分け・	管理人室
⊙遮光ルーバーロン	・A種・B種・C種	・片引き⊙引分け・	待合室、トランク室

⊙ カーテンレンレール　材種　※SUS 304　・アルミ　・塩化ビニール鋼板　・
形状　※C形　・D形　・リブ形　(22.3.2)
取付け方法　・シングル掛け　・ダブル掛け
・レール交差掛け(・シングル　・ダブル)
⊙ カーテンの寸法　暗幕用カーテン　(22.3.3)
・開端、上部及び召合わせの重ねかけ　※300mm以上
⊙ カーテンボックス　材種　※スチール　・木製(材種・色)　・
内法寸法　深さ　※110mm　・　幅・
⊙ レースカーテン(付属物)(ブラインド、ドレープ(オランダ ドレープ))設置(住戸、ホテル、1000

④ ブラインド
材種及び厚さ　※アルミニウム合金製　・硬質塩化ビニール　・ガラス繊維　・クロス(・化繊・麻)
形式　・縦型　※横型　・ロールブラインド
開閉方式　※ギヤー式　・コード式　・
スラットの幅　※25　・34　・50　・75　・80　・100　・
ブラインドボックス　材種　※スチール　・木製(材種　)　・
内法寸法　深さ　※110mm　・　幅・

⑤ 砂利敷き
種別　通路　※A種　・B種　・　(22.5.1)(22.5.1表)
⊙ 建物周囲、その他　・A種　※B種　・

⑥ 開知石及びコンクリート開知ブロック積み
開知石　材種・　面の寸法(mm)　・　(22.6.2)
コンクリート開知ブロック　面の寸法(mm)　・300×300　・
重量　・300～350 kg/cd　・350kg/cd以上
地業の材料　※(4.7.1)　・
コンクリート　基礎コンクリート　※ 180kg/cd　・150kg/cd　(6.9.1表)
裏込めコンクリート　・180kg/cd　※ 150kg/cd
工法　積み方　・布積み　※谷積み　(22.6.3)
目地切り　・行う　・行わない
伸縮目地　材種　※杉板　厚さ　mm

⑦ 敷地境界石標
石標の種別　※花こう岩類　・コンクリートブロック製　(22.7.1)(22.7.1表)

⑧ 特殊内外装材

分類	寸法	適用箇所
・結晶化ガラス	・	・
・大型陶板	・	・
・ファインセラミックス建材	・	・
・セラミックタイル	・	・
・発泡ガラス	・	・
⊙ガラスブロック	⊙ 図示	⊙ 図示、
・	・	・
・	・	・

⑨ 流し・戸棚など

名称	材質	形状	寸法	附属品・その他	設置箇所
⊙ステンレス流し	※SUS 304 ・	※BL型 ・KJ型 ・		※ドラムトラップ付	⊙ 図示、
⊙吊り戸棚	・	※BL型 ・KJ型 ・			⊙ 図示、
・水切り棚	※SUS 304	※BL型 ・KJ型 ・	・1050 ・ ・1200 ・		
・ふきん掛					
・タオル掛					
・雑類棚					
・茶立て					
・食器棚					
⊙下駄箱					⊙ 図示、
・すのこ					
・ロッカー					

⑩ 浴槽
材種　・ステンレス　・ほうろう　⊙ガラス繊維強化ポリエステル　・
形態　・単槽　⊙ユニット　・ハーフユニット　・
寸法　⊙ 図示

⑪ 換気孔

材種	寸法(m/m)	適用箇所
⊙鋼鉄製　錆止め塗装　防虫網付(SUS 304)		・床下換気孔
・硬質塩化ビニール管　防虫網付		・
		・

⑫ 室名札など
(ペイント書き同じ図示)

名称	材種及び仕上げ	寸法 長さ×幅×厚さ	設置箇所	箇所数	備考
⊙室名札	※アクリル樹脂板 文字シルク印刷	・500×60×6 ⊙ ⊙	⊙ 図示、		・受金物ステンレス ・差込み式(片持出) ⊙正面付
・各室名文字	・ペイント書 ・アクリル板 ・ステンレス切板 文字鏡面仕上 ・	・ ・ ・60mm角 ・ ・			・貼付け ・貼付け
⊙階数表示	・	・	・階段各階踊場		
⊙銘板	・ステンレス板扇触仕上 文字鏡面仕上 ・	・800×400×5 ・			・受人物
⊙定礎板	・花崗岩(　程度) 文字指定書体彫み ・	・800×400×60 ・			
・定礎箱	※鋼板(t0.8)内箱は銅、最外部は鋼板で覆う	・800×400×80 ・			
・案内板	・	・			
・ピクチャーレール	・アルミニウム　・木製 ・ステンレス　・	・			

※上記に使用される文字は各れも指定書体とする。

⑬ 防災器具

名称	形式　寸法　仕上げ等	設置箇所
・非常用救命袋	・傾斜式 ・鉛直式	
・緩降器		
⊙バルコニー用避難器具	※マンホール組込伸縮式金属避難吊り下げ式(消防法21条-2の規定合格品)	⊙ バルコニー
・可動式防煙たれ壁	材種　・鋼板　・アルミ　・ 寸法(mm)・ 形式　・煙感連動(手動併用) ・手動式 ・	
・固定式防煙たれ壁	材種　・網入りガラス　・ 寸法(mm)・	
・排煙口	材種　・鋼板　・アルミ　・ 寸法(mm)・ 形式　・手動式 ・煙感連動(手動併用)	

⑭ 鋳鉄製マンホール

種別	強度	寸法(mm)	設置箇所	備考
並型				
防水型				
完全防水型				
防臭型				

⊙ 図示

⑮ 点検口
天井用　材種　※アルミニウム　・
寸法(mm)　※450×450　・600×600
箇所　図示、⊙ 61ヶ所
床用　材種　※アルミニウム　⊙SUS 304
寸法(mm)　※450×450　⊙600×600
箇所　図示、・ 1ヶ所
壁用　※図示(建具表)

⑯ 靴ふきマット
材種　※ビニール製又はゴム製(受枠SUS 304)　⊙SUS 304製(受枠SUS 304)
・硬質アルミ製(受枠硬質アルミ)　・合成樹脂製　・しゅろ製
寸法(mm)・600×1,200　・
排水溝　・設ける　・設けない　⊙ 水抜きパイプ(塩ビ管)

⑰ 可動間仕切
開閉形式　⊙移動間仕切　⊙伸縮式(アコーディオン)　・折れ戸式(フォールディング)
・引き戸式(スライディング)　・
⊙可動間仕切　※スタッド式　・スタンド式　・パネル式　⊙ 図示、
パネル仕上　⊙ビニールクロス又はクロス貼り　・焼付塗装　・特殊加工化粧合板

⑱ 排水溝蓋

種別	形式・寸法	設置箇所	備考
鋼製編網板			
鉄筋コンクリート製			
ステンレス板製			
グレーチング			
プラスチック板製			

⊙ 図示、

⑲ 止水板
材種　※塩化ビニール製　・　寸法(mm)・
適用箇所　・

⑳ 旗竿
材種　※アルミニウム製　・鋼製(仕上　)
形式　※テーパー式　・同一断面
溝率　・内装形　・外装形
高さ　・　m
数量　・　本

㉑ 外構フェンス
高さ　・　m
金網　※ビニール被覆　10# 56mm目　・
控柱　※H＝ 1,500mm以上は控柱付，控柱間隔は柱1本毎　・
種別　※軸部鋼板加工，合成樹脂塗料焼付塗り既製品

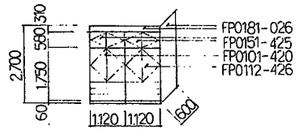
㉒ 丸環
※SUS 304

㉓ 煙突
※図示

㉔ 看板
材種　※図示　・
形状　※図示　・

㉕ 屋外案内板
屋外掲示板
材種　※図示　・
形状　※図示　・

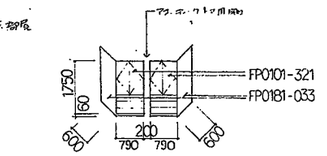
㉖ 収納庫
<Aタイプ> 設置
<Bタイプ> 設置



FP0181-026
FP0151-425
FP0101-420
FP0112-426

各1台分

<Aタイプ> 多段棚板



FP0101-321
FP0181-033

各6ヶ所

(以上　不適工業団地関係各とする。)

IV. 非適仕様書で特記するよう記載された製造所リスト

工事	材料・施工部門	製造所	共通仕様該当番号
ブロック・ ALCパネル PCカーテンウォール	抗火石及び耐火レンガ		(8.3.2)
	積み用目地材		
	キャスタブル耐火物		(8.3.2)
防水工事	既製伸縮目地		(9.1.5)
左官工事	防水モルタルの防水剤		(15.3.5)
塗装工事	ショッププライマーの ジンクリッチペイント		(17.11.2)
	塩化ゴム系エナメル		(17.11.2)
	マスチック塗材		(17.16.2)
内装工事	ゴム床タイル		(18.2.1)
	ニードルパンチカーペット		(18.3.3)

V. 建築工事指定業者及びメーカーリスト

工事	材料・施工部門	製造所名及び施工業者名
コンクリート工事	特殊型枠	
ブロック・ ALCパネル・ PCカーテンウォール工事	プレキャストコンクリート	
	ALCパネル	
	GRCパネル	
	PCカーテンウォール	
防水工事	アスファルト防水	
	合成高分子ルーフィング防水	
	塗膜防水	
	モルタル防水	
	シーリング(　)	
	(　)	
石工事	花こう岩類・大理石	
	テラゾーブロック	
	タイル状花こう岩類・大理石	
タイル工事	外部用タイル	
	内部用タイル	
	特殊タイル	
木工事		
屋根及びとい工事	長尺亜鉛めっき鋼板ぶき	
	折板ぶき	
金属工事	軽量鉄骨天井・壁下地	
	金属成形板	
	アルミニウム製笠木	
左官工事	仕上塗材	
	吹付け材	
	耐磨耗床	
建具工事	アルミニウム製建具	
	鋼製建具	
	鋼製軽量建具	
	ステンレス製建具	
	自動扉	
	シャッター	
	建具用金物(錠　)	
	(自閉装置)	
	(押板引手)	
	(ドアレバー　)	
	(　)	
	ガラス	
	金属製カーテンウォール	
塗装工事	一般塗料	
	マスチック塗料	
内装工事	ビニール床シート	
	ビニール床タイル	
	合成樹脂塗り床材	
	フローリング	
	壁紙・布類	
	じゅうたん類	
	フリーアクセスフロアー	
	特殊塗作(　)	
舗装工事	透水性舗装	
	インターロッキングブロック	
排水工事		
植栽工事		
雑工事	階段滑り止め	
	黒板・掲示板	
	カーテン	
	ブラインド	
	ステンレス流し台	
	サイン・看板	
	移動間仕切	
	可動間仕切	
昇降機設備		
駐車設備		
建設工事保険	保険会社名	

(1989.07.07.作製)

竣工図

一級建築士事務所　東京都知事登録第3103号
株式会社 梓設計
一級建築士登録第42824号 中野裕之設計

2988

新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事
建築工事　特記仕様書　(4)

校閲	審査	担当	製図

A－005　縮尺 /
No. /　枚の内
年　月　日

外部仕上表

位置	部位	仕上
屋根	PH階	C・T + アスファルト塗出防水
		S + 折版 H=160 ガルバリウム鋼板 ⊕0.8 ラジアルロエ + ガラスシート ⊕5
		窓木：アルミ既製品 W=230 ・ 断熱材：アルミプラッシング
	7階	C・T スラブ勾配1/75 + 断熱材 ⊕20 + アスファルト防水 + 押えコンクリート ⊕80・T
		伸縮目地切 @3.000
		窓木：アルミ既製品 W=225 ・ 断熱材：アルミプラッシング
	自転車置場	S + 折版 H=160 ガルバリウム鋼板 ⊕1.0 ラジアルロエ + ガラスシート ⊕5
外壁	一般外壁	C + M + タイル張（92×192） 芋目地張り
	PH外壁	見切縁：アルミパネル⊕2.5 ロエ電解着色
		壁 面：C打放し⊕15増打+補修+ プレミックス樹脂塗装（メタリック調）
	開口廻り屋根	化粧コンクリートブロック 450×200×150 （2色）
		庇裏：C打放し⊕15増打）+補修 ・ ロビイタイル
	バルコニー 廊下腰壁下	C + M + 磁器質タイル 92×192， ロビイタイル
外構他	犬走り	切込砂利 ⊕150 + 玉石砂利敷 ⊕100 ・ 縁石：コンクリートブロック 170×200×600
	玄関廻り	敷固砂利 ⊕150 + 砂 + インターロッキング ⊕80
	根廻り	C + M + タイル張（92×192） ⊕60 ﾓﾙﾀﾙ
	庇	上部：C・T + アクリル樹脂ロビイ
		最支：C + M + タイル張（92×192）
		庇裏：C打放し（⊕10増打）+補修 + ロビイタイル

内部仕上材料表

区分	仕上	記号	下地材料・厚さ	種別・形状・機呼
床		A	RC・T	
		D	RC + C・T	
		C	RC + M	
		D	RC + M・T	
		E	RC + 断熱M ⊕10 + PP ⊕95 + PW(2) ⊕12 + SM ⊕10	
		F	RC + AWP + C ⊕50・80・T	
		G	W + PW(2) ⊕15	
		H	RC + 断熱M ⊕10 + PP ⊕65 + PW(2) ⊕12	
		I	W	
壁・巾木・性		A	RC打放し（⊕15増打）+補修	
		D	RC打放し + Mウス壁	
		C	RC + M	
		D	RC + 断熱材 ⊕15 + GB(2) ⊕12 (GL工法)	
		E	CB	
		F	CB + M	
		G	LGS + GB(1) ⊕9 + GB(2) ⊕12	
		H	W + GB(2) ⊕12	
		I	RC	
		J	W	
		K	RC + GB(1) ⊕9 (GL工法)	
		L	LGS + GB(1) ⊕9 + AB(3) ⊕10	
天井・梁		A	RC打放し（⊕10増打）+補修	
		D	RC打放し + Mウス壁	
		C	LGS + GB(2) ⊕9.0	
		D	LGS + GB(1) ⊕9.0	
		E	W + GB(2) ⊕9.0	
		F	RC	
		G	W	
		H	S	
		I	LGS	
		J	LGS + GB(2) ⊕12	

内部仕上表

区分	室名	仕上高さ	床 仕上	巾木 仕上	壁 仕上	天井 仕上	廻縁	天井高	備考
1F	風除室	-60	①C	①C	①C	⑪J		2.250	メールボックス
	ホール エレベーターホール	-60	①C	④I	⑧I	⑪A-張り		直天 -時2.250	
	集会室		⑫A ③D	③D	③D	①B ⑧D ⑨D	①	2.350	スライディングウォール
	トランクルーム		⑫A ③D	③D	③D	①B ⑧D ⑨D	①	2.350	流し台
	男子便所	-20	⑥D	⑩I	②D,K	②I	①	2.350	洗面台
	女子便所	-20	⑥D	⑩I	②D,K	②I	①	2.350	洗面台
	通路	-60	①C	④I	③B	②I	①	2.400	
	管理室	-20	⑥D	③B,G	③B,G	②I	①	2.400	カウンター
	管理室玄関	-20	⑥D	③B,H	③B,G	①C		2.460	下見羽
	全上 ダイニングキッチン	+70 -20	⑦H	③B,H	③D,H	①C		2.400	システムキッチン
	全上 和室	+100 20	⑤H	⑤J	③D,H	③I	②	2.400	
	全上 浴室	-20	ユニットバス						
	全上 洗面・脱衣室	+70 -20	⑦H	③B,D,H	③B,D,H	①C		2.300	洗面台・洗切機ガン
	全上 便所	+70 -20	⑦H	③D,H	③D,H	①C		2.300	鏡面
	電気室	-1,300 -1,300	⑩A	⑥I H300	⑤鏡面 H=1300 ﾏﾃﾞ	④F		直天	
	設備機械室	-1,300 -1,300	⑩A	⑥I H300	⑤鏡面 H=1300 ﾏﾃﾞ	④F		直天	
	駐輪場		⑪A	⑧A	⑥A,E	⑥H		直天	
	屋外機置場		⑪A	⑧A ①C	⑥ぼかし	⑤A		直天	
	ゴミ置場		⑪A	⑨A,E	⑥A,E	⑥H		直天 ピット	
共通	A階段		⑧D	③B	⑤BG	⑤A		直天	
	B階段		⑧D	③B	⑤BG	⑤A		直天	
	開放廊下		③C ⑧D	⑥A H100 ①C	⑥A	⑤A		直天	
	エレベーターホール (2~7F)		③C ⑧D	⑥A H100 ①C		⑩I		2400	
	バルコニー		⑧D	⑥A H100	⑥A	⑤A ⑩I		2.100	
	屋外設置場		⑧D	⑥A H100	⑥A	⑤A		直天	

不燃材料・準不燃材料通則認定番号

○印は本工事に適用

不燃		第1001号	石綿スレート	準不燃	第2014号 石膏吸音ボード
○	○	第1002号	化粧石綿スレート		第2015号 石膏ボード 巾 厚 3 12
○	○	第1003号	石膏ボード 厚12mm		第2016号 化粧石膏ボード
		第1007号	化粧石膏ボード		第2007号 石膏防水ボード
	○	第1021号	ロックウール吸音板（岩綿吸音板）		第2011号 客造木片セメント板
		第1022号	ロックウール保温板（岩綿保温板）		第2012号 硬質木片セメント板
		第1023号	吹付ロックウール		第2021号 塩化ビニール樹脂金属積層板
		第1031号	グラスウール保温板 1~4号		第2031号 木毛セメント板
		第1032号	グラスウール化粧保温板		第2071号 化粧石膏板 化粧石膏スレート
		第1041号	着色亜鉛鉄板		
		第1051号	塩化ビニール樹脂金属積層板 ロビイタイル 9.1M		
		第1001号	（屋根） 同 上		
		第1141号	カラーアルミ		
		第1061号	石綿珪酸カルシウム板		

不燃材料・準不燃材料個別認定番号

不燃		2 0005号	窓石膏開続い	準不燃	

特記事項 （他に特記なき限り下記事項による）

フシット・バス 1F 管理人室 INAX BF-1317 TBE
A,B タイプ INAX BF-1116 TAU
C タイプ INAX BLCP-1620 TAU E 同浴室

材料記号

＊	一般材料		＊	塗料		＊	内装材料
RC	鉄筋コンクリート	AL	アルミニウム	OP	油性調合ペイント JIS K5511. 2. 5	UC	ウレタン樹脂ワニス
SRC	鉄骨鉄筋コンクリート	SUS	ステンレススチール	SOP	合成樹脂調合ペイント 5516	UE	ポリウレタン樹脂エナメル
C	コンクリート	GIS	亜鉛めっき鋼板	EP	合成樹脂エマルションペイント 5663	XE	エポキシ樹脂ワニス
S	鉄骨	SGP	配管用炭素鋼鋼管（白管）	EPT	合成樹脂エマルション模様塗料 5668	RP	塩化ゴム系エナメル
CB	コンクリートブロック			MP	多彩模様塗料 5667	TXE	タールエポキシ樹脂エナメル
ALC	オートクレーブ軽量気泡コンクリート	M	モルタル	MR	マスチック塗材	BP	グラファイトペイント
PC	プレキャストコンクリート	T	金ゴテ	VE	塩化ビニル樹脂エナメル 5582		
PS	プレストレストコンクリート	B	刷毛引	AE	アクリル樹脂エナメル 5654		
LGS	軽量鉄骨	PP	ネグロイ	FE	フタル酸樹脂エナメル 5572		
W	木造	SM	弱粘着ゴムルク	LC	クリアラッカ 5531		
LC	軽量コンクリート	TB(1)	テラゾブロック	LE	ラッカーエナメル		
ST	スチール	TB(2)	擬石	OS	油性ステイン	W	ワックス

＊	内装材料		
VAT	準硬質ビニルアスベスト床タイル	GB(1)	石膏ボード（ ）
VFS(1)	長尺ビニル床シート	GB(2)	テーパー付石膏ボード（ Vカット テーパー ）
VFS(2)	長尺エンボスビニル床シート（ ）	GB(3)	化粧石膏ボード（ 不燃 ）
VFS(3)	長尺エンボスビニル床シート（ ）	AB(1)	石綿スレートボード（フレキシブル）
		AB(2)	石綿スレートボード（大平板）
CP(1)	カーペット（タフテッドカーペット ）	AB(3)	石綿セメント珪酸カルシウム板
CP(2)	カーペット（ タイルカーペット ）	RAB(1)	ロックウール（岩綿）吸音板
CP(3)	カーペット（ ）	RAB(2)	ロックウール（岩綿）吸音板（立体成型模様）
		PW(1)	しな合板
CL(1)	クロス（不燃ビニルクロス 44 ）	PW(2)	ラワン合板
CL(2)	クロス（不燃 クロス ）	PW(3)	化粧合板
CL(3)	クロス（不燃 無機質クロス ）	GWB	グラスウールボード

竣工図

一級建築士事務所	東京都知事登録第30696号	2988	新技術事業団（仮称）外国人研究者宿泊施設建設工事		
株式会社 梓設計			外観・内部 仕上表（1）		
一級建築士登録第68014号 中野裕之設計			縮尺 1/100	検図	製図
			No. 2-008.	年 月 日	

内部仕上表			床										巾木							腰									天井							天井高	備考
区分	仕上 / 室名	床仕上高さ 無記入 / +−0 / スラブ下り / 無記入	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7		
			磁器タイル 100	CP(1) @70 +マット @80				VAT @20 ノンアス(ヒートタイプ)		VFS(1) @3	合成樹脂塗床 @30 ノンワックス(ヒートタイプ)	防滑塗装	ソフト巾木 H60	木巾木 H60				30P	目地行小	CL (1)	CL (2)	3mm巾 32t @25 ガラスクロス・インサルレジン					陶器タイル @100	C打放シ	CL (1)						術後ガラリウム鋼板 @0 コンクリート地モ	+ゼスチール @65		
2〜7F 住戸部(A〜Cタイプ共通)	玄関	-60	① C (@MOT共仕)										② D H							③ D.H.B									① E							2,400	下足箱
	廊下	-150	② E										① DH							③ B.H									① E							2,400	(Aタイプのみ 2350)
	リビング・ダイニング		② E										① DH							④ D.H									① B (7Fのみ C)							2,700 (直天)	⇒(7Fのみ木軸下地)
	台所	-150							⑦ E				① DH							③ B.H						⑧ H		① E							2,400	システムキッチン
	子供部屋・書斎	-150	② E										① DH							③④ DH DH (床暖)									① B (7Fのみ C)							2,700 (直天)	⇒(7Fのみ木軸下地)
	寝室	-150	② E										① DH							④ D.H									① B (7Fのみ C)							2,700 (直天)	⇒(7Fのみ木軸下地)
	便所	-150							⑦ G				① DH							③ B.H									① E							2,300	特注
	洗面・脱衣室	-150							⑦ G				① DDH							③ B.D.H									① E							2,300	洗面台・洗切換リガン
	浴室	-150						ユニットバス																													
PH F	エレベーター機械室	100								⑧ A								⑥ I H300				⑤ I												⑤ I			直天	
	高置水槽置場									⑧ A								⑥ A H300								⑨								⑥			直天	

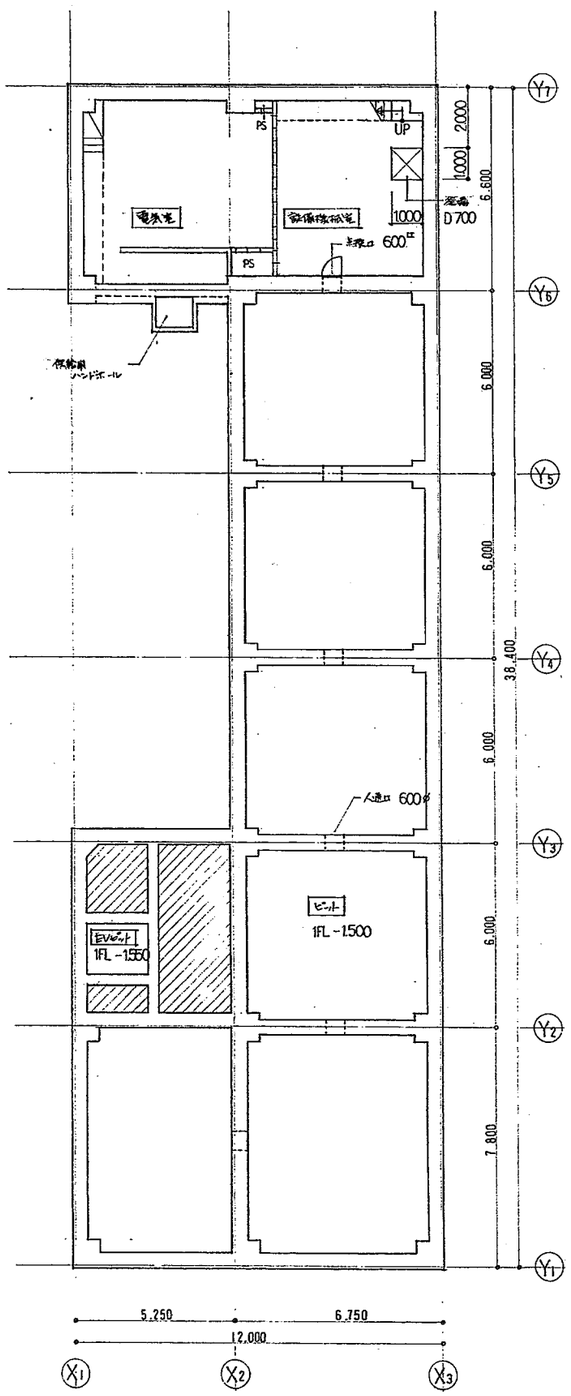
内部仕上表				天井高	備考
区分	仕上 / 室名	床仕上高さ 無記入 / +−0 / スラブ下り / 無記入			

材料記号													
*	一般材料			*	塗料			*	内装材料				
RC	鉄筋コンクリート	AL	アルミニウム	OP	油性調合ペイント JIS K5511, 2, 5		UC	ウレタン樹脂ワニス	VAT	半硬質ビニルアスベスト床タイル		GB(1)	石膏ボード( )
SRC	鉄骨鉄筋コンクリート	SUS	ステンレススチール	SOP	合成樹脂調合ペイント	5516	UE	ポリウレタン樹脂エナメル	VPS(1)	長尺ビニル床シート		GB(2)	テーパー付石膏ボード(Vカット目地)
C	コンクリート	GIS	亜鉛めっき鋼板	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	5663	XE	エポキシ樹脂ワニス	VPS(2)	長尺エンボスビニル床シート( )		GB(3)	化粧石膏ボード( )
S	鉄骨	SGP	配管用炭素鋼鋼管(白管)	EPT	合成樹脂エマルジョン模様塗料	5668	RP	塩化ゴム系エナメル	VPS(3)	長尺エンボスビニル床シート( )		AB(1)	石綿スレートボード(フレキシブル)
CB	コンクリートブロック			MP	多彩模様塗料	5667	TXE	クールエポキシ樹脂エナメル				AB(2)	石綿スレートボード(大平板)
ALC	オートクレーブ軽量気泡コンクリート	M	モルタル	MR	マスチック塗材		BP	グラファイトペイント	CP(1)	カーペット(グラフテッドカーペット)		AB(3)	石綿セメント珪酸カルシウム板
PC	プレキャストコンクリート	T	金ゴテ	VE	塩化ビニル樹脂エナメル	5582			CP(2)	カーペット( )		RAB(1)	ロックウール(岩綿)吸音板
PS	プレストレストコンクリート	B	刷毛引	AE	アクリル樹脂エナメル	5654			CP(3)	カーペット( )		RAB(2)	ロックウール(岩綿)吸音板(立体成型模様)
LGS	軽量鉄骨			FE	フタル酸樹脂エナメル	5572						PW(1)	しな合板
W	木造			LC	クリアラッカ	5531			CL(1)	クロス(不燃ビニルクロス)		PW(2)	ラワン合板
LC	軽量コンクリート	TB(1)	テラゾブロック	LE	ラッカーエナメル				CL(2)	クロス(不燃クロス)		PW(3)	化粧合板
ST	スチール	TB(2)	磁石	OS	油性ステイン		W	ワックス	CL(3)	クロス(不燃無機質クロス)		GWB	グラスウールボード

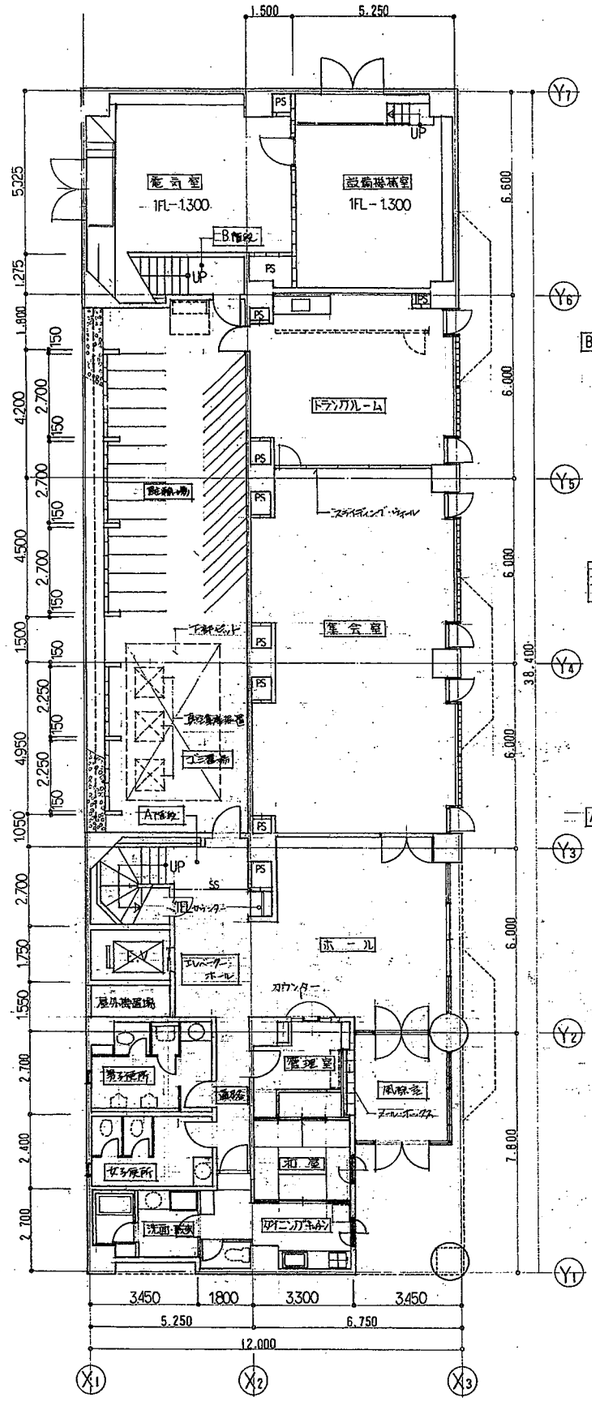
145

竣工図

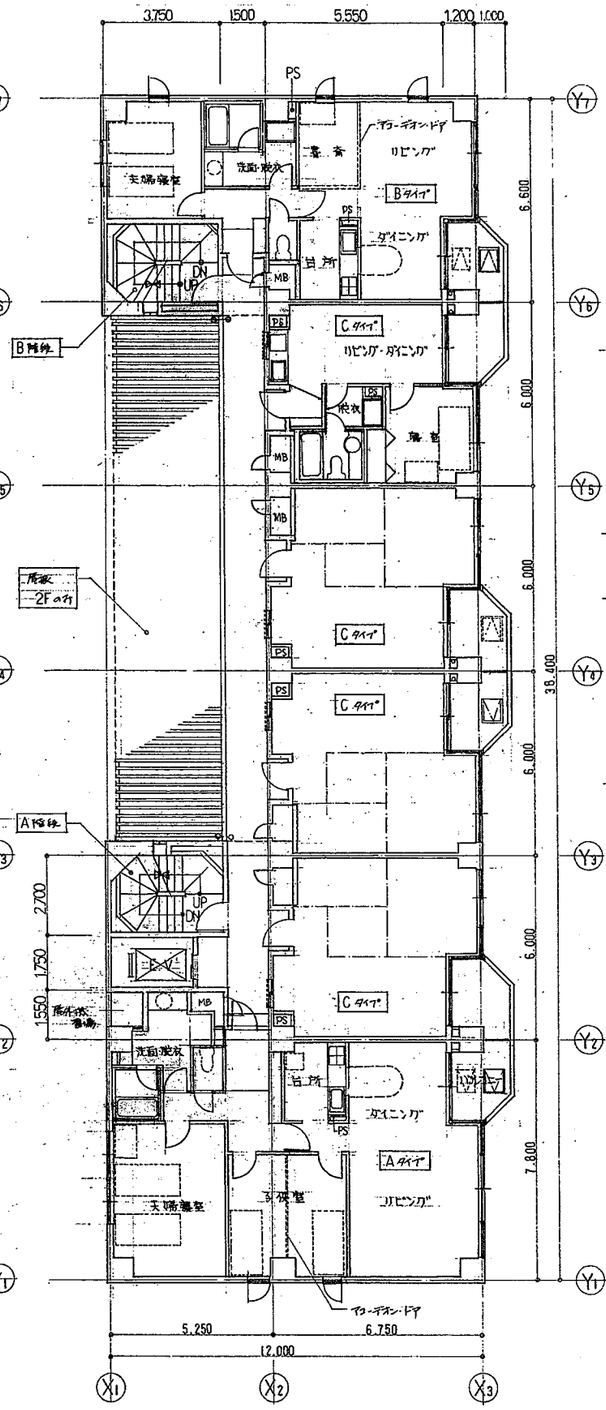
一級建築士事務所 東京都知事登録第3389号 株式会社 梓設計 一級建築士事務所 東京都知事登録第30809号 中野榕之設計	2988	新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事 外部・内部 仕上表 (2)
設備 / 構造 / 意匠 / 監理 / 検図		A−009 / 縮尺 / No. / 改訂内容 / 年 月 日



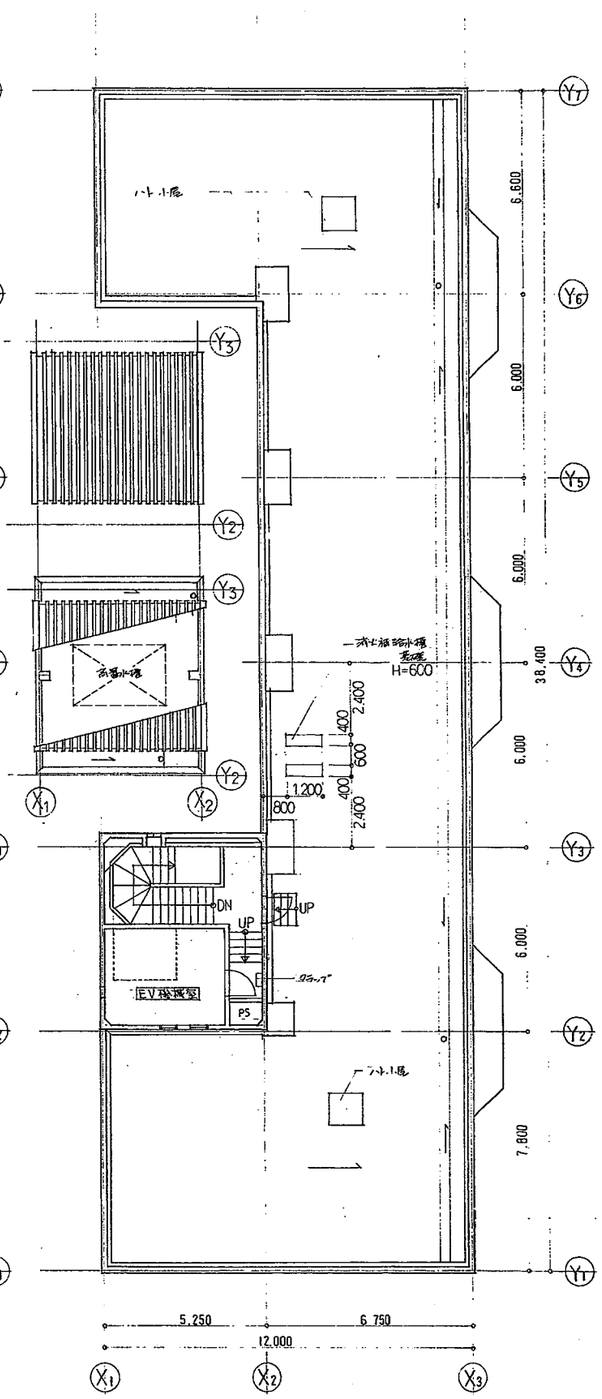
ピット階平面図



1階平面図



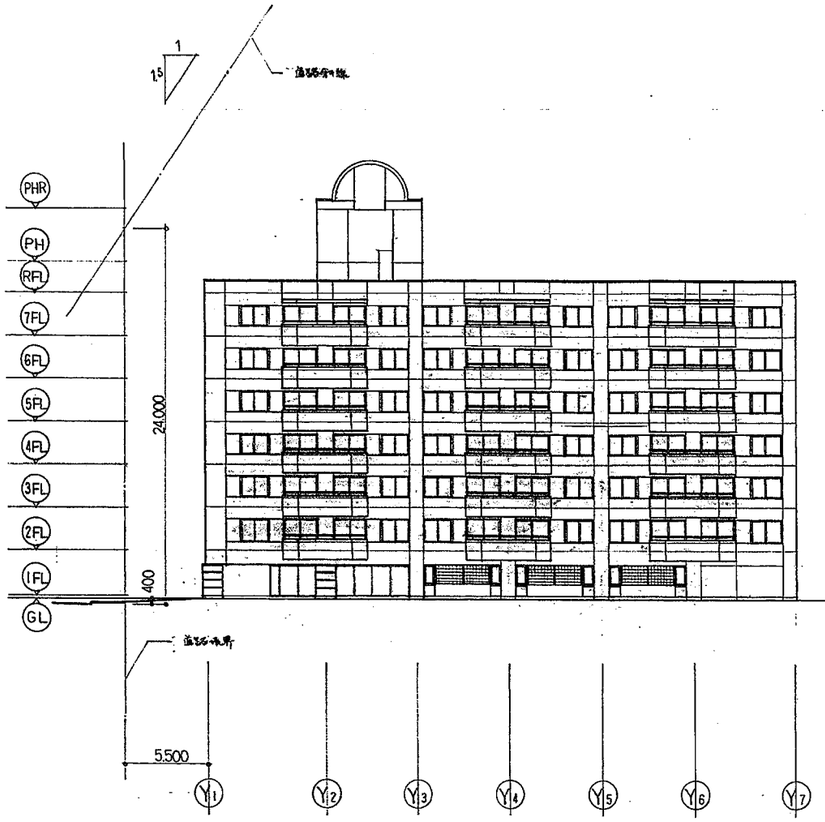
2～7階平面図



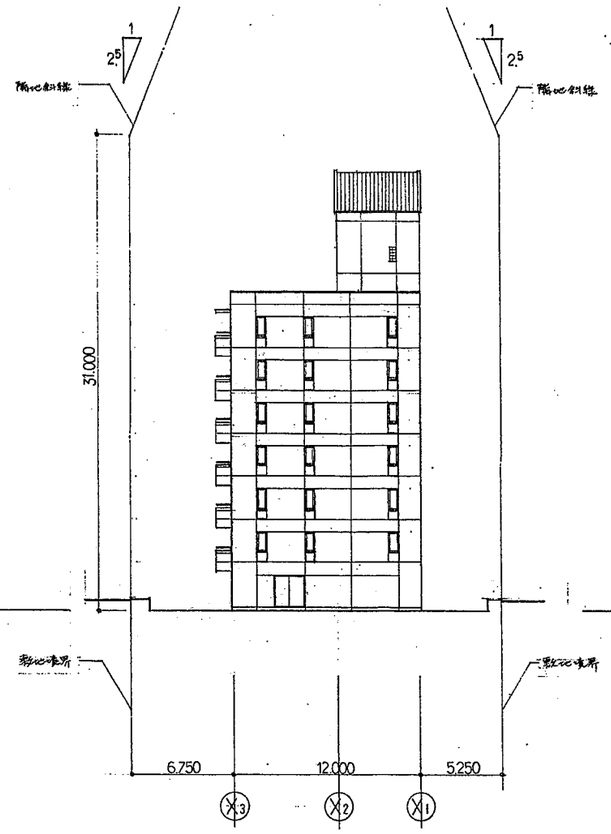
R・PH階平面図

竣工図

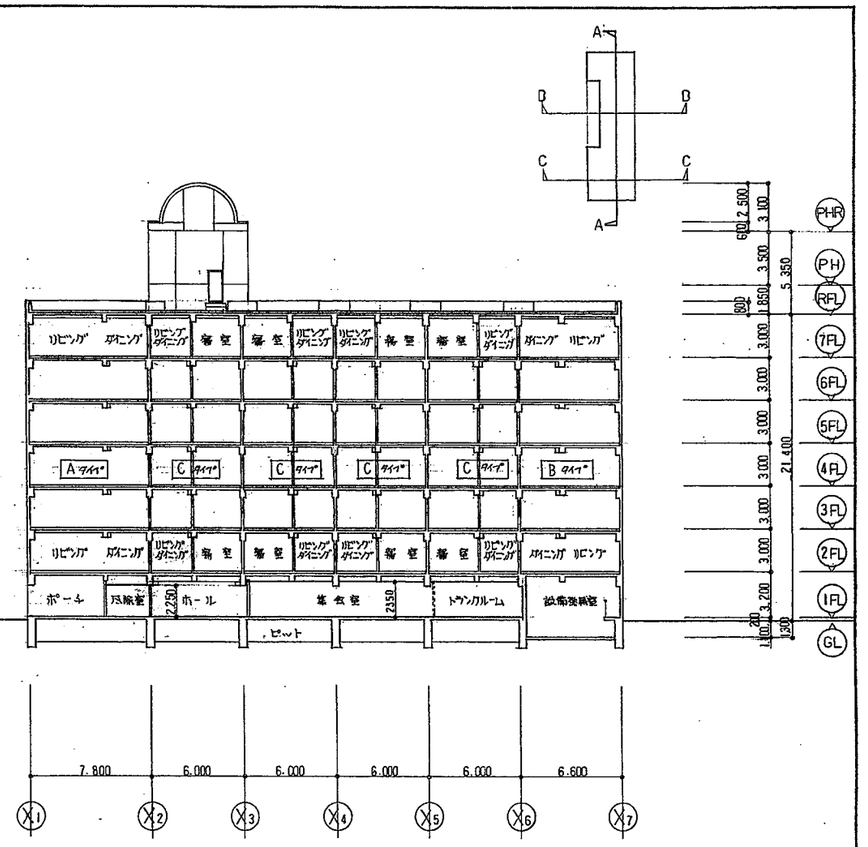
一級建築士事務所 東京都知事登録第38019号 株式会社 梓設計 一級建築士登録番号 中野裕之 設計	2988	新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事
		ピット・1～7・PH 階平面図
設計	製図	A-010 / 縮尺 1/100
No. / 改訂内容		年 月 日



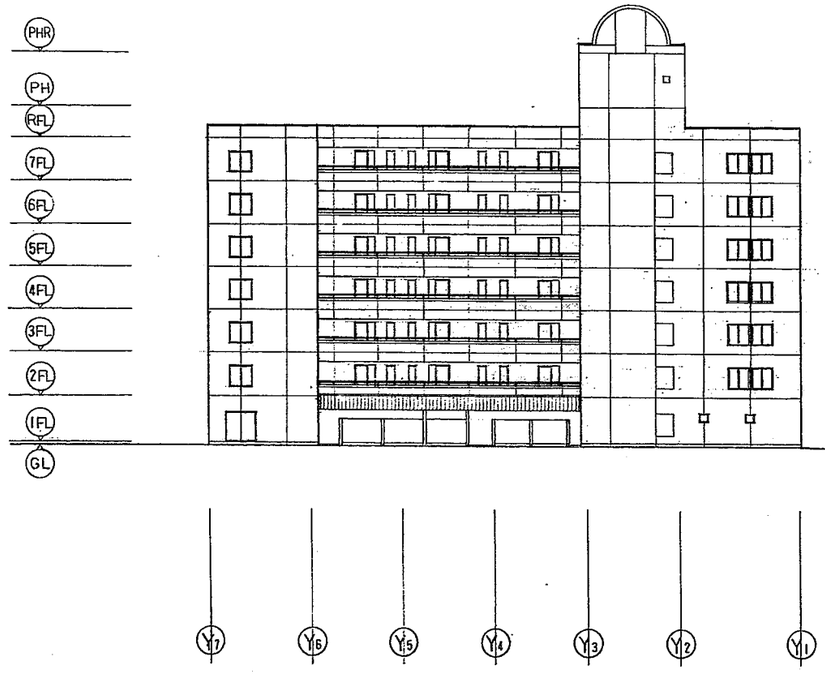
南 立 面 図



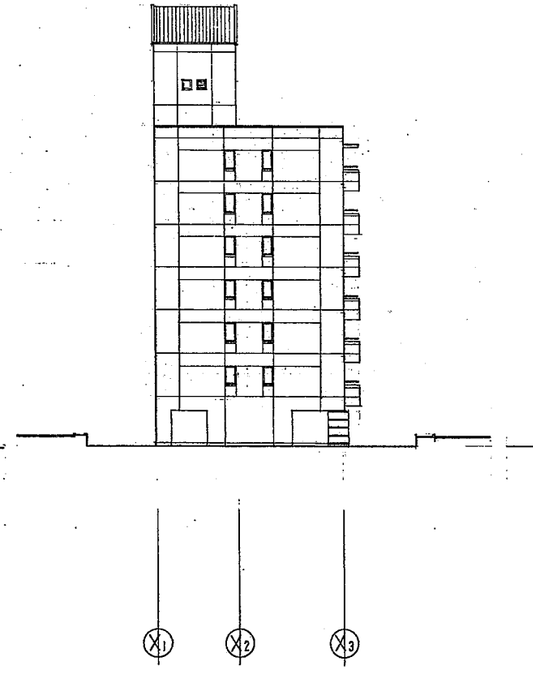
東 立 面 図



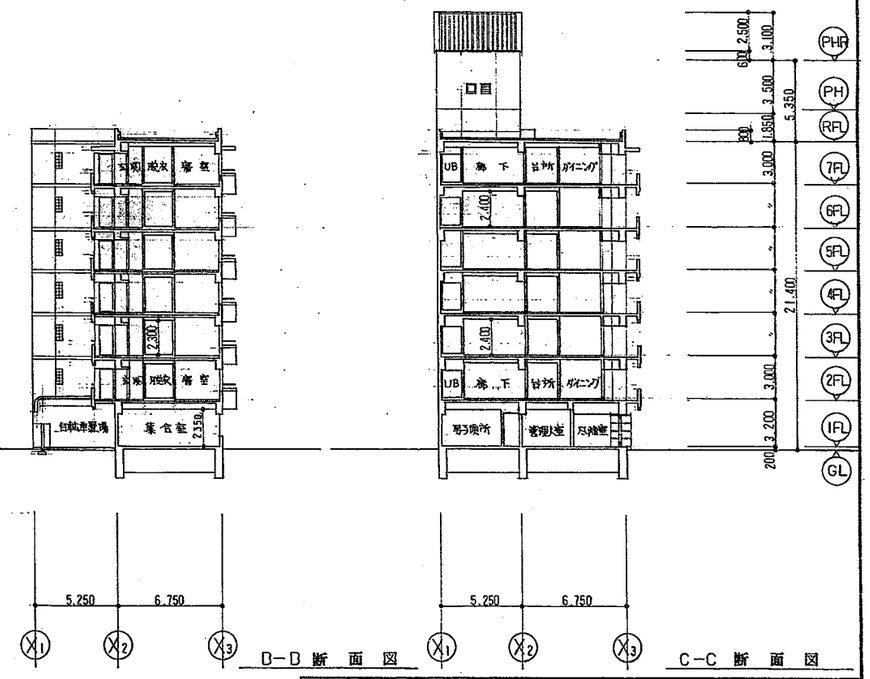
A－A 断 面 図



北 立 面 図



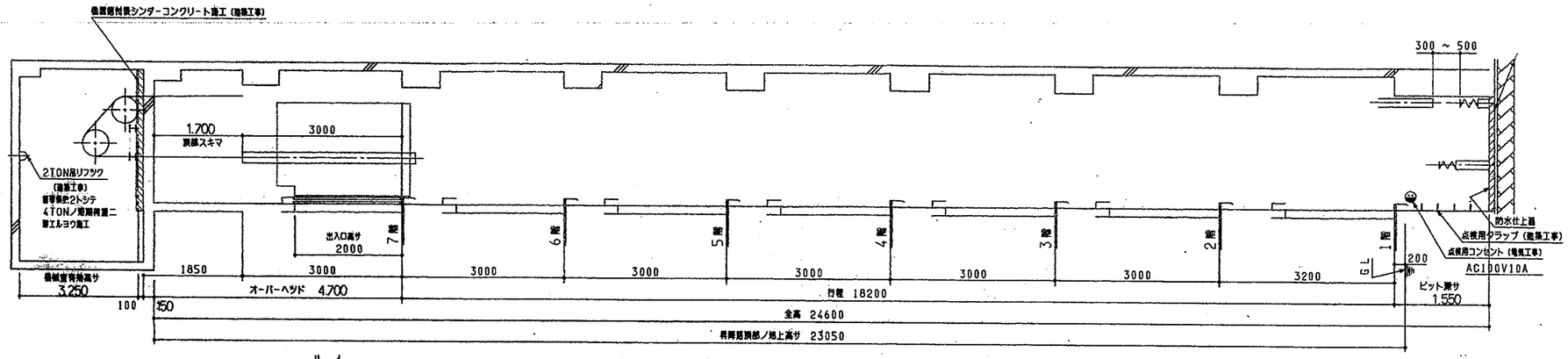
西 立 面 図

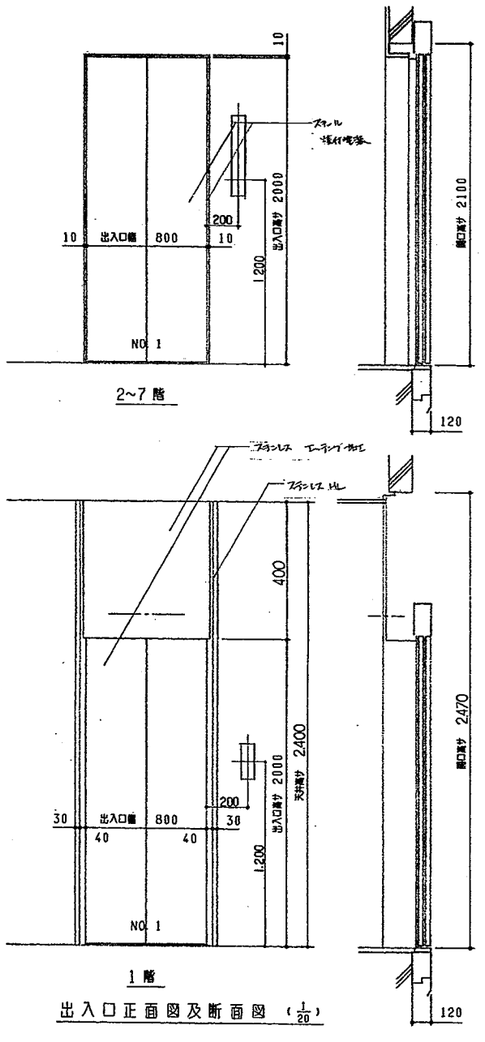


D－D 断 面 図　　C－C 断 面 図

施工図

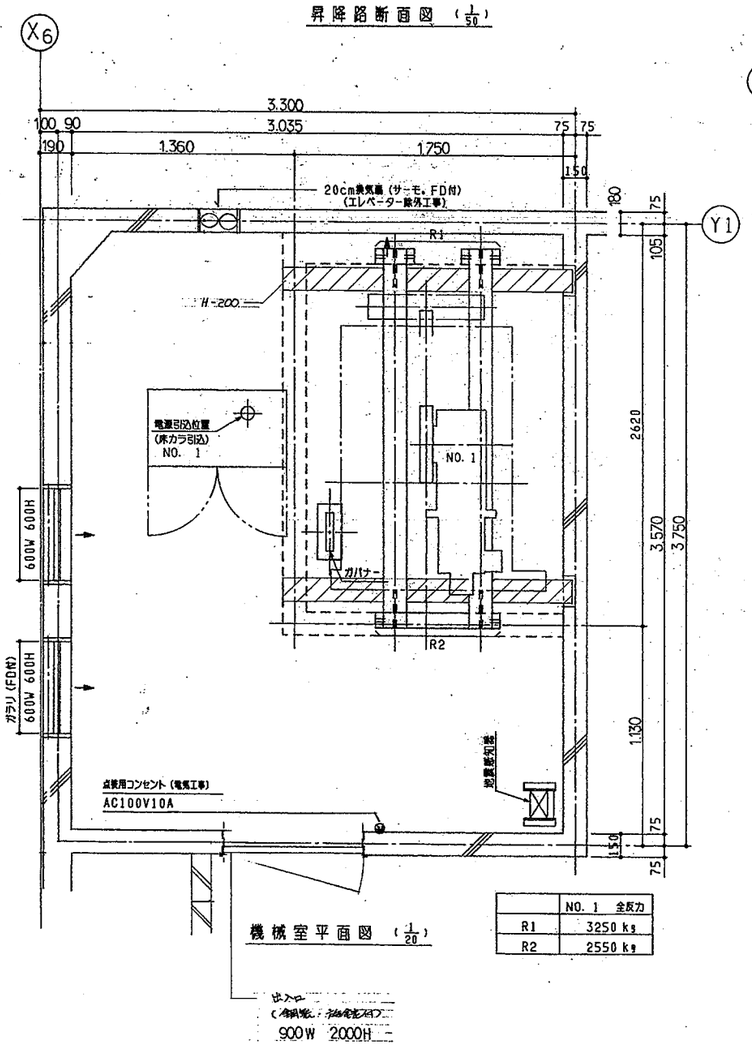
一級建築士事務所 株式会社 梓設計 / 一級建築士 中野裕之設計	2988	新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事	
		立面図・断面図	
		A－011	縮尺 1/200
		No. ／ 枚の内	年 月 日



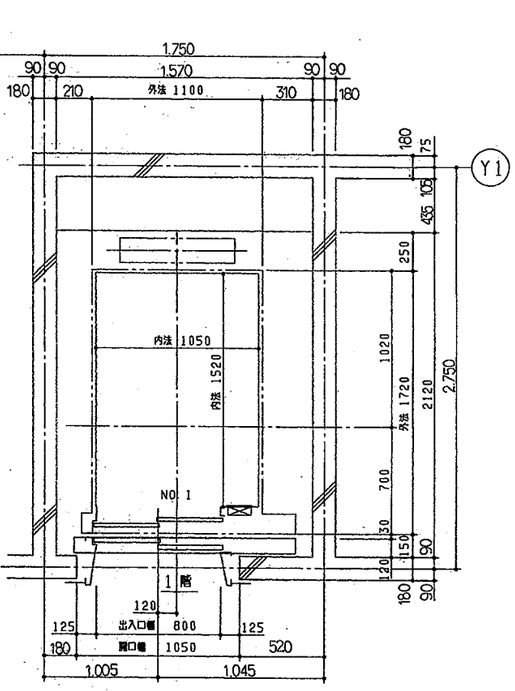


出入口正面図及断面図 （1/20）

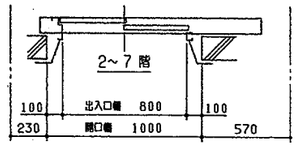
昇降路断面図 （1/50）



	NO. 1 全反力
R1	3250 kg
R2	2550 kg



昇降路平面図 （1/20）



エレベーター仕様

号機名	NO. 1
形式用途	R-9-2S60（乗用）
定格積載量	600kg 9人乗
定格速度	60m/min
運転方式	マイコンVVVF
停止階	7箇所 （1~7階）
カゴ内法	間口 1050mm 奥行 1520mm 出入口高サ 2000mm
電動機	AC 5.5kw
電源	AC3φ 200V 50Hz
	AC1φ 100V 50Hz
連絡装置	同時通話式インターホン
付加仕様	地震時管制運転付（Hセンサー）

エレベーター除外工事

〔1〕 建築工事関係

(1) 2TON吊リフック取付、昇降路頭ヲ2トンテ、4TON／短期／荷重ニ耐エルモノ。
(2) 機械室床配管後／シンダーコンクリート打チ及ピット床仕上。
(3) 昇光用窓 600W X 600H
(4) 出入口（鋼製、遮炎付）。 900W X 2000H
注）機械室ニ至ル安全通路ノ確保（階段ノケアゲハ230mm以下、踏面ハ150mm以上トシ、両側ニハ壁又ハ手摺施工）。
(5) ガラリ（鋼板製FD付）。 600W X 600H
(6) 換気扇（鋼板製FD付、サーモスイッチト連動）。 φ 200床面カラノ中心高サ2300H
注）機械室内ノ機器放熱量ハ900Kcal/h（所要換気量ハ 450m³/h）トナル。最高室温ヲ40°C以下ニ保ツ換気設備（対角ノ位置ニ2 箇所以上）ヲ設ケル。
(7) 昇降路出入口廻リノ穴明ケ、機械室床穴明ケ工事。
(8) 煙感知器。
(9) 機械室床ノ防塵仕上ゲ工事。

〔2〕 電気工事関係

(1) 引込電源（動力用線ノ引込距離ヲ50m以内トシテ計算ス）。
1) 動力用電源 AC3φ 200V 50Hz 8mm² X1回路
FFB容量 50A
2) 照明用電源 AC1φ 100V 50Hz 2mmφX1回路
3) インターホン用配管配線 0.75mm² X 7本
4) アース線（第3種） 3.5mm²

(2) 点検用コンセントAC100V10A。
1) 最下停止階カラテ／面クピット内（1箇所／台）。
2) 機械室内出入口周囲壁。

エレベーター遠隔監視用トシテ、電話中継盤カラエレベーター昇降路マテノ配管（最小径19mm、配線本数2本用）ヲ、電気工事トシテ施工ノコト。

竣工図

一級建築士事務所 東京都知事登録第28519号 株式会社 梓設計 一級建築士登録第56949号 中野裕之設計	2988	新領域創成科学研究科（仮称）外国人研究者宿泊施設建設工事	
		昇降機設備図	
		A-030	縮尺 1/20,50
		No. / 枚の内	年 月 日

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　茨城県つくば市竹園2丁目20

2．建物概要

番号	建物名称	主体構造	規模（地上/地下）	延床面積（㎡）	消防法令別表第1
1	物質研究者宿泊施設	鉄筋コンクリート造	地上7階	2,698.78	五項（ロ）
2					
3					
4					
5					

3．工事種目（⊙印のついたものを適用する。）

工事種目	建物 1	2	3	4	5	屋外	備考
受変電設備	⊙	・	・	・	・		
中央監視制御設備	・	・	・	・	・		
直流電源設備	・	・	・	・	・		
自家発電設備	・	・	・	・	・		
幹線設備	⊙	・	・	・	・		
動力設備	⊙	・	・	・	・		
電灯設備	⊙	・	・	・	・		
照明器具設備	⊙	・	・	・	・		
構内交換設備	・	・	・	・	・		
電話設備	⊙	・	・	・	・		
電気時計設備	・	・	・	・	・		
拡声設備	・	・	・	・	・		
表示設備	・	・	・	・	・		
インターホン設備	⊙	・	・	・	・		
テレビ共同受信設備	⊙	・	・	・	・		
火災報知設備	・	・	・	・	・		
自動閉鎖設備	・	・	・	・	・		
非常警報設備	⊙	・	・	・	・		
ガス漏れ警報設備	⊙	・	・	・	・		
避雷設備	⊙	・	・	・	・		
防犯設備	・	・	・	・	・		
屋外電気設備						⊙	

Ⅱ．工事区分

注1⊙印のない場合は※印のついたものを適用する。

項目	建築	電気	空調	給排水	昇降機	その他
1．設備機器・配管配線用の床、壁及び天井の改め口の製作・設置	※	・	・	・	・	
2．建物内電気引込用マンホール並びにタラップの設置	※	・				
3．ダクト付属の換気ファン類の設置		・	※	・		
4．一般換気扇の設置		・	※			
5．照明器具及びスピーカーなどの取付のための天井ボード類下地切込み及び枠組補強	※	・				
6．鉄筋コンクリート造などの躯体貫通又は半貫通部分（設備機器・配管配線用）の補強	※					
7．同上貫通又は半貫通部分のスリーブ、箱などの製作・設置	※	※	※	※	※	
8．鉄骨部分の貫通スリーブの製作・設置及び補強	※					
9．大規模な機器類（キュービクルなど）の基礎の製作・設置	※	・	・	・		
10．小規模な機器類や配管配線などの基礎・架台の製作・設置	・	※	※	※		
11．防火（煙）シャッターの製作・設置及び自動閉鎖装置の制作取付	※					
12．同上連動制御器、感知器の製作・設備及び配管配線工事		※				
13．防火戸の扉、枠製作・設置（自動閉鎖装置用切込み補強共）	※					
14．同上自動閉鎖装置、連動制御器、感知器の製作・設置及び配管配線工事		※				
15．可動式防煙壁の製作設置及び自動降下装置緩衝装置の製作取付）	※					
16．同上連動制御器、感知器の製作設置及び配管配線工事		※				
17．防火ダンパー、排煙ダンパーの製作設置及び自動閉鎖装置の製作取付	・		※	・		
18．同上連動制御器、感知器の製作設置及び配管配線工事		※				
19．機器類付属制御盤とその二次側配管配線工事			※	※	※	
20．自動制御などの現場盤への電源接続		※				
21．ガス漏れ火災警報設備		※				
22．クレーン、ホイスト本体及びクレーンと電源盤以降の配管配線工事	※					
23．電動ブラインド、電動カーテンの電動シャッター、自動ドアーなどの制御盤及び二次側配管配線工事	※					
24．機械設備用機器、付属制御盤への電源接続及び接地工事		※				
25．生産設備用機器、付属制御盤などの取付及び二次側配管配線工事		・				（別途）
26．光天井などの照明器具用箱体及び下面仕上げ材料（ルーバー等）	※					
27．屋外キュービクルなどのネットフェンス	※	・				
28．電気設備用マンホール、ハンドホール、外灯基礎		※				
29．自家発電設備用オイルタンク及びサービスタンクまでの油配管工事			※	・		
30．自家発電設備用給排水配管工事				※		
31．エレベーターエスカレーターの一次側電源供給工事		※				
32．エレベーターの昇降路内の点検用コンセント		※				
33．エレベーターシャフト外の遠方操作又は警報監視、インターホン用配管配線工事		※				
34．エレベーター遠方操作盤、警報監視盤、及びインターホンの取付調整（監視盤DC電源共）					※	
35．エレベーター機械室内非常電源と商用電源切替開閉装置					※	
36．エスカレーター底部取付のスピーカー、感知器取付		※			・	
37．立体駐車場の非常電源						※立駐
38．煙突工事（内部ラジニングダクラップ掃除口扉並びに水抜管の設置）	※					
39．同上煙突の制作・設置		※	※			
40．制御用電極棒の設置		※				
41．制御用フロートスイッチの設置				※		

Ⅲ．工事仕様

1．共通仕様

1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて建設大臣官房官庁営繕部監修「電気設備工事共通仕様書」（平成元年版）及び電気設備工事標準図（平成元年版）による。

2）共通仕様書において「監督員」とあるのはすべて係員と読み替える。

2．特記仕様

1）特記事項は⊙のついたものを適用する。○印のない場合は※印のついたものを適用する。
○印と※印のある場合は共に適用する。

2）設計図書に関する優先順位を次による。

a．工事見積要項書
b．質疑応答書および補足訂正追加事項
c．図示及び特記仕様書
d．「電気設備工事共通仕様書」

種目	項目	特記事項
一般共通事項	1．機材	⊙仕様機材指定表によるほか同等品以上とする。ただし同等品以上を使用する場合は係員の承諾を受ける。
	2．工事用仮設物	・構内につくることが　⊙できる。　・できない。
	3．工事用電力、水、その他	⊙工事用電力、水及び官公署その他への手続きなどに要する費用は請負者の負担とする。
	4．足場さん橋類	⊙別契約の関係請負者が定置したものは無償で利用できる。
	5．引込負担金	・引込負担金は本工事に　・含む。　⊙含まない。
	6．竣工引渡しまでの電気料金	・基本料金は本工事に　⊙含む。　・含まない。 ・電力料金は本工事に　⊙含む。　・含まない。
	7．配線図の記号	⊙特記なき配線用図記号は、JIS C 0303-84 による。
	8．機器の寸法	⊙機器等の記入寸法は、すべて概略寸法を表わす。
	9．予備線	⊙入線しない管路には1.2㎜以上のビニール被覆鉄線を挿入する。
	10．フラッシュプレート	⊙特記なきプレートは　⊙樹脂製　・金属製（　　）
	11．配線本数、管路等	⊙配線経路、電線サイズ、配線本数、管路サイズなど機能を満足すれば、図面と多少相違しても請負金額の変更はしない。
	12．再使用機器	・取はずし再使用する機器は、清掃、絶縁測定のうえ取付ける。
	13．発生材	・発生材は係員の指示により処分する。　・自由処分する。
	14．残土処分	・構外に搬出し適宜に処理する。　⊙構内指示場所に敷均し　・構内指示場所に堆積
	15．工事写真	⊙建築工事仕様書による。 ・下記のものを係員の指示する規定の台紙に添付し、撮影箇所を明記し係員に提出する。 着工前写真　カラー　※キャビネ版・手札版　・サービス版　枚　部 工事中写真　カラー　※キャビネ版・手札版　・サービス版　枚　部 ※工事報告書に添付 竣工写真 分類 / 規格 / 撮影枚数 / 部数 ・モノクローム / ・キャビネ版 / ・　枚以上 / ・　部 ※カラー / ※キャビネ版 / ※　枚以上 / ※　部 ・カラースライド / ・ / ・　枚以上 / ・　部 ※竣工写真の撮影者は下記による。 ・完成写真はアルバム（四つ切版）に整理して提出する。 ・竣工写真の撮影者は下記による。 ・㈱川澄建築写真事務所　TEL 03(341)7886 ・㈱三裕晃久写真研究所　TEL 044(911)4354 ※㈱SS　TEL 03(719)1141
	16．完成図	⊙建築工事仕様書による。 ※原図作成又は設計原図訂正の上、竣工後1ヶ月以内に原図共提出する。 ※製本　部（金文字入り）、のり貼り　部。 ※マイクロフィルム（マスターフィルム及び5こまフィルム）を提出。 ※A3版への縮小を行い、その原紙と白焼製本　部。
	17．提出図書	⊙竣工図と共に下記の書類を整理して提出する。 ⊙施工図（A　版製本）　3部　⊙使用機材メーカーリスト　3部 ⊙保守に必要な指導案内書　3部　⊙各種試験成績表　3部 ⊙使用機材連絡先一覧表　3部　⊙付属品予備品リスト　3部 ⊙各種届け書、認可書　1部　⊙保証書　3部 ⊙各種機器制作完成図　3部
	18．耐震施工	設備機器の固定は、建設省住宅局建築指導課監修の「建築設備耐震設計・施工指針（1984年版）」により施工する。なお、設計用水平地震力は、次に示す設計用水平震度に機器の重量を乗じたものとする。また、設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の½とする。 設計用水平震度 対象設備 / 設備場所：地階及び1階 / 2階床以上 / 最上階・屋上・塔屋 重要度の高い設備機器 / 0.6 / 1.0 / 1.5 上記以外の設備機器 / 0.4 / 0.6 / 1.0 重要度の高い設備機器　・配電盤　・自家発電装置　・構内交換機
	19．ねじなし電線管の使用	・薄鋼電線管を使用することになっている部分は、同一外径のねじなし電線管を使用してよい。
	20．作品の対外発表	⊙本工事に関して、施工業者または関係者が、新聞、雑誌等に発表する際には、事前に発表の企画内容を建築主及び枠設計に通知して、その了解を得た後仕上り原稿について枠設計の最終承諾を得るものとする。
	21．品質管理	⊙請負者は自主施工監理者を選任し、品質管理を徹底すること。
	22．機材の検査等	⊙検査する機材種別は係員の指示による。なお、工事現場以外での検査及び試験の立会いに要する費用（旅費及び宿泊費）は工事請負金額に含む。 ・1年目のかし検査　・2年目のかし検査
	23．契約	⊙本工事の契約は四会連合協定工事請負契約約款（昭和59年9月改正）による。 ※四会連合協定工事請負契約約款に規定する工事かしが発生した場合はすみやかに修補すること。
	24．着工時中間時及び竣工時の提出書類	※提出書類は枠設計工事監理要項（届出提出書類事務処理平成元年版）による。 ・着工時に設計図を㎡版に縮小を行い、白焼き製本を提出のこと。 ※3部　・　部

種目	項目	特記事項
⊙受変電設備	⊙電気方式 ⊙配電盤形式 ⊙接地 ⊙機器仕様	・三相3線式　6.6kV　50Hz ⊙キュービクル式配電盤　・高圧閉鎖配電盤 ・変圧器盤　・低圧閉鎖配電盤 ・閉鎖形配電盤 ・各種単独　⊙第1種第3種共同第2種単独 ・避雷器単独　・第1種第2種第3種共同 ⊙別図による。
・自家発電設備	・発電機 ・原動機 ・チェンブロック ・走行装置 ・機器仕様	・三相3線式　V　Hz　KVA ・電気始動式　・空気始動式 ・ディーゼル機関　・ガスタービン ・本工事　・別途工事　・不要 ・本工事　・別途工事　・不要 ・別図による。
⊙動力設備	⊙電気方式 ⊙機器への接続 ⊙電動機の接地	⊙幹線　交流三相3線式　200V　50Hz ⊙分岐　交流三相3線式　200V　50Hz ⊙本工事制御盤より別途電動機への配線の接続は本工事とする。 ・金属管接地（7.5kWを超えるものは接地専用線式とする。） ⊙専用線接地
⊙電灯設備	⊙電気方式 ・フロアープレート ・ハイテンション ⊙配線器具 ⊙非常用照明器具 ⊙照明器具仕様 ⊙分電盤予備回路の配管	・幹線　交流単相3線式　200/100V 50Hz　直流2線式　100V ・分岐　交流単相2線式　200V 50Hz　直流2線式　100V 交流単相2線式　100V 50Hz ・水平高低調整形（空転防止リング付）・水平調整形　・簡易形 ・回転又は上下動形　・外部固定形　・内部固定形 ⊙タンブラスイッチは埋込連用形（大角形）とする。 ⊙壁付コンセント（2P15A）は原則として埋込連用形（大角形）とする。ただし、2口の場合は複式を使用してよい。 ⊙電池内蔵形　・電源別置形 ⊙市販品　⊙官電協仕様　・省電力形 ・別図による。 ・予備配管は予備の配線用遮断器4個以下の場合（25）を1本、5個以上の場合(25)を2本天井まで立上げ、中深アウトレットボックスに盲プレートを取付ける。
・構内交換設備	・交換機 ・回線数 ・電話機の台数 ・配線 ・機器仕様	・ボタン電話装置 ・電子交換機（・分散形中継台式　・中継台式） ・局線　／　回線以上　・内線　／　回線以上 ・取付　台　・納入　台 ・取付電話機1台につき、T1VF0.65-2C×20m 1号ワイヤプロテクター　1.5mをみこむ。 ・ボタン電話機1台につき、電子ボタン電話用ケーブルEBT0.4-4C　15m 2号ワイヤープロテクター　1.5mをみこむ。 ・別図による。
⊙電話設備	・フロアープレート ・ローテーション ・配線 ⊙接地	・水平高低調整形（空転防止リング付）　・水平調整形　・簡易形 ・一般用　個　・ボタン電話用　個 ・取付けを含む。　・納入する。 ・本配線盤～端子盤間に構内ケーブルを配線する。 ⊙銅棒埋設
⊙インターホン設備	・途 ・機器仕様	・構内連絡用　・受付用 ⊙夜間受付用　・身体障害者用 ・保安用　・エレベーター用 ・ナースコール用　・住宅用 ・別図による。
・拡声設備	・増幅器 ・機器仕様	・卓上形　・デスク形　・キャビネットラック形 ・一般放送用　・非常放送用　・併用 ・別図による。
⊙テレビ共同受信設備	⊙配線方式 ・アンテナ ・支持ポールの取付 ・機器仕様	⊙直列ユニット式　・幹線分岐式 ・VHF　・UHF　・BS　・FM　・AM ・壁面支持形　・自立形 ・別図による。
・電気時計設備	・親時計 ・時報子時計 ・チャイム ・機器仕様	・壁掛形　・自立形 ・親時計に組込　・別置壁掛形 ・親時計に組込　・別置壁掛形　・時報子時計に組込 ・別図による。
・表示設備	・表示盤 ・機器仕様	・多線直接式　・パルス伝送式 ・別図による。
・火災報知設備	・受信機 ・機器配置 ・消火ポンプ起動 ・自動閉鎖装置 ・機器仕様	・P形　級　回線（・単独　・連動制御器と一体） ・各機器単独設置　・専用総合盤　・消火栓箱に組込 ・発信機と連動　・単独押釦設置 ・連動制御器　回線（・単独　・受信機と一体） ・別図による。
⊙避雷設備	⊙受雷部 ⊙避雷導線 ⊙接地極	・突針　⊙むね上導体　・金属製手すり等 ⊙引下げ導線　・建築構造体利用 ⊙接地極埋設　・建築構造体利用

竣工図

種目	項目	特記事項
⊙屋外電気設備	⊙配線方式 ⊙地中線路の余長 ⊙標識シート等 ・装柱機材 ⊙外灯基礎 ・表装復旧 ⊙その他	・地中線式（・直埋式　⊙管路式）　・架空線式 ⊙マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む。 ・直埋式の道路横断箇所は管路とし、その両端は約1mの余長を見込む。 ⊙高圧線路に標識シートなどを埋設する。 ・一般形　・耐塩形 ⊙本工事　・別途工事 ・本工事（・コンクリート　・アスファルト　・芝生）　・別途工事 ⊙地中線路にはケーブル埋設標を設ける。

⊙機器取付高

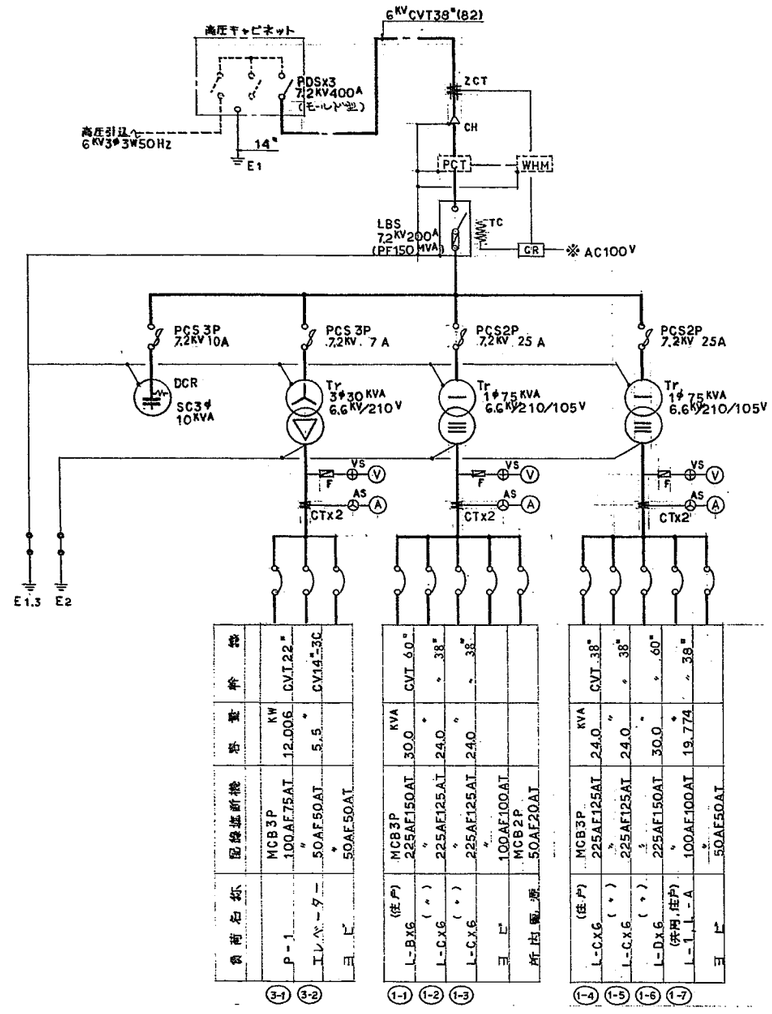
機器取付高は下表を標準とする。ただし係員の指示により変更することがある。

記号	名称	測点	取付高(㎜)	記号	名称	測点	取付高(㎜)
盤	電力量計箱	地上～上端	2000	表	表示盤	床上～中心	（天井高）×0.9
S	引込開閉器	床上～上端	1800	盤	盤付発信器	床上～中心	1300
制	制御盤	床上～上端	1900以下	ベル	ベル、チャイム、ブザー	床上～中心	（天井高）×0.9
S	手元開閉器	床上～中心	1500	押	同上押釦	床上～中心	1300
分	分電盤	床上～上端	1900以下	TV	テレビ分配箱	床上～中心	（天井高）×0.9
●	タンブラスイッチ	床上～中心	1300	⑤	テレビ受口（一般）	床上～中心	300
⊕	コンセント（一般）	床上～中心	300	⑤	テレビ受口（和室）	床上～中心	150
〃	コンセント（和室）	床上～中心	150	総	火報受信機	床上～操作部	800～1500
〃	コンセント（台上）	台上～中心	150	操	火報副受信機	床上～操作部	800～1500
○	ブラケット（一般）	床上～中心	2100	総	総合盤	床上～中心	800～1500
〃	ブラケット（鏡上）	鏡端～中心	150	JB	ジョイントボックス	床上～中心	2000
二	室内端子盤	床上～下端	300	発	発信機	床上～中心	800～1500
〃	中間端子盤	床上～中心	1500				
◉	電話受口（一般）	床上～中心	300				
〃	電話受口（和室）	床上～中心	150				
◎	壁掛スピーカ	床上～中心	（天井高）×0.9				
〃	音量調節器	床上～中心	1300				
T	壁掛形インターホン	床上～中心	1500				
T	壁掛形親時計	床上～中心	1500				
◷	壁掛形子時計	床上～中心	（天井高）×0.9				

Ⅳ．使用機材等指定表

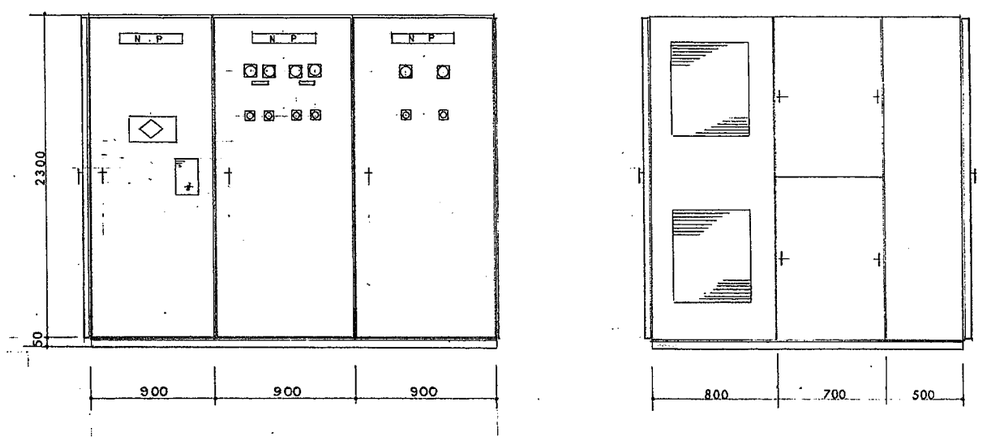
機材名	製造者名					
鋼製電線管						
鋼製電線管付属品						
電線・ケーブル						
計器・継電器						
特別高圧機器						
高圧しゃ断器						
配線用しゃ断器						
高圧開閉器						
電磁開閉器						
高圧配電盤						
低圧配電盤						
制御盤・分電盤・端子盤						
既製盤						
高圧用変圧器						
コンデンサー						
配線器具						
ディーゼル機関原動機						
ガスタービン原動機						
発電機						
蛍光灯・白熱灯						
水銀灯						
特殊シャンデリア						
防爆耐爆器具						
蓄電池・充電器						
電話交換装置						
拡声装置						
インターホン装置						
テレビ共同受信装置						
電気時計装置						
表示装置						
ITV装置						
監視制御システム						
火災報知装置						
自動閉鎖装置						
避雷装置						
防犯装置						
非常警報器具						
ガス漏れ警報器具						

一級建築士事務所 東京都知事登録第33519号 株式会社 梓設計 一級建築士事務所 東京都知事登録第30579号 中野裕之設計	2988	新技術事業団（仮称）外国人研究者宿泊施設建設工事				
校閲	審査	担当	作図	製図	電気設備工事特記仕様書	
					ミー1	縮尺 — / —
					No. / 枚の内	年　月　日



負荷名称	配線遮断機	容量	幹線		
P-1	MCB3P 100AF75AT	KW 12.006	CVT22㎟		
エレベーター	〃 50AF50AT	〃 5.5	〃 CV14㎟3C		
ヨビ	〃 50AF50AT	〃	〃		
(住戸) L-BX6	MCB3P 225AF150AT	KVA 30.0	CVT 60㎟		
〃 L-CX6	〃 225AF125AT	〃 24.0	〃 38㎟		
〃 L-CX6	〃 225AF125AT	〃 24.0	〃 38㎟		
ヨビ	〃 100AF100AT	〃	〃		
所内電源	MCB2P 50AF20AT	〃	〃		
(住戸) L-CX6	MCB3P 225AF125AT	KVA 24.0	CVT 38㎟		
〃 L-CX6	〃 225AF125AT	〃 24.0	〃 38㎟		
〃 L-DX6	〃 225AF150AT	〃 30.0	〃 60㎟		
(併用住戸) L-1,1-A	〃 100AF100AT	〃 19.774	〃 38㎟		
ヨビ	〃 50AF50AT	〃	〃		
			(3-1)	(3-2)	
			(1-1)	(1-2)	(1-3)
			(1-4)	(1-5)	(1-6) (1-7)

受変電設備単線結線図



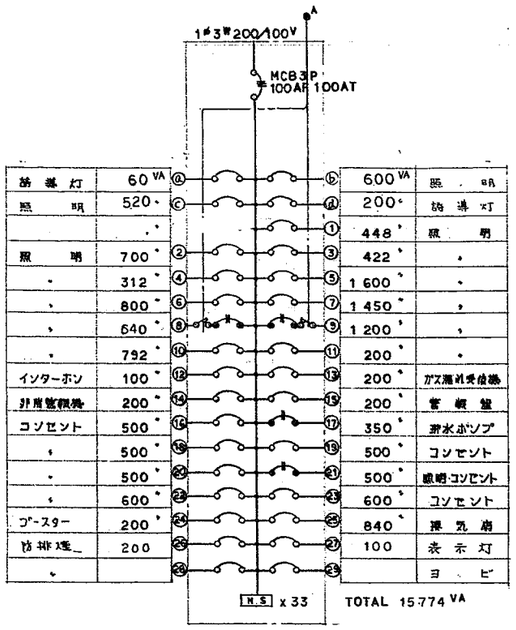
キュービクル立面図

記号	名称
LBS	気中開閉器
Tr	変圧器(油入自冷)
SC	進相コンデンサ
PCT	計器用変成器箱
WHM	電力量計
A	電流計
V	電圧計
AS	電流計用切替器
VS	電圧計用切替器
GR	接地継電器
CT	計器用変流器
ZCT	零相変流器
DCR	放電抵抗
TC	トリップコイル
CH	ケーブルヘッド
F	ヒューズ
PCS	プライマリーカットアウトスイッチ

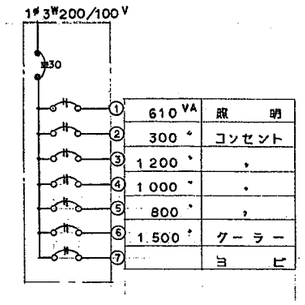
注)
1. 姿図において形状及び記入寸法は参考とする。
2. 消火器(ABC粉末10型)1台を納品。(係員の指示する場所に設置のこと。)
3. 備品として DS棒(6KV)x1を納入すること。
4. 予備品として電力ヒューズ1組ヒューズ、テンプ線1式納入のこと。
5. 照明(ドアスイッチ式)及び点検用コンセント
6. 附属品としてテスター、メガー、検電器(6KV用)、ペンチ、ドライバー(+,−)を納入すること。
7. 計器類は広角形 1.5 級とする。

設工図

一級建築士事務所 東京都知事登録第369号 株式会社 梓設計 一級建築士登録第68014号 中野裕之設計	2988	新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事	
検図	書	実	担
		当	製図
		受変電設備単線結線図、キュービクル姿図	
		E-3	縮尺 −/−
		No. / 枚の内	年 月 日

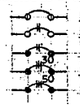


L－1 （鋼板製埋込型）

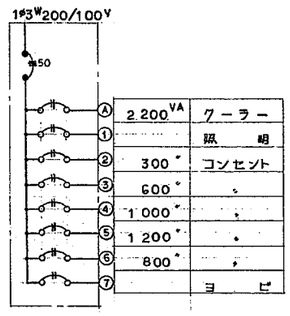


L－A （樹脂製壁掛型）

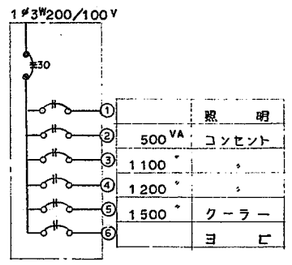
注）箔記なき配線遮断器は下記に依る。



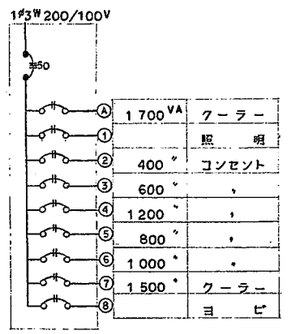
①～⑧：100V回路を示す。
Ⓐ　：200V回路を示す。



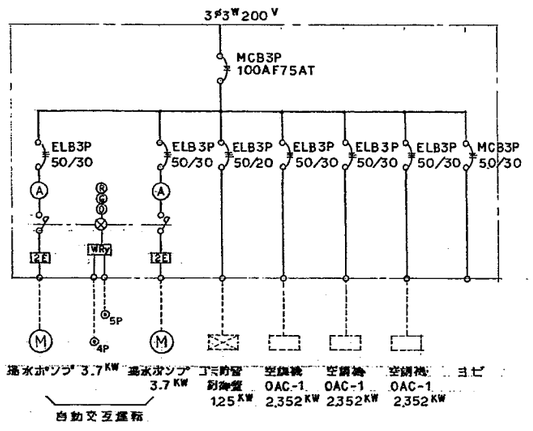
L－B （樹脂製壁掛型）



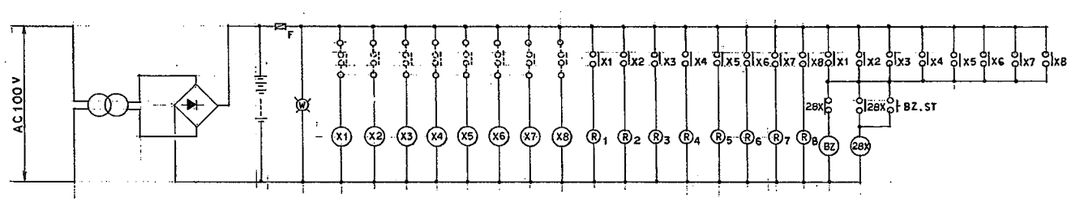
L－C （樹脂製壁掛型）



L－D （樹脂製壁掛型）



P－1 （鋼板製壁掛型）



記号	名称
R 1	受水槽満水
R 2	受水槽減水
R 3	高置水槽満水
R 4	高置水槽減水
R 5	揚水ポンプ異常
R 6	補給水槽満水
R 7	補給水槽減水
R 8	受変電設備異常

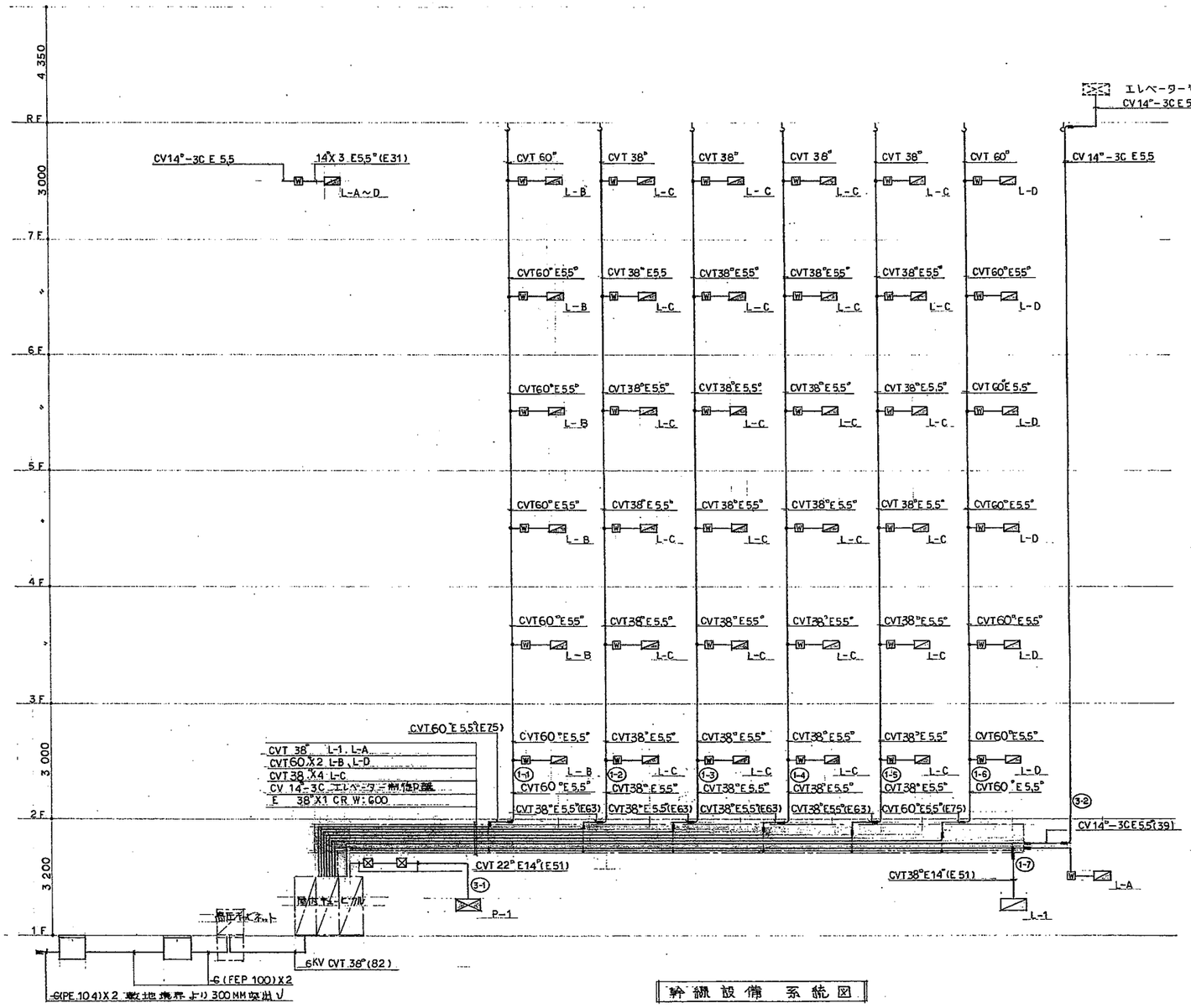
警報盤結線図 （鋼板製壁掛型）

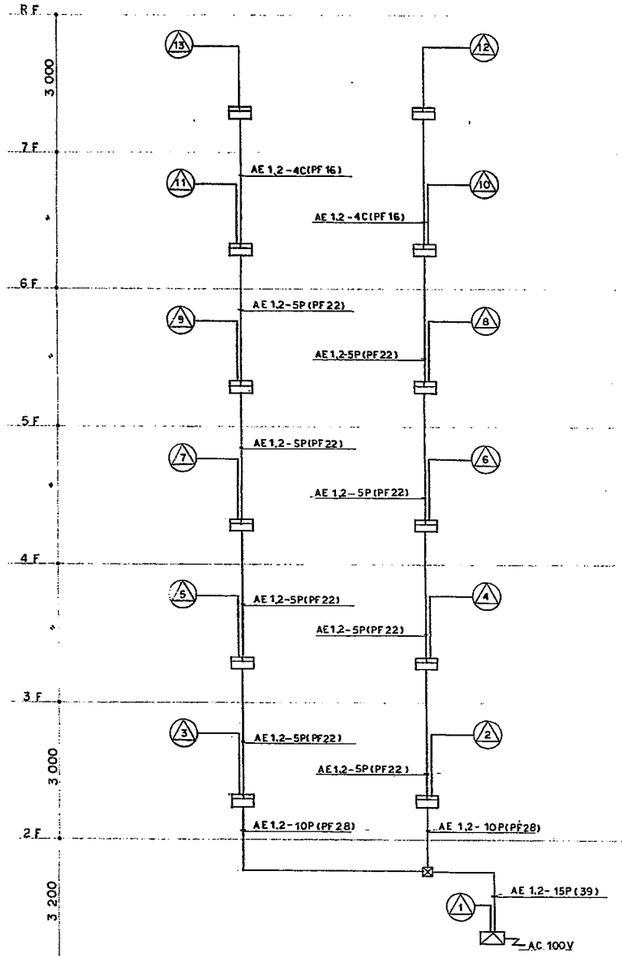
竣工図

一級建築士事務所 東京都知事登録第2803号 株式会社 梓設計 一級建築士登録第(000)号 中野裕之設計	2988	新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事	
校閲	照査	担当	製図 K2
		警報結線図	
		E－4	縮尺 －／－
		No. ／ 枚の内	年 月 日

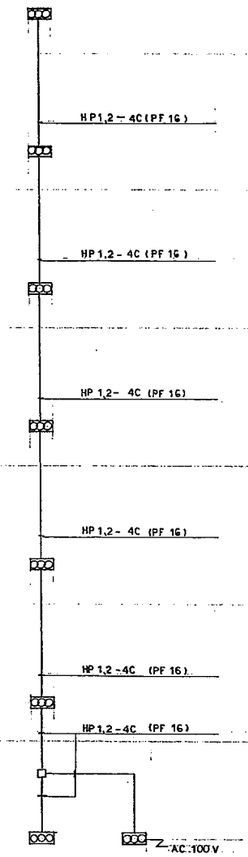
凡　例

記　号	名　称	備　考
	蛍光灯	
	〃	非常照明　電池内蔵
	〃	避難口誘導灯　〃
○	蛍光灯・白熱灯	
	外灯	
	蛍光灯	
	〃	廊下通路誘導灯　電池内蔵
◎	白熱灯	非常照明　〃
●	埋込スイッチ	1P15Ax1
$●_3$	〃	3W15Ax1
●∞	〃	1P15Ax1　パイロットランプ付
$●_A$	自動点滅器	光電式 3A
⊘	引掛シーリング	2P15Ax1
⊕	埋込コンセント	2P15Ax1
$⊕_2$	〃	2P15Ax2
$⊕_{ET}$	〃	2P15Ax1　アース端子付
$⊕_{2ET}$	〃	2P15Ax2　〃
$⊕_{WP}$	〃	2P15Ax1　防水型
	電力量計	検定付(樹脂製箱入)
	電灯分電盤	
	動力制御盤	
Ⓜ	電動機	別途
$⊙_{3,4,5P}$	水位電極	フロートレス 3P.4P.5P
	換気扇	別途
	天井扇	〃
	サーモスイッチ	〃
	コントロールスイッチ	別途
	端子盤	
⊙	電話用アウトレット	
$⊙_{PT}$	〃	公衆電話用
	テレビ共聴収納箱	ブースター　収納スペース付
②	テレビアウトレット	中間型
$②_R$	〃	端末型
	テレビ用分配器	2分配器、4分配器
⑪	夜間受付用インターホン	親　機
⑪	〃	子　機
	呼出しチャイム	AC 100V
	階上用押ボタン	
	表示灯	連結送水口用　DC 24V
	非常警報器	ベル表示灯,表示灯付,埋込型
	ガス漏れ表示灯	
	ガス漏れ受信機	15回線検知用電源装置付壁掛型
	ガス漏れ中継器	
	ガス漏れ検知器	都市ガス用
	ガス漏れ検知区域番号	
⊠	プルボックス	
□	ジャンクションボックス	
	接地測定用端子函	樹脂製
⊗	水切端子	パラペット部水切用
$⏚_{E1,3}$	接地工事	1種3種接地
$⏚_{E2}$	〃	2種接地
$⏚_{E3}$	〃	3種接地
$⏚_{E1}$	〃	1種接地
$⏚_{ET}$	〃	測定用接地
	立上げ・引上げ	
———	配管配線	天井インペイ
— — —	〃	床埋込
------	〃	露出
—·—	〃	地中埋設

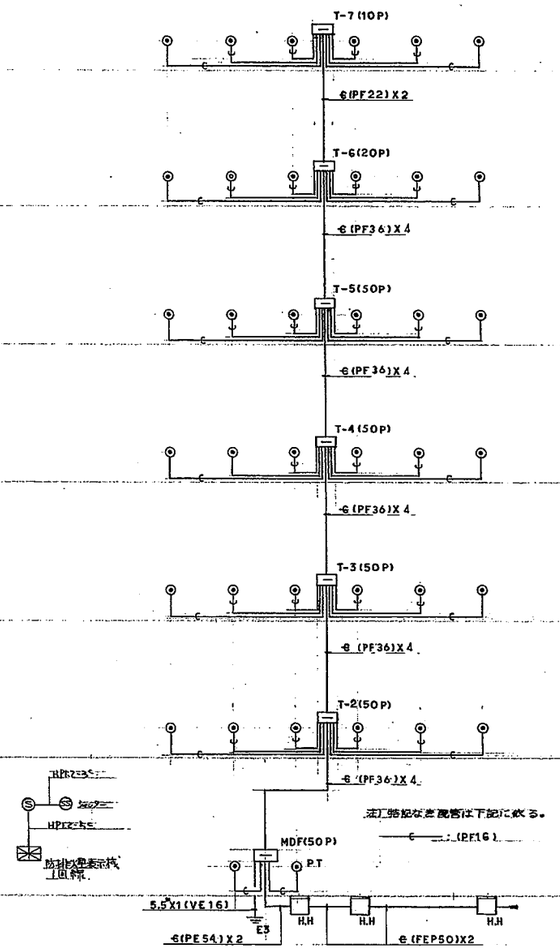

エレベーター制御盤
CV 14°-3C E 5.5°(E39)
CV14°-3C E 5.5
14X3 E5.5°(E31)
L-A～D
CVT 60°
CVT 38°
CV 14°-3C E 5.5
CVT60°E5.5°
CVT38°E5.5°
CVT60°E5.5°
CVT38°E5.5°
CVT60°E5.5°
CVT38°E5.5°



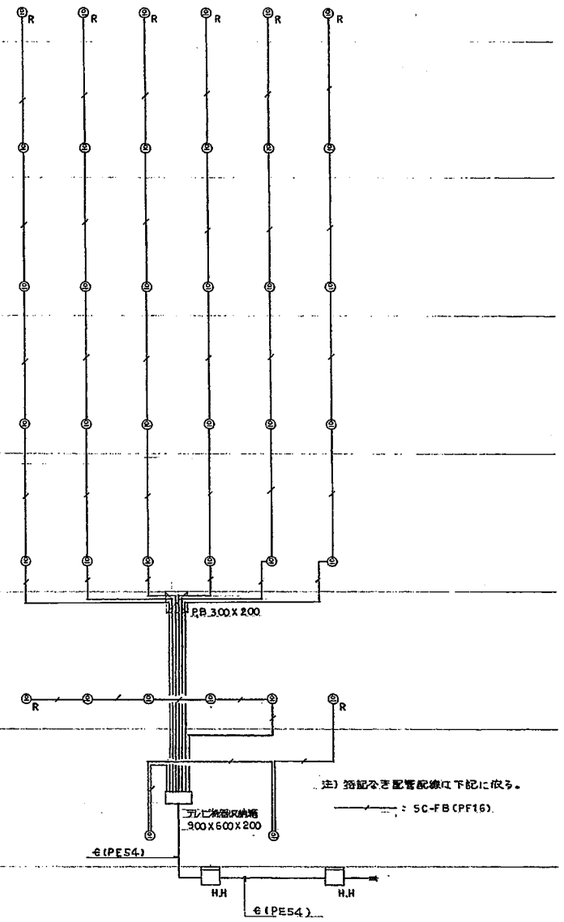
ガス漏れ警報設備　系統図



非常警報設備　系統図



電話配管設備　系統図



テレビ共聴設備　系統図



テレビ機器収納箱

竣工図

一級建築士事務所 東京都知事登録第3409号 株式会社 梓設計 一級建築士登録第209471 中野裕之設計			2988	新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事	
監理	事業	担当	製図	弱電設備　系統図	
				E-9	縮尺 —/—
				No. / 枚の内	年　月　日

空気調和設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事
2．所在地　[illegible]　(用途地域　商業　)
3．建物概要

番号	建物名称	主体構造	階数(地上/地下)	延床面積(㎡)	消防令別表1
1	寄宿舎	RC造	12F/B	25948.76	5項ロ
2					
3					
4					
5					

4．工事種目　　注：⊙のついたものを適用する。

番号	工事種目	建物 1	2	3	4	5	屋外	備考
1	機器設備	⊙	・	・	・	・	・	
2	配管設備	⊙	・	・	・	・	・	
	ダクト設備	・	・	・	・	・	・	
3	換気設備	⊙	・	・	・	・	・	
	排煙設備	・	・	・	・	・	・	
4	自動制御設備	⊙	・	・	・	・	・	

5．設備概要　　注：⊙のついたものを適用する。

方式	設備概要		
・主熱源	・往復動式冷凍機 ・冷温水発生機 ・鋼板製温水ボイラ ・炉筒煙管式ボイラ	・遠心式冷凍機 ・空気熱源ヒートポンプ冷凍機 ・鋳鉄製ボイラ ・水管式ボイラ	・吸収式冷凍機 ・水熱源小形ヒートポンプユニット ・真空式暖房機 ・電気ボイラー ・温風暖房機
⊙空調	・単一ダクト ⊙空冷パッケージ形空調機 ・水冷パッケージ形空調機	・VAV ・ファンコイルユニット	・ターミナルレヒート ⊙セパレート形ルームエアコン
・冷温水配管	・2管式	・3管式	・4管式
⊙排煙	⊙自然	・機械	・機械自然併用
⊙自動制御	⊙電気	・電子	・空気

6．設計温度差

	外気		室内 一般系統					
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	32℃	67 %	27℃	- %	℃	%	℃	%
冬期	-2℃	39 %	22℃	- %	℃	%	℃	%

Ⅱ．工事区分　　注：⊙のない場合は※印のついたものを適用する。

項目	区分 建築	電気	空調	給排水	別途
1．パイプシャフト、ダクトスペースなどの改め口及び天井の改め口	※				
2．両水槽、畜熱槽などの躯体、断熱、内外防水（仕上げ）、マンホール並びにクラップの設置	※				
3．排水槽などの躯体、内外防水（仕上げ）、マンホール並びにクラップの設置	※				
4．し尿浄化槽設備の躯体、内外防水（仕上げ）、マンホール並びにクラップの設置	※			・	
5．し尿浄化槽設備の内外装置の設置				※	
6．建物内の排水溝、配管ピット（内外防水並びに仕上げ共）	※				
7．煙突工事（内部ライニング、クラップ、掃除用扉並びに水抜管の設置共）	※				
8．同上煙道の製作・設置	・		※	・	
9．建物外壁に取付く給排気用ガラリの製作・設置	※		・	・	
10．同上外壁ガラリのウェザーカバーの製作・設置	・		※		
11．一般換気扇の設置		・	※		
12．建物内壁などに取付く吹出口・吸込口のガラリなどの製作・設置	・		※		
13．同上化粧用特殊ガラリの製作・設置	※		・		
14．各室建具に取付くガラリ類の製作・設置	※		・		
15．吹出口・吸込口などの取付のための穴あけ及び枠組補強	※		・	・	
16．二重スラブ内の連通管、通気管及びマンホールの設置	※			・	
17．地下室などの二重壁内の水抜管の設置	※			・	
18．鉄筋コンクリート造などの躯体貫通又は半貫通部分（設置機器、配管配線）の補強	※				
19．同上貫通又は半貫通部分のスリーブ、箱等の製作・設置	・	※	※	※	
20．鉄骨部分の貫通スリーブ、箱などの製作・設置	※				
21．ルーフドレン類及びたてどい	※			・	
22．同上たてどいのGL以下架1樹造の配管接続工事	※			・	
23．造り付け流し台、ガス台及び戸棚の設置	※			・	
24．造り付け流し台の排水金物	※			・	
25．造り付け浴槽の設置	※				
26．既製浴槽の設置（バランス釜使用の場合はそれを含む）	※			・	
27．ユニットバス類の設置	※			・	
28．ユニットバス類の配管接続				※	
29．浴室、脱衣室、洗面所、便所などに取付けの化粧枠	・			※	
30．機器類付属制御盤とその二次側配線			※	※	
31．自動制御盤電源供給		※	・		
32．ガス漏れ警報設備		※	・		
33．防煙ダンパー用自動閉鎖装置			※		
34．同上煙感知器、制御盤、配管配線工事		※	・		
35．自家発電設備用オイルタンク及びサービスタンク迄の油配管工事		・	※		
36．自家発電設備用給排水配管工事		・		※	

Ⅲ．工事仕様

1．共通仕様
1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は全て建設大臣官房官庁営繕部監修「機械設備工事共通仕様書」「機械設備工事標準図」（平成元年度版）による。
2）共通仕様書で「監督員」とあるのはすべて「係員」と読み替える。
3）本仕様書で「図示」とあるのは設計図面記載事項を意味する。
4）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合はそれぞれの工事共通仕様書、標準図（平成元年度版）を適用する。

2．種目・項目・特記事項の適用
特記事項は⊙印のついたものを適用する。
⊙印のない場合は※印のついたものを適用する。
⊙印と※印のある場合は、共に適用する。

3．設計図書の優先順位
1）工事見積要項書及び現場説明事項
2）質疑応答書及び補足訂正追加事項
3）図示及び特記仕様書
4）共通仕様書

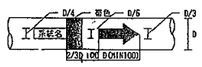
一般共通事項

種目	項目	特記事項
・一般共通事項	⊙機材	使用機材等指定表によるほか同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は係員の承認を受ける。
	⊙工事用電力、水、その他	工事用電力、水及び官公署その他への手続き費用の請負者の負担とする。
	・主任技術者等の資格	※資格者を選定する（・資格の区分Ⅰ　・資格の区分Ⅱ）　⊖ 選定しない
	⊙機材の寸法	機材等の寸法はすべて概略寸法を示す。
	⊙発生材	発生材は係員の指示により処理する。
	・技能士	※適用する（・配管工事　・ダクト工事　・保温工事　・　）・適用しない
	⊙工事写真	※建築工事仕様書による。 ・下記のものを係員の指示する規定の台紙に添付し、撮影箇所を明記し係員に提出する。 着工前写真　カラー　※キャビネット版・手札版　・サービス版　枚　部 工事中写真　カラー　※キャビネット版・手札版　・サービス版　枚　部 ※工事報告書に添付

竣工写真

分類	規格	撮影枚数	部数
・モノクローム	・キャビネ版	・　枚以上	・　部
※カラー	※キャビネ版	※　枚以上	※　部
※カラースライド	・	・　枚以上	・　部

	⊙工事中の提出書類	(1)提出書類は枠設計工事監理要項(届出提出書類事務処理　平成元年度版)による。 (2)着工時に設計図をA3版に縮小を行い、白焼製本3部を提出する。
	⊙工事完成図	※建築工事仕様書による。 ・原図作成（又は設計原図訂正）の上竣工後1ヶ月以内に原図共提出する。 (1)製本　部　のり貼り　部　(2)A3版縮小白焼　部 ・マイクロフィルム（マスターフィルム及び5こまフィルム）を提出
	⊙提出図書	工事完成と共に下記の書類を整理して提出する。 ・施工図（A1版製本）　2部　・各種機器製作完成図　2部 ・保守に必要な指導案内書　2部　・各種試験成績表　2部 ・使用機材連絡一覧表　2部　・付属品、予備品リスト　2部 ・各種届け書、許可書　2部（写共）・保守工具リスト　2部
	⊙施工計画書	提出する。
	⊙機材の検査	検査する機材、場別は係員の指示による。なお、工事現場以外での検査及び試験の立会いに要する費用（旅費）は工事請負金額に含む。
	⊙建物対外発表	本工事に関して施工者又は関係者が新聞、雑誌等に発表する際には、事前に発表の企画内容を建築主及び枠設計に通知して、その了承を得た後、仕上がり原稿について建築主及び枠設計の最終承認を得るものとする。
	⊙建物環境管理	請負工事約款に規定する工事瑕疵が発生した場合はすみやかに修補する。
	⊙品質管理	請負者は自主施工監理者を選任し、品質管理を徹底すること。
	・契約	本工事の契約は四会連合協定工事請負契約約款（昭和56年9月改正）による。
	⊙天井仕上区分	（室名）は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	⊙斫り	既存コンクリート、床、壁等の配管の穴明は、原則としてダイヤモンドカッターによる。
	⊙騒音規制基準	昼間　60 ホーン　朝夕　55 ホーン　夜間　50 ホーン 上記基準を厳守する。
	⊙建設工事保険	請負者は本工事の全ての物件に対して自己の負担にて、係員の承認する妥当な金額の損害保険を付し、写しを提出する。建設工事保険会社は工事見積要項書による。
	⊙標識その他	共通仕様書によるほか下記による。 配管の標列は系統名、帯、流れ方向を示す矢印により行う。 1）指示場所 系統名は機器、製缶類の接続部付近、帯、矢印は機器類の接続部付近、隔壁の前後分岐及び合流点付近で操作上便利でかつ見やすい位置に表示する。 2）表示方法



D：管外径（保温がある場合は保温外径）

3）系統名・矢印は黒、配管色はP1-1002 とし、帯色は下表による。

配管名称	番号		備考
蒸気	P33-141		圧力記入
凝縮水	P2-1006		保温なし　耐熱シルバー
高温水	P33-205		
温水	P34-257		
冷水	P13-707		
冷温水	P34-257	P13-707	二重帯とする
冷却水	P12-501		
給水	P31-746		
給湯	P6-148		
排水	P26-252		
通気	P19-302		
消火	P33-134		
ガス	P34-351		
油	P30-254		
空気	P1-1036		

番号は日本塗料工業会1989年度版による

共通事項

	⊙配管材料及び継手	⊙冷媒管　⊙銅管（メーカー名） ・冷温水管　※鋼管（JIS G3452）・ステンレス鋼管（JWWAG115） ・冷却水管　※鋼管（JIS G3452）・塩ビライニング鋼管（SGP-VA, FVA） ・給水管（屋内）　※塩化ビライニング鋼管（SGP-VA, -FVA） ・ポリ粉体鋼管（SGP-PA, -FPA）・ステンレス鋼管（JWWA115） （屋外）　※ビニル管（HIVP）　・塩ビライニング鋼管（SGP-VD, FVD） ・ポリ粉体鋼管（SGP-PD, -PVD） ⊙雑排水管　※鋼管（JIS G3452）・コーテング鋼管　・ビニル管（VP） ・通気管　※鋼管（JIS G3452）・ビニル管（VP） ・蒸気（給気管）　※スケジュール管（JIS G3454, SCH40）・鋳管（JIS G3452） （還管）　※ステンレス鋼管（JIS G3448） ・スケジュール管（JIS G3454, SCH40） ・油管　※鋼管（JIS G3452）・ ・ステンレス鋼管継手　※プレス式管継手　・圧縮式管継手 ※突合せ溶接式管継手（75SU以上） ・ドレッサ形スナップリング式管継手 ・グリップ式継手　・拡管式管継手
	・防振継手	※ベローズ形　・合成ゴム製
	・フレキシブル継手	※ベローズ形　・合成ゴム製
	・配管施工	(1)建物導入部　※フレキシブルジョイント　・コルゲート管継手 ・スライド形継手　・設けない
	⊙管の接合	(2)絶縁継手　異種金属の接続部には全て設ける。 (1)鋼管（油管を除く）呼径100A以下ねじ接合、125A以上フランジ接合又は溶接接合とする。ただし、冷温水、蒸気管は、係員の承認を得れば65A 以上溶接接合とすることができる。 (2)溶接部の非破壊検査　※適用する　※放射線透過検査 ・浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ・適用しない

空気調和設備

・空気調和設備	・一般用弁	

呼称	寸法区分	名称	適用 冷温水	冷却水	給水	排水	油	蒸気 往	蒸気 返		
仕切弁	50A以下	青銅弁（5K）	※	※	※	※	・	・	・	・	・
		青銅弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		ステンレス鋼弁	・	・	・	・	・	・	※	・	・
		鋳鉄弁（10K）	・	・	・	・	※	・	・	・	・
	65A以上	鋳鉄製（5K）	※	※	※	※	・	・	・	・	・
		鋳鉄製（10K）	・	・	・	・	※	・	・	・	・
		ステンレス鋼弁	・	・	・	・	・	・	※	・	・
玉形弁	50A以下	青銅弁（5K）	・	・	・	・	※	・	・	・	・
		青銅弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		鋳鉄弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	65A以上	鋳鋼弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
逆止弁	50A以下	青銅弁（10K）	※	※	※	※	・	・	・	・	・
		鋳鋼弁（10K）	・	・	・	・	※	・	・	・	・
		ステンレス鋼弁	・	・	・	・	・	・	※	・	・
	65A以上	鋳鉄弁（10K）	※	※	※	※	※	・	・	・	・
		ステンレス鋼弁	・	・	・	・	・	・	※	・	・
バタフライ弁	50A以下	ゴムシートバタフライ弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	65A以上	ステンレス鋼弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
ボール弁	50A以下	青銅弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		ステンレス鋼弁	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	65A以上	鋳鉄弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		ステンレス鋼弁	・	・	・	・	・	・	・	・	・

	・防振つり及び防振支持金物施工範囲	※下表による。　・防振は行わない

施工場所	主機械室	各階機械室		
施工方法 シングル	・		・	
施工方法 ダブル	※		・	
区分	・冷却水管	・冷温水管	・冷水管	・温水管

	・埋設配管	(1)地中埋設領　※下記の配管に設ける　・設けない ・冷水管　・温水管　・冷温水　・蒸気（給気，還管）・油管 (2)埋設表示アルミテープ　※設ける　・設けない (3)排水管を除く管の埋設の深さは、一般地 600以上、車両通路1200以上とする。 (4)土中埋設の鋼管類（排水管を含む）はペトロタム系防食テープによる防食処置を行う。外面被覆鋼管を使用する場合は継手部に適用する。
	・保温	1）保温施工範囲は下記によるほか共通仕様書による。 ・外気取りダクトは行う　・吸排用蒸気還管以外の蒸気還管 ・隠ぺイダクトのフランジ部は（補強を含む）は厚さ25㎜の保温重ね巻きとする。 2）保温施工種別 ・共通仕様書による。　保温材　※ロックウール　・グラスウール ※下表による（機器、煙導は共通仕様書による）

場所 管種	屋内露出（車庫、倉庫を含む）	機械室 共同溝内	天井・PS内	廊下暗渠内（ピット内を含む）	屋外露出・浴室、厨房など多湿箇所
蒸気管（往）（還）高温水管	①ロックウール保温筒 ②亜鉛鉄線 ③整形原紙 ④綿テープ	①同左 ②同左 ③アルミホイルペーパー ④亀甲金網	①同左 ②同左 ③アルミホイルペーパー ④亀甲金網	①同左 ②同左 ③ポリエチレンフィルム ④アルミガラスクロス	①同左 ②同左 ④亜鉛鉄線 ⑤ステンレス鋼板
冷水管 冷温水管 給水管 排水管	①グラスウール保温板 ②亜鉛鉄線 ③アスファルトフェルト ④整形原紙 ⑤綿テープ	①同左 ②同左 ③アルミホイルペーパー ④亀甲金網	①同左 ②同左 ③アルミホイルペーパー ④亀甲金網	①同左 ②同左 ③ポリエチレンフィルム ④アルミガラスクロス	①同左 ②同左 ④亜鉛鉄線 ⑤ステンレス鋼板
ダクト	①銈 ②グラスウール保温板 2号40K ③角コーナ ④接着材 ⑤ガラスクロス	①同左 ②同左 ③アルミホイルペーパー ④亀甲金網	①同左 ②グラスウール保温板 2号40K ③アルミホイルペーパー ④亀甲金網		①銈 ②グラスウール保温板 2号40K ③アスファルトフェンス ④ステンレス鋼板

注：耐火構造の防火区画を貫通する部分はロックウール保温材とする。

3）保温材の厚さ
・共通仕様書による。
※下表による（機器、煙導は共通仕様書による）

管種	保温厚 ㎜				
給排水管	50A以下	65～125A	150A	200A	250A以上
温水管	20㎜	25㎜	30㎜	40㎜	50㎜
蒸気管	20A以下	25～65A	80～125A	150～200A	250A以上
高温水管	20㎜	25㎜	30㎜	40㎜	50㎜
冷水管	32A以下	40～200A	250A以上		
冷媒管	30㎜	40㎜	50㎜		
冷温水管					
ダクト	屋内外露出部　50㎜		屋内隠ぺい部　25㎜		

	⊙電源周波数	⊙50HZ　・60HZ
	⊙制御及び操作盤	※製造者の標準仕様とする。 ・共通仕様書による。 ・2.3.6表により接点及び端子を設ける。 ※共通仕様書を適用する　・共通仕様書を適用しない
	・インバーター用制御及び操作盤	機器　・共通仕様書による　※製造者標準仕様とする
	・ポンプ	基礎　・標準　※防振
	・機器据付用地震力	次に処げる事項以外は全て建築設備耐震設計施工指針による。 最上階屋上及び塔屋　※1.0　・1.5（防振機器2.0） 中間階　※0.6　・1.0（防振機器1.3） 地階及び1階　※0.4　・0.6
	・埋め戻し土	※根切り土の中の良質土　・山砂
	・残土処理	※構内敷ならし　・構内指定場所に堆積　・構外搬出適切処理

・空気調和設備	⊙機器	※共通仕様書による　⊙製造者の標準仕様による　・機器表による
	・ファンコイルユニットの付属弁	※流量調整弁　・定流量弁
	・還水タンク	※ステンレス鋼板（SUS 304）・セラミック鋼板
	・媒煙濃度計	濃度計ファンはボイラとインターロックを取る。
	・媒じん測定口	煙道の直線部直径100φ㎜でフランジ付とする。
	・煙道	鋼板厚　※3.2㎜　・4.5㎜
	・オイルタンク	・タンク室を設ける。 コンクリート躯体は　・本工事　※別途工事 ・タンク室を設けない。 槽本体の外装は下記仕様による。 ※アスファルト塗り　・エポキシ樹脂塗り ・モルタル塗り

・空気調和設備	・オイルサービスタンク	油面制御装置の機能を下記による。 ・給油ポンプ起動・停止　・返油ポンプ起動・停止　・満油警報
	・防油堤	コンクリート製　・本工事　※別途工事
	・ダクト	換気ダクトの材質 ⊗亜鉛鍍鉄板　（特記以外の系統） ⊙ステンレス鋼板（特定甲）（系統） ・塩化ビニル板　（　系統） ・塩化ビニルライニング鋼板（　系統） 換気ダクトの多湿箇所の範囲 ・厨房　・浴室（シャワーを含む）　・水治療室
	・消音内貼り	1）施工箇所は　・吹出口チャンバー　・吸込口チャンバー ・図示したダクト及びチャンバー類 2）内貼りチャンバ類の寸法表示は外形寸法とする。 3）内貼りの厚さ　・25㎜　・50㎜
	⊙吹出口及び吸込口	※アルミニウム製　・鋼板製
	・風量測定口	※送風機（空気調和機等も含む）に近接した吐出側ダクト　・外気取入ダクト
	・防煙ダンパー	共通仕様書によるほか、下記の通りとする。 1）復帰方式　※遠隔形　・手元形 2）操作方式　※電動式　・空気式 ・手元復帰形　※遠隔復帰形
	・ピストンダンパー	※メカニカルタイプ　・風速センサータイプ
	・定風量、変風量ユニット	※アングル工法　・コーナーボルト工法
	・空調及び換気用矩形ダクト	スパイラルダクト　※使用できる　・使用できない
	・排煙用ダクト	温水用には温水用放熱器弁及びレターソコックを取りつける。
	・放熱器付属品	1）空調機、送排風機に取付けるサプライチャンバ、レターチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバは点検口を設ける。
	・チャンバー	2）外壁ガラリに直接取付けるチャンバー及びホッパには、排水管（呼び径20）を取付け屋外又は間接排水口に導く。
	・温度計	下記の管及びダクトを取付ける。温度計は、円形指示計（バイメタル式）とする。 ・冷凍機の冷水管（送り、返り）及び三方弁装置の冷温水管（返り） ・冷温水発生機の冷温水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り） ・ボイラの温水管（返り） ・空気調和機の冷温水管（送り、返り）及び三方弁装置の冷温水管（返り） ・熱交換器の温水管（送り、返り） ・冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各返り管 ・空気調和機（パッケージ形を含む）のサプライチャンバー、リターンダクト、外気ダクト及びレクンチャンバー。
	・圧力計	下記の管に取付ける。 ・冷凍機の冷却水管（送り、返り）及び冷水管（送り、返り） ・空気調和機の冷温水管（送り、返り） ・直だき吸収冷温水機の冷却管（送り、返り）及び冷温水管（送り、返り）
	・瞬間流量計	・設けない　※瞬間流量計（　）個を予備品とする。
	・瞬間流量計取付け用ノズル	・以下の配管に設ける。 ・冷凍機の冷水管及び冷却水管（送り又は返り） ・直だき吸収冷温水機の冷温水管及び冷却水管（送り又は返り） ・空気調和機の冷温水管（送り又は返り） ・パッケージ形空調機の冷却水管及び温水管（送り又は返り） ・冷温水ヘッダーの各送り管
	⊙測定表	工事完了後、下記の測定表を提出する。

項目＼室名 機器	各室						
温度	⊙	・	・	・	・	・	・
湿度	⊙	・	・	・	・	・	・
風量	⊙	・	・	・	・	・	・
騒音	⊙	・	・	・	・	・	・
電流値	・	・	・	・	・	・	・
水量	・	・	・	・	・	・	・
振動	・	・	・	・	・	・	・

	・管の吊り	冷水及び冷温水の吊りバンドには合成樹脂製の支持受けを使用する。
	・排煙風量測定	建築設備定期検査業務指寄書（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。
	・遮音キャンバス継手	※消音ボックス付ファン類とダクトとの接続部に設ける。 ・全ての機器類とダクトとの接続部に設ける。

Ⅳ．使用材料等指定表

機器材料名	製造者名				
冷凍機（往復動式）					
冷凍機（遠心式）					
直だき吸収冷温水機					
ボイラー					
パッケージ形空調機					
ユニット形空調機					
ファンコイル・コンベクター					
送排風機					
屋上換気扇、エアカーテン類					
換気扇、天井扇類					
冷却塔					
弁類					
製缶類					
亜鉛鉄板	JISマーク表示品				
吹出口・吸込口類					
自動制御機器					
ポンプ類					
伸縮継手類					
トラップ類					
保温材					
鋼管類	JISマーク表示品				
鋼管継手	JISマーク表示品				
消音装置					
全熱交換器					
VAV，CAV					
エアフィルター					
遮音キャンバス継手					
遮音シート					

設工図

一級建築士事務所 東京都知事登録第3885号 株式会社 梓設計 一級建築士登録第(000)45 中野裕之設計	2988	新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事 空気調和設備工事特記仕様書		
設計	事業	担当	製図	A/C-001　縮尺 /
				No. / 改め内　年　月　日

ダイキン工業(株)型番

記号	名称	仕様	動力 φ	V	KW	W	台数	設置場所	備考
PAC-1	空調機	天井吊形(ヒータレス)	3	200		57	3	機会室トランクルーム	FHY7/C
		冷房能力 6,300 Kcal/H 暖房能力 6,800 Kcal/H (JIS条件)							
		冷媒配管セット リモコンスイッチ配線共 吊り防振ゴム							
PAC-2	空調機	壁掛形マルチタイプ インバーター	1	200		1.8	12	Aタイプ リビングルーム	P250TXV-W
		冷房能力 2,200 Kcal/H 暖房能力 3,600 Kcal/H (JIS条件)							
		ガス管 9.5φ 液管 6.4φ 冷媒配管セット リモコンスイッチ配線共							
PAC-3	空調機	壁掛形マルチタイプ インバーター	1	100		1.8	6.2	1階管理人室 1階和室 Aタイプ 天井吊型 子供室 Cタイプ リビングルーム 寝室	P200TX-W
		冷房能力 1,800 Kcal/H 暖房能力 2,300 Kcal/H (JIS条件)							
		ガス管 9.5φ 液管 6.4φ 冷媒配管セット リモコンスイッチ配線共							
PAC-4	空調機	壁掛形マルチタイプ	1	200		1.6	1.8	Bタイプ 天井吊型 リビングルーム	C220TXV-W
		冷房能力 2,000 Kcal/H 暖房能力 2,800 Kcal/H (JIS条件)							
		ガス管 9.5φ 液管 6.4φ 冷媒配管セット リモコンスイッチ配線共							
PAC-1'	屋外機	天吊形	3	200			3		RX7JC
		冷房能力 6,300 Kcal/H 暖房能力 6,800 Kcal/H (JIS条件)							
		圧縮機 出力			2.2				
		ファン電動機 出力				95			
		ファン風量 50 m³/min							
		防振ゴム							
		天井吊金具							
PAC-2'	屋外機	壁掛形マルチタイプ (2室用)	1	200			6		M450XV
		冷房能力 4,000 Kcal/H 暖房能力 5,500 Kcal/H (JIS条件)							
		圧縮機 出力			1.3				
		ファン電動機 出力				35			
		防振ゴム 冷暖房切替スイッチ							
		天井吊金具							
PAC-3'	屋外機	壁掛形マルチタイプ (2室用)	1	200			3.1		M380X
		冷房能力 3,400 Kcal/H 暖房能力 4,200 Kcal/H (JIS条件)							
		圧縮機 出力			1.1				
		ファン電動機 出力				27			
		防振ゴム 冷暖房切替スイッチ							
		天井吊金具							
PAC-4'	屋外機	壁掛形マルチタイプ (3室用)	1	200			6		M680XV
		冷房能力 6,000 Kcal/H 暖房能力 8,500 Kcal/H (JIS条件)							
		圧縮機 出力			1.7				
		ファン電動機 出力				33			
		防振ゴム 冷暖切替スイッチ							
		天井吊金具							

記号	名称	仕様	動力 φ	V	KW	W	台数	設置場所	備考
SF-1	有圧扇 (低騒音型)	300φ x 1000 m³/H ウェザーカバー シャッター 防虫ネット共 (SUS) (EF-7と連動)	1	100		50	1	設備機械室	松下 FY-30GSU
SF-2	有圧扇 (低騒音型)	400φ x 2400 m³/H ウェザーカバー シャッター 防虫ネット共 (SUS) (EF-8と連動) サーモスタット運転	1	100		100	1	電気室	松下 FY-40MSV
EF-7	有圧扇 (低騒音型)	250φ x 1000 m³/H ウェザーカバー シャッター 防虫ネット共 (SUS) (SF-1と連動)	1	100		25	1	設備機械室	松下 FY-25GSU
EF-8	有圧扇 (低騒音型)	350φ x 2400 m³/H ウェザーカバー シャッター 防虫ネット共 (SUS) (SF-2と連動)	1	100		80	1	電気室	松下 FY-35GSU
EF-1	シロッコファン	消音型ストレートシロッコファン 250φ x 480 m³/H x 10 mmAq	1	100		100	1	ホール	松下 FY-25SCG
EF-2	シロッコファン	消音型ストレートシロッコファン 200φ x 300 m³/H x 10 mmAq	1	100		50	2	男・女便所	松下 FY-20SCS
EF-3	有圧扇 (低騒音型)	350φ x 2400 m³/H ウェザーカバー シャッター 防虫ネット共 (SUS) サーモスタット運転	1	100		80	1	E.L.V 機械室	松下 FY-35GSU
EF-4	レンジフード	深型 強制排気型 150φ x 300 m³/H x 6 mmAq	1	100		146	13	A・Bタイプ 各厨房合計	
EF-4'	〃	浅型 強制排気型 150φ x 300 m³/H x 6 mmAq	1	100			24	Cタイプ 各厨	
EF-5	天井扇	低騒音型 100φ x 50 m³/H x 6 mmAq	1	100		15	14	浴室・トイレ	松下 FY-17BX
EF-6	中間ファン	100φ x 115 m³/H x 8 mmAq	1	100		34	37	ユニットバス	松下 FY-18DPX
AHX-1	熱交換型換気扇	天井埋込ダクト接続型 250φ x 500 m³/H x 13 mmAq	1	100		480	3	電気室トランクルーム	三菱 LGH-65R

松下: 松下電器産業㈱
三菱: 三菱電機㈱

竣工図

一級建築士事務所 東京都知事登録第38819号 株式会社 梓設計 一級建築士登録(13)第10015号 中野宿之設計	2988	新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事		
作図	審査	担当	製図	機器表
				図番 A/C-003
				No. / 枚の内
				縮尺 /
				2年2月 日

給排水衛生設備工事特記仕様書

1．工事概要

1．工事名称　筑技術事業団（仮称）外国人研究者宿泊施設建設工事

2．所在地　茨城県つくば市[illegible]（用途地域　商業）

3．建物概要

番号	建物名称	主体構造	階数（地上／地下）	延床面積（㎡）	消防令別表1
1	本棟	RC造	7F／0	2598.98	5項ロ
2					
3					
4					
5					

4．工事種目　　注：⊙のついたものを適用する。

番号	工事種目	建物 1	2	3	4	5	屋外	備考
1	給水設備	⊙	・	・	・	・	⊙	
2	給湯設備	⊙	・	・	・	・	・	
3	排水通気設備	⊙	・	・	・	・	⊙	
4	衛生器具設備	⊙	・	・	・	・	・	
5	消火設備	⊙	・	・	・	・	・	
	（ ）屋内消火栓設備	・	・	・	・	・	・	
	（ ）屋外消火栓設備	・	・	・	・	・	・	
	（ ）スプリンクラー設備	・	・	・	・	・	・	
	（ ）ハロン消火設備	・	・	・	・	・	・	
	（ ）泡消火設備	・	・	・	・	・	・	
	雨水屋外管路							
6	ガス設備	⊙	・	・	・	・	⊙	
	厨房機器設備	・	・	・	・	・	・	
	し尿浄化槽設備	・	・	・	・	・	・	

5．設備概要　　注：⊙のついたものを適用する。

方式	設備概要
⊙給水	・水道直結式　⊙高置水槽式　・加圧ポンプ式
⊙給湯	・中央式　⊙局所式
⊙排水	建物内汚物槽排水（⊙分流　・合流）
	建物外放流先　（汚水　⊙直放流、下水道　・単独処理　・合併処理）
	（雑排水　⊙直放流、下水道　・合併処理　・側溝）

Ⅱ．工事区分　　注：⊙のない場合は※印のついたものを適用する。

項目	区分 建築	電気	空調	給排水	別途
1．パイプシャフト、ダクトスペースなどの改め口及び天井の改め口	※				
2．湧水槽、雹熱槽などの躯体、断熱、内外防水（仕上げ）、マンホール並びにタラップの設置	※				
3．排水槽などの躯体、内外防水（仕上げ）、マンホール並びにタラップの設置	※				
4．し尿浄化槽設備の躯体、内外防水（仕上げ）、マンホール並びにタラップの設置	※			・	
5．し尿浄化槽設備の内外装置の設置				※	
6．建物内の排水溝、配管ピット（内外防水並びに仕上げ共）	※				
7．煙突工事（内部ライニング、タラップ、掃除用扉並びに水抜管の設置共）	※				
8．同上煙道の製作・設置	・		・	※	
9．建物外壁に取付く給排気用ガラリの製作・設置	※		・		
10．同上外壁ガラリのウェザーカバーの製作・設置	・		※		
11．一般換気扇の設置		・	※		
12．建物内壁などに取付く吹出口・吸込口のガラリなどの製作・設置	・		※		
13．同上化粧用特殊ガラリの製作・設置	※		・		
14．各室建具に取付くガラリ類の製作・設置	※		・		
15．吹出口・吸込口などの取付のための穴あけ及び枠組補強	※		・		
16．二重スラブ内の連通管、通気管及びマンホールの設置	※			・	
17．地下室などの二重壁内の水抜管の設置	※			・	
18．鉄筋コンクリート造などの躯体貫通又は半貫通部分（設置機器、配管配線）の補強	※				
19．同上貫通又は半貫通部分のスリーブ、箱等の製作・設置	・	※	※	※	
20．鉄骨部分の貫通スリーブ、箱などの製作・設置	※				
21．ルーフドレン類及びたてどい	※			・	
22．同上たてどいのGL以下第1桝迄の配管接続工事	※			・	
23．造り付け流し台、ガス台及び戸棚の設置	※			・	
24．造り付け流し台の排水金物	※			・	
25．造り付け浴槽の設置	※				
26．既製浴槽の設置（バランス釜使用の場合はそれを含む）	※			・	
27．ユニットバス類の設置	※			・	
28．ユニットバス類の配管接続	・			※	
29．浴室、脱衣室、洗面所、便所などに取付けの化粧鏡	・			※	
30．視聴覚類に属制御盤とその二次側配線			※	※	
31．自動制御盤電源供給		※		・	
32．ガス漏れ警報設備		※		・	
33．防煙ダンパー用自動閉鎖装置		・	※		
34．同上煙感知器、制御盤、配管配線工事		※	・		
35．自家発電設備用オイルタンク及びサービスタンク迄の油配管工事		・	※		
36．自家発電設備用給排水配管工事		・	・	※	

Ⅲ．工事仕様

1．共通仕様

1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は全て建設大臣官房官庁営繕部監修「機械設備工事共通仕様書」「機械設備工事標準図」（平成元年度版）による。

2）共通仕様書で「監督員」とあるのはすべて「係員」と読み替える。

3）本仕様書で「図示」とあるのは設計図面記載事項を意味する。

4）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合はそれぞれの工事共通仕様書、標準図（平成元年度版）を適用する。

2．種目・項目・特記事項の適用

特記事項は⊙印のついたものを適用する。

⊙印のない場合は※印のついたものを適用する。

⊙印と※印のある場合は、共に適用する。

3．設計図書の優先順位

1）工事見積要項書及び現場説明事項

2）質疑応答書及び補足訂正追加事項

3）図示及び特記仕様書

4）共通仕様書

⊙一般共通事項

項目	特記事項
⊙機材	使用機材等指定表によるほか同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は係員の承認を受ける。
⊙工事用電力、水、初他	工事用電力、水及び宿公署その他への手続き費用は請負者の負担とする。
⊙主任技術者等の資格	※資格者を選定する（・資格の区分Ⅰ　・資格の区分Ⅱ）　⊙選定しない
⊙機材の寸法	機材等の寸法はすべて概略寸法を示す。
⊙発生材	発生材は係員の指示により処理する。
⊙技能士	※適用する（・配管工事　・ダクト工事　・保温工事　・　）⊙適用しない
⊙工事写真	※建築工事仕様書による。 ・下記のものを係員の指示する規定の合紙に添付し、撮影箇所を明記し係員に提出する。 着工前写真　カラー　※キャビネット版・手札版　・サービス版　枚　部 工事中写真　カラー　※キャビネット版・手札版　・サービス版　枚　部 ※工事報告書に添付

竣工写真

分類	規格	撮影枚数	部数
・モノクローム	・キャビネ版	・　枚以上	・　部
※カラー	※キャビネ版	※　枚以上	※　部
※カラースライド	・	・　枚以上	・　部

⊙工事中の提出書類	(1)提出書類は標設計工事監理要項（届出提出書類事務処理　平成元年度版）による。 (2)着工時に設計図をA3版に縮小を行い、白焼製本3部を提出する。
⊙工事完成図	※建築工事仕様書による ・原図作成（又は設計原図訂正）の上竣工後1ヶ月以内に原図共提出する。 (1)製本　部　のり貼り　部　(2)A3版縮小白焼製本　部 ・マイクロフィルム（マスターフィルム及び5こまフィルム）を提出する。
⊙提出図書	工事完成と共に下記の書類を整理して提出する。 ・施工図（A1版製本）　2　部　・各種機器製作完成図　2　部 ・保守に必要な指導案内書　2　部　・各種試験成績表　2　部 ・使用機材連絡一覧表　2　部　・付属品、予備品リスト　2　部 ・各種届け書、許可書　2　部（写共）・保守工具リスト　2　部
⊙施工計画書	提出する。
⊙機材の検査	検査する機材、種別は係員の指示による。なお、工事現場以外での検査及び試験の立会いに要する費用（旅費）は工事請負金額に含む。
⊙建物対外発表	本工事に関して施工者又は関係者が新聞、雑誌等に発表する際には、事前に発表の企画内容を建築主及び枠設計に通知して、その了承を得た後、仕上がり原稿について建築主及び枠設計の最終承認を得るものとする。
⊙建物現地管理	請負工事約款に規定する工事現場が発生した場合はすみやかに修補する。
⊙品質管理	請負者は自主施工監理者を選任し、品質管理を徹底すること。
・契約	本工事の契約は四会連合協定工事請負契約約款（昭和56年9月改正）による。
⊙天井仕上区分	（室名）は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
⊙斫り	既存コンクリート、床、壁等の配管の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
・騒音規制基準	屋間　60ホーン　朝夕　55ホーン　夜間　50ホーン 上記基準を厳守する。
⊙建設工事保険	請負者は本工事の全ての物件に対して自己の負担にて、係員の承認する妥当な金額の損害保険を付し、写しを提出する。建設工事保険会社は工事見積要項書による。
⊙標識その他	共通仕様書によるほか下記による。 配管の標別は系統名、帯、流れ方向を示す矢印により行う。 1）指示場所 系統名は機器、製缶類の接続部付近、帯、矢印は機器類の接続部付近、隔壁の前後分岐及び合流点付近で操作上便利でかつ見やすい位置に表示する。 2）表示方法



D：管外径（保温がある場合は保温外径）

3）系統名・矢印は黒、配管色はP1-1002とし、帯色は下表による。

配管名称	番号	備考
蒸気	P33-141	圧力記入
凝縮水	P2-1006	保温なし　耐熱シルバー
高温水	P33-205	
温水	P34-257	
冷水	P13-707	
冷温水	P34-257　P13-707	二重帯とする
冷却水	P12-501	
給水	P31-746	
給湯	P6-148	
排水	P26-252	
通気	P19-302	
消火	P33-134	
ガス	P34-351	
油	P30-254	
空気	P1-1036	

番号は日本塗料工業会1989年度版による

⊙共通事項

⊙配管材料及び継手	⊙給水管（屋内）　※塩ビライニング鋼管（SGP-VA、-FVA） ・ポリ粉体鋼管（SGP-PA、-FPA）・ステンレス鋼管（JWWAG 115） （屋外）　※ビニル管（HIVP）・塩ビライニング鋼管（SGP-VD、-FVD） ・ポリ粉体鋼管（SGP-PD、-FPD） ⊙給湯管　※ステンレス鋼管（JIS G3448）⊙銅管（M） ⊙消火管（屋内）　※鋼管（JIS G3452） ・スケジュール管（JIS G3454、SCH40ハロン消火） （屋外）　※外面被覆鋼管（SGP-VS）・外面被覆鋼管（SGP-PS） ⊙汚水管　※鋳鉄管（BASS210）・排水用塩ビライニング鋼管 ・コーティング鋼管　・ビニル管（VP）⊙耐火2層管 ⊙雑排水管　※鋼管（JIS G3452）・コーティング鋼管　・ビニル管（VP） ⊙通気管　※鋼管（JIS G3452）・ビニル管（VP） ⊙屋外排水管　※ヒューム管（1種B形）⊙ビニル管（VP）　・ ・蒸気（給気管）　※スケジュール管（JIS G3454、SCH40）・鋼管（JIS G3452） （還管）　※ステンレス鋼管（JIS G3448） ・スケジュール管（JIS G3454、SCH40） ・油管　※鋼管（JIS G3452）・
・ステンレス鋼管継手	※プレス式管継手　・圧縮式管継手 ※突合せ溶接式管継手（75SU以上） ・ドレッサ形スナップリング式管継手 ・グリップ式管継手　・拡管式管継手
・防振継手	※ベローズ形　・合成ゴム製
・フレキシブル継手	※ベローズ形　・合成ゴム製
⊙配管施工	(1)建物導入部　※フレキシブルジョイント　・コルゲート管継手 ・スライド形継手　・設けない
	(2)絶縁継手　異種金属の接続部には全て設ける
・清水試験継手	※共通仕様書による。　・図示の箇所に設ける　・設けない
・煙試験	・行う　※行わない
⊙水栓柱	※合成樹脂製　・人研き製
⊙管の接合	(1)鋼管（油管を除く）呼径100A以下ねじ接合、125A以上フランジ接合又は溶接接合とする。ただし、冷温水、蒸気管は、係員の承諾を得れば65A以上溶接接合とすることができる。 (2)溶接部の非破壊検査　※適用する　※放射線透過検査 ・浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ・適用しない

⊙共通事項

⊙一般用弁	

呼称	寸法区分	名称	適用 給水	給湯	消火	排水	油	蒸気 往	蒸気 還		
仕切弁	50A以下	青銅弁（5K）	※	⊙	・	※	・	・	・	・	・
		青銅弁（10K）	・	・	※	・	・	・	・	・	・
		ステンレス鋼弁	・	※	・	・	・	※	・	・	・
		鋳鋼弁（10K）	・	・	・	・	※	・	・	・	・
	65A以上	鋳鉄製（5K）	※	・	・	※	・	・	・	・	・
		鋳鉄製（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		鋳鋼弁（10K）	・	・	・	・	※	・	・	・	・
		ステンレス鋼弁	・	※	・	・	・	※	・	・	・
玉形弁	50A以下	青銅弁（5K）	・	・	・	・	・	※	・	・	・
		青銅弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		鋳鉄弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	65A以上	鋳鋼弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
逆止弁	50A以下	青銅弁（10K）	※	・	※	※	・	・	・	・	・
		鋳鋼弁（10K）	・	・	・	・	※	・	・	・	・
		ステンレス鋼弁	・	※	・	・	・	※	・	・	・
	65A以上	鋳鉄弁（10K）	※	・	※	※	※	・	・	・	・
		ステンレス鋼弁	・	※	・	・	・	※	・	・	・
バタフライ弁	50A以上	ゴムシートバタフライ弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	65A以上	ステンレス鋼弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
ボール弁	50A以下	青銅弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		ステンレス鋼弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	65A以上	鋳鉄弁（10K）	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		ステンレス鋼弁	・	・	・	・	・	・	・	・	・

※蒸気50A以下は50A以下ねじコアコート弁、65A以上はステンレスコアコート弁とする

⊙防振つり及び防振支持金物施工範囲	※下表による。　・防振は行わない　・オイルコンプレッサ下とする

施工場所	架構機械室	各階機械室			
施工方法	シングル	・	※	・	・
	ダブル	※	・	・	・
区分	⊙給水管	⊙揚水管	・消火管	・油管	・蒸気管

⊙埋設配管	(1)地中埋設標　※下記の配管に設ける　・設けない ⊙給水管　・屋外排水管　⊙ガス管　・蒸気（給気、還管） ・消火管
	(2)埋設表示アルミテープ　※設ける　・設けない
	(3)排水管を除く管の埋設の深さは、一般地600以上、車両通路1200以上とする。
	(4)土中埋設の鋼管類（排水管を含む）はペトロラタム系防食テープによる防食処理を行う。外面被覆鋼管を使用する場合は継手部に適用する。
⊙保温	1）保温施工範囲は下表によるほか共通仕様書による。 ・蒸気還管は保温を行う。　※膨張タンクは保温を行う。
	2）保温施工種別 ※共通仕様書による。（給湯及びタンクの保温材　※ロックウール　・グラスウール） ※下表による（機器、煙道は共通仕様書による）

場所 / 管種	屋内露出（車庫、倉庫を含む）	機械室 共同溝内	天井・PS内	廊下暗渠内（ピット内を含む）	屋外露出、浴室、厨房など多湿箇所
給排水管	①グラスウール保温筒	① 同左	① 同左	① 同左	① 同左
給湯管	②亜鉛鉄線	② 同左	② 同左	② 同左	② 同左
消火管	③髪形原紙	③アルミキャラバー	③ポリエチレンフィルム	③アスファルトフェンス	③アスファルトフェンス
温水管	④綿テープ	④亀甲金網	④亀甲金網	④アルミガラスクロス	④亜鉛鉄線
					⑤ステンレス鋼板
蒸気管（往）（還）	①ロックウール保温筒	① 同左	① 同左	① 同左	① 同左
	②亜鉛鉄線	② 同左	② 同左	② 同左	② 同左
高温水管	③髪形原紙	③アルミキャラバー	③ポリエチレンフィルム	③アスファルトフェンス	③アスファルトフェンス
	④綿テープ	④亀甲金網	④亀甲金網	④アルミガラスクロス	④亜鉛鉄線
					⑤ステンレス鋼板

注：耐火構造の防火区画を貫通する部分はロックウール保温材とする。

3）保温材の厚さ
・共通仕様書による。
下表による（※機器、煙道は共通仕様書による）

管種	保温厚 mm				
給排水管	50A以下	65～125A	150A	200A	250A以上
消火管等	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm
蒸気管	20A以下	25～65A	80～125A	150～200A	250A以上
高温水管	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm

⊙電源周波数	⊙50HZ　・60HZ
⊙制御及び操作盤	※製造者の標準品とする。 ・共通仕様書による。 ・2.3.6表により接点及び端子を設ける。
・インバーター用制御及び操作盤	※共通仕様書を適用する　・共通仕様書を適用しない
⊙ポンプ	機器　・共通仕様書による　※製造者標準仕様とする 基礎　・標準　※防振
⊙機器据付用地震力	次に掲げる事項以外は全て建築設備耐震設計施工指針による。 最上階屋上及び塔屋　※1.0　・1.5（防振機器2.0） 中間階　※0.6　・1.0（防振機器1.3） 地階及び1階　※0.4　・0.6
⊙埋め戻し土	※根切り土の中の良質土　・山砂
⊙残土処理	※構内数ならし　・構内指定場所に堆積　・構外搬出適切処理

⊙給水設備

⊙高置水槽	1）本体（架台共）　・鋼板製　・一体型　※パネル型 ※FRP製　・一体型（・単板　※複合板） ※パネル型（・単板　※複合板）
	2）基礎　・本工事　※別途工事
⊙受水槽	1）本体（架台共）　・鋼板製　・一体型　※パネル型 ※FRP製　・一体型（・単板　※複合板） ※パネル型（・単板　※複合板）
	2）基礎　・本工事　※別途工事
⊙水槽の設計用水平震度	⊙高置水槽 1.0G　⊙受水槽 2.5G
⊙引込納付金等	・本工事　※別途工事　⊙不要
・寒冷地保温	屋外露出管（弁類を含む）は共通事項の保温厚を下記に読みかえる。

20A以下	32～200A	250A以上
30mm	40mm	50mm

・小型給水ポンプユニット	(1)制御方式　※インバーター方式　・圧力方式 (2)運転方式　24時間強制ローテーション機能付

⊙給湯設備

・給湯用簡易ボイラー	※真空式　・立形煙管式　・立形水管式
・貯湯槽材質	※ステンレスグラスト鋼板　・ステンレス鋼板 ・セラミック鋼板
・貯湯槽防食	※外部電源方式　・流電陽極方式併用
・保温	膨張水槽の保温を行う。
・煙突その他	給湯用ボイラー煙道煙突（※3.2㎜・4.5㎜）

⊙排水通気設備

⊙配管寸法	洗面器、手洗器等の器具排水管はトラップ口径の1サイズアップとする。
⊙流し台の排水管	公団形流し台等の床上露出部分の配管はVPでもよい。
⊙ステンレス流し類	本体　・本工事　※別途工事 排水金物　・本工事　※別途工事

⊙衛生器具設備

⊙大便器	・節水型フラッシュバルブ（バキュームブレーカ型）　⊙節水ロータンク
	⊙和風大便器existing火カバー付
⊙小便器	・ハイタンク（※露出型　・隠ぺい型）　・FV　・感知式ハイタンク
	※感知式個別FV　・タイマー式ハイタンク　・照明連動ハイタンク
⊙水石せん入化粧	※壁付形・押ボタン式　⊙立形
	※露出形　・埋設形

⊙消火設備

・屋内消火栓箱	・HB－1A　・HB－1B　・HB－2A　・HB－2B
⊙消火口径細別	・HB－3A　・HB－3B　・HB－12A
・屋内2号消火栓箱	・HB－4A　・HB－4B
・屋外消火栓箱	・HB－21　・HB－22
・保温	屋外露出管（弁類を含む）　※行う　・行わない

保温厚さ

20A以下	32～200A	250A以上
30mm	40mm	50mm

・泡消火装置	※水成膜泡消火剤　・合成界面活性消火剤

⊙ガス設備

⊙ガスの種類	⊙都市ガス　供給事業所名（[illegible]）発熱量 [illegible] Kcal/Nm³ ・液化石油ガス
⊙配管材料	※鋼管（JIS 3452白）　※外面ポリエチレン被覆鋼管（屋外埋設）⊙ねじ込み接合仕様
・ボンベ	(1)本体　※別途工事　・本工事
	(2)転倒防止鎖（※本工事　・別途工事）
⊙メーター	⊙貸与品（[illegible]）⊙本工事（ネジ）
・ガス漏れ警報器	※別途工事　・本工事

・厨器厨房機械

・ステンレス鋼材	※SUS-430　・SUS-304
・制御盤及び操作盤	製造者の標準形とする。
・機器の固定	※燃焼機器　※高さ　1.5m以上の機器　※

・し尿浄化槽設備

・計画条件	1）処理水量　　㎥/h
	2）JIS処理対象人員　　人
・処理種別	・単独処理　・合併処理
	・分離接触ばっき方式　・分離ばっき方式
	・長時間ばっき方式　・回転板接触方式
・放流水質	BOD　ppm以下　COD　ppm以下
	SS　ppm以下
・型式	・現場施工形　・ユニット形
・施工範囲	・コンクリート躯体（・本工事　※別途工事）
	・基礎杭　（・本工事　※別途工事）
	・送風機室　（・本工事　※別途工事）
	・ネットフェンス　（・本工事　※別途工事）
・消泡装置	※ノズル式　・消泡剤
・消毒剤	(1)1ヶ付相当分を予備品とする。
・配管材料	(2)機器　※固定塩素殺菌器　・
	(1)汚水，揚泥，消泡管　※ビニル管（HIVP）・
	(2)送気，散気管　※ステンレス管（JIS G3448） ・塩ビライニング鋳管（SGP-VD）・

Ⅳ．使用材料等指定表

機器材料名	製造者名
鋼管	JISマーク表示品
ポリ粉体鋼管	水マーク表示品
ライニング鋼管	水マーク表示品
鉛管	
銅管	JISマーク表示品
硬質塩化ビニル管	JISマーク表示品
コーティング鋼管	
鋳鉄管	
ヒューム管	JISマーク表示品
鋼管継手管類	JISマーク表示品
銅管継手管類	JISマーク表示品
ビニル管継手類	JISマーク表示品
ドレネージ継手類	JISマーク表示品
排水金具鋳鉄製品	
弁類	
ポンプ類	
水槽（FRP）	
製缶類	
真空給湯機	
ボイラ	
湯沸器（ガス）	
湯沸器（電気）	
衛生陶器類	
同上付属金具及び水栓類	
厨房機器類	
消火栓箱及び付属品	
水処理機器	
汚水処理設備	
保温材	

156

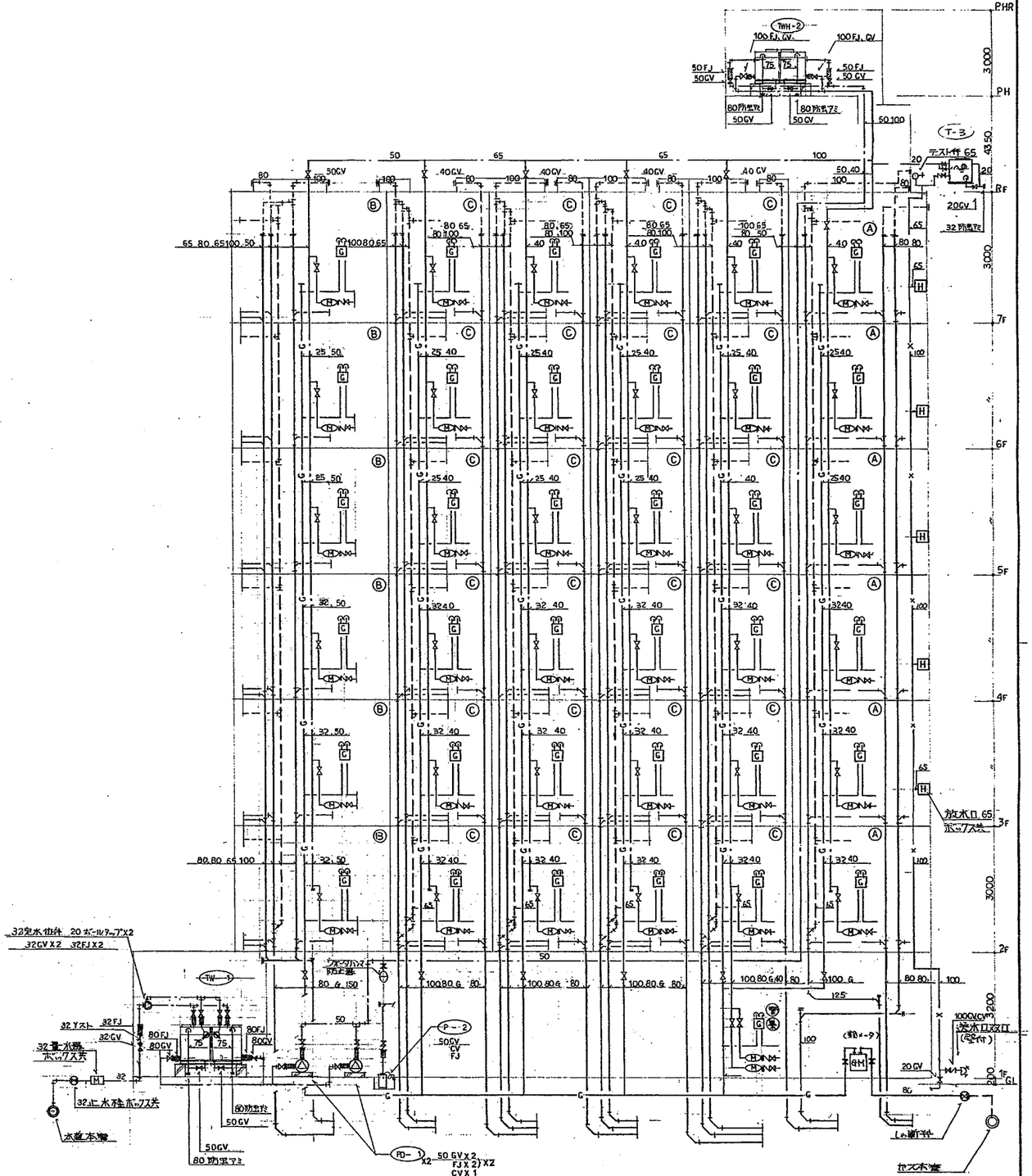
一級建築士事務所 東京都知事登録第3[illegible]号 株式会社 梓設計 一級建築士事務所 [illegible]号 中野裕之設計	2988	筑技術事業団（仮称）外国人研究者宿泊施設建設工事 給排水衛生設備工事特記仕様書		
校図	更	審	担当	製図
P-001	縮尺			
No.		平成 二月 日		

機器表

記号	名称	仕様	動力 φ	動力 V	動力 KW	動力 W	台数	設置場所	備考
TW-1	受水槽	FRP製補合板 パネル組立型 (中仕切付) 4.0x2.0x2.0H 2/3G 有効容量 12m³ 平架台溶融亜鉛メッキ 内外ハシゴ 600φ マンホール カギ付 水位電極 4P コンクリート基礎据置工事					1	設備機械室	(株)ブリヂストン
TWH-2	高置水槽	FRP製 サンドイッチパネル組立型 (中仕切付) 2.0x2.0x1.5H 1G 有効容量 3m³ 平架台溶融亜鉛メッキ 内外ハシゴ 600φ マンホール カギ付 水位電極 5P コンクリート基礎据置工事					1	屋上	(株)ブリヂストン
PW-1	揚水ポンプ	多段渦巻ポンプ 40φx120l/minx39mx4極 自動交互運転 防振架台共 コンクリート基礎 据架工事	3	200	3.7		2	設備機械室	(株)川本製作所 T-405×5S-M3.7
PD-2	雑排水水中ポンプ	水中ポンプ 40φx0.18m³/minx4.5m 自動運転	1	100		250	1	設備機械室	〃 YU4-405-A25SL
GB-1	ガス湯沸器	16号ガス直結付給湯暖房熱源型(PS型) (管理人室のみ屋外設置型) ガス消費量 30,000kcal/H (都市ガス) 給湯温度 65°C 湯かし上げ温度 42°C リモコンスイッチ(2ヶ所) ケーブル フレキシブル管共	1	100		150	18 1	2階～7階 Cタイプ x18 管理人室	(株)パロマ FH-16SSDL 〃 FH-16CDL
GB-2	ガス湯沸器	16号ガス直結付給湯暖房熱源型(PS排気筒延長型) ガス消費量 30,000kcal/H (都市ガス) 給湯温度 65°C 湯かし上げ温度 42°C リモコンスイッチ(2ヶ所) ケーブル フレキシブル管共 排気筒 100φ	1	100		150	18	2階～7階 Aタイプ x6 Bタイプ x6 Cタイプ x6	〃 FH-16SSDL4-1
T-3	雨水槽(地下水槽) (500ℓ)	鋼板製. (側板.底板 4.5t 天板.3.2t) マンホール450φ 0.8m×0.8m×1.0mH (1G.) 水位電極3P. コンクリート基礎 据架工事					1	屋上	協伸工業(株)

器具表

器具名	型番 (INAX品番)	付属品	1階 共用男子便所	1階 共用女子便所	1階 管理人室	1階 トランクルーム	1階 設備機械室	1階 ゴミ置場	2～7階 Aタイプ	2～7階 Bタイプ	2～7階 Cタイプ	屋外	合計	
洋風便器	C-45PU	DT-811; DTF-811JF, CF-19AL, NH-940H								6			6	暖房便座
洋風便器	C-4	CF-33FV, CF-5AK, KF-42M, その他	1	2									3	
小便器	U-206SU	UF-3, UF-13W, その他	2										2	
洗面器	L-2594EC	壁掛工事			1				6	6			13	
洗面器	L-2594P	LF-901, KF-14B, その他	1	1									2	
排除用流し	S-202A	LF-7E-19, SF-20SEAY, SF-10EAY その他	1										1	
シャワー金具	建築工事				1				6	6	24		37	
バス水栓	建築工事				1				6	6	24		37	
混合水栓	SF-5420S				1				6	6	24		37	
ホーム水栓	LF-7R-13				1				6	6	24		37	
キー付ホーム水栓	LF-9R4-13						1	1					2	
散水栓	LF-13-13	BOX共										4	4	
自在水栓	LF-14F(220)-13					1							1	
洗濯パン	建築工事				1				6	6	24		37	
ユニットバスルーム	建築工事				1				6	6	24		37	
洋風便器	C44SU	DT-811, DTF-811JF, CF-19AL, NH-940H			1				6				7	
20φガスコック					1				6	6	24		37	
9.5φヒューズコック					1				6	6	24		37	



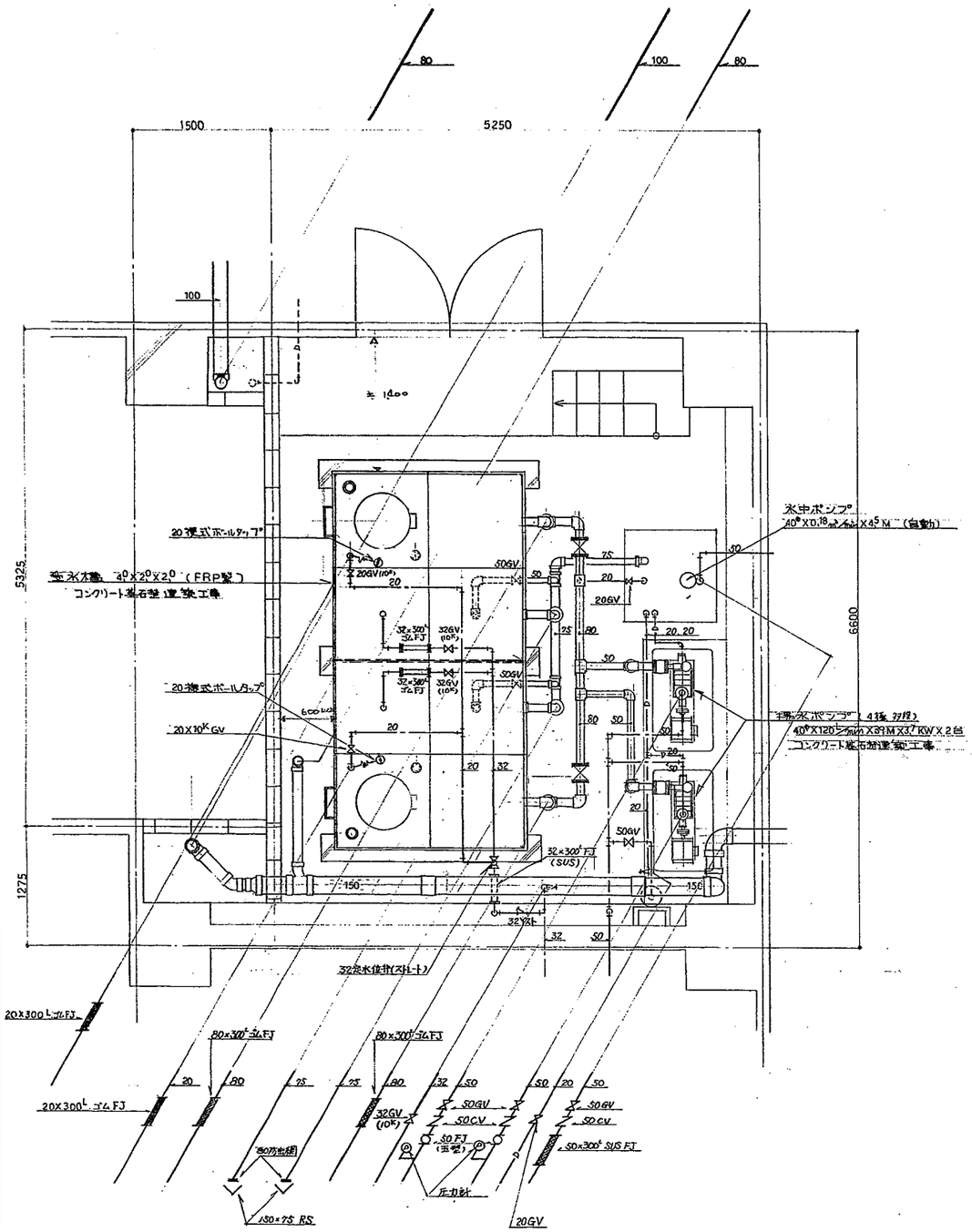
給排水衛生設備 系統図

注記
ABC は住戸タイプを示す
集 は集会室を示す
管 は管理人室を示す
住戸用量水器は20㎜ガスメーター/3 7階 マイホーム(管理人も同じ)とする
集会室量水器は 40㎜とする
雨水金物は雑排兼とする

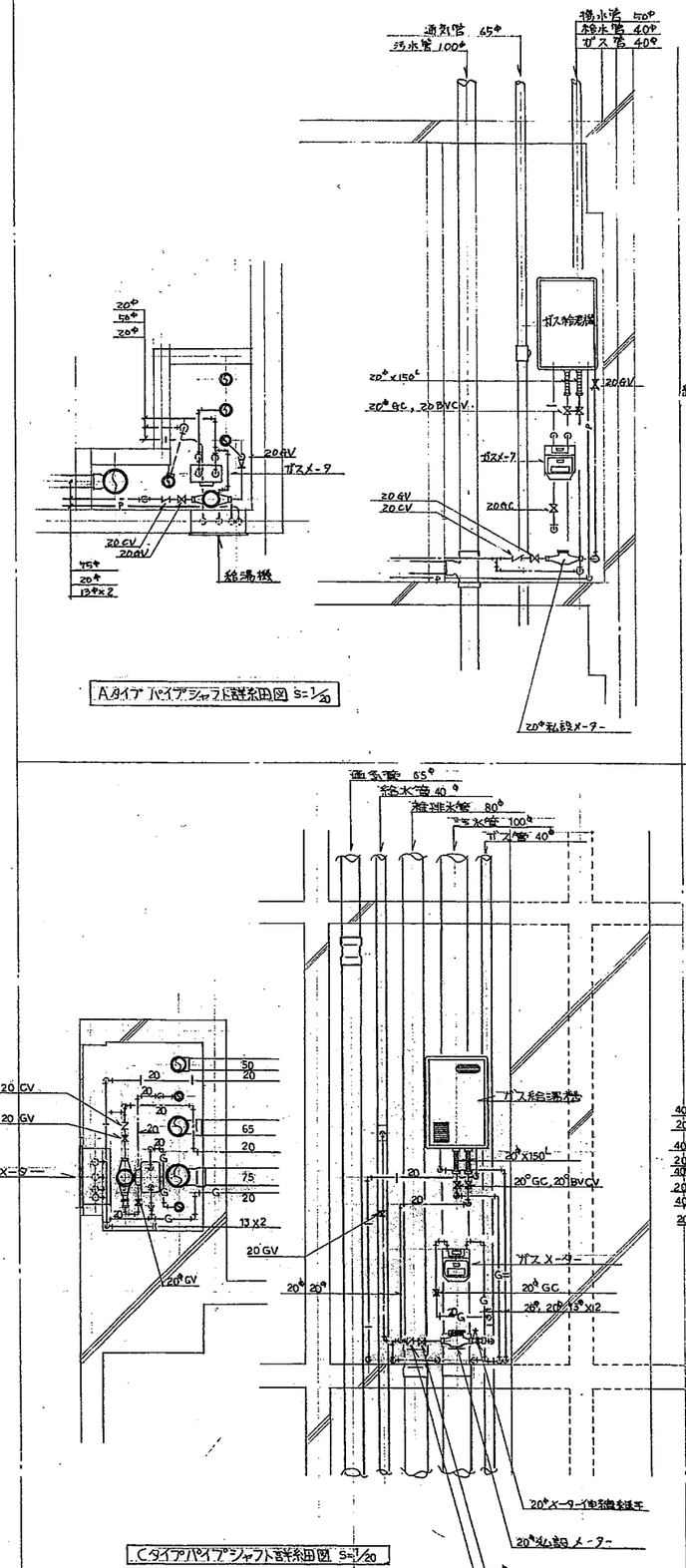
竣工図

一級建築士事務所 京都府知事登録第2869号 株式会社 梓設計 一級建築士登録第000000号 中野裕之設計	2988	新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事	
		衛生設備 機器表 系統図	
		P-003	縮尺 1/
改訂	第	枚の内	平成2年2月 日

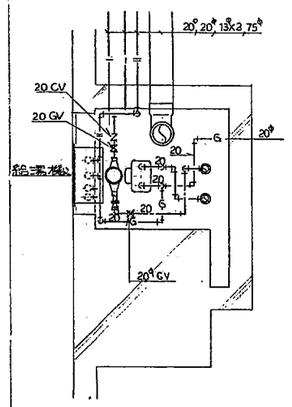
(株)梓理品番 (INAX品番)



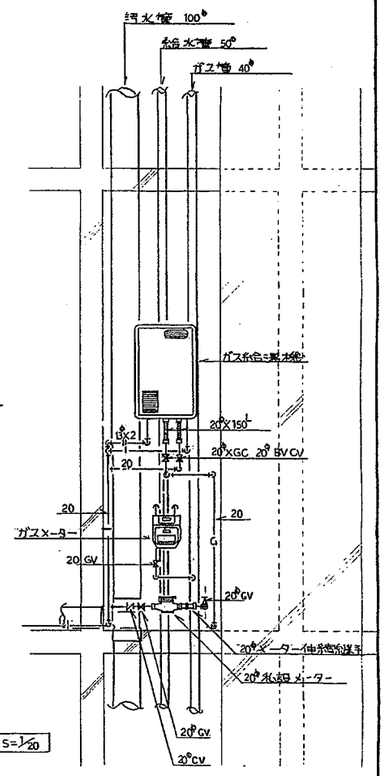
設備機械室 平面詳細図 S=1/30

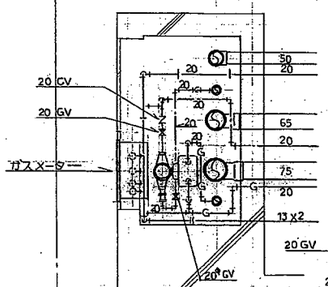


Aタイプ パイプシャフト詳細図 S=1/20

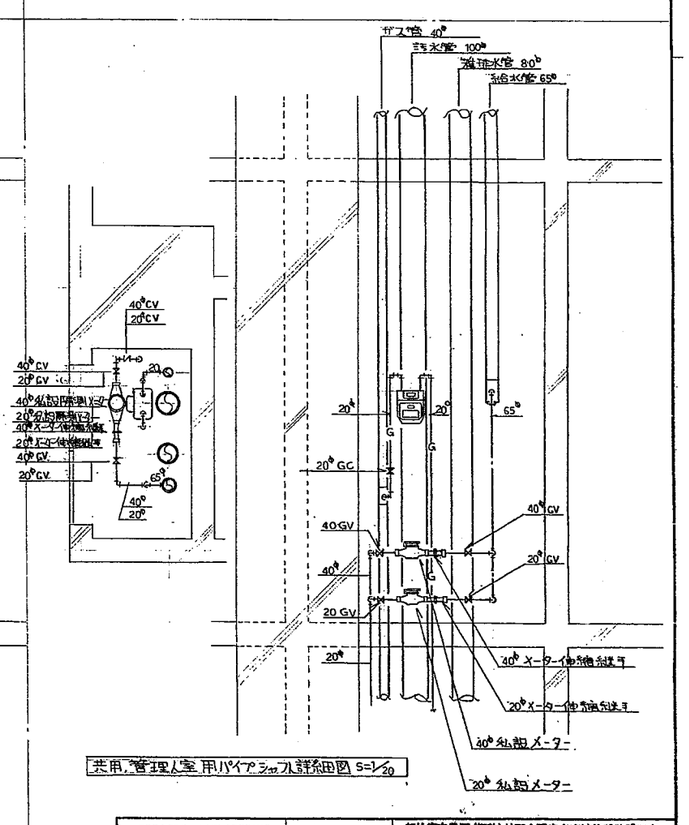


Bタイプ パイプシャフト詳細図 S=1/20





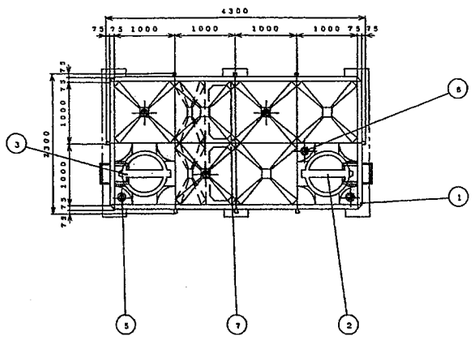
Cタイプパイプシャフト詳細図 S=1/20

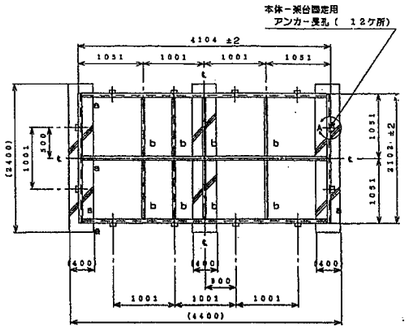


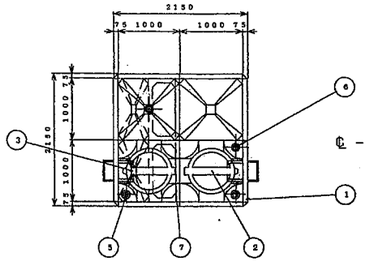
共用管理人室用パイプシャフト詳細図 S=1/20

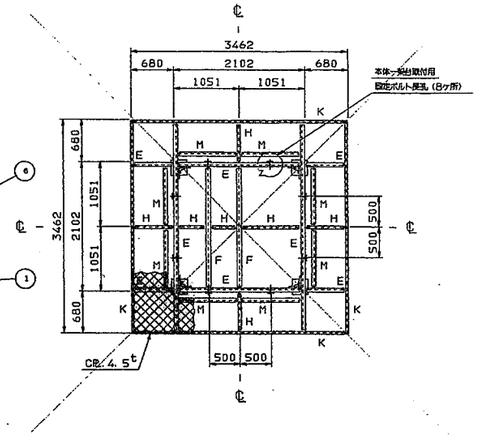
一級建築士事務所 東京都知事登録第3809号 株式会社 梓設計 一級建築士登録番号 00041 中野祐之設計	2988	新法務事務局(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事			
		設備機械室詳細図、PS詳細図			
監理	審査	担当	製図	P-006	縮尺 1/30 1/20
				No. / 枚の内	2年2月 日

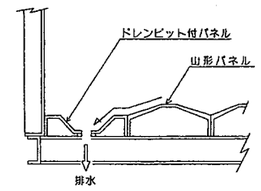
設工図



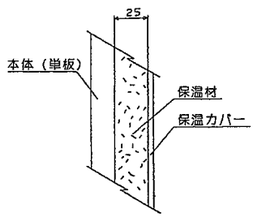




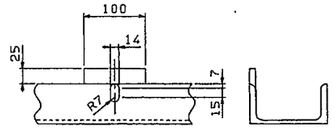




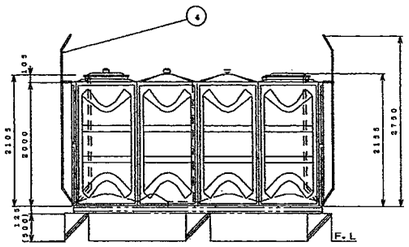
底面排水構造
（ドレンピットによる完全排水構造）



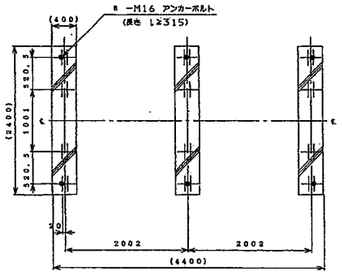
パネル断面図（保温型1）

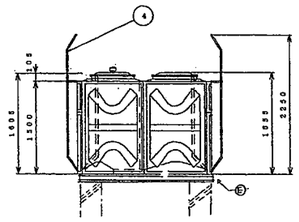


Z部詳細図

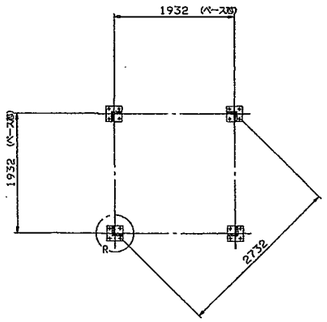


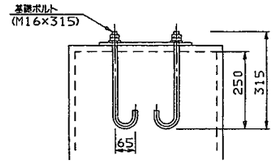
水槽本体図



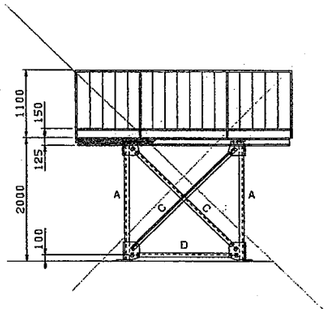


水槽本体図

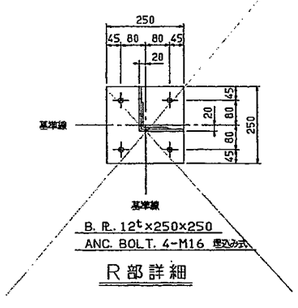




アンカーボルト 基礎詳り（埋込み）



A	L 75×75×6
C	L 65×65×6
D	L 65×65×6
E	C 125×65×6×8
F	H 150×75×5×7
H	H 100×50×5×7
K	C 75×40×5
M	L 65×65×6



R部詳細

＊架台塗装は 溶融亜鉛メッキ仕様

＊架台塗装は 溶融亜鉛メッキ仕様

受水槽仕様	
FRPパネルタンク （保温）	
呼称容量	16. 0トン 2. 0×4. 0×2. 0H
構造基準	建設省告示第1674号適合品
耐震基準	Kh=2/3 SET-7型
締結ボルト	ステンレスボルト（SUS304）
	気相部は樹脂被覆一体成型ボルト（スーパーボルト）
パッキン	合成ゴム
マンホール	FRP製跳ね式 610φ
排水構造	ドレンピットパネルによる完全排水構造
色 調	メーカー 標準色

品番	名称	材質	数量	備考
7	中仕切	FRP	1	
6	通気口	AES	4	50A 合成樹脂製防虫網（#20）付
5	電極座	AES	2	50A 防滅管，電極保護カバー付
4	外梯子	SGP	2	溶融亜鉛メッキ
3	内梯子	PVC	2	
2	マンホール	FRP	2	開口部610φカタログ準拠型クリーム
1	本体	FRP	1式	保護塗クリーム（マンセルNO. 2.5Y9/2）

高置水槽仕様	
FRPパネルタンク （保温）	
呼称容量	6. 0トン 2. 0×2. 0×1. 5H
構造基準	建設省告示第1674号適合品
耐震基準	Kh=1. 0 SET-10型
締結ボルト	ステンレスボルト（SUS304）
	気相部は樹脂被覆一体成型ボルト（スーパーボルト）
パッキン	合成ゴム
マンホール	FRP製跳ね式 610φ
排水構造	ドレンピットパネルによる完全排水構造
色 調	メーカー 標準色

品番	名称	材質	数量	備考
7	中仕切	FRP	1	
6	通気口	AES	2	50A 合成樹脂製防虫網（#20）付
5	電極座	AES	2	50A 防滅管，電極保護カバー付
4	外梯子	SGP	2	溶融亜鉛メッキ
3	内梯子	PVC	2	
2	マンホール	FRP	2	開口部610φカタログ準拠型クリーム
1	本体	FRP	1式	保護塗クリーム（マンセルNO. 2.5Y9/2）

a材	∠ 125×65×6
b材	∠ 75×40×5

設工図

一級建築士事務所 東京都知事登録第38019号
株式会社 梓設計
一級建築士事務所(般-5)第 中野裕之設計

2988

新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事

受水槽，高置水槽詳細図(参考図)

P-007

尺度 /

No. / 改訂内

二年二月 日

【様式１】

生活サポート等業務企画書

１．企業の代表責任者及び本業務担当者
■入札参加グループの場合は、入札参加グループの一覧と代表企業、グループ企業の代表責任者及び本業務担当者。 （入札参加グループ結成に関する協定書又はこれに類する書類を添付すること）

２．　業務実績			
■本実施要項（１．）で示す業務毎に過去１０年間の主な実績を記載すること。			
①統括業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模 請負金額等
②窓口業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模 請負金額等
③入居受付業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模 請負金額等
④交流促進および生活支援業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模 請負金額等
⑤居室設備・備品等の維持管理業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模 請負金額等

⑥経理・庶務業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模 請負金額等

３．本業務実施に対する認識
■安定した業務を実施するための基本的な方針、業務全般において特に重視するポイント等を具体的に記載すること。

（注）用紙が不足する場合は適宜追加すること。

４．業務の実施体制及び業務全体の管理方法
■本業務全体について及び本実施要項１．（１）イ．で示す業務毎に実施体制及び業務全体の管理方法等を具体的に記載し、必要とされる条件を満たす者の配置を記載する。

５．質の確保及び業務コスト等削減に関する考え方

■以下の項目について、簡潔にまとめること。なお、必要に応じ、業務毎に提案書を作成することができる。

（１）本業務の実施全般に対する質の確保及び業務コスト等削減についての考え方

（２）質の確保に関する提案事項

（３）業務コスト等削減に関する提案事項

注１：Ａ４判１ページ以内で記載すること。

注２：業務毎に作成する場合は、各業務毎にＡ４判１ページ以内で記載すること。

６．改善提案総括表			
■業務内容（別紙 3）に対し改善提案を行う場合は、改善を行う業務の内容と提案の概略を整理すること。なお、下記に改善提案のない業務内容については機構が提示する最低水準として従来の実施方法に基づいて業務を行うものとする。			
（１）統括業務	提案の有無	有	無
業務内容 ※別紙 3 に定める内容を明記	提案の概略		
（２）窓口業務	提案の有無	有	無
業務項目 ※別紙 3 に定める内容を明記	提案の概略		

（３）入居受付業務	提案の有無	有	無
業務内容 ※別紙 3 に定める内容を明記	提案の概略		
（４）交流促進および生活支援業務	提案の有無	有	無
業務項目 ※別紙 3 に定める内容を明記	提案の概略		
（５）居室設備・備品等の維持管理業務	提案の有無	有	無
業務内容 ※別紙 3 に定める内容を明記	提案の概略		

（６）経理・庶務業務		提案の有無	有	無
業務内容 ※別紙 3 に定める内容を明記	提案の概略			

注１．提案の有無を選択し、改善提案がある場合は、業務内容及び提案の概略を記載する。
注２．提案の詳細については【様式７】に記載する。
注３．表の枠が不足する場合は適宜追加すること。

７．各業務の従来の実施方法に対する改善提案

■提案を行う各業務の１項目につき１枚以内とする。

（１）改善提案を行う業務及び項目

（２）改善提案の趣旨

（３）改善提案の内容及び実施方法

（４）改善提案実施可能とする体制

（５）最低水準の確保に対する説明

注１：１つの提案毎に、それぞれＡ４判１ページ以内で記載すること。

注２：定量的に提案できる項目は具体的な数値等を提案すること。

８．緊急時の体制及び対応方法

（１）具体的な緊急事態を想定し、被害を拡大させないための体制、対策を具体的に記載すること。

（２）緊急時の対策（連絡体制）を具体的に記載すること。

（３）業務を安定的に履行できる対策（保険など）が講じられているか具体的に記載すること。

■再委託に関する事項

再委託する業務	企業名	住所	再委託先の業務履行能力並びに報告徴収その他の業務管理の方法

注：落札事業者は、本契約締結後やむを得ない事情により再委託先を変更する場合は、機構の承認を得なければならない。

【様式 10】

平成　　年　　月　　日

国立研究開発法人科学技術振興機構
分任契約担当者　契約部長　殿

入札参加業者　　住　　所　（郵便番号　　）

電話番号　（　　）　　－

商　　号
又は名称

氏　　名　　㊞

（法人にあっては、代表者氏名）
法定代理人
氏　　名

入札参加事業者等確認書

この書面の記載事項は、事実に相違ありません。

（留意事項）

１．この書面及び提出書類は、競争の導入による公共サービス改革に関する法律第１０条各号に規定されている欠格事由該当性の審査に必要であり、この書面及び提出書類に記載されている個人情報については、欠格事向該当性の審査のため、必要な範囲において利用し又は警察庁等関係行政機関に対し提供します。

２．この書面とともに第８面の一覧表（７．提出書類）に示す提出をお願いします。

１．入札参加事業者

個人・法人の別	□　個　人	□　法　人

（１）入札参加事業者が個人の場合

フリガナ	生年月日	本　籍
氏　名	（性別）	住　所
フリガナ		事業活動の内容
商号又は屋号		
	（　　）	

（２）入札参加事業者が法人の場合

フリガナ	主たる事務所の所在地
商号又は屋号	代表者の氏名
事業活動の内容	

（記載上の注意）

１．「個人・法人の別」は、該当するものに○印を付けてください。

２．「商号又は屋号」は、商号登記をしているときはその商号を、商号登記していないときは屋号等の名称のうち１個を記載してください。

２．法定代理人

フリガナ	生年月日	本　籍
氏　名	（性別）	住　所
	（　　）	
	（　　）	

（記載上の注意）

１．「法定代理人」は、

①入札参加事業者（法人の場合は、当該法人の役員）

②入札参加事業者の親会社等（法人の場合は、当該法人の役員）

が、法第１０条第６号に規定する「営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者」である場合に、当該未成年者の法定代理人を記載してください。

２．記載しきれないときは、この様式の例により作成した書留にて第２面（本面）の次に添付してください。

３．役員等

フリガナ	生年月日（性別）	本　　籍
氏　　名	役職名又は名称	住　　所
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	

（記載上の注意）

１．入札参加事業者が法人の場合に記載してください。

２．「役員等」とは、役員（理事、取締役、執行役、業務を執行する社員、監事、監査役又はこれらに準ずる者）及び相談役、顧問等名称のいかんを問わず、役員と同等以上の支配力を有する者をいい、その全てを記載してください。

３．記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第３面（本面）の次に添付してください。

4．主要株主・主要出資者

発行済株式の総数		出資総額	

（1）主要株主・主要出資者が個人の場合

フリガナ 氏　　名	生年月日 （性別）	本　　籍 住　　所 所有株式数又は出資金額	割　　合
	（　）		
	（　）		
	（　）		
	（　）		
	（　）		
	（　）		
	（　）		
	（　）		
	（　）		
	（　）		

（2）主要株主・主要出資者が法人の場合

フリガナ	フリガナ	主たる事務所の所在地	
商号又は名称	代表者氏名	所有株式数又は出資金額	割　　合

（記載上の注意）

1．主要株主とは、発行済株式の総数の１００分の５以上の株式を所有する株主をいいます。

2．主要出資者とは、出資総額の１００分の５以上の額に相当する出資をしている者をいいます。

3．割合は、「所有株式数（出資金額）／発行済株式の総数（出資金額）×１００とします。

4．法第１０条第９号の親会社等に該当する湯合は、第６面（次面）の「５．親会社等」欄に記載してください。

5．記載しきれないときは、との様式の例により作成した書面に記載して、個人の場合は第４面（前面）の次に、法人の場合は第５面（本面）の次にそれぞれ添付してください。

５．親会社

（１）施行令第３条第１項第１号に該当する場合

○個人の場合

フリガナ	生年月日 （性別）	本　　籍		
氏　　名		住　　所		
		議決権の総数	所有する議決権の数	割合
	（　　）			

○法人の場合

フリガナ	フリガナ	主たる事務所の所在地		
商号又は名称	代表者氏名	議決権の総数	所有する議決権の数	割合

（２）施行令第３条第１項第２号に該当する場合

フリガナ	フリガナ	主たる事務所の所在地
商号又は名称	代表者氏名	その役員に占める自己の役員等の割合

（３）施行令第３条第１項第３号に該当する場合

フリガナ	フリガナ	主たる事務所の所在地
商号又は名称	代表者氏名	その代表権を有する役員の地位を占める自己の役員等の氏名

（記載上の注意）

１．「親会社等」には、入札参加事業者と次の関係（特定支配関係）にある者（施行令第３条第１項第１号から第３号まで）を記載してください。

①その株主（株主総会において決議をすることができる事項の全部につき議決権を行使することができない株主を除く。）又は総出資者の議決権の過半数を有していること。（第１号）

②その役員（理事、取締役、執行役、業務を執行する社員又はこれらに準ずる者をいう。）に占める自己の役員又は職員（過去２年間に役員又は職員であった者を含む。以下同じ。）の割合が２分の１を超えていること。（第２号）

③その代表権を有する役員の地位を自己又はその役員若しくは職員が占めていること。（第３号）

２．親会社等に該当するものがある場合は、その該当する欄に記載してください。

３．その役員に占める自己の役員等の割合は、「入札参加事業者における自己の役員等の数／入札参加事業者の役員の数×１００」とします。

６．親会社等の役員等

法人の商号又は名称		
フリガナ	生年月日（性別）	本　　籍
氏　　名	役職名又は名称	住　　所

（記載上の注意）

１．親会社等が法人の場合は、当該法人の役員等（第３面でいう「役員等」に同じ。）を全て記載してください。

２．記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第７面（本面）の次に添付してください。

７．提出書類

この書面のほか、下表に示す提出書類のうち、該当するものを提出してください。なお、提出書類についてはチェック欄に○印を付けてください。

提　出　書　類　一　覧　表		ﾁｪｯｸ
１．住民票の写し（外国人の場合は外国人登録原票の写し）　※【落札者決定後】		
	①落札事業者（個人）	
	②落札事業者（個人）の法定代理人　※２	
	③落札事業者（法人）の役員	
	④落札事業者（法人）の役員の法定代理人	
	⑤落札事業者（法人）の役員と同等以上の支配力を有する者　※３	
	⑥落札事業者（法人）の親会社等　※４　（個人）	
	⑦落札事業者（法人）の親会社等（個人）の法定代理人	
	⑧落札事業者（法人）の親会社等（法人）の役員	
	⑨落札事業者（法人）の親会社等（法人）の役員の法定代理人	
	⑩落札事業者（法人）の親会社等（法人）の役員と同等以上の支配力を有する者	
２．登記事項証明書（履歴事項全部証明書）　※５		
	⑪入札参加事業者（法人）	
	⑫入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）	
３．戸籍謄本　※６		
	⑬入札参加事業者（個人）	
	⑭入札参加事業者（法人）の役員	
	⑮入札参加事業者（法人）の親会社等（個人）	
	⑯入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員	
４．未成年者登記簿の謄本　※７		
	⑰入札参加事業者（個人）	
	⑱入札参加事業者（法人）の役員	
	⑲入札参加事業者（法人）の親会社等（個人）	
	⑳入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員	
５．誓約書		
	㉑入札参加事業者（個人）	
	㉒入札参加事業者（法人）	

※１　住民票の写しは、本籍地の記載のあるものとし、外国人登録原票の写しは、その者が外国人で外国人登録をしている場合に提出してください。また、いずれも発行後６か月以内のものを提出してください。

※２　法定代理人とは、その者が営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者の場合の当該未成年者の法定代理人をいいます。

※３　役員と同等以上の支配力を有する者とは、正規の役員ではないが、相談役、顧問等の名称のいかんを問わず、役員と同等以上の支配力を有する者をいいます。

※４　親会社等とは、入札参加事業者と施行令第３条第１項各号のいずれかに該当する関係（特定支配関係）を有する者とします。

※５　登記事項証明書（履歴事項全部証明書）は、発行後６か月以内のものを提出してください。

※６　戸籍抄本は、その者が営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者の場合及びその者が未成年者で婚姻により成年に達したとみなされている場合（民法第７５３条）に提出してください。

※７　未成年者登記簿の勝本は、その者が未成年者であって、営業に関し成年者と同一の行為能力を有する場合（婚姻により成年に達したとみなされている場合を除く。）に提出してください。